注意／Attention.

ここに掲載されているシラバスは、2022 年 4 月 8 日時点の内容です。最新版は学務情報システムでご確認ください。

The syllabuses listed here are current as of April 8, 2022. Please check the Student Affairs Information System for the latest version.

中級ミクロ経済学特論/Intermediate Microeconomics

担当教員/Instructor：泉田　成美/SHIGEMI IZUMIDA
曜日・講時/Day/Period：前期 木曜日 １講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO501J, 単位数/Credit(s)：4

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
大学院修士課程１年生レベルのミクロ経済学の講義を行います。ミクロ経済学は、経済分析の基礎となる科目であり、近代経済学の研究をするにあたって必要不可欠な分析手法を提供しています。講義と演習問題を通じて、ミクロ経済学の中級レベルの分析手法を身につけることを目的とします。

In this course, students learn about the intermediate level microeconomics. Positive participation in classes is expected

２．学修の到達目標/Goal of study：
大学院での研究に必要なミクロ経済学の基礎的な知識と分析能力を身につける。

Students will understand the knowledge and analytical method of intermediate level microeconomics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
担当教員の健康上の理由により対面授業を行うことができないため、オンライン授業を行います。
オンライン授業の方法として、Google Classroom を使って、(1) 録画した講義を配信するオン・デマンド方式と、(2) 演習問題を配布し、解答を提出させる資料配布方式を併用することを予定しています。
Google Classroom のクラスコードは、qtyfs4q　です。
Classroom にアクセスし、クラスコードを入力してください。

講義と並行して演習問題（宿題）の解説を行います。
以下の内容の講義を予定していますが、参加者の興味・関心や反応、教員の健康状態等によって変更することもありえます。
第１回　イントロダクション　経済学と最適化問題
第２回　演習問題解説（その１）
第３回　静学的最適化問題①　制約のない最大化問題
第４回　演習問題解説（その２）
第５回　静学的最適化問題②　等号制約付き最大化問題とラグランジュの未定乗数法
第６回　演習問題解説（その３）
第７回　静学的最適化問題③　不等号制約付き最大化問題とキューン・タッカー法
第８回　演習問題解説（その４）
第９回　生産者行動理論①　生産技術と生産関数
第10回　演習問題解説（その５）
第11回　生産者行動理論②　費用最小化問題と費用関数
第12回　演習問題解説（その６）
第13回　生産者行動理論③　規模の経済・不経済
第14回　演習問題解説（その７）
第15回　生産者行動理論④　複数財生産での費用関係
第16回　演習問題解説（その８）
第17回　生産者行動理論⑤　費用関数の推定、規模の経済・範囲の経済の検証
第18回　演習問題解説（その９）
第19回　消費者行動理論①　予算制約下の効用最大化問題と需要関数
第20回　演習問題解説（その１０）
第21回　消費者行動理論②　間接効用関数と支出関数
第22回　演習問題解説（その１１）
第23回　消費者行動理論③　スルツキー方程式
第24回　演習問題解説（その１２）
第25回　消費者行動理論④　余剰分析、序数的効用と基数的効用
第26回　演習問題解説（その１３）
第27回　不完全競争の経済分析①　独占企業の行動
第28回　演習問題解説（その１４）
第29回　不完全競争の経済分析②　寡占企業の行動（ベルトラン競争とクールノー競争）
第30回　まとめ

The contents and schedule are as shown below:
#1 Introduction: Economics and Optimization problem
#2 Explaining homework ①
#3 Static optimization problem ①: Unconstrained optimization problem
#4 Explaining homework ②
#5 Static optimization problem ②: Lagrangian method
#6 Explaining homework ③
#7 Static optimization problem ③: Kuhn-Tucker method
#8 Explaining homework ④

#9 Producers behavior ①: Technology and Production Function
#10 Explaining homework ⑤
#11 Producers behavior ②: Cost minimization and Cost Function
#12 Explaining homework ⑥
#13 Producers behavior ③: Economies of Scale and Diseconomies of Scale
#14 Explaining homework ⑦
#15 Producers behavior ④: Cost Relationships with Multproduct
#16 Explaining homework ⑧
#17 Producers behavior ⑤: Estimation of Cost Function
#18 Explaining homework ⑨
#19 Consumers behavior ①: Utility maximization and Demand Function
#20 Explaining homework ⑩
#21 Consumers behavior ②: Indirect Utility Function and Expenditure Function
#22 Explaining homework ⑪
#23 Consumers behavior ③: Slutsky Equation
#24 Explaining homework ⑫
#25 Consumers behavior ④: Consumer’s Surplus, Cardinal Utility and Ordinal Utility
#26 Explaining homework ⑬
#27 Imperfect Competition ①: Monopoly
#28 Explaining homework ⑭
#29 Imperfect Competition ②: Oligopoly
#30 Conclusion

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
理解度確認セッションの成績（50%）と宿題の成績（50%）により決定します。

７．教科書および参考書/Textbook and references：
講義資料は授業中に配布します
参考書は授業中に指示します

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
十分な予習復習が必要です。
Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：
履修条件；学部のミクロ経済分析・経済経営数学程度の知識を持っていること。また、問題演習を重視する授業形式の必要性から、参加者は30名以内に制限します。そのため、受講希望者は第1回目の講義を必ず視聴し、期日までに問題演習（宿題）の解答を提出してください。2回目からの参加は原則として認めません。
第1回の講義は4月11日（月）に配信する予定です。第1回の問題演習は4月14日（木）に配信する予定です。
他の科目との関連について；ゲーム理論とミクロ経済学のより発展的な内容は後期開講の「上級ミクロ経済学」にて取り扱う予定ですので、興味のある方は引き続き受講してください。
オフィス・アワー；金曜日 12:15～13:00
E-mail； shigemi.izumida.d1@tohoku.ac.jp

上級ミクロ経済学特論/Advanced Microeconomics

担当教員/Instructor：三宅　充展/MITSUNOBU MIYAKE
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 １講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO502J, 単位数/Credit(s)：4

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
大学院レベルの標準的教科書で記述されているミクロ経済学理論を理解し、各分野で基幹となっている学術論文を読みこなす読解力を修得することが目的です。また、公務員試験（論述試験）に対応した水準の専門知識を得ることも目的です。 / It is an aim that the students will understand a microeconomics theory described in the standard textbook of the graduate school and acquire a skill for reading the scientific papers in each field. In addition, it is an aim that the students will obtain the technical knowledge corresponding to the civil service examinations.

２．学修の到達目標/Goal of study：
将来　修士論文作成にあたって、独力で受講生が専攻する分野の文献サーベイができる程度の学力をつけることが到達目標です。/It is an aim that the student will acquire a skill for reading the scientific papers in each field by an own effort, when the student writes master thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

１　不確実性の経済学：期待効用理論
- １．１　サンクトペテルブルグの逆説
- １．２　期待効用の公理系
- １．３　期待効用の表現定理と一意性
- １．４　リスク回避度
- １．５　リスク回避度の保険市場への応用
- １．６　主観確率とその公理化

２　非協力ゲーム理論
- ２．１　戦略形ゲームの定義
- ２．２　ナッシュ均衡点
- ２．３　混合戦略と期待利得
- ２．４　均衡点の存在
- ２．５　均衡点の計算方法
- ２．６　利得支配とリスク支配
- ２．７　応用例
- ２．８　中間テスト

３　社会選択と協力ゲーム理論
- ３．１　社会選択問題と交渉問題の定式化
- ３．２　アローの一般不可能性定理
- ３．３　ナッシュ交渉解の公理
- ３．４　ナッシュの定理
- ３．５　非協力ゲームによる交渉問題
- ３．６　協力ゲームにおけるコア
- ３．７　市場ゲームとそのコア
- ３．８　コアの極限定理
- ３．９　割り当て市場ゲームとコア
- ３．１０　結婚ゲームとコア
- ３．１１　誘引と効率性
- ３．１２　オークションの理論

４　公共経済
- ４．１　消費者余剰と生産者余剰
- ４．２　経済厚生の指数
- ４．３　リンダール均衡とコア
- ４．４　社会厚生関数

なお、各単元の終わりにレポートの課題を与える予定。レポートは授業のなかで発表してもらう可能性がある。

Chapter 1: economics under uncertainty, expected utility theory
(Axioms for the expected utility function, Risk aversion, Insurance markets, subjective probability)
Chapter 2: non-cooperative game theory
(Nash equilibrium, Computation of the Nash equilibrium)
Chapter 3: social choice and cooperative game theory
(Nash solution, Nash's theorem, market games, assignment market games)
Chapter 4: Public economy
(Consumer's surplus, Social welfare index, social welfare functions)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
該当しない

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語により講義をおこなう。レポート課題は日本語で記述されるが、解答や口頭報告は日本語または英語によるものとする。

６．成績評価方法/Evaluation method：
レポートの成績（100%）により決定する。これにはレポートの発表の成績も含まれる。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

ゲーム理論入門（新版）	岡田章	有斐閣	2014年	9784641220287	教科書
ゲーム理論講義	船木由喜彦	新世社	2012年	9784883841752	教科書
はじめて学ぶゲーム理論	船木由喜彦	新世社	2014年	9784883842087	参考書
演習ゲーム理論	船木由喜彦	新世社	2004	4883840727	参考書

Models in Microeconomic Theory	Martin J. Osborne and Ariel Rubinstein	OpenBook	年 2020 年	978-1-78374-920-1	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習ではあらかじめ教科書を読んでおくこと。

１０．その他/In addition：
履修条件は無いが、中級ミクロ経済学特論を履修していること、または同等の知識を有していることが望ましい。　現在の予定では、授業は対面授業で、オンライン併用とする。録画の方式は授業のなかで説明する。　録画ファイルの記憶容量が膨大となるので、USB メモリによる配布の可能性もある。履修希望の学生、履修の可能性のある学生は至急三宅

mitsunobu.miyake.b4@tohoku.ac.jp

までメールすること。　Google classroom のクラスコードは　p36ygjj　である。
対面授業でもノートパソコンを持参することが望ましい。

中級マクロ経済学特論/Intermediate Macroeconomics

担当教員/Instructor：小寺　寛彰/TOMOAKI KOTERA
曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO503J, 単位数/Credit(s)：4

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
主に、動学マクロ経済モデルの解法の習得及び様々なモデルの学習を目的とする。このコースでは、数学、特に微分を多用する。これにより、マクロ経済学のより深い理解を目指す。

２．学修の到達目標/Goal of study：
このコースを通して、以下の習得を主に目指す。
1.経済全体のメカニズム、および、総生産、雇用、賃金、利子率がどのように決まるかが、説明できる。
2.基本的なモデル（経済成長、消費と貯蓄、景気循環など）を根底にある要因を描写できる。
3.政府の政策や、外的ショックの経済への効果を厳密に評価できる。
4,今、話題になっている諸問題(コロナウィルス)と経済モデルを用いて、分析できる。

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下の内容を取り扱う予定である。

（１）マクロ経済学の潮流
（２）一般均衡モデル(静学)の解法
（３）ソローの成長モデル
（４）最適成長モデル
（５）内生的経済成長モデル
（６）消費-貯蓄モデル
（７）動学的一般均衡モデル
（８）景気循環(RBC) モデル
（９）貨幣経済
（１０）世代重複(OLG) モデル
（１１）労働サーチとマッチング
（１２）コロナウィルスの経済分析

※時間があれば、その他の重要なトピックを扱う予定である。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
講義は日本語で行う。但し、スライドは英語を使用する。
受講者が提出する課題、および理解度確認セッションは英語で出題するが、解答は、英語でも日本語でもどちらでも構わない。

６．成績評価方法/Evaluation method：
試験（80%）と課題提出（20%）。試験は、学期中、理解度確認期間の２回、実施する。課題は、毎トピックの最後に問題を課し、提出を求める。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Advanced Macroeconomics	David Romer	McGraw Hill	2012	9780073511375	参考書
Recursive macroeconomic theory	Lars Ljungqvist, Thomas J. Sargent	MIT Press	2012	9780262018746	参考書
『The ABCs of RBCs : an introduction to dynamic macroeconomic models	George McCandless	Harvard University Press	2008	9780674028142	参考書
Introduction to modern economic growt	Daron Acemoglu	Princeton University Press	2009	9780691132921	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google Classroom にスライドを事前にアップする予定である。

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
課題を通して、各トピックの本質を理解してもらう。

１０．その他/In addition：

コロナウィルスの感染リスクを考慮し、オンデマンドで授業を展開する。
クラスコードは、mdumwdy である。
また、数値計算の課題は、出さない。

上級マクロ経済学特論/Advanced Macroeconomics

担当教員/Instructor：鈴木　通雄/MICHIO SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ３講時.後期 木曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO504J, 単位数/Credit(s)：4

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本講義は、中級マクロ経済学に引き続き、大学院レベルのマクロ経済学を解説する。具体的には、家計消費、失業の各理論、そして家計間の所得・消費・資産格差の関係を議論できる不完備市場の一般均衡モデル (Bewley-Aiyagari-Huggett Model)を解説する。さらに、マクロ経済学のモデルを用いて、金融財政政策についても議論する。演習と宿題では、数値計算によるモデル分析を行ってもらう予定である。

This course is a continuation of Intermediate Macroeconomics and will cover graduate-level macroeconomics. Specifically, the course will explain the theories of household consumption and unemployment, and the general equilibrium model with incomplete markets (Bewley-Aiyagari-Huggett model) that can discuss the relationship between income, consumption, and asset inequality among households. Furthermore, the macroeconomic model will be used to discuss monetary and fiscal policy. For exercises and homework, students will be asked to analyze the model numerically.

２．学修の到達目標/Goal of study：
（１）経済モデルを理解し、直感的な説明ができるようになる。
（２）基礎的な数値解析の手法を習得する。

Students are expected to
(1) Understand economic models and be able to explain them intuitively
(2) Acquire basic numerical analysis methods

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下の内容をカバーする予定である。

（１）動的計画法
（２）家計消費の理論（完備市場モデル、恒常所得仮説、予備的貯蓄、流動性制約）
（３）不完備市場の一般均衡モデル (Bewley-Aiyagari-Huggett モデル)
（４）世代重複モデル (Huggett (1996)など)
（５）失業の理論（効率性賃金、サーチ・マッチングモデル）
（６）金融財政政策

講義と並行して、数値計算の実習を行う予定である。

This course will cover the following topics.

(1) Dynamic programming
(2) Consumption and savings
(3) General equilibrium models with incomplete markets
(4) Overlapping generations model
(5) Unemployment
(6) Monetary and fiscal policies

In parallel with the lectures, students will practice numerical methods.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
理解度確認セッション (60%) と課題提出 (40%)により評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Advanced Macroeconomics, 4th ed.	David Romer	McGraw-Hill Education	2011	978-0073511375	参考書
Recursive Macroeconomic Theory, 3rd ed.	Lars Ljungqvist, Thomas J. Sargent	The MIT Press	2012	978-0262018746	参考書
Recursive Methods in Economic Dynamics	Nancy L. Stokey, Robert E. Lucas Jr. with Edward C.	Harvard University Press	1989	978-0674750968	参考書

Prescott

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google classroom のコースページ参照(Class code:l35oozn)
See the course page in Google classroom.(Class code:l35oozn)

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
宿題を課す予定である。

１０．その他/In addition：
中級マクロ経済学を受講済みであることが望ましい。
講義は担当教官の講義スライドを使って行われるが、参考書は内容の理解に有用である。
オフィスアワーを設定する予定である。詳細は授業初回に連絡する。

中級計量経済学特論Ⅰ/Intermediate Econometrics Ⅰ

担当教員/Instructor：ＫＯ　ＩＡＴ　ＭＥＮＧ/KO IAT MENG
曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO505J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

This course is a one-semester introduction to probability theory and statistics for economists. The course will cover fundamental knowledge of probability and statistics for the preparation of subsequent econometrics courses. The R program will be used and taught.

2．学修の到達目標/Goal of study：

The students are expected to have a deep understanding of probability and statistics, especially in conducting economic data analysis. Good command of knowledge covered in this course will also facilitate studying other economic courses.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Foundation of Probability (Hansen Chapter 1)
- Random outcomes and events
- Probability measure
- Conditional probability and independence

Random Variables and Univariate Distributions (Hansen Chapter 2)
- Random variables: discrete & continuous
- Distribution functions
- Moments

Important Parametric Distributions (Hansen Chapter 3 & 5)
- Discrete distributions
- Continuous distributions

Random Vectors and Multivariate Distributions (Hansen Chapter 4 & 5)
- Joint distributions
- Conditional distributions
- Independence and correlation
- Conditional expectation

Sampling Theory and Statistics (Hansen Chapter 6)
- Population, random sample, and statistics
- Sampling distribution of statistics

Law of Large Numbers and Central Limit Theory (Hansen Chapter 7 & 8)
- Asymptotic limits & LLN
- Convergence in distribution & CLT

Parameter estimation and evaluation (Hansen Chapter 10 & 11)
- Population and distribution model
- Maximum likelihood estimation
- (Generalized) Method of Moments
- Mean squared error and best unbiased estimators

Hypothesis Testing (Hansen Chapter 13)
- Hypothesis testing related concepts

Note: We may not be able to cover all topics due to time constraints. The contents will be adjusted accordingly.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

English

6．成績評価方法/Evaluation method：

Assignments (40%)
Mid-term exam (30%)
Final exam (30%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Probability and Statistics for Economists. Hansen, Bruce E. 2022

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

Google Classroom: sk732gq

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

The author generously provides the electronic version on his homepage: https://www.ssc.wisc.edu/~bhansen/probability/

中級計量経済学特論Ⅱ/Intermediate Econometrics II

担当教員/Instructor：ＫＯ　ＩＡＴ　ＭＥＮＧ/KO IAT MENG
曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO506J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

This course is a one-semester introduction to econometrics. The course will cover fundamental knowledge of linear regression in economic data analysis. Necessary probability and statistic concepts will be taught and reviewed. Empirical applications, rather than theoretical proofs, will be emphasized. Empirical examples will be demonstrated in class. The R program will be taught and used throughout the course.

Textbook
Wooldridge, J. M. (2016). Introductory econometrics: A modern approach, 6th ed., Cengage.
(E-Book available from the university library website)

２．学修の到達目標/Goal of study：

The students are expected to have a deep understanding of modern econometric methods in economic data analysis. Also, the course is designed as a prerequisite for advanced econometrics courses. The students will be able to apply basic econometric tools in empirical research (cross-sectional data) after the course.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

1. Economic data structure (Wooldridge Chapter 1 and Appendix B & C)
Basic probability & statistics for econometrics
Conditional expectation (conditional mean)
Causality & Ceteris Paribus

2. Linear regression model estimation (Wooldridge Chapter 2 & 3)
Simple & multiple regression
Gauss-Markov Assumptions
Unbiasedness, Efficiency, BLUE

3. Multiple regression inference (Wooldridge Chapter 4)
Classical linear model (CLM) Assumptions
t and F tests

4. Large sample regression model (Wooldridge Chapter 5) and Consistency (Wooldridge Appendix C-3)
Asymptotic normality
Large sample inference

5. Multicollinearity (Wooldridge Chapter 3, 3-4a) and Heteroskedasticity (Wooldridge Chapter 8)
Robust standard error & inference
Diagnostic tests for Heteroskedasticity
Weighted Least Square (WLS) estimator

6. Endogeneity (Wooldridge Chapter 15)
Instrumental variable & 2SLS
Testing for endogeneity & overidentification

7. Miscellaneous topics (Wooldridge Chapter 6)
Beta Coefficients
Functional forms
Goodness-of-fit & selection of regressors

8 Regression with qualitative information (Wooldridge Chapter 7)
Dummy regressors
Linear probability model

9 Model specification, measurement error, and sample issues (Wooldridge Chapter 9)

Not all topics in each chapter will be covered. Please refer to the lecture notes distributed during the class.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Assignments (30%)
Mid-term exam (30%)
Final exam (40%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Introductory Econometrics: A Wooldridge Cengage Learning 2016
modern approach 5e

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google Classroom: 5h3x2w5
Download the text as E-Book from the library website

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

日本経済特論/Japanese Economy

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO510J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
戦後日本経済史と現代日本経済を経済学的に把握する。

In this course, students will understand the postwar economic history of Japan and the contemporary Japanese economy from a perspective of economics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・マクロ経済，労働と人口，金融，農業と土地用益，鉱工業，商業とサービスの六つの側面から戦後日本経済史を深く理解すること。
・経済の高成長と低成長が，どのような要因の作用によって，どのように実現したかを歴史的にとらえること。
・経済成長について，制度的構造の再生産と転換という観点から認識すること。

+This course will help students better understand postwar Japanese economic history from six aspects: macroeconomic perspective, labor and population, finance, agriculture and land use, mining and manufacturing, and commerce and services.
+Students will be able to understand historically how high and low economic growth in Japan was achieved and by what factors.
+Students will be able to recognize economic growth in terms of reproduction and transformation of institutional structures.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・対面型講義である。新型コロナウイルスの流行状況に応じて講義形態を調整することがある。
・Google クラスルームは用いない。受講手順は「その他」の欄を参照。
・教科書を輪読する。

１．ガイダンス
２．＜現代１序章＞
３．＜現代２序章＞
４．＜労働と人口＞「日本的」労使関係の形成と労働生産性の上昇
５．＜労働と人口＞現代の労働市場と生活水運の変遷
６．＜金融＞高度成長と金融
７．＜金融＞低成長下の日本の金融システム
８．＜農業と土地用益＞高度成長期の農業と不動産業
９．＜農業と土地用益＞転換期の日本農業と都市不動産業
10. ＜鉱工業＞断絶と連続の工業化
11. ＜鉱工業＞構造変化と生産性停滞
12. ＜商業とサービス＞成長と産業・貿易構造の高度化
13. ＜商業とサービス＞サービス産業の展開と政策
14. 総合討論
15. 理解度確認セッション

Textbook reading and discussion.

1. Guidance
2. Introduction I(1937-1972)
3. Introduction II(1973-2010
4.<Labor and Population> The Formation of "Japanese" Labor-Management Relations and the Rise of Labor Productivity
5.<Labor and Population> Modern Labor Market and Changes in Standard of Living
6.<Finance> High Growth and Finance
7.<Finance> Japan's Financial System under Low Growth
8.<Agriculture and Land Use> Agriculture and Real Estate Industry in the Period of High Growth
9.<Agriculture and Land Use> Japanese Agriculture and Urban Real Estate Industry in the Transition Period
10.<Mining and Manufacturing> Industrialization: Discontinuity and Continuity
11.<Mining and Manufacturing> Structural Change and Productivity Stagnation
12.<Commerce and Services> Growth and upgrading of industrial and trade structure
13.<Commerce and Services> Development and Policies of the Service Industry
14.Final Discussion
15.Comprehension Check Session

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語。

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告と討論への参加：30 点
理解度確認セッション：70 点

７．教科書および参考書/Textbook and references：

岩波講座日本経済の歴史 1	現代	深尾京司・中村尚史・中林真幸編集	岩波書店	2018	978-4-00-011405-9	教科書
岩波講座日本経済の歴史 2	現代	深尾京司・中村尚史・中林真幸編集	岩波書店	2018	978-4-00-011406-6	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
川端望の研究ノート
http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawabata/arekore.htm

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
必ず教科書を入手して事前に読むこと。新本は（3800 円＋税）×2 冊の費用がかかるが，授業に必要である。コピーを用いることは認めない。新本，古書のほか，授業期間中毎回持参できることを条件に，図書館や他人から借用した本の使用も認める。少なくとも用語を理解し，論旨が読み取れるまで下調べして来ること。

１０．その他/In addition：
1 回目はガイダンスとする。履修希望者は必ず出席するか、同日までにメール等で連絡すること。いずれも行わない場合は履修を認めない。アドレスは以下の通り。nozomu.kawabata.b1*tohoku.ac.jp （*を@に変えてください）

戦略と組織特論/Strategy and Organization

担当教員/Instructor：酒井　健/KEN SAKAI
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ６講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN501J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本授業は、経営学の教員たち８名で担当する講義であり、それぞれの教員の研究分野に関する講義をオムニバス形式で提供する。今日、経営学の分野でどのような研究が行われているかを幅広く紹介するので、この講義を通じて受講者は、自らの研究の視野を広げてほしい。対象は修士学生であるが、学部生、博士課程、他分野の学生に対しても開かれている。

In this omnibus lecture series on strategy and organization, eight professors of different specialties deliver various themes. By introducing up-to-date academic development in each sub-field of business management, students would have a chance to broaden their perspectives when selecting and conducting their research projects. This course is designed initially for master course students, but we also welcome undergraduate students, students of the Ph.D. course, and other majors.

2．学修の到達目標/Goal of study：
経営学関連の研究について、広く知識を得ること。
レポート作成を通じて、それぞれの分野についての理解を深めつつ、研究論文の書き方を学ぶこと。

You should understand the wide range of concurrent research developments in a business management field by the end of this course. You are required to write and submit a report for eight different sub-themes, which would help to enhance your understanding and achievement.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業内容、日程については下記の通りだが、大学院生の多様な状況に対応するため、BCP レベルにかかわらず原則として全てＧoogle Meet でのオンライン授業を予定する。
ただし変更の可能性もあるので、随時、授業内および Google Classroom(b67dx5n)のアナウンスに注意を払うこと。

This is the lecture schedule for the year 2022, and this course will be held online by Google Meet.
When there are any changes, we will announce you via the classroom.
Please pay close attention to the announcement in the Google classroom (class code: b67dx5n
) as well.

＊10 月 3 日 18 時に下記の Google Classroom のリンクを使って Google Meet に接続すること。
Please enter the following link on 3 Oct. 2022.
https://meet.google.com/vxb-oaqv-wgy

＊その他、外部講師、講演会への参加を随時アナウンスをする。

1)10 月 3 日	酒井	オリエンテーション
2)10 月 17 日	山﨑	戦略論
3)10 月 24 日	山崎	戦略論
4)10 月 31 日	金	国際経営
5)11 月 7 日	福嶋	地域企業・ベンチャー
6)11 月 14 日	藤本	マクロ組織論
7)11 月 21 日	藤本	ミクロ組織論
8)11 月 28 日	高浦	企業倫理入門
9)12 月 5 日	高浦	CSR 入門
10)12 月 12 日	酒井	イノベーション
11)12 月 19 日	酒井	イノベーション
12)12 月 26 日	一小路	マーケティング
13)1 月 16 日	一小路	マーケティング
14)1 月 23 日	西出	非営利組織論
15)1 月 30 日	西出	非営利組織論

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語/英語

6．成績評価方法/Evaluation method：
・各教員が課題を出し、成績評定をしたものを、単純平均し、得点とする。
・出席は必須。ただしどうしても出席できない場合は、その回の担当教員に事情を説明し、代替措置の有無について問い合わせをすること。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/u/0/c/NDU5NTM3NzY4NTAz

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
・授業の資料は各担当教員から指示および提供され、事前課題が出されることがあるので、Google Classroom でのアナウンスの内容に従うこと。
・授業で紹介されたり、興味をもった分野の論文・書籍を読むこと。
・授業で課されたレポートや宿題は必ず提出すること。

１０．その他/In addition：
・第一回目のオリエンテーションには必ず参加すること（やむを得ず欠席する場合には、窓口教員：酒井まで事前にメールで連絡すること）　(ken.sakai.e6@tohoku.ac.jp)。

経済史特論/Economic History

担当教員/Instructor：小田中　直樹/NAOKI ODANAKA
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO511J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
しばしば「経済史」と呼ばれる社会経済史学の方法について考えます。とくに、経済理論との関係、歴史の見方などについて、集中的に考えたいと思います。

This course intends to analyze the methodology of socio-economic hisrtory, usually called "economic history," relation with economic theories and how to see the history in particular.

２．学修の到達目標/Goal of study：
次の3点です。
・社会経済史学とはいかなる学問領域かについて、一定の知識を得ること。
・社会経済史学と諸経済理論との関係について、一定の見通しを得ること。
・具体的な社会経済史に対するアプローチについて、一定の理解を得ること。

1. To get the knowledge over the characteristics of socio-economic history as a discipline.
2. To under stand the relation between the socia-economic history and economic theories.
3. To have certain knowledge about the approach to the socio-economic historical facts.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・日本の社会経済史学は、ながらくマルクス派の経済理論と接点を持ちながら展開されてきました。その背景には、この経済理論が「時間」というモメントを重視し、それゆえ社会経済史学をはじめとする歴史学と親和的だったという事情があります。
・ただし、第2次世界大戦後における開発経済学や経済成長論の展開に伴い、いわゆる新古典派の経済理論もまた社会経済史学と接点を持つようになってきました。この授業では、そのような状況に対応し、新古典派経済理論との接点を意識して小田中が執筆したテクストブックを、教科書として用います。そのうえで、教科書の内容を分析することを通じて、先に挙げた到達目標を達成することを図ります。
・授業では、小田中による講義の回と、課題発表＆コメントの回を、交互におこなう予定です。なお詳細は、初回の授業の際に説明します。

This course composes of the lecture and the discussion. The detail will be explained on the occasion of the first lecture.

BCPが1および2の場合は対面とオンラインの併用で、3の場合はオンラインでおこないます。しわしくは授業中にまたはメールで指示します。

Under the condition of BCP levels 1 or 2, this class will be given face-to-face style and/or online, and in the case of BCP levels 3 or more, online. The detail will be given in the class or by mail.

1. イントロダクション
2. 狩猟採集経済
3. 課題発表＆コメント
4. 農耕革命
5. 課題発表＆コメント
6. ファミリービジネス
7. 課題発表＆コメント
8. 資本主義
9. 課題発表＆コメント
10. 小作制度と問屋制度
11. 課題発表＆コメント
12. 産業革命
13. 課題発表＆コメント
14. 企業
15. 課題発表＆コメント

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：

授業中に5～7回提出してもらう課題の評価を合計して最終評価します。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

ライブ・経済史入門	小田中直樹	勁草書房	2017

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

講義内容を理解し、課題にとりくむことが、予習と復習を兼ねることになります。

１０．その他/In addition：

・テクストは、必ず購入するか図書館などで借りて持参してください。コピーを持参したり教科書を持たずに出席したりした場合は、履修放棄とみなします。

・新古典派およびマルクス派の経済理論について初級程度、つまり必要最小限の知識を有していることが必要です。

Basic knowledge of neo-classical economics and of Marxian economics is necessary.

授業に参加を希望する学生は、授業の進め方を知るため、必ず事前に
odanaka@tohoku.ac.jp
にてコンタクトをとること。

Those who would like to take this course MUST send a mail, in order to know how it goes on, before the beginning to: odanaka@tohoku.ac.jp

経営史特論/Business History

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN503J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営史とは、企業がその時代に直面した経営上の問題をどのように解決したのか、また企業行動にどのような背景があり、それはいかなる成果に帰結したのかを解明する学問である。本講義では、発展途上国における産業の形成・発展・変容について、戦前日本の繊維産業を事例として、多様な視点で学ぶ。

Business history is the study of how companies solved the business problems they faced in their time, the background to their actions, and the results they achieved. In this lecture, we will study the formation, development, and transformation of industries in developing countries from various perspectives, using the textile industry in prewar Japan as a case study.

２．学修の到達目標/Goal of study：
(1) 歴史の中で企業の果たす意義と可能性を考える。
(2) 経営環境や歴史的条件などの制約の中で、経営者の意思や主体的な選択が、歴史にどのような影響を与えたのかを学ぶ。
(3) 企業の経営戦略や組織構造が決定される要因や因果関係について理解する。

To understand the formation process of the stock company system by focusing on management's will and independent choice.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
第1回：イントロダクション/Introduction
第2-6回：産業の形成/The formation of cotton industry
第7-10回：産業の発展/The development of cotton industry
第11-14回：産業の変容/The transformation of cotton industry
第15回：まとめ/Conclusion

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点：60%、レポート：40%

Participation 60%, Term papers 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習：理解度を深めるためにも事前学習が望まれる。
復習：前回までの知識を前提として授業をすすめるため、復習は必須である。

１０．その他/In addition：
使用言語：講義は日本語で行い、レポートは日本語か英語とする。
履修の條件：特になし
参考書：購入する必要はありません。レジュメを配布します。
連絡先：takenobu.yuki.c1@tohoku.ac.jp
教員HP：https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/home
BCPレベル1の場合は、「対面授業」を原則とする。
BCPレベル2以上の場合は、「オンライン授業」を原則とする。

参加者はGoogleクラスルームを必ず参加登録すること。
クラスコードは「r3ibwot」

Language: Japanese.
Course Requirements: None.
Reference books: No need to buy. Resume will be distributed.
Contact: takenobu.yuki.c1@tohoku.ac.jp
Faculty website: https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/home
For BCP level 1, face-to-face classes are the general rule.
For BCP level 2 and above, "online class" shall be the principle.
Participants must register for the Google Classroom.
The class code：r3ibwot

ファイナンス特論/Corporate Finance

担当教員/Instructor：室井　芳史/YOSHIFUMI MUROI
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM601J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
数理ファイナンスにおける金利の取り扱いについて学ぶ。特に、金利派生商品の価格付け法について講義を行なう。途中で確率微分方程式や偏微分方程式の知識を用いるが、あらかじめ理解して参加すること。講義は対面方式。
This lecture gives a course on mathematical finance including stochastic interest rate modeling.

２．学修の到達目標/Goal of study：
短期金利モデルやフォワードレートモデルなど確率微分方程式を用いた金利モデルにおいて債券や債券オプション、スワップ、スワップションなどの金利派生商品の価格の計算方法について理解を深める。
The aim of this lecture is a brief understanding of the short-rate model, forward rate model, LIBOR model.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
確率微分方程式の取り扱いについて簡単な復習を行なった後に、さまざまな金利モデルにおいて債券や金利デリバティブの価格計算の方法について考察を行なう。確率論的な手法のみならず偏微分方程式など多くの数学を用いたモデルについて概観したい。
We give a short review of the stochastic differential equation. Then we study the computational method of bonds and interest rate derivatives using the probabilistic methods and the partial differential equations.

対面方式で実施するが、BCP レベルが 2 以上に上がった場合には Google Meet など別の方法で実施する。詳細は講義においてを指示する。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
レポート

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
確率解析や数理ファイナンスについて独習することで理解を深めること

１０．その他/In addition：

マーケティング・リサーチ特論/Marketing Research

担当教員/Instructor：石垣　司/TSUKASA ISHIGAKI
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN601J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

【授業の目的】
マーケティング・リサーチに必要なデータ分析法を理解し、Rを用いた実践能力を習得する
【授業の概要】
マーケティング活動のために必要とされる消費者行動の理解、購買行動の予測、市場内でのポジショニングなどでは、各種データを用いた定量的な分析がもはや定石となっている。本特論では、マーケティング・リサーチで用いられる基本的なデータ分析手法の利用法と数理的性質を理解し、Rを用いたデータ分析を実践するための基礎力を身に付ける。具体的には、多変量解析（主成分分析、判別分析、因子分析)、共分散構造分析、離散選択モデルなどを取り扱う予定である。
※なお、重回帰分析については中級計量経済学において詳しい講義が行われるため、本講義では取り扱わない。

In this course, students will understand some typical data analysis methods for marketing research and develop data analysis skills using programming language R.

2．学修の到達目標/Goal of study：

・マーケティング・リサーチにおけるデータ分析の利用法を理解する。
・マーケティング・リサーチで用いられる基本的な分析手法の数理的性質を理解する。
・各手法を用いたデータ分析を実践できる。

The purpose of this course is to help students explain some typical data analysis methods for marketing research, and understand mathematical property of it.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Covid-19感染対策のための教室利用人数の制限や2022年3月16日に発生した地震に起因する教室利用制限によって授業の実施形態（対面 or オンライン）が不透明である。ただし、初回の授業はオンラインで行う。それ以降の授業や成績評価の実施方法についてはGoogle Classroomを用いて連絡するため、履修者は各自確認すること。

Google classroomのクラスコード
「tkqjhom」

【授業の内容・方法】資料配布形式を中心とする。
【進度予定】
第1回ガイダンス
第2回主成分分析
第3回判別分析
第4回バスケット分析
第5回セグメンテーション
第6回統計的モデリング１
第7回統計的モデリング２
第8回統計的モデリング３
第9回因子分析
第10回共分散構造分析
第11回ブランド選択モデル１
第12回ブランド選択モデル２
第13回ブランド選択モデル３
第14回ブランド選択モデル４
第15回ブランド選択モデル５

This is a lecture-centered course.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

日本語

6．成績評価方法/Evaluation method：

Covid-19感染対策のための教室利用人数の制限や2022年3月16日に発生した地震に起因する教室利用制限によって理解度確認セッションを実施できるかどうかが不透明である。そのため成績評価の方法については初回の講義時に詳細を伝える。

7．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
復習に注力してもらいたい

１０．その他/In addition：
【履修の条件】大学院レベルの微積分学と線形代数と統計学の知識
【連絡先】ｉｓｇｋ＠ｔｏｈｏｋｕ．ａｃ．ｊｐ
【オフィスアワー】随時。ただし、上記アドレスへ連絡し予約を取ること

アジア経済論特論/Asian Economy

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO612J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom: aiuhcj6

目的：開発経済学の視角から中国経済を理解する。
概要：いくつかの論点に焦点をあて、現代中国経済を考察する。関連する開発経済学の基本分析ツールにも触れる。

The Object of this class is to understand Chinese economy from the perspective of development economics.
The summary of this class is to provide an overview of moder Chinese economy, focusing on several topics. Basic analytical tools related to the topics are also taught.

２．学修の到達目標/Goal of study：
一つは授業で説明した開発経済学の基本ツールを理解していること。もう一つはそれらの基本ツールを中国に適用した場合、中国の発展経験のなにが比較的うまく理解でき、逆になにがうまく説明がつかないのかを知ることである。

There are two goals of study. One is to understand the basic analytical tools of development economics explained in the class. The other is to know what the development experience of China is relatively well understood and vice versa when applying those basic tools to China.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
1.授業内容と方法：関連する開発経済学の基本分析ツールに触れながら、以下の７つの問題に焦点をあてて考察する。①発展の初期条件、歴史・文化が発展に与えた影響、②成長の軌跡、生産要素の蓄積と生産性、③発展の転換点、④外向型発展、⑤貧困と不平等、⑥人口と経済発展、⑦その他。教科書と補助資料に基づいた講義形式。

1. Contents of the class: While explaining the related analytical tools of development economics, I will focus on the following seven topics of the modern Chinese economy. (1) Initial conditions of development, impact of history and culture on development, (2) Growth trajectory, (3) Turning points of development, (4) Outward development, (5) Poverty and inequality, (6) Demographic factors and development, ⑦ Other topics. The lecture is based on the textbooks and supplementary materials.

２．進度予定
（１）クラスオリエンテーション
（２）初期条件と歴史的文化的特性
（３）経済成長の軌跡Ⅰ
（４）経済成長の軌跡Ⅱ
（５）転換点Ⅰ
（６）転換点Ⅱ
（７）外向型発展Ⅰ
（８）外向型発展Ⅱ
（９）貧困と不平等Ⅰ
（１０）貧困と不平等Ⅱ
（１１）人口と経済発展Ⅰ
（１２）人口と経済発展Ⅱ
（１３）環境クズネッツ曲線と中国の環境問題
（１４）その他（市場と政府、中国の開発経験をどうみるか）
（１５）理解度確認セッション

2. Scedule of the class
（1）class orientation、
（2）the initial condition of development, the impact of tradition and culture on development
（3）Growth trajectory Ⅰ
（4）Growth trajectory Ⅱ
（5）Turning point of economic development Ⅰ
（6）Turning point of economic development Ⅱ
（7）Outward development Ⅰ
（8）Outward development Ⅱ
（9）Poverty and inequality Ⅰ
（１０）Poverty and inequality Ⅱ
（１１）Demographic factors of economic development Ⅰ
（１２） Demographic factors of economic development Ⅱ
（１３）Environmental Kuznets curve and China's environmental problem
（１４）Other topics such as market and government in China's economic development

（１５）Examination

授業内容と進度予定は若干変更される可能性がある。
The contents and the schedule of this class may be slightly changed.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語　Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
課題 50%、試験 50%で評価する。

Homeworks (including Term paper(s)) 50% and final examination 50%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

開発経済学と現代中国	中兼和津次	名古屋大学出版会	2012	978-4-8158-0710-8	教科書
Development Economics	Alain de Janvry and Elisabeth Sadoulet	Routlege	2021	98-0-367-45647-4	参考書
The Chinese Economy	Barry Naughton	MIT press	2016	978-0-262-53479-6	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
開講形式は対面形式で行う。ただし新型コロナの流行状況に応じて、オンライン形式に変更される可能性がある。最新状況は Google classroom で確認すること。クラスコードは aiuhcj6 である。

It is possible that this class will be held on line, depending on the situation of COVID19. Please see Google Classroom of this class. The class code is aiuhcj6 .

地域計画特論/Regional Planning

担当教員/Instructor：増田　聡/SATORU MASUDA
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ６講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO614J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

本年度の経済学研究科・地域計画特論（経済学部・地域計画特殊講義）は、「都市・地域計画」及び関連領域の理論と実践に関するテキストを複数取り上げ、批判的に輪講する。この分野は、建築･土木･造園等の物的計画（Physical Planning）に基礎を置くものから、観光学、行政学や政策科学、社会学、地域経済学、福祉政策的視点で研究されたものまで多様なアプローチが存在している。今回は、受講生の専門領域や関心の所在に応じてテキストを選択し、比較検討の対象としたい。さらに、現実の実践例についても適宜紹介してもらう予定であるが、講義開始当初は、以下の文献から輪講を始めたい。

・宇都宮浄人・多田実編著（2022)『まちづくりの統計学：政策づくりのためのデータの見方・使い方』、学芸出版社

本講義は、 Google Classroom：ma2qiuw を通じて、核種連絡や資料配付・課題提示を行う。
学部講義［EB433］地域計画特殊講義でも、上位と同じ Classroom を利用する（2yxfeoe は利用しない)、

This year's Regional Planning Special Lectures will feature several textbooks on "urban and regional planning" and related topics. This field is mainly based on the physical planning of architecture, civil engineering, landscaping, and also has various connections with tourism, administration and policy science, sociology, regional economics, and welfare policy. The selection of textbooks should be based on the student's area of specialization and interest.

２．学修の到達目標/Goal of study：

・都市計画・地域開発・まちづくり・地域デザイン等に関わる多様な論点と、その理論的背景を理解する
・計画実践例の展開過程を追い、計画・実施組織や方法論の特徴を、地域いぇきぶんみゃくの中で把握する
・上記の理論化と政策立案・施策実施との関係性を理解する

・ Understand various issues and theoretical backgrounds of city planning, regional development, community organization, regional design, and so on.
・ Follow the developing process of some plans, and grasp the characteristics of the planing institution and methodologies in a regional contexts.
・ Understand the relationship between the planning theory and practice.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

〇講義方法

下記の参考文献欄に示したものの他、参加者からの提案も踏まえて、初回に教科書・参考書の候補を持ち寄り、その中から選定する。各回の講義は、報告者と討論者を中心とする輪講形式で行う。報告者は文献内容の要約紹介を、討論者は内容に対するコメントと関連事例の報告をそれぞれ担当する。各回の報告担当は第２回講義開講時に決定し、報告者は発表の前週にレジメを、討論者は当日コメントを準備しておくこと。レジメ作成では、地図・統計表・その他関連資料を自ら発掘し添付することが望ましい。

〇進捗予定
・第１回　ガイダンス・テキスト選択
・第２回　参加者の研究テーマ紹介と作業分担
・第3～13回　報告と討論（毎回二人程度)
・第14,15回　総括

〇 Lecture style

In addition to those texts listed in the reference below, based on the suggestions of participants, we select textbooks at the beginning of the course. Each session will be held in a round-table manner centered on the reporter and debaters. The reporter is responsible for summarizing the contents of the literature, and the debaters are responsible for commenting on the contents and introducing supplemental cases. It is desirable to find and attach maps, statistical tables, and other related materials.

〇 Schedule
・ 1st session: Guidance and text selection
・ 2nd: Introduction of participants' research topics and work sharing
・ 3rd to 13th: Reports and discussions (about 2 people each time)
・ 14th and 15th: Review and summary

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：

平常の報告・討論（講義への貢献50%）と、レポート（学期末他50%）により評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

まちづくりの統計学	宇都宮浄人・多田実編	学芸出版社	2022	978-4761528065	教科書
地域データ分析入門	林宜嗣・林亮輔 編著	日本評論社	2022	978-4535559479	参考書
地域問題をどう解決するのか：地域開発政策概論	小田清	日本経済評論社	2013	978-4818823013	
産業政策のつくり方	大野健一	有斐閣	2013	978-4641164185	
地域再生の失敗学	飯田・木下・川崎・入山ほか	光文社新書	2016	978-4334039158	
都市縮小時代の土地利用計画：多様な都市空間創出へ向けた課題と対応策	浅野・海道・中西・秋田ほか	学芸出版社	2017	978-4761540920	
都市をつくりかえるしくみ	門性をつなぐ参画のしくみ研究会編	彰国社	2016	978-4395320813	
まちづくりとしての地域包括ケアシステム：持続可能な地域共生社会をめざして	辻哲夫・田城孝雄・内田要編	東京大学出版会	2017	978-4130511421	
災害復興法学	岡本正	慶応義塾大学出版会	2014	978-4766421637	
復興の空間経済学：人口減少時代の地域再生	藤田昌久・浜口伸明・亀山嘉大	日本経済新聞	2018	978-4532134785	

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

・報告者は担当箇所を要約し、発表前週の講義修了時にレジメを印刷・配布すること。
・討論者は前週に配られたレジメを予習し、コメント等を準備しておくこと。
・他の参加者は、レジメ読了の上、講義に参加すること。

〇その他の参考図書
・日本建築学会編（2004～）『まちづくりの方法』まちづくり教科書シリーズ 1～10、丸善
・日本建築学会編（2014）『コンパクト建築設計資料集成：都市再生』、丸善
・伊藤智章　(2016)『地図化すると世の中が見えてくる』、ベレ出版
・Adam Sheppard

１０．その他/In addition：

特に履修の条件はない。オフィスアワーは相談の上決定する。講義内容や文献等に関して質問がある場合は、事前にメール（s.masuda@tohoku.ac.jp）で連絡の上、研究室（川内南・経済学研究棟 513 号室）まで。

経営戦略特論/Management Strategy

担当教員/Instructor：山﨑　喜代宏/KIYOHIRO YAMAZAKI
曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 ５講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN603J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本講義では、経営戦略の体系的な理論や概念を理解するとともに、具体的な産業や企業の取り組みとの関連について検討することを通じて、企業の戦略的行動を理解する能力を養う。
In this course, students will learn and understand the theory of strategy with several management issues.

２．学修の到達目標/Goal of study：
受講生が、この授業を通して経営戦略の概念を理解し、産業や企業に対してさらに深い興味を持つようになり、経営戦略について考察する力を持てるようになることが到達目標である。
This course is designed to help students understand the concept of strategic management and deepen their interest in industries and firms, with the hope that they will analyze the management issues in the viewpoints of strategy by themselves.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
内容及び進度予定は以下のとおりであるが、状況によって内容を変更する場合もある。
The contents and schedule are as shown below, but subject to change depending on some circumstances.

Google Classroom のクラスコード [itm3mlh]

講義は対面で行う。なお状況により、オンライン講義になる可能性がある。

教科書をベースに講義を進める予定である。
割り振られた担当章について、受講者は、内容を説明し、他の受講者と行うディスカッションテーマを提示する。
その他の受講者は、教科書を読むなど事前に予習を行い、内容の要旨、質問・疑問やディスカッションしたい事柄をまとめ、講義ごと提出する。
また、講義で学んだ内容を活用して事例分析発表を複数回行う。

1. ガイダンス
2. 1章：戦略経営と戦略的競争力
3. 2章①：外部環境分析・業界構造分析
4. 2章②：発表：業界構造分析
5. 3章：内部組織
6. 4章①：事業戦略
7. 4章②：発表：事業戦略
8. 5章：敵対的競合関係と競争のダイナミクス
9. 6章①：企業戦略
10. 6章②：発表：企業戦略
11. 7章：企業合併と買収戦略
12. 8章：国際戦略
13. 9章：協調戦略
14. 発表：経営戦略分析
15. まとめ

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
講義での発表、提出物、講義への貢献などを総合して評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

改訂新版	戦略経営論	ヒット・アイルランド・ホスキソン	同友館	2014	4496050773	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
事前学習：学習予定の理論と具体的事例の理解
事後学習：学習した理論的枠組みの実践への応用

１０．その他/In addition：

経営学原理特論/Management

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN608J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営学における理論構築のパースペクティブについてテキスト読解を通じて学ぶ。近年の経営戦略論において展開された、行為者の動機の間主観的な理解とその相互行為プロセスの記述を行う行為論的アプローチについて検討し、客観的な法則定立をめざす実証主義的アプローチとの比較を行う。

This lecture will let you learn the perspectives how to construct any management theory through exploring academic text books. We would like to compare positivism approach for establishing objective laws with behaviorism approach for understanding inter-subjective motivations in relevant actors.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経営学の理論構築における方法論的立場について理解を深める。またこの学習を通じて、自らが研究上、依拠する方法論的前提について自覚的になれるような研究センスを養う。

This class will provide you with profound insights into the methodology of constructing management theories and inspire the research senses through which you can acknowledge your own methodological assumptions.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
下記テキストを各章ごとに批判的に読み進める。受講生は各章のトピックスについて課題提起のコメント・ペーパーを毎回作成し、提出する。発表者については随時、指名する。
（１）経営学的思考法とは何か
（２）経営戦略論における変数システム記述と行為システム記述
（３）事例研究 － 行為連鎖と＜意図せざる結果＞によるモデル化

基本的に教室開講（対面授業）としますが、希望者がいればオンライン（zoom）も併用します。
（本学 BCP レベル等によりオンラインのみとなる可能性もあります）
Google Classroom を通じて資料配布等を行います。
クラスコード：n54dv54

This lecture include the following contents: what is the thinking methodology of management study, the comparison between description of variables-system and one of actions-system in research of business strategy and case studies as modeling the unintended effect of the chains of actions.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
ペーパー及び最終課題の提出状況や分析レベル、討議に対する貢献度などに応じて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

行為の経営学- 経営学における意図せざる結果の探究	沼上幹	白桃書房	2000	教科書
マーケティング・リフレーミング	栗木契ほか編	有斐閣	2012	教科書
企業と市場と観察者	水越康介	有斐閣	2011	参考書
マーケティング思考の可能性	石井淳蔵	岩波書店	2012	参考書
ビジネス・インサイト―創造の知とは何か	石井淳蔵	岩波新書	2009	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
参考事例）リクルート Works 連載シリーズ「成功の本質」（監修／野中郁次郎）
https://www.works-i.com/works/series/seikou.html

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
テキストの各章につきコメント・ペーパーの作成を通じて予習してもらいたい。また討議で得た他の受講生からのフィードバ

ックを振り返ることで事後の復習に役立ててもらいたい。

１０．その他/In addition：
本講義のテーマへの関心が多少ともあり、邦語文献読解の能力をある程度有し、また他者とのディスカッションを厭わないことが履修の前提条件である。学部研究生の聴講は認めない。
【連絡先】http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~takaura/
【オフィスアワー】木曜３講時（経済学研究科棟６階601）

日本経済史特論/Japanese Economic History

担当教員/Instructor：長谷部　弘/HIROSHI HASEBE
曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 ４講時.前期 火曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO616J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
この授業の目的は、1850年代から1910年代にかけて日本の経済社会が辿った工業化の歴史過程を辿りながら、その歴史的な特徴を確認することである。授業では、旧社会の経済的特徴、地政学的条件、明治維新、初期財政金融および経済政策、産業発展、都市や農村の社会変動といった諸論点を取り上げ、歴史学的な検討と解釈を試みる。
The purpose of this class is to trace the historical process of industrialization that the Japanese economy and society followed from the 1850s to the 1910s, and to confirm its historical characteristics. In the class, we will try to examine and interpret historical issues such as economic characteristics of old society, geopolitical conditions, Meiji Restoration, initial fiscal finance and economic policy, industrial development, and social changes in urban and rural society.

２．学修の到達目標/Goal of study：
学修の到達目標は、学生諸君に、当該時期の日本の経済社会が持つ歴史的性格について、社会経済史的な専門的知見を獲得してもらうことである。
The goal of this study is to have students acquire specialized knowledge of socio-economic history about the historical character of the Japanese economy and society at that time.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
当面、Google Meetによるオンライン形式で授業を行う。条件が整えば、極力対面方式に切り替える。
Googleクラスルームコード：jfb7zsd
For the time being, classes will be conducted online by Google Meet. If the conditions are met, switch to the face-to-face method as much as possible. Google Classroom Code: jfb7zsd

1.授業案内
Class Guidance
2.「明治維新」の現代的意義
Significance of "Meiji Restoration"
3幕末・維新期日本の「庶民」
Ordinary people in Japan during the Edo period
4.徳川時代日本の社会体制について
About the Tokugawa Regime
5.徳川時代日本の都市
Urban society in the Tokugawa Japan
6.徳川時代日本の農村
Rural society in the Tokugawa Japan
7.徳川時代日本の市場経済
System of Market economy in the Tokugawa Japan
8.国家制度の「近代化」
"Modernization" of the state system
9. 通貨制度と金融制度の「近代化」
"Modernization" of the monetary system and financial system
10.初期工業化の課題
Tasks of the early industrialization
11工業化1：綿糸紡績業
Development of Cotton spinning Industry
12.工業化2：製糸業
Development of Silk Industry
13.都市化と労働力市場
Urbanization and Labor Market
14.近代日本と帝国主義戦争
Imperialist Wars of Japan, the Japan-China War and the Japan-Russo War.
15.日本の近代化の光と影
What is the modernization of Japan?

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語と英語（基本的に日本語）
Japanese and English, basically Japanese.

６．成績評価方法/Evaluation method：
授業時に課す小レポートおよび学期末に課す最終レポートによって成績を評価する

Grades are evaluated by a small report imposed at the time of class and a final report imposed at the end of the semester..

７．教科書および参考書/Textbook and references：
授業時に指示する

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
授業時に指示された参考書等の一読を推奨する。
It is recommended to read the reference books instructed in the class.

１０．その他/In addition：
講義内容に関する情報ないし資料は授業時に配付する。
Information and data will be distributed at the each class.

この授業は当面オンラインで実施するので、「講義情報」を確認して参加すること。
This class will be held online, so please check the lecture information before participating.

財務会計論特論/Financial Accounting

担当教員/Instructor：尾関　規正/NORIMASA OZEKI
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC501J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
※ 本科目は会計大学院の科目との共通科目であり、片平キャンパス（エクステンション教育研究棟）で開講される。講義内容については下記の会計大学院のシラバスの「財務会計の理論と実証」のページを参照せよ。

※This is the common subject with the accounting school in Katahira Campus, for the details, please refer to the "財務会計の理論と実証" from the folloing syllabus of the accounting school.

(http://www.econ.tohoku.ac.jp/econ/kaikei/education_and_research/syllabus/)

２．学修の到達目標/Goal of study：

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

管理会計論特論/Management Accounting

担当教員/Instructor：松田　康弘/YASUHIRO MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 １講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC502J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
※ 本科目は会計大学院の科目との共通科目であり、片平キャンパス（エクステンション教育研究棟）で開講される。講義内容については下記の会計大学院のシラバスの「管理会計１」のページを参照せよ。

※This is the common subject with the accounting school in Katahira Campus, for the details, please refer to the ″管理会計１″ from the folloing syllabus of the accounting school.

(http://www.econ.tohoku.ac.jp/econ/kaikei/education_and_research/syllabus/)

２．学修の到達目標/Goal of study：

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:″○″Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

会計情報論特論/Accounting Information

担当教員/Instructor：木村　史彦/FUMIHIKO KIMURA
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC601J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
※ 本科目は会計大学院の科目との共通科目であり、片平キャンパス（エクステンション教育研究棟）で開講される。講義内容については下記の会計大学院のシラバスの「財務諸表分析」のページを参照せよ。

※This is the common subject with the accounting school in Katahira Campus, for the details, please refer to the "財務諸表分析" from the folloing syllabus of the accounting school.

(http://www.econ.tohoku.ac.jp/econ/kaikei/education_and_research/syllabus/)

２．学修の到達目標/Goal of study：

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

コストマネジメント特論/Cost Management

担当教員/Instructor：松田　康弘/YASUHIRO MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC602J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
※ 本科目は会計大学院の科目との共通科目であり、片平キャンパス（エクステンション教育研究棟）で開講される。講義内容については下記の会計大学院のシラバスの「管理会計２」のページを参照せよ。

※This is the common subject with the accounting school in Katahira Campus, for the details, please refer to the "管理会計２" from the folloing syllabus of the accounting school.

(http://www.econ.tohoku.ac.jp/econ/kaikei/education_and_research/syllabus/)

２．学修の到達目標/Goal of study：

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

監査論特論/Auditing

担当教員/Instructor：亀岡　恵理子/ERIKO KAMEOKA
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC603J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
※ 本科目は会計大学院の科目との共通科目であり、片平キャンパス（エクステンション教育研究棟）で開講される。講義内容については下記の会計大学院のシラバスの「監査１」のページを参照せよ。

※This is the common subject with the accounting school in Katahira Campus, for the details, please refer to the "監査１" from the folloing syllabus of the accounting school.

(http://www.econ.tohoku.ac.jp/econ/kaikei/education_and_research/syllabus/)

２．学修の到達目標/Goal of study：

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

財務報告論特論/Financial Reporting

担当教員/Instructor：木村　史彦/FUMIHIKO KIMURA
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ７講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC604J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
※ 本科目は会計大学院の科目との共通科目であり、片平キャンパス（エクステンション教育研究棟）で開講される。講義内容については下記の会計大学院のシラバスの「企業評価」のページを参照せよ。

※This is the common subject with the accounting school in Katahira Campus, for the details, please refer to the "企業評価" from the folloing syllabus of the accounting school.

(http://www.econ.tohoku.ac.jp/econ/kaikei/education_and_research/syllabus/)

２．学修の到達目標/Goal of study：

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Political Economy_政治経済学特論/Political Economy

担当教員/Instructor：守　健二.黒瀬　一弘/KENJI MORI, KAZUHIRO KUROSE
曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 1講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO508E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

The purpose of this course is to provide students with the basic theories of Marxian and other non-mainstream economics by using mathematical methods.

The course not only provides different explanation concerning the same phenomena (e.g. positiveness of prices) from the mainstream economics but also deals with the phenomena which are not explained in the orthodox textbooks.

Given the tendency that unequal distribution of income and wealth is growing all over the world, Marxian as well as other non-mainstream economics are recently revisited. Due to this course, it is expected that the different ways of thinking about capitalist economies from the mainstream are possible.

2．学修の到達目標/Goal of study：

This course has an ambitious goal of acquiring such knowledge and skills as follows:
1) basic properties of linear economic models
2) understanding of alternative ways in order to theorise capitalism by using the models
3) value, prices, and choice of technique, and the paradox of capital theory
4) economic growth based on a simple two-class economy

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

This course is divided into two parts, the first of which is charged by Prof. Mori and the second of which is by Prof. Kurose. The first part deals with the Classical-Marxian value and price; the contents are given as follows:

1) Input-Output Analysis
2) Labor theory of value
3) Price of production
4) Hawkins-Simon condition
5) Sraffian price theory
6) Perron-Frobenius theorem

On the basis of the first part, the second one deals with the choice of technique, income distribution, paradox of capital theory, and economic growth models, and argues the relevance of these models. The contents of the second part are given as follows:

1) Leontief production model with multiple alternative techniques
2) Capital paradox
3) Growth and distribution in a two-class economy

The lecture-notes and other material are uploaded to Google classroom, the code of which is given as follows:

zd2cf6v.

How to give the lecture (in-person or online) has not been determined yet. It will be determined at the end of September, depending on the infection status of Covid-19, the situation of students, and the number of registered students. All information on this class will be given on Google classroom. Thus, please register for Google classroom if you wish to take this class.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

English

6．成績評価方法/Evaluation method：

The first part charged by Prof. Mori: Homework (70%)+Examination (30%)

The second part charged by Prof. Kurose: Homework (30%)+Examination. (70%)

7．教科書および参考書/Textbook and references：

Radical Political Economy	Robin Hahnel	Routledge	2017
Equilibrium, Stability and Growth	Michio Morishima	Clarendon Press	1964
Marx's Economics	Michio Morishima	Cambiridge University Press	1973
Theory of Production	H. Kurz and N.	Cambiridge	1995

	Salvadori	University Press	
The Economics of Input-Output Analysis	Thijs ten Raa	Cambiridge University Press	2005
Lectures on the Theory of Production	Luigi L. Pasinetti	Columbia University Press	1977
Theory of Economic Growth	Michio Morishima	Clarendon Press	1969
Capital Theory and Dynamics	Edwin Burmeister	Cambiridge University Press	1981
Capital I～Ⅲ	K, Marx	Foreign Languages Publishing House	1954-1959
The Theory of Accumulation: A Marxian Approach to the Dynamics of Capitalist Economy	Nobuo Okishio	Springer	2022

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Sufficient preparation and review are necessary.

１０．その他/In addition：
Basic knowledge of linear algebra is prerequsite.

Innovation Management_イノベ・マネ特論/Innovation Management

担当教員/Instructor：酒井　健/KEN SAKAI
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN502E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

This course will be held on-demand for (mainly foreign) students' convenience. If it is necessary to change, I will update it via Google Classroom.

I will upload the new videos by each Monday noon on Google classroom. Please note whether you are a graduate school student or an undergraduate student, regarding Google Classroom, we will use [EM0403]. The class code is dlv66lf. Every week, please watch the videos via Google Classroom on your demand. However, please don't delay the watch because the videos and the relevant files will be deleted within about one week from uploading.

In current society, innovation is a pretty popular concept. Many people would often face the term innovation in their daily life. However, what does innovation mean? Does it have almost the same meaning as an invention? If so, should we consider it as a "natural scientific" activity implemented by people putting with a white coat at a laboratory? Indeed, we must avoid such a simplified view of innovation. Natural scientific elements are no more than a part of innovation. Innovation includes quite a few socio-cultural, and often political, aspects. In this course, students who are interested in management as social science learn the latter, which is the socio-cultural and political aspects of innovation.

2．学修の到達目標/Goal of study：

This course is designed to help students understand innovations' essential characteristics and critical mechanisms.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Students understand innovation through interactions between theories and actual cases. Reading the designated literature deeply contributes to establishing theoretical frameworks for analyzing innovations. Besides, through observing the cases (mainly videos) on innovations from these theoretical perspectives, students deepen their comprehension of innovation.

1st day: Oct. 3. Introduction to innovation management
2nd day: Oct. 10 Creation of innovations
3rd day: Oct. 17 Creation of innovations
4th day: Oct. 24 Creation of innovations
5th day: Oct. 31 Innovations, strategies, and organizations
6th day: Nov. 7 Innovations, strategies, and organizations
7th day: Nov. 14 Innovations, strategies, and organizations
8th day: Nov. 21 Innovations, strategies, and organizations
9th day: Nov. 28 Interactions of innovations and society
10th day: Dec. 5 Existing companies' failures
11th day: Dec. 12 Existing companies' failures
12th day: Dec. 19 How should we avoid the various traps of innovation?
13th day: Dec. 26 How should we avoid the various traps of innovation?
14th day: Jan. 16 How should we avoid the various traps of innovation?
15th day: Jan. 23 Conclusion

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

English

6．成績評価方法/Evaluation method：

The grade will be evaluated as the reflection papers (5% * 8times = 40%) and the final report (60%).

First, after watching each lecture video, you must write very short (approximately within 200words) reflection papers through Google Form as soon as p

7．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The students need to read the relevant literature, which are are designated and assigned beforehand, before every class.

１０．その他/In addition：
This syllabus contains provisional contents. Students can get a fixed and detailed version on the first day of this course.

Adv EconometricsⅠ_上級計量経済学特論Ⅰ/Advanced Econometrics Ⅰ

担当教員/Instructor：ＫＯ　ＩＡＴ　ＭＥＮＧ/KO IAT MENG
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO512E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

This course is one-semester advanced level econometrics. The prerequisites are Econometrics I and II. This course should be regarded as the entry level econometrics course for PhD program. Students are required to complete the two courses before enrolling in this one. In this course, we will study econometrics in greater depth with both old topics (such as linear regression) and new topics (such as panel data model). Mathematical tools, for example, vector and matrix, are extensively used in deriving estimations and inferences. Random sample (independence) is assumed in most of the topics. Dependent sample will be covered in Advanced Econometrics II. The R program will be used and taught in this course.

2．学修の到達目標/Goal of study：

The students are expected to have a much deeper understanding of modern econometrics. The topics covered in this course are essential for rigorous economic research either empirically or theoretically.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Conditional Expectation and Projection (Hansen Chapter 2 & 3; Hong Chapter 2; Wooldridge Chapter 2)
- Conditional Expectation
- Best predictor under MSE criteria
- Linear projection and Least Squares Estimator
- Correct model specification

Single-Equation Linear Model (Hansen Chapter 4-7, 9; Hong Chapter 3-4; Wooldridge Chapter 3-4)
- Classical linear regression models: OLS and MLE
- Large sample linear regression models: OLS and Method of Moment
- Hypothesis testing

Single-Equation Linear Model with Instrumental Variables Estimation (Hansen Chapter 12 & 13; Wooldridge Chapter 5)
- Generalized method of moment under i.i.d.
- Two-stage least squares estimation

Multiple-Equation Model (Hansen Chapter 11; Wooldridge Chapter 7)
- Seemingly Unrelated Regressions: OLS and GLS

Linear Unobserved Effects Panel Data Models (Hansen Section 17.1-17.27; Wooldridge Chapter 10)
- FD, FE, RE methods

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

English

6．成績評価方法/Evaluation method：

Assignments (40%)
Mid-term exam (30%)
Final exam (30%)

7．教科書および参考書/Textbook and references：

Econometrics	Hansen, Bruce E.		2022
Foundations of Modern Econometrics: A Unified Approach	Hong, Yongmiao	World Scientific Pub Co.	2020
Econometric Analysis of Cross Section and Panel Data	Wooldridge, Jeffrey M.	MIT Press.	2002

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google Classroom: uescv3f

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
Lecture slides will be distributed. No single textbook will be exactly followed. Selected chapters from different textbooks will be listed as reading materials.

Hansen, Bruce E. (2022). Econometrics. (The author generously provides the electronic version on his homepage: https://www.ssc.wisc.edu/~bhansen/econometrics/)

Adv Econometrics Ⅱ_上級計量経済学特論Ⅱ/Advanced Econometrics II

担当教員/Instructor：ＫＯ　ＩＡＴ　ＭＥＮＧ/KO IAT MENG
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO513E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

This course is one-semester advanced level econometrics. The prerequisites are Econometrics I, II, and Advanced Econometrics I. This course should be regarded as the second PhD level econometrics course and will cover various asymptotic theories, with an emphasis in dependent samples Time series econometric models will be covered. The Matlab and R programs will be used and taught in this course.

２．学修の到達目標/Goal of study：

The students are expected to have a much deeper understanding of modern econometrics. The topics covered in this course are essential for rigorous economic research either empirically or theoretically.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Asymptotic Theory with Dependent Sample (Hayashi Chapter 2; Hansen Chapter 14; Hong Chapter 5
- Stationary and Ergodicity
- Martingale and Martingale Difference
- WLLN and CLT for ergodic time series

Linear Time Series Regression Models (Hansen Chapter 14; Hong Chapter 5)
- Static, (Autoregressive) Distributed Lag
- Granger Causality

ARMA Linear Processes & GARCH (Hamilton Chapter 3-5, 21; Hansen Chapter 14; Hayashi Chapter 6; Hong Chapter 9)
- Wold decomposition
- GARCH
- MLE & QMLE

Dynamic Panel Data Model (Hayashi Chapter 3; Hansen Section 17.36-17.42)
- Generalized method of moment
- Anderson-Hsiao, Arellano-Bond
- Blundell-Bond

VAR Model (Hamilton Chapter 11; Hansen Chapter 15)

Unit-Root Econometrics (Hamilton Chapter 17; Hansen Chapter 16; Hayashi Chapter 9)
- Functional CLT
- Unit root test

Cointegration (Hamilton Chapter 19; Hansen Chapter 16; Hayashi Chapter 10)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

Assignments (40%)
Mid-term exam (30%)
Final exam (30%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Time Series Analysis	Hamilton, James D.	Princeton University Press	1994
Econometrics	Hansen, Bruce E.		2022
Econometrics	Hayashi, Fumio	Princeton University Press	2000
Foundations of Modern Econometrics: A Unified Approach	Hong, Yongmiao	World Scientific Pub Co	2020

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google Classroom: uuljpnc

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
Lecture slides will be distributed. No single textbook will be exactly followed. Selected chapters from different textbooks will be listed as reading materials.

Hansen, Bruce E. (2022). Econometrics. (The author generously provides the electronic version on his homepage: https://www.ssc.wisc.edu/~bhansen/econometrics/)

Monetary Economics_金融論特論/International Finance

担当教員/Instructor：浅野　康司/KOJI ASANO
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO601E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This course is designed to introduce students to theories of corporate finance, financial intermediation, and financial markets, with an emphasis on the impact of financial frictions on macroeconomic outcomes.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students will understand a theoretical treatment of major topics in corporate finance, financial intermediation, and financial markets.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
This is an outline of the topics I will cover in the course.

1 Course introduction
2 Borrowing constraints and the net worth channel
3 Financial accelerator
4 Capital structure: Incentives and information
5 Financial contracting
6 Corporate control
7 Financial intermediation and the credit crunch
8 Corporate liquidity management, aggregate liquidity shortages, and liquidity premium
9 Consumer liquidity demand, maturity mismatch, and bank runs
10 The information view of debt and financial crises
11 Fire sales, deleveraging, and the asset market feedback
12 Endogenous margins and the leverage cycle
13 Bubbles
14 Understanding financial crises
15 Course summary

Information on the course will be provided via Google Classroom: the class code is aiksv4p.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Class participation and take-home exam

７．教科書および参考書/Textbook and references：

The Theory of Corporate Finance	Tirole, J.	Princeton University Press	2006
Microeconomics of Banking	Freixas, X. and Rochet, J.-C.	The MIT Press	2008
Contract Theory	Bolton, P. and Dewatripont, M.	The MIT Press	2005

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students are expected to read in advance the paper we are going to discuss in class.

１０．その他/In addition：
Students must have knowledge of the intermediate level of microeconomics and macroeconomics.

International Economics_国際経済特論/International Economics

担当教員/Instructor：永易　淳/JUN NAGAYASU
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO603E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
To understand better international economic issues, students will be presented with economic theories and methodological approaches often used in previous studies.

２．学修の到達目標/Goal of study：
After taking this class, students are expected to understand relevant articles recently published in academic journals and are able to initiate their own research. .

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
This course will cover fundamental economic and statistical theories that are often used in academic research related to international economics and can be used when writing master’s theses.

1) Introduction to economic theories
2) Purchasing power parity theorem
3) Interest parity conditions
4) Other topics

5) Introduction to statistical theories
6) Maximum likelihood
7) Unit root/cointegration
8) Vector autoregression model
9) Other topics

The teaching method depends on the pandemic situation. In any case, please join the live-online class on the first day; I shall inform you of class details during the introduction.

Google Classroom: https://classroom.google.com/c/NDU5NTM3OTYwMDcy?cjc=ebnbh2t
Google Meet: https://meet.google.com/qug-qnnv-dgf
Please use your university email to join Google facilities.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Homework and/or Tests

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Exchange Rates and International Finance	Copeland, Laurence	Pearson	2014
Introduction to Econometrics	Koop, Gary	John Wiley & Sons	2008
Applied Econometric Time Series	Enders, Walter	John Wiley & Sons	2014
Time Series Analysis	Hamilton, James	Princeton Univ Press	1994
Econometric Analysis	Green, William H	Pearson Education	2011

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://sites.google.com/site/nagayasuj/home

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Home work + reading the textbooks and suggested academic articles in order to understand better the lecture.

１０．その他/In addition：

Prerequisite： basic micro & macroeconomic theory, math, statistics, English proficiency
Please take this class if you wish to write a thesis or conduct a project under my supervision.

Health Economics_医療経済特論/Health Economics

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO608E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

This class provides the theoretical backgrounds of major topics in health economics at the master level after quickly introducing those of the undergraduate level.

This class also provides basic causal inference and microeconometrics methods used in recent health economics studies.

２．学修の到達目標/Goal of study：

The goals of study of this class are:
(1) To learn basic and constructive economic knowledge to analyze the current health policies and the problems of health systems in order to provide the "evidence-based health policy".
(2) To be able to understand leading-edge studies in health economics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

This lecture will be given as an online lecture (on demand) regardless of BCP level.
The schedule of this course is as follows:

#01 Guidance and an overview of health economics/ Ordinary least squares
#02 Health capital (Theory)
#03 Health capital (Econometrics 1)
#04 Health capital (Econometrics 2)
#05 Health insurance (Theory 1)
#06 Health insurance (Theory 2)
#07 Causal inference
#08 Health insurance (Econometrics)
#09 Supplier-induced demand (Theory)
#10 Supplier-induced demand (Econometrics)
#11 Supply of medical services (Theory)
#12 Supply of medical services (Econometrics)
#13 Recent hot issue in health economics (1) (Theory & Econometrics)
#14 Recent hot issue in health economics (2) (Theory & Econometrics)
#15 Summary

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

Several times take-home examinations (100%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Health Economics	P.Zweifel, et al.	Springer	2009	978-3-540-27804-7	Text
Introduction to Econometrics	JH Stock & MW Watson	Pearson Education	2019	978-1292264455	Reference

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

Students need to download and check the lecture notes in advance and also review the topics after the class.
The code of Google Classroom for this lecture is "jowsei7"

１０．その他/In addition：

I presuppose that students have already gained the knowledge of microeconomics, macroeconomics, and econometrics at the undergraduate level. Specifically, 中級ミクロ経済学・中級マクロ経済学・中級計量経済学・Microeconomics Ⅰ & Ⅱ・Macroeconomics Ⅰ & Ⅱ・Econometrics Ⅰ & Ⅱ。
I will provide other annoucement of this lecture, especially contents & evaluation, only for the students of the Advanced Graduate Program for Future Medicine and Health Care (未来型医療創造卓越大学院プログラム) and those of the CAMPUS Asia Plus course (歯学研究科の世界展開力大学院コース).

Regional Enterprises_地域企業論特論/Regional Enterprises

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 ６講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN606E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The purpose of the course is for students to understand features of Japanese businesses, especially focusing on SMEs and Regional Enterprises (REs) and their surroundings. In addition, related theories and concepts are introduced showing examples.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The students are required as follows; (1)to understand the situations of REs and SMEs in Japan, (2)to understand basic management theories and concepts, (3)to compare between the SMEs and REs in Japan and those in their own countries, (4)to think how to apply what they have learned to their own countries' SMEs and REs cases.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・This class is an on-demand type class. Students access Google Classroom, watch a video, read materials, and do the assignment and submit it to Google classroom.
・We have online meetings for Q&A Time (April 15, May 6, May 27, June 17, July 1, June 22) on Friday from 18:00.
・Students have to submit a final report by July 31 (The theme is given in July)

The schedule is as follows; (Note that the schedule and contents are subject to change.)

1) Orientation: (April 15) (On GoogleMeet, 18:00-)

2) Enterprises and regions: How are regional factors and enterprises' activities related? (On-demand)

3) Q&A time (May 6) (on GoogleMeet, 18:00-)

4) Time-honored companies and business transformation in Japan (On-demand)

5) Family businesses (On-demand)

6) Q&A time (May 27) (on GoogleMeet, 18:00-)

7) Knowledge creation by REs: How do Japanese companies make innovation happen? (On-demand)

8) Resource creation by REs: How does exhausted countryside revive their economy? (On-demand)

9) Q&A time (June 17) (on GoogleMeet, 18:00-)

10) Entrepreneurship in Japan: Why is entrepreneurial spirit weak in Japan? (On-demand)

11) Q&A time (July 1) (on GoogleMeet, 18:00-)

12) Industrial clusters in Japan (On-demand)

13) Ecosystems Formation (On-demand)

14) Q&A time (July 22) (on GoogleMeet, 18:00-)

15)Final report (just submit)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Students will be evaluated based on: (1) assignments (40%), (2) online meeting participation (20%), (3) Final report (40%).

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Routledge Handbook of Japanese Business and Management	Parissa Haghirian	Routledge	2016	978-0-415-73418-9	reference

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

・The students who will take this class have to send an email in advance of the first class (michi@tohoku.ac.jp).
・The instructor gives some instructions to the students for taking this class via email.
・Prepare environment for using Google Meet and Google Classroom.
・GoogleClssroom number and URL are as follows;

EM0420
Class code： 「3xqgceu」
URL: https://meet.google.com/szu-afdt-tmx

Nonprofit Organization_非営利組織特論/Nonprofit Organization

担当教員/Instructor：西出　優子/YUKO NISHIDE
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN607E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

This course aims at acquiring basic knowledge and concepts on nonprofit organizations and their management striving to solve various social problems and to create social values, and social capital. Topics relating to the role, significance and management of nonprofit organizations are examined through lectures, case studies, student presentations and discussions.

２．学修の到達目標/Goal of study：

On successful completion of the course, students may expect to
- understand the basic concepts, role and development of nonprofit organizations
- understand management and leadership of nonprofit organizations
- comprehend the state and challenges facing nonprofit organizations
- think through how to solve such problems and make recommendations

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

The following topics relating to nonprofit organizations (and relevant NGOs, social enterprises and social capital) are examined through lectures, student presentations and discussions:
- Theory, significance, international and regional comparison
- Historical development, state and challenges
- Management (mission, HRM, funding, accountability)
- Cross-sector partnership (Nonprofits, Business, Government, University)
- Advocacy, public policy, social impacts
- Social capital, diversity and inclusion, sustainability and resilience

(Some topics are subject to change depending on the interest of students at the first class.)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

Presentations (Individual and/or group) : 2 to 3 times (TBA: subject to the number of students) (50%)
Participation in discussions and minute paper at each class (50%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

How to get a copy of the textbook, journal articles and/or reading list is announced at the first class.
Reference: Crutchfield, L.R. and Grant, H.M. (2012) Forces for Good: The Six Practices of High-Impact Nonprofits, Jossey-Bass. Nishide, Y. (2009) Social Capital and Civil Society in Japan, Tohoku University Press. Osborne, S.P. (2013) Voluntary and Not-fo
Articles in related journals: Nonprofit and Voluntary Sector Quarterly, Voluntas, and Nonprofit Management and Leadership.

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students are expected to read textbook/article and prepare for effective understanding, presentations, discussions and minute paper at each class.

１０．その他/In addition：
How to hold this class may depend on the BCP level. This class is to be held at the classroom with the combination of realtime online zoom, but it might change depending on the BCP level.

For details and update information, go to the Google Classroom: Class code: jbd42vq
The class materials and information are to be communicated through the Google Classroom..
.
Office Hour: by prior appointment through an email to the instructor.
E-mail: yuko.nishide.c8@tohoku.ac.jp

Comparative E History_西洋経済史特論/Comparative Economic History

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO615E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

The aim of this class is twofold: to give an overview of the socio-economic history of Britain with special reference to early modern period (1530-1815), and to develop a critical view of the economic history of Western Europe and North America from comparative perspectives. Britain had become a major commercial force in Europe by the time of the industrial revolution, and also came to play a major role in the subsequent course of the history of the global market economy. The study of early modern Britain shows, therefore, how the foundation of the modern global economy was formed in the way it did. Moreover, it helps unveil Europe's unique institutional context in which some of the late comers, such as Japan, were destined to thrive (albeit in their own way) in order to catch up with the leading Western economies. The comparative approach is the key method to be used here, because it will inevitably raise an important question as to why some capitalist market economies are much more robust and resilient than others in the long run. The answer to it has far-reaching implications for the way we understand our economy.

Students are invited to produce a brief literature review on the economic history of his/her own country, and discuss their findings in a comparative perspective for their final essay.

２．学修の到達目標/Goal of study：

・ Students are expected to understand how economic problems are closely linked with political and social issues and to familiarize themselves with Economic History as a context dependent field of study.
・ Students are expected to come up with his/her own view as to how the early modern economy of the West shaped economies outside Western Europe and North America.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Students are required to have access to the ISTU and Google's Meet online conferencing service. We do not use the Google Classroom in this class.

Course Schedule
(Note that this syllabus is subject to alternation in accordance with the BCP level set by the University.)

1) Introduction

2) The Industrial Revolution: A critical view (I)

3) The Industrial Revolution: A critical view (II)

4) The rural origin of the modern Japanese economy (I)

5) The rural origin of the modern Japanese economy (II)

6) The advanced organic economy of early modern Britain (I)

7) The advanced organic economy of early modern Britain (II)

8) Proto-industrialization in the East and the West

9) Urbanization: Concepts and theories

10) The making of urban Britain (I)

11) The making of urban Britain (II)

12) Commercializing Edo Japan

13) The development of civic corporation (I)

14) The development of civic corporation (II)

15) Conclusion

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation:30%, Final essay:70%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Accounting for the great divergence	S. Broadberry	2015
The European miracle: Environments, economies and geopolitics in the historyof Europe and Asia	E. Jones	2003
The Long Road to the Industrial Revolution. The European Economy in a Global Perspective, 1000-1800	J. L.van Zanden,	2009
The Industrious Revolution: Consumer Behavior and the Household Economy, 1650-to the Present	J. de Vries,	2008
The Agrarian Origins of Modern Japan	T.C. Smith,	1959
The Economic History of Japan: 1600-1990	Hayami, Saito, and Toby, eds.	2004
The Japanese Consumer: An Alernative Economic History of Modern Japan	P. Francks	2009
The Role of Tradition in Japan's Industrialization: Another Path to Industrialization	M. Tanimoto ed	2006
The Cambridge History of Japan, vol. 4	J.W. Hall	1991

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
日本語: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeducat.html
English: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Some ideas discussed in one session may be pertinent to the themes of the following sessions. Students are encouraged to do their revision after class.

１０．その他/In addition：
No undergraduate students, except for those in the Faculty of Economics, are allowed to join this class.

Data Science in E_経済データ科学特論/Data Science in Economics

担当教員/Instructor：石原　卓弥/TAKUYA ISHIHARA
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO617E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Asymptotic theory is the primary method used to examine the properties of econometric estimators and tests. This course offers the asymptotic theory for econometrics. The keywords of this course are as follows: Portmanteau theorem, Prohorov's theorem, continuous mapping theorem, Slutsky's lemma, Levy's continuity theorem, delta method, consistency, asymptotic normality, maximum likelihood estimation, generalized method of moments.

Class code: 75byxst

２．学修の到達目標/Goal of study：
Participants are expected to understand the asymptotic theory for econometrics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The following contents will be discussed.

1. Stochastic convergence
2. Characteristic functions
3. Delta method
4. Extremum estimators
5. Consistency of extremum estimators
6. Asymptotic normality of extremum estimators
7. Consistent asymptotic variance estimation
8. Two-step estimators

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Grades will be based on a final report and some assignments.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Every participant will require a lot of time and effort for understanding the topics.

１０．その他/In addition：
Participants are prerequired to have sufficient knowledge on mathematics and statistics, the keywords of which are, for example, as follows: differential and integral calculus, Taylor expansion, weak law of large numbers, central limit theorem.

政治経済学Ⅰ演習 (Ⅰ) a /Political Economy Ⅰ (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：守　健二/KENJI MORI
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 1講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Based on your background knowledge on the following topics in Political Economy I, you will deepen and update your understanding by reading international state-of-the-art literature.
- Political Economy and Input-Output Analysis
- Political Economy and Monetary Circuit Theory
- Political Economy and Rational Choice Theory
- Political Economy and Capital Theory

政治経済学Ⅰ 特論の下記の内容に関する基礎知識を前提として、欧米文献の精読を通じて、その理解を深めるとともに当該分野の最新動向を研究する。
政治経済学Ⅰ 特論の内容：
政治経済学の欧米での研究動向から注目される論点として以下のものを取り上げる.
・政治経済学と産業連関分析
・政治経済学と貨幣流通学派
・政治経済学と合理的選択理論
・政治経済学と資本理論
これらの論点について古典派から現代に連なる理論の系譜を理解するとともに、その批判的含意を汲み取ること最終目標とする。

2．学修の到達目標/Goal of study：

You will acquire a firm foundation for a specialized research on Political Economy.

政治経済学の専門的研究のための基礎学力の強化を図る。

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Targeting those students who will specialize in Political Economy, we will conduct intensive reading of important literature to make a firm methodological foundation for a specialized research on Political Economy. The class will be structured by participants' report, open discussion and the instructor's comments.

政治経済学の専門的研究を目指すものを対象として，政治経済学Ⅰ 特論の内容に関して，研究の土台となる方法論を習得するために，基本文献の精読を行う．受講者による報告と討論，教員による解説を中心に授業を進める．

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

Japanese/English

6．成績評価方法/Evaluation method：

attendance and report
通常の出席と報告による。

7．教科書および参考書/Textbook and references：

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：

Sufficient preparation and review is needed.

テキストを読解，分析するための十分な予習と復習が必要である.

１０．その他/In addition：

教科書は、受講者の研究課題等を配慮しながら選定する.
議論は日本語，提出文書は日本語，独語，英語いずれでも可.
履修の条件：とくになし
連絡先：kenji.mori.b6@econ.tohoku.ac.jp
オフィスアワー：随時（メールで事前連絡のこと）
原則、対面で行うが、東北大学行動指針（BCP）に従い変更の可能性もある。

政治経済学Ⅰ演習 (Ⅰ) b/Political Economy Ⅰ (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：守　健二/KENJI MORI
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 1講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Based on your background knowledge on the following topics in Political Economy I, you will deepen and update your understanding by reading international state-of-the-art literature.
- Political Economy and Input-Output Analysis
- Political Economy and Monetary Circuit Theory
- Political Economy and Rational Choice Theory
- Political Economy and Capital Theory

政治経済学Ⅰ 特論の下記の内容に関する基礎知識を前提として、欧米文献の精読を通じて、その理解を深めるとともに当該分野の最新動向を研究する。
政治経済学Ⅰ 特論の内容：
政治経済学の欧米での研究動向から注目される論点として以下のものを取り上げる.
・政治経済学と産業連関分析
・政治経済学と貨幣流通学派
・政治経済学と合理的選択理論
・政治経済学と資本理論
これらの論点について古典派から現代に連なる理論の系譜を理解するとともに、その批判的含意を汲み取ること最終目標とする。

2．学修の到達目標/Goal of study：

You will acquire a firm foundation for a specialized research on Political Economy.

政治経済学の専門的研究のための基礎学力の強化を図る。

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Targeting those students who will specialize in Political Economy, we will conduct intensive reading of important literature to make a firm methodological foundation for a specialized research on Political Economy. The class will be structured by participants' report, open discussion and the instructor's comments.

政治経済学の専門的研究を目指すものを対象として，政治経済学Ⅰ 特論の内容に関して，研究の土台となる方法論を習得するために，基本文献の精読を行う．受講者による報告と討論，教員による解説を中心に授業を進める．

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

Japanese/English

6．成績評価方法/Evaluation method：

attendance and report
通常の出席と報告による。

7．教科書および参考書/Textbook and references：

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：

Sufficient preparation and review is needed.

テキストを読解，分析するための十分な予習と復習が必要である.

１０．その他/In addition：

教科書は、受講者の研究課題等を配慮しながら選定する.
議論は日本語，提出文書は日本語，独語，英語いずれでも可.
履修の条件：とくになし
連絡先：kenji.mori.b6@econ.tohoku.ac.jp
オフィスアワー：随時（メールで事前連絡のこと）
原則、対面で行うが、東北大学行動指針（BCP）に従い変更の可能性もある。

政治経済学Ⅰ演習 (Ⅱ) a /Political Economy Ⅰ (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：守　健二/KENJI MORI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Based on your study in my Seminar in Economics, you will enhance your survey of previous research and prepare a problem setting and solution for the master thesis.

政治経済学Ⅰ 演習Ⅰ での学習を前提として、当該分野の最新動向に関する文献研究を深めるとともに，独自の問題発見・解決を試み，研究成果をまとめる.

2．学修の到達目標/Goal of study：
You will complete your master thesis on Political Economy.

政治経済学の分野における文献研究を行い、修士論文を作成する。

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
For the purpose of writing a master thesis, an individual guidance will be provided about subject, references and concept in addition to participants' presentation and group discussion.

IIa：政治経済学の分野における修士論文の作成を前提として、研究題目の設定、関連する文献調査、論文構想に関して指導を行う。受講者による報告と討議、教員による解説を中心に授業を進めるが、あわせて個人指導を行う。

IIb：修士論文作成上の具体的問題点について討議し、指導を行う。受講者による報告と討議、教員による解説を中心に授業を進めるが、あわせて個人指導を行う。

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

6．成績評価方法/Evaluation method：
Attendance and report.

通常の出席と報告による。

7．教科書および参考書/Textbook and references：

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：
Sufficient preparation and review is needed.

研究報告のための十分な予習と復習が必要である.

10．その他/In addition：
テキストは適宜指示する.
議論は日本語，提出文書は日本語，独語，英語いずれでも可.
履修の条件：とくになし
連絡先：kenji.mori.b6@tohoku.ac.jp
オフィスアワー：随時（メールで事前連絡のこと）
事前に指定するテキストを読解，分析するための十分な予習と復習が必要である.
原則、対面で行うが、東北大学行動指針（BCP）に従い変更の可能性もある。

政治経済学Ⅰ演習 (Ⅱ) b/Political Economy Ⅰ (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：守　健二/KENJI MORI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Based on your study in my Seminar in Economics, you will enhance your survey of previous research and prepare a problem setting and solution for the master thesis.

政治経済学Ⅰ 演習Ⅰ での学習を前提として、当該分野の最新動向に関する文献研究を深めるとともに，独自の問題発見・解決を試み，研究成果をまとめる.

2．学修の到達目標/Goal of study：
You will complete your master thesis on Political Economy.

政治経済学の分野における文献研究を行い、修士論文を作成する。

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
For the purpose of writing a master thesis, an individual guidance will be provided about subject, references and concept in addition to participants' presentation and group discussion.

IIa：政治経済学の分野における修士論文の作成を前提として、研究題目の設定、関連する文献調査、論文構想に関して指導を行う。受講者による報告と討議、教員による解説を中心に授業を進めるが、あわせて個人指導を行う。

IIb：修士論文作成上の具体的問題点について討議し、指導を行う。受講者による報告と討議、教員による解説を中心に授業を進めるが、あわせて個人指導を行う。

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

6．成績評価方法/Evaluation method：
Attendance and report.

通常の出席と報告による。

7．教科書および参考書/Textbook and references：

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：
Sufficient preparation and review is needed.

研究報告のための十分な予習と復習が必要である.

10．その他/In addition：
テキストは適宜指示する.
議論は日本語，提出文書は日本語，独語，英語いずれでも可.
履修の条件：とくになし
連絡先：kenji.mori.b6@tohoku.ac.jp
オフィスアワー：随時（メールで事前連絡のこと）
事前に指定するテキストを読解，分析するための十分な予習と復習が必要である.
原則、対面で行うが、東北大学行動指針（BCP）に従い変更の可能性もある。

理論経済学Ⅰ演習（Ⅰ） a /Theoretical Economics Ⅰ (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：三宅　充展/MITSUNOBU MIYAKE
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ５講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
ミクロ経済学関連の学術論文や研究書を読むための読解力を修得することが目標です。
/ It is an aim that the students will acquire comprehension skills to read the scientific papers and monographs in microeconomics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
ミクロ経済学関連の学術論文を独力で読みこなす力をつけることと同時に、受講生が、具体的な研究課題を見つけることが到達目標です。 /It is an aim that the student will acquire a skill for reading the scientific papers by an own effort to find the specific research subject.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
ミクロ経済学関連の研究書または学術論文を輪読しながら、討論します。
今年度は下記テキストの第４部（トピック）についての該当箇所およびそこでの引用論文を読みます。
当該科目の履修希望者は
メールアドレス： mitsunobu.miyake.b4@tohoku.ac.jp
まで必ず事前にメールして下さい。

教材として、必要に応じて論文を配布します。

/ In this term, we read the part 4 of the textbook stated below:

（１）メカニズムデザイン（テキスト１７章）： Mechanism design
（２）マッチング（テキスト１８章）： Matching
（３）選好順序の集約（テキスト２０章）： Aggregating preferences

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
おもに日本語による授業をおこなう。これまでに使用したテキスト、論文はすべて英文です。

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告（presentation）と討論への参加状況による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Models in Microeconomic Theory	Martin J. Osborne and Ariel Rubinstein	OpenBook	2020	978-1-78374-920-1	テキスト

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表時にはレジメを作成しておくこと。授業終了後も、レジメの改訂作業を継続し考察を続けること。

１０．その他/In addition：
理論経済学Ⅰ 演習(I)b の履修とは無関係に理論経済学Ⅰ 演習(I)a だけの履修を認める。
中級ミクロ経済学と上級ミクロ経済学を履修または履修予定であることが望ましい。
経済学部以外（工学部や理学部など）を卒業している受講生は学部ミクロ経済分析と中級ミクロ経済学を履修済みであることが望ましい。
連絡先： 研究室：事務室前のエレベータで６階、出口正面
メールアドレス： mitsunobu.miyake.b4@tohoku.ac.jp
最終的な成績についての苦情、問い合わせ等は電子メールでお願いします。

現在の予定では、授業は対面授業で、オンライン併用とする。Google classroom のコードは rf2x7by である。

理論経済学Ⅰ演習 (Ⅰ) b/Theoretical Economics Ⅰ (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：三宅　充展/MITSUNOBU MIYAKE
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ５講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
ミクロ経済学関連の学術論文や研究書を読むための読解力を修得することが目標です。
/ It is an aim that the students will acquire comprehension skills to read the scientific papers and monographs in microeconomics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
ミクロ経済学関連の学術論文を独力で読みこなす力をつけることと同時に、受講生が、具体的な研究課題を見つけることが到達目標です。 /It is an aim that the student will acquire a skill for reading the scientific papers by an own effort to find the specific research subject.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
ミクロ経済学関連の研究書または学術論文を輪読しながら、討論します。
今年度は下記テキストの第４部（トピック）についての該当箇所およびそこでの引用論文を読みます。
当該科目の履修希望者は
メールアドレス： mitsunobu.miyake.b4@tohoku.ac.jp
まで必ず事前にメールして下さい。

教材として、必要に応じて論文を配布します。

/ In this term, we read the part 4 of the textbook stated below:

（１）メカニズムデザイン（テキスト１７章）： Mechanism design
（２）マッチング（テキスト１８章）： Matching
（３）選好順序の集約（テキスト２０章）： Aggregating preferences

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
おもに日本語による授業をおこなう。これまでに使用したテキスト、論文はすべて英文です。

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告（presentation）と討論への参加状況による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Models in Microeconomic Theory	Martin J. Osborne and Ariel Rubinstein	OpenBook	2020	978-1-78374-920-1	テキスト

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表時にはレジメを作成しておくこと。授業終了後も、レジメの改訂作業を継続し考察を続けること。

１０．その他/In addition：
理論経済学Ⅰ 演習(I)b の履修とは無関係に理論経済学Ⅰ 演習(I)a だけの履修を認める。
中級ミクロ経済学と上級ミクロ経済学を履修または履修予定であることが望ましい。
経済学部以外（工学部や理学部など）を卒業している受講生は学部ミクロ経済分析と中級ミクロ経済学を履修済みであることが望ましい。
連絡先： 研究室：事務室前のエレベータで６階、出口正面
メールアドレス： mitsunobu.miyake.b4@tohoku.ac.jp
最終的な成績についての苦情、問い合わせ等は電子メールでお願いします。

現在の予定では、授業は対面授業で、オンライン併用とする。Google classroom のコードは qfhod6p である。

理論経済学Ⅰ演習（Ⅱ） a /Theoretical Economics Ⅰ (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：三宅　充展/MITSUNOBU MIYAKE
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
修士論文の作成が第一の目的です。/The making of the master's thesis is the first purpose.

２．学修の到達目標/Goal of study：
学術論文の書き方の初歩を学ぶことと同時に、わかりやすい口頭発表の仕方を修得することが到達目標です。
/Not only learning how to write scientific papers, but also acquiring the skill of plain presentation are the aims of this seminar.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
修士論文の作成に向けての研究指導を行います。単独で論文が書けるように、序文の書き方、論文の構成等について指導します。　教材として、参考となる論文を適時配布します。 /It is an aim that the student will acquire a skill for reading the scientific papers by an own effort to find the specific research subject.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
おもに日本語による授業をおこなう。これまでに使用したテキスト、論文はすべて英文です。

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告（presentation）と討論への参加状況による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表時にはレジメを作成しておくこと。授業終了後も、レジメの改訂作業を継続し考察を続けること。

１０．その他/In addition：
中級ミクロ経済学特論、中級マクロ経済学特論、中級計量経済学特論の３科目の単位をすべて修得しているか修得見込みであることが望ましい。また、上級ミクロ経済学特論、上級マクロ経済学特論、上級計量経済学特論の３科目の単位をすべて修得しているか修得見込みであることが望ましい。
連絡先：　　メールアドレス： mitsunobu.miyake.b4@tohoku.ac.jp
最終的な成績についての苦情、問い合わせ等は電子メールでお願いします。

現在の予定では、授業は対面授業で、オンライン併用とする。Google classroom のコードは　kmuchsn
である。

理論経済学Ⅰ演習（Ⅱ） b/Theoretical Economics Ⅰ (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：三宅　充展/MITSUNOBU MIYAKE
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
修士論文の作成が第一の目的です。/The making of the master's thesis is the first purpose.

２．学修の到達目標/Goal of study：
学術論文の書き方の初歩を学ぶことと同時に、わかりやすい口頭発表の仕方を修得することが到達目標です。/Not only learning how to write scientific papers, but also acquiring the skill of plain presentation are the aims of this seminar.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
修士論文の作成に向けての研究指導を行います。単独で論文が書けるように、序文の書き方、論文の構成等について指導します。　教材として、参考となる論文を適時配布します。/It is an aim that the student will acquire a skill for reading the scientific papers by an own effort to find the specific research subject.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
おもに日本語による授業をおこなう。これまでに使用したテキスト、論文はすべて英文です。

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告（presentation）と討論への参加状況による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表時にはレジメを作成しておくこと。授業終了後も、レジメの改訂作業を継続し考察を続けること。

１０．その他/In addition：
中級ミクロ経済学特論、中級マクロ経済学特論、中級計量経済学特論の３科目の単位をすべて修得しているか修得見込みであることが望ましい。また、上級ミクロ経済学特論、上級マクロ経済学特論、上級計量経済学特論の３科目の単位をすべて修得しているか修得見込みであることが望ましい。
連絡先：　　メールアドレス： mitsunobu.miyake.b4@tohoku.ac.jp
最終的な成績についての苦情、問い合わせ等は電子メールでお願いします。

現在の予定では、授業は対面授業で、オンライン併用とする。Google classroom のコードは　myhbnyp
である。

理論経済学Ⅱ演習（Ⅰ） a /Theoretical Economics II (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：北川　章臣/AKIOMI KITAGAWA
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
最近公刊されたマクロ経済学の研究書・研究論文を読むことを通じて、この分野の最新動向を把握する。

The purpose of this workshop class is to keep up on the contemporary macroeconomics, through reading the recently published papers and books of this field.

２．学修の到達目標/Goal of study：
マクロ経済学の最新の動向をつかむとともに、それを各自の研究（論文作成）に生かす。

The goal of this class is that participants finally possess such adequate knowledge of the contemporary macroeconomics that they can exploit it in writing their research papers.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業は参加者に自身の研究報告や指定された参考文献のレポート報告をしてもらう形で進める。

In this class, participants are requested to report an assigned article in the references or to present their research paper.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告および平常の参加状況による。

Participants are evaluated based on their attendance and class performances.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
報告担当者は十分な準備が求められる。

Participants need to make ample preparations for their reports and presentations.

１０．その他/In addition：
・演習 Ia,Ib は独立して履修可能。
・ 参加希望者は事前に必ず北川まで連絡のこと。
・ 連絡先：akiomi.kitagawa.a4@tohoku.ac.jp
・ 中級マクロ経済学特論と上級マクロ経済学特論で講義される知識が必要なので、これらの科目を未履修の者は並行して履修すること。
・ 使用言語は日本語、報告は日本語・英語ともに可。
・ オフィスアワー：事前にアポイントメントを取ること。
・授業関連の連絡は Google Classroom で行うので、こちらもチェックすること（クラスコード：5avgbjj）

理論経済学Ⅱ演習（Ⅰ） b/Theoretical Economy II (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：北川　章臣/AKIOMI KITAGAWA
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
最近公刊されたマクロ経済学の研究書・研究論文を読むことを通じて、この分野の最新動向を把握する。

The purpose of this workshop class is to keep up on the contemporary macroeconomics, through reading the recently published papers and books of this field.

２．学修の到達目標/Goal of study：
マクロ経済学の最新の動向をつかむとともに、それを各自の研究（論文作成）に生かす。

The goal of this class is that participants finally possess such adequate knowledge of the contemporary macroeconomics that they can exploit it in writing their research papers.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業は参加者に自身の研究報告や指定された参考文献のレポート報告をしてもらう形で進める。

In this class, participants are requested to report an assigned article in the references or to present their research paper.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告および平常の参加状況による。

Participants are evaluated based on their attendance and class performances.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
報告担当者は十分な準備が求められる。

Participants need to make ample preparations for their reports and presentations.

１０．その他/In addition：
・ 演習 Ia,Ib は独立して履修可能。
・ 参加希望者は事前に必ず北川まで連絡のこと。
・ 連絡先：akiomi.kitagawa.a4@tohoku.ac.jp
・ 中級マクロ経済学特論と上級マクロ経済学特論で講義される知識が必要なので、これらの科目を未履修の者は並行して履修すること。
・ 使用言語は日本語、報告は日本語・英語ともに可。
・ オフィスアワー：事前にアポイントメントを取ること。
・授業関連の連絡は Google Classroom で行うので、こちらもチェックすること（クラスコード：2tx7u24）

理論経済学Ⅱ演習（Ⅱ） a /Theoretical Economics II (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：北川　章臣/AKIOMI KITAGAWA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
マクロ経済学的な問題を研究対象として修士論文を執筆する院生に対して論文指導を行う。

The purpose of this class is to instruct students to write a master's thesis in the field of macroeconomics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
修士論文を完成させる。

Participants are expected to complete a master's thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者は授業において自らの論文の内容・進行状況を報告するとともに、内容について他の参加者と相互に討論をしてもらうが、指導の重点は論文の書き方（特に論理性・説得性）に置かれる。

In the class of every week, participants are requested to report the progress of their researches, discussing their contents with other participants.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
修士論文の出来栄えに応じて評価する。

Participants are evaluated based on the quality of their researches.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
適宜指示する。

instruct as appropriate.

１０．その他/In addition：
・授業関連の連絡はGoogle Classroomで行うので、こちらもチェックすること（クラスコード：d4v7qy7）

理論経済学Ⅱ演習（Ⅱ） b/Theoretical Economics II (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：北川　章臣/AKIOMI KITAGAWA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
マクロ経済学的な問題を研究対象として修士論文を執筆する院生に対して論文指導を行う。

The purpose of this class is to instruct students to write a master's thesis in the field of macroeconomics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
修士論文を完成させる。

Participants are expected to complete a master's thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者は授業において自らの論文の内容・進行状況を報告するとともに、内容について他の参加者と相互に討論をしてもらうが、指導の重点は論文の書き方（特に論理性・説得性）に置かれる。

In the class of every week, participants are requested to report the progress of their researches, discussing their contents with other participants.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
修士論文の出来栄えに応じて評価する。

Participants are evaluated based on the quality of their researches.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
適宜指示する。

instruct as appropriate.

１０．その他/In addition：
・授業関連の連絡はGoogle Classroomで行うので、こちらもチェックすること（クラスコード：vrfclu7）

経済学史演習（Ⅰ） a /History of Political Economy (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：古谷　豊/YUTAKA FURUYA
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
これから経済学・経営学の研究をしていく人たちに、経済学の歴史について理解を深めてもらい、広い視野で経済学をとらえられるようになってもらうことを目的とした演習です。
The purpose of this seminar is to deepen the understanding of the history of economics for those who are studying economics and management, and to enable them to view economics from a broader perspective.

２．学修の到達目標/Goal of study：
時代時代の社会の状況と、その時代の経済学との関係について理解する。
経済学がどうして今日のような姿になったのかについて、自らの見解をもつ。
By participating in this seminar you will be able to form a better understanding of the relationship between the social conditions of an era and the economics of that era thus deepen your view on how economics came to be what it is today.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
学部時代の卒業論文ないし各人が現在作成中の論文を仕上げつつ、関連する論文をピックアップして読み進めます。
通常の演習形式（履修生による報告と全体討論）で進めます。

The seminar will be conducted in the usual format, with one person each week giving a report and all students discussing it.
During this seminar we will be brushing up the paper each one of us are currently working on, while reading and discussing relevant papers.

【対面かオンラインか】
東北大学の行動指針（BCP）レベルが１～２の場合、対面を基本としつつも、履修生の数やメンバー次第ではオンラインとする可能性もある。レベル３の場合はオンラインで実施する。
ただし初回（4 月 11 日）はオンラインで実施する。Google Classroom で最新の情報を確認すること。

【Google Classroom コード】
m3ioyhz

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点（演習への参加状況、演習での報告、など）

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
報告担当の週は報告の準備。その他は教材の予習並びに各人の論文の改訂。

１０．その他/In addition：
履修の条件：経済学史演習 Ia は経済学史演習 Ib とセットで履修してください。Ia のみ独立に履修することはできません。
Google Classroom（クラスコード m3ioyhz）で最新の情報を確認してください。
初回は 4 月 11 日です。参加を希望する人は、初回の演習に必ず参加するようにしてください。やむを得ず初回に参加できない場合は、メールでその旨連絡してください。
連絡先　furuya@tohoku.ac.jp

経済学史演習（Ⅰ） b/History of Political Economy (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：古谷　豊/YUTAKA FURUYA
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習は経済学史分野での修士論文作成に向けて、アカデミック・ライティングについて学びます。
The purpose of this seminar is to provide students who are planning to write their master's thesis on the history of economic thought with necessary guidance on academic writing.

２．学修の到達目標/Goal of study：
修士論文を書くための、論点を設定する力、論点について多様な角度から検証する力、結論を導き説得的に提示する力等をつける。
By taking this seminar students are able to develop the ability to set up an argument, to examine the argument from various angles, and to draw a conclusion and present it persuasively.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
下記のテキストをもとに、参加者それぞれの題材を例に取り上げて、実地にアカデミック・ライティングに取り組む。
K. L. Turabian. Manual for Writers of Research Papers, Theses, and Dissertations.
J. M. Williams and J. Bizup. Style: Lessons in Clarity and Grace.
W. Strunk Jr. , E. B. White, et al. The Elements of Style.

Students will learn about academic writing by referring to the texts listed above and applying them to papers they are currently working on.
Participants are asked to bring the written material each week.

【対面かオンラインか】
東北大学の行動指針（BCP）レベルが１～２の場合、対面を基本としつつも、履修生の数やメンバー次第ではオンラインとする可能性もある。レベル３の場合はオンラインで実施する。
ただし初回（10月10日）はオンラインで実施する。Google Classroomで最新の情報を確認すること。

【Google Classroomコード】
htceuhp

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
履修生は次週までに指示された課題に取り組んでくる。

１０．その他/In addition：
履修の条件：経済学史演習Ibは経済学史演習Iaとセットで履修してください。Ibのみ独立に履修することはできません。（10月入学の方は相談してください。）
Google Classroom（クラスコードhtceuhp）で最新の情報を確認してください。
初回は10月10日です。参加を希望する人は、初回の演習に必ず参加するようにしてください。やむを得ず初回に参加できない場合は、メールでその旨連絡してください。
連絡先　furuya@tohoku.ac.jp

経済学史演習（Ⅱ） a /History of Political Economy (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：古谷　豊/YUTAKA FURUYA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
修士論文の作成過程（修士二年目の前半）で、定期的に作業の進捗について確認し、議論・指導を通して質の高い論文にすることを目的とする。
The purpose of this course is to offer academic advice to graduate students who are in their first semester of the second year writing their master's thesis on topics of the history of economic thought.

2．学修の到達目標/Goal of study：
質の高い修士論文を、期限内に仕上げること。
The goal is to develop a good structure of their master's thesis.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
履修生の報告に基づいて討論・指導する形式ですすめる。
修士論文の完成に向けて、先行研究調査、課題設定を通して問題意識を具体的な形にし、文献調査、議論の組み立てを経て、論文執筆指導を行う。
Students are required to bring the updated version of their draft to each week's class.

【対面かオンラインか】
東北大学の行動指針（BCP）レベルが１～２の場合、対面を基本としつつも、履修生の数やメンバー次第ではオンラインとする可能性もある。レベル３の場合はオンラインで実施する。
ただし初回はオンラインで実施する。Google Classroom で最新の情報を確認すること。

【Google Classroom コード】
du2jd2a

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語ないし英語。

6．成績評価方法/Evaluation method：
平常点による。

7．教科書および参考書/Textbook and references：

A Manual for Writers	Turabian, Kate L.	The University of Chicago Press

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習・復習共に必要。履修生は毎回修士論文完成に向けての進捗状況を報告し、演習での指示内容をふまえて作業した内容を次回持ってくること。

１０．その他/In addition：
最新の情報についてはGoogle Classroom（クラスコード du2jd2a）を確認のこと。

経済学史演習（Ⅱ） b/History of Political Economy (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：古谷　豊/YUTAKA FURUYA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
修士論文の作成過程（修士二年目の後半）で、定期的に作業の進捗について確認し、議論・指導を通して質の高い論文にすることを目的とする。
The purpose of this course is to offer academic advice to graduate students who are in their second semester of the second year writing their master's thesis on topics of the history of economic thought.

2．学修の到達目標/Goal of study：
質の高い修士論文を、期限内に仕上げること。
The goal of this guidance is to complete a well written master's thesis by the end of the semester.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
履修生の報告に基づいて討論・指導する形式ですすめる。
修士論文の完成に向けて、先行研究調査、課題設定を通して問題意識を具体的な形にし、文献調査、議論の組み立てを経て、論文執筆指導を行う。
Students are required to bring the updated version of their draft to each week's class.

【対面かオンラインか】
東北大学の行動指針（BCP）レベルが１～２の場合、対面を基本としつつも、履修生の数やメンバー次第ではオンラインとする可能性もある。レベル３の場合はオンラインで実施する。
ただし初回はオンラインで実施する。Google Classroom（クラスコード mxzgdbg）で最新の情報を確認すること。

When Tohoku University Emergency Action Plan (BCP) is in either level 1 or 2, the class may be held in-person.
When Tohoku University Emergency Action Plan (BCP) is in level 3, the class will be held online.
Check the Google Classroom (class code mxzgdbg) for the latest information.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語ないし英語。

6．成績評価方法/Evaluation method：
平常点による。

7．教科書および参考書/Textbook and references：

A Manual for Writers	Turabian, Kate L.	The University of Chicago Press

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習・復習共に必要。履修生は毎回修士論文完成に向けての進捗状況を報告し、演習での指示内容をふまえて作業した内容を次回持ってくること。

１０．その他/In addition：
最新の情報についてはGoogle Classroom（クラスコード mxzgdbg）を確認のこと。

西欧経済史演習（Ⅰ） a /Economic History of Western Europe (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経済事象に関する歴史学的考察は、理論の構築や現状分析とともに複雑な経済現象を解明するためになくてはならない分析方法の柱である。本演習では、水準の高い商業社会に不可欠な西洋起源の制度、組織、政策をテーマに専門書(英語) の輪読と討論を行う。履修者は、イギリス経済史（中世から近代）を中心に、西洋経済とそれ以外の地域経済との間に見られる共通点や相違点、現代社会の経済問題へも目を向けながら、比較分析を念頭に研究を進める方法を習得することが求められる。

履修者にはグローバルな歴史感覚をもとに、積極的に海外の研究成果を研究に取り入れる姿勢が望まれる。授業は英語で行う。

「西洋経済史」の概要については、下記関連 URL を参照されたい。

In this seminar, students are expected to evaluate the differing concepts and tools used in the study of Economic History, but more importantly, to recognize the power of the historical past and how it shaped the structure of our society. Our discussion will mainly focus on the modern European economy but students are encouraged to adopt a comparative approach in order to see the differences and similarities between Asia and European economies from a wider historical perspective.

Those who wish to participate in the seminar should contact the instructor in advance.

For more information: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

２．学修の到達目標/Goal of study：
・ 経済史学の目的と意義、基本的な研究方法について理解する
・ 経済史に関する専門書の要点について正確に論述できるようになる。

・ Students are expected to understand contrasting courses of economic development, which converged and diverged along the route to a modern industrialized society.
・ Students are also expected to learn how economic problems are closely linked with political and social issues in a historical context.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
原則としてオンライン形式で行う (Google Meet を使用する)。履修希望者はあらかじめ担当教員へ e メールを送信すること。

地域における経済発展の事例を比較・検討し、論点整理や方法上の問題点について考察する。履修者の問題関心に合わせて、文献の輪読と討論を行う。履修者は、輪読を通じて関心のあるテーマを一つ選び、各自課題を設定し、研究報告とレポート作成の準備を進める。具体的には以下の要領で毎回の授業を進める。

･輪読の際、履修者はそれぞれの担当部分について、要点がわかるようにレジュメを作成し、有意義なディスカッションに資する詳細な報告を行う。

･担当者と相談の上、各自の研究課題を決定し、関連文献に関する詳細な報告を行う。

The details of the course content and schedule will be explained at the first meeting in Week 1.

In this seminar, students are required to prepare for the assigned part of the designated books and articles for each class. It is also important for students to write a long essay on their research interest.

Reading materials will be suggested in the opening session.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
英語
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、研究報告、レポートにより評価する。使用する言語は日本語/英語どちらでも可。

Presentation and participation: 50%/ Essay: 50%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

イギリス近世都市の「公式」と「非公式」	川名　洋	創文社	2010	978-4-423-46065-8
The Cambridge urban history of Britain v. 1	D.M. Palliser		2000	
The Cambridge urban history of Britain v. 2	P. Clark		2000	

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

日本語：http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/index.html
英語: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

初回のオリエンテーションで説明する。

The session time is limited and therefore self-directed learning is important. Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：

・修士論文作成を念頭に指導する。
・履修希望者は予めメールで担当者に連絡すること。
・受講者は専門書を読むための英語力を必要とする。

・ Those who wish to participate in the seminar should contact the instructor in advance.

西欧経済史演習 (Ⅰ) b/Economic History of Western Europe (Seminar Ib)

担当教員/Instructor:川名 洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period:後期 金曜日 2講時
対象学年/Eligible Participants:1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering:EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s):2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:
(本演習を「西欧経済史演習 Ia」として履修する場合には、「西欧経済史演習 Ia」のシラバスを参照)

本演習では、経済成長がもたらす功罪について、地域レベルで比較・検証する能力を養う。主に経済発展、社会変動、公共政策、制度変化に関する最新の実証研究を教材に発表・討論を行い、特に修士論文作成に必要な英文専門書の読解に力点を置き、独自の問題設定ができるよう指導する。

履修希望者はメール等で担当者に連絡の上、初回に担当者の研究室で行うオリエンテーションに必ず出席すること。

「西洋経済史」の概要については、下記関連URLを参照されたい。

In this seminar, students are expected to evaluate the differing concepts and tools used in the study of Economic History, but more importantly, to recognize the power of the historical past and how it shaped the structure of our society. Our discussion will mainly focus on the modern European economy but students are encouraged to adopt a comparative approach in order to see the differences and similarities between Asia and European economies from a wider historical perspective.

Those who wish to participate in the seminar should contact the instructor in advance.

For more information: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

2. 学修の到達目標/Goal of study:
・成長期にある国や地域が直面する経済・社会問題の歴史的要因について理解し、独自の問題設定を行うことができるようになる。
・制度変化や公共政策が経済変動に与える影響について理解し、独自の問題設定を行うことができるようになる。

・ Students are expected to understand contrasting courses of economic development, which converged and diverged along the route to a modern industrialized society.
・ Students are also expected to learn how economic problems are closely linked with political and social issues in a historical context.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:
Google Meet を使用する。履修希望者はあらかじめ担当教員へeメールを送信すること。

地域における経済発展の事例を比較・検討し、論点整理や方法上の問題点について考察する。履修者の問題関心に合わせて、文献の輪読と討論を行う。履修者は、輪読を通じて関心のあるテーマを一つ選び、各自課題を設定し、研究報告とレポート作成の準備を進める。具体的には以下の要領で毎回の授業を進める。

・輪読の際、履修者はそれぞれの担当部分について、要点がわかるようにレジュメを作成し、有意義なディスカッションに資する詳細な報告を行う。

・担当者と相談の上、各自の研究課題を決定し、関連文献に関する詳細な報告を行う。

The details of the course content and schedule will be explained at the first meeting in Week 1.

In this seminar, students are required to prepare for the assigned part of the designated books and articles for each class. It is also important for students to write a long essay on their research interest.

Reading materials will be suggested in the opening session.

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course:
英語
English

6. 成績評価方法/Evaluation method:
平常の成績と報告により評価する。使用言語は日本語/英語どちらでも可。

Presentation and participation: 50%/ Essay: 50%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

イギリス近世都市の「公式」と「非公式」	川名　洋	創文社	2010	978-4-423-46065-8
The Cambridge urban history of Britain v. 1	D.M. Palliser		2000	
The Cambridge urban history of Britain v. 2	P. Clark		2000	

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

日本語：http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/index.html
英語: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

Note that this class requires a great amount of self-study.

１０．その他/In addition：

・修士論文作成を念頭に指導する。
・受講者は専門書を読むための英語力を必要とする。

・ Those who wish to participate in the seminar should contact the instructor in advance.

西欧経済史演習（Ⅱ） a /Economic History of Western Europe (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習Ⅰと同様、経済史に関する文献を教材に発表・討論を行うが、ここでは各自の研究テーマに沿った実践的調査研究に重点を置く。特に史料の調査・分析法の習得を含め、研究テーマに即した「自立的」研究能力の養成を目指し、修士論文の作成を進める。演習 II では、演習Ⅰb における研究結果を総括し、修士論文の完成に向けて論理の組み立て、史料分析、文献引用方法を中心に、これらを厳密に行う能力を養うよう指導にあたる。

「西洋経済史」の概要については、下記関連 URL を参照。

In this seminar, students will continue to explore the differing concepts and tools used in the study of Economic History. Participants are also encouraged to adopt a comparative approach in order to see the differences and similarities between Asia and European economies from a wider historical perspective. It is essential for students to learn how to conduct a proper historical research and to prepare for writing a dissertation.

For more information: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

2．学修の到達目標/Goal of study：

・ 研究テーマに応じて先行研究のサーヴェイを行い、争点について正確に論述することができるようになる。
・ 関連史料の収集と分析を通じて、独自の議論を展開する能力を身に付ける。

・ Students are expected to understand contrasting courses of economic development, which converged and diverged along the route to a modern industrialized society.
・ Students are also expected to learn how economic problems are closely linked with political and social issues in a historical context.
・ This is a seminar style course intended to allow students to have in-depth discussion between themselves so that they can develop their research skills for writing up a dissertation.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Google Meet を使用する。履修希望者はあらかじめ担当教員へ e メールを送信すること。

各自の研究テーマに応じて、先行研究の調査、関連史料の分析結果について報告してもらう。それらに基づき、修士論文の草稿作成を指導する。

The details of the course content and schedule will be explained at the first meeting in Week 1.

In this seminar, students are required to prepare for the assigned part of the designated books and articles for each class. It is also important for students to write a long essay on their research interest.

Reading materials will be suggested in the opening session.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

日本語、または英語

6．成績評価方法/Evaluation method：

平常の成績、報告、レポートにより評価する。

Presentation and participation: 50%/ Essay: 50%

7．教科書および参考書/Textbook and references：

イギリス近世都市の「公式」と「非公式」	川名　洋	創文社	2010	978-4-423-46065-8
The Cambridge urban history of Britain v. 1	D.M. Palliser		2000	
The Cambridge urban history of Britain v. 2	P. Clark		2000	

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
日本語：http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/index.html
英語: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
初回のオリエンテーションで説明する。

The session time is limited and therefore self-directed learning is important. Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：
・ 履修希望者は予めメールで担当者に連絡すること。
・ 受講者は専門書を読むための英語力を必要とする。

・ Those who wish to participate in the seminar should contact the instructor in advance.

西欧経済史演習（Ⅱ） b /Economic History of Western Europe (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習Ⅰと同様、経済史に関する文献を教材に発表・討論を行うが、ここでは各自の研究テーマに沿った実践的調査研究に重点を置く。特に史料の調査・分析法の習得を含め、研究テーマに即した「自立的」研究能力の養成を目指し、修士論文の作成を進める。演習 II では、演習Ⅰb における研究結果を総括し、修士論文の完成に向けて論理の組み立て、史料分析、文献引用方法を中心に、これらを厳密に行う能力を養うよう指導にあたる。

「西洋経済史」の概要については、下記関連 URL を参照。

In this seminar, students will continue to explore the differing concepts and tools used in the study of Economic History. Participants are also encouraged to adopt a comparative approach in order to see the differences and similarities between Asia and European economies from a wider historical perspective. It is essential for students to learn how to conduct a proper historical research and to prepare for writing a dissertation.

For more information: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

２．学修の到達目標/Goal of study：

・ 研究テーマに応じて先行研究のサーヴェイを行い、争点について正確に論述することができるようになる。
・ 関連史料の収集と分析を通じて、独自の議論を展開する能力を身に付ける。

・ Students are expected to understand contrasting courses of economic development, which converged and diverged along the route to a modern industrialized society.
・ Students are also expected to learn how economic problems are closely linked with political and social issues in a historical context.
・ This is a seminar style course intended to allow students to have in-depth discussion between themselves so that they can develop their research skills for writing up a dissertation.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Google Meet を使用する。履修希望者はあらかじめ担当教員へｅメールを送信すること。

各自の研究テーマに応じて、先行研究の調査、関連史料の分析結果について報告してもらう。それらに基づき、修士論文の草稿作成を指導する。

The details of the course content and schedule will be explained at the first meeting in Week 1.

In this seminar, students are required to prepare for the assigned part of the designated books and articles for each class. It is also important for students to write a long essay on their research interest.

Reading materials will be suggested in the opening session.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

日本語、または英語
English or Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：

研究報告および提出された修士論文を評価する。

Presentation and participation: 50%/ Dissertation: 50%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

イギリス近世都市の「公式」と「非公式」	川名　洋	創文社	2010	978-4-423-46065-8

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
日本語：http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/index.html
英語: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
初回のオリエンテーションで説明する。

Note that this class requires a great amount of self-study.

１０．その他/In addition：
受講者は専門書を読むための英語力を必要とする。

Those who wish to participate in the seminar should contact the instructor in advance.

社会思想史演習（Ⅰ） a /History of Social Thoughts (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：小田中　直樹/NAOKI ODANAKA
曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて修士論文を作成することを予定している皆さんとともに、論文の執筆法の基礎を検討します。

This class is for the students who intend to write M.A. thesis in the field of socio-intellectual history. we will examine the basic manner of writing it.

2．学修の到達目標/Goal of study：
この演習は、博士前記課程の学生を受講生に想定しています。博士前記課程の学生の最大の課題は、いうまでもなく修士論文を執筆することです。したがって、ここでは、社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて修士論文を執筆するうえで必要になる様々なスキルの基本を説明するとともに、受講する皆さんの修士論文の準備状況を適宜チェックし、具体的なアドバイスを与えることを目的とします。

To get a basic knowledge over how to write the M.A. thesis in the field of socio-intellecrtual history.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下のような項目について、適宜検討する予定です。
(1)社会思想史学（および関連諸領域）の研究史
(2)社会思想史学のアプローチ
(3)テーマの選定
(4)修士論文に求められるコンテンツ

This class is based on the discussion over the M.A. thesis draft of each participant, especially on the following points: former researches to follow, approaches to take, themes to select, and contents necessary for the thesis.

BCP が１および２の場合は対面とオンラインの併用で、3 の場合はオンラインでおこないます。しわしくは授業中にまたはメールで指示します。

Under the condition of BCP levels 1 or 2, this class will be given face-to-face style and/or online, and in the case of BCP levels 3 or more, online. The detail will be given in the class or by mail.

1.オリエンテーション
2.社会思想史学及び関連諸領域の研究史　歴史学
3.社会思想史学及び関連諸領域の研究史　社会経済史学
4.社会思想史学及び関連諸領域の研究史　社会思想
5.社会思想史学及び関連諸領域の研究史　その他
6.)社会思想史学のアプローチ　歴史的アプローチ
7.)社会思想史学のアプローチ　思想的アプローチ
8.)社会思想史学のアプローチ　知識社会学的アプローチ
9.)社会思想史学のアプローチ　その他
10.テーマの選定　ケーススタディ(1)
11.テーマの選定　ケーススタディ(2)
12 テーマの選定　ケーススタディ(3)
13.修士論文に求められるコンテンツ　先行研究
14.修士論文に求められるコンテンツ　論理性
15.修士論文に求められるコンテンツ　オリジナリティ

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
Japanese

6．成績評価方法/Evaluation method：
通常の参加を評価します。

Participation, and preparation are evaluated.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
授業中の検討において必要と判断された修正箇所について、修士論文ドラフトを適宜修正することが予習と復習を兼ねることになります。

Modifying the draft of Thesis draft according to the discussion and advises.

１０．その他/In addition：
授業に参加を希望する学生は、授業の進め方を知るため、必ず事前に
odanaka@tohoku.ac.jp
にてコンタクトをとること。

Those who would like to take this course MUST send a mail, in order to know how it goes on, before the beginning to: odanaka@tohoku.ac.jp

社会思想史演習 (Ⅰ) b/History oh Social Thoughts (Seminar Ib)

担当教員/Instructor:小田中　直樹/NAOKI ODANAKA
曜日・講時/Day/Period:後期 火曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants:1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering:EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s):2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:
社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて修士論文を作成することを予定している皆さんとともに、論文の執筆法の基礎を検討します。

This class is for the students who intend to write M.A. thesis in the field of socio-intellectual history. we will examine the basic manner of writing it.

2. 学修の到達目標/Goal of study:
この演習は、博士前記課程の学生を受講生に想定しています。博士前記課程の学生の最大の課題は、いうまでもなく修士論文を執筆することです。したがって、ここでは、社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて修士論文を執筆するうえで必要になる様々なスキルの基本を説明するとともに、受講する皆さんの修士論文の準備状況を適宜チェックし、具体的なアドバイスを与えることを目的とします。

To get a basic knowledge over how to write the M.A. thesis in the field of socio-intellecrtual history.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:
以下のような項目について、適宜検討する予定です。
(1)社会思想史学 (および関連諸領域) の研究史
(2)社会思想史学のアプローチ
(3)テーマの選定
(4)修士論文に求められるコンテンツ

This class is based on the discussion over the M.A. thesis draft of each participant, especially on the following points: former researches to follow, approaches to take, themes to select, and contents necessary for the thesis.

BCP が 1 および 2 の場合は対面とオンラインの併用で、3 の場合はオンラインでおこないます。しわしくは授業中にまたはメールで指示します。

Under the condition of BCP levels 1 or 2, this class will be given face-to-face style and/or online, and in the case of BCP levels 3 or more, online. The detail will be given in the class or by mail.

1.オリエンテーション
2.社会思想史学及び関連諸領域の研究史　歴史学
3.社会思想史学及び関連諸領域の研究史　社会経済史学
4.社会思想史学及び関連諸領域の研究史　社会思想
5.社会思想史学及び関連諸領域の研究史　その他
6.)社会思想史学のアプローチ　歴史的アプローチ
7.)社会思想史学のアプローチ　思想的アプローチ
8.)社会思想史学のアプローチ　知識社会学的アプローチ
9.)社会思想史学のアプローチ　その他
10.テーマの選定　ケーススタディ(1)
11.テーマの選定　ケーススタディ(2)
12 テーマの選定　ケーススタディ(3)
13.修士論文に求められるコンテンツ　先行研究
14.修士論文に求められるコンテンツ　論理性
15.修士論文に求められるコンテンツ　オリジナリティ

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course:
Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method:
通常の参加を評価します。

Participation, and preparation are evaluated.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
授業中の検討において必要と判断された修正箇所について、修士論文ドラフトを適宜修正することが予習と復習を兼ねることになります。

Modifying the draft of Thesis draft according to the discussion and advises.

１０．その他/In addition：
授業に参加を希望する学生は、授業の進め方を知るため、必ず事前に
odanaka@tohoku.ac.jp
にてコンタクトをとること。

Those who would like to take this course MUST send a mail, in order to know how it goes on, before the beginning to: odanaka@tohoku.ac.jp

社会思想史演習 (Ⅱ) a /History of Social Thoughts (Seiminar IIa)

担当教員/Instructor：小田中　直樹/NAOKI ODANAKA
曜日・講時/Day/Period：前期 木曜日 1講時
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて修士論文を作成することを予定している皆さんとともに、論文の執筆法の基礎を検討します。

This class is for the students who intend to write M.A. thesis in the field of socio-intellectual history. we will examine the basic manner of writing it.

2．学修の到達目標/Goal of study：
この演習は、博士前記課程の学生を受講生に想定しています。博士前記課程の学生の最大の課題は、いうまでもなく修士論文を執筆することです。したがって、ここでは、社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて修士論文を執筆するうえで必要になる様々なスキルの基本を説明するとともに、受講する皆さんの修士論文の準備状況を適宜チェックし、具体的なアドバイスを与えることを目的とします。

To get a basic knowledge over how to write the M.A. thesis in the field of socio-intellecrtual history.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下のような項目について、参加者各位の修士論文ドラフトを適宜検討する予定です。
(1)社会思想史学（および関連諸領域）の研究史
(2)社会思想史学のアプローチ
(3)テーマの選定
(4)修士論文に求められるコンテンツ

This class is based on the discussion over the M.A. thesis draft of each participant, especially on the following points: former researches to follow, approaches to take, themes to select, and contents necessary for the thesis.

BCP が1および2の場合は対面とオンラインの併用で、3の場合はオンラインでおこないます。しわしくは授業中にまたはメールで指示します。

Under the condition of BCP levels 1 or 2, this class will be given face-to-face style and/or online, and in the case of BCP levels 3 or more, online. The detail will be given in the class or by mail.

1. イントロダクション
2. 修士論文ドラフトのチェック(1)
3. 修士論文ドラフトのチェック(2)
4. 修士論文ドラフトのチェック(3)
5. 修士論文ドラフトのチェック(4)
6. 修士論文ドラフトのチェック(5)
7. 修士論文ドラフトのチェック(6)
8. 修士論文ドラフトのチェック(7)
9. 修士論文ドラフトのチェック(8)
10. 修士論文ドラフトのチェック(9)
11. 修士論文ドラフトのチェック(10)
12. 修士論文ドラフトのチェック(11)
13. 修士論文ドラフトのチェック(12)
14. 修士論文ドラフトのチェック(13)
15. 修士論文ドラフトのチェック(14)

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
Japanese

6．成績評価方法/Evaluation method：
通常の参加を評価します。

Participation, and preparation are evaluated.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
授業中の検討において必要と判断された修正箇所について、修士論文ドラフトを適宜修正することが予習と復習を兼ねることになります。

Modifying the draft of Thesis draft according to the discussion and advises.

１０．その他/In addition：
授業に参加を希望する学生は、授業の進め方を知るため、必ず事前に
odanaka@tohoku.ac.jp
にてコンタクトをとること。

Those who would like to take this course MUST send a mail, in order to know how it goes on, before the beginning to: odanaka@tohoku.ac.jp

社会思想史演習 (Ⅱ) b/History of Social Thoughts (Seminar IIb)

担当教員/Instructor:小田中　直樹/NAOKI ODANAKA
曜日・講時/Day/Period:後期 木曜日 1講時
対象学年/Eligible Participants:2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering:EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s):2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:
社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて修士論文を作成することを予定している皆さんとともに、論文の執筆法の基礎を検討します。

This class is for the students who intend to write M.A. thesis in the field of socio-intellectual history. we will examine the basic manner of writing it.

2. 学修の到達目標/Goal of study:
この演習は、博士前記課程の学生を受講生に想定しています。博士前記課程の学生の最大の課題は、いうまでもなく修士論文を執筆することです。したがって、ここでは、社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて修士論文を執筆するうえで必要になる様々なスキルの基本を説明するとともに、受講する皆さんの修士論文の準備状況を適宜チェックし、具体的なアドバイスを与えることを目的とします。

To get a basic knowledge over how to write the M.A. thesis in the field of socio-intellecrtual history.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:
以下のような項目について、参加者各位の修士論論文ドラフトを適宜検討する予定です。
(1)社会思想史学 (および関連諸領域) の研究史
(2)社会思想史学のアプローチ
(3)テーマの選定
(4)修士論文に求められるコンテンツ

This class is based on the discussion over the M.A. thesis draft of each participant, especially on the following points: former researches to follow, approaches to take, themes to select, and contents necessary for the thesis.

BCP が1および2の場合は対面とオンラインの併用で、3の場合はオンラインでおこないます。しわしくは授業中にまたはメールで指示します。

Under the condition of BCP levels 1 or 2, this class will be given face-to-face style and/or online, and in the case of BCP levels 3 or more, online. The detail will be given in the class or by mail.

1. イントロダクション
2. 修士論文ドラフトのチェック(1)
3. 修士論文ドラフトのチェック(2)
4. 修士論文ドラフトのチェック(3)
5. 修士論文ドラフトのチェック(4)
6. 修士論文ドラフトのチェック(5)
7. 修士論文ドラフトのチェック(6)
8. 修士論文ドラフトのチェック(7)
9. 修士論文ドラフトのチェック(8)
10. 修士論文ドラフトのチェック(9)
11. 修士論文ドラフトのチェック(10)
12. 修士論文ドラフトのチェック(11)
13. 修士論文ドラフトのチェック(12)
14. 修士論文ドラフトのチェック(13)
15. 修士論文ドラフトのチェック(14)

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course:
Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method:
通常の参加を評価します。

Participation, and preparation are evaluated.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
授業中の検討において必要と判断された修正箇所について、修士論文ドラフトを適宜修正することが予習と復習を兼ねることになります。

Modifying the draft of Thesis draft according to the discussion and advises.

１０．その他/In addition：
授業に参加を希望する学生は、授業の進め方を知るため、必ず事前に
odanaka@tohoku.ac.jp
にてコンタクトをとること。

Those who would like to take this course MUST send a mail, in order to know how it goes on, before the beginning to: odanaka@tohoku.ac.jp

経済計画論演習（Ⅰ） a /Economic Planning (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：大瀬戸　真次/SHINJI OHSETO
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design.]

２．学修の到達目標/Goal of study：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を読む能力を身につける。

[In this course, students develop skills reading articles on mechanism design.]

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
メカニズム・デザインに関する論文を受講者が交代で報告をして、その後論文の発展性などについて討論を行う。とりあえず、開講時までに以下のサーベイ論文を入手して、論文を報告できるように準備しておくこと。

Barbera, S. (2001) “An Introduction to Strategy-Proof Social Choice Functions,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 619-653.

その後は、英文ジャーナル（Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences）等からメカニズム・デザインに関する最近の面白い論文をいくつか選んで講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design. First, they read

Barbera, S. (2001) “An Introduction to Strategy-Proof Social Choice Functions,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 619-653.

Then, they read recent articles on mechanism design published in Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences.]

履修希望者は４月１５日までに電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）を送ること。

If you wish to take this course, send an e-mail to ohseto@tohoku.ac.jp until April, 15.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点（論文の報告、宿題等）によって評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
すべての参加者が論文を報告できるように予習をしておくことが必要である。また演習後に、各自論文の拡張性、発展性を検

討して、新しい研究テーマを見つけることが望まれる。

１０．その他/In addition：

Barbera, S. (2001)のサーベイ論文を読んで報告できるように準備しておくこと。第 2 回目の授業の前日までに、私宛（ohseto@tohoku.ac.jp）に「氏名、所属、学年、学籍番号、履修したい科目名、自己紹介（200 字程度)、サーベイ論文を読んだ感想（500 字程度)」を電子メールで送ること。

履修に関する質問等は、随時電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）で受け付ける。

経済計画論演習（Ｉ） a と経済計画論演習（Ｉ）b は独立に受講できる。
同様に、Seminar in Economics a と Seminar in Economics b は独立に受講できる。

経済計画論演習 (Ⅰ) b/Economic Planning (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：大瀬戸　真次/SHINJI OHSETO
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design.]

2．学修の到達目標/Goal of study：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を読む能力を身につける。

[In this course, students develop skills reading articles on mechanism design.]

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
メカニズム・デザインに関する論文を受講者が交代で報告をして、その後論文の発展性などについて討論を行う。とりあえず、開講時までに以下のサーベイ論文を入手して、論文を報告できるように準備しておくこと。

Jackson, M.O. (2001) “A Crash Course in Implementation Theory,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 655-708.

その後は、英文ジャーナル (Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences) 等からメカニズム・デザインに関する最近の面白い論文をいくつか選んで講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design. First, they read

Jackson, M.O. (2001) “A Crash Course in Implementation Theory,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 655-708.

Then, they read recent articles on mechanism design published in Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences.]

履修希望者は１０月１５日までに電子メール (ohseto@tohoku.ac.jp) を送ること。

If you wish to take this course, send an e-mail to ohseto@tohoku.ac.jp until October, 15.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語

6．成績評価方法/Evaluation method：
平常点 (論文の報告、宿題等) によって評価する。

7．教科書および参考書/Textbook and references：

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：
すべての参加者が論文を報告できるように予習をしておくことが必要である。また演習後に、各自論文の拡張性、発展性を検

討して、新しい研究テーマを見つけることが望まれる。

１０．その他/In addition：

Jackson, M.O. (2001)のサーベイ論文を読んで報告できるように準備しておくこと。第 2 回目の授業の前日までに、私宛（ohseto@tohoku.ac.jp）に「氏名、所属、学年、学籍番号、履修したい科目名、自己紹介（200 字程度)、サーベイ論文を読んだ感想（500 字程度)」を電子メールで送ること。

履修に関する質問等は、随時電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）で受け付ける。

経済計画論演習（Ｉ） a と経済計画論演習（Ｉ）b は独立に受講できる。
同様に、Seminar in Economics a と Seminar in Economics b は独立に受講できる。

経済計画論演習（Ⅱ） a /Economic Planning (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：大瀬戸　真次/SHINJI OHSETO
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を講読する。
メカニズム・デザインに関する修士論文執筆の指導をする。

[In this course, students discuss articles on mechanism design.]

2．学修の到達目標/Goal of study：
メカニズム・デザインに関する修士論文を執筆する。

[In this course, students write a master's thesis on mechanism design.]

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
メカニズム･デザインに関する論文を受講者が交代で報告をして、その後論文の発展性などについて討論を行う。とりあえず、開講時までに以下のサーベイ論文を入手して、論文を報告できるように準備しておくこと。

[1] Barbera, S. (2001) “An Introduction to Strategy-Proof Social Choice Functions,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 619-653.
[2] Jackson, M.O. (2001) “A Crash Course in Implementation Theory,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 655-708.

その後は、英文ジャーナル（Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences）等から修士論文執筆に必要なメカニズム・デザインに関する最近の面白い論文をいくつか選んで講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design. First, they read

[1] Barbera, S. (2001) “An Introduction to Strategy-Proof Social Choice Functions,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 619-653.
[2] Jackson, M.O. (2001) “A Crash Course in Implementation Theory,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 655-708.

Then, they read recent articles on mechanism design published in Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences.]

履修希望者は４月１５日までに電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）を送ること。

If you wish to take this course, send an e-mail to ohseto@tohoku.ac.jp until April, 15.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語

6．成績評価方法/Evaluation method：
平常点（論文の報告、宿題等）と修士論文によって評価する。

7．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各自論文の拡張性、発展性を検討して、新しい研究成果をあげることが必要である

１０．その他/In addition：
Barbera, S. (2001)と Jackson, M.O. (2001)のサーベイ論文を読んで報告できるように準備しておくこと。第２回目の授業の前日までに、私宛（ohseto@tohoku.ac.jp）に「氏名、所属、学年、学籍番号、履修したい科目名、自己紹介（200 字程度)、サーベイ論文を読んだ感想（500 字程度)」を電子メールで送ること。

履修に関する質問等は、随時電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）で受け付ける。

経済計画論演習（Ⅱ） b/Economic Planning (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：大瀬戸　真次/SHINJI OHSETO
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を講読する。
メカニズム・デザインに関する修士論文執筆の指導をする。

[In this course, students discuss articles on mechanism design.]

2．学修の到達目標/Goal of study：
メカニズム・デザインに関する修士論文を執筆する。

[In this course, students write a master's thesis on mechanism design.]

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
メカニズム・デザインに関する論文を受講者が交代で報告をして、その後論文の発展性などについて討論を行う。とりあえず、開講時までに以下のサーベイ論文を入手して、論文を報告できるように準備しておくこと。

[1] Barbera, S. (2001) "An Introduction to Strategy-Proof Social Choice Functions," Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 619-653.
[2] Jackson, M.O. (2001) "A Crash Course in Implementation Theory," Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 655-708.

その後は、英文ジャーナル (Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences) 等から修士論文執筆に必要なメカニズム・デザインに関する最近の面白い論文をいくつか選んで講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design. First, they read

[1] Barbera, S. (2001) "An Introduction to Strategy-Proof Social Choice Functions," Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 619-653.
[2] Jackson, M.O. (2001) "A Crash Course in Implementation Theory," Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 655-708.

Then, they read recent articles on mechanism design published in Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences.]

履修希望者は１０月１５日までに電子メール (ohseto@tohoku.ac.jp) を送ること。

If you wish to take this course, send an e-mail to ohseto@tohoku.ac.jp until October, 15.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語

6．成績評価方法/Evaluation method：
平常点（論文の報告、宿題等）と修士論文によって評価する。

7．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各自論文の拡張性、発展性を検討して、新しい研究成果をあげることが必要である

１０．その他/In addition：
Barbera, S. (2001)と Jackson, M.O. (2001)のサーベイ論文を読んで報告できるように準備しておくこと。第２回目の授業の前日までに、私宛（ohseto@tohoku.ac.jp）に「氏名、所属、学年、学籍番号、履修したい科目名、自己紹介（200 字程度)、サーベイ論文を読んだ感想（500 字程度)」を電子メールで送ること。

履修に関する質問等は、随時電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）で受け付ける。

応用マクロ経済学演習（Ⅰ） a /Applied Macroeconomics (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：鈴木　通雄/MICHIO SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ２講時.前期 月曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
マクロ経済学に関する研究論文を輪読する。今年度は、経済全体、産業、企業レベルの生産性成長率の測定とその決定要因に関する論文を読む予定である。

We will read research papers in Macroeconomics. This year, we will focus on the papers about the measurement (estimation) of productivity growth at the aggregate, industy, and firm level and its determinants.

２．学修の到達目標/Goal of study：
マクロ経済学の各分野の最新の研究動向を知り、それを修士論文の作成に役立てる。

The purpose of this course is to prepare students to write a master thesis by reviewing the frontier of macroeconomics research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
今年度は、経済全体、産業、企業レベルの生産性成長率の測定とその決定要因に関する論文を読む予定である。担当教官が初回授業でリーディングリストを配布する。

The instructor will distribute a reading list of papers on the measurement of productivity growth and its determinants.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語、英語
Japaesen, English

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告及び平常の参加状況による。

In-class preentations and class attendance.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google classroom のコースページ参照(Class code:ucfr6mi)
See the course page in Google classroom.(Class code:ucfr6mi)

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
論文報告のための準備が必要になる。

Students need to prepare for presentations.

１０．その他/In addition：
初回授業はオンライン（Google Meet, リアルタイム）で行います。Google Meet のリンクは Google classroom でご確認ください。

The first class will be online (Google Meet, real time); please check Google classroom for the Google Meet link.

応用マクロ経済学演習（Ⅰ） b/Applied Macroeconomics (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：鈴木　通雄/MICHIO SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ２講時.後期 月曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
マクロ経済学に関する研究論文を輪読する。今年度は、経済全体、産業、企業レベルの生産性成長率の測定とその決定要因に関する論文を読む予定である。

We will read research papers in Macroeconomics. This year, we will focus on the papers about the measurement (estimation) of productivity growth at the aggregate, industy, and firm level and its determinants.

２．学修の到達目標/Goal of study：
マクロ経済学の各分野の最新の研究動向を知り、それを修士論文の作成に役立てる。

The purpose of this course is to prepare students to write a master thesis by reviewing the frontier of macroeconomics research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
今年度は、経済全体、産業、企業レベルの生産性成長率の測定とその決定要因に関する論文を読む予定である。担当教官が初回授業でリーディングリストを配布する。

The instructor will distribute a reading list of papers on the measurement of productivity growth and its determinants.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語、英語
Japaesen, English

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告及び平常の参加状況による。

In-class preentations and class attendance.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google classroomのコースページ参照(Class code:ye4zfl6)
See the course page in Google classroom.(Class code:ye4zfl6)

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
論文報告のための準備が必要になる。

Students need to prepare for presentations.

１０．その他/In addition：
初回授業はオンライン（Google Meet, リアルタイム）で行います。Google MeetのリンクはGoogle classroomでご確認ください。

The first class will be online (Google Meet, real time); please check Google classroom for the Google Meet link.

応用マクロ経済学演習（Ⅱ） a /Applied Macroeconomics (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：鈴木　通雄/MICHIO SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：前期
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
マクロ経済学の分野で修士論文を書く学生に、論文執筆の指導をする。

For students who wish to write their master's thesis in Macroeconomics, the instructor gives advise on their research in this course.

２．学修の到達目標/Goal of study：
修士論文の作成。

Students are expected to write master's thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
修士論文の完成に向けて、参加者に、論文テーマ、関連文献のサーベイ、分析結果などを報告してもらい、皆で議論する。

This course mainly consists of students' progresss report on their master thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語、英語
Japaesen, English

６．成績評価方法/Evaluation method：
出席と修士論文による。

The evaluation is based on class attendance and master's thesis.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google classroomのコースページ参照(Class code:a36iptf)
See the course page in Google classroom.(Class code:a36iptf)

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

応用マクロ経済学演習 (Ⅱ) b/Applied Macroeconomics (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：鈴木　通雄/MICHIO SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：後期
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
定量マクロ経済分析または実証分析で修士論文を書く学生に、論文執筆の指導をする。

For students who wish to write their master's thesis in Macroeconomics, the instructor gives advise on their research in this course.

2．学修の到達目標/Goal of study：
修士論文の作成。

Students are expected to write master's thesis.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
修士論文の完成に向けて、参加者に、論文テーマ、関連文献のサーベイ、分析結果などを報告してもらい、皆で議論する。

This course mainly consists of students' progresss report on their master thesis.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語、英語

6．成績評価方法/Evaluation method：
出席と修士論文による。

The evaluation is based on class attendance and master's thesis.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google classroomのコースページ参照(Class code:6bkkea7)
See the course page in Google classroom.(Class code:6bkkea7)

9．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

経営学原理演習（Ⅰ） a /Management (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：前期 木曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営学における理論構築について学ぶ。社会科学としての経営学の研究を進めるにあたって、研究方法論を理解しておくことは必須の前提条件であろう。本演習では、まず社会科学における理論構築の方法について基礎的な理解を行い、次いで、社会学研究における数理演繹的アプローチ、実証主義的アプローチ、ならびに解釈学的アプローチついて抽出し、両者の比較および検討を行う。

This seminar will instruct you to learn how to model a management theory and research method to proceed management study as a subject of social science. At first we hope you can fundamentally understand a variety of theoretical methods in the field of social science while comparing and analyzing mathematical deductive approach with positivism approach as well as hermeneutic approach.

2．学修の到達目標/Goal of study：
経営学の理論構築における方法論的立場について理解を深める。またこの学習を通じて、自らの研究が依拠する方法論的前提について自覚的になれるような研究センスを養う。

This seminar aims to enhance your understanding of various methodological approaches for theory-modeling in management study and inspire your research sense so that you can acknowledge your own methodological premise on which you rely on unconsciously.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
テキストを各章ごとに読み進める。
(1) 社会科学における理論構築―概念、仮説、検証
(2) さまざまな研究法―実験、サーベイ・リサーチ、参与観察
(3) 社会学研究法の諸類型
(4) モノグラフ、ドキュメント解析、エスノメソドロジー
(5) 計量分析、多変量解析、数理モデルの構築と解析

※基本的に教室開講（対面授業）となりますが、希望者がいればオンライン（zoom）も併用します。
（本学 BCP レベル等によりオンラインのみとなる可能性もあります）
Google Classroom を活用して授業の連絡（zoom の URL 等の通知）を行います。
（GPEM 学生も上記 Classroom 合同となります）

This seminar deals with the following topics: theory development in social science, various models of sociology, qualitative and quantitative methods.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

6．成績評価方法/Evaluation method：
毎回のディスカッションにおける貢献度や期末レポート等に基づいて評価する。

7．教科書および参考書/Textbook and references：

創造の方法学	高根正昭	講談社	1979	教科書
社会学研究法―リアリティの捉え方	今田高俊編	有斐閣	2000	教科書

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：
自主的にテキストの各章を読み、討論すべき論点を提示する必要がある。講義後にノートを見直すことで復習に当ててもらいたい。

１０．その他/In addition：

演習Ｉｂとセットでの受講を薦める。オフィスアワーは金曜３限（その他、随時）である。
連絡先は担当教員の HP である次のサイトを参照のこと。
http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~takaura/

経営学原理演習（Ⅰ） b /Management (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：後期 木曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
演習Ｉａに引き続き、経営学における理論構築の方法を学ぶ。本演習では、仮説の構築・検証のプロセスを通じた理論構築法の基礎を学び、定量的調査法ならびに定性的調査法の一つである事例研究の方法論を主として概観しながら、経営現象への適用ケースを具体的に検討する。

This seminar will instruct you to learn how to model a management theory and understand the foundation of theory-building through the process of constructing hypothesis and verifying it while mainly overviewing both the quantitative and qualitative research methods such as case study applied for business phenomenon.

２．学修の到達目標/Goal of study：
定量的ならびに定性的調査の概念と技法について理解し、経営学分野の実証研究を遂行するにあたっての基礎能力の獲得をめざす。

This seminar enables you to understand the basic concepts and approaches of quantitative and qualitative research methods so that you can promote the empirical research in the field of management.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
テキストを各章ごとに読み進める。優れた研究事例から学ぶべき点について討議する。
(1) 経営学研究法の諸類型
(2) 定量的調査の研究事例
(3) ケーススタディの研究事例

※基本的に教室開講（対面授業）となりますが、希望者がいればオンライン（zoom）も併用します。
（本学 BCP レベル等によりオンラインのみとなる可能性もあります）
Google Classroom を活用して授業の連絡（zoom の URL 等の通知）を行います。
（GPEM 学生も上記 Classroom 合同となります）

We would discuss about the following points in the class: various types of the research method in management, quantitative research cases and case studies.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
毎回のディスカッションにおける貢献度や期末レポート等に基づいて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

リサーチ・マインドー 経営学研究法	藤本隆宏他編	有斐閣	2005	教科書
ブラックスワンの経営学	井上達彦	日経 BP	2014	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自主的にテキストの各章を読み、討論すべき論点を提示する必要がある。講義後にノートを見直すことで復習に当ててもらいたい。

１０．その他/In addition：
演習Ｉａを先に受講していなくても構わない。
オフィスアワーは木曜３限（その他、随時）である。
連絡先は担当教員の HP である次のサイトを参照のこと。http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~takaura/

経営学原理演習（Ⅱ） a /Management (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営学（とくに企業倫理、CSR、企業とNPOの関係論など）の理論構築および方法論に関連して、各自の修士論文に対して指導および助言を行う。受講者全体での討議も行う。

This seminar will instruct and suggest you to write a proper master thesis in regard with building management theories specifically in business ethics, CSR and the relationship between business and non-profits.

2．学修の到達目標/Goal of study：
経営学（とくに上記領域）の修士論文の制作にあたって、その理論構築および方法論の側面について、より分析ないし記述が精緻化されることをめざす。

This seminar aims to enable you to refine your description and analysis of theory building and methodology in preparing your master thesis.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
基本的に研究室開講（対面授業）となりますが、オンライン（zoom）も併用します。詳細は担当教員まで確認してください。

隔週で各自が発表することを基本とする。担当者は、論文の一部（構想のスケッチや既存文献のレビュー、調査報告、映像視聴など）について報告を行う。
教科書等はとくに指定しない。

This class requires you to present a piece of your research such as sketching ideas, reviewing the previous research and reporting your research.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

6．成績評価方法/Evaluation method：
各回の報告内容とディスカッションにおける貢献度に応じて評価する。

7．教科書および参考書/Textbook and references：

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表者は事前の準備、事後の論文へのフィードバックを行うことが期待される。

１０．その他/In addition：
【使用言語】日本語（発表等については英語可）
本演習ⅡaとⅡbの受講の順序はとくに問わない。
オフィスアワーは金曜３限（その他、随時）である。
連絡先は担当教員のHPである次のサイトを参照のこと。
http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~takaura/

経営学原理演習（Ⅱ） b /Management (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営学（とくに企業倫理、CSR、企業とNPOの関係論など）の理論構築および方法論に関連して、各自の修士論文に対して指導および助言を行う。受講者全体での討議も行う。

This seminar will instruct and suggest you to write a proper master thesis in regard with building management theories specifically in business ethics, CSR and the relationship between business and non-profits.

2．学修の到達目標/Goal of study：
経営学（とくに上記領域）の修士論文の制作にあたって、その理論構築および方法論の側面について、より分析ないし記述が精緻化されることをめざす。

This seminar aims to enable you to refine your description and analysis of theory building and methodology in preparing your master thesis.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
基本的に研究室開講（対面授業）となりますが、オンライン（zoom）も併用します。詳細は担当教員まで確認してください。

隔週で各自が発表することを基本とする。担当者は、論文の一部（構想のスケッチや既存文献のレビュー、調査報告、映像視聴など）について報告を行う。
教科書等はとくに指定しない。

This class requires you to present a piece of your research such as sketching ideas, reviewing the previous research and reporting your research.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

6．成績評価方法/Evaluation method：
各回の報告内容とディスカッションにおける貢献度に応じて評価する。

7．教科書および参考書/Textbook and references：

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表者は事前の準備、事後の論文へのフィードバックを行うことが期待される。

１０．その他/In addition：
【使用言語】日本語（発表等については英語可）
本演習ⅡaとⅡbの受講の順序はとくに問わない。
オフィスアワーは金曜３限（その他、随時）である。
連絡先は担当教員のHPである次のサイトを参照のこと。
http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~takaura/

マーケティング管理論演習（Ⅰ） a /Research Seminar in Marketing Management(Seminar Ia)

担当教員/Instructor：一小路　武安/TAKEYASU ICHIKOHJI
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ６講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
マーケティングを含む経営学に関する論文を調べ・発表することで、
社会科学における論文に読み方・理解の仕方を学ぶ。
In this seminar, students will learn how to read and understand papers in the social sciences by researching and presenting papers on business administration, including marketing.

２．学修の到達目標/Goal of study：
社会科学に関する研究のプロセスに関して理解できるようになる。
Students will be able to understand the process of research in the social sciences.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
発表者は自らの関心にあった論文を選定したうえで、レジュメを作成し、受講者の数だけ印刷して配布し、発表する。
The presenter selects a paper of his/her own interest, prepares a resume, prints and distributes it to as many students as possible, and makes a presentation.

受講者は論文を読んだうえで、概要をまとめたうえで、疑問点や論点を用意し、教員に提出する。
Participants will read the papers, summarize them, prepare questions and arguments, and submit them to the instructor.

発表者の発表後、参加者による質疑応答を行う。
After the presenter's presentation, there will be a question and answer session.

必要な連絡はGoogle Classroomを通じて行う。クラスコードはoqb4ar6である。
Any necessary communication will be done through Google Classroom. The class code is oqb4ar6.

初回講義はGoogle Meetを用いる。クラスにあるMeetのリンクにアクセスすること。
The first lecture session will be conducted in Google Meet. Access the Meet link in the class.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
日常成績による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
準備に関しては授業時間外に行うものとする。

１０．その他/In addition：

マーケティング管理論演習（Ⅰ） b/Research Seminar in Marketing Management(Seminar Ib)

担当教員/Instructor：一小路　武安/TAKEYASU ICHIKOHJI
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ６講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
マーケティングを含む経営学に関する論文を調べ・発表することで、
社会科学における論文に読み方・理解の仕方を学ぶ。
In this seminar, students will learn how to read and understand papers in the social sciences by researching and presenting papers on business administration, including marketing.

２．学修の到達目標/Goal of study：
社会科学に関する研究のプロセスに関して理解できるようになる。
Students will be able to understand the process of research in the social sciences.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
発表者は自らの関心にあった論文を選定したうえで、レジュメを作成し、受講者の数だけ印刷して配布し、発表する。
The presenter selects a paper of his/her own interest, prepares a resume, prints and distributes it to as many students as possible, and makes a presentation.

受講者は論文を読んだうえで、概要をまとめたうえで、疑問点や論点を用意し、教員に提出する。
Participants will read the papers, summarize them, prepare questions and arguments, and submit them to the instructor.

発表者の発表後、参加者による質疑応答を行う。
After the presenter's presentation, there will be a question and answer session.

必要な連絡はGoogle Classroomを通じて行う。クラスコードはevepdxjである。
Any necessary communication will be done through Google Classroom. The class code is evepdxj.

初回講義はGoogle Meetを用いる。クラスにあるMeetのリンクにアクセスすること。
The first lecture session will be conducted in Google Meet. Access the Meet link in the class.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
日常成績による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
準備に関しては授業時間外に行うものとする。

１０．その他/In addition：

マーケティング管理論演習（Ⅱ） a /Research Seminar in Marketing Management(Seminar IIa)

担当教員/Instructor：一小路　武安/TAKEYASU ICHIKOHJI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
修士論文執筆のための指導を行う。
Students are provided with guidance for writing their master's thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
修士論文を向上させる。
Students improve their master's thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
修士論文のデータ収集や分析を適宜進めていく。
Students will proceed with data collection and analysis for their master's thesis as appropriate.

必要な連絡はGoogle Classroomを通じて行う。クラスコードはk72x34cである。
Any necessary communication will be done through Google Classroom. The class code is k72x34c.

履修にあたっては、事前にクラスルーム上に書き込みをして連絡すること。
If you want to take this course, please contact me in advance by writing on the class room.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
修士論文の完成度で決定する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
修士論文の執筆は基本的に授業時間外に行う。

１０．その他/In addition：

マーケティング管理論演習（Ⅱ） b/Research Seminar in Marketing Management(Seminar IIb)

担当教員/Instructor：一小路　武安/TAKEYASU ICHIKOHJI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
修士論文執筆のための指導を行う。
Students are provided with guidance for writing their master's thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
修士論文を向上させる。
Student submits a master's thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
修士論文のデータ収集や分析を適宜進めていく。
Students will proceed with data collection and analysis for their master's thesis as appropriate.

必要な連絡はGoogle Classroomを通じて行う。クラスコードはn6wsgp2である。
Any necessary communication will be done through Google Classroom. The class code is n6wsgp2.

履修にあたっては、事前にクラスルーム上に書き込みをして連絡すること。
If you want to take this course, please contact me in advance by writing on the class room.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
修士論文の完成度で決定する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
修士論文の執筆は基本的に授業時間外に行う。

１０．その他/In addition：

金融論演習 (Ⅰ) a /Money and Banking (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：浅野　康司/KOJI ASANO
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This seminar focuses on financial decision-making and asset pricing.

２．学修の到達目標/Goal of study：
At the end of the seminar, students should be able to gain a deeper understanding of asset pricing.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
This is a reading group based on students' presentations.

Information on the seminar will be provided via Google Classroom: the class code is u7rgqpa.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
The seminar is operated in either English or Japanese depending on the audience.

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Financial Decisions and Markets: A Course in Asset Pricing	John Y. Campbell	Princeton University Press	2017
Market Liquidity: Theory, Evidence, and Policy	Thierry Foucault, Marco Pagano, Ailsa Roell	Oxford University Press	2013

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
Students must have knowledge of the intermediate level of microeconomics and macroeconomics.

Students do not need to register for Seminar in Economics b.

金融論演習 (Ⅰ) b/Money and Banking (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：浅野　康司/KOJI ASANO
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This seminar focuses on international macroeconomics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
At the end of the seminar, students should be able to gain a deeper understanding of international macroeconomics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
This is a reading group based on students' presentations.

Information on the seminar will be provided via Google Classroom: the class code is fibk4z3.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
The seminar is operated in either English or Japanese depending on the audience.

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Open Economy Macroeconomics	Martín Uribe, Stephanie Schmitt-Grohé	Princeton University Press	2017
International Macroeconomics	Stephanie Schmitt-Grohe, Martin Uribe, Michael Woodford	Princeton University Press	2022
Foundations of International Macroeconomics	Maurice Obstfeld, Kenneth Rogoff	The MIT Press	1996

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
Students must have knowledge of the intermediate level of microeconomics and macroeconomics.

Students do not need to register for Seminar in Economics a.

国際金融論演習 (Ⅰ) a /international Finance (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：秋田　次郎/JIRO AKITA
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

国際金融論は開放体系マクロ経済学としての側面と，金融ミクロ経済学の国際的展開ないし国際金融ミクロ経済学としての側面を併せ持つ。演習Ⅰａでは，後者の国際金融ミクロ経済学としての国際金融論に用いられる非対称情報の経済学の基礎部分を学ぶ。

International finance encompasses open economy macroeconomics and microeconomics of financial transactions and contracts. Seminar-a focuses on the latter with particular emphasis on the basic contract theory of asymmetric information.

授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材もGoogle Classroomを通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom.

２．学修の到達目標/Goal of study：

・不確実性下の経済主体の最適化行動についての基礎理論を理解する。
・対称情報下における保険契約，危険分散化行動の意義について理解する。
・非対称情報の経済理論の主要パラダイムの基礎について理解する。

＊ To understand basic theory of optimal economic behavior under uncertainty.
＊ To understand insurance and risk diversification behavior under symmetric information.
＊ To understand canonical paradigms of asymmetric information.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom　(クラスコード【63jupwa】(EM2069)、【jx3m5fa】(EM4151)) を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材もGoogle Classroomを通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom (class code 【63jupwa】(EM2069)、【jx3m5fa】(EM4151)).

・条件付財，期待効用理論，経済主体の危険態度
・対称情報と最適保険契約
・非対称情報とアドバース・セレクション
・非対称情報とモラル・ハザード
・非対称情報とシグナリング

＊ Contingent Goods, Expected Utility Theory, Risk Attitudes
＊ Symmetric Information and Optimal Insurance Contract
＊ Asymmetric Information: Adverse Selection
＊ Asymmetric Information: Moral Hazard
＊ Asymmetric Information: Signaling

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

日本語　and/or　English

６．成績評価方法/Evaluation method：

通常の成績ないし理解度確認セッションにより評価する。

Evaluation will be based on regular attendance and performance in the class.
Final examination may be conducted when it suits.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

An Introduction to the Economics of Information, 2nd Ed.	Ines Macho-Stadler & J. David Perez-Castrillo	Oxford University Press	2001
Financial Economics	Jurgen Eichberger & Ian R. Harper	Oxford University Press	1997

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予め指定する参考文献を事前に十分に予習する事、および授業後に授業内容を十分に復習する事を強く勧める。

The course consists of workshop discussions as opposed to formal lectures.
Thorough preparation before and review after each workshop session is expected on the part of attendants.

１０．その他/In addition：
※履修の条件について：
特に定めないが、授業内容は学部程度の経済数学およびミクロ経済学の知識，英語読解力を最低限の前提とする。

Previous exposure to undergraduate level microeconomics is prerequisite.
Familiarity with mathematics for economists is preferable.

国際金融論演習 (Ⅰ) b/International Finance (Seminar Ib)

担当教員/Instructor:秋田 次郎/JIRO AKITA
曜日・講時/Day/Period:後期 金曜日 3講時
対象学年/Eligible Participants:1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering:EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s):2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

国際金融論は開放体系マクロ経済学としての側面と,金融ミクロ経済学の国際的展開ないし国際金融ミクロ経済学としての側面を併せ持つ。演習Ⅰbでは,演習Ⅰaにおける学習の延長線上に後者の国際金融ミクロ経済学としての国際金融論に用いられる非対称情報の経済学の応用部分を学ぶ。

International finance encompasses open economy macroeconomics and microeconomics of financial transactions and contracts. Seminar-b focuses on the latter with particular emphasis on the application of asymmetric information theory to financial contracts.

授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材もGoogle Classroomを通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

・不確実性と非対称情報の経済学の金融市場への応用について理解する。
・金融市場で観察される信用割当や標準債務契約の経済学的背景を理解する。
・銀行の破綻が如何なる場合に効率的ないし非効率的であるかを理解する。

* To understand how the theory of uncertainty and asymmetric information is applicable to financial markets.
* To understand how microeconomics explains credit rationing and standard debt contract..
* To understand when and why bank default can be efficient.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom (クラスコード【acyjtth】(EM2070)、【ijpjfie】(EM4152)) を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材もGoogle Classroomを通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom (class code 【acyjtth】(EM2070)、【ijpjfie】(EM4152)).

・対称情報および非対称情報と金融市場
・非対称情報と信用割り当て
・観察費用と標準債務契約
・銀行破綻の効率性・非効率生
・銀行経営の慎重さ

* Symmetric Information, Asymmetric Information, Financial Market
* Asymmetric Information and Credit Rationing
* Verification Cost and Standard Debt Contract
* Efficiency and Inefficiency associated with Bank Default
* Prudence in Bank Management

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語 and/or English

6. 成績評価方法/Evaluation method:

通常の成績ないし理解度確認セッションにより評価する。

Evaluation will be based on regular attendance and performance in the class.
Final examination may be conducted when it suits.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

Financial Economics	Jurgen Eichberger & Ian R. Harper	Oxford University Press	1997
An Introduction to the Economics of Information, 2nd	Ines Macho-Stadler & J. David Perez-	Oxford University Press	2001

Ed. Castrillo

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予め指定する参考文献を事前に十分に予習する事、および授業後に授業内容を十分に復習する事を強く勧める。

The course consists of workshop discussions as opposed to formal lectures.
Thorough preparation before and review after each workshop session is expected on the part of attendants.

１０．その他/In addition：
※履修の条件について：
特に定めないが、授業内容は学部程度の経済数学およびミクロ経済学の知識，英語読解力を最低限の前提とする。

Previous exposure to undergraduate level microeconomics is prerequisite.
Familiarity with mathematics for economists is preferable.

国際金融論演習 (Ⅱ) a /International Finance (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：秋田　次郎/JIRO AKITA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-EC0620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
主に国際金融論関連の修士論文の作成指導
Research guidance to produce a master's thesis primarily in the field of International Finance

授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材もGoogle Classroomを通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom.

2．学修の到達目標/Goal of study：
修士論文の完成
Successful completing of a master's thesis primarily in the field of International Finance.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom (クラスコード【ntwhnka】(EM2071)、【l6owgkn】(EM4153)、【ajztbrm】(EM4154)) を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材もGoogle Classroomを通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom (class code 【ntwhnka】(EM2071)、【l6owgkn】(EM4153)、【ajztbrm】(EM4154)).

指導は主に報告と討論を通じて、研究の完成に向けてのPlan-Do-Check-Actサイクルを回して進める。すなわち、以下のサイクルを必要な限り繰り返す。
1) Plan　自身の当初問題意識と先行研究調査を踏まえて研究の当初計画を立案する。
2) DO　当初計画に沿って研究を実施する
3) Check　研究の実施状況を当初目的に照らして評価する。
4) Act　評価に応じて当初計画あるいは実施方法を改善する。

Guidance is conducted by way of reporting and discussions, repeating "PDCA" cycle toward the completion of research.
Namely,
1) Plan　Produce your initial research plan in the light of your own idea and the state of relevanct literature.
2) DO　Carry our your research along with the plan.
3) Check　Evaluate/Study your actual progress in view of the plan.
4) Act　Act on the evaluation to improve the research plan or methodology.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語　and/or　English

6．成績評価方法/Evaluation method：
修士論文の準備状況によって評価する。
Evaluation based on the progress of master's thesis preparation.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
ミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学、経済経営数学の基礎が必須の前提条件である。
Basic knowledge of Microeconomics, Macroeconomic, Econometrics, and Mathematics for Economists is prerequisite

国際金融論演習 (Ⅱ) b/International Finance (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：秋田　次郎/JIRO AKITA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
主に国際金融論関連の修士論文の作成指導
Research guidance to produce a master's thesis primarily in the field of International Finance

授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材もGoogle Classroomを通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom.

2．学修の到達目標/Goal of study：
修士論文の完成
Successful completing of a master's thesis primarily in the field of International Finance.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom　(クラスコード【x6jeeol】(EM2072)、【kdxbsbv】(EM4155)、【76ucoxf】(EM4156)) を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材もGoogle Classroomを通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom (class code 【x6jeeol】(EM2072)、【kdxbsbv】(EM4155)、【76ucoxf】(EM4156)).

指導は主に報告と討論を通じて、研究の完成に向けてのPlan-Do-Check-Actサイクルを回して進める。すなわち、以下のサイクルを必要な限り繰り返す。
1）Plan　自身の当初問題意識と先行研究調査を踏まえて研究の当初計画を立案する。
2）DO　当初計画に沿って研究を実施する
3）Check　研究の実施状況を当初目的に照らして評価する。
4）Act　評価に応じて当初計画あるいは実施方法を改善する。

Guidance is conducted by way of reporting and discussions, repeating "PDCA" cycle toward the completion of research.
Namely,
1）Plan　Produce your initial research plan in the light of your own idea and the state of relevanct literature.
2）DO　Carry our your research along with the plan.
3）Check　Evaluate/Study your actual progress in view of the plan.
4）Act　Act on the evaluation to improve the research plan or methodology.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語　and/or　English

6．成績評価方法/Evaluation method：
修士論文の準備状況によって評価する。
Evaluation based on the progress of master's thesis preparation.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
ミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学、経済経営数学の基礎が必須の前提条件である。
Basic knowledge of Microeconomics, Macroeconomic, Econometrics, and Mathematics for Economists is prerequisite

環境経済学演習（Ⅰ） a /Environmental Economics (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：日引　聡/AKIRA HIBIKI
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
卒業論文のために必要な計量経済学の基礎知識及びＲの使い方を習得するために、基礎的なテキストなどを輪読する。

In this course, we read the textbooks of basic level of Econometrics and R to prepare the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
計量経済学の基礎的知識を理解し、実証研究の論文を読めるようになり、また、データ解析ができるようになること。

The purpose of this course is to develop the skill to read the papers of the empirical studies and to analyze the data.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
この講義では、若林ゼミ、湯田ゼミと合同ゼミで、以下のテキストを輪読する。

(1) 田中隆一著（2015)『計量経済学の第一歩：実証分析のススメ』、有斐閣
(2) 伊藤公一朗著（2017)『データ分析の力　因果関係に迫る思考法』、光文社

なお、(1) については、東北大学中央図書館の ebook を利用することでオンラインで閲覧可能
（同時のアクセス数に制限があるかもしれないので注意すること）

加えて、Ｒについての実習も行う予定。

・第１回～第１５回：輪読

In this course, we read the following textbooks

(1) 田中隆一著（2015)『計量経済学の第一歩：実証分析のススメ』、有斐閣
(2) 伊藤公一朗著（2017)『データ分析の力　因果関係に迫る思考法』、光文社

The students need to present the assigned chapters..

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告と平常の参加状況による/Based on performance in the class

７．教科書および参考書/Textbook and references：

計量経済学の第一歩：実証分析のススメ	田中隆一	有斐閣	2015
データ分析の力　因果関係に迫る思考法	伊藤公一朗	光文社	2017

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
参加者（特に報告者）には十分な予習が求められる。

１０．その他/In addition：
ミクロ経済学及び計量経済学が必須である。履修者には、これらの科目を履修済みであることか、あるいは、同時履修するこ

とが求められる。計量経済学については、履修済みか、あるいは、同時履修することが望ましい。

オフィスアワー：いつでもOK。ただし、担当教員に事前に連絡し、アポイントをとること（emailは、hibiki@tohoku.ac.jp）

環境経済学演習（Ⅰ） b/Environmental Economics (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：日引　聡/AKIRA HIBIKI
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ５講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
環境経済学、資源経済学に関する、基礎的及び最近の研究論文・研究書を読むことで、この分野の最新の研究動向をつかみ、研究の着想のヒントを得ることを目的とする。

In this course, we read the basic and recent research papers and textbook in the field of Environmental and Resource Economics to make a research project.

２．学修の到達目標/Goal of study：
この分野の研究論文を読めるようになること。

The purpose of this course is to develop the skill to read the research papers and to make a research project.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
この講義では、若林ゼミ、湯田ゼミと合同ゼミの形態で行い、研究論文を輪読する。この他、学生の状況に応じて、基礎的な文献、テキストなどの輪読も考える。また、必ずしも、環境経済学や資源経済学に強い関心がなくても、応用ミクロ経済学の分野の研究に関心のある学生も歓迎する。　・第１回～第１５回：輪読

In this course, we read research articles in Applied Economics field. The students who are interested in microeconomics fields including Environmental and Resource Economics are welcome.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告と平常の参加状況による

７．教科書および参考書/Textbook and references：
初回の授業で指示する

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
参加者（特に報告者）には十分な予習が求められる。

１０．その他/In addition：
オフィスアワー：いつでもOK。ただし、担当教員に事前に連絡し、アポイントをとること（emailは、hibiki@tohoku.ac.jp）

環境経済学演習（Ⅱ） a /Environmental Economics (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：日引　聡/AKIRA HIBIKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
環境経済学、資源経済学に関する修士論文執筆の指導をする。

I supervise the master thesis in the field of Environmental and Resource Economics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
環境経済学、資源経済学関する修士論文の構想を練る。

The goal of this study is to make a research project.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者が関心のあるテーマに関わる論文のレビューを報告し、それを土台にして、どのように研究を発展させるかについて議論を行う。ミクロ経済学の応用に関心のある学生も歓迎する。

・第１回～第１４回：先行研究のレビューとテーマ設定
・第１５回：研究提案の報告

Each students will present the paper that they are interested for their master thesis and we discuss the problems of the previous study and how to extend it.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告と平常の参加状況による

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
参加者（特に報告者）には十分な予習が求められる。

１０．その他/In addition：
この演習は、環境経済学、資源経済学に関する応用ミクロ研究（実証研究あるいは理論の応用）による修士論文執筆を目指すものであるため、大学院レベルのミクロ経済学、及び、計量経済学の知識が前提となる。したがって、これらの科目を履修済みであるか、同時履修することが求められる。計量経済学については、履修済みか、あるいは、同時履修することが望ましい。

オフィスアワー：いつでもOK。ただし、担当教員に事前に連絡し、アポイントをとること（emailは、hibiki@tohoku.ac.jp）

環境経済学演習（Ⅱ） b/Environmental Economics (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：日引　聡/AKIRA HIBIKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
環境経済学、資源経済学に関する修士論文執筆の指導をする。

I supervise students for the master thesis in the field of Environmental and Resource Economics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
環境経済学、資源経済学関する修士論文を執筆する。

The goal of this study is to complete a master thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者が関心のあるテーマに関わる論文のレビューを報告し、それを土台にして、どのように研究を発展させるかについて議論を行う。ミクロ経済学の応用に関心のある学生も歓迎する。

・第１回～第１２回：分析フレームワークの検討（実証研究の場合には、データの収集、計量分析を行う）
・第１３回～第１４回：論文執筆
・第１５回：最終報告

Each students will present the paper that they are interested for their master thesis and we discuss the problems of the previous study and how to extend it.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告と平常の参加状況による

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
参加者（特に報告者）には十分な予習が求められる。また、論文執筆のための自習が求められる。

１０．その他/In addition：
この演習は、環境経済学、資源経済学に関する応用ミクロ研究（実証研究あるいは理論の応用）による修士論文執筆を目指すものであるため、大学院レベルのミクロ経済学、及び、計量経済学の知識が前提となる。したがって、これらの科目を履修済みであるか、同時履修することが求められる。計量経済学については、履修済みか、あるいは、同時履修することが望ましい。

オフィスアワー：いつでもOK。ただし、担当教員に事前に連絡し、アポイントをとること（emailは、hibiki@tohoku.ac.jp）

産業組織論演習 (Ⅰ) a /Industrial Organization (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：泉田　成美/SHIGEMI IZUMIDA
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業組織論はミクロ経済学と計量経済学の知識を利用して企業行動や産業組織を分析する学問分野です。今期の演習では、産業組織論を政府の政策に応用した競争政策論のテキストを用いて学習します。

In this course, students learn about the basic concept of Competition Policy. Positive participation in classes is expected.

２．学修の到達目標/Goal of study：
競争政策の必要性を理解できるようになる。
競争政策上の問題（カルテル、企業結合、垂直的取引制限など）について理解できるようになる。

Students will understand the necessity of competition policy.
Students will understand the problem of competition policy such as Cartel, M&A (Mergers and Acquisitions), Vertical Restrictions of Trade, and so on.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業開講形態：BCP レベルが１または２のときは対面授業、BCP レベルが３以上になった場合には Google Meet または Zoom によるオンライン授業とすることを予定しています。

Style of this Class: Online class using Google Meet and/or normal meeting face-to-face class

Google Classroom のクラスコード「ulfocj5」。
Google Classroom's class code: ulfocj5

授業の内容・進度予定；次の内容を学習することを予定しています。
第１回　イントロダクション
第２回　競争はなぜ重要か
第３回　競争政策の生い立ちと仕組み
第４回　共謀と協調
第５回　コンテスタブル市場理論と参入阻止戦略
第６回　一般集中と独占的状態
第７回　合併・買収
第８回　垂直的取引制限
第９回　競争手段としての廉売
第10回　公益事業における競争
第11回　下請取引と優越的地位
第12回　イノベーションと知的財産権
第13回　ネット取引とプラットフォーム
第14回　グローバル化する競争政策
第15回　まとめ
参加者の知識・学力によって予定より早く進むこともありえますし、遅く進むこともありえます。参加者の関心によってはまったく異なる内容となることもありえます。
授業の方法；参加者の発表による。

The contents and schedule are as shown below:
#1 Introduction
#2 Why Competition is important?
#3 History of Competition Policy
#4 Collusion and Cooperation
#5 Contestable Market and Strategy for Entry Deterrence
#6 Market Concentration and Monopolistic Situation
#7 M&A (Mergers and Acquisitions)
#8 Vertical Restrictions of Trade
#9 Unfair Price Cutting
#10 Subcontracting and Dominant Position
#11 Competition on Public Utilities
#12 Innovation and Intellectual Property Right
#13 Internet Trade and Platform
#14 Globalization and Competition Policy
#15 Conclusion

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
出席と発表内容による。
発表者が欠席した場合、不合格とする。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

競争政策の経済学:人口減少・デジタル化・産業政策	大橋　弘	日本経済新聞出版	2021年	978-4-532-13513-3	教科書
競争政策論：独占禁止法事例から学ぶ産業組織論（第２版）	小田切宏之	日本評論社	2017年	978-4-535-55882-3	参考書
プラクティカル産業組織論	泉田成美・柳川隆	有斐閣	2008年	978-4-641-12372-4	参考書
イノベーション時代の競争政策:研究・特許・プラットフォームの法と経済	小田切宏之	有斐閣	2016年	978-4-641-16496-3	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
十分な予習と復習が必要です。
Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：
履修を希望する人は４月 13 日（水）までに担当教員にＥメールにて申し出ること。
産業組織論演習Ｉａ、Ｉｂはそれぞれ独立に受講可能である。
授業中の私語は厳禁とする。
学部の「ミクロ経済分析」程度の知識を持っていることを前提とする。
E-mail address:；shigemi.izumida.d1@tohoku.ac.jp
オフィス・アワー；金曜日 12:15～13:00

産業組織論演習 (Ⅰ) b/Industrial Organization (Seminar Ib)

担当教員/Instructor:泉田 成美/SHIGEMI IZUMIDA
曜日・講時/Day/Period:後期 金曜日 2講時
対象学年/Eligible Participants:1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering:EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s):2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:
産業組織論はミクロ経済学と計量経済学の知識を利用して企業行動や産業組織を分析する学問分野です。今期の演習では、産業組織論の標準的なテキストを用いて基礎的な内容を学習します。

In this course, students learn about the basic concept of Industrial Organization. Positive participation in classes is expected.

2. 学修の到達目標/Goal of study:
独占市場・寡占市場の理論を理解できるようになる。
企業の競争戦略について理解できるようになる。
競争政策上の問題(カルテル、企業結合、垂直的取引制限など)について理解できるようになる。

Students will understand the theory of monopoly and oligopoly market.
Students will understand the strategy for competition of firm
Students will understand the problem of competition policy such as Cartel, M&A (Mergers and Acquisitions), Vertical Restrictions of Trade, and so on.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:
授業開講形態:BCP レベルが1または2のときは対面授業、BCP レベルが3以上になった場合には Google Meet または Zoom によるオンライン授業とすることを予定しています。

Style of this Class: Online class using Google Meet and/or normal meeting face-to-face class

Google Classroom のクラスコード「5n4juky」。
Google Classroom's class code: 5n4juky

授業の内容・進度予定;次の内容を学習することを予定しています。
第1回 イントロダクション:産業組織論で学ぶこと
第2回 消費者と生産者
第3回 完全競争と独占
第4回 寡占
第5回 参入とコンテスタブル市場
第6回 価格戦略の多様性
第7回 製品差別化と参入の戦略
第8回 品質と価格戦略・広告戦略
第9回 競争優位の戦略
第10回 技術戦略
第11回 市場画定と市場構造
第12回 カルテル
第13回 垂直的取引制限
第14回 マルチサイド市場とプラットフォーム
第15回 まとめ
参加者の知識・学力によって予定より早く進むこともありえますし、遅く進むこともありえます。参加者の関心によってはまったく異なる内容となることもありえます。
授業の方法;参加者の発表による。

The contents and schedule are as shown below:
#1 Introduction: What is Industrial Organization?
#2 Consumers behavior and Producers behavior
#3 Perfect Competition and Monopoly
#4 Oligopoly
#5 Entry and Contestable Market
#6 Variety of Price Strategy
#7 Strategy for Product Differentiation and Entry
#8 Quality, Price and Advertising
#9 Strategy for Competitive advantage
#10 Strategy of Technology
#11 Market Definition and Market Structure
#12 Cartel
#13 M&A (Mergers and Acquisitions)
#14 Vertical Restrictions of Trade
#15 Multi-Side Market and Platform

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
出席と発表内容による。
発表者が欠席した場合、不合格とする。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

産業組織論：理論・戦略・政策を学ぶ	小田切宏之	有斐閣	2019年	978-4-641-16553-3	教科書
プラクティカル産業組織論	泉田成美・柳川隆	有斐閣	2008年	978-4-641-12372-4	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
十分な予習と復習が必要です。

Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：
参加希望者は第１回目の授業までに担当教員にＥメールで連絡すること。
２回目以降からの参加は認めない。
産業組織論演習Ｉａ、Ｉｂはそれぞれ独立に受講可能である。
授業中の私語は厳禁とする。
学部の「ミクロ経済分析」程度の経済学の知識を持っていることを前提とする。
E-mail address:；shigemi.izumida.d1@tohoku.ac.jp
オフィス・アワー；金曜日 12:15～13:00

産業組織論演習 (Ⅱ) a /Industrial Organization (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：泉田　成美/SHIGEMI IZUMIDA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
修士論文作成のための研究指導を行います。

I will provide research guidance to students in order to write the paper for Master thesis in Industrial Organization.

2．学修の到達目標/Goal of study：
修士論文作成のための研究計画を作成する。
研究テーマに関する先行研究と研究方法を整理する。

Students will make his/her research plan for Master thesis.
Students will study the research method and previous research which is related to his/her research plan.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業開講形態：
BCP レベルが１または２のときは対面授業を行います。
BCP レベルが３以上になった場合には Google Meet または Zoom によるオンライン授業とすることを予定しています。
Style of this Class: Online class using Google Meet and/or normal meeting face-to-face class

Google Classroom のクラスコード「lcm6m3s」。
Google Classroom's class code: lcm6m3s

授業の内容：
産業組織論で修士論文を提出する予定の学生を対象に、以下の指導を行います。
（１） 研究テーマを絞り込み、研究目的、すなわち、研究を通じて何を明らかにしたいのかを明確にする。
（２） 研究目的を実現するためにどのような研究方法を用いるのかを明らかにする。
（３） 研究テーマに関する先行研究を整理する。
（４） 研究方法に関する必要文献を学習する。

進度は学生の研究進捗状況によって変化します。

I will provide research guidance to students in order to write the paper for Master thesis in Industrial Organization.
(1) Students will make his/her research plan and make clear what needs to be done.
(2) Students will decide which research method is used.
(3) Students will organize the previous research which is related to his/her research plan.
(4) Students will study books and papers which is related to his/her research plan.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

6．成績評価方法/Evaluation method：
出席と報告内容によって評価します。

7．教科書および参考書/Textbook and references：
参加する学生の研究テーマに応
じて、話し合って決めます。

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
十分な予習と復習が必要です。
Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：
産業組織論で修士論文を提出予定の学生は、前もって連絡すること。
オフィス・アワー；金曜日 12:10～13:00
E-mail address: shigemi.izumida.d1@tohoku.ac.jp

産業組織論演習 (Ⅱ) b/Industrial Organization (Seminar IIb)

担当教員/Instructor:泉田 成美/SHIGEMI IZUMIDA
曜日・講時/Day/Period:
対象学年/Eligible Participants:2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering:EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s):2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:
修士論文作成のための研究指導を行います。

I will provide research guidance to students in order to write the paper for Master thesis in Industrial Organization.

2. 学修の到達目標/Goal of study:
一定の学問上の貢献の存在する修士論文を作成する。

Students will write the paper for Master thesis which has some academic contribution.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:
授業開講形態:
BCP レベルが1または2のときは対面授業を行います。
BCP レベルが3以上になった場合には Google Meet または Zoom によるオンライン授業とすることを予定しています。

Style of this Class: Online class using Google Meet and/or normal meeting face-to-face class

Google Classroom のクラスコード「j423x4t」。
Google Classroom's class code: j423x4t

授業の内容:
修士論文作成のための個別指導を行います。

指導内容および進度は学生の論文テーマ・研究進捗状況によって変化します。

I will provide individual research guidance to students in order to write the paper for Master thesis in Industrial Organization.

The content will be different depending on the student.

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course:
日本語
Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method:
提出された修士論文の内容によって評価します。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:
参加する学生の研究テーマに応じて、話し合って決めます。

8. 関連URL/URL:

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:
十分な予習と復習が必要です。
Students are required to prepare and review for each class.

10. その他/In addition:

産業組織論で修士論文を提出予定の学生は、前もって連絡すること。
オフィス・アワー；金曜日 12:15～13:00
E-mail address: shigemi.izumida.d1@tohoku.ac.jp

経済政策演習（Ⅰ） a /Economic Policy (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：黒瀬　一弘/KAZUHIRO KUROSE
曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
受講生が専門領域を決定する際に参考となる文献を輪読し，適切な研究テーマの選択を可能にする。

To read the literature which helps students choose their own field.

２．学修の到達目標/Goal of study：
各分野において何が未解決の問題として残されているかを理解する。理論モデルの文献の輪読を通じて，理論モデルの基本構造を把握できるようになる。

Students are required to understand what is an open question in the field. Also, they are required to understand the basic structure of economic mathematical models.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
輪読する文献は受講生の問題関心にしたがって決定する。受講生にはその文献の報告を義務付ける。

対面開講を予定しているが，Covid-19 の感染状況や履修生の人数によってオンライン開講になる可能性がある。

履修を希望する者は必ずメールで連絡すること。

The literature mentioned in this course will be determined, depending on the interest that students have. Students are required to present the designated papers.

This course is planned to be held in-person, but it may be offered online, depending on the infection status of Covid-19 and the number of registered students.

Please make sure to contact me via email in advance if you wish to take this course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
出席（30%）＋クラスパフォーマンス（70%）

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
参加者全員に輪読する文献を事前に精読することが求められる。

１０．その他/In addition：
- 使用言語は日本語とする。
- 学部生レベルの標準的なミクロ・マクロ経済学の知識が履修の必須条件である。
- 履修する者は事前にメールで担当者に必ず連絡すること。アドレスは学生便覧に記入済み。
- Office hours は授業中に指示する。

経済政策演習（Ⅰ） b/Economic Policy (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：黒瀬　一弘/KAZUHIRO KUROSE
曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
受講生が専門領域を決定する際に参考となる文献を輪読し，適切な研究テーマの選択を可能にする。

To read the literature which helps students choose their own field.

２．学修の到達目標/Goal of study：
各分野において何が未解決の問題として残されているかを理解する。理論モデルの文献の輪読を通じて，理論モデルの基本構造を把握できるようになる。

Students are required to understand what is an open question in the field. Also, they are required to understand the basic structure of economic mathematical models.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
輪読する文献は受講生の問題関心にしたがって決定する。受講生にはその文献の報告を義務付ける。

対面開講を予定しているが，Covid-19の感染状況や履修生の人数によっては，オンライン開講になる可能性がある。

履修を希望する者は，必ず事前に，メールで連絡すること。

The literature mentioned in this course will be determined, depending on the interest that students have. Students are required to present the designated papers.

This course is planned to be held in-person, but it may be offered online, depending on the infection status of Covid-19.

Please make sure to contact me via email in advance if you wish to take this course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
出席（30%）＋クラスパフォーマンス（70%）

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
参加者全員に輪読する文献を事前に精読することが求められる。

１０．その他/In addition：
- 使用言語は日本語とする。
- 学部生レベルの標準的なミクロ・マクロ経済学の知識が履修の必須条件である。
- 履修する者は事前にメールで担当者に必ず連絡すること。アドレスは学生便覧に記入済み。
- Office hours は授業中に指示する。

経済政策演習（Ⅱ） a /Economic Policy (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：黒瀬　一弘/KAZUHIRO KUROSE
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
修士論文作成のための研究指導を行う。

The completion of master thesis is the object of this course.

2．学修の到達目標/Goal of study：
修士論文の完成度を高める。

The goal of this course is to improve the quality of master thesis.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
履修生の修士論文のテーマに関する論文の輪読や修士論文に関する報告を義務付ける。対面開講を予定しているが, Covid-19の感染状況によってはオンライン開講になる可能性がある。

Students are required to read the literature of their own field and present their own idea of research.

This course is planned to be held in-person, but it may be offered online, depending on the infection status of Covid-19.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語もしくは英語

6．成績評価方法/Evaluation method：
報告や議論への参加など総合的に判断する。

7．教科書および参考書/Textbook and references：

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：
各自で考えて行うこと。

１０．その他/In addition：
- Office hours はおって指示する。
- 本演習の履修を計画している者は、必ず事前にメールで担当者まで連絡すること。
- メールアドレスは学生便覧に記している。

経済政策演習（Ⅱ） b/Economic Policy (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：黒瀬　一弘/KAZUHIRO KUROSE
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
修士論文作成のための研究指導を行う。

The completion of master thesis is the object of this course.

2．学修の到達目標/Goal of study：
修士論文の完成度を高める。

The goal of this course is to improve the quality of master thesis.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
履修生の修士論文のテーマに関する論文の輪読や修士論文に関する報告を義務付ける。対面開講を予定しているが, Covid-19の感染状況によってはオンライン開講になる可能性がある。

Students are required to read the literature related to their own field and present their own idea of research.

This course is planned to be held in-person, but it may be offered online, depending on the infection status of Covid-19.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語もしくは英語

6．成績評価方法/Evaluation method：
報告や議論への参加など総合的に判断する。

7．教科書および参考書/Textbook and references：

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：
各自で考えて行うこと。

１０．その他/In addition：
- Office hours はおって指示する。
- 本演習の履修を計画している者は、必ず事前にメールで担当者まで連絡すること。
- メールアドレスは学生便覧に記している。

経済統計学演習 (Ⅰ) a /Economic Statistics (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：前期 木曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Google Classroom Code is
gvq4cx3

This is the subject spcially designed for students who aim to work on data science in economics. This course instructs computational techniques by python and fundamental theories of probability and mathematical statistics which establish minimum requirements to work on data science.

2．学修の到達目標/Goal of study：

Participants are expected to acquire knowledge on standard probability theory and mathematical statistics in addition to python programming.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

The contents are as shown below.

1. Basic Probability Theory
2. Random Variables
3. Parametric Distributions
4. Multivariate Distributions
5. Normal and Related Distributions
6. Sampling
7. Law of Large Numbers
8. Central Limit Theory
9. Advanced Asymptotic Theory

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

English and Japanese

6．成績評価方法/Evaluation method：

Grades will be based on the attendance, assignments, and examination.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

Introduction to Econometrics	Bruce Hansen	on-line text	2020	on-line text

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

The text is downloadable at:
https://www.ssc.wisc.edu/~bhansen/probability/

9．授業時間外学修/Preparation and Review：

Every participant is required to conduct homework that requires close review after the class.

１０．その他/In addition：

経済統計学演習 (Ⅰ) b/Economic Statistics (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Google Classroom Code is
yh5knpf

This is the subject spcially designed for students who aim to work on data science in economics. This course instructs computational techniques by python and fundamental theories of probability and mathematical statistics which establish minimum requirements to work on data science.

2．学修の到達目標/Goal of study：

Participants are expected to acquire knowledge on standard probability theory and mathematical statistics in addition to python programming.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

The contents are as shown below. Analitical and computational exercises by python will be assigned every week.

1. Maximum likelihood esimation
1a) Normal distributions
1b) Linear regression models
1c) Poisson regression models
2. Bayesian Analysis
2a) Bayes formula
2b) MCMC methods

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

English and Japanese

6．成績評価方法/Evaluation method：

Grades will be based on the attendance, assignments, and examination.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

Introduction to Econometrics	Bruce Hansen	on-line text	2020	on-line text

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

The text is downloadable at:
https://www.ssc.wisc.edu/~bhansen/probability/

9．授業時間外学修/Preparation and Review：

Every participant is required to conduct homework that requires close review after the class.

１０．その他/In addition：

経済統計学演習 (Ⅱ) a /Economic Statistics (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This is the subject spcially designed for students who aim to complete master thesis on data science in economics.
For interested students, contact me by email:
yasumasa.matsuda.a4@tohoku.ac.jp

２．学修の到達目標/Goal of study：
Completing master thesis in data scinece in Economics

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Basically, students presents to report progress.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Grades will be based on the attendance, assignments, and examination.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
E

１０．その他/In addition：

経済統計学演習 (Ⅱ) b/Economic Statistics (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This is the subject spcially designed for students who aim to complete master thesis on data science in economics.
For interested students, contact me by email:
yasumasa.matsuda.a4@tohoku.ac.jp

２．学修の到達目標/Goal of study：
Completing master thesis in data scinece in Economics

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Basically, students presents to report progress.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Grades will be based on the attendance, assignments, and examination.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
E

１０．その他/In addition：

計量経済学演習（Ⅰ） a /Econometrics (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：千木良　弘朗/HIROAKI CHIGIRA
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
教科書の輪読を行い、計量経済学の理論を身につける。主な目的は理論の理解だが、実証研究についても教科書に載っている例を中心に扱う。

In this course, students will understand ideas of econometrics and learn about methodologies of econometrics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
計量経済学の目的には経済理論の検証や経済変数の予測など様々なものがある。この演習の目標は、計量経済学の理論や手法をただ覚えるのではなく、それらがどのように上記の目的にアプローチするのかを理解することである。また、実際に計量手法を使うときに、手法の選択や結果の解釈を実証分析のテーマや経済データの特性に応じて自ら適切に行える力を身につけることも目標となる。

Students will develop ideas and methodologies of econometrics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
東北大学のBCPレベルが3以下なら対面で行い、4以上ならオンライン（リアルタイム）で行う予定である。

下記の教科書を輪読し、標準的な計量経済学の理論を学ぶ。担当者はあらかじめ教科書を読んでレジュメを作り、発表する。また、教科書には練習問題や簡単な実証分析の例とデータも載っているので、適宜それらを行ってもらう。発表の担当者以外の参加者も教科書を予習し、解らなかった箇所を発表者に質問するなどして議論に参加してもらいたい。扱うトピックは、教科書の1章～12章に当たる基礎的なもの（古典的線形回帰モデル、最小2乗推定、操作変数推定、推定量の小標本特性と大標本特性、パラメーターの構造変化の検定、予測、非線形回帰モデル、誤差項の不均一分散と系列相関）及び13章以降のいくつかの発展的なものを予定している。

This is a seminar style course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の内容、議論への参加の度合いに基づいて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Econometric Analysis, 5th ed.	Greene, W.H.	Prentice-Hall	2002	9780131108493	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
復習を行うこと。また、発表者以外の参加者も議論に参加するためにできるだけ予習をすること。

１０．その他/In addition：
原則として、経済学部の計量分析か大学院（経済経営学専攻）の中級計量経済学特論Ⅰ・IIの単位を修得済みでない者には、履修は認めない。これらの単位を修得していない者は、この演習を履修する時に同時に計量分析か中級計量経済学特論Ⅰ・IIを履修し単位を修得しなければならない。また、この演習で使う教科書では行列演算が多用されるので線形代数学の知識は必須である。上級計量経済学特論Ⅰ・IIの単位を修得済みであることや、計量分析のソフトに慣れていることが望ましい。履修希望者には事前に面接を行うので、メール（ｈｉｒｏａｋｉ．ｃｈｉｇｉｒａ．ａ５＠ｔｏｈｏｋｕ．ａｃ．ｊｐ）でアポイントメントを取ること。

計量経済学演習（Ⅰ） b/Econometrics (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：千木良　弘朗/HIROAKI CHIGIRA
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
教科書の輪読を行い、計量経済学の理論を身につける。主な目的は理論の理解だが、実証研究についても教科書に載っている例を中心に扱う。

In this course, students will understand ideas of econometrics and learn about methodologies of econometrics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
計量経済学の目的には経済理論の検証や経済変数の予測など様々なものがある。この演習の目標は、計量経済学の理論や手法をただ覚えるのではなく、それらがどのように上記の目的にアプローチするのかを理解することである。また、実際に計量手法を使うときに、手法の選択や結果の解釈を実証分析のテーマや経済データの特性に応じて自ら適切に行える力を身につけることも目標となる。

Students will develop ideas and methodologies of econometrics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
東北大学のBCPレベルが3以下なら対面で行い、4以上ならオンライン（リアルタイム）で行う予定である。

下記の教科書を輪読し、標準的な計量経済学の理論を学ぶ。担当者はあらかじめ教科書を読んでレジュメを作り、発表する。また、教科書には練習問題や簡単な実証分析の例とデータも載っているので、適宜それらを行ってもらう。発表の担当者以外の参加者も教科書を予習し、解らなかった箇所を発表者に質問するなどして議論に参加してもらいたい。扱うトピックは、教科書の1章～12章に当たる基礎的なもの（古典的線形回帰モデル、最小2乗推定、操作変数推定、推定量の小標本特性と大標本特性、パラメーターの構造変化の検定、予測、非線形回帰モデル、誤差項の不均一分散と系列相関）及び13章以降のいくつかの発展的なものを予定している。

This is a seminar style course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の内容、議論への参加の度合いに基づいて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Econometric Analysis, 5th ed.	Greene, W.H.	Prentice-Hall	2002	9780131108493	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
復習を行うこと。また、発表者以外の参加者も議論に参加するためにできるだけ予習をすること。

１０．その他/In addition：
原則として、経済学部の計量分析か大学院（経済経営学専攻）の中級計量経済学特論Ⅰ・IIの単位を修得済みでない者には、履修は認めない。これらの単位を修得していない者は、この演習を履修する時に同時に計量分析か中級計量経済学特論Ⅰ・IIを履修し単位を修得しなければならない。また、この演習で使う教科書では行列演算が多用されるので線形代数学の知識は必須である。上級計量経済学特論Ⅰ・IIの単位を修得済みであることや、計量分析のソフトに慣れていることが望ましい。履修希望者には事前に面接を行うので、メール（ｈｉｒｏａｋｉ．ｃｈｉｇｉｒａ．ａ５@ｔｏｈｏｋｕ．ａｃ．ｊｐ）でアポイントメントを取ること。

計量経済学演習（Ⅱ） a /Econometrics (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：千木良　弘朗/HIROAKI CHIGIRA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
計量経済学の方法論や、計量手法を使った実証分析に興味があり、基礎的な知識を十分持っている学生を対象にして、各自の興味のあるトピックについてより深く学ぶ。

In this course, students will understand ideas of econometrics and learn about avdanced methodologies of econometrics.

2．学修の到達目標/Goal of study：
・より進んだ計量手法の考え方を理解し、実際に使えるようになる。
・修士論文の完成。

Students complete a master's thesis.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
東北大学のBCPレベルが3以下なら対面で行い、4以上ならオンライン（リアルタイム）で行う予定である。

・受講者が関心のあるトピックについての文献を要約し発表する。
・それらの文献に基づき、修士論文のテーマを決めて各自で研究を行う。

This is a seminar style course.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語

6．成績評価方法/Evaluation method：
発表の内容に基づいて評価する。

7．教科書および参考書/Textbook and references：

Econometric Analysis, 5th ed.	Greene, W.H.	Prentice-Hall	2002	9780131108493	参考書
Time Series Analysis	Hamilton, J.	Princeton University Press	1994	9780691042893	参考書
Bayesian Econometrics	Koop, G.	Wiley	2003	9780470845677	参考書
Econometric Analysis of Cross Section and Panel Data	Wooldridge, J.	MIT Press	2001	9780262232197	参考書

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表の担当者以外の受講者もできるだけ文献をあらかじめ読んでもらいたい。

１０．その他/In addition：
大学院（経済経営学専攻）の中級計量経済学特論Ⅰ・IIと上級計量経済学特論Ⅰ・IIの単位を修得済みでない者には、この演習の履修は認めない。また、より進んだ計量分析では行列演算を多用するため、行列代数の知識は必須である。計量分析のソフトに十分慣れており、興味のあるトピックをある程度まで絞れていることが望ましい。計量経済学の方法論ではなく実証分析で修士論文を書く予定の者は、どのようなデータを使うのかある程度の目途を立てておく必要がある。履修希望者には事前に面接を行うので、メール（ｈｉｒｏａｋｉ．ｃｈｉｇｉｒａ．ａ５@ｔｏｈｏｋｕ．ａｃ．ｊｐ）でアポイントメントを取ること。

計量経済学演習（Ⅱ） b /Econometrics (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：千木良　弘朗/HIROAKI CHIGIRA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
計量経済学の方法論や、計量手法を使った実証分析に興味があり、基礎的な知識を十分持っている学生を対象にして、各自の興味のあるトピックについてより深く学ぶ。

In this course, students will understand ideas of econometrics and learn about avdanced methodologies of econometrics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・より進んだ計量手法の考え方を理解し、実際に使えるようになる。
・修士論文の完成。

Students complete a master's thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
東北大学のBCPレベルが3以下なら対面で行い、4以上ならオンライン（リアルタイム）で行う予定である。

・受講者が関心のあるトピックについての文献を要約し発表する。
・それらの文献に基づき、修士論文のテーマを決めて各自で研究を行う。

This is a seminar style course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の内容に基づいて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Econometric Analysis, 5th ed.	Greene, W.H.	Prentice-Hall	2002	9780131108493	参考書
Time Series Analysis	Hamilton, J.	Princeton University Press	1994	9780691042893	参考書
Bayesian Econometrics	Koop, G.	Wiley	2003	9780470845677	参考書
Econometric Analysis of Cross Section and Panel Data	Wooldridge, J.	MIT Press	2001	9780262232197	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表の担当者以外の受講者もできるだけ文献をあらかじめ読んでもらいたい。

１０．その他/In addition：
大学院（経済経営学専攻）の中級計量経済学特論Ⅰ・IIと上級計量経済学特論Ⅰ・IIの単位を修得済みでない者には、この演習の履修は認めない。また、より進んだ計量分析では行列演算を多用するため、行列代数の知識は必須である。計量分析のソフトに十分慣れており、興味のあるトピックをある程度まで絞れていることが望ましい。計量経済学の方法論ではなく実証分析で修士論文を書く予定の者は、どのようなデータを使うのかある程度の目途を立てておく必要がある。履修希望者には事前に面接を行うので、メール（ｈｉｒｏａｋｉ．ｃｈｉｇｉｒａ．ａ５@ｔｏｈｏｋｕ．ａｃ．ｊｐ）でアポイントメントを取ること。

経営統計学演習（Ⅰ） a /Business Statistics (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：石垣　司/TSUKASA ISHIGAKI
曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

【授業の概要】　経営、サービス、マーケティング、医療など多種多様な社会問題解決において、データに基づいた経営や意思決定の重要性が高まっている。そこでは、統計科学の理論を駆使したモデリングや機械学習などの帰納的データ分析が重要となる。本演習では、ベイズモデリングなどの先進的な統計科学の方法論・分析モデル・事例を学び、経営統計学の理解を深める。

【授業の目的】　１．経営に関するデータ分析を実践できる能力を身に付ける。２．経営統計学またはその近接領域に関する修士論文を作成するための能力を身に付ける。　３．(II)a,b では、自身の興味に基づいた経営統計学に関するデータ分析モデル・方法論を研究し、その成果を報告する。また、自身の研究成果を修士論文としてまとめる。

The seminar aims at acquiring skills and knowledge with respect to business data analysis using statistical modeling, machine learning and/or data mining methods.

２．学修の到達目標/Goal of study：

・経営統計学またはその近接領域に関する研究論文を読解する。
・自身の研究に必要な先行研究の文献を発見する。
・学術論文作成のプロセス、学術論文が含むべき内容（新規性や有用性など）を理解する。
・先進的なデータ分析法を修得し、実践する。

Students acquire following abilities and skills; 1. reading of academic paper, 2. understanding of perspective of advanced statistical science including statistical modeling, machine learning and/or data mining techniques, 3. To demonstrate various data analysis techniques by themselves.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Covid-19 感染対策のための教室利用人数の制限や 2022 年 3 月 16 日に発生した地震に起因する教室利用制限によって授業の実施形態（対面 or オンライン）が不透明である。ただし、初回の授業はオンラインで行う。それ以降の授業や成績評価の実施方法については初回授業時に連絡する。

Google Classroom のクラスコード
「iur4opt」

講義・輪読・文献紹介などを適宜選択し行う。

1-15 Presentations by students with respect to their researches. Reading of textbooks or academic papers related to student's research.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

演習中の発表や討論は日本語または英語で行う。日本語・英語の図書や論文を使用する。

６．成績評価方法/Evaluation method：

平常の議論への貢献度、出席率、発表の質による総合評価。
(II)a,b では、上記に加えて、修士論文作成への取り組み姿勢と論文の質により総合的に評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

【履修の条件】
１．統計学・経済数学に関する学部教育程度の知識を有すること。
２．データ分析を用いた修士論文を作成する意図があること。
【連絡先など】
・連絡先：ｉｓｇｋ＠ｔｏｈｏｋｕ．ａｃ．ｊｐ
・オフィスアワーは随時。ただし、事前連絡が必要。

経営統計学演習（Ⅰ） b/Business Statistics (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：石垣　司/TSUKASA ISHIGAKI
曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

【授業の概要】　経営、サービス、マーケティング、医療など多種多様な社会問題解決において、データに基づいた経営や意思決定の重要性が高まっている。そこでは、統計科学の理論を駆使したモデリングや機械学習などの帰納的データ分析が重要となる。本演習では、ベイズモデリングなどの先進的な統計科学の方法論・分析モデル・事例を学び、経営統計学の理解を深める。

【授業の目的】　１．経営に関するデータ分析を実践できる能力を身に付ける。２．経営統計学またはその近接領域に関する修士論文を作成するための能力を身に付ける。　３．(II)a,b では、自身の興味に基づいた経営統計学に関するデータ分析モデル・方法論を研究し、その成果を報告する。また、自身の研究成果を修士論文としてまとめる。

The seminar aims at acquiring skills and knowledge with respect to business data analysis using statistical modeling, machine learning and/or data mining methods.

２．学修の到達目標/Goal of study：

・経営統計学またはその近接領域に関する研究論文を読解する。
・自身の研究に必要な先行研究の文献を発見する。
・学術論文作成のプロセス、学術論文が含むべき内容（新規性や有用性など）を理解する。
・先進的なデータ分析法を修得し、実践する。

Students acquire following abilities and skills; 1. reading of academic paper, 2. understanding of perspective of advanced statistical science including statistical modeling, machine learning and/or data mining techniques, 3. To demonstrate various data analysis techniques by themselves.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Covid-19 感染対策のための教室利用人数の制限や 2022 年 3 月 16 日に発生した地震に起因する教室利用制限によって授業の実施形態（対面 or オンライン）が不透明である。ただし、初回の授業はオンラインで行う。それ以降の授業や成績評価の実施方法については初回授業時に連絡する。

Google Classroom のクラスコード
「iur4opt」

講義・輪読・文献紹介などを適宜選択し行う。

1-15 Presentations by students with respect to their researches. Reading of textbooks or academic papers related to student's research.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

演習中の発表や討論は日本語または英語で行う。日本語・英語の図書や論文を使用する。

６．成績評価方法/Evaluation method：

平常の議論への貢献度、出席率、発表の質による総合評価。
(II)a,b では、上記に加えて、修士論文作成への取り組み姿勢と論文の質により総合的に評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

【履修の条件】

１．統計学・経済数学に関する学部教育程度の知識を有すること。

２．データ分析を用いた修士論文を作成する意図があること。

【連絡先など】

・連絡先：ｉｓｇｋ＠ｔｏｈｏｋｕ．ａｃ．ｊｐ

・オフィスアワーは随時。ただし、事前連絡が必要。

経営統計学演習（Ⅱ） a /Business Statistics (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：石垣　司/TSUKASA ISHIGAKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
【授業の概要】　経営、サービス、マーケティング、医療など多種多様な社会問題解決において、データに基づいた経営や意思決定の重要性が高まっている。そこでは、統計科学の理論を駆使したモデリングや機械学習などの帰納的データ分析が重要となる。本演習では、ベイズモデリングなどの先進的な統計科学の方法論・分析モデル・事例を学び、経営統計学の理解を深める。
【授業の目的】　1．経営に関するデータ分析を実践できる能力を身に付ける。2．経営統計学またはその近接領域に関する修士論文を作成するための能力を身に付ける。　3．(II)a,b では、自身の興味に基づいた経営統計学に関するデータ分析モデル・方法論を研究し、その成果を報告する。また、自身の研究成果を修士論文としてまとめる。

The course aims at acquiring advanced skills and knowledge with respect to business data analysis using statistical modeling, machine learning and/or data mining methods. The goal of this course is to write out their theses or project reports.

2．学修の到達目標/Goal of study：
・経営統計学またはその近接領域に関する研究論文を読解する。
・自身の研究に必要な先行研究の文献を発見する。
・学術論文作成のプロセス、学術論文が含むべき内容（新規性や有用性など）を理解する。
・先進的なデータ分析法を修得し、実践する。
・(II)a,b では、データ分析、またはその隣接領域に関する修士論文を作成する。

Students can write out their theses or project reports.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Covid-19 感染対策のための教室利用人数の制限や 2022 年 3 月 16 日に発生した地震に起因する教室利用制限によって授業の実施形態（対面 or オンライン）が不透明である。ただし、初回の授業はオンラインで行う。それ以降の授業や成績評価の実施方法については初回授業時に連絡する。

Google Classroom のクラスコード
「iur4opt」

講義・輪読・文献紹介などを適宜選択し行う。

(II)a,b では、
・修士論文執筆のための具体的なテーマの選定、研究方法、進捗管理に関する指導・助言。
・テーマの選定は各自の意向を第一とする。そのため、研究したいテーマを自主的に絞り込めていることが望ましい。
・授業では各回の担当者を決め、修士論文の進捗状況を報告・討論する。そのため、発表者は十分な準備が必要となる。

1-15 Presentations by students with respect to their researches. Reading of textbooks or academic papers related to student's researches

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
演習中の発表や討論は日本語または英語で行う。日本語・英語の図書や論文を使用する。

6．成績評価方法/Evaluation method：
平常の議論への貢献度、出席率、発表の質による総合評価。
(II)a,b では、上記に加えて、修士論文作成への取り組み姿勢と論文の質により総合的に評価する。

7．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
【履修の条件】
１．統計学・経済数学に関する大学院教育程度の知識を有すること。
２．データ分析を用いた修士論文を作成する意図があること。
【連絡先など】
・連絡先：ｉｓｇｋ＠ｔｏｈｏｋｕ．ａｃ．ｊｐ
・オフィスアワーは随時。ただし、事前連絡が必要。

経営統計学演習 (Ⅱ) b/Business Statistics (Seminar IIb)

担当教員/Instructor:石垣　司/TSUKASA ISHIGAKI
曜日・講時/Day/Period:
対象学年/Eligible Participants:2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering:EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s):2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:
【授業の概要】　経営、サービス、マーケティング、医療など多種多様な社会問題解決において、データに基づいた経営や意思決定の重要性が高まっている。そこでは、統計科学の理論を駆使したモデリングや機械学習などの帰納的データ分析が重要となる。本演習では、ベイズモデリングなどの先進的な統計科学の方法論・分析モデル・事例を学び、経営統計学の理解を深める。
【授業の目的】　1. 経営に関するデータ分析を実践できる能力を身に付ける。2. 経営統計学またはその近接領域に関する修士論文を作成するための能力を身に付ける。 3. (II)a,b では、自身の興味に基づいた経営統計学に関するデータ分析モデル・方法論を研究し、その成果を報告する。また、自身の研究成果を修士論文としてまとめる。

The course aims at acquiring advanced skills and knowledge with respect to business data analysis using statistical modeling, machine learning and/or data mining methods. The goal of this course is to write out their theses or project reports.

2. 学修の到達目標/Goal of study:
・経営統計学またはその近接領域に関する研究論文を読解する。
・自身の研究に必要な先行研究の文献を発見する。
・学術論文作成のプロセス、学術論文が含むべき内容(新規性や有用性など)を理解する。
・先進的なデータ分析法を修得し、実践する。
・(II)a,b では、データ分析、またはその隣接領域に関する修士論文を作成する。

Students can write out their theses or project reports.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:
Covid-19 感染対策のための教室利用人数の制限や 2022 年 3 月 16 日に発生した地震に起因する教室利用制限によって授業の実施形態(対面 or オンライン)が不透明である。ただし、初回の授業はオンラインで行う。それ以降の授業や成績評価の実施方法については初回授業時に連絡する。

Google Classroom のクラスコード
「iur4opt」

講義・輪読・文献紹介などを適宜選択し行う。

(II)a,b では、
・修士論文執筆のための具体的なテーマの選定、研究方法、進捗管理に関する指導・助言。
・テーマの選定は各自の意向を第一とする。そのため、研究したいテーマを自主的に絞り込めていることが望ましい。
・授業では各回の担当者を決め、修士論文の進捗状況を報告・討論する。そのため、発表者は十分な準備が必要となる。

1-15 Presentations by students with respect to their researches. Reading of textbooks or academic papers related to student's researches

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course:
演習中の発表や討論は日本語または英語で行う。日本語・英語の図書や論文を使用する。

6. 成績評価方法/Evaluation method:
平常の議論への貢献度、出席率、発表の質による総合評価。
(II)a,b では、上記に加えて、修士論文作成への取り組み姿勢と論文の質により総合的に評価する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
【履修の条件】
１．統計学・経済数学に関する大学院教育程度の知識を有すること。
２．データ分析を用いた修士論文を作成する意図があること。
【連絡先など】
・連絡先：ｉｓｇｋ＠ｔｏｈｏｋｕ．ａｃ．ｊｐ
・オフィスアワーは随時。ただし、事前連絡が必要。

意思決定論演習（Ⅰ） a /Decision Making (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：鈴木　賢一/KENICHI SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

In the field of social science, interactions among peoples or objects in the given system are often analyzed. In such an analysis, the patterns of connectivity in the system has a significant meaning and one of the most effective way to describe
the connectivity is to use a network. Network is a collection of nodes and arcs. It is rather simple tool to depict the system, though the network theory enables us to recognize the essential feature of the system.
In this course, we will learn a major application of the network theory in different area, such as social networks, information networks and biological networks. Some of the mathematical and computational technique are also important topics.

２．学修の到達目標/Goal of study：

Students are expected to understand
the basic mathematical tool for networks,
the computational technique to calculate the metrics of networks,
Several application of networks theory

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

The class is delivered online as long as BCP level is greater than three. Otherwise, it is held face-to-face.
The detailed information of the course will be provided by Google classroom (code: ttjimka)

At each session, one or two students make a presentation about the given topics of the text. Presenters summarize the assigned part of the text and also answer
the problem listed at the end of the each chapter.

In the 1st semester, we will cover the part I and Part II of the text:

Part I: The empirical study of network
Chap 2 Technological networks
Chap 3 Social networks
Chap 4 Networks of information
Chap 5 Biological networks
Part II: Fundamental of network theory
Chap 6 Mathematics of network
Chap 7 Measure and metrics
Chap 8 The large-scale structure of networks

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

We will primarily use English unless participants are all Japanese.

６．成績評価方法/Evaluation method：

Attendance (10%),
Presentation (30%),
Assignments (60%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Networks: An introduction	M. E. J. Newman	Oxford University Press	2010	978-0199206650	text

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

意思決定論演習 (Ⅰ) b/Decision Making (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：鈴木　賢一/KENICHI SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

In the field of social science, interactions among peoples or objects in the given system are often analyzed. In such an analysis, the patterns of connectivity in the system has a significant meaning and one of the most effective way to describe
the connectivity is to use a network. Network is a collection of nodes and arcs. It is rather simple tool to depict the system, though the network theory enables us to recognize the essential feature of the system.
In this course, we will learn a major application of the network theory in different area, such as social networks, information networks and biological networks. Some of the mathematical and computational technique are also important topics.

２．学修の到達目標/Goal of study：

Students are expected to understand
the basic mathematical tool for networks,
the computational technique to calculate the metrics of networks,
Several application of networks theory

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

he course will be held face-to-face as long as Tohoku University's BCP level is at 1 and 2.
If the BCP level is greater than 2, the course will be switched to fully online classes. For the details of online classes, see the Google class room (code: xftee2v).

At each session, one or two students make a presentation about the given topics of the text. Presenters summarize the assigned part of the text and also answer
the problem listed at the end of the each chapter.

IIn the 2nd semester, we will cover the part III, part IV, and Part V of the text:

Part III: Computer algorithm
Chap 9 Basic Concepts of algorithms
Chap 10 Fundamental network algorithms
Chap 11 Matrix algorithms and graph partitioning

Part IV: Network Models
Chap 12 Random Graphs
Chap 13 Random Graphs with general degree distributions
Chap 14 Models of network formation
Chap 15 Other network models

Part V: Processes on networks
Chap 16 Percolation and network resilience
Chap 17 Epidemics on networks
Chap 18 Dynamics systems on networks
Chap 19 Network search

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

We will primarily use English unless participants are all Japanese.

６．成績評価方法/Evaluation method：

Attendance (10%),
Presentation (30%),
Assignments (60%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Networks: An introduction	M. E. J. Newman	Oxford University Press	2010	978-0199206650	text

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

意思決定論演習（Ⅱ） a /Decision Making (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：鈴木　賢一/KENICHI SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Student will plan and conduct his/her own project with methods of operations research. Conceptual or theoretical models are accepted although applications to the real world are strongly encouraged. Emphasis is on development of management skills of the research project from setting the theme to surveying texts, and to summarizing results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students are expected:
to develop management skills of the research project,
to learn advanced techniques and realistic applications of operations research

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The class is delivered online.
The detailed information of the course will be provided by Google classroom (code: xesrhfp)

At the beginning of the course, students will design the plan of the project along with the project's object. In each session the student give a presentation about his/her research activity and have a discussion with the supervisor to review the results and findings. At the end of the course, students organize the summary of the project.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation 60%, participation 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

意思決定論演習（Ⅱ） b /Decision Making (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：鈴木　賢一/KENICHI SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The course of this seminar is designed for students who will submit the master thesis to learn the methodologies of operations research for decision making.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To acquire the ability to accomplish a high level research project

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Under the guidance of the supervisor, the students pursue their own research interest to develop their master theses.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

経営組織論演習（Ⅰ） a /Organization and Management (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：1 年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

日本企業の様々な事例研究を通して、経営戦略や経営組織の論理に基づく実際の企業行動を考察する。抽象的な理論や概念だけで理解するだけでなく、授業のケースで取り上げる事例企業の経営行動のメカニズムや因果関係を考察することによって、現実の企業行動の実際を深く理解し、経営者の意思決定の視点から合理的な考察力を鍛える。

This course offers students an opportunity to experience business case method and to think about the essence of business management.

２．学修の到達目標/Goal of study：

実際の企業経営者の目線で、現実的な経営組織のマネジメントを深く考察ができるようになること。

The purpose of this course is to consider the real management of organizations from the view point of top managements.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

授業の形態は、経済学研究科の演習室にて対面でのディスカッションである。
毎回の授業で配付するドキュメントは、全て Google Classroom を利用するので、授業で使用するケースやレジュメを事前にダウンロードして準備しておくこと。
Google Classroom のコードと URL は下記の通りである。

「経営組織論演習（Ⅰ） a /b　共通（通年)」クラスコード：jke4iiw
https://classroom.google.com/c/NDcwODcxNjgOMTc3?cjc=jke4iiw

１回の授業につき１つのケースを考察するが、ケース担当者がレジュメ（パワーポイントのスライド）を作成して発表し、提示されたクエスチョン・テーマに沿って参加者全員で討議するケースメソッド方式の演習となる。

第 1 回 オリエンテーション（各回の発表担当者を決めます)
第 2 回 アトラエ　ホラクシー経営におけるインターナルブランディングの役割
第 3 回 KDDI　au design project がめざしたデザインケータイによるブランド刷新
第 4 回 クラレ　日本発のエンプラ「ジェネスタ」とそのイノベーションのプロセス
第 5 回 メガネスーパー　V 字回復を成し遂げた組織変革
第 6 回 Spiber　構造たんぱく質素材で世界を変える
第 7 回 アクセルスペース　衛星データプラットフォーム事業への挑戦
第 8 回 大丸松坂屋百貨店　経営統合における人事制度改革と人事部の役割
第 9 回 キリンビール　クラフトビールのプラットフォーム「タップ・マルシェ」
第 10 回 JCOM　ミドル・アップ・ダウンによる RPA の導入プロセス
第 11 回 スーパーホテル　持たざる経営を支える「自律型感動人間」
第 12 回 NEC　新事業開発を起点とした企業変革へのチャレンジ
第 13 回 アイリスオーヤマ　「ユーザーイン」による需要創造の経営
第 14 回 カイハラ　Ｍａｋｕａｋｅプロジェクトを通じたＢ２Ｃへの挑戦
第 15 回スークカンパニー　百貨店のなかに市場を創り劇場化する

In this course, I take business case method with active discussion.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

日本語(Japanese)

６．成績評価方法/Evaluation method：

授業への出席とコミットメント（70%）およびレジュメの発表内容（30%)。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NDcwODcxNjgOMTc3?cjc=jke4iiw

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
事前にケースを精読して質問やコメントを準備した上で、自分なりの意見を整理して授業に参加すること。

１０．その他/In addition：
初回授業（4 月 11 日（月）10:30～12:00）のオリエンテーションにて 2 回目以降の実際の授業で各ケースの発表者を決定するので、初回授業に出席できない場合は、事前に担当教員（藤本：masahiko.fujimoto.c7@tohoku.ac.jp）に必ず連絡すること。

経営組織論演習（Ⅰ） b/Organization and Management (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
授業形態は、経済学研究棟の演習室での対面によるディスカッションであるが、BCP レベルが３の場合はオンラインとなる。

授業内容は、経営組織と人材のマネジメントに関する学術論文を取り上げるが、受講者の研究テーマに沿った先行研究をレビューする。具体的には学術雑誌などに掲載された研究者の研究業績を取り上げてレビューし、批判的な考察をを行う。

I use Google classroom, and this course is supposed to be held by face to face or online in case of BCP 3.
In this course, we will review and discuss each previous research regarding organization and human resource management in which students are interested.

２．学修の到達目標/Goal of study：
先行研究のレビューを通して、自らのリサーチ・クエスチョンと研究方法を見つけること。

The purpose of this course is to find out your own research questions and research method.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
毎回、様々な学術雑誌などに掲載された経営組織や人材マネジメントに関する学術論文を取り上げて、担当者が論文のレビュー結果をレジュメにまとめて発表し、その内容について参加者全員で討議して先行研究に対する理解と批判を深める。
授業で取り上げるレビュー対象の論文については、初回授業のオリエンテーションの際に受講者の研究テーマに関する先行研究を探索するように指示するが、毎回、発表者が前週までに取り上げる研究論文を準備して配布すること。

Google Classroom「経営組織論演習（Ⅰ） a/b　共通（通年)」クラスコード：jke4iiw
https://classroom.google.com/c/NDcwODcxNjgOMTc3?cjc=jke4iiw

In each lecture, a student is supposed to present his/her resume regarding a previous research article, and then discuss it.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語（Japanese)

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究論文のレビュー内容の発表（50%）と全体討議へのコミットメント（50%）を評価。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NDcwODcxNjgOMTc3?cjc=jke4iiw

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
毎回、事前に配布された論文を精読して内容を理解した上で授業に出席すること。

１０．その他/In addition：
初回授業のオリエンテーションで発表する学生のスケジュールを決めるので、初回授業に出席できない学生は、事前に担当教員（藤本：masahiko.fujimoto.c7@tohoku.ac.jp）に必ず連絡すること。

経営組織論演習（Ⅱ） a /Organization and Management (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
研究論文を作成するための指導を行う。

In this course, I will advice and lead students in order to complete their research papers.

２．学修の到達目標/Goal of study：
研究論文を書き上げるためのリサーチクエスチョンや研究方法を発見すること。

The aim of this course is to help students develop the research questions and methods to complete their research papers.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
大学院レベルの基本的論文の書き方を学習し、本人の興味関心を踏まえて研究論文の研究テーマとリサーチ・クエスチョンの設定から研究方法と考察について個別指導する。

In this course, I will advise and lead each student along the each interest and ability of writing research papers.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究論文への取り組みの進捗状況や取組姿勢（50%）と内容（50%）を評価。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

経営組織論演習（Ⅱ） b /Organization and Management (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
研究論文を作成するための指導を行う。

In this course, I will advice and lead students in order to complete their research papers.

２．学修の到達目標/Goal of study：
研究論文を書き上げるためのリサーチクエスチョンや研究方法を発見すること。

The aim of this course is to help students develop the research questions and methods to complete their research papers.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
大学院レベルの基本的論文の書き方を学習し、本人の興味関心を踏まえて研究論文の研究テーマとリサーチ・クエスチョンの設定から研究方法と考察について個別指導する。

In this course, I will advise and lead each student along the each interest and ability of writing research papers.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究論文への取り組みの進捗状況や取組姿勢（50%）と内容（50%）を評価。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

経営史演習（Ⅰ） a /Business History (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経済史・経営史を学ぶ上で必要な基本的な知識を習得する。具体的には、経済史・経営史を事例として、通説と学説史を理解することが本授業の目的である。

To develop basic knowledge necessary for studying economic and business history. Specifically, the purpose of this class is to understand prevailing orthodoxy and doctrinal history concerning the economic history and business history.

２．学修の到達目標/Goal of study：
この演習は、博士前期課程の学生を想定している。博士前期課程の学生にとって最大の課題は、いうまでもなく修士論文を執筆することである。したがって、ここでは、修士論文を執筆するうえで必要になるさまざまなスキルの基本を修得するとともに、履修生の修士論文の準備状況を適宜チェックし、具体的なアドバイスを与えることを目的とする。

To get a basic knowledge over how to write the M.A. thesis in the field of business history.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
第1-3回：イントロダクションと方法論/Introduction and Methodology
第4-8回：山口（2015）/Text No.1
第9-13回：高柳（2021）/Text No.2
第13-15回：関連論文/Related Papers
※教材は適宜こちらで準備することがあるので、購入などはこちらの指示に従うようお願いします。

毎回、各自は文献で指定された箇所及び適宜提示された参考文献を必ず事前に読み、演習に出席する。報告者の報告内容を素材として、議論を行う。

In each class, students must read the literature in advance. All participants will have discussions based on the resume of reporter.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点：50%
報告：50%

Participation 50%
Presentation 50%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

森林資源の環境経済史:近代日本の産業化と木材	山口明日香	慶應義塾大学出版会	2015	978-4766422429	教科書
温泉の経済史:近代日本の資源管理と地域経済	高柳友彦	東京大学出版会	2021	978-4130461337	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
議論に参加するためには事前に文献を読まなければならない。したがって、予習は必須である。前の議論内容がその後の内容に直結することがあるため、復習も適宜必要となる。

１０．その他/In addition：

使用言語：日本語
教員 HP：https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/
BCP レベル 1 の場合、「対面授業」を原則とする。
BCP レベル 2 以上の場合、「オンライン授業」を原則とする。
参加者は Google クラスルームの登録を必ず行ってください。
クラスコードは「faahoqy」

Language spoken: Japanese
Faculty HP: https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/
BCP Level 1: In principle, face-to-face classes.
For BCP Level 2 and above, "online classes" will be used as a general rule.
Participants must register for the Google Classroom.
Class codes: faahoqy

経営史演習（Ⅰ） b/Business History (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経済史・経営史を学ぶ上で必要な基本的な知識を習得する。具体的には、経営史を事例として、通説と学説史を理解することが本授業の目的である。

To develop basic knowledge necessary for studying economic and business history. Specifically, the purpose of this class is to understand prevailing orthodoxy and doctrinal history concerning the business history.

２．学修の到達目標/Goal of study：
この演習は、博士前期課程の学生を想定している。博士前期課程の学生にとって最大の課題は、いうまでもなく修士論文を執筆することである。したがって、ここでは、修士論文を執筆するうえで必要になるさまざまなスキルの基本を修得するとともに、履修生の修士論文の準備状況を適宜チェックし、具体的なアドバイスを与えることを目的とする。

To get a basic knowledge over how to write the M.A. thesis in the field of business history.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
第1回：イントロダクション/Introduction
第2-15回：査読論文の輪読/Reading for peer review papers

毎回、各自は文献で指定された箇所及び適宜提示された参考文献を必ず事前に読み、演習に出席する。報告者の報告内容を素材として、議論を行う。

In each class, students must read the literature in advance. All participants will have discussions based on the resume of reporter.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語・英語/Japanese or English

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点：50%
報告：50%

Participation:50%
Presentation:50%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
議論に参加するためには事前に文献を読まなければならない。したがって、予習は必須である。前の議論内容がその後の内容に直結することがあるため、復習も適宜必要となる。

１０．その他/In addition：
原則として日本語を使用する。
教員HP：https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/
オフィスアワーに関しては、初回の授業で連絡する。
BCPレベル1の場合は、「対面授業」を原則とする。
BCPレベル2以上の場合は、「オンライン授業」を原則とする。

参加者は以下のGoogleクラスルームに必ず参加登録すること。
クラスコードは「faahoqy」

In principle, Japanese will be used.
Faculty HP: https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/
Office hours will be announced in the first class.
For BCP level 1, face-to-face classes will be used as a general rule.
For BCP Level 2 and above, online classes will be used in principle.
Participants must register for the following Google Classroom.
Class codes : faahoqy

経営史演習（Ⅱ） a /Businenn History (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営史および関連領域における特定のテーマについて修士論文を作成することを予定している履修生とともに、論文の執筆法の基礎を検討する。

This class is for the students who intend to write M.A. thesis in the field of business history. we will examine the basic manner of writing it.

２．学修の到達目標/Goal of study：
この演習は、博士前期課程の学生を想定している。博士前期課程の学生にとって最大の課題は、いうまでもなく修士論文を執筆することである。したがって、ここでは、修士論文を執筆するうえで必要になるさまざまなスキルの基本を修得するとともに、履修生の修士論文の準備状況を適宜チェックし、具体的なアドバイスを与えることを目的とする。

To get a basic knowledge over how to write the M.A. thesis in the field of business history.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下のような項目について、適宜検討する予定である。
(1)経営史（および関連諸領域）の研究史
(2)経営史学のアプローチ
(3)テーマの選定
(4)修士論文に求められるコンテンツ

This class is based on the discussion over the M.A. thesis draft of each participant.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点60%、レポート40%

Participation 60%, Term papers 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
研究は日々の積み重ねと試行錯誤の繰り返しによるので、予習と復習は必須である。

１０．その他/In addition：
教員HP：https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/home
BCPレベル1の場合は、「対面」を原則とする。
BCPレベル2以上の場合は、「オンライン」を原則とする。
参加者はGoogleクラスルームに必ず参加登録すること。
クラスコードは「faahoqy」

Faculty HP: https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/home
In the case of BCP level 1, "face-to-face" is the principle.
For BCP Level 2 and above, "online" is the principle.
Participants must register in the Google Classroom.

Class codes: faahoqy

経営史演習（Ⅱ） b/Business History (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営史および関連領域における特定のテーマについて修士論文を作成することを予定している履修生とともに、論文の執筆法の基礎を検討する。

This class is for the students who intend to write M.A. thesis in the field of business history. we will examine the basic manner of writing it.

２．学修の到達目標/Goal of study：
この演習は、博士前期課程の学生を想定している。博士前期課程の学生にとって最大の課題は、いうまでもなく修士論文を執筆することである。したがって、ここでは、修士論文を執筆するうえで必要になるさまざまなスキルの基本を修得するとともに、履修生の修士論文の準備状況を適宜チェックし、具体的なアドバイスを与えることを目的とする。

To get a basic knowledge over how to write the M.A. thesis in the field of business history.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下のような項目について、適宜検討する予定である。
(1)経営史（および関連諸領域）の研究史
(2)経営史学のアプローチ
(3)テーマの選定
(4)修士論文に求められるコンテンツ

This class is based on the discussion over the M.A. thesis draft of each participant.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点60%、レポート40%

Participation 60%, Term papers 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
研究は日々の積み重ねと試行錯誤の繰り返しによるので、予習と復習は必須である。

１０．その他/In addition：
教員HP：https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/home
オフィスアワーなどに関しては、初回の授業で連絡する。
BCPレベル1の場合は、「対面」を原則とする。
BCPレベル2以上の場合は、「オンライン」を原則とする。
参加者はGoogleクラスルームを必ず参加登録すること。
クラスコードは「faahoqy」

Faculty HP: https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/home
Office hours and other information will be announced in the first class.
For BCP level 1, face-to-face is the general rule.

For BCP level 2 and above, "online" will be used as a general rule.
Participants must register for the Google Classroom.
Class codes： faahoqy

証券投資論演習 (Ⅰ) a /Investment and Security Analysis(Seminar 1a)

担当教員/Instructor：室井　芳史/YOSHIFUMI MUROI
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
数理ファイナンスに必要な数学の基礎知識を学ぶ。特に、測度論的確率論に基づいた確率解析について学生による輪読を行う。測度論的確率論の知識のない学生の参加は決して認めない。
The purpose of this class is studying stochastic calculus based on the rigid knowledge of the measure theoretic probability. Students have to give a presentation in Japanese language. Students also have to have enough knowledge of the measure theoretic probability in order to take this lecture. If this condition is not satisfied, I will "never" permit to participate in this class.

２．学修の到達目標/Goal of study：
数理的に厳密に確率解析の基礎理論を理解することにより数理ファイナンスの研究論文を読むことができるようになること。
Goal of this lecture is to get enough knowledge of stochastic calculus rigorously in "mathematical sense".

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者に参加者にあらかじめ配布した資料に基づき、指定した教科書を読んで来て発表してもらう。
資料を取りに来ること。教科書は
Introduction to Stochastic Integration Hui-Hsiung Kuo, Springer 2006
https://www.amazon.co.jp/Introduction-Stochastic-Integration-Universitext-Hui-Hsiung/dp/0387287205
を指定する。

We are going to read
Introduction to Stochastic Integration Hui-Hsiung Kuo, Springer 2006
https://www.amazon.co.jp/Introduction-Stochastic-Integration-Universitext-Hui-Hsiung/dp/0387287205
Students must make presentation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の状況を見て決定する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Introduction to Stochastic Integration	Hui-Hsiung Kuo	Springer	2006	978-0387287201	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://www.amazon.co.jp/Introduction-Stochastic-Integration-Universitext-Hui-Hsiung/dp/0387287205

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に備えてしっかりと教科書を読んでくること。

１０．その他/In addition：

証券投資論演習 (Ⅰ) b/Investment and Security Analysis(Seminar 1b)

担当教員/Instructor:室井 芳史/YOSHIFUMI MUROI
曜日・講時/Day/Period:後期 金曜日 4講時
対象学年/Eligible Participants:1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering:EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s):2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:
夏学期に引き続き、数理ファイナンスに必要な数学の基礎知識を学ぶ。特に、測度論的確率論に基づいた確率解析について学生による輪読を行う。測度論的確率論の知識のない学生の参加は「決して」認めない。
講義は対面方式で実施する。

This class begins in the spring semester. The purpose of this class is to study stochastic calculus based on the rigid knowledge of the measure-theoretic probability. Students have to give a presentation in the Japanese language. Students also have to have enough knowledge of the measure-theoretic probability in order to take this lecture. If this condition is not satisfied, I will "never" permit to participate in this class.

2. 学修の到達目標/Goal of study:
数理的に厳密に確率解析の基礎理論を理解することにより数理ファイナンスの研究論文を読むことができるようになること。
The goal of this lecture is to get enough knowledge of stochastic calculus rigorously in "mathematical sense".

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:
指定した教科書を読んで来て発表してもらう。
資料を取りに来ること。教科書は
Introduction to Stochastic Integration Hui-Hsiung Kuo, Springer 2006
https://www.amazon.co.jp/Introduction-Stochastic-Integration-Universitext-Hui-Hsiung/dp/0387287205
を指定する。

We are going to read
Introduction to Stochastic Integration Hui-Hsiung Kuo, Springer 2006
https://www.amazon.co.jp/Introduction-Stochastic-Integration-Universitext-Hui-Hsiung/dp/0387287205
Students must make a presentation.

対面方式で実施するが、BCP レベルが 2 以上に上がった場合には Google Meet など別の方法で実施する。詳細は講義においてを指示する。

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course:
日本語
Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method:
発表の状況を見て決定する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

Introduction to Stochastic Integration	Hui-Hsiung Kuo	Springer	2006	978-0387287201	教科書

8. 関連URL/URL:
https://www.amazon.co.jp/Introduction-Stochastic-Integration-Universitext-Hui-Hsiung/dp/0387287205

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:
発表に備えてしっかりと教科書を読んでくること。

10. その他/In addition:

証券投資論演習（Ⅱ） a /Investment and Security Analysis(Seminar 11a)

担当教員/Instructor：室井　芳史/YOSHIFUMI MUROI
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 ５講時
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
確率ボラティリティモデルの取り扱について学ぶ。また、修士論文の作成を目標に数理ファイナンスに関係する論文を読む。
We are going to study stochastic volatility models. We also read several research papers to make the master thesis. Presentation must be given in the Japanese language.

２．学修の到達目標/Goal of study：
確率ボラティリティ・モデルについて学ぶ。修士論文の作成を目的とした近年出版された論文を輪読する。また、実際にプログラミング言語を用いてジャンプ拡散モデルを題材に実際にコードを書いてその成果を発表してもらう。
We are going to study stochastic volatility models. Students must write programming code for stochastic volatility model.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
学生が近年の論文を読んできて発表してもらう。また、数理ファイナンスに関係するプログラムを実際にコーディングしてもらい動作を確認してもらう。
Students must make a presentation after reading some books on jump diffusion model. They also must make a presentation on the recent thesis on financial mathematics.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の状況を見て決める。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Derivatives in Financial Markets with Stochastic Volatilty	Fouque, J. -P., Papanicolaou, G., and Sircar, R.	Cambridge	2000	978-0521791632	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
論文を的確に理解し発表してもらう必要がある。時間外に実際にコードを書いてもらう必要がある。

１０．その他/In addition：

証券投資論演習（Ⅱ） b/Investment and Security Analysis(Seminar 11b)

担当教員/Instructor：室井　芳史/YOSHIFUMI MUROI
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 ５講時
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
確率ボラティリティモデルの取り扱について学ぶ。また、修士論文の作成を目標に数理ファイナンスに関係する論文を読む。
We are going to study stochastic volatility models. We also read several research papers to make the master thesis. Presentation must be given in the Japanese language.

２．学修の到達目標/Goal of study：
確率ボラティリティ・モデルについて学ぶ。修士論文の作成を目的とした近年出版された論文を輪読する。また、実際にプログラミング言語を用いてジャンプ拡散モデルを題材に実際にコードを書いてその成果を発表してもらう。
We are going to study stochastic volatility models. Students must write programming code for stochastic volatility model.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
学生が近年の論文を読んできて発表してもらう。また、数理ファイナンスに関係するプログラムを実際にコーディングしてもらい動作を確認してもらう。
Students must make a presentation after reading some books on jump diffusion model. They also must make a presentation on the recent thesis on financial mathematics.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の状況を見て決める。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Derivatives in Financial Markets with Stochastic Volatilty	Fouque, J. -P., Papanicolaou, G., and Sircar, R.	Cambridge	2000	978-0521791632	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
論文を的確に理解し発表してもらう必要がある。時間外に実際にコードを書いてもらう必要がある。

１０．その他/In addition：

経営戦略演習（Ⅰ） a /Management Strategy (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：山﨑　喜代宏/KIYOHIRO YAMAZAKI
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習では、経営戦略論とその隣接領域について、文献サーベイとレビューを行い、これまでの先行研究の理論的検討を行う。
また、受講者自らのリサーチクエスチョンの洗練を行い、修士論文執筆に向けた準備を行う。
加えて、修士論文の執筆に必要なスキルの習得機会を提供する。
This seminar provides students for opportunity to review previous literature on the area of strategic management and related academic areas.
It also gives students to refine their own research questions and prepare for the master's thesis.
In addition, it provides the opportunity to acquire the skills for writing a master's thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
本演習では、経営戦略論に関連する最新の研究成果について検討し、そこから得られる知見と、自らの能動的な研究活動を通じて修士論文作成に向けた研究活動を行う。
学生は、本演習を通じて、先行研究を理解した上で、自らの修士論文の理論的位置づけや実践的意義を見出すことを目標とする。
In this seminar, students examine the latest research results related to strategic management theory and prepare for a master's thesis through their research activities.
Students will be expected to understand the previous researches and find the theoretical and practical contribution of their master's thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
内容及び進度予定は以下のとおりであるが、状況によって若干内容を変更する場合もある。
The contents and schedule are as shown below, but subject to change depending on circumstances.

Google Classroom のクラスコード [tcq3whx]

講義は対面で行う。なお状況により、オンライン講義になる可能性がある。

参加者は、自らの研究テーマに即して、論文や著書等を選択し、その内容についての発表を行う。
また、教員が指定した論文や著書について、その内容の発表を行う。
必要に応じて、研究方法等の書籍・論文についても発表を行う。
参加者は自らの研究計画の遂行をするため、研究活動を行い、その中間報告を複数回行う。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語(Japanese)

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習への参加（欠席する場合にはあらかじめ連絡し、必ず代替して報告は行う）
報告内容、及び演習内での発言・質問・態度による評価

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自らの研究を推進するために事前の学習・研究と、研究指導に基づいた事後学習・研究が必要になる。

１０．その他/In addition：
積極性と自主性が求められる。自らの頭と手を動かし続けること。

経営戦略演習（Ⅰ） b /Management Strategy (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：山﨑　喜代宏/KIYOHIRO YAMAZAKI
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習では、経営戦略論とその隣接領域について、文献サーベイとレビューを行い、これまでの先行研究の理論的検討を行う。
また、受講者自らのリサーチクエスチョンの洗練を行い、修士論文執筆に向けた準備を行う。
加えて、修士論文の執筆に必要なスキルの習得機会を提供する。
This seminar provides students for opportunity to review previous literature on the area of strategic management and related academic areas.
It also gives students to refine their own research questions and prepare for the master's thesis.
In addition, it provides the opportunity to acquire the skills for writing a master's thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
本演習では、経営戦略論に関連する最新の研究成果について検討し、そこから得られる知見と、自らの能動的な研究活動を通じて修士論文作成に向けた研究活動を行う。
学生は、本演習を通じて、先行研究を理解した上で、自らの修士論文の理論的位置づけや実践的意義を見出すことを目標とする。
In this seminar, students examine the latest research results related to strategic management theory and prepare for a master's thesis through their research activities.
Students will be expected to understand the previous researches and find the theoretical and practical contribution of their master's thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
内容及び進度予定は以下のとおりであるが、状況によって若干内容を変更する場合もある。
The contents and schedule are as shown below, but subject to change depending on circumstances.

Google Classroom のクラスコード [mcapv6q]

講義は対面で行う。なお状況により、オンライン講義になる可能性がある。

参加者は、自らの研究テーマに即して、論文や著書等を選択し、その内容についての発表を行う。
また、教員が指定した論文や著書について、その内容の発表を行う。
必要に応じて、研究方法等の書籍・論文についても発表を行う。
参加者は自らの研究計画の遂行をするため、研究活動を行い、その中間報告を複数回行う。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語(Japanese)

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習への参加（欠席する場合にはあらかじめ連絡し、必ず代替して報告は行う）
報告内容、及び演習内での発言・質問・態度による評価

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自らの研究を推進するために事前の学習・研究と、研究指導に基づいた事後学習・研究が必要になる。

１０．その他/In addition：
積極性と自主性が求められる。自らの頭と手を動かし続けること。

経営戦略演習 (Ⅱ) a /Management Strategy (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：山﨑　喜代宏/KIYOHIRO YAMAZAKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習では、経営戦略論とその隣接領域について、文献サーベイとレビューを行い、これまでの先行研究の理論的検討を行う。
また、受講者自らのリサーチクエスチョンの洗練を行い、修士論文執筆に向けた準備を行う。
加えて、修士論文の執筆に必要なスキルの習得機会を提供する。
This seminar provides students for opportunity to review previous literature on the area of strategic management and related academic areas.
It also gives students to refine their own research questions and prepare for the master's thesis.
In addition, it provides the opportunity to acquire the skills for writing a master's thesis.

2．学修の到達目標/Goal of study：
本演習では、経営戦略論に関連する最新の研究成果について検討し、そこから得られる知見と、自らの能動的な研究活動を通じて修士論文作成に向けた研究活動を行う。
学生は、本演習を通じて、先行研究を理解した上で、自らの修士論文の理論的位置づけや実践的意義を見出すことを目標とする。
In this seminar, students examine the latest research results related to strategic management theory and prepare for a master's thesis through their research activities.
Students will be expected to understand the previous researches and find the theoretical and practical contribution of their master's thesis.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
内容及び進度予定は以下のとおりであるが、状況によって若干内容を変更する場合もある。
The contents and schedule are as shown below, but subject to change depending on circumstances.

Google Classroom のクラスコード [vclaj2j]

講義は対面で行う。なお状況により、オンライン講義になる可能性がある。

参加者は、自らの研究テーマに即して、論文や著書等を選択し、その内容についての発表を行う。
また、教員が指定した論文や著書について、その内容の発表を行う。
必要に応じて、研究方法等の書籍・論文についても発表を行う。
参加者は自らの研究計画の遂行をするため、研究活動を行い、その中間報告を複数回行う。

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語(Japanese)

6．成績評価方法/Evaluation method：
演習への参加（欠席する場合にはあらかじめ連絡し、必ず代替して報告は行う）
報告内容、及び演習内での発言・質問・態度による評価

7．教科書および参考書/Textbook and references：

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：
自らの研究を推進するために事前の学習・研究と、研究指導に基づいた事後学習・研究が必要になる。

１０．その他/In addition：
積極性と自主性が求められる。自らの頭と手を動かし続けること。

経営戦略演習 (Ⅱ) b/Management Strategy (Seminar IIb)

担当教員/Instructor:山﨑　喜代宏/KIYOHIRO YAMAZAKI
曜日・講時/Day/Period:
対象学年/Eligible Participants:2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering:EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s):2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:
本演習では、経営戦略論とその隣接領域について、文献サーベイとレビューを行い、これまでの先行研究の理論的検討を行う。
また、受講者自らのリサーチクエスチョンの洗練を行い、修士論文執筆に向けた準備を行う。
加えて、修士論文の執筆に必要なスキルの習得機会を提供する。
This seminar provides students for opportunity to review previous literature on the area of strategic management and related academic areas.
It also gives students to refine their own research questions and prepare for the master's thesis.
In addition, it provides the opportunity to acquire the skills for writing a master's thesis.

2. 学修の到達目標/Goal of study:
本演習では、経営戦略論に関連する最新の研究成果について検討し、そこから得られる知見と、自らの能動的な研究活動を通じて修士論文作成に向けた研究活動を行う。
学生は、本演習を通じて、先行研究を理解した上で、自らの修士論文の理論的位置づけや実践的意義を見出すことを目標とする。
そして、修士論文の完成を目標とする。
In this seminar, students examine the latest research results related to strategic management theory and prepare for a master's thesis through their research activities.
Students will be expected to understand the previous researches and find the theoretical and practical contribution of their master's thesis.
The aim of this seminar is to complete a master's thesis.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:
内容及び進度予定は以下のとおりであるが、状況によって若干内容を変更する場合もある。
The contents and schedule are as shown below, but subject to change depending on circumstances.

Google Classroom のクラスコード [ouris3y]

講義は対面で行う。なお状況により、オンライン講義になる可能性がある。

参加者は、自らの研究テーマに即して、論文等を選択し、その内容についての発表を行う。
また、教員が指定した論文や著書について、その内容の発表を行う。
必要に応じて、研究方法等の書籍・論文についても、内容紹介の発表を行う。
参加者は自らの研究計画の遂行をするため、研究活動を行い、その中間報告を複数回行う。
最終的に、修士論文を完成させる。

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course:
日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:
演習への参加(欠席する場合にはあらかじめ連絡し、必ず報告は行う)
報告内容、修士論文、及び演習内での発言・質問・態度による評価

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連ＵＲＬ/ＵＲＬ:

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:
自らの研究を推進するために事前の学習・研究と、研究指導に基づいた事後学習・研究が必要になる。

１０．その他/In addition：
積極性と自主性が求められる。自らの頭と手を動かし続けること。

非営利組織論演習（Ⅰ） a /Non-profit Organization (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：西出　優子/YUKO NISHIDE
曜日・講時/Day/Period：前期 木曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
To students who will submit the master's thesis relating to nonprofit organization (or relevant topics such as NGO, social enterprise, and social capital), the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis writing on nonprofit organization.
The seminar consists of student presentations, class discussions, guidance and advice from the supervisor on the master's thesis progress and manuscripts on nonprofit organization of each student.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To understand basic theories and practice of nonprofit organization (and its relevant fields).
To understand how to conduct literature review on nonprofit organization.
To identify outcomes and challenges of relevant literature on nonprofit organization.
To make and brush up research plan and start conducting research relating to nonprofit organization.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Presentations and discussions, guidance and advice on the research plan, literature review, and thesis manuscripts of each student relating to nonprofit organization (and its relevant fields).

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation on research plan and/or literature review (50%), participation in class discussions and minute papers (50%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Journal articles such as in Nonprofit and Voluntary Sector Quarterly, Nonprofit Management and Leadership, Voluntas, and Nonprofit Review

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
A thorough preparation is expected for effective presentation and discussions.
Students are expected to prepare, share and read the presentation materials one week before the presentation of each student.
Students are expected to make comments and feed

１０．その他/In addition：
Please contact the instructor beforehand by an email if you wish to register this class but the instructor is not your supervisor.

How to hold this class may depend on the BCP level. This class is to be held at the classroom with the combination of realtime online zoom, but it might change depending on the BCP level.

For details and update information, go to the Google Classroom: Class code: juz4nfl
The class materials and information are to be communicated through the Google Classroom.

Office Hour: by prior appointment through an email to the instructor.
E-mail: yuko.nishide.c8@tohoku.ac.jp

非営利組織論演習（Ⅰ） b/Non-profit Organization (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：西出　優子/YUKO NISHIDE
曜日・講時/Day/Period：後期 木曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
To students who will submit the master's thesis relating to nonprofit organization (or relevant topics such as NGO, social enterprise, and social capital), the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis writing on nonprofit organization.
The class consists of student presentations, class discussions, guidance and advice from the supervisor on the master's thesis progress and manuscripts on nonprofit organization of each student.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To understand basic theories and practice of nonprofit organization (and its relevant fields).
To understand how to conduct literature review on nonprofit organization.
To identify outcomes and challenges of relevant literature on nonprofit organization.
To make and brush up research plan and start conducting research relating to nonprofit organization.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Presentations and discussions, guidance and advice on the research plan, literature review, and thesis manuscripts of each student relating to nonprofit organization (and its relevant fields).

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation on research plan and/or literature review (50%), participation in class discussions (50%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Journal articles such as in Nonprofit and Voluntary Sector Quarterly, Nonprofit Management and Leadership, Voluntas, and Nonprofit Review

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
A thorough preparation is expected for effective presentation and discussions.
Students are expected to prepare, share and read the presentation materials one week before the presentation of each student.
Students are expected to make comments and feed

１０．その他/In addition：
Please contact the instructor beforehand by an email if you wish to register this class but the instructor is not your supervisor.

How to hold this class may depend on the BCP level. This class is to be held at the classroom with the combination of realtime online zoom, but it might change depending on the BCP level.

For details and update information, go to the Google Classroom: Class code: j5nhm6er
The class materials and information are to be communicated through the Google Classroom.

Office Hour: by prior appointment through an email to the instructor.

E-mail: yuko.nishide.c8@tohoku.ac.jp

非営利組織論演習（Ⅱ） a /Non-profit Organization (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：西出　優子/YUKO NISHIDE
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
To students who will submit the master's thesis, the supervisor offers this class and gives necessary guidance for the preparation of the master's thesis relating to nonprofit organization (or relevant topics such as NGO, social enterprise, and social capital).
The class consists of student presentations, class discussions, guidance and advice from the supervisor on the master's thesis progress and manuscripts of each student

2．学修の到達目標/Goal of study：
To understand the theory and practice of nonprofit organization (and its relavant fields).
To plan, implement and one's project and write the project report relating to nonprofit organization

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Presentations and discussions, guidance and advice on the progress of reseach and thesis manuscripts of each student relating to nonprofit organization (and its relevant fields).

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
Japanese and English

6．成績評価方法/Evaluation method：
Presentations on research plan and/or literature review (50%), and participation in class discussions and minute papers (50%).

7．教科書および参考書/Textbook and references：
Journal articles such as in Nonprofit and Voluntary Sector Quarterly, Nonprofit Management and Leadership, Voluntas, and Nonprofit Review.

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：
A thorough preparation is expected for effective presentation and discussions.
Students are expected to prepare, share and read the presentation materials one week before the presentation of each student.
Students are expected to make comments and feed

１０．その他/In addition：
Please contact the instructor beforehand by an email if you wish to register this class but the instructor is not your supervisor.

How to hold this class may depend on the BCP level. This class is to be held at the classroom with the combination of realtime online zoom, but it might change depending on the BCP level.

For details and update information, go to the Google Classroom: Class code: juz4nfl
The class materials and information are to be communicated through the Google Classroom.

Office Hour: by prior appointment through an email to the instructor.

非営利組織論演習 (Ⅱ) b/Non-profit Organization (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：西出　優子/YUKO NISHIDE
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
To students who will submit the master's thesis, the supervisor offers this class and gives necessary guidance for the completion of the thesis writing relating to nonprofit organization (or relevant topics such as NGO, social enterprise, and social capital).
The seminar consists of student presentations, class discussions, guidance and advice from the supervisor on the research and thesis manuscripts of each student

2．学修の到達目標/Goal of study：
To understand the theory and practice of nonprofit organization (and its relevant fields).
To plan and implement one's thesis writing effectively relating to nonprofit organization.
To complete a master's thesis make a final presentation relating to nonprofit organization

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Presentations and discussions, guidance and advice on the progress of research plan, implementation and thesis writing.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
Japanese and English

6．成績評価方法/Evaluation method：
Presentations and manuscripts of master's thesis (70%), and participation in class discussions (30%).

7．教科書および参考書/Textbook and references：
Journal articles such as in Nonprofit and Voluntary Sector Quarterly, Nonprofit Management and Leadership, Voluntas, and Nonprofit Review.

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：
A thorough preparation is expected for effective presentations and discussions, and completion of writing the master's thesis.
Students are expected to prepare, share and read the presentation materials and the thesis manuscripts one week before the pres

１０．その他/In addition：
Please contact the instructor beforehand by an email if you wish to register this class but the instructor is not your supervisor.

How to hold this class may depend on the BCP level. This class is to be held at the classroom with the combination of realtime online zoom, but it might change depending on the BCP level.

For details and update information, go to the Google Classroom: Class code: j5nhm6er
The class materials and information are to be communicated through the Google Classroom.

Office Hour: by prior appointment through an email to the instructor.
E-mail: yuko.nishide.c8@tohoku.ac.jp

福祉経済演習（Ⅰ） a /Welfare Economy (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
この授業ではマイクロデータを用いた実証分析に関心のある学生対象のゼミである。
担当者は家族の経済学、労働経済学、社会保障、労働経済学に関心がある

My interest is empirical economics and the topic I am interested in is household economics, family economics, labor economics, and health economics, etc.

２．学修の到達目標/Goal of study：
マイクロデータを用いて論文を書くことが出来る

Complete master/doctor thesis by using micro data.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
学生によるプレゼンテーションが中心である。学期末にはレポートの提出を義務づけることがある
The presentation in the class is needed. Also please submit the report at the end of the term

(1)報告者
研究発表の前日までに,報告で使用する電子ファイルを Google Classroom にアップすること。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に対しててはパワーポイントと印刷したスライドを用意すること
Please prepare slides for your own presentation.

１０．その他/In addition：
このゼミに出席予定の学生は、１回目の開催が変更になる可能性があるので、必ず事前にメール(midwak@tohoku.ac.jp) にて出席の意志を連絡すること

Please contact directly by email (midwak@tohoku.ac.jp) before attending this class. The first time of the class might be changed.

福祉経済演習（Ｉ） ｂ/Welfare Economy (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
この授業ではマイクロデータを用いた実証分析に関心のある学生対象のゼミである。
担当者は家族の経済学、労働経済学、社会保障、労働経済学に関心がある

My interest is empirical economics and the topic I am interested in is household economics, family economics, labor economics, and health economics, etc.

２．学修の到達目標/Goal of study：
マイクロデータを用いて論文を書くことが出来る

Complete master/doctor thesis by using micro data.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
学生によるプレゼンテーションが中心である。学期末にはレポートの提出を義務づける
The presentation in the class is needed. Also please submit the report at the end of the term。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に対しててはパワーポイントと印刷したスライドを用意すること
Please prepare slides for your own presentation.

１０．その他/In addition：
このゼミに出席予定の学生は、１回目の開催が変更になる可能性もあるので、必ず事前にメール(midwak@tohoku.ac.jp) にて出席の意志を連絡すること

Please contact directly by email (midwak@tohoku.ac.jp) before attending this class. The first time of the class will be changed.

福祉経済演習（Ⅱ） a /Welfare Economy (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
この授業ではマイクロデータを用いた実証分析に関心のある学生対象のゼミである。
担当者は家族の経済学、労働経済学、社会保障、労働経済学に関心がある

My interest is empirical economics and the topic I am interested in is household economics, family economics, labor economics, and health economics, etc.

２．学修の到達目標/Goal of study：
マイクロデータを用いて論文を書くことが出来る

Complete master/doctor thesis by using micro data.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
(1)報告者
研究発表の前日までに,報告で使用する電子ファイルを Google Classroom にアップすること。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
学生によるプレゼンテーションが中心である。学期末にはレポートの提出を義務づける
The presentation in the class is needed. Also please submit the report at the end of the term。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に対しててはパワーポイントと印刷したスライドを用意すること
Please prepare slides for your own presentation.

１０．その他/In addition：
このゼミに出席予定の学生は、1回目の開催が変更になる可能性があるので、必ず事前にメール(midwak@tohoku.ac.jp) にて出席の意志を連絡すること

Please contact directly by email (midwak@tohoku.ac.jp) before attending this class. The first time of the class might be changed.

福祉経済演習（Ⅱ） b/Welfare Economy (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
この授業ではマイクロデータを用いた実証分析に関心のある学生対象のゼミである。
担当者は家族の経済学、労働経済学、社会保障、労働経済学に関心がある

My interest is empirical economics and the topic I am interested in is household economics, family economics, labor economics, and health economics, etc.

2．学修の到達目標/Goal of study：
マイクロデータを用いて論文を書くことが出来る

Complete master/doctor thesis by using micro data.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

6．成績評価方法/Evaluation method：
学生によるプレゼンテーションが中心である。学期末にはレポートの提出を義務づける
The presentation in the class is needed. Also please submit the report at the end of the term。

7．教科書および参考書/Textbook and references：

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に対しててはパワーポイントと印刷したスライドを用意すること
Please prepare slides for your own presentation.

10．その他/In addition：
このゼミに出席予定の学生は、1回目の開催が変更になる可能性があるので、必ず事前にメール(midwak@tohoku.ac.jp) にて出席の意志を連絡すること

Please contact directly by email (midwak@tohoku.ac.jp) before attending this class. The first time of the class will be changed.

加齢経済演習（Ⅰ） a /Aging Economy (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
人口の少子・高齢化が経済に及ぼす影響、少子・高齢化社会に対応した公共政策について
近代経済学（新古典派）のアプローチにもとづき、実証分析を通じて問題を分析するための
基礎的スキルの構築と実践。

Developing the ability to understand the effect of aging and public policy for aging based on the modern economic theory.

２．学修の到達目標/Goal of study：
(1)論文テーマの設定能力・自己の研究内容を適切な形で研究テーマ、研究計画として設定し、具体的な研究計画書を作成する能力を身につける。
(2)東北大学修士としての能力があることを論文の執筆という形で証明できるスキルを　身につけ、かつ実際に実践して示すこと。

(1) Ability for making a proper research plan of your research agenda.
(2) Acquiring the skill to write thesis fit for the master degree of Tohoku University and write it in fact.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・毎回２名の研究報告を基本とする。
・各人毎月１回の報告を基本とする。

1) Two person are required to make a presentation in every lessons.
2) You should make a presentation at least once a month.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語 Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
・報告の他、定期的な小論文の提出を通じて、上記の学習の到達目標が満たされているかを評価する。(60%以上の出席回数が単位評価の必要条件。（十分条件ではない。））

７．教科書および参考書/Textbook and references：

経済論文の作法　第３版	小浜　裕久 木村福成	日本評論社	2011	4535556687	参考書	

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
履修希望者の重要な準備事項
・10 月入学者：上記教科書と参考書欄のジャーナルより、事前に自らの研究に関連の深い論文を１篇を選び出し、第 1 回授業時間に持参し、指導を受けた上で、第２回授業時までにコピーを提出すること。
・非常にアタリマエなことであるが、改善を指導されたところは次回までにきちんと直すこと。これが管理できない人の履修は勧めません。
その他
Journal of Public Economics, Journal of Political Economy, National Tax Journal, Quarterly Journal of economics, Journal of the Japanese and International Economies, Japan and the World Economy, Journal of Health Economics, Health Economics, Journal of Population Economics、Journal of Human Resources ほか。
社会人に限り、以下の雑誌も範疇に加えられるものとする。Journal of Economic Perspectives, 日本経済研究、経済分析、

フィナンシャルレビュー、公共選択の研究、季刊社会保障研究、医療経済研究、家計経済研究、研究年報「経済学」
その他（履修の条件、連絡先、オフィスアワー等）
(1)加齢経済演習Ｉａも併せて履修することが薦められる。
(2)連絡先 hyoshida.econ@tohoku.ac.jp　オフィスアワーは火曜日 13:00-　要予約
(3)上記 6.の予習事項を十分読んで準備する。
(a)自己の研究課題について国内の重要な先行研究を探す能力が身についていること。
(b)自己の研究課題について国外の重要な先行研究を探す能力を身についていること。
(c)先行研究の内容を具体的に理解し、問題点を評価して論文に記述し、自己の研究を位置づけ、付加価値を設定する能力を身についていること。

加齢経済演習（Ⅰ） b /Aging Economy (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
人口の少子・高齢化が経済に及ぼす影響、少子・高齢化社会に対応した公共政策について
近代経済学（新古典派）のアプローチにもとづき、実証分析を通じて問題を分析するための
基礎的スキルの構築と実践。

Developing the ability to understand the effect of aging and public policy for aging based on the modern economic theory.

２．学修の到達目標/Goal of study：
(1)論文テーマの設定能力・自己の研究内容を適切な形で研究テーマ、研究計画として設定し、具体的な研究計画書を作成する能力を身につける。
(2)東北大学修士としての能力があることを論文の執筆という形で証明できるスキルを　身につけ、かつ実際に実践して示すこと。

(1) Ability for making a proper research plan of your research agenda.
(2) Acquiring the skill to write thesis fit for the master degree of Tohoku University and write it in fact.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・毎回２名の研究報告を基本とする。
・各人毎月１回の報告を基本とする。

1) Two person are required to make a presentation in every lessons.
2) You should make a presentation at least once a month.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語 Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
・報告の他、定期的な小論文の提出を通じて、上記の学習の到達目標が満たされているかを評価する。(60%以上の出席回数が単位評価の必要条件。（十分条件ではない。））

７．教科書および参考書/Textbook and references：

経済論文の作法　第３版	小浜　裕久　木村福成	日本評論社	2011	4535556687	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NjkONzYwNTE2MTVa?cjc=e5ouhkg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
履修希望者の重要な準備事項
・10 月入学者：上記教科書と参考書欄のジャーナルより、事前に自らの研究に関連の深い論文を１篇を選び出し、第 1 回授業時間に持参し、指導を受けた上で、第２回授業時までにコピーを提出すること。
・非常にアタリマエなことであるが、改善を指導されたところは次回までにきちんと直すこと。これが管理できない人の履修は勧めません。
その他
Journal of Public Economics, Journal of Political Economy, National Tax Journal, Quarterly Journal of economics, Journal of the Japanese and International Economies, Japan and the World Economy, Journal of Health Economics, Health Economics, Journal of Population Economics、Journal of Human Resources ほか。

社会人に限り、以下の雑誌も範疇に加えられるものとする。Journal of Economic Perspectives, 日本経済研究、経済分析、フィナンシャルレビュー、公共選択の研究、季刊社会保障研究、医療経済研究、家計経済研究、研究年報「経済学」
その他（履修の条件、連絡先、オフィスアワー等）
(1)加齢経済演習Ｉａも併せて履修することが薦められる。
(2)連絡先 hyoshida.econ@tohoku.ac.jp　オフィスアワーは火曜日 13:00-　要予約
(3)上記 6.の予習事項を十分読んで準備する。
(a)自己の研究課題について国内の重要な先行研究を探す能力が身についていること。
(b)自己の研究課題について国外の重要な先行研究を探す能力を身についていること。
(c)先行研究の内容を具体的に理解し、問題点を評価して論文に記述し、自己の研究を位置づけ、付加価値を設定する能力を身についていること。

加齢経済演習（Ⅱ） a /Aging Economy (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
人口の少子・高齢化が経済に及ぼす影響、少子・高齢化社会に対応した公共政策について
近代経済学（新古典派）のアプローチにもとづき、実証分析を通じて問題を分析するための
基礎的スキルの構築と実践。

Developing the ability to understand the effect of aging and public policy for aging based on the modern economic theory.

２．学修の到達目標/Goal of study：
(1)論文テーマの設定能力・自己の研究内容を適切な形で研究テーマ、研究計画として設定し、具体的な研究計画書を作成する能力を身につける。
(2)東北大学修士としての能力があることを論文の執筆という形で証明できるスキルを　身につけ、かつ実際に実践して示すこと。

(1) Ability for making a proper research plan of your research agenda.
(2) Acquiring the skill to write thesis fit for the master degree of Tohoku University and write it in fact.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・毎回２名の研究報告を基本とする。
・各人毎月１回の報告を基本とする。

1) Two person are required to make a presentation in every lessons.
2) You should make a presentation at least once a month.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語 Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
・報告の他、定期的な小論文の提出を通じて、上記の学習の到達目標が満たされているかを評価する。(60%以上の出席回数が単位評価の必要条件。（十分条件ではない。））

７．教科書および参考書/Textbook and references：

経済論文の作法　第３版	小浜　裕久　木村福成	日本評論社	2011	4535556687	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NjkONzYwNTE2MTVa?cjc=e5ouhkg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
履修希望者の重要な準備事項
・10 月入学者：上記教科書と参考書欄のジャーナルより、事前に自らの研究に関連の深い論文を１篇を選び出し、第 1 回授業時間に持参し、指導を受けた上で、第２回授業時までにコピーを提出すること。
・非常にアタリマエなことであるが、改善を指導されたところは次回までにきちんと直すこと。これが管理できない人の履修は勧めません。
その他
Journal of Public Economics, Journal of Political Economy, National Tax Journal, Quarterly Journal of economics, Journal of the Japanese and International Economies, Japan and the World Economy, Journal of Health Economics, Health Economics, Journal of Population Economics、Journal of Human Resources ほか。

社会人に限り、以下の雑誌も範疇に加えられるものとする。Journal of Economic Perspectives, 日本経済研究、経済分析、フィナンシャルレビュー、公共選択の研究、季刊社会保障研究、医療経済研究、家計経済研究、研究年報「経済学」
その他（履修の条件、連絡先、オフィスアワー等）
(1)加齢経済演習Ｉａも併せて履修することが薦められる。
(2)連絡先 hyoshida.econ@tohoku.ac.jp　オフィスアワーは火曜日 13:00-　要予約
(3)上記 6.の予習事項を十分読んで準備する。
(a)自己の研究課題について国内の重要な先行研究を探す能力が身についていること。
(b)自己の研究課題について国外の重要な先行研究を探す能力を身についていること。
(c)先行研究の内容を具体的に理解し、問題点を評価して論文に記述し、自己の研究を位置づけ、付加価値を設定する能力を身についていること。

加齢経済演習（Ⅱ） b /Aging Economy (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
人口の少子・高齢化が経済に及ぼす影響、少子・高齢化社会に対応した公共政策について
近代経済学（新古典派）のアプローチにもとづき、実証分析を通じて問題を分析するための
基礎的スキルの構築と実践。

Developing the ability to understand the effect of aging and public policy for aging based on the modern economic theory.

２．学修の到達目標/Goal of study：
(1)論文テーマの設定能力・自己の研究内容を適切な形で研究テーマ、研究計画として設定し、具体的な研究計画書を作成する能力を身につける。
(2)東北大学修士としての能力があることを論文の執筆という形で証明できるスキルを　身につけ、かつ実際に実践して示すこと。

(1) Ability for making a proper research plan of your research agenda.
(2) Acquiring the skill to write thesis fit for the master degree of Tohoku University and write it in fact.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・毎回２名の研究報告を基本とする。
・各人毎月１回の報告を基本とする。

1) Two person are required to make a presentation in every lessons.
2) You should make a presentation at least once a month.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語 Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
・報告の他、定期的な小論文の提出を通じて、上記の学習の到達目標が満たされているかを評価する。(60%以上の出席回数が単位評価の必要条件。（十分条件ではない。））

７．教科書および参考書/Textbook and references：

経済論文の作法　第３版	小浜　裕久　木村福成	日本評論社	2011	4535556687	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NjkONzYwNTE2MTVa?cjc=e5ouhkg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
履修希望者の重要な準備事項
・10 月入学者：上記教科書と参考書欄のジャーナルより、事前に自らの研究に関連の深い論文を１篇を選び出し、第 1 回授業時間に持参し、指導を受けた上で、第２回授業時までにコピーを提出すること。
・非常にアタリマエなことであるが、改善を指導されたところは次回までにきちんと直すこと。これが管理できない人の履修は勧めません。
その他
Journal of Public Economics, Journal of Political Economy, National Tax Journal, Quarterly Journal of economics, Journal of the Japanese and International Economies, Japan and the World Economy, Journal of Health Economics, Health Economics, Journal of Population Economics、Journal of Human Resources ほか。

社会人に限り、以下の雑誌も範疇に加えられるものとする。Journal of Economic Perspectives, 日本経済研究、経済分析、フィナンシャルレビュー、公共選択の研究、季刊社会保障研究、医療経済研究、家計経済研究、研究年報「経済学」
その他（履修の条件、連絡先、オフィスアワー等）
(1)加齢経済演習Ｉａも併せて履修することが薦められる。
(2)連絡先 hyoshida.econ@tohoku.ac.jp　オフィスアワーは火曜日 13:00-　要予約
(3)上記 6.の予習事項を十分読んで準備する。
(a)自己の研究課題について国内の重要な先行研究を探す能力が身についていること。
(b)自己の研究課題について国外の重要な先行研究を探す能力を身についていること。
(c)先行研究の内容を具体的に理解し、問題点を評価して論文に記述し、自己の研究を位置づけ、付加価値を設定する能力を身についていること。

医療経済演習（Ⅰ） a /Health Economics (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：前期 木曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習では，医療経済学や公共経済学に関する実証的な学位（修士・博士）論文を執筆するために必要な論文指導を行う。

In this seminar, the instructor provides a student who is interensted in public economics, health economics, and other related fields with advices to complete own empirical MA or Ph.d. dissertation at the graduate school of economics and management in Tohoku univeristy.

２．学修の到達目標/Goal of study：
医療経済学や公共経済学に関する実証的な学位論文を完成させること。

The goal of this semester is that the student completes an empirical dissertation on health economics, public economics, or other related issues.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
進捗状況に応じて，実証的な学位論文を完成させるために必要な論文指導をゼミ形式で行う。
BCP レベルが３以下の場合は対面開講，BCP レベルが４以上の場合にはオンライン開講とする。
いずれの場合においても，講義情報の伝達や報告資料のアップロードなどは Google Classroom（クラスコードは「ybbekkg」）を通して行う。

Depending on the progress, I instruct the two students at most per week to help them complete own empirical thesis.
Face-to-face seminars will be held for BCP level 2 and below, and online seminars (real time) will be held for BCP level 3 and above.
We use our Google Classroom (code: "ybbekkg") to communicate lecture information to each other.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語または英語

English and/or Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
出席状況と発表内容を包括的に評価する。

Comprehensive evaluation based on participation and presentation.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
学位論文として執筆している経済学的な実証分析を，国内外の査読付学術雑誌に掲載できるような学術論文とするためにはどうすればよいかを日々考えることが望まれる。

The student always are required to consider how own empirical study is published on the refereed journal.

１０．その他/In addition：
本演習の履修者は，医療福祉政策特別演習および現代経済特別演習も必ず履修して，それらの特別演習ならびに現代経済研究会にも参加すること。

The students of this seminar must participate in the Workshops a/b organized by associate prof.Yoshida and prof. Wakabayashi as well as modern economics seminars.

医療経済演習（Ⅰ） b/Health Economics (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：後期 木曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習では，医療経済学や公共経済学に関する実証的な学位（修士・博士）論文を執筆するために必要な論文指導を行う。

In this seminar, the instructor provides a student who is interensted in public economics, health economics, and other related fields with advices to complete own empirical MA or Ph.d. dissertation at the graduate school of economics and management in Tohoku univeristy.

２．学修の到達目標/Goal of study：
医療経済学や公共経済学に関する実証的な学位論文を完成させること。

The goal of this semester is that the student completes an empirical dissertation on health economics, public economics, or other related issues.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
進捗状況に応じて，実証的な学位論文を完成させるために必要な論文指導をゼミ形式で行う。
BCP レベルが 3 以下の場合は対面開講，BCP レベルが 4 以上の場合にはオンライン開講とする。
いずれの場合においても，講義情報の伝達や報告資料のアップロードなどは Google Classroom（クラスコードは「ybbekkg」）を通して行う。

Depending on the progress, I instruct the two students at most per week to help them complete own empirical thesis.
Face-to-face seminars will be held for BCP level 2 and below, and online seminars (real time) will be held for BCP level 3 and above.
We use our Google Classroom (code: "ybbekkg") to communicate lecture information to each other.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語または英語

English and/or Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
出席状況と発表内容を包括的に評価する。

Comprehensive evaluation based on participation and presentation.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
学位論文として執筆している経済学的な実証分析を，国内外の査読付学術雑誌に掲載できるような学術論文とするためにはどうすればよいかを日々考えることが望まれる。

The student always are required to consider how own empirical study is published on the refereed journal.

１０．その他/In addition：
本演習の履修者は，医療福祉政策特別演習および現代経済特別演習も必ず履修して，それらの特別演習ならびに現代経済研究会にも参加すること。

The students of this seminar must participate in the Workshops a/b organized by associate prof.Yoshida and prof. Wakabayashi as well as modern economics seminars.

医療経済演習（Ⅱ） a /Health Economics (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習では，医療経済学や公共経済学に関する実証的な学位（修士・博士）論文を執筆するために必要な論文指導を行う。

In this seminar, the instructor provides a student who is interensted in public economics, health economics, and other related fields with advices to complete own empirical MA or Ph.d. dissertation at the graduate school of economics and management in Tohoku univeristy.

２．学修の到達目標/Goal of study：
医療経済学や公共経済学に関する実証的な学位論文を完成させること。

The goal of this semester is that the student completes an empirical dissertation on health economics, public economics, or other related issues.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
進捗状況に応じて，実証的な学位論文を完成させるために必要な論文指導をゼミ形式で行う。
BCP レベルが 3 以下の場合は対面開講，BCP レベルが 4 以上の場合にはオンライン開講とする。
いずれの場合においても，講義情報の伝達や報告資料のアップロードなどは Google Classroom（クラスコードは「ybbekkg」）を通して行う。

Depending on the progress, I instruct the two students at most per week to help them complete own empirical thesis.
Face-to-face seminars will be held for BCP level 2 and below, and online seminars (real time) will be held for BCP level 3 and above.
We use our Google Classroom (code: "ybbekkg") to communicate lecture information to each other.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語または英語

English and/or Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
出席状況と発表内容を包括的に評価する。

Comprehensive evaluation based on participation and presentation.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
学位論文として執筆している経済学的な実証分析を，国内外の査読付学術雑誌に掲載できるような学術論文とするためにはどうすればよいかを日々考えることが望まれる。

The student always are required to consider how own empirical study is published on the refereed journal.

１０．その他/In addition：
本演習の履修者は，医療福祉政策特別演習および現代経済特別演習も必ず履修して，それらの特別演習ならびに現代経済研究会にも参加すること。

The students of this seminar must participate in the Workshops a/b organized by associate prof.Yoshida and prof. Wakabayashi as well as modern economics seminars.

医療経済演習（Ⅱ） b/Health Economics (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習では，医療経済学や公共経済学に関する実証的な学位（修士・博士）論文を執筆するために必要な論文指導を行う。

In this seminar, the instructor provides a student who is interensted in public economics, health economics, and other related fields with advices to complete own empirical MA or Ph.d. dissertation at the graduate school of economics and management in Tohoku univeristy.

2．学修の到達目標/Goal of study：
医療経済学や公共経済学に関する実証的な学位論文を完成させること。

The goal of this semester is that the student completes an empirical dissertation on health economics, public economics, or other related issues.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
進捗状況に応じて，実証的な学位論文を完成させるために必要な論文指導をゼミ形式で行う。
BCP レベルが 3 以下の場合は対面開講，BCP レベルが 4 以上の場合にはオンライン開講とする。
いずれの場合においても，講義情報の伝達や報告資料のアップロードなどは Google Classroom（クラスコードは「ybbekkg」）を通して行う。

Depending on the progress, I instruct the two students at most per week to help them complete own empirical thesis.
Face-to-face seminars will be held for BCP level 2 and below, and online seminars (real time) will be held for BCP level 3 and above.
We use our Google Classroom (code: "ybbekkg") to communicate lecture information to each other.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語または英語

English and/or Japanese

6．成績評価方法/Evaluation method：
出席状況と発表内容を包括的に評価する。

Comprehensive evaluation based on participation and presentation.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：
学位論文として執筆している経済学的な実証分析を，国内外の査読付学術雑誌に掲載できるような学術論文とするためにはどうすればよいかを日々考えることが望まれる。

The student always are required to consider how own empirical study is published on the refereed journal.

10．その他/In addition：
本演習の履修者は，医療福祉政策特別演習および現代経済特別演習も必ず履修して，それらの特別演習ならびに現代経済研究会にも参加すること。

The students of this seminar must participate in the Workshops a/b organized by associate prof.Yoshida and prof. Wakabayashi as well as modern economics seminars.

財政演習（Ⅰ） a /Public Finance (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：佐々木　伯朗/NORIO SASAKI
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
課税と財政支出による再分配について、制度派経済学に基づいた書籍や論文を読み、現代の政治経済学の先端的な理論および実証分析について学ぶ。
In this seminar, we read several important books and articles dealing with the redistribution by tax or public expenditure, based on Institutional Economics, in order to learn advanced theory and real analyses of modern political economy.

２．学修の到達目標/Goal of study：
各国における再分配をめぐる政治の実態や、制度派経済学における国家と財政の理論のフロンティアを理解する。
To Understand the reality of the politics about redistribution, and the frontiers of the theory of states and public finance.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
課税や再分配を扱った重要な書籍や論文をいくつか選び、読んでいく。
We will read several important books and articles dealing with tax and redistribution.

授業は、原則対面で行い、状況に応じてオンラインリアルタイム方式(Google Meet 使用)でも行う。諸連絡は、Google Classroom で行う。Google Classroom のコード：cesyqad
なお、学内 BCP レベルで、「原則オンライン」になった場合は、オンライン授業とする。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語または英語
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績で評価する。
Evaluation will be based on ordinary developments in class.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

金持ち課税	シーヴ、スタサヴェージ	みすず書房	2018年	978-4-622-08701-4	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
受講に際しては、学部で学ぶ財政学・公共経済学の一通りの知識と、経済英語を読む能力が必要である。
To take this course, you need undergraduate level of public finance or public economics, and English skill used for economics and management.

財政演習（Ⅰ） b/Public Finance (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：佐々木　伯朗/NORIO SASAKI
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
課税と財政支出による再分配について、制度派経済学に基づいた書籍や論文を読み、現代の政治経済学の先端的な理論および実証分析について学ぶ。
In this seminar, we read several important books and articles dealing with the redistribution by tax or public expenditure, based on Institutional Economics, in order to learn advanced theory and real analyses of modern political economy.

２．学修の到達目標/Goal of study：
各国における再分配をめぐる政治の実態や、制度派経済学における国家と財政の理論のフロンティアを理解する。
To Understand the reality of the politics about redistribution, and the frontiers of the theory of states and public finance.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
課税や再分配を扱った重要な書籍や論文をいくつか選び、読んでいく。
We will read several important books and articles dealing with tax and redistribution.

授業は、原則対面で行い、状況に応じてオンラインリアルタイム方式(Google Meet 使用)でも行う。諸連絡は、Google Classroom で行う。
Google Classroom のコード：a7yatw5
なお、学内 BCP レベルで、「原則オンライン」になった場合は、オンライン授業とする。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語または英語
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績で評価する。
Evaluation will be based on ordinary developments in class.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

金持ち課税	シーヴ、スタサヴェージ	みすず書房	2018年	978-4-622-08701-4	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
受講に際しては、学部で学ぶ財政学・公共経済学の一通りの知識と、経済英語を読む能力が必要である。
To take this course, you need undergraduate level of public finance or public economics, and English skill used for economics and management.

財政演習（Ⅱ） a /Public Finance (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：佐々木　伯朗/NORIO SASAKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
財政学に関する修士論文の作成指導
Giving instruction for M.A. thesis of public finance field

２．学修の到達目標/Goal of study：
具体的目標は個々の論文のテーマに依存するが、共通した目標は以下の通り。
・論文の学問的位置付けを明確にする。
・課題の設定から、方法論、分析、考察、結論までの論理展開を妥当なものにする。
・資料の種類と解釈、データの処理と考察を正確にする。

Although the concrete purposes depend on each research theme, the project reports must fulfill following conditions.
1. Clear academic contribution
2. Reasonable statements from research questions to conclusion
3. Correct statistical treatment of date and considerations

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本年度に修士論文を提出予定の学生に中間報告を行ってもらい、参加者全体で検討する。必要があれば各自の研究テーマに関連する文献も講読する。

The participants need to fulfill following conditions.
1. Report of the research
2. Responding to the comments or questions
3. Considering how to improve the research

論文指導は対面を基本とするが、状況に応じてオンラインリアルタイム方式(Google Meet 使用）も併用する。なお、学内BCPレベルで、「原則オンライン」になった場合は、オンライン授業とする。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語または英語
Japanese or English

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績による。
Evaluation will be based on ordinary developments in class.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

財政演習（Ⅱ） b/Public Finance (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：佐々木　伯朗/NORIO SASAKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
財政学に関する修士論文の作成指導
Giving instruction for M.A. thesis of public finance field

2．学修の到達目標/Goal of study：
具体的目標は個々の論文のテーマに依存するが、共通した目標は以下の通り。
・論文の学問的位置付けを明確にする。
・課題の設定から、方法論、分析、考察、結論までの論理展開を妥当なものにする。
・資料の種類と解釈、データの処理と考察を正確にする。

Although the concrete purposes depend on each research theme, the project reports must fulfill following conditions.
1. Clear academic contribution
2. Reasonable statements from research questions to conclusion
3. Correct statistical treatment of date and considerations

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本年度に修士論文を提出予定の学生に中間報告を行ってもらい、参加者全体で検討する。必要があれば各自の研究テーマに関連する文献も講読する。

The participants need to fulfill following conditions.
1. Report of the research
2. Responding to the comments or questions
3. Considering how to improve the research

論文指導は対面を基本とするが、状況に応じてオンラインリアルタイム方式(Google Meet 使用）も併用する。なお、学内BCPレベルで、「原則オンライン」になった場合は、オンライン授業とする。

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語または英語
Japanese or English

6．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績による。
Evaluation will be based on ordinary developments in class.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

地域企業論演習 (Ⅰ) a /Regional Enterprises (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
・本授業では、論文を輪読することを通じて、論文とは何かを理解する。
・最終的には一人で論文を読み、評価し、自分でも書くことができるようになることを目的とする。

・ In this class, the students will understand what academic papers are through reading and discussion.
・ The students will be able to read, evaluate, and write academic papers by themselves.

2．学修の到達目標/Goal of study：
・論文とは何かについて理解する。
・論文を読みこなし、評価する力をつける。
・サーベイ論文を書く.

To understand "what is research and what is writing papers?"
To nurture the ability to read academic papers and evaluate them
To write a survey paper

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・講義の形態はリアルタイムのオンライン。状況が許せば対面講義に切り替える (水、2限目)。
・初回は必ずオンラインで開催するので必ず参加してほしい。
・初回の講義までに担当教員にメールを送ること。それを受けて担当教員はGoogleMeetのURLを送る。

・ The form of the lecture is real-time online. If circumstances permit, switch to face-to-face lectures (Wednesday, 2nd period).
・ Because the first time will be held online, please be sure to participate.
・ Send an email to the instructor by the first class. In response, the instructor sends the URL of Google Meet.

・受講者は講義内で読むべき論文を探し、皆で共有する。
・講義内で担当者が自分が選んだ論文をまとめたものを発表し、それについてディスカッションを行う。
・論文に対する評価を行う。

・ The students will search for a paper that they want to read in the lecture and share it with everyone.
・ In the lecture, the person in charge will present a summary of the papers of his choice and discuss it.
・ Evaluate the paper.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語(Japanese)

6．成績評価方法/Evaluation method：
・出席は7割が必須条件。(無断欠席は許可しない)。
・レポーター時の発表
・授業内での発言・態度
・課題(文献レビュー)

上記を鑑み評価する (黙って座っているだけでは評価されないことに注意)。

All students have to attend the class (70% of all class attendances should be required.)
Absent without notice is not allowed.
The students are eva

7．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
・授業前に指定された部分を読み、質問を考えてくる。

All students have to read the designated part and have questions in advance of the class.

１０．その他/In addition：
・Classroom は使用しない。
・受講予定の学生は、初回講義までに担当教員にメールで受講希望を必ず提出すること。そのメールに対して、GoogleMeet の URL を伝える。
・受講生は、Google Meet が使える環境を整えておいてほしい。

・使用言語は日本語。
・授業に関する相談は随時受け付ける。メールで事前連絡をすること。
・連絡先は、michi@tohoku.ac.jp　まで。

・We don't use the Classroom.
・ Send an email to the instructor by the first class. In response, the instructor sends the URL of Google Meet.
・Prepare for the environment for using GoogleMeet.

The class is conducted in Japanese.
If any question, send email to the instructor (michi@tohoku.ac.jp)

地域企業論演習 (Ⅰ) b/Regional Enterprises (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
・本授業では、論文を輪読することを通じて、論文とは何かを理解する。
・最終的には一人で論文を読み、評価し、自分でも書くことができるようになることを目的とする。

・ In this class, the students will understand what academic papers are through reading and discussion.
・ The students will be able to read, evaluate, and write academic papers by themselves.

2．学修の到達目標/Goal of study：
・論文とは何かについて理解する。
・論文を読みこなし、評価する力をつける。
・サーベイ論文を書く.

To understand "what is research and what is writing papers?"
To nurture the ability to read academic papers and evaluate them
To write a survey paper

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・講義の形態はリアルタイムのオンライン。状況が許せば対面講義に切り替える (水、2限目)。
・初回は必ずオンラインで開催するので必ず参加してほしい。
・初回の講義までに担当教員にメールを送ること。それを受けて担当教員はGoogleMeetのURLを送る。

・ The form of the lecture is real-time online. If circumstances permit, switch to face-to-face lectures (Wednesday, 2nd period).
・ Because the first time will be held online, please be sure to participate.
・ Send an email to the instructor by the first class. In response, the instructor sends the URL of Google Meet.

・受講者は講義内で読むべき論文を探し、皆で共有する。
・講義内で担当者が自分が選んだ論文をまとめたものを発表し、それについてディスカッションを行う。
・論文に対する評価を行う。

・ The students will search for a paper that they want to read in the lecture and share it with everyone.
・ In the lecture, the person in charge will present a summary of the papers of his choice and discuss it.
・ Evaluate the paper.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語(Japanese)

6．成績評価方法/Evaluation method：
・出席は7割が必須条件。(無断欠席は許可しない)。
・レポーター時の発表
・授業内での発言・態度
・課題(文献レビュー)

上記を鑑み評価する (黙って座っているだけでは評価されないことに注意)。

All students have to attend the class (70% of all class attendances should be required.)
Absent without notice is not allowed.
The students are eva

7．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
・授業前に指定された部分を読み、質問を考えてくる。

All students have to read the designated part and have questions in advance of the class.

１０．その他/In addition：
・Classroom は使用しない。
・受講予定の学生は、初回講義までに担当教員にメールで受講希望を必ず提出すること。そのメールに対して、GoogleMeet の URL を伝える。
・受講生は、Google Meet が使える環境を整えておいてほしい。

・使用言語は日本語。
・授業に関する相談は随時受け付ける。メールで事前連絡をすること。
・連絡先は、michi@tohoku.ac.jp　まで。

・We don't use the Classroom.
・ Send an email to the instructor by the first class. In response, the instructor sends the URL of Google Meet.
・Prepare for the environment for using GoogleMeet.

The class is conducted in Japanese.
If any question, send email to the instructor (michi@tohoku.ac.jp)

地域企業論演習（Ⅱ） a /Regional Enterprises (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
修士論文を提出する学生に対して、修正論文作成することを目的にした指導を行う。

For students who will submit the master thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
修士論文を完成させ提出する。

To finish the master thesis and submit it by the deadline.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
修士論文のテーマの選択、研究計画、調査デザインの作成
論文の書き方に関する指導

In the class, each student has to choose the thesis topic, make the research design, and conduct research.
In addition, each student has to write the master thesis following the academic rule.

オンラインを通じての講義となる可能性があるので、GooleMeet にアクセスできる環境を整えてほしい。
This seminar is an online lecture. Students have to create an environment for using GoogleMeet.

教員とのコミュニケーションは Slack または email を用いる。
Slack is used to communicate with the instructor.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
修士論文の成績

Evaluation is based on the master thesis submitted.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

新・社会調査へのアプローチ：論理と方法	大谷伸介、木下栄治、後藤憲章、小松洋	ミネルヴァ書房	2013	978－4－623－06654－4
レポート・論文の書き方入門	河野哲也	慶應義塾大学出版会	2002	978-4766425277
社会科学系論文の書き方	明石芳彦	ミネルヴァ書房	2018	978－4－623－08379－4

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
修士論文の進捗状況についての報告準備をしてくること。

Prepare the materials that inform what you have done since the previous class.

１０．その他/In addition：
使用言語は日本語が基本。
授業に関する相談は随時受け付ける。メールで事前連絡をすること。
指導はオンラインで行われる。URL は随時指定する。
連絡先は、michi@tohoku.ac.jp　まで。

In this class, Japanese is standard.
This class is held via online(GoogleMeet). The instructor inform the URL each time.
If any question, send email to the instructor(michi@tohoku.ac.jp).

地域企業論演習（Ⅱ） b /Regional Enterprises (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
修士論文を提出する学生に対して、修正論文作成することを目的にした指導を行う。

For students who will submit the master thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
修士論文を完成させ提出する。

To finish the master thesis and submit it by the deadline.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
修士論文のテーマの選択、研究計画、調査デザインの作成
論文の書き方に関する指導

In the class, each student has to choose the thesis topic, make the research design, and conduct research.
In addition, each student has to write the master thesis following the academic rule.

オンラインを通じての講義となる可能性があるので、GooleMeet にアクセスできる環境を整えてほしい。
This seminar is an online lecture. Students have to create an environment for using GoogleMeet.

教員とのコミュニケーションは Slack または email を用いる。
Slack is used to communicate with the instructor.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
修士論文の成績

Evaluation is based on the master thesis submitted.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

新・社会調査へのアプローチ：論理と方法	大谷伸介、木下栄治、後藤憲章、小松洋	ミネルヴァ書房	2013	978－4－623－06654－4
レポート・論文の書き方入門	河野哲也	慶應義塾大学出版会	2002	978-4766425277
社会科学系論文の書き方	明石芳彦	ミネルヴァ書房	2018	978－4－623－08379－4

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
修士論文の進捗状況についての報告準備をしてくること。

Prepare the materials that inform what you have done since the previous class.

１０．その他/In addition：
使用言語は日本語が基本。
授業に関する相談は随時受け付ける。メールで事前連絡をすること。
連絡先は、michi@tohoku.ac.jp　まで。

In this class, Japanese is standard.

If any questions, send an email to the instructor(michi@tohoku.ac.jp).

地域計画演習 (Ⅰ) a /Regional Planning (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：増田　聡/SATORU MASUDA
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ６講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Class code (Google Classroom)：EM2169

本演習では、広義の地域計画に関わるテーマを選び、受講者各自が文献サーベイとレビューを行い、これまでの研究成果及び論点を確認･整理することを目指す。さらに、修士論文執筆に必要となる基礎理論の理解と分析ツールの利用法の習得機会を提供する。
In this seminar, the participants will select themes related to the regional planning in a broad sense, and each student will conduct a literature survey and review to confirm and organize the research results and issues to date. In addition, it provides an opportunity to understand basic theories necessary for writing a master's thesis and to learn how to use analytical tools.

2．学修の到達目標/Goal of study：
・参加者は毎月の報告を行うことを通じて、プレゼンテーション及び討論の能力を高める
・各研究分野における主要論文とこれまでの研究成果を理解する
・文献レビューの成果報告をとりまとめ、修士論文の基礎資料を準備する
・論文執筆の基礎となる分析力を身につける

・Enhance your presentation and discussion skills through monthly reporting
・Read the major articles in each field and comprehend the results of preceding studies
・Compile the results of literature review and prepare basic materials for master's thesis
・Acquire analytical skills that will be the basis for your thesis writing

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者には毎月１回、各自の研究計画・テーマに従って選択した論文等の内容紹介に関する発表を行ってもらう。また必要に応じて、方法論や参加者の間で共有しうるテーマに関する論文・書籍を輪講する。
※コロナ感染症による BCP レベルが１の場合、オンライン (Google Meet) と対面を併用するが、レベルが２以上に上がった場合は、オンラインで行う。

○開講時２回：各自の関心あるテーマ (研究計画) の発表と次週以降の報告スケジュールの確定
(研究課題、先行研究、研究対象･地域、分析データ、解析手法など)
○第３回～第８回：選択した論文等の概要発表･討論、共通文献の輪講
・学協会誌掲載等のレビュー論文の検索･紹介 (先行研究及び主要論点の把握)
　和文雑誌 (都市計画学会誌「都市計画研究の現状と展望」等)
　英文雑誌 (Planning Practice & Research、Planning Theory、Progress in Human Geography 等)
・各自の関心ある分野についての論文･書籍
・国立情報学研究所学協会情報発信サービス (学協会情報)： http://wwwsoc.nii.ac.jp/
・日経グローカル、経済レポート専門ニュース：http://www3.keizaireport.com/など
○第９回～第 12 回：新たな研究計画の報告
○閉講時２回：演習成果として、レビュー論文の執筆･報告 (修士論文への発展を目指して)

Participants will be invited to give a presentation once a month about the contents of the preceding studies selected in accordance with your research plan and theme. If necessary, readings and lectures on methodologies and topics that can be shared among participants will be held.
※ If the BCP level due to coronary infections is 1, online (Google Meet) and face-to-face will be used together, but if the level rises to 2 or higher, online will be used.

○ Two times at the start of the course: Presentation of the theme (research plan) of your interest and determination of the reporting schedule for the next week and beyond
(Research issues, prior research, research target / region, analytical data and methods, etc.)
○ The 3rd to 8th: Outline presentation / discussion of selected papers
・ Search / introduction of review papers published in academic journals
・ Articles / books on the fields of interest
○ The 9th to 12th: Report of your revised research plan
○ Two times at the closing: Reporting your review essay as a final result of the seminar

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語

6．成績評価方法/Evaluation method：

演習への貢献（報告及び討論）と学期末の最終レポート（レビュー論文）から評価する。
Evaluation will be based on the contribution to the exercise (report and discussion) and the final report (review paper) at the end of the semester.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

まちの見方･調べ方	西村幸夫･野澤康編	朝倉書店	2010	978-4254266375	参考
住まいと街をつくるための調査のデザイン：インタビュー/アンケート/心理実験の手引き	日本建築学会編	オーム社	2011	978-4274209956	参考
建築･都市計画のための調査･分析方法（改訂版）	日本建築学会編	井上書院	2012	978-4753017546	参考
地域調査ことはじめ：あるく･みる･かく	梶田真･加藤政洋･仁平尊明編	ナカニシヤ出版	2007	978-4779501326	参考
RESAS の教科書 リーサス･ガイドブック	日経ビッグデータ編	日経 BP 社	2016	978-4822236601	参考
地図化すると世の中が見えてくる	伊藤智章	ベレ出版	2016	978-4860644888	参考
The Routledge Handbook of Planning Research Methods	E Silva, P Healey, N Harris and P Broeck (eds)	Routledge	2014	978-0415727952	参考

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Planning Practice & Research: https://www.tandfonline.com/toc/cppr20/current
Planning Theory: http://journals.sagepub.com/home/plt
Progress in Human Geography: http://journals.sagepub.com/home/phg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
前週に配られるレジメ及び参考資料を読了の上、翌週の演習に参加すること。
Graduate students should read the regimen and reference materials distributed the previous week in advance before participating in the exercise.

１０．その他/In addition：
・欠席する場合にはあらかじめ連絡し、毎月の報告義務を果たすこと。
・自らの報告担当の回には、前週の演習の際にレジメを人数分印刷し配布すること。
　印刷が間に合わない場合は、メールやグループウェアを利用して事前配津すること。
・履修の条件は特にないが、日本語によるコミュニケーションを中心とする。
　必要な連絡は、メール（s.masuda@tohoku.ac.jp）により行うこと。

地域計画演習 (Ⅰ) b/Regional Planning (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：増田　聡/SATORU MASUDA
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ６講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Class code (Google Classroom)：EM2169

本演習では、広義の地域計画に関わるテーマを選び、受講者各自が文献サーベイとレビューを行い、これまでの研究成果及び論点を確認･整理することを目指す。さらに、修士論文執筆に必要となる基礎理論の理解と分析ツールの利用法の習得機会を提供する。
In this seminar, the participants will select themes related to the regional planning in a broad sense, and each student will conduct a literature survey and review to confirm and organize the research results and issues to date. In addition, it provides an opportunity to understand basic theories necessary for writing a master's thesis and to learn how to use analytical tools.

2．学修の到達目標/Goal of study：
・参加者は毎月の報告を行うことを通じて、プレゼンテーション及び討論の能力を高める
・各研究分野における主要論文とこれまでの研究成果を理解する
・文献レビューの成果報告をとりまとめ、修士論文の基礎資料を準備する
・論文執筆の基礎となる分析力を身につける

・Enhance your presentation and discussion skills through monthly reporting
・Read the major articles in each field and comprehend the results of preceding studies
・Compile the results of literature review and prepare basic materials for master's thesis
・Acquire analytical skills that will be the basis for your thesis writing

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者には毎月１回、各自の研究計画・テーマに従って選択した論文等の内容紹介に関する発表を行ってもらう。また必要に応じて、方法論や参加者の間で共有しうるテーマに関する論文・書籍を輪講する。
※コロナ感染症による BCP レベルが１の場合、オンライン（Google Meet）と対面を併用するが、レベルが２以上に上がった場合は、オンラインで行う。

○開講時２回：各自の関心あるテーマ（研究計画）の発表と次週以降の報告スケジュールの確定
（研究課題、先行研究、研究対象･地域、分析データ、解析手法など）
○第３回～第８回：選択した論文等の概要発表･討論、共通文献の輪講
・学協会誌掲載等のレビュー論文の検索･紹介（先行研究及び主要論点の把握）
　和文雑誌（都市計画学会誌「都市計画研究の現状と展望」等）
　英文雑誌（Planning Practice & Research、Planning Theory、Progress in Human Geography 等）
・各自の関心ある分野についての論文･書籍
・国立情報学研究所学協会情報発信サービス（学協会情報）: http://wwwsoc.nii.ac.jp/
・日経グローカル、経済レポート専門ニュース：http://www3.keizaireport.com/など
○第９回～第 12 回：新たな研究計画の報告
○閉講時２回：演習成果として、レビュー論文の執筆･報告（修士論文への発展を目指して）

Participants will be invited to give a presentation once a month about the contents of the preceding studies selected in accordance with your research plan and theme. If necessary, readings and lectures on methodologies and topics that can be shared among participants will be held.
※ If the BCP level due to coronary infections is 1, online (Google Meet) and face-to-face will be used together, but if the level rises to 2 or higher, online will be used.

○ Two times at the start of the course: Presentation of the theme (research plan) of your interest and determination of the reporting schedule for the next week and beyond
(Research issues, prior research, research target / region, analytical data and methods, etc.)
○ The 3rd to 8th: Outline presentation / discussion of selected papers
・ Search / introduction of review papers published in academic journals
・ Articles / books on the fields of interest
○ The 9th to 12th: Report of your revised research plan
○ Two times at the closing: Reporting your review essay as a final result of the seminar

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語

6．成績評価方法/Evaluation method：

演習への貢献（報告及び討論）と学期末の最終レポート（レビュー論文）から評価する。
Evaluation will be based on the contribution to the exercise (report and discussion) and the final report (review paper) at the end of the semester.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

まちの見方･調べ方	西村幸夫･野澤康編	朝倉書店	2010	978-4254266375	参考
住まいと街をつくるための調査のデザイン：インタビュー/アンケート/心理実験の手引き	日本建築学会編	オーム社	2011	978-4274209956	参考
建築･都市計画のための調査･分析方法（改訂版）	日本建築学会編	井上書院	2012	978-4753017546	参考
地域調査ことはじめ：あるく･みる･かく	梶田真･加藤政洋･仁平尊明編	ナカニシヤ出版	2007	978-4779501326	参考
RESAS の教科書 リーサス･ガイドブック	日経ビッグデータ編	日経 BP 社	2016	978-4822236601	参考
地図化すると世の中が見えてくる	伊藤智章	ベレ出版	2016	978-4860644888	参考
The Routledge Handbook of Planning Research Methods	E Silva, P Healey, N Harris and P Broeck (eds)	Routledge	2014	978-0415727952	参考

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Planning Practice & Research: https://www.tandfonline.com/toc/cppr20/current
Planning Theory: http://journals.sagepub.com/home/plt
Progress in Human Geography: http://journals.sagepub.com/home/phg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
前週に配られるレジメ及び参考資料を読了の上、翌週の演習に参加すること。
Graduate students should read the regimen and reference materials distributed the previous week in advance before participating in the exercise.

１０．その他/In addition：
・欠席する場合にはあらかじめ連絡し、毎月の報告義務を果たすこと。
・自らの報告担当の回には、前週の演習の際にレジメを人数分印刷し配布すること。
　印刷が間に合わない場合は、メールやグループウェアを利用して事前配津すること。
・履修の条件は特にないが、日本語によるコミュニケーションを中心とする。
　必要な連絡は、メール（s.masuda@tohoku.ac.jp）により行うこと。

地域計画演習 (Ⅱ) a /Regional Planning (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：増田　聡/SATORU MASUDA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Class code (Google Classroom)：EM2171

広義の都市・地域計画に関する論文作成のための助言・指導を行うとともに、演習参加者に報告と討論の場を提供することを目的とする。「都市や地域を対象に(空間的)計画や政策を策定し、実行・評価すること」との関係性において、各人の研究課題がどのように位置づけられるのかを考えておいて欲しい。

The purpose of this course is to provide advice and guidance for the preparation of your dissertation on urban and regional planning in a broad sense, and to provide participants with opportunities of reporting and discussions. Please consider how your research agenda can be positioned in relation to "developing, implementing and evaluating (spatial) plans and policies for cities and regions."

2．学修の到達目標/Goal of study：
・1年間の研究計画を、1学期当初にまず完成させる
・修士論文の執筆に求められる計画理論等を明確にするとともに、その理解を進める
・先行研究のレビューを通じて、論文テーマに関する研究成果と検討すべき研究課題を明確にする
・論文執筆に必要なデータ処理・解析手法を理解し、研究方法の応用力を高める
・修士論文Ａを完成させる

・ Complete your one-year research plan at the beginning of the semester
・ Clarify the planning theory required for writing your master's thesis and promote your understanding on the theory
・ Clarify the research agenda through the review of previous studies
・ Understand the data processing and analysis methods required for writing papers, and enhance your research skills
・ Complete Master's thesis A

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習では、まず研究課題及び研究計画に関する報告を行い、各人の研究テーマに即した文献紹介、研究成果の発表を順次行う形式で進める。必要に応じて、基礎的かつ共通的な関連文献の輪講も行う。
※コロナ感染症による BCP レベルが 1 の場合、オンライン (Google Meet) と対面を併用するが、レベルが 2 以上に上がった場合は、オンラインで行う。

○2 年次第１学期 (前半)
・調査・研究課題の設定と研究計画の作成 (開講後１ヶ月中に、ドラフト案を提出のこと)
・文献収集、先行調査・研究の批判的紹介、データ所在の確認･収集、解析方法の検討
・論文構成案の作成と研究中間報告 (開講後２ヶ月をめどに必ず報告のこと)
・修士論文・序章他のドラフト作成
○2 年次第２学期 (後半)
・研究計画の改訂修正、論文構成案の確定
・研究進捗報告、特別演習又は学会報告等による中間報告
・研究成果の最終報告
○関連学会の年次大会等での報告
・学会活動の年間助ｒジュールを確認し、年度当初に、報告機会を設定する
・春期大会
・秋期大会
・その他研究会等

In this exercise, you will first report on your research theme and plan, and then introduce the results of literature survey and your research outputs. If necessary, lectures will be given on the basic ideas of planning theory.
※ If the BCP level due to coronary infections is 1, online (Google Meet) and face-to-face will be used together, but if the level rises to 2 or higher, online will be used.

○ 1st semester
・ Survey / research assignment and research plan making (draft plan must be submitted within one month after the course starts)
・ Literature collection, critical review of previous studies, confirmation and collection of data, and examination of analysis methods
・ Identification of your thesis structure, presentation of your interim report
・ Draft of the introduction chapter in your master thesis
○ 2nd semester

・ Revision of your research plan and finalization your thesis structure
・ Interim report on research progress
・ Final report of research results
○ Reports at related conferences
・ Confirm annual schedule of conferences and select reporting opportunities

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習への貢献（報告及び討論）によるが、特別演習や学会報告等の成果も評価する。
The evaluation will be based on the contribution to the exercises (reports and discussions), but the results of special exercises and conference reports will also be evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

まちの見方･調べ方	西村幸夫･野澤康編	朝倉書店	2010	978-4254266375	参考
住まいと街をつくるための調査のデザイン：インタビュー/アンケート/心理実験の手引き	日本建築学会編	オーム社	2011	978-4274209956	参考
建築･都市計画のための調査･分析方法（改訂版）	日本建築学会編	井上書院	2012	978-4753017546	参考
地域調査ことはじめ：あるく･みる･かく	梶田真･加藤政洋･仁平尊明編	ナカニシヤ出版	2007	978-4779501326	参考
RESAS の教科書 リーサス･ガイドブック	日経ビッグデータ編	日経 BP 社	2016	978-4822236601	参考
地図化すると世の中が見えてくる	伊藤智章	ベレ出版	2016	978-4860644888	参考
The Routledge Handbook of Planning Research Methods	E Silva, P Healey, N Harris and P Broeck (eds)	Routledge	2014	978-0415727952	参考

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Planning Practice & Research: https://www.tandfonline.com/toc/cppr20/current
Planning Theory: http://journals.sagepub.com/home/plt
Progress in Human Geography: http://journals.sagepub.com/home/phg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
・前週に配られるレジメ及び参考資料を読了の上、演習に参加すること。
・発表担当の回には、十分な準備を行い、分かりやすいプレゼンテーション資料を用意すること。

・Graduate students are expected to participate in the exercises after having read the regimen and reference materials distributed the previous week.
・Students are expected

１０．その他/In addition：
・欠席する場合にはあらかじめ連絡し、毎月の報告義務を果たすこと。
・自らの報告担当の回には、前週の演習の際にレジメを人数分印刷し配布すること。
印刷が間に合わない場合は、メールやグループウェアを利用して事前配布すること。
・履修の条件は特にないが、日本語によるコミュニケーションを中心とする。
必要な連絡は、メール（s.masuda@tohoku.ac.jp）により行うこと。

地域計画演習 (Ⅱ) b/Regional Planning (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：増田　聡/SATORU MASUDA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Class code (Google Classroom)：EM2171

広義の都市・地域計画に関する論文作成のための助言・指導を行うとともに、演習参加者に報告と討論の場を提供することを目的とする。「都市や地域を対象に(空間的)計画や政策を策定し、実行・評価すること」との関係性において、各人の研究課題がどのように位置づけられるのかを考えておいて欲しい。

The purpose of this course is to provide advice and guidance for the preparation of your dissertation on urban and regional planning in a broad sense, and to provide participants with opportunities of reporting and discussions. Please consider how your research agenda can be positioned in relation to "developing, implementing and evaluating (spatial) plans and policies for cities and regions."

2．学修の到達目標/Goal of study：
・1年間の研究計画を、1学期当初にまず完成させる
・修士論文の執筆に求められる計画理論等を明確にするとともに、その理解を進める
・先行研究のレビューを通じて、論文テーマに関する研究成果と検討すべき研究課題を明確にする
・論文執筆に必要なデータ処理・解析手法を理解し、研究方法の応用力を高める
・修士論文Ａを完成させる

・ Complete your one-year research plan at the beginning of the semester
・ Clarify the planning theory required for writing your master's thesis and promote your understanding on the theory
・ Clarify the research agenda through the review of previous studies
・ Understand the data processing and analysis methods required for writing papers, and enhance your research skills
・ Complete Master's thesis A

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習では、まず研究課題及び研究計画に関する報告を行い、各人の研究テーマに即した文献紹介、研究成果の発表を順次行う形式で進める。必要に応じて、基礎的かつ共通的な関連文献の輪講も行う。
※コロナ感染症による BCP レベルが 1 の場合、オンライン (Google Meet) と対面を併用するが、レベルが 2 以上に上がった場合は、オンラインで行う。

○2 年次第１学期 (前半)
・調査・研究課題の設定と研究計画の作成 (開講後１ヶ月中に、ドラフト案を提出のこと)
・文献収集、先行調査・研究の批判的紹介、データ所在の確認･収集、解析方法の検討
・論文構成案の作成と研究中間報告 (開講後２ヶ月をめどに必ず報告のこと)
・修士論文・序章他のドラフト作成
○2 年次第２学期 (後半)
・研究計画の改訂修正、論文構成案の確定
・研究進捗報告、特別演習又は学会報告等による中間報告
・研究成果の最終報告
○関連学会の年次大会等での報告
・学会活動の年間助ｒジュールを確認し、年度当初に、報告機会を設定する
・春期大会
・秋期大会
・その他研究会等

In this exercise, you will first report on your research theme and plan, and then introduce the results of literature survey and your research outputs. If necessary, lectures will be given on the basic ideas of planning theory.
※ If the BCP level due to coronary infections is 1, online (Google Meet) and face-to-face will be used together, but if the level rises to 2 or higher, online will be used.

○ 1st semester
・ Survey / research assignment and research plan making (draft plan must be submitted within one month after the course starts)
・ Literature collection, critical review of previous studies, confirmation and collection of data, and examination of analysis methods
・ Identification of your thesis structure, presentation of your interim report
・ Draft of the introduction chapter in your master thesis
○ 2nd semester

・ Revision of your research plan and finalization your thesis structure
・ Interim report on research progress
・ Final report of research results
○ Reports at related conferences
・ Confirm annual schedule of conferences and select reporting opportunities

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習への貢献（報告及び討論）によるが、特別演習や学会報告等の成果も評価する。
The evaluation will be based on the contribution to the exercises (reports and discussions), but the results of special exercises and conference reports will also be evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

まちの見方･調べ方	西村幸夫･野澤康編	朝倉書店	2010	978-4254266375	参考
住まいと街をつくるための調査のデザイン：インタビュー/アンケート/心理実験の手引き	日本建築学会編	オーム社	2011	978-4274209956	参考
建築･都市計画のための調査･分析方法（改訂版）	日本建築学会編	井上書院	2012	978-4753017546	参考
地域調査ことはじめ：あるく･みる･かく	梶田真･加藤政洋･仁平尊明編	ナカニシヤ出版	2007	978-4779501326	参考
RESAS の教科書 リーサス･ガイドブック	日経ビッグデータ編	日経 BP 社	2016	978-4822236601	参考
地図化すると世の中が見えてくる	伊藤智章	ベレ出版	2016	978-4860644888	参考
The Routledge Handbook of Planning Research Methods	E Silva, P Healey, N Harris and P Broeck (eds)	Routledge	2014	978-0415727952	参考

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Planning Practice & Research: https://www.tandfonline.com/toc/cppr20/current
Planning Theory: http://journals.sagepub.com/home/plt
Progress in Human Geography: http://journals.sagepub.com/home/phg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
・前週に配られるレジメ及び参考資料を読了の上、演習に参加すること。
・発表担当の回には、十分な準備を行い、分かりやすいプレゼンテーション資料を用意すること。

・Graduate students are expected to participate in the exercises after having read the regimen and reference materials distributed the previous week.
・Students are expected

１０．その他/In addition：
・欠席する場合にはあらかじめ連絡し、毎月の報告義務を果たすこと。
・自らの報告担当の回には、前週の演習の際にレジメを人数分印刷し配布すること。
印刷が間に合わない場合は、メールやグループウェアを利用して事前配布すること。
・履修の条件は特にないが、日本語によるコミュニケーションを中心とする。
必要な連絡は、メール（s.masuda@tohoku.ac.jp）により行うこと。

サービス経営論演習（Ⅰ） a /Service Management (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：酒井　健/KEN SAKAI
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
この授業では，サービス経営体を含む多様な組織を研究する上で有用な理論的視点を身に着ける．受講生はほぼ毎週，文献の指定箇所を読み込み，発表資料を作成する．授業を通じて積極的に議論することが求められる． 本演習はGoogle Meetを用いたリアルタイム･オンライン形式で行う予定.LMSにはGoogle Classroomを用いる.クラスコードはi4yxtnzである.Google MeetのリンクはGoogle Classroomで確認のこと．対面に変更する際にはclassroom，あるいは講義を通じてアナウンスする.

In this course, students learn some theoretical perspectives useful for studying various organizations which include modern service companies. Almost every week, students have to read the designated parts of the literature and create the material. Besides, students need to discuss proactively through this course. We will hold this course on Google Meet (live streaming) and use Google Classroom as the learning management system. The class code is i4yxtnz. The students can see the link to Google Meet on Google Classroom. When changing to face-to-face, announcements will be made in the Google Classroom or through lectures.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経営の研究をする上で有用な諸理論を理解し，それを通じて研究に役立つアイデアを発見できるようになる.

Understanding important theoretical perspectives for management and organization studies and thus finding some seeds of ideas that can be useful for their research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
毎回の授業で，受講生は各自作成した資料に基づき，指定文献（論文）に関する討議を行う．文献は下記を予定するが変更がありうる．詳しくは初回講義で説明する.

In every class, students discuss the contents of the designated literature, based on the material that they created.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/英語
Japanese/ English

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の報告・討論の量と質で評価する．無断欠席は減点の対象となる.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
報告準備をしっかりと行う.

１０．その他/In addition：

サービス経営論演習（Ⅰ） b/Service Management (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：酒井　健/KEN SAKAI
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
この授業では，サービス経営体を含む多様な組織を研究する上で有用な理論的視点を身に着ける．受講生はほぼ毎週，文献の指定箇所を読み込み，発表資料を作成する．授業を通じて積極的に議論することが求められる． 本演習はGoogle Meetを用いたリアルタイム・オンライン形式で行う．LMSにはGoogle Classroomを用いる．クラスコードはi4yxtnzである．Google MeetのリンクはGoogle Classroomで確認のこと．対面式に変更する場合はGoogle Classroomや講義で告知する．

In this course, students learn some theoretical perspectives useful for studying various organizations which include modern service companies. Almost every week, students have to read the designated parts of the literature and create the material. Besides, students need to discuss proactively through this course. We will hold this course on Google Meet (live streaming) and use Google Classroom as the learning management system. The class code is i4yxtnz. The students can see the link to Google Meet on Google Classroom. When changing to face-to-face, announcements will be made in the google classroom or through lectures.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経営の研究をする上で有用な諸理論を理解し，それを通じて研究に役立つアイデアを発見できるようになる．

Understanding important theoretical perspectives for management and organization studies and thus finding some seeds of ideas that can be useful for their research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
毎回の授業で，受講生は各自作成した資料に基づき，指定文献（論文）に関する討議を行う．文献は下記を予定するが変更がありうる．詳しくは初回講義で説明する．

In every class, students discuss the contents of the designated literature, based on the material that they created.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/英語
Japanese/ English

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の報告・討論の量と質で評価する．無断欠席は減点の対象となる．

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
報告準備をしっかりと行う．

１０．その他/In addition：

サービス経営論演習（Ⅱ） a /Service Management (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：酒井　健/KEN SAKAI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
このコースに関連するテーマで修士論文を書き上げるために，ほぼ毎週発表と討議を行う．リアルタイムオンライン講義でスタートする予定だが，状況に応じて対面指導を行う．GoogleClassroomのクラスコードはi4yxtnzを用いる．Meetへのリンクはgoogle classroom上で確認可能．状況に応じて対面指導を行うので注意すること．

Students present and discuss almost every week to complete a master's thesis on subjects related to this course. So far, we will hold this course on Google Meet (live streaming) and use Google Classroom as the learning management system. The class code is i4yxtnz. The students can see the link to Google Meet on Google Classroom. PLEASE NOTICE: We might have this course face-to-face depending upon the situation.

２．学修の到達目標/Goal of study：
修士論文の完成.

Completing a master's thesis

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者は順番で修士論文の内容と進捗を報告する．参加者全員でその研究を発展させるための議論を行う.

Students report the progress of their master's thesis almost weekly. All participants in this class must discuss proactively and constructively to develop the colleagues' research.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
修士論文によって評価する.

Evaluation is performed based on a master's thesis

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
研究は授業時間外に行う．内容は学生の状況に応じて指示する.

１０．その他/In addition：
時間管理をしっかりと行うこと.

サービス経営論演習（Ⅱ） b/Service Management (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：酒井　健/KEN SAKAI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
このコースに関連するテーマで修士論文を書き上げるために，ほぼ毎週発表と討議を行う．リアルタイムオンライン講義でスタートする予定だが，状況に応じて対面指導を行う．GoogleClassroomのクラスコードはi4yxtnzを用いる．Meetへのリンクはgoogle classroom上で確認可能．状況に応じて対面指導を行うので注意すること．

Students present and discuss almost every week to complete a master's thesis on subjects related to this course. So far, we will hold this course on Google Meet (live streaming) and use Google Classroom as the learning management system. The class code is i4yxtnz. The students can see the link to Google Meet on Google Classroom. PLEASE NOTICE: We might have this course face-to-face depending upon the situation.

2．学修の到達目標/Goal of study：
修士論文の完成.

Completing a master's thesis

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者は順番で修士論文の内容と進捗を報告する．参加者全員でその研究を発展させるための議論を行う.

Students report the progress of their master's thesis almost weekly. All participants in this class must discuss proactively and constructively to develop the colleagues' research.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語

6．成績評価方法/Evaluation method：
修士論文によって評価する.

Evaluation is performed based on a master's thesis

7．教科書および参考書/Textbook and references：

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：
研究は授業時間外に行う．内容は学生の状況に応じて指示する.

10．その他/In addition：
時間管理をしっかりと行うこと.

アジア経済論演習（Ⅰ） a /Asian Economics (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 ５講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom: krlcpea

目的：アジア経済について学ぶ。分析手法についての学習も含む。
概要：既存研究の輪読と討論、参加者の研究報告と討論を行う。

Object: to learn Asian economies and some analytical methods.
Summary: to read papers and books; to make research presentations.

２．学修の到達目標/Goal of study：
到達目標：知識・手法をマスターし、各人の研究を改善する。

Goal: to acquire knowlege and analytical skills and to improve the quality of research

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
１．授業内容：出席者はあらかじめ割り当てられた論文や本の内容、あるいは個人の研究について報告を行い、全員で議論する。とりあげる論文や本はオリエンテーション時に決める。

A member of the seminar reports on the pre-assigned papers or a chapter of books, or his or her own research, and discusses with other perticipants. Papers and books reviewed in the seminar will be decided in the first session.

２．進度予定
第１回：オリエンテーション/ An orientation will be held for in the first session.
第２回～第１５回：報告会ないし学習会/The 2nd to 15th session: a speaker will make a presentation in each session.

３．コロナ流行状況が酷くなった場合は、オンライン形式で実施する可能性がある。The seminar will be held on line depending on the situation of COVID19.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/ Japanese only

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告での達成度による。/ Evaluated based on students' research presentations.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Handbook on Global Value Chains	S. Ponte et al.	Edward Elgar	2020	978-1-78811-376-2	参考書
Input-Output Analysis	R.Millar and P.Blair	Cambridge	2009	978-0-521-73902-3	参考書
アジア開発史	アジア開発銀行	勁草書房	2020	978-4-326-50484-8	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各人の報告をよく準備し、討論によって研究を改善する。Prepare your own research and improve it based on feed-backs from listeners.

１０．その他/In addition：

アジア経済論演習（Ⅰ） b /Asian Economics (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 ５講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom: krlcpea

目的：アジア経済について学ぶ。分析手法についての学習も含む。
概要：既存研究の輪読と討論、参加者の研究報告と討論を行う。

Object: to learn Asian economies and some analytical methods.
Summary: to read papers and books; to make research presentations.

２．学修の到達目標/Goal of study：
到達目標：知識・手法をマスターし、各人の研究を改善する。

Goal: to acquire knowlege and analytical skills and to improve the quality of research

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
１．授業内容：出席者はあらかじめ割り当てられた論文や本の内容、あるいは個人の研究について報告を行い、全員で議論する。とりあげる論文や本はオリエンテーション時に決める。

A member of the seminar reports on the pre-assigned papers or a chapter of books, or his or her own research, and discusses with other perticipants. Papers and books reviewed in the seminar will be decided in the first session.

２．進度予定
第１回：オリエンテーション/ An orientation will be held for in the first session.
第２回～第１５回：報告会ないし学習会/The 2nd to 15th session: a speaker will make a presentation in each session.

３．コロナ流行状況が酷くなった場合は、オンライン形式で実施する可能性がある。The seminar will be held on line depending on the situation of COVID19.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/ Japanese only

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告での達成度による。/ Evaluated based on students' research presentations.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Handbook on Global Value Chains	S. Ponte et al.	Edward Elgar	2020	978-1-78811-376-2	参考書
Input-Output Analysis	R.Millar and P.Blair	Cambridge	2009	978-0-521-73902-3	参考書
アジア開発史	アジア開発銀行	勁草書房	2020	978-4-326-50484-8	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各人の報告をよく準備し、討論によって研究を改善する。Prepare your own research and improve it based on feed-backs from listeners.

１０．その他/In addition：

アジア経済論演習（Ⅱ） a /Asian Economics (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom: krlcpea

目的：アジア経済について学ぶ。分析手法についての学習も含む。
概要：既存研究の輪読と討論、参加者の研究報告と討論を行う。

Object: to learn Asian economies and some analytical methods.
Summary: to read papers and books; to make research presentations.

２．学修の到達目標/Goal of study：
到達目標：知識・手法をマスターし、各人の修論研究を改善する。

Goal: to acquire knowlege and analytical skills and to improve the quality of your master thesis research

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
１．授業内容：出席者はあらかじめ割り当てられた論文や本の内容、あるいは個人の研究について報告を行い、全員で議論する。とりあげる論文や本はオリエンテーション時に決める。

A member of the seminar reports on the pre-assigned papers or a chapter of books, or his or her own research, and discusses with other perticipants. Papers and books reviewed in the seminar will be decided in the first session.

２．進度予定
第１回：オリエンテーション/ An orientation will be held for in the first session.
第２回～第１５回：報告会ないし学習会/The 2nd to 15th session: a speaker will make a presentation in each session.

３．コロナ流行状況が酷くなった場合は、オンライン形式で実施する可能性がある。The seminar will be held on line depending on the situation of COVID19.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/ Japanese only

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告での達成度による。/ Evaluated based on students' research presentations.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Handbook on Global Value Chains	S. Ponte et al.	Edward Elgar	2020	978-1-78811-376-2	参考書
Input-Output Analysis	R.Millar and P.Blair	Cambridge	2009	978-0-521-73902-3	参考書
アジア開発史	アジア開発銀行	勁草書房	2020	978-4-326-50484-8	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各人の報告をよく準備し、討論によって研究を改善する。Prepare your own research and improve it based on feed-backs from listeners.

１０．その他/In addition：

アジア経済論演習 (Ⅱ) b/Asian Economics (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom: krlcpea

目的：アジア経済について学ぶ。分析手法についての学習も含む。
概要：既存研究の輪読と討論、参加者の研究報告と討論を行う。

Object: to learn Asian economies and some analytical methods.
Summary: to read papers and books; to make research presentations.

2．学修の到達目標/Goal of study：
到達目標：知識・手法をマスターし、各人の修論研究を改善する。

Goal: to acquire knowlege and analytical skills and to improve the quality of your master thesis research

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
1．授業内容：出席者はあらかじめ割り当てられた論文や本の内容、あるいは個人の研究について報告を行い、全員で議論する。とりあげる論文や本はオリエンテーション時に決める。

A member of the seminar reports on the pre-assigned papers or a chapter of books, or his or her own research, and discusses with other perticipants. Papers and books reviewed in the seminar will be decided in the first session.

2．進度予定
第1回：オリエンテーション/ An orientation will be held for in the first session.
第2回～第15回：報告会ないし学習会/The 2nd to 15th session: a speaker will make a presentation in each session.

3．コロナ流行状況が酷くなった場合は、オンライン形式で実施する可能性がある。The seminar will be held on line depending on the situation of COVID19.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語/ Japanese only

6．成績評価方法/Evaluation method：
報告での達成度による。/ Evaluated based on students' research presentations.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

Handbook on Global Value Chains	S. Ponte et al.	Edward Elgar	2020	978-1-78811-376-2	参考書
Input-Output Analysis	R.Millar and P.Blair	Cambridge	2009	978-0-521-73902-3	参考書
アジア開発史	アジア開発銀行	勁草書房	2020	978-4-326-50484-8	参考書

8．関連URL/URL：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：
各人の報告をよく準備し、討論によって研究を改善する。Prepare your own research and improve it based on feed-backs from listeners.

10．その他/In addition：

産業発展論演習（Ⅰ） a /Industrial Development (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業経済研究について，大学院生による報告と討論を行う。

Report and discussion on the research of industrial development.

２．学修の到達目標/Goal of study：
産業経済に関する専門論文を作成する上で，理論的・実証的に様々な解決すべき問題が生じる。これについて，ゼミナール形式で発見し，掘り下げ，解決の手がかりをつかむことが目標である。

Capacity building of students on the research of industrial development through seminar style

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
＊Google クラスルームは使用しない。受講手順は「その他」の欄を参照。
＊入学直後の学期にこの演習を履修する者
１巡目：参加者が論文作成に向けた自分の研究計画を発表し，議論する。どれだけ具体的な研究方法，研究ステップ，スケジュールを立てられるかがポイントである。
２巡目：参加者が先行研究，基本資料などについての分析・考察を発表し，議論する。
＊それ以外の者
参加者が自己の論文に向けて中間報告的な研究報告を行い，議論する。

教科書・参考書は事前には指定できない。報告者が文献サーベイを行う際に，他の受講者もその文献を購入する必要があるかもしれない。１ヶ月に 1-2 冊程度の文献購入が必要になるかもしれないので，注意すること。

Student should report on the following issues.
+Research plan
+Progress report
+Final report

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語。

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の討論への参加，報告によって評価する。無断欠席は減点対象となる。ただしやむを得ない事情があるものは個別に考慮する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

社会科学の考え方	野村康	名古屋大学出版会	2017	9784815808761	参考書
新装版 ケース・スタディの方法(第２版)	ロバート・K. イン	千倉書房	2011	9784805109779	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自分が発表する回のレジュメは３日前，フルペーパーは５日前まで参加者に送らなければならない。自分以外の受講者が発表するときは，それらを読んでこなければならない。その他，マニュアルを配布するので記載しているルールに従うこと。
ある１回のゼミの内容が，その後の研究生活すべてに役立つこともある。１回１回を大切に。

１０．その他/In addition：
院生によるレジュメ，スライド，報告は日本語か英語。討論と教員の解説は日本語で行う。
産業発展論演習 Ia と Ib は独立に履修できる。
参加者は，(1)産業経済に関連する研究テーマを持っていること，(2)担当者を指導教員，あるいは研究過程でのディスカッ

ション相手として希望すること，の二つの条件を満たすことが必要である。
　出席希望者は必ず１回目に出席するか，同日までにメール等で連絡すること。アドレスは以下の通り。
nozomu.kawabata.b1*tohoku.ac.jp　(*を@に変えてください)
　オフィスアワーは水曜日５講時とする。
　「教科書および参考書」欄に記した書籍は参考書である。研究の認識論と方法論を身に着けるために，自ら読破することを強く推奨する。
　新型コロナウイルスの流行状況に対応して，オンラインリアルタイム方式とせざるを得ない場合がある。

産業発展論演習（Ⅰ） b/Industrial Development (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業経済研究について，大学院生による報告と討論を行う。

Report and discussion on the research of industrial development.

２．学修の到達目標/Goal of study：
産業経済に関する専門論文を作成する上で，理論的・実証的に様々な解決すべき問題が生じる。これについて，ゼミナール形式で発見し，掘り下げ，解決の手がかりをつかむことが目標である。

Capacity building of students on the research of industrial development through seminar style

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
＊Google クラスルームは使用しない。受講手順は「その他」の欄を参照。
＊入学直後の学期にこの演習を履修する者
１巡目：参加者が論文作成に向けた自分の研究計画を発表し，議論する。どれだけ具体的な研究方法，研究ステップ，スケジュールを立てられるかがポイントである。
２巡目：参加者が先行研究，基本資料などについての分析・考察を発表し，議論する。
＊それ以外の者
参加者が自己の論文に向けて中間報告的な研究報告を行い，議論する。

教科書・参考書は事前には指定できない。報告者が文献サーベイを行う際に，他の受講者もその文献を購入する必要があるかもしれない。１ヶ月に 1-2 冊程度の文献購入が必要になるかもしれないので，注意すること。

Student should report on the following issues.
+Research plan
+Progress report
+Final report

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語。

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の討論への参加，報告によって評価する。無断欠席は減点対象となる。ただしやむを得ない事情があるものは個別に考慮する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

社会科学の考え方	野村康	名古屋大学出版会	2017	9784815808761	参考書
新装版 ケース・スタディの方法(第２版)	ロバート・K. イン	千倉書房	2011	9784805109779	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自分が発表する回のレジュメは３日前，フルペーパーは５日前まで参加者に送らなければならない。自分以外の受講者が発表するときは，それらを読んでこなければならない。その他，マニュアルを配布するので記載しているルールに従うこと。
ある１回のゼミの内容が，その後の研究生活すべてに役立つこともある。１回１回を大切に。

１０．その他/In addition：
院生によるレジュメ，スライド，報告は日本語か英語のどちらか。討論と教員の解説は日本語。
産業発展論演習 Ia と Ib は独立に履修できる。
参加者は，(1)産業経済に関連する研究テーマを持っていること，(2)担当者を指導教員，あるいは研究過程でのディスカッ

ション相手として希望すること，の二つの条件を満たすことが必要である。
　出席希望者は必ず１回目に出席するか，あるいは同日までにメール等で連絡すること。いずれもおこなわない者は，履修を認めない。アドレスは以下の通り。
nozomu.kawabata.b1*tohoku.ac.jp（*を@に変えてください）
　オフィスアワーは水曜日５講時とする。
　「教科書および参考書」欄に記した書籍は参考書である。研究の認識論と方法論を身に着けるために，自ら読破することを強く推奨する。
　新型コロナウイルスの流行状況に応じて，オンラインリアルタイム方式とせざるを得ない場合がある。

産業発展論演習（Ⅱ） a /Industrial Development (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業経済に関わる研究能力の育成

Capacity building of students on the research of industrial development through seminar style.

２．学修の到達目標/Goal of study：
修士論文を完成させるために，以下の力を養う。
・論文作成のルールを守り，活用する能力
・論文の構成能力
・論理的な証明能力
・実証的な説明能力

Cultivation of the following abilities suitable for earning a master's degree
+Ability to follow and utilize the rules of thesis writing
+Ability to compose a thesis
+Ability to provide logical proofs
+Ability to provide empirical explanations

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
修士（経済学）にふさわしい産業経済の分析能力を身につけるために，研究報告と討論を行う。高度に専門的な文献・資料の読解，個別分野での論点解明などに踏み込んだ討論を，受講者の研究テーマに即して行う。

Student should report on the following issues.
+Research plan
+Progress report
+Final report

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語。

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の報告・討論による。無断欠席は減点の対象となる。ただしやむを得ない事情があるものは個別に考慮する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自分が発表する回のレジュメは３日前，フルペーパーは５日前まで参加者に送らなければならない。自分以外の受講者が発表するときは，それらを読んでこなければならない。
ある１回のゼミの内容が，その後の研究生活すべてに役立つこともある。１回１回を大切に。
徹底した準備なしに報告と討論はできない。報告と討論の内容を修士論文に活かすこと。

１０．その他/In addition：
院生によるレジュメと報告は日本語か英語。討論と教員の解説は日本語。
担当教員を指導教員としている院生が履修者となる。
新型コロナウイルスの流行状況により，オンラインリアルタイム方式とせざるを得ない場合がある。

産業発展論演習（Ⅱ） b/Industrial Development (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業経済に関わる研究能力の育成

Capacity building of students on the research of industrial development through seminar style.

２．学修の到達目標/Goal of study：
修士論文を完成させるために，以下の力を養う。
・論文作成のルールを守り，活用する能力
・論文の構成能力
・論理的な証明能力
・実証的な説明能力

Cultivation of the following abilities suitable for earning a master's degree
+Ability to follow and utilize the rules of thesis writing
+Ability to compose a thesis
+Ability to provide logical proofs
+Ability to provide empirical explanations

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
修士（経済学）にふさわしい産業経済の分析能力を身につけるために，研究報告と討論を行う。高度に専門的な文献・資料の読解，個別分野での論点解明などに踏み込んだ討論を，受講者の研究テーマに即して行う。

Student should report on the following issues.
+Research plan
+Progress report
+Final report

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語。

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の報告・討論による。無断欠席は減点の対象となる。ただしやむを得ない事情があるものは個別に考慮する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自分が発表する回のレジュメは３日前，フルペーパーは５日前まで参加者に送らなければならない。自分以外の受講者が発表するときは，それらを読んでこなければならない。
ある１回のゼミの内容が，その後の研究生活すべてに役立つこともある。１回１回を大切に。
徹底した準備なしに報告と討論はできない。報告と討論の内容を修士論文に活かすこと。

１０．その他/In addition：
院生によるレジュメと報告は日本語か英語。討論と教員の解説は日本語。
担当教員を指導教員としている院生が履修者となる。
新型コロナウイルスの流行状況により，オンラインリアルタイム方式とせざるを得ない場合がある。

国際経済演習 (Ⅰ) a /International Economics (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：永易　淳/JUN NAGAYASU
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The objectives of this class are 1) to become familiar with previous research in the area of international economics, 2) to learn relevant statistical theories and improve computer programming skills, 3) to acquire hands-on experience writing lengthy reports, and 4) to gain presentation skills.

２．学修の到達目標/Goal of study：
By the end of this class, students should progress on their research topic.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The teaching method depends on the pandemic situation. In any case, please join the live-online class on the first day; I shall inform you of class details during the introduction.

Classroom code: di4uzso
Please use the university email address to join Google Classroom.

Students are expected to show progress in their research regularly and submit a term paper (about 20 pages). At the same time, they learn statistical methods and a programming language to apply statistical theories to economic and financial data.

1. Introduction
2. Writing a thesis
3. Research proposal by students
4. Statistical data
5. Graphs
6. Literature survey I
7. Literature survey II
8. Research proposal by students I
9. Research proposal by students II
10. Research proposal by students III
11. Summary

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Term paper(100%).
No credit will be given if there is evidence of plagiarism.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://sites.google.com/site/nagayasuj/home

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Homework will be given every week.

１０．その他/In addition：
Prerequisites: Economic theory, Statistics, Math, English proficiency.
Other information: see the abovementioned homepage.

Students are encouraged to contact the lecturer before registering for this class.

国際経済演習 (Ⅰ) b/International Economics (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：永易　淳/JUN NAGAYASU
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The objectives of this class are 1) to become familiar with previous research in the area of international economics, 2) to learn relevant statistical theories and improve computer programming skills, 3) to acquire hands-on experience writing lengthy reports, and 4) to gain presentation skills.

２．学修の到達目標/Goal of study：
By the end of this class, students should progress on their research topic.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The teaching method depends on the pandemic situation. In any case, please join the live-online class on the first day; I shall inform you of class details during the introduction.

Classroom code: di4uzso
Please use the university email address to join Google Classroom.

Students are expected to show progress in their research regularly and submit a term paper (about 20 pages). At the same time, they learn statistical methods and a programming language to apply statistical theories to economic and financial data.

1. Introduction
2. Writing a thesis
3. Research proposal by students
4. Statistical data
5. Graphs
6. Literature survey I
7. Literature survey II
8. Research proposal by students I
9. Research proposal by students II
10. Research proposal by students III
11. Summary

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Term paper(100%).
No credit will be given if there is evidence of plagiarism.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://sites.google.com/site/nagayasuj/home

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Homework will be given every week.

１０．その他/In addition：
Prerequisites: Economic theory, Statistics, Math, English proficiency.
Other information: see the abovementioned homepage.

Students are encouraged to contact the lecturer before registering for this class.

国際経済演習 (Ⅱ) a /International Economics (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：永易　淳/JUN NAGAYASU
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The objectives of this class are 1) to become familiar with previous research in the area of international economics, 2) to learn relevant statistical theories and improve computer programming skills, 3) to acquire hands-on experience writing lengthy reports, and 4) to gain presentation skills.

2．学修の到達目標/Goal of study：
By the end of this class, students should progress on their research topic.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The teaching method depends on the pandemic situation. In any case, please join the live-online class on the first day; I shall inform you of class details during the introduction.

Google Meet: https://meet.google.com/oaf-fycr-iwz
Classroom code: di4uzso
Please use the university email address to join Google Classroom.

Students are expected to show progress in their research on a regular basis and to submit a term paper (about 20 pages). At the same time, they learn statistical methods and a programming language to apply statistical theories to economic and financial data.

1. Introduction
2. Writing a thesis
3. Research proposal by students
4. Statistical data
5. Graphs
6. Literature survey I
7. Literature survey II
8. Research proposal by students I
9. Research proposal by students II
10. Research proposal by students III
11. Summary

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
English

6．成績評価方法/Evaluation method：
Term paper(100%).
No credit will be given if there is evidence of plagiarism.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://sites.google.com/site/nagayasuj/home

9．授業時間外学修/Preparation and Review：
Homework will be given every week.

１０．その他/In addition：
Prerequisites: Economic theory, Statistics, Math, English proficiency.

Other information: see the abovementioned homepage.
Students are encouraged to contact the lecturer before registering for this class.

国際経済演習 (Ⅱ) b/International Economics (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：永易　淳/JUN NAGAYASU
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The objectives of this class are 1) to become familiar with previous research in the area of international economics, 2) to learn relevant statistical theories and improve computer programming skills, 3) to acquire hands-on experience writing lengthy reports, and 4) to gain presentation skills.

2．学修の到達目標/Goal of study：
By the end of this class, students should progress on their research topic.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The teaching method depends on the pandemic situation. In any case, please join the live-online class on the first day; I shall inform you of class details during the introduction.

Google Meet: https://meet.google.com/oaf-fycr-iwz
Classroom code: di4uzso
Please use the university email address to join Google Classroom.

Students are expected to show progress in their research on a regular basis and to submit a term paper (about 20 pages). At the same time, they learn statistical methods and a programming language to apply statistical theories to economic and financial data.

1. Introduction
2. Writing a thesis
3. Research proposal by students
4. Statistical data
5. Graphs
6. Literature survey I
7. Literature survey II
8. Research proposal by students I
9. Research proposal by students II
10. Research proposal by students III
11. Summary

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
English

6．成績評価方法/Evaluation method：
Term paper(100%).
No credit will be given if there is evidence of plagiarism.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://sites.google.com/site/nagayasuj/home

9．授業時間外学修/Preparation and Review：
Homework will be given every week.

１０．その他/In addition：
Prerequisites: Economic theory, Statistics, Math, English proficiency.

Other information: see the abovementioned homepage.
Students are encouraged to contact the lecturer before registering for this class.

グローバル経営史演習（Ⅰ） a /Global Business History (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：菅原　歩/AYUMU SUGAWARA
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ５講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
修士論文作成のための研究報告
Writing reports on your research topic for master thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
先行研究のサーベイと修士論文における研究課題の発見を目標とする
Reviewing literature on and finding own topic of your research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
この授業は、対面、オンライン、のいずれであってもグーグル・クラスルームを使用します。
クラスコードは、　5r2nb5k　　です。

基本的に、BCP レベル１は対面、ＢＣＰ２も少人数であれば対面、BCP３以上であれば、オンライン（リアルタイム）のみで実施します。

（全体として、その時のＢＣＰのガイドライン自体の変更や、教室の収容状況などによって上記からさらに変更があり得ます。そういった際は、教務掲示板と上記のグーグル・クラスルームですみやかに通知します。）

グーグル・クラスルームへの登録と学務情報システムへの「履修登録」は連動していませんので、必ずそれぞれを行うこと。

内容：参加者による研究報告と討論
Presenting reports and discussing about them.
方法：報告者が自分の研究分野の先行研究についてのレビュー報告を行う
Your reports review the literature on your research field.

１）ガイダンス
２）研究報告と討論
３）研究報告と討論
４）研究報告と討論
５）研究報告と討論
６）研究報告と討論
７）研究報告と討論
８）研究報告と討論
９）研究報告と討論
１０）研究報告と討論
１１）研究報告と討論
１２）研究報告と討論
１３）研究報告と討論
１４）研究報告と討論
１５）研究報告と討論

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
評価方法：報告内容と討論への貢献度

グーグル・クラスルームへの登録と学務情報システムへの「履修登録」は連動していませんので、必ずそれぞれを行うこと。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習：研究報告の作成に努めること。
復習：演習中に研究テーマに関して与えられた課題に応じること。

１０．その他/In addition：
履修の条件（１）：第１回の演習までにこのシラバスを読んでいること。
履修の条件（２）：研究テーマが、担当者の専門である歴史的研究と妥当な関連性を持っていること。
その他：担当教員の許可を得れば演習 Ia と演習 Ib は独立に履修できる。
教科書と参考書について：受講者の研究内容に応じて演習中に指示する。

この授業は、対面、オンライン、のいずれであってもグーグル・クラスルームを使用します。
クラスコードは、　5r2nb5k　　です。

基本的に、BCP レベル１は対面、ＢＣＰ２も少人数であれば対面、BCP３以上であれば、オンライン（リアルタイム）のみで実施します。

（全体として、その時のＢＣＰのガイドライン自体の変更や、教室の収容状況などによって上記からさらに変更があり得ます。そういった際は、教務掲示板と上記のグーグル・クラスルームですみやかに通知します。）

グーグル・クラスルームへの登録と学務情報システムへの「履修登録」は連動していませんので、必ずそれぞれを行うこと。

グローバル経営史演習（Ⅰ） b/Global Business History (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：菅原　歩/AYUMU SUGAWARA
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ５講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
修士論文作成のための研究報告
Writing reports on your research topic for master thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
先行研究のサーベイと修士論文における研究課題の発見を目標とする
Reviewing literature on and finding own topic of your research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
この授業は、対面、オンライン、のいずれであってもグーグル・クラスルームを使用します。
クラスコードは、　37dmfec　です。

基本的に、BCP レベル１は対面、ＢＣＰ２も少人数であれば対面、BCP３以上であれば、オンライン（リアルタイム）のみで実施します。

（全体として、その時のＢＣＰのガイドライン自体の変更や、教室の収容状況などによって上記からさらに変更があり得ます。そういった際は、教務掲示板と上記のグーグル・クラスルームですみやかに通知します。）

グーグル・クラスルームへの登録と学務情報システムへの「履修登録」は連動していませんので、必ずそれぞれを行うこと。

内容：参加者による研究報告と討論
Presenting reports and discussing about them.
方法：報告者が自分の研究分野の先行研究についてのレビュー報告を行う
Your reports review the literature on your research field.

１）ガイダンス
２）研究報告と討論
３）研究報告と討論
４）研究報告と討論
５）研究報告と討論
６）研究報告と討論
７）研究報告と討論
８）研究報告と討論
９）研究報告と討論
１０）研究報告と討論
１１）研究報告と討論
１２）研究報告と討論
１３）研究報告と討論
１４）研究報告と討論
１５）研究報告と討論

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
評価方法：報告内容と討論への貢献度

グーグル・クラスルームへの登録と学務情報システムへの「履修登録」は連動していませんので、必ずそれぞれを行うこと。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習：研究報告の作成に努めること。
復習：演習中に研究テーマに関して与えられた課題に応じること。

１０．その他/In addition：
履修の条件（１）：第１回の演習までにこのシラバスを読んでいること。
履修の条件（２）：研究テーマが、担当者の専門である歴史的研究と妥当な関連性を持っていること。
その他：担当教員の許可を得れば演習 Ia と演習 Ib は独立に履修できる。
教科書と参考書について：受講者の研究内容に応じて演習中に指示する。

この授業は、対面、オンライン、のいずれであってもグーグル・クラスルームを使用します。
クラスコードは、　37dmfec　です。

基本的に、BCP レベル１は対面、ＢＣＰ２も少人数であれば対面、BCP３以上であれば、オンライン（リアルタイム）のみで実施します。

（全体として、その時のＢＣＰのガイドライン自体の変更や、教室の収容状況などによって上記からさらに変更があり得ます。そういった際は、教務掲示板と上記のグーグル・クラスルームですみやかに通知します。）

グーグル・クラスルームへの登録と学務情報システムへの「履修登録」は連動していませんので、必ずそれぞれを行うこと。

グローバル経営史演習（Ⅱ） a /Global Business History (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：菅原　歩/AYUMU SUGAWARA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
修士論文作成のための研究報告
Writing reports on your research topic for master thesis.

2．学修の到達目標/Goal of study：
受講者の修士論文の内容の向上
Finishing writing your master thesis with better quality.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
この授業は、対面、オンライン、のいずれであってもグーグル・クラスルームを使用します。
クラスコードは、　o7tgl4v　です。

基本的に、BCP レベル１は対面、ＢＣＰ２も少人数であれば対面、BCP３以上であれば、オンライン（リアルタイム）のみで実施します。

（全体として、その時のＢＣＰのガイドライン自体の変更や、教室の収容状況などによって上記からさらに変更があり得ます。そういった際は、教務掲示板と上記のグーグル・クラスルームですみやかに通知します。）

グーグル・クラスルームへの登録と学務情報システムへの「履修登録」は連動していませんので、必ずそれぞれを行うこと。

内容：参加者による研究報告と討論
Presenting reports and discussing about them.
方法：報告者は修士論文作成の進展度合いを示す報告を行う
Your reports show progress of your own research.

１）研究報告と討論
２）研究報告と討論
３）研究報告と討論
４）研究報告と討論
５）研究報告と討論
６）研究報告と討論
７）研究報告と討論
８）研究報告と討論
９）研究報告と討論
１０）研究報告と討論
１１）研究報告と討論
１２）研究報告と討論
１３）研究報告と討論
１４）研究報告と討論
１５）研究報告と討論

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語

6．成績評価方法/Evaluation method：
評価方法：報告内容と討論への貢献度

グーグル・クラスルームへの登録と学務情報システムへの「履修登録」は連動していませんので、必ずそれぞれを行うこと。

7．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習：研究報告の作成に努めること。
復習：演習中に研究テーマに関して与えられた課題に応じること。

１０．その他/In addition：
履修の条件（１）：第１回の演習までにこのシラバスを読んでいること。
履修の条件（２）：研究テーマが、担当者の専門である歴史的研究と妥当な関連性を持っていること。

この授業は、対面、オンライン、のいずれであってもグーグル・クラスルームを使用します。
クラスコードは、　o7tgl4v　です。

基本的に、BCP レベル１は対面、ＢＣＰ２も少人数であれば対面、BCP３以上であれば、オンライン（リアルタイム）のみで実施します。

（全体として、その時のＢＣＰのガイドライン自体の変更や、教室の収容状況などによって上記からさらに変更があり得ます。そういった際は、教務掲示板と上記のグーグル・クラスルームですみやかに通知します。）

グーグル・クラスルームへの登録と学務情報システムへの「履修登録」は連動していませんので、必ずそれぞれを行うこと。

グローバル経営史演習（Ⅱ） b /Global Business History (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：菅原　歩/AYUMU SUGAWARA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
修士論文作成のための研究報告
Writing reports on your research topic for master thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
受講者の修士論文の内容の向上
Finishing writing your master thesis with better quality.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
この授業は、対面、オンライン、のいずれであってもグーグル・クラスルームを使用します。
クラスコードは、　3u2z3ee　です。

基本的に、BCP レベル１は対面、ＢＣＰ２も少人数であれば対面、BCP３以上であれば、オンライン（リアルタイム）のみで実施します。

（全体として、その時のＢＣＰのガイドライン自体の変更や、教室の収容状況などによって上記からさらに変更があり得ます。そういった際は、教務掲示板と上記のグーグル・クラスルームですみやかに通知します。）

グーグル・クラスルームへの登録と学務情報システムへの「履修登録」は連動していませんので、必ずそれぞれを行うこと。

内容：参加者による研究報告と討論
Presenting reports and discussing about them.
方法：報告者は修士論文作成の進展度合いを示す報告を行う
Your reports show progress of your own research.

１）研究報告と討論
２）研究報告と討論
３）研究報告と討論
４）研究報告と討論
５）研究報告と討論
６）研究報告と討論
７）研究報告と討論
８）研究報告と討論
９）研究報告と討論
１０）研究報告と討論
１１）研究報告と討論
１２）研究報告と討論
１３）研究報告と討論
１４）研究報告と討論
１５）研究報告と討論

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告内容と討論への貢献度

グーグル・クラスルームへの登録と学務情報システムへの「履修登録」は連動していませんので、必ずそれぞれを行うこと。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習：研究報告の作成に努めること。
復習：演習中に研究テーマに関して与えられた課題に応じること。

１０．その他/In addition：
履修の条件（１）：第１回の演習までにこのシラバスを読んでいること。
履修の条件（２）：研究テーマが、担当者の専門である歴史的研究と妥当な関連性を持っていること。

この授業は、対面、オンライン、のいずれであってもグーグル・クラスルームを使用します。
クラスコードは、　3u2z3ee　です。

基本的に、BCP レベル１は対面、ＢＣＰ２も少人数であれば対面、BCP３以上であれば、オンライン（リアルタイム）のみで実施します。

（全体として、その時のＢＣＰのガイドライン自体の変更や、教室の収容状況などによって上記からさらに変更があり得ます。そういった際は、教務掲示板と上記のグーグル・クラスルームですみやかに通知します。）

グーグル・クラスルームへの登録と学務情報システムへの「履修登録」は連動していませんので、必ずそれぞれを行うこと。

国際経営演習（Ⅰ） a /International Business (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：金　熙珍/HEEJIN KIM
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
・本演習では、質的研究方法及び国際経営分野における国内・海外の論文を輪読・議論していきます。
・多様な機能軸と産業に渡る研究を深く理解することで、自分の研究興味の模索、テーマや問題意識設定、研究の進め方や論理展開などの感覚を身に着けることを目標とします。

In this course, we learn how to develop academic research and write a high-quality academic paper. Through reading highly-evaluated papers in the field of international business, developing the sense of 'what a good academic research is' is the primary purpose of this course.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・自分の研究をデザイン、実行する力を養うことが最終目標です。

By the end of this course, you should be able to design and conduct your own research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
For any questions, please contact kim@tohoku.ac.jp.

・一回当たり１～2本の論文を輪読していきます（一人当たり２～3回程度の報告)。
・報告担当者は2枚の内容要約と1枚の感想、疑問点（ディスカッション・ポイント）をまとめたうえで、全員分のコピーを用意し、授業に参加してください。
・報告担当者以外の参加者全員は事前に配布された論文を精読の上、論文一本当たり1枚（A4）のレジュメを用意した上で授業に参加してください。（＊レジュメは内容要約を半ページ、感想や疑問を半ページに。）
・中間報告と最終報告の2回にわたり、皆さん自らの研究計画と進捗状況について報告してもらいます。

There are intensive reading assignments every week. During the class hours, active participation to discussions are expected.

初回の講義は4月11日（月）となります。
下記のGoogle Meetリンクよりご参加ください。
meet.google.com/jgn-izvs-euj

Please join the first class on 11th April through the Google Meet link below
meet.google.com/jgn-izvs-euj

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/英語 Japanese /English

６．成績評価方法/Evaluation method：
・担当論文の報告及び議論への参加（70%）
・課題レジュメの提出（30%）

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

国際経営演習（Ⅰ） b/International Business (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：金　熙珍/HEEJIN KIM
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
・本学期には、国際経営分野における国内・海外の優秀論文を輪読・議論していきます。
・多様な機能軸と産業に渡る研究を深く理解することで、自分の研究興味の模索、テーマや問題意識設定、研究の進め方や論理展開などの感覚を身に着けることを目標とします。

In this course, we learn how to develop an academic research and write a high-quality academic paper. Through reading highly-evaluated papers in the field of international business, developing the sense of 'what a good academic research is' is the primary purpose of this course.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・自分の研究をデザイン・実行する力を養うことが最終目標です。

By the end of this course, you should be able to design and conduct your own research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・一回当たり１～2本の論文を輪読していきます（一人当たり２～3回程度の報告)。
・報告担当者は2枚の内容要約と1枚の感想、疑問点（ディスカッション・ポイント）をまとめたうえで、全員分のコピーを用意し、授業に参加してください。
・報告担当者以外の参加者全員は事前に配布された論文を精読の上、論文一本当たり1枚（A4）のレジュメを用意した上で授業に参加してください。(＊レジュメは内容要約を半ページ、感想や疑問を半ページに。)
・中間報告と最終報告の2回にわたり、皆さん自らの研究計画と進捗状況について報告してもらいます。

There are intensive reading assignments every week. During the class hours, active participation to discussions are expected.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語・英語 Japanese/ English

６．成績評価方法/Evaluation method：
・担当論文の報告及び議論への参加（70%）
・課題レジュメの提出（30%）

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

国際経営演習（Ⅱ） a /International Business (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：金　熙珍/HEEJIN KIM
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
・本演習では、国際経営分野における国内・海外の優秀論文を輪読・議論していきます。
・多様な機能軸と産業に渡る研究を深く理解することで、自分の研究興味の模索、テーマや問題意識設定、研究の進め方や論理展開などの感覚を身に着けることを目標とします。

In this course, we learn how to develop an academic research and write a high-quality academic paper. Through reading highly-evaluated papers in the field of international business, developing the sense of 'what a good academic research is' is the primary purpose of this course.

2．学修の到達目標/Goal of study：
修士論文の完成

Writing up a master thesis is the goal of this course

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・一回当たり１～2本の論文を輪読していきます（一人当たり２～3回程度の報告)。
・報告担当者は2枚の内容要約と1枚の感想、疑問点（ディスカッション・ポイント）をまとめたうえで、全員分のコピーを用意し、授業に参加してください。
・報告担当者以外の参加者全員は事前に配布された論文を精読の上、論文一本当たり1枚（A4）のレジュメを用意した上で授業に参加してください。(＊レジュメは内容要約を半ページ、感想や疑問を半ページに。)
・中間報告と最終報告の2回にわたり、皆さん自らの研究計画と進捗状況について報告してもらいます。

There are intensive reading assignments every week. During the class hours, active participation to discussions are expected.

初回の講義は4月11日（月）となります。
下記のGoogle Meetリンクよりご参加ください。
meet.google.com/jgn-izvs-euj

Please join the first class on 11th April through the Google Meet link below
meet.google.com/jgn-izvs-euj

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語/英語

6．成績評価方法/Evaluation method：
・担当論文の報告及び議論への参加（70%）
・課題レジュメの提出（30%）

7．教科書および参考書/Textbook and references：

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

国際経営演習（Ⅱ） b/International Business (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：金　熙珍/HEEJIN KIM
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
・本演習では、国際経営分野における国内・海外の優秀論文を輪読・議論していきます。
・多様な機能軸と産業に渡る研究を深く理解することで、自分の研究興味の模索、テーマや問題意識設定、研究の進め方や論理展開などの感覚を身に着けることを目標とします。

In this course, we learn how to develop an academic research and write a high-quality academic paper. Through reading highly-evaluated papers in the field of international business, developing the sense of 'what a good academic research is' is the primary purpose of this course.

2．学修の到達目標/Goal of study：
修士論文の完成

Writing up a master thesis is the goal of this course.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・一回当たり１～2本の論文を輪読していきます（一人当たり２～3回程度の報告)。
・報告担当者は2枚の内容要約と1枚の感想、疑問点（ディスカッション・ポイント）をまとめたうえで、全員分のコピーを用意し、授業に参加してください。
・報告担当者以外の参加者全員は事前に配布された論文を精読の上、論文一本当たり1枚（A4）のレジュメを用意した上で授業に参加してください。(＊レジュメは内容要約を半ページ、感想や疑問を半ページに。)
・中間報告と最終報告の2回にわたり、皆さん自らの研究計画と進捗状況について報告してもらいます。

There are intensive reading assignments every week. During the class hours, active participation to discussions are expected.

下記のリンクと使ってGoogle Meetに接続してください。
meet.google.com/emt-zfbn-sor

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語/英語

6．成績評価方法/Evaluation method：
・担当論文の報告及び議論への参加（70%）
・課題レジュメの提出（30%）

7．教科書および参考書/Textbook and references：

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

経済データ科学演習（Ⅰ） a /Data Science in Economics(Seminar Ia)

担当教員/Instructor：石原　卓弥/TAKUYA ISHIHARA
曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This course provides students with fundamental theory of econometrics and mathematical statistics. Each of their research projects are individually supervised on a separate occasion.

Class code: zqqlpcg

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students are expected to acquire knowledge on standard econometrics and mathematical statistics and to build a foundation for writing a master thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The contents are as shown below.

1. Finite-Sample Properties of OLS
2. Large-Sample Theory
3. Single-Equation GMM
4. Multiple-Equation GMM
5. Panel Data
6. Serial Correlation
7. Extremum Estimators
8. Examples of Maximum Likelihood
9. Unit-Root Econometrics
10. Cointegration

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Grades will be based on the attendance and assignments.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Econometrics	Fumio Hayashi	Princeton University Press	2000	0691010188	Textbook

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
Basic knowledge on mathematical calculus and linear algebra is required to follow the class.

経済データ科学演習（Ⅰ） b/Data Science in Economics (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：石原　卓弥/TAKUYA ISHIHARA
曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This course provides students with fundamental theory of econometrics and mathematical statistics. Each of their research projects are individually supervised on a separate occasion.

Class code: m3p2khr

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students are expected to acquire knowledge on standard econometrics and mathematical statistics and to build a foundation for writing a master thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The contents are as shown below.

1. Finite-Sample Properties of OLS
2. Large-Sample Theory
3. Single-Equation GMM
4. Multiple-Equation GMM
5. Panel Data
6. Serial Correlation
7. Extremum Estimators
8. Examples of Maximum Likelihood
9. Unit-Root Econometrics
10. Cointegration

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Grades will be based on the attendance and assignments.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Econometrics	Fumio Hayashi	Princeton University Press	2000	0691010188	Textbook

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
Basic knowledge on mathematical calculus and linear algebra is required to follow the class.

研究方法論/Research Methods in Economics and Management

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：前期 木曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM501J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom code: ehuesn4

大学院生として研究を行い、修士論文をはじめとする論文を作成していく上で求められる基本的な学術的ルール、倫理、方法について学ぶ。特にここでは、実態調査、文献・資料収集に基づく研究方法や数式を含む論文の書き方について学ぶ。

２．学修の到達目標/Goal of study：
・論文を作成する基本的ルールや研究方法を身につける。
・実態調査や文献・資料収集の方法を身につける。
・論文の書き方を身につける。

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
第１回（担当：日置）　授業オリエンテーション、研究倫理について
第２回（担当：増田）　先行研究の読み方・扱い方：工学系との比較も含めて
第３回（担当：守）　数式を含む論文の書き方。研究不正と社会的責任。
第４回（担当：川端）　フィールドワークに基づく事例研究のルール
第５回（担当：佐々木）　私の研究遍歴―経験をふまえたアドバイスー
第６回（担当：黒瀬）　サーベイの重要性とその仕方-文献検索の方法-：私の経験
第７回（担当：日置）　実態調査、文献・資料収集の方法など：私の経験から

初回は４月２１日の予定です。感染症の流行状況に応じて、オンライン開講に変更される可能性があります。最新の情報はGoogle Classroom で確認してください

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
以下の２要件による。①出席要件：第 1 回の講義には必ず出席し、以後６回の講義のうち５回に出席すること。②eAPRIN を受講し、理解度確認テストをパスすること。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
講義中に指示する。

１０．その他/In addition：
・教科書および参考書については、必要があれば、講義中に指示する。
・履修の条件は特にありません。
・連絡先は shiro.hioki.d3@tohoku.ac.jp、office hour は火曜日 12:00 ～12:45（日置）です。

研究方法論/Research Methods in Economics and Management

担当教員/Instructor：金　熙珍/HEEJIN KIM
曜日・講時/Day/Period：後期 木曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM501J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
大学院生として研究に従事し、修士論文をはじめとする研究論文を作成していく上での基本的な学術的ルール・倫理・方法について学ぶ。
We will provide you the basic knowledge of the academic rules, research ethics and methods so that you can accomplish the master thesis and the other research papers as an eligible graduate student.

２．学修の到達目標/Goal of study：
研究方法だけでなく論文作成の基本的ルールを学び、研究活動の本質や学術論文の特質を理解すること。
We expect you can understand the essence of research activities and the characteristics of academic paper in learning the basic rules of how to write research papers as well as the research methods.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
2022年度後期（木曜日・3限）の授業は、Google Meetを使用してリアルタイムで実施します。
Google Classroomのコード：hgco5pf
Google Meetのコード：https://meet.google.com/jam-nmwb-dcc

授業で使用するレジュメや資料、お知らせなどはGoogle Classroomに掲載しますので、事前にご確認ください。

１０月１３日　オリエンテーション・研究の進め方　　＜金先生＞
１０月２０日　資料収集と整理・先行研究　　＜増田先生＞
１０月２７日　研究倫理　　＜西出先生＞
１１月２４日　定性調査（インタビュー、参与観察）　＜酒井先生＞
１２月１日　定量調査（アンケート調査など）　＜高浦先生＞
１２月１５日　論文執筆の進め方（論文の構成、本文）　＜一小路先生＞
１月５日　論文執筆の進め方（参考文献、引用）　＜山崎先生＞
１月１９日　成果発表（学会報告、学術誌への投稿）　＜福嶋先生＞

13 October　Orientation/ Designing a research process
20 October　Literature Review: Reference Collection & Management
27 October　Research ethics
24 November　Qualitative research (interview, participant observation)
1 December　Quantitative research (questionnaire survey)
15 December　Writing up a thesis (structure of a thesis)
5 January Writing up a thesis (reference & citation)
19 January　Research presentation (conference presentation & journal submission)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
授業は日本語で行われる。

６．成績評価方法/Evaluation method：
単位取得の要件は、全８回のうち６回以上の出席が必須であり、毎回、授業内容に関する課題レポート等を課し、その提出物の内容によって評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
ＪＳＰＳ研究倫理テキスト　https://www.jsps.go.jp/j-kousei/data/rinri.pdf

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各回の授業において提示される課題レポートを作成し、指示された期日までに提出する。

１０．その他/In addition：
今年度は経営学系の教員によるオムニバス形式だが、世話役の担当教員は藤本。初回のガイダンスに出席できない場合は、世話役の担当教員に必ず事前にメール（kim@tohoku.ac.jp）等で連絡すること。

特講) ファミリー・エコノミクス/Special Lec Family Economics

担当教員/Instructor：陳　鳳明/FENGMING CHEN
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO675J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
世界中で出生率の低下が進行している中、子育て支援の関連政策はますます重視されている。本講義は世の中で実施されている複数の子育て支援政策に注目し、経済学見地からこれらの政策を評価する方法について学ぶ。

As birth rates continue to decline around the world, more and more emphasis is being placed on policies related to childcare support. In this lecture, we will focus on several child-rearing support policies implemented in the world and learn how to evaluate these policies from an economic perspective.

2．学修の到達目標/Goal of study：
以下の２点を目標とする。

(1) 実証研究の中で頻繁に使われている政策評価方法を修得する。
(2) レポート作成を通じて、学術論文の書き方を修得する。

(1) Master the policy evaluation methods frequently used in empirical research.
(2) Learn how to write academic papers through report writing.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
1. ガイダンス
2. 経済学の実証分析（因果推論の基礎）Ⅰ
3. 経済学の実証分析（因果推論の基礎）Ⅱ
4. 少子化の現状
5. 現金給付
6. 保育支援
7. ジェンダー
8. 育休政策
9. 幼児教育
10. 保育園通いの効果
11. 育休制度の就業支援効果
12. 育休の逆効果
13. 保育改革と母親の就業
14. 日本の保育制度
15. まとめ

1. Guidance
2. Empirical analysis of economics (fundamentals of causal inference) I
3. Empirical analysis of economics (basis of causal inference) II
4. Current status of declining birthrate
5. Cash transfers
6. Childcare support
7. Gender
8. Maternity leave policy
9. Early childhood education
10. Effects of attending preschool
11. Effects of maternity leave on employment support
12. Reverse effects of maternity leave
13. Childcare reform and maternal employment
14. Japan's childcare system
15. Summary

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語

6．成績評価方法/Evaluation method：
各回の出席状況（50%）と期末レポート（50%）
Class participation （50%）and submission of the final report（50%）.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

子育て支援の経済学	山口慎太郎	日本評論社	2021	978-4-535-55903-5	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
原則として対面授業の予定で、BCP レベルによってオンラインに変更する場合がある。授業に関する連絡や資料配布は Google Classroom を用いて行う。Classroom のクラスコードは【ovtxqod】である。

特講) 日本経済と企業経営/Special Lec Japanese Economy and Corporate Management

担当教員/Instructor：谷川　みらい/MIRAI TANIKAWA
曜日・講時/Day/Period：前期 木曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM675J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

近代日本における官営事業とその払下げ（民営化）について概観します。世界の多くの国で一斉に民営化政策が取られたのは1980 年代以降ですが、この講義では特に明治期に注目し、そこから現代にも通じる論点を見出していきます。特に以下の諸点には注意を払います。
・公正性確保の努力と不正に対する批判
・国家・地域・企業の利害

This course provides a historical overview of public enterprises and their privatizations in modern Japan.
Keywords of this course:
・fairness/unfairness
・national, regional and corporate interests

２．学修の到達目標/Goal of study：

以下の２点を目標とします。
（1）近代日本における官営事業とその払下げ（民営化）の歴史の概要を理解する。
（2）歴史を振り返ることにより、現代における国家・地域・企業の関係を考えるための土台を養う。

The purpose of this course is to help students see public enterprises and their privatizations from a historical point of view.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

BCP レベル２までは完全対面、BCP レベル３以上では完全オンライン（リアルタイム）を想定しています。
連絡や資料の共有に Classroom を用いますので参加してください（学部講義「[EB332]日本経済と企業経営」と合同です)。
クラスコード：d4xr4fj

講義形式で行います。おおむね時間の流れに沿い、下記の通り進行する予定です。ただし、一部変更する可能性があります。

第１回　ガイダンス・国内外の議論
第２回　幕府・諸藩の事業経営と明治の殖産興業政策
第３回　幕末・明治の北海道開発
第４回　工場払下概則の成立
第５回　「開拓使官有物払下げ事件」
第６回　北海道における官民関係と財政問題
第７回　群馬県の生糸産業と払下げ問題
第８回　工場払下概則と工部省
第９回　小坂銀山の払下げと工場払下概則の廃止
第10回　議会開設前後の官営事業
第11回　戦前の鉄道と水道
第12回　官営八幡製鉄所
第13回　戦時統制経済前後
第14回　近年までの民営化動向・まとめ
第15回　理解度確認セッション

1. guidance
2. rulers' businesses in the Tokugawa era and the beginning of Meiji
3. Hokkaido development policy
4. enacting of "the rule of privatizing"
5. a scandal of privatizing in Hokkaido
6. public/private relationships and financial problems in Hokkaido
7. the silk industry in Gunma prefecture
8. Ministry of Public Works and "the rule of privatizing"
9. abolition of "the rule of privatizing" and privatization of the Kosaka silver mine
10. government enterprises around the time Imperial Diet founded
11. rail and water services
12. state-owned Yawata steelworks
13. before and after the wartime controlled economy
14. privatization trends until recent years, conclusions
15. examination

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
授業中に行う小テストの得点（50%）、理解度確認セッションの得点（50%）により評価します。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

日本の工業化と官業払下げ―政府と企業	小林正彬	東洋経済新報社	1977	303332525214	参考書
市場対国家　上・下	D.ヤーギン（著），J.スタニスロー（著），山岡洋一（訳）	日本経済新聞社	2001	4532190940/4532190959	参考書
財閥の時代	武田晴人	KADOKAWA	2020	9784044005627	参考書
日本経済史	武田晴人	有斐閣	2019	9784641165281	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
2021 年度の同名講義で単位を修得した方は再履修しないでください。

質問や相談がある方はメールをお送りください。
mirai.tanikawa.c7@tohoku.ac.jp

特講）経営管理/Special Lec Business Management

担当教員/Instructor：一小路　武安/TAKEYASU ICHIKOHJI
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM675J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
※ 本科目は会計大学院の科目との共通科目であり、片平キャンパス（エクステンション教育研究棟）で開講される。講義内容については下記の会計大学院のシラバスの「経営管理」のページを参照せよ。

※This is the common subject with the accounting school in Katahira Campus, for the details, please refer to the "経営管理" from the folloing syllabus of the accounting school.

(http://www.econ.tohoku.ac.jp/econ/kaikei/education_and_research/syllabus/)

２．学修の到達目標/Goal of study：

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

特講) グローバル経営 (Global Management) /Special Lec Global Management

担当教員/Instructor：榊　正壽/MASATOSHI SAKAKI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM675E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
※ 本科目は会計大学院の科目との共通科目であり、片平キャンパス（エクステンション教育研究棟）で開講される。講義内容については下記の会計大学院のシラバスの「グローバル経営」のページを参照せよ。

※This is the common subject with the accounting school in Katahira Campus, for the details, please refer to the "グローバル経営" from the folloing syllabus of the accounting school.

(http://www.econ.tohoku.ac.jp/econ/kaikei/education_and_research/syllabus/)

２．学修の到達目標/Goal of study：

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

特講) 外国経済経営事情/Special Lec Foreign Business and Economy

担当教員/Instructor：/MELTEM INCE YENILMEZ
曜日・講時/Day/Period：後期 木曜日 ４講時.後期 木曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM675E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Maybe the best financial peculiarity of the twentieth century was the changing job of women across the whole globe. In the mid 1900s a women' contribution in the paid economy halted in her mid 20s. By then generally hitched, had numerous kids, and at no point in the future took paid work. After 100 years that example of conduct is practically unrecognizable in Europe, North America, Asia and for sure the greater part of both the created and creating world. What occurred and why?
Men procure on normal higher wages than women. People gather in various occupations, and ladies are under-addressed in the political circle and powerful occupations. Women accomplish on normal more elevated levels of tutoring than men, and they take on a higher portion of family tasks and childcare. Why these distinctions? Do they address an issue? Should families, schools, firms or legislatures take care of business? This course will give students an outline of a new writing in diversified aspects that records orientation holes in a scope of areas, attempts to reveal the variables that drive them, and assesses the adequacy of various strategies in alleviating them. A portion of the principle themes that we will cover include: gender gaps in wages and employment; gender and education; risk aversion, competitiveness, and other traits; family (contraception, fertility, abortion, marriage and divorce, household specialization); gender and public policy.

2．学修の到達目標/Goal of study：

Explain the contrast between the expressions "sex" and "orientation," and why this qualification is important
Provide instances of the idea of intersectionality
Define and ascertain estimations and marks of orientation (in)Equality
Apply both NeoClassical and Marxist theoriesto investigate women' status when given true situations
Differentiate between various women's activist ideal models and use them to examine social situations
Summarize significant patterns in family divisions of work, relationship status, orientation holes in compensation and word related isolation, all around the World.
The historical backdrop of orientation related regulation and public strategies.
Potential answers for working on women' financial status

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Week 1. Subject and methods of gender economics. Gender statistics. System of gender inequality factors
Week 2. Economic growth and gender equality. Globalisation of the world economy and gender status. Feminisation of poverty. Women' s contribution to GDP
Week 3. Gender inequality in the labour market
Week 4. The gender factor in household economics. Distribution of resources and decision-making mechanisms within the household
Week 5. Demographic changes and gender status. The gender factor in demographic development. The gender shift and demographic development
Week 6. Gender policy: national, regional and global level. Gender inequality indicators
Week 7. Midterm exam
Week 8. Gender budgets. Gender review
Gender budgets and gender budgeting. Methodology of gender budget preparation. Approaches and principles of gender budgeting.
Week 9. Gender, economics, and covid-19
Week 10. The Invisible Heart: Care and the Global Economy
Week 11. Occupational Segregation Discrimination, Wage Gaps, and Wage Penalties
Week 112. Impact of recessions on labour market outcomes, human capital investments
Week 13. Climate and Energy
Week 14. Women, Diversity, and Corporate Leadership

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

English

6．成績評価方法/Evaluation method：

Course Grade Components
Various parts of your grade shall be weighted as follows:
Exam 1: 25%
Exam 2: 25%
Term Paper: 20%
Final Exam: 30%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Women and the Economy	Saul D. Hoffman & Susan L. Averett	Palgrave	2015	978-1137477033
Why Gender Matters in Economics	Mukesh Eswaran	Princeton University Press	2014	978-0691121734
The Economics of Gender	Joyce Jacobsen	Wiley-Blackwell	2007	978-1-405-16182-4

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

https://www.melteminceyenilmez.com/

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

Punctual and consistent attendance will be essential to your success in the course and will directly affect your grade. Most of our classes will be in the form of an open forum in order to foster a constructive exchange of ideas. Therefore, your thoughtfu

１０．その他/In addition：

現代経済学特別演習Ａａ/Special Seminar on Contemporary Economics Aa

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO670J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習の目的は、大学院生が現代経済学（近代経済学）の最先端の研究に触れることにある。

The objective of this course is to study the current topics of contemporary economics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経済学の最先端の研究に触れることを通じて、参加者自身が問題意識を形成し、経済学の発展に寄与するような独自の研究ができるようになるとともに、研究成果を公的な場でアピールするためのスキルを修得する。

The goal of this course is to find a research theme and acquire the skill of clear presentation.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
今学期の演習では 9 月修了予定者の修士論文中間報告と教員の研究報告を行う予定である。今学期の演習参加者は若林(midwak@tohoku.ac.jp)まで各自の DC メールアドレスを連絡すること。

The details of the seminars will be announced by the e-mails based on the mailing list of the attendants of this workshop. Attendants must send an e-mail to the chief instructor of this course (Midori Wakabayashi):
midwak@tohoku.ac.jp
iindicating your DC mail addresses.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習にどれだけ積極的に参加しているかを評価する。単位を取得しようとする者は、すべての研究報告に出席するように努めること（出席状況は毎回チェックする)。この演習で修士論文の中間報告を行う者については、そのことも考慮する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
http://www.econ.tohoku.ac.jp/~econ_seminar/

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

現代社会・経済・企業特別演習Ａａ/Special Seminar on Modern Society, Economy, and Enterprise Aa

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM672J, 単位数/Credit(s)：1

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom : 6auxnds

現代経済の理論・学説，経済政策，産業・企業をはじめとする諸制度に関わるテーマを，広く社会的観点から議論します。大学院生が専門的研究を深めるとともに，専門分野とアプローチの枠を超えて交流することで，より広い観点から自らの研究の位置に関する認識を深められるようにします。研究計画立案から調査・分析，考察，論文の作成に至るまでを共同で指導することにより，研究成果の向上を図ります。

In this special seminar we will discuss various topics in theories of modern economy, history of economic thought, economic policy, and industrial and corporate systems. We expect that participants of this seminar will be able to broaden their perspective by communicating with researchers of diverse fields and methods.

2．学修の到達目標/Goal of study：
・論文等の報告を通して、プレゼンテーションの技法を向上させる。
・議論を聞き、また議論に参加することによって、質疑討論の能力を高める。
・論文に関して批評を受け、論文をより良いものに仕上げる。

Participants of this special seminar will be able to:
- develop their presentation skill.
- hone their skill in the art of discussion.
- improve the paper they are currently working on.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
主として，各参加者が作成中または発表した論文について順次報告し、全員で討論します。修士または博士論文の提出予定者は、論文の事前報告をします。自分が報告しない場合であっても、報告を聴き討論に参加することを通じて、論文の作成方法を学ぶことができます。また、各自の取り組むべき課題の発見や問題意識の深化に寄与することになるでしょう。また，適宜外部スピーカーを招いて報告してもらう予定です。
開講頻度・日時については，学期期間中ほぼ一か月に一回の頻度で，木曜日の４講時・５講時に開講します。
初回は４月〇日の予定です。感染症の流行状況に応じて、オンライン開講に変更される可能性があります。最新の情報はGoogle Classroomで確認してください

Students are required to present the paper they are currently working on. They are also required to participate in the discussion in each class. We may occasionally invite guest speakers.
The first meeting will be held on April **. It is possible that this seminar is held on line depending on the situation of the infectious disease. Please check the Google Classroom for the latest news.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語（報告は英語でしていただいても構いません。）

6．成績評価方法/Evaluation method：
平常の参加態度によります（出席状況、報告内容、討論への参加など）。

7．教科書および参考書/Textbook and references：

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：
それぞれの研究を進めること。
報告者が事前に配布するフルペーパーを読んだ上で参加すること。

１０．その他/In addition：

履修を希望する者は履修登録手続きをするとともにGoogle Classroomにも登録して初回の演習に必ず参加するようにしてください。

本年度は日置が幹事です。shiro.hioki.d3@tohoku.ac.jp

経営学特別演習Ａａ/Special Seminar on Business Management Aa

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN670J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習は
(1) 現代の企業およびその他組織における経営問題の理論的解明と実践的洞察を得ること、
(2) 地域政策の諸問題も含め、多様な視点を融合しながら現実の事象を分析・考察する能力を涵養すること、
を目的とする。そのために、受講生による研究報告会を定期的に開催し、成果報告と全体討論を行う。
・参加教員：藤本・増田・福嶋・西出・高浦・金・山﨑・一小路・酒井

This seminar is offered for the following purposes.
(1) obtain theoretical and practical insights into management issues in modern companies and other organizations
(2) foster the ability to analyze and consider actual phenomena including regional policy issues
To this end, research presentations will be held regularly, and students will report and discuss their research plans and results.
・Participating faculty members: Fujimoto, Masuda, Fukushima, Nishide, Takaura, Kim, Yamazaki, Ichikoji, Sakai

２．学修の到達目標/Goal of study：
現代経営・地域政策に関する理論的背景と実践的動向を理解し、自分なりの研究計画を構想でき、まとまった研究成果を報告できる段階に到達することを目標とする。

The goal is to understand the theoretical background and practical trends in modern management and regional policy, and to come up with a stage where you can design your own research plan and report a set of research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
研究報告会の形式による。
・受講生による研究報告、報告に対する全体での討論、個別コメント。

Holding a research report sessions.
・Research reports by the students, general discussions and comments on the reports.

2022年度前期の講義は4月21日からオンラインで実施するので、受講希望者は4月21日（木）の5限（16:20～17:50）に下記のGoogle ClassroomのMeetから参加すること。

本講義に関するお知らせは、下記のGoogle Classroomに掲載する。

「経営学特別演習Ａ　a/b, B a/b共通（通年)」クラスコード：ipyetkd
https://classroom.google.com/c/NDcwODczNTM3NzI5?cjc=ipyetkd

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語（発表等については英語可）
Japanese (English is also acceptable for presentations)

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告内容、討論への参加の程度等を基準に評価する。他の報告者へのコメントについては、開講時に指示するコメント・フォームにアクセスして記入すること（欠席時は配布資料を受領してから記入)。
教科書は特に用いない。報告資料やリーディング資料は随時、用意・指示する。

Evaluation will be based on the content of the report and the degree of participation in the discussion. For comments to

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NDcwODczNTM3NzI5?cjc=ipyetkd

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
配布資料があれば可能な限り事前に目を通しておくこと。クラス討論の後に、自分なりのコメントをまとめ、批判的読解力を得ることが大切である。
Review any handouts in advance if possible. After class discussions, it is also important to compile your own comments and gain critical reading skills.

１０．その他/In addition：
【履修条件】
・本特別演習 Aa・Ab を継続して履修するのが望ましいが、単独受講も可能である。
・隔週の木曜日 5 講時 16:20-17:50（両学期）に開講予定。（オンライン開催）
発表当番を決めるので各学期初回のガイダンス（4 月 21 日/10 月 13 日）に参加すること。
その際に、コメント・フォーム等に関する情報を伝える。
・上記日程以外に、週末等に実施される学内講演会への出席を求める場合がある。
・詳しい日程等については、随時、上記エントリー後にメールにて通知する。

【連絡先】本年度幹事・藤本（経済学研究科棟 6 階 609） masahiko.fujimoto.c7@tohoku.ac.jp

経済史・経営史特別演習Ａａ/Special Seminar on Economic History and Business History Aa

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM670J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習は、近世・近現代の日本、アジア、欧米諸地域の歴史に関心を持つ研究者の交流を通じて経済史・経営史に関する幅広い知識と歴史研究に要する分析能力を身に付ける機会を提供し、各履修者の研究テーマに関する報告・討論を通じてプレゼンテーションおよび史料批判の方法について学習することを目的とする。ここでは特に論文作成に向けて直接の指導教員だけでなく他のアカデミック・スタッフからアドバイスを受けることに主眼を置くとともに、研究内容について様々な視点から吟味できるようセミナーの雰囲気づくりにも配慮したい。

To get knowledge about economic and business history by presentation of each participants' own researches and Q and A. To get advise from many faculties over the completion of M.A. and Ph.D. Thesis.

本講義の関する詳細は、Google Classroom を参照されたい。

The detail of this class is shown in the Google Classroom.

２．学修の到達目標/Goal of study：
修士・博士論文の完成に向けて論理の組み立て、史料分析、文献引用を中心に、これらを厳密に行う能力を養う。

To get academic capacity necessary for completing M.A. and Ph.D. thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
履修希望者はコーディネータとなる教員へｅメールを送信すること。

履修者は、詳しいレジュメをもとに各自の研究課題、リサーチの意義、独創性などに触れながら、５０～６０分程度の報告を担当する。その後、上記担当教員の指導を含め、参加者全員でディスカッションを行う。特にマスター２年目の院生は、修士論文提出期限までの期間を考慮し、完成度の高い研究報告を行うことが望まれる。
前期・後期初回のオリエンテーションの際に報告の順番を決定するので、履修希望者は必ず各学期最初の授業に出席し、本演習の進め方について説明を受けること。最初の授業の日時・教室等は掲示にて通知する。

Presertation of his/her own research followed by Q and A.

本演習は、経済史・経営史関係の教員と、経済史・経営史関係を専門に勉強・研究する大学院生が一堂に会して報告と質疑応答をおこなうジョイント・セミナーです。経済史・経営史関係の教員として参加を予定している教員は以下のとおりです。

小田中直樹（社会思想史）
川名洋（西欧経済史）
菅原歩（グローバル経営史）
結城武延（経営史、今年度コーディネータ）

This is a kind of joint seminar gathering faculties and student specializing Economic or Business history.Faculties to participate in will be as follows:
*ODANAKA,Naoki (Socio-intellectual History)
*KAWANA, Yoh (The Economic Hisotory of Western Europe)
*Sugawara, Ayumu (Global Business History)
*YUKI, Takenobu (Business History, The coordinator)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/英語

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究報告による。

Presentation will be evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各教員の指示に従う。

１０．その他/In addition：
履修の条件：経済史・経営史に関心があること。
その他：関連学会の東北地区部会などについてのアナウンスも行いますので、研究の向上のためにそれらにも参加されることを希望します。
クラスコード：2qffelx

数理・データ科学特別演習Ａａ/Special Seminar on Mathematical and Data Sciences Aa

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM671J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
classroom code: htutw7w

経済・経営分野のデータ科学に関する演習を行う。

This is a compusory subject for Data Science Program or Fraduate Program in Data Science. Any students with interests in Data Science are welcome to attend. We organize a session to learn basic technique for data science in Economics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経済・経営分野における諸問題について自ら考え、データ科学の方法によって解決できること。

To learn a way to solve several issues in Economics by data science.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
ゲストスピーカーによる lecture を受講する

We hold a workshop eevry week by invited guest speaker or a faculty member working on data science.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
ゲストスピーカー講演をまとめたレポートを毎回提出してもらう。内容と出席で評価する。

by a small report summarizing seminars, which we assign to submit within one week after seminars.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
使用言語：英語および日本語

医療福祉政策特別演習Ａａ/Special Seminar on Health and Welfare Policy Aa

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO673J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本特別演習は，公共経済学や財政学，高齢社会における公共政策・財政政策・社会保障・所得分配・雇用に関する分析，福祉政策や家計の意思決定に関する経済学的分析，および健康保健分野におけるサービスの需給や効果に関する経済分析等を研究テーマとする大学院生が，自身の博士論文や修士論文などに関する研究報告を通して，より良質な学位論文を作成するために開講されるものである。

The purpose of this workshop is to help gradual students improve own research on economics of aging, public finance, public economics, welfare economy, health economics, and other important issues in aging society, such as, employment, income distribution, social security system, and public policies.

２．学修の到達目標/Goal of study：
自分の研究に関する学問的位置付けを把握し問題点を発見すること。また，関連分野に関する方法論および知識の修得することに加えて，プレゼンテーションや質疑応答に関する技術を向上させること。

By the end of the semester, students will be able to confirm own originality of the ongoing study, to get the additional knowledge and hints to improve own study, and to improve own skills for presentation and discussion.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本特別演習は，定期的に開催される研究会形式で行う。本特別演習での主な発表者は，担当教員の大学院ゼミ（加齢経済・財政・福祉経済・医療経済）に所属する大学院生および研究生，または演習担当者を含む本学教員および学内外の研究者・大学院生である。大学院生が発表する場合，学位論文の中間報告または学会発表の予行演習であることを原則とする。それ以外の場合は，自分の研究の概要と進捗状況について発表する。

発表者は，本特別演習の前日までに報告で使用する電子ファイルをGoogle Classroom（クラスコードは"aktqjvb"）にアップロードすることと，対面開催の場合は，当日に報告資料のコピーを参加者全員に配布することを必須とする。また，発表者以外の参加者には，毎回発表に対する感想・疑問・意見等を記したコメントシートを提出することを必須とする。ただし，BCPレベル（2022/4/1 基準）が３の場合には報告者は対面，非報告者はオンライン参加のハイブリッド方式，同 4 以上の場合にはオンライン（リアルタイム）方式で行う。

We plan to hold a seminar, and the speaker is the graduate student and the academic researcher in Tohoku University and/or outside who is interested in public economics, public finance, economics of aging, welfare economy, health economics, and other important issues in aging society.

Each student presents the interim report of own dissertation, own research for the upcoming conference, or an abstract and progress of own ongoing research.

Speakers must upload own presentation files on the Google Classroom (the code is "aktqjvb") by the day before the workshop and prepare for printed documents for participants on the day when we have a face-to-face seminar.

Students who do not make a presentation in each class have to hand in a "comment-sheet" with own impressions, questions, and comments on the presentation.

Note that we hold hybrid seminar (real and online) when the BCP level defined April 1, 2021 is 3. In this type, presenters and instructors conduct the discuss in a real classroom, while others participate in the seminar online. In addition, we hold online seminars (real-time) when the BCP level is more than 4.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語または英語

English and/or Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
１回以上の発表と発表時以外のコメントシートの提出を単位取得の条件とする。準備状況や出席状況，発言およびコメントシートの内容等も考慮する。

Students must make one or more presentation and submit a comment-sheet to obtain the credit. In addition, the grade depends on preparation, attendance, discussion, comment-report, and

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/u/0/c/NzAyNzY4MDI3MjFa

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
報告に向けて入念に準備することと，発表時に指摘された点については，できるだけ早期に改善を図ることが重要である。

Students requires to carefully prepare for own presentation and to improve own research as soon after receiving comments at the workshop.

１０．その他/In addition：
担当教員の大学院ゼミ（加齢経済・財政・福祉経済・医療経済）に所属する大学院生および研究生は必ず履修すること。また，現代経済特別演習にも必ず履修登録し，現代経済学研究会にも参加すること。

The graduate students who are affiliated with the seminars of aging economy, public finance, welfare economy, and health economics must participate in this workshop.
In addition, the students must also register other Workshop a/b organized by Prof. Wakabayashi and participate in Modern Economics Seminars.

現代経済学特別演習Ａｂ/Special Seminar on Contemporary Economics Ab

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO670J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習の目的は、大学院生が現代経済学（近代経済学）の最先端の研究に触れることにある。

The objective of this course is to study the current topics of contemporary economics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経済学の最先端の研究に触れることを通じて、参加者自身が問題意識を形成し、経済学の発展に寄与するような独自の研究ができるようになるとともに、研究成果を公的な場でアピールするためのスキルを修得する。

The goal of this course is to find a research theme and acquire the skill of clear presentation.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
今学期の演習では修士論文中間報告と教員の研究報告を行う予定である。今学期の演習参加者は若林(midwak@tohoku.ac.jp)まで各自のDCメールアドレスを連絡すること。

The details of the seminars will be announced by the e-mails based on the mailing list of the attendants of this workshop. Attendants must send an e-mail to the chief instructor of this course (Midori Wakabayashi):
midwak@tohoku.ac.jp
indicating their DC mail addresses.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習にどれだけ積極的に参加しているかを評価する。単位を取得しようとする者は、すべての研究報告に出席するように努めること（出席状況は毎回チェックする)。この演習で修士論文の中間報告を行う者については、そのことも考慮する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
http://www.econ.tohoku.ac.jp/~econ_seminar/

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

現代社会・経済・企業特別演習Ａｂ/Special Seminar on Modern Society, Economy, and Enterprise Ab

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM672J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom : 6auxnds

現代経済の理論・学説，経済政策，産業・企業をはじめとする諸制度に関わるテーマを，広く社会的観点から議論します。大学院生が専門的研究を深めるとともに，専門分野とアプローチの枠を超えて交流することで，より広い観点から自らの研究の位置に関する認識を深められるようにします。研究計画立案から調査・分析，考察，論文の作成に至るまでを共同で指導することにより，研究成果の向上を図ります。

In this special seminar we will discuss various topics in theories of modern economy, history of economic thought, economic policy, and industrial and corporate systems. We expect that participants of this seminar will be able to broaden their perspective by communicating with researchers of diverse fields and methods.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・論文等の報告を通して、プレゼンテーションの技法を向上させる。
・議論を聞き、また議論に参加することによって、質疑討論の能力を高める。
・論文に関して批評を受け、論文をより良いものに仕上げる。

Participants of this special seminar will be able to:
- develop their presentation skill.
- hone their skill in the art of discussion.
- improve the paper they are currently working on.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
主として，各参加者が作成中または発表した論文について順次報告し、全員で討論します。修士または博士論文の提出予定者は、論文の事前報告をします。自分が報告しない場合であっても、報告を聴き討論に参加することを通じて、論文の作成方法を学ぶことができます。また、各自の取り組むべき課題の発見や問題意識の深化に寄与することになるでしょう。また，適宜外部スピーカーを招いて報告してもらう予定です。
開講頻度・日時については，学期期間中ほぼ一か月に一回の頻度で，木曜日の４講時・５講時に開講します。
初回は 10 月〇日の予定です。感染症の流行状況に応じて、オンライン開講に変更される可能性があります。最新の情報は Google Classroom で確認してください

Students are required to present the paper they are currently working on. They are also required to participate in the discussion in each class. We may occasionally invite guest speakers.
The first meeting will be held on October **. It is possible that this seminar is held on line depending on the situation of the infectious disease. Please check the Google Classroom for the latest news.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語（報告は英語でしていただいても構いません。）

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の参加態度によります（出席状況、報告内容、討論への参加など)。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
それぞれの研究を進めること。
報告者が事前に配布するフルペーパーを読んだ上で参加すること。

１０．その他/In addition：

履修を希望する者は履修登録手続きをするとともにGoogle Classroomにも登録して初回の演習に必ず参加するようにしてください。

本年度は日置が幹事です。shiro.hioki.d3@tohoku.ac.jp

経営学特別演習Ａｂ/Special Seminar on Business Management Ab

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN670J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習は
（1）現代の企業およびその他組織における経営問題の理論的解明と実践的洞察を得ること、
（2）地域政策の諸問題も含め、多様な視点を融合しながら現実の事象を分析・考察する能力を涵養すること、
を目的とする。そのために、受講生による研究報告会を定期的に開催し、成果報告と全体討論を行う。
・参加教員：藤本・増田・福嶋・西出・高浦・金・山﨑・一小路・酒井

This seminar is offered for the following purposes.
(1) obtain theoretical and practical insights into management issues in modern companies and other organizations
(2) foster the ability to analyze and consider actual phenomena including regional policy issues
To this end, research presentations will be held regularly, and students will report and discuss their research plans and results.
・Participating faculty members: Fujimoto, Masuda, Fukushima, Nishide, Takaura, Kim, Yamazaki, Ichikoji, Sakai

２．学修の到達目標/Goal of study：
現代経営・地域政策に関する理論的背景と実践的動向を理解し、自分なりの研究計画を構想でき、まとまった研究成果を報告できる段階に到達することを目標とする。

The goal is to understand the theoretical background and practical trends in modern management and regional policy, and to come up with a stage where you can design your own research plan and report a set of research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
研究報告会の形式による。
・受講生による研究報告、報告に対する全体での討論、個別コメント。

Holding a research report sessions.
・Research reports by the students, general discussions and comments on the reports.

2022年度前期の講義は4月21日からオンラインで実施するので、受講希望者は4月21日（木）の5限（16:20～17:50）に下記のGoogle ClassroomのMeetから参加すること。

本講義に関するお知らせは、下記のGoogle Classroomに掲載する。

「経営学特別演習Ａ　a/b, B a/b共通（通年）」クラスコード：ipyetkd
https://classroom.google.com/c/NDcwODczNTM3NzI5?cjc=ipyetkd

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語（発表等については英語可）
Japanese (English is also acceptable for presentations)

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告内容、討論への参加の程度等を基準に評価する。他の報告者へのコメントについては、開講時に指示するコメント・フォームにアクセスして記入すること（欠席時は配布資料を受領してから記入）。
教科書は特に用いない。報告資料やリーディング資料は随時、用意・指示する。

Evaluation will be based on the content of the report and the degree of participation in the discussion. For comments to

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NDcwODczNTM3NzI5?cjc=ipyetkd

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
配布資料があれば可能な限り事前に目を通しておくこと。クラス討論の後に、自分なりのコメントをまとめ、批判的読解力を得ることが大切である。
Review any handouts in advance if possible. After class discussions, it is also important to compile your own comments and gain critical reading skills.

１０．その他/In addition：
【履修条件】
・本特別演習 Aa・Ab を継続して履修するのが望ましいが、単独受講も可能である。
・隔週の木曜日 5 講時 16:20-17:50（両学期）に開講予定。（オンライン開催）
発表当番を決めるので各学期初回のガイダンス（4 月 21 日/10 月 13 日）に参加すること。
その際に、コメント・フォーム等に関する情報を伝える。
・上記日程以外に、週末等に実施される学内講演会への出席を求める場合がある。
・詳しい日程等については、随時、上記エントリー後にメールにて通知する。

【連絡先】本年度幹事・藤本（経済学研究科棟 6 階 609） masahiko.fujimoto.c7@tohoku.ac.jp

経済史・経営史特別演習Ａｂ/Spesial Seminar on Economic History and Business History Ab

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM670J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習は、近世・近現代の日本、アジア、欧米諸地域の歴史に関心を持つ研究者の交流を通じて経済史・経営史に関する幅広い知識と歴史研究に要する分析能力を身に付ける機会を提供し、各履修者の研究テーマに関する報告・討論を通じてプレゼンテーションおよび史料批判の方法について学習することを目的とする。ここでは特に論文作成に向けて直接の指導教員だけでなく他のアカデミック・スタッフからアドバイスを受けることに主眼を置くとともに、研究内容について様々な視点から吟味できるようセミナーの雰囲気づくりにも配慮したい。

To get knowledge about economic and business history by presentation of each participants' own researches and Q and A. To get advise from many faculties over the completion of M.A. and Ph.D. Thesis.

本講義の関する詳細は、Google Classroom を参照されたい。

The detail of this class is shown in the Google Classroom.

２．学修の到達目標/Goal of study：
修士・博士論文の完成に向けて論理の組み立て、史料分析、文献引用を中心に、これらを厳密に行う能力を養う。

To get academic capacity necessary for completing M.A. and Ph.D. thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
履修希望者はコーディネータとなる教員へｅメールを送信すること。

履修者は、詳しいレジュメをもとに各自の研究課題、リサーチの意義、独創性などに触れながら、５０～６０分程度の報告を担当する。その後、上記担当教員の指導を含め、参加者全員でディスカッションを行う。特にマスター２年目の院生は、修士論文提出期限までの期間を考慮し、完成度の高い研究報告を行うことが望まれる。
前期・後期初回のオリエンテーションの際に報告の順番を決定するので、履修希望者は必ず各学期最初の授業に出席し、本演習の進め方について説明を受けること。最初の授業の日時・教室等は掲示にて通知する。

Presertation of his/her own research followed by Q and A.

本演習は、経済史・経営史関係の教員と、経済史・経営史関係を専門に勉強・研究する大学院生が一堂に会して報告と質疑応答をおこなうジョイント・セミナーです。経済史・経営史関係の教員として参加を予定している教員は以下のとおりです。

小田中直樹（社会思想史）
川名洋（西欧経済史）
菅原歩（グローバル経営史）
結城武延（経営史、今年度コーディネータ）

This is a kind of joint seminar gathering faculties and student specializing Economic or Business history.Faculties to participate in will be as follows:
*ODANAKA,Naoki (Socio-intellectual History)
*KAWANA, Yoh (The Economic Hisotory of Western Europe)
*Sugawara, Ayumu (Global Business History)
*YUKI, Takenobu (Business History, The coordinator)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究報告による。

Presentation will be evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各教員の指示に従う。

１０．その他/In addition：
履修の条件：経済史・経営史に関心があること。
その他：関連学会の東北地区部会などについてのアナウンスも行いますので、研究の向上のためにそれらにも参加されることを希望します。
クラスコード：2qffelx

数理・データ科学特別演習Ａｂ/Special Seminar on Mathematical and Data Sciences Ab

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM671J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経済・経営分野のデータ科学に関する演習を行う。

This is a compusory subject for Data Science Program or Fraduate Program in Data Science. Any students with interests in Data Science are welcome to attend. We organize a session to learn basic technique for data science in Economics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経済・経営分野における諸問題について自ら考え、データ科学の方法によって解決できること。

To learn a way to solve several issues in Economics by data science.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
ゲストスピーカーによる lecture を受講する

We hold a workshop eevry week by invited guest speaker or a faculty member working on data science.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
ゲストスピーカー講演をまとめたレポートを毎回提出してもらう。内容と出席で評価する。

by a small report summarizing seminars, which we assign to submit within one week after seminars.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
使用言語：英語および日本語

医療福祉政策特別演習Ａｂ/Special Seminar on Health and Welfare Policy Ab

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO673J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本特別演習は，公共経済学や財政学，高齢社会における公共政策・財政政策・社会保障・所得分配・雇用に関する分析，福祉政策や家計の意思決定に関する経済学的分析，および健康保健分野におけるサービスの需給や効果に関する経済分析等を研究テーマとする大学院生が，自身の博士論文や修士論文などに関する研究報告を通して，より良質な学位論文を作成するために開講されるものである。

The purpose of this workshop is to help gradual students improve own research on economics of aging, public finance, public economics, welfare economy, health economics, and other important issues in aging society, such as, employment, income distribution, social security system, and public policies.

２．学修の到達目標/Goal of study：
自分の研究に関する学問的位置付けを把握し問題点を発見すること。また，関連分野に関する方法論および知識の修得することに加えて，プレゼンテーションや質疑応答に関する技術を向上させること。

By the end of the semester, students will be able to confirm own originality of the ongoing study, to get the additional knowledge and hints to improve own study, and to improve own skills for presentation and discussion.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本特別演習は，定期的に開催される研究会形式で行う。本特別演習での主な発表者は，担当教員の大学院ゼミ（加齢経済・財政・福祉経済・医療経済）に所属する大学院生および研究生，または演習担当者を含む本学教員および学内外の研究者・大学院生である。大学院生が発表する場合，学位論文の中間報告または学会発表の予行演習であることを原則とする。それ以外の場合は，自分の研究の概要と進捗状況について発表する。

発表者は，本特別演習の前日までに報告で使用する電子ファイルをGoogle Classroom（クラスコードは"aktqjvb"）にアップロードすることと，対面開催の場合は，当日に報告資料のコピーを参加者全員に配布することを必須とする。また，発表者以外の参加者には，毎回発表に対する感想・疑問・意見等を記したコメントシートを提出することを必須とする。ただし，BCPレベル（2022/10/1基準）が３の場合には報告者は対面，非報告者はオンライン参加のハイブリッド方式，同４以上の場合にはオンライン（リアルタイム）方式で行う。

We plan to hold a seminar, and the speaker is the graduate student and the academic researcher in Tohoku University and/or outside who is interested in public economics, public finance, economics of aging, welfare economy, health economics, and other important issues in aging society.

Each student presents the interim report of own dissertation, own research for the upcoming conference, or an abstract and progress of own ongoing research.

Speakers must upload own presentation files on the Google Classroom (the code is "aktqjvb") by the day before the workshop and prepare for printed documents for participants on the day when we have a face-to-face seminar.

Students who do not make a presentation in each class have to hand in a "comment-sheet" with own impressions, questions, and comments on the presentation.

Note that we hold hybrid seminar (real and online) when the BCP level defined April 1, 2021 is 3. In this type, presenters and instructors conduct the discuss in a real classroom, while others participate in the seminar online. In addition, we hold online seminars (real-time) when the BCP level is more than 4.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語または英語

English and/or Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
１回以上の発表と発表時以外のコメントシートの提出を単位取得の条件とする。準備状況や出席状況，発言およびコメントシートの内容等も考慮する。

Students must make one or more presentation and submit a comment-sheet to obtain the credit. In addition, the grade depends on preparation, attendance, discussion, comment-report, and

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/u/0/c/NzAyNzY4MDI3MjFa

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
報告に向けて入念に準備することと，発表時に指摘された点については，できるだけ早期に改善を図ることが重要である。

Students requires to carefully prepare for own presentation and to improve own research as soon after receiving comments at the workshop.

１０．その他/In addition：
担当教員の大学院ゼミ（加齢経済・財政・福祉経済・医療経済）に所属する大学院生および研究生は必ず履修すること。また，現代経済特別演習にも必ず履修登録し，現代経済学研究会にも参加すること。

The graduate students who are affiliated with the seminars of aging economy, public finance, welfare economy, and health economics must participate in this workshop.
In addition, the students must also register other Workshop a/b organized by Prof. Wakabayashi and participate in Modern Economics Seminars.

Microeconomics I/Microeconomics I

担当教員/Instructor：図斎　大/DAI ZUSAI
曜日・講時/Day/Period：後期 木曜日 1講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO560E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

!!!<< This course will use an external online service Canvas as an online classroom platform (a Learning Management System), regardless of BCP level. Follow the instruction in the URL section of this syllabus. >>!!!

Modern economics stands on formal mathematical models that formulate rational decision making of individual actors and their interdependence in the economy. In this course, we start the study of such formal economic models by focusing on general, abstract theory on interdependent relationships between rational decision makers, i.e., game theory. Game theory is a necessary component of the study of modern economics. So, anyone who plans to study modern economics should take both this course and Micro II, as well as other core courses in macroeconomics and econometrics. Particularly, Micro II and any of my other graduate courses will assume mastery of the contents to be taught in Micro I. More details and updated information (if any) will be posted at https://sites.google.com/view/zusaiTohoku until the first day of the lecture; after that, all the information and the class contents will be solely posted on the course Canvas website.

2．学修の到達目標/Goal of study：

In Micro I, emphasis is on logical rigor, formalism, and abstraction behind economic models. This course shall teach essential skills for formulation and analysis of economic modeling and basic knowledge of various economic models for your future academic research. Therefore, the ultimate goal of this course is not only to provide knowledge and techniques in game theory, but also to get you familiar with economic modeling in various aspects, such as formal representation of a mathematical model, assessment of the most suitable solution concept for each model, mathematical analysis of the model with rigorous logic, and evaluation of scopes and limitations of the modeling and analytical methodology. Throughout this course, it is emphasized to understand the underlying economic incentives through analysis of costs and benefits, combined with deciphering cognitive constraints for economic agents in information acquisition, forecasting of other economic agents' decisions and statistical inference under limited information.

Basic calculation skills in calculus and serious attitude toward accurate formalism and logical rigor are necessary, while advanced knowledge in mathematics or mechanical horsepower for complicated calculation are not much. It is desirable that you have been exposed to elementary basics of game theory at least at the extent that is covered in a typical undergraduate "microeconomic principle/introductory microeconomics" textbook (e.g. Hubbard & O'Brien, Krugman & Wells), since this graduate course will pay more attention to giving fluency with mathematical formulation and analysis of economic models than just simply giving knowledge of economic theory.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Lecture delivery method: to be determined during the summer and to be annoounced on the revised syllabus before the beginning of the fall semester. The current syllabus (esp. the course contents below and "evaluation nethod") assumes that it will be held as an online course with on-demand video lectures, just as in the last Fall semester.

Course contents:
Part 1: Game theory as multi-agent optimization theory (Games under complete information)
1. Introduction: Quick overview of game theory, and individual decision problems as a basis. 2. Strategic form: Basic modeling of strategic situations. 3. Nash equilibrium: Basic solution concept. 4. Mixed strategy: Modeling strategic randomization. 5. Extensive form and backward induction: Modeling sequential strategic interactions. 6-7. Applications and extensions I.
Part 2: Game theory on limited information and statistical inference (Games under incomplete information)
8. Information set and subgame perfection: Analyzing imperfect information in an extensive form. 9. Repeated games: Analyzing repeated interactions. 10. Bayesian games: Analyzing incomplete information in a strategic form. 11-12. Signaling games and sequential equilibrium: Analyzing information transmission in an extensive form. 13-14. Applications and extensions II.
15. Final examination (理解度確認セッション)

Topics to be covered in A&E (but not limited to): Evolutionary dynamics in games; Bargaining theory; Global games; Pricing strategy; Contract theory/mechanism design/social choice.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

English. For students with strong math but weak English, this course would be a good introduction to academic communication in English.

6．成績評価方法/Evaluation method：

Note that the evaluation policy below assumes that this course will be held as an online course with on-demand video lectures, just as in the last Fall semester. If we change the class delivery method, the evaluation method may change accordingly.

The

７．教科書および参考書/Textbook and references：

To be announced on the course's LMS page.

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

<<MUST READ; the followng registration steps will be needed whatever the class delivery method will be.>> We will use an external LMS (Canvas), which is not synced with Tohoku's course enrollment system, even if we resume face-to-face lectures. It needs i

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

Before each lecture, a student is expected to read the lecture note and the assigned part of the textbook; serious preparation is regularly monitored through online quizzes. There may be additional reading materials for preparation prior to each class mee

１０．その他/In addition：

Microeconomics II/Microeconomics II

担当教員/Instructor：図斎　大/DAI ZUSAI
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 １講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO561E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

!!!<< This course will use an external online service Canvas as an online classroom platform (a Learning Management System), regardless of BCP level. Follow the instruction in the URL section of this syllabus. >>!!!

This course covers "price theory," i.e., theory of optimal decisions especially on consumptions and productions and market equilibrium theory. From various numerical and mathematical exercises, we will study the basic idea and applications of market equilibrium models. More details and an updated information will be posted at https://sites.google.com/view/zusaiTohoku around mid March.

２．学修の到達目標/Goal of study：

1. You will gain basic knowledge on price theory.
2. With casual usage of calculus, you will be familiar with the reasoning and implications of rational decision and market equilibrium.
3. You will learn how to fit a standardized mathematical model into a variety of situations.
4. You will learn how to gain intuition behind economic theory and to communicate it with helps of figures, diagrams and mathematical equations.

Caveat: The level of this course is modestly set to ensure the very minimum understanding of microeconomic theory needed for ANY graduate students in economics and management science, regardless of their majors or future plans after the master program. Anyone who wants to gain a potential to do academic research in modern economics seriously and to go to a Ph.D. program should also take EB331/EM2524 Mathematics for Formal Economic Modeling and Analysis as well. (The course will provide necessary mathematics for truly graduate-level study of modern economics and also present formal modeling of economic theory.)

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Lecture delivery method: Given that most of GPEM students are still abroad, this course will be conducted wholly online. That is, lectures of this course will be delivered with recorded videos, animated slide shows, and online communication on an external classroom platform, Canvas.

Course contents:

Part 1 Consumer theory

1. Setting up a consumer's problem. 2. Optimal consumption. 3. Demand function. 4. Variations of optimal consumption problems. 5. General equilibrium in an exchange economy

Part 2 Producer theory

6. Setting up a price-taking producer's problem (and the short test for Part 1). 7. Cost minimization. 8. Profit maximization and supply function. 9. Partial equilibrium. 10. General equilibrium in production economy.

Part 3 Deviations

11. Monopoly (and the short test for Part 2). 12. Oligopoly. 13. Externality. 14. Competitive equilibrium under asymmetric information.

15. Final examination (理解度確認セッション)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English. For students with strong math but weak English, this course would be a good introduction to academic communication in English.

６．成績評価方法/Evaluation method：

Quizzes 30%. An online quiz will be given in order to confirm careful reading of the lecture notes and serious attendance (watching) of the lecture.

Tests 40%. Online tests will be given for each of the first two parts. When necessary, there may be a

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Intermediate Microeconomics (Ed.9)	Hal Varian	WW Norton	2019	978-0-393-68987-7	Required

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

<<MUST READ>> We will use an external LMS (Canvas), which is not synced with Tohoku's course enrollment system, even if we resume face-to-face lectures. It needs invitation from the instructor and students' own registration. To get an invitation, you must

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

Before each lecture, a student is expected to read the lecture note and the assigned part of the textbook; serious preparation is regularly monitored through online quizzes. There may be additional reading materials for preparation prior to each class mee

１０．その他/In addition：

The current edition of Varian is Edition 9: you may buy an electric copy of the book from the publisher's website https://wwnorton.com/ at a reasonable price. Edition 8 is acceptable, though further older editions are NOT recommended.

Macroeconomics I/Macroeconomics I

担当教員/Instructor：小寺　寛彰/TOMOAKI KOTERA
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO562E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The goal of this course is to study standard dynamic macroeconomic models. The course makes extensive use of mathematics, mainly differential calculus. This allows both a deeper analysis of the microeconomic foundations of macroeconomic theory, and a more quantitative analysis of the models presented.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Upon completing this course students will be able to:
・ Explain how the economy works at aggregate level and how total output, employment, wages, interest rates are determined.
・ Describe the factors underlying economic growth, consumption/savings behavior, and business cycles.
・ Assess rigorously the effects of various government policies and outside shocks on these features of the economy.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
This class is an on-demand one. All materials (videos/slides/assignments) are posted in GoogleClassroom. A class code is xebj4q5.

Schedule:
(1) General Equilibrium Model (Static).
(2) Solow Growth Model.
(3) Optimal Growth Model.
(4) Endogenous Growth Model.
(5) Consumption-Savings.
(6) Dynamic General Equilibrium Model.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Assignments (15%)
Final Examination (85%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Advanced Macroeconomics	David Romer	McGraw Hil	2012	9780073511375	参考書
Recursive macroeconomic theory	Lars Ljungqvist, Thomas J. Sargent	MIT Press	2012	9780262018746	参考書
he ABCs of RBCs : an introduction to dynamic macroeconomic models	George McCandless	Harvard University Press	2008	9780674028142	参考書
Introduction to modern economic growth	Daron Acemoglu	Princeton University Press	2009	9780691132921	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
This class might be on-demand. I will have made a final decision in September in Google classroom.
Classroom code is nwkeawo.

Macroeconomics II/Macroeconomics II

担当教員/Instructor：小寺　寛彰/TOMOAKI KOTERA
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO563E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

The goal of this course is to study standard dynamic macroeconomic models. The course makes extensive use of mathematics, mainly differential calculus. This allows both a deeper analysis of the microeconomic foundations of macroeconomic theory, and a more quantitative analysis of the models presented.

２．学修の到達目標/Goal of study：

Upon completing this course students will be able to:
・ Explain how the economy works at aggregate level and how total output, employment, wages, interest rates are determined.
・ Describe the factors underlying economic growth, consumption/savings behavior, and business cycles.
・ Assess rigorously the effects of various government policies and outside shocks on these features of the economy.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

This class is a continuation of Macroeconomics I. This class is an on-demand one. All materials (videos/slides/assignments) are posted in GoogleClassroom. A class code is cjpaugy.

Schedule:
(1) Real Business Cycle Model.
(2) Money.
(3) Overlapping Generations Model.
(4)Labor Search and Matching.
(5)Macroeconomics of COVID-19.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

Assignments (15%)
Final Examination (85%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Advanced Macroeconomics	David Romer	McGraw Hil	2012	9780073511375	参考書
Recursive macroeconomic theory	Lars Ljungqvist, Thomas J. Sargent	MIT Press	2012	9780262018746	参考書
The ABCs of RBCs : an introduction to dynamic macroeconomic models	George McCandless	Harvard University Press	2008	9780674028142	参考書
Introduction to modern economic growth	Daron Acemoglu	Princeton University Press	2009	9780691132921	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

【Important!】
This class will be on-demand.
Classroom code is mui3cci.

Business Management I/Business Management I

担当教員/Instructor：石岡　賢/MASARU ISHIOKA
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 ６講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN560E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Business management I is using Google Classroom. All study instructions are provided in the online system.
There is NO core class time schedule, and students access Google Classroom from any place, any time.
Google Classroom Code# kyeeuty

Principles of Business Management focusing on the processes of strategic management and intermediate terms such as management method, human resource management, leadership, controlling, strategy, marketing, finance, SCM, value chain, and CSR. Topics also, include the current trend and history of the business management.
※ The course is provided for (but not limited to) the students of GPEM program, and conducted in English.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Understanding the basic business management concept and methods. Recognizing the practical business management methods in the current business and industries.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Business management I is using Google Classroom.
All study instructions are provided in the online system.
There is NO core class time schedule, and students access Google Classroom from any place, any time.

Google Classroom Code# kyeeuty

For the class, students need to prepare and submit several presentation files and presentation summary. The course works includes following activities, selecting the company for case study, introducing their business, analyzing the current management activities, suggesting the future management options for the selected companies, and preparing report papers.

The class requires individual activities, experimental activities, and individual presentations/demonstration on current and future management methods for selected companies and industries.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation file, Research Paper, and others.
Others might include homework, case studies, contribution and participation in the class, peer evaluation, and others.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
For the class, it requires research, preparing for the presentation, and presentation summary.
Students need to have a thorough knowledge of Power Point.

１０．その他/In addition：
Office hours by appointment.

Topics in Economic Theory/Special Lec Topics in Economic Theory

担当教員/Instructor：図斎　大/DAI ZUSAI
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 １講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM675E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

!!!<< This course will use an external online service Canvas as an online classroom platform (a Learning Management System), regardless of BCP level. Follow the instruction in the URL section of this syllabus. >>!!!

This course is to give an extensive training in understanding state-in-art economic theory (in any field) so deeply with a critical but constructive mind that students would become able to make non-trivial and innovative applications of the theory or to make contributions to the theory. Targeting students of this course should (i) have already mastered basics (at master level) on game theory and basic mathematical skills and (ii) aims to becoming academic scholars in economics or mathematical social sciences/engineering; see the prerequisites below. However, the students can be Ph.D. students of our graduate program or very confident, ambitious and (most of all) well-prepared undergraduate students who have already learned the contents of gradulate-level core courses and seriously consider to going to highly ranked Ph.D. programs.

Basically this course will be a reading course, either reading of a set of papers with presentations of summaries of those papers or reading of some certain book with discussion in quite a detail of the book. With the selection of the topic and the logistic of the course, it will be determined near the end of the summer on which way we will go in this year, depending on the class delivery method and the current interests of the instructor and the students who have made credible commitments to taking this course. Anyone wishing to take this course are encouraged to make a contact with the instructor and show eagerness of taking the course, her/his own research interests and academic achievement and goals, by sending an e-mail at zusai@tohoku.ac.jp during the summer (say July to early August, but not before July, as it is too early). The final plan will be published as a revised syllabus before the beginning of Fall semester and posted at the instructor's website https://sites.google.com/view/zusaiTohoku as well as Student Affairs Information System of the university.

Prerequisites: solid understanding of master-level game theory and confidence in mathematical literacy (rather than mere calculation power). Economics students who have interests in this course but are not confident in math or game theory should plan to take this course in the next year after successfully completing graduate-level courses (necessarily) on game theory (Micro I in Fall) and (ideally) on mathematics for economics (EB331/EM2524 Mathematics for Formal Economic Modeling and Analysis, to be taught in Spring). This course is NOT recommended for students who have not mastered basic concepts such as normal/extensive form representation of games, domination of strategies, Nash equilibria, backward induction and subgame perfect equilibria. While those basic terms should be covered at any undergraduate game theory course, GPEM students can learn them (and more) at Micro I; so, take it first before trying this course. On the other hand, a student (possibly, second-year master and doctoral students) may find this course as good training for reading of formal mathematical writing in economic theory as well as themed learning in game theory and its leading-edge applications.

２．学修の到達目標/Goal of study：

Through discussions and exercises, you will develop and improve literacy of research papers so to decipher underlying structures of decision making and social interaction from mathematical or algorithmic description of a model.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

The final plan and the details will be fixed around the end of the summer. The lecture plan below is a temporary plan:

Lec 1: Orientation and organizational meeting.
Lec 2: (if necessary) quick review of any needed mathematics, etc. (to give clearer, directed vision of those necessary basics for those who have learned those basics before, not for someone who (wrongly) take the course despite lack of prerequisite knowledge).
Lec 3-13: students' presentations and in-class discussions
Lec 14: wrap up
Lec 15: final examination

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English. For students with strong math but weak English, this course would be a good introduction to academic communication in English.

６．成績評価方法/Evaluation method：

The grades will be determined from quality of a student's own presetations, a record of class attendance,

contributions to in-class discussions and results of the final examination and (if any) homework assignments, quizzes, etc. The grading formula will

７．教科書および参考書/Textbook and references：

TBA

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

<<MUST READ; the followng registration steps will be needed whatever the class delivery method will be.>> We will use an external LMS (Canvas), which is not synced with Tohoku's course enrollment system. It needs invitation from the instructor and student

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

There may be additional reading materials for preparation prior to each class meeting and also for review after it. Besides, students are expected to engage in online discussions.

１０．その他/In addition：

Math for formal econ modeling/Special Lec Mathematics for formal economic modeling and analysis

担当教員/Instructor：図斎　大/DAI ZUSAI
曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 １講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM675E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

!!!<< This course will use an external online service Canvas as an online classroom platform (a Learning Management System), regardless of BCP level. Follow the instruction in the URL section of this syllabus. >>!!!

This course will give an organized training in literacy of abstract mathematics necessary for rigorous understanding of economic and game theory. Specifically about mathematical contents, we will build up calculation skills and fundamental concepts needed for constrained optimization. The first target of this course is graduate students in economics and mathematical social sciences who are planning (or currently doing) Ph.D.-level study (not necessarily in theoretical or mathematical study but possibly in statistical/empirical study with state-of-art methods) but are not confident in reading and writing formal mathematical papers beyond mechanical calculation. The second target is students who are confident in mathematical literacy but not in English communication. Prior knowledge of mathematical logic and basic calculus is required. More details and an updated information will be posted at https://sites.google.com/view/zusaiTohoku.

２．学修の到達目標/Goal of study：

In any field of modern economics, mathematics has been used not only for numerical computation but more essentially as the language to convey ideas with solid logic. Abstraction of mathematical models leads economists to extracting crucial essence of economic problems to highlight general insights. Rigor of mathematical logic allows economists to easily capture a crystal clear image of the linkage between assumptions, implications and limitations behind economic arguments. Abstraction and rigor are what economics stands out as the king of modern social sciences. Anyone who wants to understand truly academic, front-end research in economics needs literacy of abstract and formal mathematics, beyond quantitative calculation.

Through learning basic mathematical techniques with delicate attentions to every step in logic and every piece of formal writing, a student in this course will acquire literacy to read academic writings in economics as well as skills to apply these techniques to formal models in economic theory. For this purpose, we put emphasis on accuracy of logic and formality of writing rather than mechanical calculation.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Lecture delivery method: Given that most of GPEM students are still abroad, this course will be conducted wholly online. That is, lectures of this course will be delivered with recorded videos, animated slide shows, and online communication on an external classroom platform, Canvas.

Course contents:
1. Introduction and diagnostic test
   Part 1 Fundamental concepts
2. Logic and sets. 3. Utilizing definitions of function and optimum.
   Part 2: Properties of functions
4. Monotonicity and homogeneity. 5. Convexity.
   Part 3: Topology
6. Limits. 7. Topological properties of sets. 8. Continuity and topology.
   Part 4: Differentiation
9. Differentiation as linearization. 10. Differentiation techniques.
   Part 5: Optimization
11. Unconstrained optimization. 12. Constrained optimization.

13-14. Review and applications
15. Final examination (理解度確認セッション)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English. For students with strong math but weak English, this course would be a good introduction to academic communication in English.

６．成績評価方法/Evaluation method：

Quizzes 30%. An online quiz will be given for each part in order to confirm careful reading of the textbook.
HW assignments 50%. HW assignments---mostly proof problems---will be given as training of your mathematical writing skills.
Final exami

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Introduction to formal mathematics for economic modeling	Dai Zusai	Book manuscript	Required (provided on the course website)

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

<<MUST READ>> We will use an external LMS (Canvas), which is not synced with Tohoku's course enrollment system. It needs invitation from the instructor and students' own registration. To get an invitation, you must respond to the request form at https://s

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

Before each lecture, a student is expected to read the assigned part of the textbook; serious preparation is regularly monitored through online quizzes. There may be additional reading materials for preparation prior to each class meeting and/or for revie

１０．その他/In addition：

The required textbook (a book manuscript by the instructor) will be distributed on Canvas, the course LMS.

Introduction to management/Special Lec Introduction to management

担当教員/Instructor：ＮＧＵＹＥＮ　ＫＩＭ　ＮＧＡＮ/NGUYEN KIM NGAN
曜日・講時/Day/Period：前期 木曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM675E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Class code: huogm5a (All students have to register this Google classroom to update class notifications). Day & period: Thursday, 14:40 - 16:10 (Japan time)

Management is essential for business success in all types and sizes of organizations, organizational levels, and work areas. Once students graduate from universities and begin their careers, they will either manage or be managed. In any case, understanding management is significant.
This course introduces effective management theories and focuses on developing students' skills to work in a global workplace or become start-up leaders.

2．学修の到達目標/Goal of study：

At the end of this course, students are expected to
・Understand the basics of managing in today's workplace, including external environmental factors, organization's culture, global environment; managing diversity, social responsibility, change, and disruptive innovation
・Understand the four basic functions of management (planning, organizing, leading, controlling) and factors influencing the decision making
・Develop the five key skills that employers are looking for: critical thinking, communication, collaboration, knowledge application, and social responsibility

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Class code: huogm5a (All students have to register this Google classroom to update class notifications). Day & period: Thursday, 14:40 - 16:10 (Japan time)

In this course, while the lecturer explains the fundamental theories, students have to discuss problem-solving through cases to deepen their understanding and improve skills. The tentative schedule is as follows.

1. Introduction
2. Influence of the External Environment and the Organization's culture
3. Managing in Global Environment and Diversity
4. Managing Social Responsibility and Ethics
5. Managing Change and Disruptive Innovation
6. Planning: Foundations of Planning & Management strategy
7. Planning: Entrepreneurial Ventures
   & Mid-term wrap-up (group presentations)
8. Organizing: Designing Organizational Structure
9. Organizing: Managing Human Resources
10. Organizing: Managing Groups and Teams
11. Leading; Managing Communication
12. Leading: Understanding and Managing Individual Behavior
13. Leading: Motivating employees
14. Leading: Being an Effective Leader
15. Controlling: Monitoring and Controlling
    & Final-term wrap-up (group presentations)

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

English

6．成績評価方法/Evaluation method：

Attendance & Participation 50%; Group presentations 30%; Weekly individual assignment 20%. No written examinations

7．教科書および参考書/Textbook and references：

Management	Stephen P.Robbins & Mary Coulter	Pearson	2021	9781292340883	Textbook

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
After classes, students have weekly individual assignments. Besides, they also need to prepare for group presentations.

１０．その他/In addition：
Class code: huogm5a (All students have to register this Google classroom to update class notifications). Day & period: Thursday, 14:40 - 16:10 (Japan time)

How to describe the class environment? friendly and interactive
What to pay attention to:
・Registration should be done before the deadline (updating later)
・During the semester, the class organization is subject to change according to Covid 19 situations
・Further information is also available via the campus community

Social Research Methods/Special Lec Social Research Methods

担当教員/Instructor：ＮＧＵＹＥＮ　ＫＩＭ　ＮＧＡＮ/NGUYEN KIM NGAN
曜日・講時/Day/Period：後期 木曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM675E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Class code: lkcb42w (All students have to register this Google classroom to update class notifications). Day & period: Thursday, 14:40 - 16:10 (Japan time)

This course aims to provide the understanding of social research methods. It focuses on developing students' skills to conduct their social research.

２．学修の到達目標/Goal of study：

At the end of this course, students are expected to
・Understand when and which specific research method should be used.
・Grasp the concepts and implementation guidelines in qualitative, quantitative and mixed methods
・Know how to draw a roadmap for conducting the social research from ideas to research design, planning and implementation

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Class code: lkcb42w (All students have to register this Google classroom to update class notifications). Day & period: Thursday, 14:40 - 16:10 (Japan time)

In this course, while the lecturer gives lessons, students have to discuss in groups and present their ideas to deepen their understanding and improve skills. The tentative schedule is as follows.

1. Social Research Process & Strategies
2. Research Design
3. Planning a Research Project
4. Reviewing the Literature
5. Quantitative Research 1: process & sampling
6. Quantitative Research 2: asking questions
7. Quantitative Research 3: Structure observation & Content analysis
8. Quantitative Research 4: Quantitative data analysis
9. Qualitative Research 1: process & sampling
10. Qualitative Research 2: interviewing
11. Qualitative Research 3: language and document analysis
12. Qualitative Research 4: Qualitative data analysis
13. The Quantitative/Qualitative Divide & mixed methods
14. Writing up social research
15. Final report submission

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

Attendance & Participation 50%; Weekly assignment 25%; Final report 25%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Social Research Methods	Bryman, A.	Oxford University Press	2012	9780199588053	Textbook

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

After classes, students have weekly individual assignments. Besides, they also need to prepare for final report.

１０．その他/In addition：

Class code: lkcb42w (All students have to register this Google classroom to update class notifications). Day & period: Thursday, 14:40 - 16:10 (Japan time)

How to describe the class environment? friendly and interactive

What to pay attention to:

・Registration should be done before the deadline (updating later)
・During the semester, the class organization is subject to change according to Covid 19 situations
・Further information is also available via Instruction Section Bulletin Board (教務係掲示板)
・Provide necessary measures for students who have difficulty in attending classes, such as those who are working.
・Students who need assistance should contact the Instruction Section prior to the beginning of the semester.

Empirical Macroeconomics I/Empirical Macroeconomics I

担当教員/Instructor：ＢＡＺＺＡＯＵＩ　ＬＡＭＩＡ/BAZZAOUI LAMIA
曜日・講時/Day/Period：前期 木曜日 １講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM675E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

The course will provide a presentation of econometric techniques that are frequently used in empirical macroeconomics. Practical methods to uncover relationships between macroeconomic variables will be studied and some techniques will be implemented using data. Applications will cover various topics such as the Solow growth model and the interaction of fiscal policy with output. Specific readings will be assigned throughout the semester, following the progress of the class.

２．学修の到達目標/Goal of study：

The goals of this course are:

- Gaining a better understanding of the practical usefulness of econometrics in macroeconomic analysis;
- Enhancing the knowledge of relevant techniques and concepts necessary to conduct empirical research;
- Improving the ability to read and analyze current empirical research on macroeconomics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

1. Introduction on the intersection between macroeconomic theory and empirical analysis
2. Properties of Macroeconomic data and basic data handling
3. The classical linear regression model (an application with the Solow growth model)
4. Time series analysis and stationarity (application: forecasting with an ARMA model)
5. Granger causality
6. Vector autoregressions (example on the estimation of unidentified systems)
7. The identification problem in macro-econometrics (application on fiscal policy and output)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

Grading will be based on homework assignments (60%) and a final exam (40%). The first homework will be a data exploration project and the second homework will be related to time series analysis.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Applied Macro-econometrics	Favero, Carlo A	Oxford University Press	2001	9780198775836	Textbook
Time series analysis	Hamilton, James D.	Princeton university press	1994	9780691042893	Textbook
A guide to modern Econometrics	Verbeek, Marno	Wiley	2012	9781119951674	Textbook

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

https://sites.google.com/view/empiricalmacroeconomics

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

The class materials and supplementary readings will be posted on the class website.

１０．その他/In addition：

Empirical Macroeconomics II/Empirical Macroeconomics II

担当教員/Instructor：ＢＡＺＺＡＯＵＩ　ＬＡＭＩＡ/BAZZAOUI LAMIA
曜日・講時/Day/Period：後期 木曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM675E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This course will focus on the presentation of tools from time-series analysis and panel data econometrics and their application to empirical macroeconomic problems. The topics covered will include vector autoregressions and methods for the estimation of multivariate linear rational expectations models. Specific readings will be assigned throughout the semester, following the progress of the class.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The main objectives are as follows:
- Applying key methods for the treatment of macroeconomic data;
- Improving the ability to determine more suitable methods for specific macroeconomic problems;
- Gaining familiarity with research in modern empirical macroeconomics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
1. Introduction on Macro-econometric methodology
2. Trends, cycles and structural breaks in Macroeconomic data
3. Unit roots and stationary processes
4. Filtering approaches (output gap, underlying inflation)
5. Vector autoregressive models
6. Cointegration and error correction
7. The Lucas Critique and the limitations of VAR analysis
8. Solution and estimation of multivariate linear rational expectations models

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Grading will be based on homework assignments (60%) and a final exam (40%). The first homework will be on the properties of macroeconomic data and the second homework on VAR models.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Handbook of Research Methods and Applications in Empirical Macroeconomics	Hashimzade, N, and M. A. Thornton	Edward Elgar Publishing	2015	9781782545071	Textbook
Handbook of Applied Econometrics, Vol I: Macroeconomics	Pesaran, M.H. and M. Wickens	Wiley-Blackwell	1995	9781557862082	Textbook
Time series analysis	Hamilton, James D.	Princeton university press	1994	9780691042893	Textbook
Applied intermediate macroeconomics	Hoover, Kevin D	Cambridge University Press	2012	9780521763882	Textbook
Methods for Applied Macroeconomic Research	Canova, Fabio	Princeton university press	2007	9780691115047	Textbook

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://sites.google.com/view/empiricalmacroeconomics

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The class materials and supplementary readings will be posted on the class website.

１０．その他/In addition：

Spatial Economics/Spatial Economics

担当教員/Instructor：曽　道智/DAO-ZHI ZENG
曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 １講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM675E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
空間経済学は、伝統的な経済学に空間的要素を取り入れ、産業の集積や国際貿易などを解明する。この授業は近年著しい発展を見せた新経済地理学・新貿易理論に関する知見を重点的に紹介する。具体的には、国際経済学の新貿易理論、地域経済学の核・周辺地域モデルを紹介し、それらの応用例を講述する予定である。これらの内容を理解するには、ミクロ経済学の基礎知識が必要である。

英語で講義を行う。

Spatial economics clarifies regional industrial agglomeration and international trade by incorporating spatial factors into traditional economics. This lecture mainly focuses on New Economic Geography and New Trade Theory, which exhibit a remarkable development in recent years. Specifically, we introduce new trade theory of international economics and core-periphery models of regional economics, and then show their applications. To understand this course, you are expected to have some basic knowledge of microeconomics.

The lectures will be in English.

２．学修の到達目標/Goal of study：
基礎理論を学び、研究フロンティアの情報を把握する。
To learn the basic theory and understand the research frontier.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業にはGoogleClassroomを利用（情報科学研究科クラスコードxve5xkn, 工学研究科クラスコードtwkt47g, 経済学研究科クラスコード52nkarw, 経済学部クラスコードrlfkjyx）します。

1 序論
2 Dixit-Stiglitzの独占的競争モデル
3 一要素モデル: 自国市場効果
4 二要素モデル：労働と資本
5 新経済地理と均衡の安定性
6 核・周辺モデル
7 準線形モデル
8 労働費用がもたらす再分散
9 都市費用がもたらす再分散
10 多産業と企業関連モデル
11 異質性モデル
12 重力モデル
13 厚生測量
14 様々なNon-CES 研究
15 様々な応用

We use Google Classroom (Class Code xve5xkn in Graduate School of Information Sciences, Code twkt47g in Graduate School of Engineering, Code 52nkarw in Graduate School of Economics and Management, Code rlfkjyx in Faculty of Economics).

1 Introduction
2 The Dixit-Stiglitz monopolistic competition model
3 1-factor models: The home market effects
4 2-factor models: labor and capital
5 New Economic Geography & equilibrium stability
6 Core-Periphery model
7 Quasi-linear model
8 Re-dispersion by labor costs
9 Re-dispersion by urban costs
10 Multi-industry economy
11 Heterogeneity models
12 Gravity models
13 Welfare analysis
14 Non-CES studies
15 Various applications

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
英語 English

６．成績評価方法/Evaluation method：
授業への関与度(30%)、宿題(70%)に応じて評価する。
Students are evaluated based on the level of class participation (30%) and assignments (70%).

７．教科書および参考書/Textbook and references：

空間経済学	曽道智・高塚創	東洋経済新報社	2016	978-4492314852	教科書
The Spatial Economy	Fujita, M., Krugman P and Venables A.	MIT Press	1999	978-0262561471	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
http://www.se.is.tohoku.ac.jp/~zeng/index.html

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
1. 授業前に公開されるスライドに基づき予習を行う。
2. 授業後は宿題によって復習する。宿題の点数は最終成績の評価に使用される。

1. Slides are used to make a preparation of lectures.
2. Home works are used to review the lectures. They are also used to evaluate your final score.

１０．その他/In addition：
オフィスアワー
水曜日 16：30－18：00　他にメールあるいは電話等でアポイントメントをとれば、随時対応

Office hours
Wednesday 16:30-18:00 or by appointment.

経済実習Ⅰ/Internship Ⅰ

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM980J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
在学中に大学での授業を通じて修得した理論や知識を、企業やNPO、公的機関等の実社会で実践し体験する機会を提供する。それによって、経済・経営現象についての理解・関心を深め、ものの見方や考え方を養うと同時に、人格形成や将来のキャリア形成に役立てることを目的とする。

This class will provide you with the chance to apply the theory and the knowledge which you have obtained at our school for the real community of the business, the non-profit, and the government sector. Through the practical internship experience you can understand the economic and management world profoundly and exercise your own personality and career development.

2．学修の到達目標/Goal of study：
大学で修得した専門的知識を実社会の問題に結び付けて活用する能力を高められるようになる。また広い視野と考え方を身につけ、将来的なキャリアについて考えるヒントを得る。

This class aims to enhance your practical abilities to utilize the academic knowledge for real situations and then give you wider perspectives and some hints for you to consider your future career.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
インターンシップ科目の履修方法は他の科目と大きく異なるので、注意すること。
※Google Classroomを活用します（大学院の受講生については学部のクラスと合同ですので、下記の招待リンクから生徒登録しておいてください）。
https://classroom.google.com/c/NDY2NjAyNDE3OTM5?cjc=2vyo6wn

各種の関係書式もこちらを通じて配布します。

（1）第1学期または第2学期の履修登録期間中に学生用Webで、連続講義と同様に履修登録する。本科目の登録時の単位数は2単位のみとなっているが、原則次学期末の成績確定時に、実際に取得した単位数（2～4単位）の科目へ登録振替を行う。

（2）履修登録・変更期間終了後に、事前研修（第1学期登録の場合は6月頃、第2学期登録の場合は11月頃、学内で実施される）のクラス割り当て結果をClassroomに掲出するので、日程を確認し、該当クラスに参加する。
※事前研修のクラスは教室開催の予定ですが、本学BCPレベルにも拠りますので、Classroomからのお知らせ配信をチェックするようにしてください。

（3）各学期当初からインターンシップ公募情報をもとに受入機関を自ら探し、採用試験等を受ける。受入先が決まったら、すみやかに受入機関による協力承諾を取り付けた後、「インターンシップ実施届」を、必要証明書類を添付の上、教務係窓口に提出する。
※教務係インターンシップ専用メールアドレスにご送付ください。証明書類等の写しは携帯端末撮影のもので構いません。
eco-intern●grp.tohoku.ac.jp （：●は@に要置換え）

○インターンシップの公募情報については、キャンパス・コミュニティ、教務掲示版（とくに官公庁等による募集の場合）、本学キャリア支援センター（HP及び窓口）、各社HP，民間就職支援サイトほかで検索・入手が可能である。
参考：本学キャリア支援センター「インターンシップ希望者向け情報」
http://www.career.ihe.tohoku.ac.jp/ug_ma/info/intern

（4）就業体験期間中は、毎週「インターンシップ週間活動報告書」（週報）を作成する。
※受入機関ご担当者によるサインや押印は省略できます。その場合、ご担当者の所属機関アドレスから、上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスまで、各週分をまとめてメール送付いただくようにご依頼ください。

（5）就業体験終了後、受入機関に「インターンシップ受入機関所見」の送信を依頼する。
※受入機関ご担当者によるサインや押印は省略できます。ご担当者の所属機関アドレスから、上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスまで、メール送付いただくようにご依頼ください。

（6）週報、成果物及び「インターンシップ終了報告書」等の必要書類を教務係窓口に提出する。
※週報は（4）で述べたようにご担当者からメール送付いただくことが可能です。報告書については上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスに自らご送付ください。成果物等の写しは携帯端末撮影のもので構いません。

以上の関係書式は上記のGoogle Classroomの当該科目教材リストを通じて入手可能です。
その他、詳細は新年度版の学生便覧（抜粋）の「インターンシップ履修要領」を参照してください。

We will confirm you to have to attend the pre-internship training seminar held in our school and submit the designated series of documents to the Instruction Section before and after you take part in each internship program.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
○

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
担当教員は、出席簿等により事前研修に既参加であるかどうか、並びに「実施届」が提出済みであるか否か等の認定要件を確認した上で、提出資料ほかに基づいて履修単位数*及び成績を決定する。担当教員は記載内容の確認を要する場合など必要に応じて受講生と面談を行うことがある。なお成績評価の確定は基本的に次学期末となり、通常よりも成績表への反映が遅れるので留意すること。

*総時間数（受入機関での実習時間 × 1.5）：60 時間につき 2 単位（以降 30 時間ごとに 1 単位追加、4 単位まで）

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
以下の要件をすべて満たすプログラムに限って当該年度の単位修得を認める。

（１）受入機関が「公募」によって参加者募集を行っていること*
（２）受入機関での実習時間数が「４０時間以上」であること**
（３）当該年度の所定期間内に実施されるプログラムであること***
（４）本人が「学生教育研究災害傷害保険」等の保険・共済に加入していること
（５）受入機関が単位認定のための諸手続に協力することを承諾していること

＊　実体としてアルバイトや労務の提供ではなく、研修的要素を備えたインターンシップ

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
実習先で課題が与えられるような場合はその指示に従うこと

１０．その他/In addition：
問い合わせ先：東北大学経済学部・経済学研究科教務係　インターンシップ専用メール
eco-intern●grp.tohoku.ac.jp　（：●は@に要置換え）

経済実習Ⅰ/Internship Ⅰ

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM980J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
在学中に大学での授業を通じて修得した理論や知識を、企業やNPO、公的機関等の実社会で実践し体験する機会を提供する。それによって、経済・経営現象についての理解・関心を深め、ものの見方や考え方を養うと同時に、人格形成や将来のキャリア形成に役立てることを目的とする。

This class will provide you with the chance to apply the theory and the knowledge which you have obtained at our school for the real community of the business, the non-profit, and the government sector. Through the practical internship experience you can understand the economic and management world profoundly and exercise your own personality and career development.

２．学修の到達目標/Goal of study：
大学で修得した専門的知識を実社会の問題に結び付けて活用する能力を高められるようになる。また広い視野と考え方を身につけ、将来的なキャリアについて考えるヒントを得る。

This class aims to enhance your practical abilities to utilize the academic knowledge for real situations and then give you wider perspectives and some hints for you to consider your future career.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
インターンシップ科目の履修方法は他の科目と大きく異なるので、注意すること。
※Google Classroomを活用します（大学院の受講生については学部のクラスと合同ですので、下記の招待リンクから生徒登録しておいてください）。
https://classroom.google.com/c/NDY2NTg3ODc0MTIy?cjc=2ouxj6l

各種の関係書式もこちらを通じて配布します。

（１）第１学期または第２学期の履修登録期間中に学生用Webで、連続講義と同様に履修登録する。本科目の登録時の単位数は２単位のみとなっているが、原則次学期末の成績確定時に、実際に取得した単位数（２～４単位）の科目へ登録振替を行う。

（２）履修登録・変更期間終了後に、事前研修（第１学期登録の場合は６月頃、第２学期登録の場合は１１月頃、学内で実施される）のクラス割り当て結果をClassroomに掲出するので、日程を確認し、該当クラスに参加する。
※事前研修のクラスは教室開催の予定ですが、本学BCPレベルにも拠りますので、Classroomからのお知らせ配信をチェックするようにしてください。

（３）各学期当初からインターンシップ公募情報をもとに受入機関を自ら探し、採用試験等を受ける。受入先が決まったら、すみやかに受入機関による協力承諾を取り付けた後、「インターンシップ実施届」を、必要証明書類を添付の上、教務係窓口に提出する。
※教務係インターンシップ専用メールアドレスにご送付ください。証明書類等の写しは携帯端末撮影のもので構いません。
eco-intern●grp.tohoku.ac.jp （：●は@に要置換え）

○インターンシップの公募情報については、キャンパス・コミュニティ、教務掲示版（とくに官公庁等による募集の場合）、本学キャリア支援センター（HP及び窓口）、各社HP，民間就職支援サイトほかで検索・入手が可能である。
参考：本学キャリア支援センター「インターンシップ希望者向け情報」
http://www.career.ihe.tohoku.ac.jp/ug_ma/info/intern

（４）就業体験期間中は、毎週「インターンシップ週間活動報告書」（週報）を作成する。
※受入機関ご担当者によるサインや押印は省略できます。その場合、ご担当者の所属機関アドレスから、上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスまで、各週分をまとめてメール送付いただくようにご依頼ください。

（５）就業体験終了後、受入機関に「インターンシップ受入機関所見」の送信を依頼する。
※受入機関ご担当者によるサインや押印は省略できます。ご担当者の所属機関アドレスから、上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスまで、メール送付いただくようにご依頼ください。

（６）週報、成果物及び「インターンシップ終了報告書」等の必要書類を教務係窓口に提出する。
※週報は（４）で述べたようにご担当者からメール送付いただくことが可能です。報告書については上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスに自らご送付ください。成果物等の写しは携帯端末撮影のもので構いません。

以上の関係書式は上記のGoogle Classroomの当該科目教材リストを通じて入手可能です。
その他、詳細は新年度版の学生便覧（抜粋）の「インターンシップ履修要領」を参照してください。

We will confirm you to have to attend the pre-internship training seminar held in our school and submit the designated series of documents to the Instruction Section before and after you take part in each internship program.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
○

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
担当教員は、出席簿等により事前研修に既参加であるかどうか、並びに「実施届」が提出済みであるか否か等の認定要件を確認した上で、提出資料ほかに基づいて履修単位数*及び成績を決定する。担当教員は記載内容の確認を要する場合など必要に応じて受講生と面談を行うことがある。なお成績評価の確定は基本的に次学期末となり、通常よりも成績表への反映が遅れるので留意すること。

*総時間数（受入機関での実習時間 × 1.5）：60 時間につき 2 単位（以降 30 時間ごとに 1 単位追加、4 単位まで）

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
以下の要件をすべて満たすプログラムに限って当該年度の単位修得を認める。

（１）受入機関が「公募」によって参加者募集を行っていること*
（２）受入機関での実習時間数が「４０時間以上」であること**
（３）当該年度の所定期間内に実施されるプログラムであること***
（４）本人が「学生教育研究災害傷害保険」等の保険・共済に加入していること
（５）受入機関が単位認定のための諸手続に協力することを承諾していること

＊　実体としてアルバイトや労務の提供ではなく、研修的要素を備えたインターンシップ

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
実習先で課題が与えられるような場合はその指示に従うこと

１０．その他/In addition：
問い合わせ先：東北大学経済学部・経済学研究科教務係　インターンシップ専用メール
eco-intern●grp.tohoku.ac.jp　（：●は@に要置換え）

Career Development/Career Development

担当教員/Instructor：中村　好伸/YOSHINOBU NAKAMURA
曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM660E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

This course, basically, classes will be held face-to-face. Depending on the corona infection situation, it will be an online class live lecture via Zoom, please check Google Classroom oqcwqzw.

This course offers the opportunity to learn theories of basic career development.
Also, to acquire basic knowledge of Japanese society, typical Japanese companies as well as multinational companies, useful in developing know-how and skills to be later used in job-hunting activity. In addition, by introducing the concepts of career development and company lifestyle, through the curriculum and active classroom discussion this course will also give valuable insight toward selection of one's future career. Further, this course will offer practical guidance in matters of Japanese business etiquette, and essential tips for effective resume preparation, as well as an understanding of company meeting protocol and polishing one's presentation skills.

２．学修の到達目標/Goal of study：

1. Students, to learn the basic theories of career development that can be applied to the future of social life.
2. Opportunity for enrollee to consider work as existing both in the framework of business society as well as together with one's life overall.
3. Goal is to gain the necessary knowledge and improve skill at interpersonal relations to become a fulfilled member of society and enhance one's value as a perspective employee.
4. Master communication skills for information gathering regarding job-hunting activity about Japanese companies or other multinational companies.
5. Wright a short essay the title "My Future Career Plan starting at present up to the next ten to twenty years".
6. Show good presentation skill, by final presentation same title as the essay in the class.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

The course will be interactive and experience-based, so positive and pro-active participation of the self-motivated enrollee is both encouraged and expected.
The course will aim to give the enrollee the ability to shape and guide his/her career by building on one's own experience, led by an instructor with a wealth of long-term job experience in personnel matters at a major Japanese multinational corporation, who will work with enrollee to assist and give advice and tips throughout the duration of the course.
Depending on content, course assignments may be either individual or team based, allowing enrollees the opportunity to develop independently as well as hone effective teamwork skills. This course also plans to invite special guest lecturers such as experienced industry executives and human resource managers to give valuable practical advice and insight to the enrollee.

1) October 4th
Introduction
Lecturer's self-introduction and explanation of the coursework objectives and way of proceeding. Enrollees will also be asked to introduce themselves, so that all may be aware of each other's background and experience. In this first segment, the course will examine how to effectively gather information about a prospective company and how to evaluate company summaries.
Distribution & Assignment
D：Copy of Syllabus by LMS
Assignment ：Send Self-introduction to lecturer by e-mail.
To yoshinobu.nakamura.b3@tohoku.ac.jp and yoshinakamura100@bea.hi-ho.ne.jp

2) October 11th
Overview of Career Development Theories
The basic theory of career development
Career Development Theories of the past 100 years
Distribution
：The Career Interest Questionnaire

3) October 18th
Career planning
Know yourself first - where do I want to go and what have I done so far to get there?
Distribution: The Career Interest Questionnaire Result Sheet
My Life & Career Planning Work Sheet
A: "Lean In" Ch.2&4 :Sheryl Sandberg 1 page after reading report

4) October 25th
Self management
Self-understanding for future your life-
Make Personal history curve

(your life-line and motivation curve)

5) November 1st
Japanese corporations: The Basic Principle of Japanese Management.
Features and characteristics of a typical Japanese management system
Distribution & Reading assignment
D：Copy of Japanese Human Resource Management Ch. 1&15 :Hideo Ishida

6) November 8th
Japanese Human Resource Management practices
Japanese Human Resource Management :Hideo Ishida
Distribution & Reading assignment：1 page after reading report
D：21st-Century Japanese Management Ch.4&9： J C. Abegglen
D :Social & Cultural Background of Japanese Management

7) November 15th
A look at Japanese companies at present
A look at why Japanese companies hiring non-Japanese employees, and what these companies hope to gain from hiring exchange students to Japan

8) November 22nd
The Japanese employment practices in Japan
Regular annual hiring and in-house human resource development
Distribution： Career Option Work Sheet

9) November 29th
Learning more about Japanese companies
In what type of companies are you most interested? In what kind of work?
How to find out for what type of company and jobs you may be best suited

10) December 6th
Japanese business etiquette
Keys to success in working effectively in a Japanese company with local employees
Distribution & Assignments: Quiz Seating order
:Preparing for the Job Search
Please make Your Job Hunting Resumes to your interest company with letter.
Send by e-Mail by weekend and bring a print copy to the next class

11) December 13 th
Job Resumes
How to draft a polished and effective job-hunting resume.
Distribution & Assignments: Sample Resumes and Cover Letter
A: Interview Work Sheet & make answer ideas to next class

12) December 20th
Job Interviews
Types of questions you may be asked, and examples of effective responses.
Course will involve enrollees in simulated job-interviews to hone essential interview skills.
Distribution
: THE SHIFT The Future of Work Author: Lynda Gratton
: Interviews
13) December 27th
Final Presentation 1st group
"My Future Career Plan" five to ten years from now. Use PPT.

14) January 10th
Final Presentation 2nd group
"My Future Career Plan" five to ten years from now. Use PPT.

15) January 17th
Final Presentation (continued) 3rd group
"My Future Career Plan" five to ten years from now.
Wrap up Class.
Distribution: “Willing to Learn” by K.Matsushita.
THE 100 Year Life :Living and Working in an Age of Longevity portion
Author: Lynda Gratton & Andrew Scott

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
○Based on the instructor's practical work and overseas experience at a major electrical equipment manufacturer, he will also touch on how management activities are carried out in an actual company.

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

There will be no written tests.
Class Attendance　10%
Participation in class discussion, etc.　20%
Assignments and homework　20%
Final presentation　20%
A short essay of the title "My Future Career Plan" (10-20 pages in length).
To be su

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Japanese Human Resource Management Ch. 1&15:	Hideo Ishida,	Keio Univ. Sangyou Kenkyu-jo	1999
21st-Century Japanese Management Ch.4&9:	J C. Abegglen	Macmillan	2006
THE SHIFT The Future of Work portion	Lynda Gratton	Collins	2011
THE 100 Year Life :Living and Working in an Age of Longevity portion	Lynda Gratton & Andrew Scott	Bloomsbury	2016
Lean In: Women, Work, and the Will to Lead portion	Sheryl Sandberg	WH Allen	2013

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

Students should
・Be prepared for each class atleast 1hour.
・Complete all assignments submitte on time
・Participate effectively and with energy in class exercises

１０．その他/In addition：

Classes will be held face to face at Kawaauchicampas.It will be held online depending on the situation of Corona.
Details regarding the schedule may subject to change.

Microeconomics I/Microeconomics I

担当教員/Instructor：図斎　大/DAI ZUSAI
曜日・講時/Day/Period：Fall Thu. 1
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO560E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

!!!<< This course will use an external online service Canvas as an online classroom platform (a Learning Management System), regardless of BCP level. Follow the instruction in the URL section of this syllabus. >>!!!

Modern economics stands on formal mathematical models that formulate rational decision making of individual actors and their interdependence in the economy. In this course, we start the study of such formal economic models by focusing on general, abstract theory on interdependent relationships between rational decision makers, i.e., game theory. Game theory is a necessary component of the study of modern economics. So, anyone who plans to study modern economics should take both this course and Micro II, as well as other core courses in macroeconomics and econometrics. Particularly, Micro II and any of my other graduate courses will assume mastery of the contents to be taught in Micro I. More details and updated information (if any) will be posted at https://sites.google.com/view/zusaiTohoku until the first day of the lecture; after that, all the information and the class contents will be solely posted on the course Canvas website.

2．学修の到達目標/Goal of study：

In Micro I, emphasis is on logical rigor, formalism, and abstraction behind economic models. This course shall teach essential skills for formulation and analysis of economic modeling and basic knowledge of various economic models for your future academic research. Therefore, the ultimate goal of this course is not only to provide knowledge and techniques in game theory, but also to get you familiar with economic modeling in various aspects, such as formal representation of a mathematical model, assessment of the most suitable solution concept for each model, mathematical analysis of the model with rigorous logic, and evaluation of scopes and limitations of the modeling and analytical methodology. Throughout this course, it is emphasized to understand the underlying economic incentives through analysis of costs and benefits, combined with deciphering cognitive constraints for economic agents in information acquisition, forecasting of other economic agents' decisions and statistical inference under limited information.

Basic calculation skills in calculus and serious attitude toward accurate formalism and logical rigor are necessary, while advanced knowledge in mathematics or mechanical horsepower for complicated calculation are not much. It is desirable that you have been exposed to elementary basics of game theory at least at the extent that is covered in a typical undergraduate "microeconomic principle/introductory microeconomics" textbook (e.g. Hubbard & O'Brien, Krugman & Wells), since this graduate course will pay more attention to giving fluency with mathematical formulation and analysis of economic models than just simply giving knowledge of economic theory.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Lecture delivery method: to be determined during the summer and to be annoounced on the revised syllabus before the beginning of the fall semester. The current syllabus (esp. the course contents below and "evaluation nethod") assumes that it will be held as an online course with on-demand video lectures, just as in the last Fall semester.

Course contents:
Part 1: Game theory as multi-agent optimization theory (Games under complete information)
1. Introduction: Quick overview of game theory, and individual decision problems as a basis. 2. Strategic form: Basic modeling of strategic situations. 3. Nash equilibrium: Basic solution concept. 4. Mixed strategy: Modeling strategic randomization. 5. Extensive form and backward induction: Modeling sequential strategic interactions. 6-7. Applications and extensions I.
Part 2: Game theory on limited information and statistical inference (Games under incomplete information)
8. Information set and subgame perfection: Analyzing imperfect information in an extensive form. 9. Repeated games: Analyzing repeated interactions. 10. Bayesian games: Analyzing incomplete information in a strategic form. 11-12. Signaling games and sequential equilibrium: Analyzing information transmission in an extensive form. 13-14. Applications and extensions II.
15. Final examination (理解度確認セッション)

Topics to be covered in A&E (but not limited to): Evolutionary dynamics in games; Bargaining theory; Global games; Pricing strategy; Contract theory/mechanism design/social choice.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

English. For students with strong math but weak English, this course would be a good introduction to academic communication in English.

6．成績評価方法/Evaluation method：

Note that the evaluation policy below assumes that this course will be held as an online course with on-demand video lectures, just as in the last Fall semester. If we change the class delivery method, the evaluation method may change accordingly.

The scores will be aggregated as follows:

OVERALL= 0.30×QUIZ +0.30×HW +0.40×EXAM,

where QUIZ = the average score of review quizzes, HW = the average score of HW assignments, and EXAM = the final exam score. The "average" score is calculated by dividing your total earned score (including bonus points) by the total possible full score (excluding bonus points).

There will be one final exam during the examination period (理解度確認セッション). In addition, there will be HW assignments for each of Parts 1 and 2. The homework will be given, collected (or conducted as an online quiz) and returned through the course's LMS. You must carefully read the instructions for submission. Any violation of the instructions will be severely penalized or even not accepted without chance of resubmission. When necessary in grading and advising, there may be an online follow-up interview, which may be used as a factor of grading.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

To be announced on the course's LMS page.

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

<<MUST READ; the followng registration steps will be needed whatever the class delivery method will be.>> We will use an external LMS (Canvas), which is not synced with Tohoku's course enrollment system, even if we resume face-to-face lectures. It needs invitation from the instructor and students' own registration. To get an invitation, you must respond to the request form at https://sites.google.com/view/zusaiTohoku during the first week of the semester. (There will be a graded quiz based on the lecture video from Week 2. Therefore, you will lose scores if you delay the request.) Apart from this, to get a credit of this course, you must also complete the regular course enrollment process, following the administrator's instruction. So, BOTH THE TWO STEPS are needed and must be completed at your own responsibility. In case a student fails to complete the request form and also forgets to notify the intention of withdrawal to the instructor, the student will automatically receive a failing grade, not withdrawal.

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

Before each lecture, a student is expected to read the lecture note and the assigned part of the textbook; serious preparation is regularly monitored through online quizzes. There may be additional reading materials for preparation prior to each class meeting and/or for review after it.

To learn economic theory, careful reading is only just the very starting point and far from getting full mastery. For this, you must practice the theory by solving exercise problems. Homework will be kept at the minimum in order to efficiently evaluate your understanding and steady learning while giving you flexibility on your workload and schedule; yet, you are expected to try more exercises spontaneously than assigned as HW in order to master the contents of the course. I will make a suggestion of non-graded exercise problems; you are supposed to try those suggested exercises after each lecture. You should keep all your works for this course until receiving the final overall grade of this course , in case that I ask you to show how you study for this course (possibly to give an individual advice or to solve some issue on grading). Besides, the current pandemic deters us from easy face-to-face interaction. You are supposed to spontaneously utilize optional opportunities of interactions with the instructor and fellow classmates.

The lecture note is the primary source of definitions, theorems, etc. As the secondary references and the problem sets, you must obtain one or two textbooks on game theory at graduate level; the candidate book list will be posted online. On some topics, chapters from other books may be referred. Otherwise noted, you are supposed to read all the additional readings, the suggested parts of the textbook, the lecture notes and the supplementary notes. These textbooks and readings should be used as secondary references for further explanation and problem sets after reviewing the lecture note as the primary reference. When there is any discrepancy between the lecture notes and other reading materials including the textbook, we follow the lecture notes. If not sure, always ask the instructor.

１０．その他/In addition：

Microeconomics II/Microeconomics II

担当教員/Instructor：図斎　大/DAI ZUSAI
曜日・講時/Day/Period：Spring Mon. 1
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO561E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

!!!<< This course will use an external online service Canvas as an online classroom platform (a Learning Management System), regardless of BCP level. Follow the instruction in the URL section of this syllabus. >>!!!

This course covers "price theory," i.e., theory of optimal decisions especially on consumptions and productions and market equilibrium theory. From various numerical and mathematical exercises, we will study the basic idea and applications of market equilibrium models. More details and an updated information will be posted at https://sites.google.com/view/zusaiTohoku around mid March.

2．学修の到達目標/Goal of study：

1. You will gain basic knowledge on price theory.
2. With casual usage of calculus, you will be familiar with the reasoning and implications of rational decision and market equilibrium.
3. You will learn how to fit a standardized mathematical model into a variety of situations.
4. You will learn how to gain intuition behind economic theory and to communicate it with helps of figures, diagrams and mathematical equations.

Caveat: The level of this course is modestly set to ensure the very minimum understanding of microeconomic theory needed for ANY graduate students in economics and management science, regardless of their majors or future plans after the master program. Anyone who wants to gain a potential to do academic research in modern economics seriously and to go to a Ph.D. program should also take EB331/EM2524 Mathematics for Formal Economic Modeling and Analysis as well. (The course will provide necessary mathematics for truly graduate-level study of modern economics and also present formal modeling of economic theory.)

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Lecture delivery method: Given that most of GPEM students are still abroad, this course will be conducted wholly online. That is, lectures of this course will be delivered with recorded videos, animated slide shows, and online communication on an external classroom platform, Canvas.

Course contents:

Part 1 Consumer theory

1. Setting up a consumer's problem. 2. Optimal consumption. 3. Demand function. 4. Variations of optimal consumption problems. 5. General equilibrium in an exchange economy

Part 2 Producer theory

6. Setting up a price-taking producer's problem (and the short test for Part 1). 7. Cost minimization. 8. Profit maximization and supply function. 9. Partial equilibrium. 10. General equilibrium in production economy.

Part 3 Deviations

11. Monopoly (and the short test for Part 2). 12. Oligopoly. 13. Externality. 14. Competitive equilibrium under asymmetric information.

15. Final examination (理解度確認セッション)

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

English. For students with strong math but weak English, this course would be a good introduction to academic communication in English.

6．成績評価方法/Evaluation method：

Quizzes 30%. An online quiz will be given in order to confirm careful reading of the lecture notes and serious attendance (watching) of the lecture.

Tests 40%. Online tests will be given for each of the first two parts. When necessary, there may be a video follow-up chat, which may be used for grading.

Final examination 30%. The final exam will cover all the contents of this course. The examination method will be determined later after we learn more about the pandemic situation.

Both the short tests and the final examination will be held on the day and time that is scheduled on the official time table. You must make it sure to attend those tests/exam at the formal lecture time, regardless of your time zone. When necessary in grading and advising, there may be an online follow-up interview, which may be used as a factor of grading.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Intermediate Microeconomics (Ed.9)	Hal Varian	WW Norton	2019	978-0-393-68987-7	Required

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

<<MUST READ>> We will use an external LMS (Canvas), which is not synced with Tohoku's course enrollment system, even if we resume face-to-face lectures. It needs invitation from the instructor and students' own registration. To get an invitation, you must respond to the request form at https://sites.google.com/view/zusaiTohoku by three days before the day of the first lecture. (Anyone who is wondering whether to take this course can also send an inquiry from this form.) Apart from this, to get a credit of this course, you must also complete the regular course enrollment process, following the administrator's instruction. So, BOTH THE TWO STEPS are needed and must be completed at your own responsibility. In case a student fails to complete the request form and also forgets to notify the intention of withdrawal to the instructor, the student may receive a failing grade, not withdrawal.

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

Before each lecture, a student is expected to read the lecture note and the assigned part of the textbook; serious preparation is regularly monitored through online quizzes. There may be additional reading materials for preparation prior to each class meeting and/or for review after it.

To learn economic theory, careful reading is only just the very starting point and far from getting full mastery. For this, you must practice the theory by solving exercise problems. Homework will be kept at the minimum in order to efficiently evaluate your understanding and steady learning while giving you flexibility on your workload and schedule; yet, you are expected to try more exercises spontaneously than assigned as HW in order to master the contents of the course. I may make a suggestion of non-graded exercise problems; you are supposed to try those suggested exercises after each lecture. You should keep all your works for this course until receiving the final overall grade of this course , in case that I ask you to show how you study for this course (possibly to give an individual advice or to solve some issue on grading). Besides, the current pandemic deters us from easy face-to-face interaction. You are supposed to spontaneously utilize optional opportunities of interactions with the instructor and fellow classmates, e.g. office hours and online discussion board.

The lecture note is the primary source of definitions, theorems, etc. As the secondary references and the problem sets, you must obtain one or two textbooks on game theory at graduate level; the candidate book list will be posted online. On some topics, chapters from other books may be referred. Otherwise noted, you are supposed to read all the additional readings, the suggested parts of the textbook, the lecture notes and the supplementary notes. These textbooks and readings should be used as secondary references for further explanation and problem sets after reviewing the lecture note as the primary reference. When there is any discrepancy between the lecture notes and other reading materials including the textbook, we follow the lecture notes. If not sure, always ask the instructor.

１０．その他/In addition：

The current edition of Varian is Edition 9: you may buy an electric copy of the book from the publisher's website https://wwnorton.com/ at a reasonable price. Edition 8 is acceptable, though further older editions are NOT recommended.

Macroeconomics I/Macroeconomics I

担当教員/Instructor：小寺　寛彰/TOMOAKI KOTERA
曜日・講時/Day/Period：Fall Mon. ４
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO562E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

The goal of this course is to study standard dynamic macroeconomic models. The course makes extensive use of mathematics, mainly differential calculus. This allows both a deeper analysis of the microeconomic foundations of macroeconomic theory, and a more quantitative analysis of the models presented.

２．学修の到達目標/Goal of study：

Upon completing this course students will be able to:
・ Explain how the economy works at aggregate level and how total output, employment, wages, interest rates are determined.
・ Describe the factors underlying economic growth, consumption/savings behavior, and business cycles.
・ Assess rigorously the effects of various government policies and outside shocks on these features of the economy.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

This class is an on-demand one. All materials (videos/slides/assignments) are posted in GoogleClassroom. A class code is xebj4q5.

Schedule:
(1) General Equilibrium Model (Static).
(2) Solow Growth Model.
(3) Optimal Growth Model.
(4) Endogenous Growth Model.
(5) Consumption-Savings.
(6) Dynamic General Equilibrium Model.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

Assignments (15%)
Final Examination (85%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Advanced Macroeconomics	David Romer	McGraw Hil	2012	9780073511375	参考書
Recursive macroeconomic theory	Lars Ljungqvist, Thomas J. Sargent	MIT Press	2012	9780262018746	参考書
he ABCs of RBCs : an introduction to dynamic macroeconomic models	George McCandless	Harvard University Press	2008	9780674028142	参考書
Introduction to modern economic growth	Daron Acemoglu	Princeton University Press	2009	9780691132921	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

This class might be on-demand. I will have made a final decision in September in Google classroom.
Classroom code is nwkeawo.

Macroeconomics II/Macroeconomics II

担当教員/Instructor：小寺　寛彰/TOMOAKI KOTERA
曜日・講時/Day/Period：Spring Mon. 4
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO563E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

The goal of this course is to study standard dynamic macroeconomic models. The course makes extensive use of mathematics, mainly differential calculus. This allows both a deeper analysis of the microeconomic foundations of macroeconomic theory, and a more quantitative analysis of the models presented.

2．学修の到達目標/Goal of study：

Upon completing this course students will be able to:
・ Explain how the economy works at aggregate level and how total output, employment, wages, interest rates are determined.
・ Describe the factors underlying economic growth, consumption/savings behavior, and business cycles.
・ Assess rigorously the effects of various government policies and outside shocks on these features of the economy.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

This class is a continuation of Macroeconomics I. This class is an on-demand one. All materials (videos/slides/assignments) are posted in GoogleClassroom. A class code is cjpaugy.

Schedule:
(1) Real Business Cycle Model.
(2) Money.
(3) Overlapping Generations Model.
(4)Labor Search and Matching.
(5)Macroeconomics of COVID-19.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

English

6．成績評価方法/Evaluation method：

Assignments (15%)
Final Examination (85%)

7．教科書および参考書/Textbook and references：

Advanced Macroeconomics	David Romer	McGraw Hil	2012	9780073511375	参考書
Recursive macroeconomic theory	Lars Ljungqvist, Thomas J. Sargent	MIT Press	2012	9780262018746	参考書
The ABCs of RBCs : an introduction to dynamic macroeconomic models	George McCandless	Harvard University Press	2008	9780674028142	参考書
Introduction to modern economic growth	Daron Acemoglu	Princeton University Press	2009	9780691132921	参考書

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

【Important!】
This class will be on-demand.
Classroom code is mui3cci.

Econometrics I/Econometrics I

担当教員/Instructor：ＫＯ　ＩＡＴ　ＭＥＮＧ/KO IAT MENG
曜日・講時/Day/Period：Spring Tue. ２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO564E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

This course is a one-semester introduction to probability theory and statistics for economists. The course will cover fundamental knowledge of probability and statistics for the preparation of subsequent econometrics courses. The R program will be used and taught.

２．学修の到達目標/Goal of study：

The students are expected to have a deep understanding of probability and statistics, especially in conducting economic data analysis. Good command of knowledge covered in this course will also facilitate studying other economic courses.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Foundation of Probability (Hansen Chapter 1)
- Random outcomes and events
- Probability measure
- Conditional probability and independence

Random Variables and Univariate Distributions (Hansen Chapter 2)
- Random variables: discrete & continuous
- Distribution functions
- Moments

Important Parametric Distributions (Hansen Chapter 3 & 5)
- Discrete distributions
- Continuous distributions

Random Vectors and Multivariate Distributions (Hansen Chapter 4 & 5)
- Joint distributions
- Conditional distributions
- Independence and correlation
- Conditional expectation

Sampling Theory and Statistics (Hansen Chapter 6)
- Population, random sample, and statistics
- Sampling distribution of statistics

Law of Large Numbers and Central Limit Theory (Hansen Chapter 7 & 8)
- Asymptotic limits & LLN
- Convergence in distribution & CLT

Parameter estimation and evaluation (Hansen Chapter 10 & 11)
- Population and distribution model
- Maximum likelihood estimation
- (Generalized) Method of Moments
- Mean squared error and best unbiased estimators

Hypothesis Testing (Hansen Chapter 13)
- Hypothesis testing related concepts

Note: We may not be able to cover all topics due to time constraints. The contents will be adjusted accordingly.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

Assignments (40%)
Mid-term exam (30%)
Final exam (30%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Probability and Statistics for Economists. Hansen, Bruce E. 2022

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

Google Classroom: sk732gq

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

The author generously provides the electronic version on his homepage: https://www.ssc.wisc.edu/~bhansen/probability/

Econometrics II/Econometrics II

担当教員/Instructor：ＫＯ　ＩＡＴ　ＭＥＮＧ/KO IAT MENG
曜日・講時/Day/Period：Fall Tue. ２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO565E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

This course is a one-semester introduction to econometrics. The course will cover fundamental knowledge of linear regression in economic data analysis. Necessary probability and statistic concepts will be taught and reviewed. Empirical applications, rather than theoretical proofs, will be emphasized. Empirical examples will be demonstrated in class. The R program will be taught and used throughout the course.

Textbook
Wooldridge, J. M. (2016). Introductory econometrics: A modern approach, 6th ed., Cengage.
(E-Book available from the university library website)

２．学修の到達目標/Goal of study：

The students are expected to have a deep understanding of modern econometric methods in economic data analysis. Also, the course is designed as a prerequisite for advanced econometrics courses. The students will be able to apply basic econometric tools in empirical research (cross-sectional data) after the course.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

1. Economic data structure (Wooldridge Chapter 1 and Appendix B & C)
Basic probability & statistics for econometrics
Conditional expectation (conditional mean)
Causality & Ceteris Paribus

2. Linear regression model estimation (Wooldridge Chapter 2 & 3)
Simple & multiple regression
Gauss-Markov Assumptions
Unbiasedness, Efficiency, BLUE

3. Multiple regression inference (Wooldridge Chapter 4)
Classical linear model (CLM) Assumptions
t and F tests

4. Large sample regression model (Wooldridge Chapter 5) and Consistency (Wooldridge Appendix C-3)
Asymptotic normality
Large sample inference

5. Multicollinearity (Wooldridge Chapter 3, 3-4a) and Heteroskedasticity (Wooldridge Chapter 8)
Robust standard error & inference
Diagnostic tests for Heteroskedasticity
Weighted Least Square (WLS) estimator

6. Endogeneity (Wooldridge Chapter 15)
Instrumental variable & 2SLS
Testing for endogeneity & overidentification

7. Miscellaneous topics (Wooldridge Chapter 6)
Beta Coefficients
Functional forms
Goodness-of-fit & selection of regressors

8 Regression with qualitative information (Wooldridge Chapter 7)
Dummy regressors
Linear probability model

9 Model specification, measurement error, and sample issues (Wooldridge Chapter 9)

Not all topics in each chapter will be covered. Please refer to the lecture notes distributed during the class.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Assignments (30%)
Mid-term exam (30%)
Final exam (40%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Introductory Econometrics: A Wooldridge Cengage Learning 2016
modern approach 5e

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google Classroom: 5h3x2w5
Download the text as E-Book from the library website

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Business Management I/Business Management I

担当教員/Instructor：石岡　賢/MASARU ISHIOKA
曜日・講時/Day/Period：Fall Fri. 6
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN560E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Business management I is using Google Classroom. All study instructions are provided in the online system.
There is NO core class time schedule, and students access Google Classroom from any place, any time.
Google Classroom Code# kyeeuty

Principles of Business Management focusing on the processes of strategic management and intermediate terms such as management method, human resource management, leadership, controlling, strategy, marketing, finance, SCM, value chain, and CSR. Topics also, include the current trend and history of the business management.
※ The course is provided for (but not limited to) the students of GPEM program, and conducted in English.

2．学修の到達目標/Goal of study：

Understanding the basic business management concept and methods. Recognizing the practical business management methods in the current business and industries.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Business management I is using Google Classroom.
All study instructions are provided in the online system.
There is NO core class time schedule, and students access Google Classroom from any place, any time.

Google Classroom Code# kyeeuty

For the class, students need to prepare and submit several presentation files and presentation summary. The course works includes following activities, selecting the company for case study, introducing their business, analyzing the current management activities, suggesting the future management options for the selected companies, and preparing report papers.

The class requires individual activities, experimental activities, and individual presentations/demonstration on current and future management methods for selected companies and industries.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

English

6．成績評価方法/Evaluation method：

Presentation file, Research Paper, and others.
Others might include homework, case studies, contribution and participation in the class, peer evaluation, and others.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：

For the class, it requires research, preparing for the presentation, and presentation summary.
Students need to have a thorough knowledge of Power Point.

１０．その他/In addition：

Office hours by appointment.

Political Economy_政治経済学特論/Political Economy

担当教員/Instructor：守　健二.黒瀬　一弘/KENJI MORI, KAZUHIRO KUROSE
曜日・講時/Day/Period：Fall Tue. 1
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-EC0508E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

The purpose of this course is to provide students with the basic theories of Marxian and other non-mainstream economics by using mathematical methods.

The course not only provides different explanation concerning the same phenomena (e.g. positiveness of prices) from the mainstream economics but also deals with the phenomena which are not explained in the orthodox textbooks.

Given the tendency that unequal distribution of income and wealth is growing all over the world, Marxian as well as other non-mainstream economics are recently revisited. Due to this course, it is expected that the different ways of thinking about capitalist economies from the mainstream are possible.

2．学修の到達目標/Goal of study：

This course has an ambitious goal of acquiring such knowledge and skills as follows:
1) basic properties of linear economic models
2) understanding of alternative ways in order to theorise capitalism by using the models
3) value, prices, and choice of technique, and the paradox of capital theory
4) economic growth based on a simple two-class economy

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

This course is divided into two parts, the first of which is charged by Prof. Mori and the second of which is by Prof. Kurose. The first part deals with the Classical-Marxian value and price; the contents are given as follows:

1) Input-Output Analysis
2) Labor theory of value
3) Price of production
4) Hawkins-Simon condition
5) Sraffian price theory
6) Perron-Frobenius theorem

On the basis of the first part, the second one deals with the choice of technique, income distribution, paradox of capital theory, and economic growth models, and argues the relevance of these models. The contents of the second part are given as follows:

1) Leontief production model with multiple alternative techniques
2) Capital paradox
3) Growth and distribution in a two-class economy

The lecture-notes and other material are uploaded to Google classroom, the code of which is given as follows:

zd2cf6v.

How to give the lecture (in-person or online) has not been determined yet. It will be determined at the end of September, depending on the infection status of Covid-19, the situation of students, and the number of registered students. All information on this class will be given on Google classroom. Thus, please register for Google classroom if you wish to take this class.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

English

6．成績評価方法/Evaluation method：

The first part charged by Prof. Mori: Homework (70%)+Examination (30%)

The second part charged by Prof. Kurose: Homework (30%)+Examination. (70%)

7．教科書および参考書/Textbook and references：

Radical Political Economy	Robin Hahnel	Routledge	2017
Equilibrium, Stability and Growth	Michio Morishima	Clarendon Press	1964
Marx's Economics	Michio Morishima	Cambiridge University Press	1973
Theory of Production	H. Kurz and N.	Cambiridge	1995

	Salvadori	University Press	
The Economics of Input-Output Analysis	Thijs ten Raa	Cambiridge University Press	2005
Lectures on the Theory of Production	Luigi L. Pasinetti	Columbia University Press	1977
Theory of Economic Growth	Michio Morishima	Clarendon Press	1969
Capital Theory and Dynamics	Edwin Burmeister	Cambiridge University Press	1981
Capital I～Ⅲ	K, Marx	Foreign Languages Publishing House	1954-1959
The Theory of Accumulation: A Marxian Approach to the Dynamics of Capitalist Economy	Nobuo Okishio	Springer	2022

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Sufficient preparation and review are necessary.

１０．その他/In addition：
Basic knowledge of linear algebra is prerequsite.

Innovation Management_イノベ・マネ特論/Innovation Management

担当教員/Instructor：酒井　健/KEN SAKAI
曜日・講時/Day/Period：Fall Mon. 3
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN502E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

This course will be held on-demand for (mainly foreign) students' convenience. If it is necessary to change, I will update it via Google Classroom.

I will upload the new videos by each Monday noon on Google classroom. Please note whether you are a graduate school student or an undergraduate student, regarding Google Classroom, we will use [EM0403]. The class code is dlv66lf. Every week, please watch the videos via Google Classroom on your demand. However, please don't delay the watch because the videos and the relevant files will be deleted within about one week from uploading.

In current society, innovation is a pretty popular concept. Many people would often face the term innovation in their daily life. However, what does innovation mean? Does it have almost the same meaning as an invention? If so, should we consider it as a "natural scientific" activity implemented by people putting with a white coat at a laboratory? Indeed, we must avoid such a simplified view of innovation. Natural scientific elements are no more than a part of innovation. Innovation includes quite a few socio-cultural, and often political, aspects. In this course, students who are interested in management as social science learn the latter, which is the socio-cultural and political aspects of innovation.

2．学修の到達目標/Goal of study：

This course is designed to help students understand innovations' essential characteristics and critical mechanisms.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Students understand innovation through interactions between theories and actual cases. Reading the designated literature deeply contributes to establishing theoretical frameworks for analyzing innovations. Besides, through observing the cases (mainly videos) on innovations from these theoretical perspectives, students deepen their comprehension of innovation.

1st day: Oct. 3. Introduction to innovation management
2nd day: Oct. 10 Creation of innovations
3rd day: Oct. 17 Creation of innovations
4th day: Oct. 24 Creation of innovations
5th day: Oct. 31 Innovations, strategies, and organizations
6th day: Nov. 7 Innovations, strategies, and organizations
7th day: Nov. 14 Innovations, strategies, and organizations
8th day: Nov. 21 Innovations, strategies, and organizations
9th day: Nov. 28 Interactions of innovations and society
10th day: Dec. 5 Existing companies' failures
11th day: Dec. 12 Existing companies' failures
12th day: Dec. 19 How should we avoid the various traps of innovation?
13th day: Dec. 26 How should we avoid the various traps of innovation?
14th day: Jan. 16 How should we avoid the various traps of innovation?
15th day: Jan. 23 Conclusion

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

English

6．成績評価方法/Evaluation method：

The grade will be evaluated as the reflection papers (5% * 8times = 40%) and the final report (60%).

First, after watching each lecture video, you must write very short (approximately within 200words) reflection papers through Google Form as soon as possible. Each reflection paper will totally comprise 5% of the evaluation. Because it will be assigned 8 times, it will totally comprise 40%.

Second, the final reports need to be submitted via Google Classroom. After the deadline, Google Classroom will not accept the report. The length and style of the final report will be announced via Google Classroom. The final report comprises 60% of the evaluation.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The students need to read the relevant literature, which are are designated and assigned beforehand, before every class.

１０．その他/In addition：
This syllabus contains provisional contents. Students can get a fixed and detailed version on the first day of this course.

Adv EconometricsⅠ_上級計量経済学特論Ⅰ/Advanced Econometrics Ⅰ

担当教員/Instructor：ＫＯ　ＩＡＴ　ＭＥＮＧ/KO IAT MENG
曜日・講時/Day/Period：Spring Wed. ２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO512E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

This course is one-semester advanced level econometrics. The prerequisites are Econometrics I and II. This course should be regarded as the entry level econometrics course for PhD program. Students are required to complete the two courses before enrolling in this one. In this course, we will study econometrics in greater depth with both old topics (such as linear regression) and new topics (such as panel data model). Mathematical tools, for example, vector and matrix, are extensively used in deriving estimations and inferences. Random sample (independence) is assumed in most of the topics. Dependent sample will be covered in Advanced Econometrics II. The R program will be used and taught in this course.

２．学修の到達目標/Goal of study：

The students are expected to have a much deeper understanding of modern econometrics. The topics covered in this course are essential for rigorous economic research either empirically or theoretically.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Conditional Expectation and Projection (Hansen Chapter 2 & 3; Hong Chapter 2; Wooldridge Chapter 2)
- Conditional Expectation
- Best predictor under MSE criteria
- Linear projection and Least Squares Estimator
- Correct model specification

Single-Equation Linear Model (Hansen Chapter 4-7, 9; Hong Chapter 3-4; Wooldridge Chapter 3-4)
- Classical linear regression models: OLS and MLE
- Large sample linear regression models: OLS and Method of Moment
- Hypothesis testing

Single-Equation Linear Model with Instrumental Variables Estimation (Hansen Chapter 12 & 13; Wooldridge Chapter 5)
- Generalized method of moment under i.i.d.
- Two-stage least squares estimation

Multiple-Equation Model (Hansen Chapter 11; Wooldridge Chapter 7)
- Seemingly Unrelated Regressions: OLS and GLS

Linear Unobserved Effects Panel Data Models (Hansen Section 17.1-17.27; Wooldridge Chapter 10)
- FD, FE, RE methods

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

Assignments (40%)
Mid-term exam (30%)
Final exam (30%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Econometrics	Hansen, Bruce E.		2022
Foundations of Modern Econometrics: A Unified Approach	Hong, Yongmiao	World Scientific Pub Co.	2020
Econometric Analysis of Cross Section and Panel Data	Wooldridge, Jeffrey M.	MIT Press.	2002

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google Classroom: uescv3f

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
Lecture slides will be distributed. No single textbook will be exactly followed. Selected chapters from different textbooks will be listed as reading materials.

Hansen, Bruce E. (2022). Econometrics. (The author generously provides the electronic versi

Adv Econometrics Ⅱ_上級計量経済学特論Ⅱ/Advanced Econometrics II

担当教員/Instructor：ＫＯ　ＩＡＴ　ＭＥＮＧ/KO IAT MENG
曜日・講時/Day/Period：Fall Wed. ４
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO513E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

This course is one-semester advanced level econometrics. The prerequisites are Econometrics I, II, and Advanced Econometrics I. This course should be regarded as the second PhD level econometrics course and will cover various asymptotic theories, with an emphasis in dependent samples Time series econometric models will be covered. The Matlab and R programs will be used and taught in this course.

２．学修の到達目標/Goal of study：

The students are expected to have a much deeper understanding of modern econometrics. The topics covered in this course are essential for rigorous economic research either empirically or theoretically.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Asymptotic Theory with Dependent Sample (Hayashi Chapter 2; Hansen Chapter 14; Hong Chapter 5
- Stationary and Ergodicity
- Martingale and Martingale Difference
- WLLN and CLT for ergodic time series

Linear Time Series Regression Models (Hansen Chapter 14; Hong Chapter 5)
- Static, (Autoregressive) Distributed Lag
- Granger Causality

ARMA Linear Processes & GARCH (Hamilton Chapter 3-5, 21; Hansen Chapter 14; Hayashi Chapter 6; Hong Chapter 9)
- Wold decomposition
- GARCH
- MLE & QMLE

Dynamic Panel Data Model (Hayashi Chapter 3; Hansen Section 17.36-17.42)
- Generalized method of moment
- Anderson-Hsiao, Arellano-Bond
- Blundell-Bond

VAR Model (Hamilton Chapter 11; Hansen Chapter 15)

Unit-Root Econometrics (Hamilton Chapter 17; Hansen Chapter 16; Hayashi Chapter 9)
- Functional CLT
- Unit root test

Cointegration (Hamilton Chapter 19; Hansen Chapter 16; Hayashi Chapter 10)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

Assignments (40%)
Mid-term exam (30%)
Final exam (30%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Time Series Analysis	Hamilton, James D.	Princeton University Press	1994
Econometrics	Hansen, Bruce E.		2022
Econometrics	Hayashi, Fumio	Princeton University Press	2000
Foundations of Modern Econometrics: A Unified Approach	Hong, Yongmiao	World Scientific Pub Co	2020

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google Classroom: uuljpnc

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
Lecture slides will be distributed. No single textbook will be exactly followed. Selected chapters from different textbooks will be listed as reading materials.

Hansen, Bruce E. (2022). Econometrics. (The author generously provides the electronic versi

Applied Macroeconomics/Applied Macroeconomics

担当教員/Instructor：鈴木　通雄/MICHIO SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：Spring Thu. ２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO675E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This course will cover the measurement and decomposition of aggregate productivity growth (APG). In particular, we will focus on the quantitative impact of resource reallocation across heterogeneous plants and industries on APG. The course will also cover the literature on misallocation and the estimation of plant-level production functions.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The objective of this course is to provide students with an understanding of the basic theories of APG decomposition and their empirical applications. To this end, in addition to lectures, students will be required to conduct empirical projects.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
1. Introduction
2. Growth Accounting
3. APG decomposition by Petrin and Levinsohn (2012)
4. Aggregation results in efficient economies
5. Aggregation and APG decomposition in inefficient economies
6. Aggregation and APG decomposition in inefficient economies
7. Student Presentation (Empirical projects)
8. Student Presentation (Empirical projects)
9. Student Presentation (Empirical projects)
10. Misallocation
11. Plant-level production function
12. Plant-level production function
13. Student presentation (research papers)
14. Student presentation (research papers)
15. Student presentation (research papers)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
1. An empirical project (in-class presentation and report submission)
2. A referee report (in-class presentation and submission)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
See the course page in Google classroom. (Class code:qadinpy)

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
This course will be held online. Please check Google classroom for the Google Meet link.

Monetary Economics_金融論特論/International Finance

担当教員/Instructor：浅野　康司/KOJI ASANO
曜日・講時/Day/Period：Spring Wed. 4
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO601E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This course is designed to introduce students to theories of corporate finance, financial intermediation, and financial markets, with an emphasis on the impact of financial frictions on macroeconomic outcomes.

2．学修の到達目標/Goal of study：
Students will understand a theoretical treatment of major topics in corporate finance, financial intermediation, and financial markets.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
This is an outline of the topics I will cover in the course.

1 Course introduction
2 Borrowing constraints and the net worth channel
3 Financial accelerator
4 Capital structure: Incentives and information
5 Financial contracting
6 Corporate control
7 Financial intermediation and the credit crunch
8 Corporate liquidity management, aggregate liquidity shortages, and liquidity premium
9 Consumer liquidity demand, maturity mismatch, and bank runs
10 The information view of debt and financial crises
11 Fire sales, deleveraging, and the asset market feedback
12 Endogenous margins and the leverage cycle
13 Bubbles
14 Understanding financial crises
15 Course summary

Information on the course will be provided via Google Classroom: the class code is aiksv4p.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
English

6．成績評価方法/Evaluation method：
Class participation and take-home exam

7．教科書および参考書/Textbook and references：

The Theory of Corporate Finance	Tirole, J.	Princeton University Press	2006
Microeconomics of Banking	Freixas, X. and Rochet, J.-C.	The MIT Press	2008
Contract Theory	Bolton, P. and Dewatripont, M.	The MIT Press	2005

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students are expected to read in advance the paper we are going to discuss in class.

１０．その他/In addition：
Students must have knowledge of the intermediate level of microeconomics and macroeconomics.

International Economics_国際経済特論/International Economics

担当教員/Instructor：永易　淳/JUN NAGAYASU
曜日・講時/Day/Period：Fall Fri. ２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO603E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
To understand better international economic issues, students will be presented with economic theories and methodological approaches often used in previous studies.

２．学修の到達目標/Goal of study：
After taking this class, students are expected to understand relevant articles recently published in academic journals and are able to initiate their own research. .

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
This course will cover fundamental economic and statistical theories that are often used in academic research related to international economics and can be used when writing master’s theses.

1) Introduction to economic theories
2) Purchasing power parity theorem
3) Interest parity conditions
4) Other topics

5) Introduction to statistical theories
6) Maximum likelihood
7) Unit root/cointegration
8) Vector autoregression model
9) Other topics

The teaching method depends on the pandemic situation. In any case, please join the live-online class on the first day; I shall inform you of class details during the introduction.

Google Classroom: https://classroom.google.com/c/NDU5NTM3OTYwMDcy?cjc=ebnbh2t
Google Meet: https://meet.google.com/qug-qnnv-dgf
Please use your university email to join Google facilities.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Homework and/or Tests

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Exchange Rates and International Finance	Copeland, Laurence	Pearson	2014
Introduction to Econometrics	Koop, Gary	John Wiley & Sons	2008
Applied Econometric Time Series	Enders, Walter	John Wiley & Sons	2014
Time Series Analysis	Hamilton, James	Princeton Univ Press	1994
Econometric Analysis	Green, William H	Pearson Education	2011

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://sites.google.com/site/nagayasuj/home

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Home work + reading the textbooks and suggested academic articles in order to understand better the lecture.

１０．その他/In addition：

Prerequisite： basic micro & macroeconomic theory, math, statistics, English proficiency
Please take this class if you wish to write a thesis or conduct a project under my supervision.

Health Economics_医療経済特論/Health Economics

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：Fall Fri. ３
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO608E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

This class provides the theoretical backgrounds of major topics in health economics at the master level after quickly introducing those of the undergraduate level.

This class also provides basic causal inference and microeconometrics methods used in recent health economics studies.

２．学修の到達目標/Goal of study：

The goals of study of this class are:
(1) To learn basic and constructive economic knowledge to analyze the current health policies and the problems of health systems in order to provide the "evidence-based health policy".
(2) To be able to understand leading-edge studies in health economics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

This lecture will be given as an online lecture (on demand) regardless of BCP level.
The schedule of this course is as follows:

#01 Guidance and an overview of health economics/ Ordinary least squares
#02 Health capital (Theory)
#03 Health capital (Econometrics 1)
#04 Health capital (Econometrics 2)
#05 Health insurance (Theory 1)
#06 Health insurance (Theory 2)
#07 Causal inference
#08 Health insurance (Econometrics)
#09 Supplier-induced demand (Theory)
#10 Supplier-induced demand (Econometrics)
#11 Supply of medical services (Theory)
#12 Supply of medical services (Econometrics)
#13 Recent hot issue in health economics (1) (Theory & Econometrics)
#14 Recent hot issue in health economics (2) (Theory & Econometrics)
#15 Summary

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

Several times take-home examinations (100%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Health Economics	P.Zweifel, et al.	Springer	2009	978-3-540-27804-7	Text
Introduction to Econometrics	JH Stock & MW Watson	Pearson Education	2019	978-1292264455	Reference

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

Students need to download and check the lecture notes in advance and also review the topics after the class.
The code of Google Classroom for this lecture is "jowsei7"

１０．その他/In addition：

I presuppose that students have already gained the knowledge of microeconomics, macroeconomics, and econometrics at the undergraduate level. Specifically, 中級ミクロ経済学・中級マクロ経済学・中級計量経済学・Microeconomics Ⅰ & Ⅱ・Macroeconomics Ⅰ & Ⅱ・Econometrics Ⅰ & Ⅱ。
I will p

Regional Enterprises_地域企業論特論/Regional Enterprises

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：Spring Fri. 6
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN606E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The purpose of the course is for students to understand features of Japanese businesses, especially focusing on SMEs and Regional Enterprises (REs) and their surroundings. In addition, related theories and concepts are introduced showing examples.

2．学修の到達目標/Goal of study：
The students are required as follows; (1)to understand the situations of REs and SMEs in Japan, (2)to understand basic management theories and concepts, (3)to compare between the SMEs and REs in Japan and those in their own countries, (4)to think how to apply what they have learned to their own countries' SMEs and REs cases.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・This class is an on-demand type class. Students access Google Classroom, watch a video, read materials, and do the assignment and submit it to Google classroom.
・We have online meetings for Q&A Time (April 15, May 6, May 27, June 17, July 1, June 22) on Friday from 18:00.
・Students have to submit a final report by July 31 (The theme is given in July)

The schedule is as follows; (Note that the schedule and contents are subject to change.)

1) Orientation: (April 15) (On GoogleMeet, 18:00-)

2) Enterprises and regions: How are regional factors and enterprises' activities related? (On-demand)

3) Q&A time (May 6) (on GoogleMeet, 18:00-)

4) Time-honored companies and business transformation in Japan (On-demand)

5) Family businesses (On-demand)

6) Q&A time (May 27) (on GoogleMeet, 18:00-)

7) Knowledge creation by REs: How do Japanese companies make innovation happen? (On-demand)

8) Resource creation by REs: How does exhausted countryside revive their economy? (On-demand)

9) Q&A time (June 17) (on GoogleMeet, 18:00-)

10) Entrepreneurship in Japan: Why is entrepreneurial spirit weak in Japan? (On-demand)

11) Q&A time (July 1) (on GoogleMeet, 18:00-)

12) Industrial clusters in Japan (On-demand)

13) Ecosystems Formation (On-demand)

14) Q&A time (July 22) (on GoogleMeet, 18:00-)

15)Final report (just submit)

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
English

6．成績評価方法/Evaluation method：
Students will be evaluated based on: (1) assignments (40%), (2) online meeting participation (20%), (3) Final report (40%).

7．教科書および参考書/Textbook and references：

Routledge Handbook of Japanese Business and Management	Parissa Haghirian	Routledge	2016	978-0-415-73418-9	reference

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

・The students who will take this class have to send an email in advance of the first class (michi@tohoku.ac.jp).
・The instructor gives some instructions to the students for taking this class via email.
・Prepare environment for using Google Meet and Goo

Nonprofit Organization_非営利組織特論/Nonprofit Organization

担当教員/Instructor：西出　優子/YUKO NISHIDE
曜日・講時/Day/Period：Fall Fri. 2
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN607E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

This course aims at acquiring basic knowledge and concepts on nonprofit organizations and their management striving to solve various social problems and to create social values, and social capital. Topics relating to the role, significance and management of nonprofit organizations are examined through lectures, case studies, student presentations and discussions.

2．学修の到達目標/Goal of study：

On successful completion of the course, students may expect to
- understand the basic concepts, role and development of nonprofit organizations
- understand management and leadership of nonprofit organizations
- comprehend the state and challenges facing nonprofit organizations
- think through how to solve such problems and make recommendations

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

The following topics relating to nonprofit organizations (and relevant NGOs, social enterprises and social capital) are examined through lectures, student presentations and discussions:
- Theory, significance, international and regional comparison
- Historical development, state and challenges
- Management (mission, HRM, funding, accountability)
- Cross-sector partnership (Nonprofits, Business, Government, University)
- Advocacy, public policy, social impacts
- Social capital, diversity and inclusion, sustainability and resilience

(Some topics are subject to change depending on the interest of students at the first class.)

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

English

6．成績評価方法/Evaluation method：

Presentations (Individual and/or group) : 2 to 3 times (TBA: subject to the number of students) (50%)
Participation in discussions and minute paper at each class (50%)

7．教科書および参考書/Textbook and references：

How to get a copy of the textbook, journal articles and/or reading list is announced at the first class.
Reference: Crutchfield, L.R. and Grant, H.M. (2012) Forces for Good: The Six Practices of High-Impact Nonprofits, Jossey-Bass. Nishide, Y. (2009) Social Capital and Civil Society in Japan, Tohoku University Press. Osborne, S.P. (2013) Voluntary and Not-fo
Articles in related journals: Nonprofit and Voluntary Sector Quarterly, Voluntas, and Nonprofit Management and Leadership.

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students are expected to read textbook/article and prepare for effective understanding, presentations, discussions and minute paper at each class.

１０．その他/In addition：
How to hold this class may depend on the BCP level. This class is to be held at the classroom with the combination of realtime online zoom, but it might change depending on the BCP level.

For details and update information, go to the Google Classroom:

Comparative E History_西洋経済史特論/Comparative Economic History

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：Fall Tue. 2
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO615E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

The aim of this class is twofold: to give an overview of the socio-economic history of Britain with special reference to early modern period (1530-1815), and to develop a critical view of the economic history of Western Europe and North America from comparative perspectives. Britain had become a major commercial force in Europe by the time of the industrial revolution, and also came to play a major role in the subsequent course of the history of the global market economy. The study of early modern Britain shows, therefore, how the foundation of the modern global economy was formed in the way it did. Moreover, it helps unveil Europe's unique institutional context in which some of the late comers, such as Japan, were destined to thrive (albeit in their own way) in order to catch up with the leading Western economies. The comparative approach is the key method to be used here, because it will inevitably raise an important question as to why some capitalist market economies are much more robust and resilient than others in the long run. The answer to it has far-reaching implications for the way we understand our economy.

Students are invited to produce a brief literature review on the economic history of his/her own country, and discuss their findings in a comparative perspective for their final essay.

2．学修の到達目標/Goal of study：

・Students are expected to understand how economic problems are closely linked with political and social issues and to familiarize themselves with Economic History as a context dependent field of study.
・Students are expected to come up with his/her own view as to how the early modern economy of the West shaped economies outside Western Europe and North America.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Students are required to have access to the ISTU and Google's Meet online conferencing service. We do not use the Google Classroom in this class.

Course Schedule
(Note that this syllabus is subject to alternation in accordance with the BCP level set by the University.)

1) Introduction

2) The Industrial Revolution: A critical view (I)

3) The Industrial Revolution: A critical view (II)

4) The rural origin of the modern Japanese economy (I)

5) The rural origin of the modern Japanese economy (II)

6) The advanced organic economy of early modern Britain (I)

7) The advanced organic economy of early modern Britain (II)

8) Proto-industrialization in the East and the West

9) Urbanization: Concepts and theories

10) The making of urban Britain (I)

11) The making of urban Britain (II)

12) Commercializing Edo Japan

13) The development of civic corporation (I)

14) The development of civic corporation (II)

15) Conclusion

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation:30%, Final essay:70%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Accounting for the great divergence	S. Broadberry	2015
The European miracle: Environments, economies and geopolitics in the historyof Europe and Asia	E. Jones	2003
The Long Road to the Industrial Revolution. The European Economy in a Global Perspective, 1000-1800	J. L.van Zanden,	2009
The Industrious Revolution: Consumer Behavior and the Household Economy, 1650-to the Present	J. de Vries,	2008
The Agrarian Origins of Modern Japan	T.C. Smith,	1959
The Economic History of Japan: 1600-1990	Hayami, Saito, and Toby, eds.	2004
The Japanese Consumer: An Alernative Economic History of Modern Japan	P. Francks	2009
The Role of Tradition in Japan's Industrialization: Another Path to Industrialization	M. Tanimoto ed	2006
The Cambridge History of Japan, vol. 4	J.W. Hall	1991

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
日本語: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeducat.html
English: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Some ideas discussed in one session may be pertinent to the themes of the following sessions. Students are encouraged to do their revision after class.

１０．その他/In addition：
No undergraduate students, except for those in the Faculty of Economics, are allowed to join this class.

Data Science in E_経済データ科学特論/Data Science in Economics

担当教員/Instructor：石原　卓弥/TAKUYA ISHIHARA
曜日・講時/Day/Period：Spring Mon. 3
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO617E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Asymptotic theory is the primary method used to examine the properties of econometric estimators and tests. This course offers the asymptotic theory for econometrics. The keywords of this course are as follows: Portmanteau theorem, Prohorov's theorem, continuous mapping theorem, Slutsky's lemma, Levy's continuity theorem, delta method, consistency, asymptotic normality, maximum likelihood estimation, generalized method of moments.

Class code: 75byxst

2．学修の到達目標/Goal of study：
Participants are expected to understand the asymptotic theory for econometrics.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The following contents will be discussed.

1. Stochastic convergence
2. Characteristic functions
3. Delta method
4. Extremum estimators
5. Consistency of extremum estimators
6. Asymptotic normality of extremum estimators
7. Consistent asymptotic variance estimation
8. Two-step estimators

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
English and Japanese

6．成績評価方法/Evaluation method：
Grades will be based on a final report and some assignments.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：
Every participant will require a lot of time and effort for understanding the topics.

10．その他/In addition：
Participants are prerequired to have sufficient knowledge on mathematics and statistics, the keywords of which are, for example, as follows: differential and integral calculus, Taylor expansion, weak law of large numbers, central limit theorem.

中級ミクロ経済学特論/Intermediate Microeconomics

担当教員/Instructor：泉田　成美/SHIGEMI IZUMIDA
曜日・講時/Day/Period：Spring Thu. 1
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO501J, 単位数/Credit(s)：4

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
大学院修士課程1年生レベルのミクロ経済学の講義を行います。ミクロ経済学は、経済分析の基礎となる科目であり、近代経済学の研究をするにあたって必要不可欠な分析手法を提供しています。講義と演習問題を通じて、ミクロ経済学の中級レベルの分析手法を身につけることを目的とします。

In this course, students learn about the intermediate level microeconomics. Positive participation in classes is expected

2．学修の到達目標/Goal of study：
大学院での研究に必要なミクロ経済学の基礎的な知識と分析能力を身につける。

Students will understand the knowledge and analytical method of intermediate level microeconomics.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
担当教員の健康上の理由により対面授業を行うことができないため、オンライン授業を行います。
オンライン授業の方法として、Google Classroom を使って、(1) 録画した講義を配信するオン・デマンド方式と、(2) 演習問題を配布し、解答を提出させる資料配布方式を併用することを予定しています。
Google Classroom のクラスコードは、qtyfs4q　です。
Classroom にアクセスし、クラスコードを入力してください。

講義と並行して演習問題（宿題）の解説を行います。
以下の内容の講義を予定していますが、参加者の興味・関心や反応、教員の健康状態等によって変更することもありえます。
第1回　イントロダクション　経済学と最適化問題
第2回　演習問題解説（その１）
第3回　静学的最適化問題①　制約のない最大化問題
第4回　演習問題解説（その２）
第5回　静学的最適化問題②　等号制約付き最大化問題とラグランジュの未定乗数法
第6回　演習問題解説（その３）
第7回　静学的最適化問題③　不等号制約付き最大化問題とキューン・タッカー法
第8回　演習問題解説（その４）
第9回　生産者行動理論①　生産技術と生産関数
第10回　演習問題解説（その５）
第11回　生産者行動理論②　費用最小化問題と費用関数
第12回　演習問題解説（その６）
第13回　生産者行動理論③　規模の経済・不経済
第14回　演習問題解説（その７）
第15回　生産者行動理論④　複数財生産での費用関係
第16回　演習問題解説（その８）
第17回　生産者行動理論⑤　費用関数の推定、規模の経済・範囲の経済の検証
第18回　演習問題解説（その９）
第19回　消費者行動理論①　予算制約下の効用最大化問題と需要関数
第20回　演習問題解説（その１０）
第21回　消費者行動理論②　間接効用関数と支出関数
第22回　演習問題解説（その１１）
第23回　消費者行動理論③　スルツキー方程式
第24回　演習問題解説（その１２）
第25回　消費者行動理論④　余剰分析、序数的効用と基数的効用
第26回　演習問題解説（その１３）
第27回　不完全競争の経済分析①　独占企業の行動
第28回　演習問題解説（その１４）
第29回　不完全競争の経済分析②　寡占企業の行動（ベルトラン競争とクールノー競争）
第30回　まとめ

The contents and schedule are as shown below:
#1 Introduction: Economics and Optimization problem
#2 Explaining homework ①
#3 Static optimization problem ①: Unconstrained optimization problem
#4 Explaining homework ②
#5 Static optimization problem ②: Lagrangian method
#6 Explaining homework ③
#7 Static optimization problem ③: Kuhn-Tucker method
#8 Explaining homework ④

#9 Producers behavior ①: Technology and Production Function
#10 Explaining homework ⑤
#11 Producers behavior ②: Cost minimization and Cost Function
#12 Explaining homework ⑥
#13 Producers behavior ③: Economies of Scale and Diseconomies of Scale
#14 Explaining homework ⑦
#15 Producers behavior ④: Cost Relationships with Multproduct
#16 Explaining homework ⑧
#17 Producers behavior ⑤: Estimation of Cost Function
#18 Explaining homework ⑨
#19 Consumers behavior ①: Utility maximization and Demand Function
#20 Explaining homework ⑩
#21 Consumers behavior ②: Indirect Utility Function and Expenditure Function
#22 Explaining homework ⑪
#23 Consumers behavior ③: Slutsky Equation
#24 Explaining homework ⑫
#25 Consumers behavior ④: Consumer’s Surplus, Cardinal Utility and Ordinal Utility
#26 Explaining homework ⑬
#27 Imperfect Competition ①: Monopoly
#28 Explaining homework ⑭
#29 Imperfect Competition ②: Oligopoly
#30 Conclusion

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
理解度確認セッションの成績（50%）と宿題の成績（50%）により決定します。

７．教科書および参考書/Textbook and references：
講義資料は授業中に配布します
参考書は授業中に指示します

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
十分な予習復習が必要です。
Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：
履修条件；学部のミクロ経済分析・経済経営数学程度の知識を持っていること。また、問題演習を重視する授業形式の必要性から、参加者は30名以内に制限します。そのため、受講希望者は第1回目の講義を必ず視聴し、期日までに問題演習（宿題）の解答を提出してください。2回目からの参加は原則として認めません。
第1回の講義は4月11日（月）に配信する予定です。第1回の問題演習は4月14日（木）に配信する予定です。
他の科目との関連について；ゲーム理論とミクロ経済学のより発展的な内容は後期開講の「上級ミクロ経済学」にて取

上級ミクロ経済学特論/Advanced Microeconomics

担当教員/Instructor：三宅　充展/MITSUNOBU MIYAKE
曜日・講時/Day/Period：Fall Wed. 1
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO502J, 単位数/Credit(s)：4

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
大学院レベルの標準的教科書で記述されているミクロ経済学理論を理解し、各分野で基幹となっている学術論文を読みこなす読解力を修得することが目的です。また、公務員試験（論述試験）に対応した水準の専門知識を得ることも目的です。 / It is an aim that the students will understand a microeconomics theory described in the standard textbook of the graduate school and acquire a skill for reading the scientific papers in each field. In addition, it is an aim that the students will obtain the technical knowledge corresponding to the civil service examinations.

2．学修の到達目標/Goal of study：
将来　修士論文作成にあたって、独力で受講生が専攻する分野の文献サーベイができる程度の学力をつけることが到達目標です。/It is an aim that the student will acquire a skill for reading the scientific papers in each field by an own effort, when the student writes master thesis.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
1　不確実性の経済学：期待効用理論
　　1．1　サンクトペテルブルグの逆説　　1．2　期待効用の公理系
　　1．3　期待効用の表現定理と一意性　　1．4　リスク回避度
　　1．5　リスク回避度の保険市場への応用　　1．6　主観確率とその公理化
2　非協力ゲーム理論
　　2．1　戦略形ゲームの定義　　2．2　ナッシュ均衡点
　　2．3　混合戦略と期待利得　　2．4　均衡点の存在
　　2．5　均衡点の計算方法　　2．6　利得支配とリスク支配
　　2．7　応用例　　2．8　中間テスト
3　社会選択と協力ゲーム理論
　　3．1　社会選択問題と交渉問題の定式化　　3．2　アローの一般不可能性定理
　　3．3　ナッシュ交渉解の公理　　3．4　ナッシュの定理
　　3．5　非協力ゲームによる交渉問題　　3．6　協力ゲームにおけるコア
　　3．7　市場ゲームとそのコア　　3．8　コアの極限定理
　　3．9　割り当て市場ゲームとコア　　3．10　結婚ゲームとコア
　　3．11　誘引と効率性　　3．12　オークションの理論
4　公共経済
　　4．1　消費者余剰と生産者余剰　　4．2　経済厚生の指数
　　4．3　リンダール均衡とコア　　4．4　社会厚生関数

なお、各単元の終わりにレポートの課題を与える予定。レポートは授業のなかで発表してもらう可能性がある。

Chapter 1: economics under uncertainty, expected utility theory
(Axioms for the expected utility function, Risk aversion, Insurance markets, subjective probability)
Chapter 2: non-cooperative game theory
(Nash equilibrium, Computation of the Nash equilibrium)
Chapter 3: social choice and cooperative game theory
(Nash solution, Nash's theorem, market games, assignment market games)
Chapter 4: Public economy
(Consumer's surplus, Social welfare index, social welfare functions)

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
該当しない

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語により講義をおこなう。レポート課題は日本語で記述されるが、解答や口頭報告は日本語または英語によるものとする。

6．成績評価方法/Evaluation method：
レポートの成績（100%）により決定する。これにはレポートの発表の成績も含まれる。

7．教科書および参考書/Textbook and references：

ゲーム理論入門（新版）	岡田章	有斐閣	2014年	9784641220287	教科書
ゲーム理論講義	船木由喜彦	新世社	2012年	9784883841752	教科書
はじめて学ぶゲーム理論	船木由喜彦	新世社	2014年	9784883842087	参考書
演習ゲーム理論	船木由喜彦	新世社	2004	4883840727	参考書

Models in Microeconomic Theory	Martin J. Osborne and Ariel Rubinstein	OpenBook	年 2020 年	978-1-78374-920-1	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習ではあらかじめ教科書を読んでおくこと。

１０．その他/In addition：
履修条件は無いが、中級ミクロ経済学特論を履修していること、または同等の知識を有していることが望ましい。　現在の予定では、授業は対面授業で、オンライン併用とする。録画の方式は授業のなかで説明する。　録画ファイルの記憶容量が膨大となるので、USB メモリによる配布の可能性もある。履修希望の学生、履修の可能性のある学生は至急三宅

mitsunobu.miyake.b4@tohoku.ac.jp

までメールすること。　Google classroom のクラスコードは　p36ygjj　である。

中級マクロ経済学特論/Intermediate Macroeconomics

担当教員/Instructor：小寺　寛彰/TOMOAKI KOTERA
曜日・講時/Day/Period：Spring Tue. ３
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO503J, 単位数/Credit(s)：4

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
主に、動学マクロ経済モデルの解法の習得及び様々なモデルの学習を目的とする。このコースでは、数学、特に微分を多用する。これにより、マクロ経済学のより深い理解を目指す。

２．学修の到達目標/Goal of study：
このコースを通して、以下の習得を主に目指す。
1.経済全体のメカニズム、および、総生産、雇用、賃金、利子率がどのように決まるかが、説明できる。
2.基本的なモデル（経済成長、消費と貯蓄、景気循環など）を根底にある要因を描写できる。
3.政府の政策や、外的ショックの経済への効果を厳密に評価できる。
4,今、話題になっている諸問題(コロナウィルス)と経済モデルを用いて、分析できる。

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下の内容を取り扱う予定である。

（１）マクロ経済学の潮流
（２）一般均衡モデル(静学)の解法
（３）ソローの成長モデル
（４）最適成長モデル
（５）内生的経済成長モデル
（６）消費-貯蓄モデル
（７）動学的一般均衡モデル
（８）景気循環(RBC) モデル
（９）貨幣経済
（１０）世代重複(OLG) モデル
（１１）労働サーチとマッチング
（１２）コロナウィルスの経済分析

※時間があれば、その他の重要なトピックを扱う予定である。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
講義は日本語で行う。但し、スライドは英語を使用する。
受講者が提出する課題、および理解度確認セッションは英語で出題するが、解答は、英語でも日本語でもどちらでも構わない。

６．成績評価方法/Evaluation method：
試験（80%）と課題提出（20%）。試験は、学期中、理解度確認期間の２回、実施する。課題は、毎トピックの最後に問題を課し、提出を求める。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Advanced Macroeconomics	David Romer	McGraw Hill	2012	9780073511375	参考書
Recursive macroeconomic theory	Lars Ljungqvist, Thomas J. Sargent	MIT Press	2012	9780262018746	参考書
『The ABCs of RBCs : an introduction to dynamic macroeconomic models	George McCandless	Harvard University Press	2008	9780674028142	参考書
Introduction to modern economic growt	Daron Acemoglu	Princeton University Press	2009	9780691132921	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google Classroom にスライドを事前にアップする予定である。

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
課題を通して、各トピックの本質を理解してもらう。

１０．その他/In addition：

コロナウィルスの感染リスクを考慮し、オンデマンドで授業を展開する。
クラスコードは、mdumwdy である。
また、数値計算の課題は、出さない。

上級マクロ経済学特論/Advanced Macroeconomics

担当教員/Instructor：鈴木　通雄/MICHIO SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：Fall Mon. ３ & Thu. ２
対象学年/Eligible Participants：1 年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO504J, 単位数/Credit(s)：4

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本講義は、中級マクロ経済学に引き続き、大学院レベルのマクロ経済学を解説する。具体的には、家計消費、失業の各理論、そして家計間の所得・消費・資産格差の関係を議論できる不完備市場の一般均衡モデル（Bewley-Aiyagari-Huggett Model)を解説する。さらに、マクロ経済学のモデルを用いて、金融財政政策についても議論する。演習と宿題では、数値計算によるモデル分析を行ってもらう予定である。

This course is a continuation of Intermediate Macroeconomics and will cover graduate-level macroeconomics. Specifically, the course will explain the theories of household consumption and unemployment, and the general equilibrium model with incomplete markets (Bewley-Aiyagari-Huggett model) that can discuss the relationship between income, consumption, and asset inequality among households. Furthermore, the macroeconomic model will be used to discuss monetary and fiscal policy. For exercises and homework, students will be asked to analyze the model numerically.

２．学修の到達目標/Goal of study：
（１）経済モデルを理解し、直感的な説明ができるようになる。
（２）基礎的な数値解析の手法を習得する。

Students are expected to
(1) Understand economic models and be able to explain them intuitively
(2) Acquire basic numerical analysis methods

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下の内容をカバーする予定である。

（１）動的計画法
（２）家計消費の理論（完備市場モデル、恒常所得仮説、予備的貯蓄、流動性制約）
（３）不完備市場の一般均衡モデル（Bewley-Aiyagari-Huggett モデル）
（４）世代重複モデル（Huggett (1996)など）
（５）失業の理論（効率性賃金、サーチ・マッチングモデル）
（６）金融財政政策

講義と並行して、数値計算の実習を行う予定である。

This course will cover the following topics.

(1) Dynamic programming
(2) Consumption and savings
(3) General equilibrium models with incomplete markets
(4) Overlapping generations model
(5) Unemployment
(6) Monetary and fiscal policies

In parallel with the lectures, students will practice numerical methods.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
理解度確認セッション（60%）と課題提出（40%)により評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Advanced Macroeconomics, 4th ed.	David Romer	McGraw-Hill Education	2011	978-0073511375	参考書
Recursive Macroeconomic Theory, 3rd ed.	Lars Ljungqvist, Thomas J. Sargent	The MIT Press	2012	978-0262018746	参考書
Recursive Methods in Economic Dynamics	Nancy L. Stokey, Robert E. Lucas Jr. with Edward C.	Harvard University Press	1989	978-0674750968	参考書

Prescott

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google classroom のコースページ参照(Class code:l35oozn)
See the course page in Google classroom.(Class code:l35oozn)

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
宿題を課す予定である。

１０．その他/In addition：
中級マクロ経済学を受講済みであることが望ましい。
講義は担当教官の講義スライドを使って行われるが、参考書は内容の理解に有用である。
オフィスアワーを設定する予定である。詳細は授業初回に連絡する。

中級計量経済学特論Ⅰ/Intermediate Econometrics Ⅰ

担当教員/Instructor：ＫＯ　ＩＡＴ　ＭＥＮＧ/KO IAT MENG
曜日・講時/Day/Period：Spring Tue. ２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO505J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

This course is a one-semester introduction to probability theory and statistics for economists. The course will cover fundamental knowledge of probability and statistics for the preparation of subsequent econometrics courses. The R program will be used and taught.

２．学修の到達目標/Goal of study：

The students are expected to have a deep understanding of probability and statistics, especially in conducting economic data analysis. Good command of knowledge covered in this course will also facilitate studying other economic courses.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Foundation of Probability (Hansen Chapter 1)
- Random outcomes and events
- Probability measure
- Conditional probability and independence

Random Variables and Univariate Distributions (Hansen Chapter 2)
- Random variables: discrete & continuous
- Distribution functions
- Moments

Important Parametric Distributions (Hansen Chapter 3 & 5)
- Discrete distributions
- Continuous distributions

Random Vectors and Multivariate Distributions (Hansen Chapter 4 & 5)
- Joint distributions
- Conditional distributions
- Independence and correlation
- Conditional expectation

Sampling Theory and Statistics (Hansen Chapter 6)
- Population, random sample, and statistics
- Sampling distribution of statistics

Law of Large Numbers and Central Limit Theory (Hansen Chapter 7 & 8)
- Asymptotic limits & LLN
- Convergence in distribution & CLT

Parameter estimation and evaluation (Hansen Chapter 10 & 11)
- Population and distribution model
- Maximum likelihood estimation
- (Generalized) Method of Moments
- Mean squared error and best unbiased estimators

Hypothesis Testing (Hansen Chapter 13)
- Hypothesis testing related concepts

Note: We may not be able to cover all topics due to time constraints. The contents will be adjusted accordingly.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

Assignments (40%)
Mid-term exam (30%)
Final exam (30%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Probability and Statistics for Economists. Hansen, Bruce E. 2022

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

Google Classroom: sk732gq

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

The author generously provides the electronic version on his homepage: https://www.ssc.wisc.edu/~bhansen/probability/

中級計量経済学特論Ⅱ/Intermediate Econometrics II

担当教員/Instructor：ＫＯ　ＩＡＴ　ＭＥＮＧ/KO IAT MENG
曜日・講時/Day/Period：Fall Tue. ２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO506J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

This course is a one-semester introduction to econometrics. The course will cover fundamental knowledge of linear regression in economic data analysis. Necessary probability and statistic concepts will be taught and reviewed. Empirical applications, rather than theoretical proofs, will be emphasized. Empirical examples will be demonstrated in class. The R program will be taught and used throughout the course.

Textbook
Wooldridge, J. M. (2016). Introductory econometrics: A modern approach, 6th ed., Cengage.
(E-Book available from the university library website)

２．学修の到達目標/Goal of study：

The students are expected to have a deep understanding of modern econometric methods in economic data analysis. Also, the course is designed as a prerequisite for advanced econometrics courses. The students will be able to apply basic econometric tools in empirical research (cross-sectional data) after the course.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

1. Economic data structure (Wooldridge Chapter 1 and Appendix B & C)
Basic probability & statistics for econometrics
Conditional expectation (conditional mean)
Causality & Ceteris Paribus

2. Linear regression model estimation (Wooldridge Chapter 2 & 3)
Simple & multiple regression
Gauss-Markov Assumptions
Unbiasedness, Efficiency, BLUE

3. Multiple regression inference (Wooldridge Chapter 4)
Classical linear model (CLM) Assumptions
t and F tests

4. Large sample regression model (Wooldridge Chapter 5) and Consistency (Wooldridge Appendix C-3)
Asymptotic normality
Large sample inference

5. Multicollinearity (Wooldridge Chapter 3, 3-4a) and Heteroskedasticity (Wooldridge Chapter 8)
Robust standard error & inference
Diagnostic tests for Heteroskedasticity
Weighted Least Square (WLS) estimator

6. Endogeneity (Wooldridge Chapter 15)
Instrumental variable & 2SLS
Testing for endogeneity & overidentification

7. Miscellaneous topics (Wooldridge Chapter 6)
Beta Coefficients
Functional forms
Goodness-of-fit & selection of regressors

8 Regression with qualitative information (Wooldridge Chapter 7)
Dummy regressors
Linear probability model

9 Model specification, measurement error, and sample issues (Wooldridge Chapter 9)

Not all topics in each chapter will be covered. Please refer to the lecture notes distributed during the class.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Assignments (30%)
Mid-term exam (30%)
Final exam (40%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Introductory Econometrics: A Wooldridge Cengage Learning 2016
modern approach 5e

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google Classroom: 5h3x2w5
Download the text as E-Book from the library website

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

日本経済特論/Japanese Economy

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：Fall Tue. 4
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO510J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
戦後日本経済史と現代日本経済を経済学的に把握する。

In this course, students will understand the postwar economic history of Japan and the contemporary Japanese economy from a perspective of economics.

2．学修の到達目標/Goal of study：
・マクロ経済，労働と人口，金融，農業と土地用益，鉱工業，商業とサービスの六つの側面から戦後日本経済史を深く理解すること。
・経済の高成長と低成長が，どのような要因の作用によって，どのように実現したかを歴史的にとらえること。
・経済成長について，制度的構造の再生産と転換という観点から認識すること。

+This course will help students better understand postwar Japanese economic history from six aspects: macroeconomic perspective, labor and population, finance, agriculture and land use, mining and manufacturing, and commerce and services.
+Students will be able to understand historically how high and low economic growth in Japan was achieved and by what factors.
+Students will be able to recognize economic growth in terms of reproduction and transformation of institutional structures.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・対面型講義である。新型コロナウイルスの流行状況に応じて講義形態を調整することがある。
・Google クラスルームは用いない。受講手順は「その他」の欄を参照。
・教科書を輪読する。

1．ガイダンス
2．＜現代１序章＞
3．＜現代２序章＞
4．＜労働と人口＞「日本的」労使関係の形成と労働生産性の上昇
5．＜労働と人口＞現代の労働市場と生活水運の変遷
6．＜金融＞高度成長と金融
7．＜金融＞低成長下の日本の金融システム
8．＜農業と土地用益＞高度成長期の農業と不動産業
9．＜農業と土地用益＞転換期の日本農業と都市不動産業
10. ＜鉱工業＞断絶と連続の工業化
11. ＜鉱工業＞構造変化と生産性停滞
12. ＜商業とサービス＞成長と産業・貿易構造の高度化
13. ＜商業とサービス＞サービス産業の展開と政策
14. 総合討論
15. 理解度確認セッション

Textbook reading and discussion.

1. Guidance
2. Introduction I(1937-1972)
3. Introduction II(1973-2010
4.<Labor and Population> The Formation of "Japanese" Labor-Management Relations and the Rise of Labor Productivity
5.<Labor and Population> Modern Labor Market and Changes in Standard of Living
6.<Finance> High Growth and Finance
7.<Finance> Japan's Financial System under Low Growth
8.<Agriculture and Land Use> Agriculture and Real Estate Industry in the Period of High Growth
9.<Agriculture and Land Use> Japanese Agriculture and Urban Real Estate Industry in the Transition Period
10.<Mining and Manufacturing> Industrialization: Discontinuity and Continuity
11.<Mining and Manufacturing> Structural Change and Productivity Stagnation
12.<Commerce and Services> Growth and upgrading of industrial and trade structure
13.<Commerce and Services> Development and Policies of the Service Industry
14.Final Discussion
15.Comprehension Check Session

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語。

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告と討論への参加：30 点
理解度確認セッション：70 点

７．教科書および参考書/Textbook and references：

岩波講座日本経済の歴史 1	現代	深尾京司・中村尚史・中林真幸編集	岩波書店	2018	978-4-00-011405-9	教科書
岩波講座日本経済の歴史 2	現代	深尾京司・中村尚史・中林真幸編集	岩波書店	2018	978-4-00-011406-6	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
川端望の研究ノート
http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawabata/arekore.htm

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
必ず教科書を入手して事前に読むこと。新本は（3800 円＋税）×2 冊の費用がかかるが，授業に必要である。コピーを用いることは認めない。新本，古書のほか，授業期間中毎回持参できることを条件に，図書館や他人から借用した本の使用も認める。少なくとも用語を理解し，論旨が読み取れるまで下調べして来ること。

１０．その他/In addition：
1 回目はガイダンスとする。履修希望者は必ず出席するか、同日までにメール等で連絡すること。いずれも行わない場合は履修を認めない。アドレスは以下の通り。nozomu.kawabata.b1*tohoku.ac.jp （*を@に変えてください）

戦略と組織特論/Strategy and Organization

担当教員/Instructor：酒井　健/KEN SAKAI
曜日・講時/Day/Period：Fall Mon. 6
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN501J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本授業は、経営学の教員たち８名で担当する講義であり、それぞれの教員の研究分野に関する講義をオムニバス形式で提供する。今日、経営学の分野でどのような研究が行われているかを幅広く紹介するので、この講義を通じて受講者は、自らの研究の視野を広げてほしい。対象は修士学生であるが、学部生、博士課程、他分野の学生に対しても開かれている。

In this omnibus lecture series on strategy and organization, eight professors of different specialties deliver various themes. By introducing up-to-date academic development in each sub-field of business management, students would have a chance to broaden their perspectives when selecting and conducting their research projects. This course is designed initially for master course students, but we also welcome undergraduate students, students of the Ph.D. course, and other majors.

2．学修の到達目標/Goal of study：
経営学関連の研究について、広く知識を得ること。
レポート作成を通じて、それぞれの分野についての理解を深めつつ、研究論文の書き方を学ぶこと。

You should understand the wide range of concurrent research developments in a business management field by the end of this course. You are required to write and submit a report for eight different sub-themes, which would help to enhance your understanding and achievement.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業内容、日程については下記の通りだが、大学院生の多様な状況に対応するため、BCP レベルにかかわらず原則として全てＧoogle Meet でのオンライン授業を予定する。
ただし変更の可能性もあるので、随時、授業内および Google Classroom(b67dx5n)のアナウンスに注意を払うこと。

This is the lecture schedule for the year 2022, and this course will be held online by Google Meet.
When there are any changes, we will announce you via the classroom.
Please pay close attention to the announcement in the Google classroom (class code: b67dx5n
) as well.

＊10 月 3 日 18 時に下記の Google Classroom のリンクを使って Google Meet に接続すること。
Please enter the following link on 3 Oct. 2022.
https://meet.google.com/vxb-oaqv-wgy

＊その他、外部講師、講演会への参加を随時アナウンスをする。

1)10 月 3 日	酒井	オリエンテーション
2)10 月 17 日	山﨑	戦略論
3)10 月 24 日	山崎	戦略論
4)10 月 31 日	金	国際経営
5)11 月 7 日	福嶋	地域企業・ベンチャー
6)11 月 14 日	藤本	マクロ組織論
7)11 月 21 日	藤本	ミクロ組織論
8)11 月 28 日	高浦	企業倫理入門
9)12 月 5 日	高浦	CSR 入門
10)12 月 12 日	酒井	イノベーション
11)12 月 19 日	酒井	イノベーション
12)12 月 26 日	一小路	マーケティング
13)1 月 16 日	一小路	マーケティング
14)1 月 23 日	西出	非営利組織論
15)1 月 30 日	西出	非営利組織論

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語/英語

6．成績評価方法/Evaluation method：
・各教員が課題を出し、成績評定をしたものを、単純平均し、得点とする。
・出席は必須。ただしどうしても出席できない場合は、その回の担当教員に事情を説明し、代替措置の有無について問い合わせをすること。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/u/0/c/NDU5NTM3NzY4NTAz

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
・授業の資料は各担当教員から指示および提供され、事前課題が出されることがあるので、Google Classroom でのアナウンスの内容に従うこと。
・授業で紹介されたり、興味をもった分野の論文・書籍を読むこと。
・授業で課されたレポートや宿題は必ず提出すること。

１０．その他/In addition：
・第一回目のオリエンテーションには必ず参加すること（やむを得ず欠席する場合には、窓口教員：酒井まで事前にメールで連絡すること）　(ken.sakai.e6@tohoku.ac.jp)。

経済史特論/Economic History

担当教員/Instructor：小田中　直樹/NAOKI ODANAKA
曜日・講時/Day/Period：Spring Wed. 2
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO511J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
しばしば「経済史」と呼ばれる社会経済史学の方法について考えます。とくに、経済理論との関係、歴史の見方などについて、集中的に考えたいと思います。

This course intends to analyze the methodology of socio-economic hisrtory, usually called "economic history," relation with economic theories and how to see the history in particular.

2．学修の到達目標/Goal of study：
次の3点です。
・社会経済史学とはいかなる学問領域かについて、一定の知識を得ること。
・社会経済史学と諸経済理論との関係について、一定の見通しを得ること。
・具体的な社会経済史に対するアプローチについて、一定の理解を得ること。

1. To get the knowledge over the characteristics of socio-economic history as a discipline.
2. To under stand the relation between the socia-economic history and economic theories.
3. To have certain knowledge about the approach to the socio-economic historical facts.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・日本の社会経済史学は、ながらくマルクス派の経済理論と接点を持ちながら展開されてきました。その背景には、この経済理論が「時間」というモメントを重視し、それゆえ社会経済史学をはじめとする歴史学と親和的だったという事情があります。
・ただし、第2次世界大戦後における開発経済学や経済成長論の展開に伴い、いわゆる新古典派の経済理論もまた社会経済史学と接点を持つようになってきました。この授業では、そのような状況に対応し、新古典派経済理論との接点を意識して小田中が執筆したテクストブックを、教科書として用います。そのうえで、教科書の内容を分析することを通じて、先に挙げた到達目標を達成することを図ります。
・授業では、小田中による講義の回と、課題発表＆コメントの回を、交互におこなう予定です。なお詳細は、初回の授業の際に説明します。

This course composes of the lecture and the discussion. The detail will be explained on the occasion of the first lecture.

BCPが1および2の場合は対面とオンラインの併用で、3の場合はオンラインでおこないます。しわしくは授業中にまたはメールで指示します。

Under the condition of BCP levels 1 or 2, this class will be given face-to-face style and/or online, and in the case of BCP levels 3 or more, online. The detail will be given in the class or by mail.

1. イントロダクション
2. 狩猟採集経済
3. 課題発表＆コメント
4. 農耕革命
5. 課題発表＆コメント
6. ファミリービジネス
7. 課題発表＆コメント
8. 資本主義
9. 課題発表＆コメント
10. 小作制度と問屋制度
11. 課題発表＆コメント
12. 産業革命
13. 課題発表＆コメント
14. 企業
15. 課題発表＆コメント

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語

Japanese

6．成績評価方法/Evaluation method：

授業中に 5～7 回提出してもらう課題の評価を合計して最終評価します。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

ライブ・経済史入門	小田中直樹	勁草書房	2017

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

講義内容を理解し、課題にとりくむことが、予習と復習を兼ねることになります。

１０．その他/In addition：

・テクストは、必ず購入するか図書館などで借りて持参してください。コピーを持参したり教科書を持たずに出席したりした場合は、履修放棄とみなします。

・新古典派およびマルクス派の経済理論について初級程度、つまり必要最小限の知識を有していることが必要です。

Basic knowledge of neo-classical economics and of Marxian economics is necessary.

授業に参加を希望する学生は、授業の進め方を知るため、必ず事前に

odanaka@

経営史特論/Business History

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：Fall Mon. 4
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN503J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営史とは、企業がその時代に直面した経営上の問題をどのように解決したのか、また企業行動にどのような背景があり、それはいかなる成果に帰結したのかを解明する学問である。本講義では、発展途上国における産業の形成・発展・変容について、戦前日本の繊維産業を事例として、多様な視点で学ぶ。

Business history is the study of how companies solved the business problems they faced in their time, the background to their actions, and the results they achieved. In this lecture, we will study the formation, development, and transformation of industries in developing countries from various perspectives, using the textile industry in prewar Japan as a case study.

2．学修の到達目標/Goal of study：
(1) 歴史の中で企業の果たす意義と可能性を考える。
(2) 経営環境や歴史的条件などの制約の中で、経営者の意思や主体的な選択が、歴史にどのような影響を与えたのかを学ぶ。
(3) 企業の経営戦略や組織構造が決定される要因や因果関係について理解する。

To understand the formation process of the stock company system by focusing on management's will and independent choice.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
第1回：イントロダクション/Introduction
第2-6回：産業の形成/The formation of cotton industry
第7-10回：産業の発展/The development of cotton industry
第11-14回：産業の変容/The transformation of cotton industry
第15回：まとめ/Conclusion

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語/Japanese

6．成績評価方法/Evaluation method：
平常点：60%、レポート：40%

Participation 60%, Term papers 40%

7．教科書および参考書/Textbook and references：

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習：理解度を深めるためにも事前学習が望まれる。
復習：前回までの知識を前提として授業をすすめるため、復習は必須である。

10．その他/In addition：
使用言語：講義は日本語で行い、レポートは日本語か英語とする。
履修の條件：特になし
参考書：購入する必要はありません。レジュメを配布します。
連絡先：takenobu.yuki.c1@tohoku.ac.jp
教員HP：https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/home
BCPレベル1の場合は、「対面授業」を原則とする。
BCPレベル2以上の場合は、「オンライン授業」を原則とする。

参加者はGoogleクラスルームを必ず参加登録すること。

ファイナンス特論/Corporate Finance

担当教員/Instructor：室井　芳史/YOSHIFUMI MUROI
曜日・講時/Day/Period：Spring Mon. ３
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM601J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
数理ファイナンスにおける金利の取り扱いについて学ぶ。特に、金利派生商品の価格付け法について講義を行なう。途中で確率微分方程式や偏微分方程式の知識を用いるが、あらかじめ理解して参加すること。講義は対面方式。
This lecture gives a course on mathematical finance including stochastic interest rate modeling.

２．学修の到達目標/Goal of study：
短期金利モデルやフォワードレートモデルなど確率微分方程式を用いた金利モデルにおいて債券や債券オプション、スワップ、スワップションなどの金利派生商品の価格の計算方法について理解を深める。
The aim of this lecture is a brief understanding of the short-rate model, forward rate model, LIBOR model.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
確率微分方程式の取り扱いについて簡単な復習を行なった後に、さまざまな金利モデルにおいて債券や金利デリバティブの価格計算の方法について考察を行なう。確率論的な手法のみならず偏微分方程式など多くの数学を用いたモデルについて概観したい。
We give a short review of the stochastic differential equation. Then we study the computational method of bonds and interest rate derivatives using the probabilistic methods and the partial differential equations.

対面方式で実施するが、BCP レベルが 2 以上に上がった場合には Google Meet など別の方法で実施する。詳細は講義においてを指示する。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
レポート

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
確率解析や数理ファイナンスについて独習することで理解を深めること

１０．その他/In addition：

マーケティング・リサーチ特論/Marketing Research

担当教員/Instructor：石垣　司/TSUKASA ISHIGAKI
曜日・講時/Day/Period：Spring Fri. 2
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN601J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
【授業の目的】
マーケティング・リサーチに必要なデータ分析法を理解し、Rを用いた実践能力を習得する
【授業の概要】
マーケティング活動のために必要とされる消費者行動の理解、購買行動の予測、市場内でのポジショニングなどでは、各種データを用いた定量的な分析がもはや定石となっている。本特論では、マーケティング・リサーチで用いられる基本的なデータ分析手法の利用法と数理的性質を理解し、Rを用いたデータ分析を実践するための基礎力を身に付ける。具体的には、多変量解析（主成分分析、判別分析、因子分析）、共分散構造分析、離散選択モデルなどを取り扱う予定である。
※なお、重回帰分析については中級計量経済学において詳しい講義が行われるため、本講義では取り扱わない。

In this course, students will understand some typical data analysis methods for marketing research and develop data analysis skills using programming language R.

2．学修の到達目標/Goal of study：
・マーケティング・リサーチにおけるデータ分析の利用法を理解する。
・マーケティング・リサーチで用いられる基本的な分析手法の数理的性質を理解する。
・各手法を用いたデータ分析を実践できる。

The purpose of this course is to help students explain some typical data analysis methods for marketing research, and understand mathematical property of it.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Covid-19感染対策のための教室利用人数の制限や2022年3月16日に発生した地震に起因する教室利用制限によって授業の実施形態（対面 or オンライン）が不透明である。ただし、初回の授業はオンラインで行う。それ以降の授業や成績評価の実施方法についてはGoogle Classroomを用いて連絡するため、履修者は各自確認すること。

Google classroomのクラスコード
「tkqjhom」

【授業の内容・方法】資料配布形式を中心とする。
【進度予定】
第1回ガイダンス
第2回主成分分析
第3回判別分析
第4回バスケット分析
第5回セグメンテーション
第6回統計的モデリング1
第7回統計的モデリング2
第8回統計的モデリング3
第9回因子分析
第10回共分散構造分析
第11回ブランド選択モデル1
第12回ブランド選択モデル2
第13回ブランド選択モデル3
第14回ブランド選択モデル4
第15回ブランド選択モデル5

This is a lecture-centered course.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語

6．成績評価方法/Evaluation method：
Covid-19感染対策のための教室利用人数の制限や2022年3月16日に発生した地震に起因する教室利用制限によって理解度確認セッションを実施できるかどうかが不透明である。そのため成績評価の方法については初回の講義時に詳細を伝える。

7．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
復習に注力してもらいたい

１０．その他/In addition：
【履修の条件】大学院レベルの微積分学と線形代数と統計学の知識
【連絡先】ｉｓｇｋ＠ｔｏｈｏｋｕ．ａｃ．ｊｐ
【オフィスアワー】随時。ただし、上記アドレスへ連絡し予約を取ること

アジア経済論特論/Asian Economy

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：Spring Mon. 2
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO612J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom: aiuhcj6

目的：開発経済学の視角から中国経済を理解する。
概要：いくつかの論点に焦点をあて、現代中国経済を考察する。関連する開発経済学の基本分析ツールにも触れる。

The Object of this class is to understand Chinese economy from the perspective of development economics.
The summary of this class is to provide an overview of moder Chinese economy, focusing on several topics. Basic analytical tools related to the topics are also taught.

2．学修の到達目標/Goal of study：
一つは授業で説明した開発経済学の基本ツールを理解していること。もう一つはそれらの基本ツールを中国に適用した場合、中国の発展経験のなにが比較的うまく理解でき、逆になにがうまく説明がつかないのかを知ることである。

There are two goals of study. One is to understand the basic analytical tools of development economics explained in the class. The other is to know what the development experience of China is relatively well understood and vice versa when applying those basic tools to China.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
1.授業内容と方法：関連する開発経済学の基本分析ツールに触れながら、以下の７つの問題に焦点をあてて考察する。①発展の初期条件、歴史・文化が発展に与えた影響、②成長の軌跡、生産要素の蓄積と生産性、③発展の転換点、④外向型発展、⑤貧困と不平等、⑥人口と経済発展、⑦その他。教科書と補助資料に基づいた講義形式。

1. Contents of the class: While explaining the related analytical tools of development economics, I will focus on the following seven topics of the modern Chinese economy. (1) Initial conditions of development, impact of history and culture on development, (2) Growth trajectory, (3) Turning points of development, (4) Outward development, (5) Poverty and inequality, (6) Demographic factors and development, ⑦ Other topics. The lecture is based on the textbooks and supplementary materials.

２．進度予定
（１）クラスオリエンテーション
（２）初期条件と歴史的文化的特性
（３）経済成長の軌跡Ⅰ
（４）経済成長の軌跡Ⅱ
（５）転換点Ⅰ
（６）転換点Ⅱ
（７）外向型発展Ⅰ
（８）外向型発展Ⅱ
（９）貧困と不平等Ⅰ
（１０）貧困と不平等Ⅱ
（１１）人口と経済発展Ⅰ
（１２）人口と経済発展Ⅱ
（１３）環境クズネッツ曲線と中国の環境問題
（１４）その他（市場と政府、中国の開発経験をどうみるか）
（１５）理解度確認セッション

2. Scedule of the class
（1）class orientation、
（2）the initial condition of development, the impact of tradition and culture on development
（3）Growth trajectory Ⅰ
（4）Growth trajectory Ⅱ
（5）Turning point of economic development Ⅰ
（6）Turning point of economic development Ⅱ
（7）Outward development Ⅰ
（8）Outward development Ⅱ
（9）Poverty and inequality Ⅰ
（10）Poverty and inequality Ⅱ
（11）Demographic factors of economic development Ⅰ
（12） Demographic factors of economic development Ⅱ
（13）Environmental Kuznets curve and China's environmental problem
（14）Other topics such as market and government in China's economic development

（１５）Examination

授業内容と進度予定は若干変更される可能性がある。
The contents and the schedule of this class may be slightly changed.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語　Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
課題 50%、試験 50%で評価する。

Homeworks (including Term paper(s)) 50% and final examination 50%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

開発経済学と現代中国	中兼和津次	名古屋大学出版会	2012	978-4-8158-0710-8	教科書
Development Economics	Alain de Janvry and Elisabeth Sadoulet	Routlege	2021	98-0-367-45647-4	参考書
The Chinese Economy	Barry Naughton	MIT press	2016	978-0-262-53479-6	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
開講形式は対面形式で行う。ただし新型コロナの流行状況に応じて、オンライン形式に変更される可能性がある。最新状況は Google classroom で確認すること。クラスコードは aiuhcj6 である。

It is possible that this class will be held on line, depending on the situation of COVID19. Please see Google Classroom of this class. The class code is

地域計画特論/Regional Planning

担当教員/Instructor：増田　聡/SATORU MASUDA
曜日・講時/Day/Period：Spring Mon. 6
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO614J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

本年度の経済学研究科・地域計画特論（経済学部・地域計画特殊講義）は、「都市・地域計画」及び関連領域の理論と実践に関するテキストを複数取り上げ、批判的に輪講する。この分野は、建築･土木･造園等の物的計画（Physical Planning）に基礎を置くものから、観光学、行政学や政策科学、社会学、地域経済学、福祉政策的視点で研究されたものまで多様なアプローチが存在している。今回は、受講生の専門領域や関心の所在に応じてテキストを選択し、比較検討の対象としたい。さらに、現実の実践例についても適宜紹介してもらう予定であるが、講義開始当初は、以下の文献から輪講を始めたい。

・宇都宮浄人・多田実編著（2022）『まちづくりの統計学：政策づくりのためのデータの見方・使い方』、学芸出版社

本講義は、 Google Classroom：ma2qiuw を通じて、核種連絡や資料配付・課題提示を行う。
学部講義［EB433］地域計画特殊講義でも、上位と同じ Classroom を利用する（2yxfeoe は利用しない）、

This year's Regional Planning Special Lectures will feature several textbooks on "urban and regional planning" and related topics. This field is mainly based on the physical planning of architecture, civil engineering, landscaping, and also has various connections with tourism, administration and policy science, sociology, regional economics, and welfare policy. The selection of textbooks should be based on the student's area of specialization and interest.

2．学修の到達目標/Goal of study：

・都市計画・地域開発・まちづくり・地域デザイン等に関わる多様な論点と、その理論的背景を理解する
・計画実践例の展開過程を追い、計画・実施組織や方法論の特徴を、地域いぇきぶんみゃくの中で把握する
・上記の理論化と政策立案・施策実施との関係性を理解する

・ Understand various issues and theoretical backgrounds of city planning, regional development, community organization, regional design, and so on.
・ Follow the developing process of some plans, and grasp the characteristics of the planing institution and methodologies in a regional contexts.
・ Understand the relationship between the planning theory and practice.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

○講義方法

下記の参考文献欄に示したものの他、参加者からの提案も踏まえて、初回に教科書・参考書の候補を持ち寄り、その中から選定する。各回の講義は、報告者と討論者を中心とする輪講形式で行う。報告者は文献内容の要約紹介を、討論者は内容に対するコメントと関連事例の報告をそれぞれ担当する。各回の報告担当は第2回講義開講時に決定し、報告者は発表の前週にレジメを、討論者は当日コメントを準備しておくこと。レジメ作成では、地図・統計表・その他関連資料を自ら発掘し添付することが望ましい。

○進捗予定
・第1回　ガイダンス・テキスト選択
・第2回　参加者の研究テーマ紹介と作業分担
・第3～13回　報告と討論（毎回二人程度）
・第14,15回　総括

○ Lecture style

In addition to those texts listed in the reference below, based on the suggestions of participants, we select textbooks at the beginning of the course. Each session will be held in a round-table manner centered on the reporter and debaters. The reporter is responsible for summarizing the contents of the literature, and the debaters are responsible for commenting on the contents and introducing supplemental cases. It is desirable to find and attach maps, statistical tables, and other related materials.

○ Schedule
・ 1st session: Guidance and text selection
・ 2nd: Introduction of participants' research topics and work sharing
・ 3rd to 13th: Reports and discussions (about 2 people each time)
・ 14th and 15th: Review and summary

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

日本語

6．成績評価方法/Evaluation method：

平常の報告・討論（講義への貢献50%）と、レポート（学期末他50%）により評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

まちづくりの統計学	宇都宮浄人・多田実編	学芸出版社	2022	978-4761528065	教科書
地域データ分析入門	林宜嗣・林亮輔 編著	日本評論社	2022	978-4535559479	参考書
地域問題をどう解決するのか：地域開発政策概論	小田清	日本経済評論社	2013	978-4818823013	
産業政策のつくり方	大野健一	有斐閣	2013	978-4641164185	
地域再生の失敗学	飯田・木下・川崎・入山ほか	光文社新書	2016	978-4334039158	
都市縮小時代の土地利用計画：多様な都市空間創出へ向けた課題と対応策	浅野・海道・中西・秋田ほか	学芸出版社	2017	978-4761540920	
都市をつくりかえるしくみ	門性をつなぐ参画のしくみ研究会編	彰国社	2016	978-4395320813	
まちづくりとしての地域包括ケアシステム：持続可能な地域共生社会をめざして	辻哲夫・田城孝雄・内田要編	東京大学出版会	2017	978-4130511421	
災害復興法学	岡本正	慶応義塾大学出版会	2014	978-4766421637	
復興の空間経済学：人口減少時代の地域再生	藤田昌久・浜口伸明・亀山嘉大	日本経済新聞	2018	978-4532134785	

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

・報告者は担当箇所を要約し、発表前週の講義修了時にレジメを印刷・配布すること。
・討論者は前週に配られたレジメを予習し、コメント等を準備しておくこと。
・他の参加者は、レジメ読了の上、講義に参加すること。

〇その他の参考図書

・日本建築学会編（2004～）『まちづくりの方法』まちづくり教科書シリーズ 1～10、丸善
・日本建築学会編（2014）『コンパクト建築設計資料集成：都市再生』、丸善
・伊藤智章　(2016)『地図化すると世の中が見えてくる』、ベレ出版
・Adam Sheppard and Nick Smith (2013) Study Skills for Town and Country Planning, SAGE
・Jordan Yin (2013) Urban Planning For Dummies, For Dummies（初学者多数の場合に考慮）

１０．その他/In addition：

特に履修の条件はない。オフィスアワーは相談の上決定する。講義内容や文献等に関して質問がある場合は、事前にメール（s.masuda@tohoku.ac.jp）で連絡の上、研究室（川内南・経済学研究棟 513 号室）まで。

経営戦略特論/Management Strategy

担当教員/Instructor：山﨑　喜代宏/KIYOHIRO YAMAZAKI
曜日・講時/Day/Period：Fall Tue. 5
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN603J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本講義では、経営戦略の体系的な理論や概念を理解するとともに、具体的な産業や企業の取り組みとの関連について検討することを通じて、企業の戦略的行動を理解する能力を養う。
In this course, students will learn and understand the theory of strategy with several management issues.

2．学修の到達目標/Goal of study：
受講生が、この授業を通して経営戦略の概念を理解し、産業や企業に対してさらに深い興味を持つようになり、経営戦略について考察する力を持てるようになることが到達目標である。
This course is designed to help students understand the concept of strategic management and deepen their interest in industries and firms, with the hope that they will analyze the management issues in the viewpoints of strategy by themselves.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
内容及び進度予定は以下のとおりであるが、状況によって内容を変更する場合もある。
The contents and schedule are as shown below, but subject to change depending on some circumstances.

Google Classroom のクラスコード [itm3mlh]

講義は対面で行う。なお状況により、オンライン講義になる可能性がある。

教科書をベースに講義を進める予定である。
割り振られた担当章について、受講者は、内容を説明し、他の受講者と行うディスカッションテーマを提示する。
その他の受講者は、教科書を読むなど事前に予習を行い、内容の要旨、質問・疑問やディスカッションしたい事柄をまとめ、講義ごと提出する。
また、講義で学んだ内容を活用して事例分析発表を複数回行う。

1. ガイダンス
2. 1章：戦略経営と戦略的競争力
3. 2章①：外部環境分析・業界構造分析
4. 2章②：発表：業界構造分析
5. 3章：内部組織
6. 4章①：事業戦略
7. 4章②：発表：事業戦略
8. 5章：敵対的競合関係と競争のダイナミクス
9. 6章①：企業戦略
10. 6章②：発表：企業戦略
11. 7章：企業合併と買収戦略
12. 8章：国際戦略
13. 9章：協調戦略
14. 発表：経営戦略分析
15. まとめ

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語

6．成績評価方法/Evaluation method：
講義での発表、提出物、講義への貢献などを総合して評価する。

7．教科書および参考書/Textbook and references：

改訂新版	戦略経営論	ヒット・アイルランド・ホスキソン	同友館	2014	4496050773	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
事前学習：学習予定の理論と具体的事例の理解
事後学習：学習した理論的枠組みの実践への応用

１０．その他/In addition：

経営学原理特論/Management

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：Fall Tue. 2
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN608J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営学における理論構築のパースペクティブについてテキスト読解を通じて学ぶ。近年の経営戦略論において展開された、行為者の動機の間主観的な理解とその相互行為プロセスの記述を行う行為論的アプローチについて検討し、客観的な法則定立をめざす実証主義的アプローチとの比較を行う。

This lecture will let you learn the perspectives how to construct any management theory through exploring academic text books. We would like to compare positivism approach for establishing objective laws with behaviorism approach for understanding inter-subjective motivations in relevant actors.

2．学修の到達目標/Goal of study：
経営学の理論構築における方法論的立場について理解を深める。またこの学習を通じて、自らが研究上、依拠する方法論的前提について自覚的になれるような研究センスを養う。

This class will provide you with profound insights into the methodology of constructing management theories and inspire the research senses through which you can acknowledge your own methodological assumptions.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
下記テキストを各章ごとに批判的に読み進める。受講生は各章のトピックスについて課題提起のコメント・ペーパーを毎回作成し、提出する。発表者については随時、指名する。
（1）経営学的思考法とは何か
（2）経営戦略論における変数システム記述と行為システム記述
（3）事例研究 － 行為連鎖と＜意図せざる結果＞によるモデル化

基本的に教室開講（対面授業）としますが、希望者がいればオンライン（zoom）も併用します。
（本学BCPレベル等によりオンラインのみとなる可能性もあります）
Google Classroomを通じて資料配布等を行います。
クラスコード：n54dv54

This lecture include the following contents: what is the thinking methodology of management study, the comparison between description of variables-system and one of actions-system in research of business strategy and case studies as modeling the unintended effect of the chains of actions.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語

6．成績評価方法/Evaluation method：
ペーパー及び最終課題の提出状況や分析レベル、討議に対する貢献度などに応じて評価する。

7．教科書および参考書/Textbook and references：

行為の経営学- 経営学における意図せざる結果の探究	沼上幹	白桃書房	2000	教科書
マーケティング・リフレーミング	栗木契ほか編	有斐閣	2012	教科書
企業と市場と観察者	水越康介	有斐閣	2011	参考書
マーケティング思考の可能性	石井淳蔵	岩波書店	2012	参考書
ビジネス・インサイト―創造の知とは何か	石井淳蔵	岩波新書	2009	参考書

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
参考事例）リクルートWorks連載シリーズ「成功の本質」（監修／野中郁次郎）
https://www.works-i.com/works/series/seikou.html

9．授業時間外学修/Preparation and Review：
テキストの各章につきコメント・ペーパーの作成を通じて予習してもらいたい。また討議で得た他の受講生からのフィードバ

ックを振り返ることで事後の復習に役立ててもらいたい。

１０．その他/In addition：
本講義のテーマへの関心が多少ともあり、邦語文献読解の能力をある程度有し、また他者とのディスカッションを厭わないことが履修の前提条件である。学部研究生の聴講は認めない。
【連絡先】http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~takaura/
【オフィスアワー】木曜３講時（経済学研究科棟６階601）

日本経済史特論/Japanese Economic History

担当教員/Instructor：長谷部　弘/HIROSHI HASEBE
曜日・講時/Day/Period：Spring Tue. 4
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO616J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
この授業の目的は、1850年代から1910年代にかけて日本の経済社会が辿った工業化の歴史過程を辿りながら、その歴史的な特徴を確認することである。授業では、旧社会の経済的特徴、地政学的条件、明治維新、初期財政金融および経済政策、産業発展、都市や農村の社会変動といった諸論点を取り上げ、歴史学的な検討と解釈を試みる。
The purpose of this class is to trace the historical process of industrialization that the Japanese economy and society followed from the 1850s to the 1910s, and to confirm its historical characteristics. In the class, we will try to examine and interpret historical issues such as economic characteristics of old society, geopolitical conditions, Meiji Restoration, initial fiscal finance and economic policy, industrial development, and social changes in urban and rural society.

2．学修の到達目標/Goal of study：
学修の到達目標は、学生諸君に、当該時期の日本の経済社会が持つ歴史的性格について、社会経済史的な専門的知見を獲得してもらうことである。
The goal of this study is to have students acquire specialized knowledge of socio-economic history about the historical character of the Japanese economy and society at that time.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
当面、Google Meetによるオンライン形式で授業を行う。条件が整えば、極力対面方式に切り替える。
Googleクラスルームコード：jfb7zsd
For the time being, classes will be conducted online by Google Meet. If the conditions are met, switch to the face-to-face method as much as possible. Google Classroom Code: jfb7zsd

1.授業案内
Class Guidance
2.「明治維新」の現代的意義
Significance of "Meiji Restoration"
3幕末・維新期日本の「庶民」
Ordinary people in Japan during the Edo period
4.徳川時代日本の社会体制について
About the Tokugawa Regime
5.徳川時代日本の都市
Urban society in the Tokugawa Japan
6.徳川時代日本の農村
Rural society in the Tokugawa Japan
7.徳川時代日本の市場経済
System of Market economy in the Tokugawa Japan
8.国家制度の「近代化」
"Modernization" of the state system
9. 通貨制度と金融制度の「近代化」
"Modernization" of the monetary system and financial system
10.初期工業化の課題
Tasks of the early industrialization
11工業化1：綿糸紡績業
Development of Cotton spinning Industry
12.工業化2：製糸業
Development of Silk Industry
13.都市化と労働力市場
Urbanization and Labor Market
14.近代日本と帝国主義戦争
Imperialist Wars of Japan, the Japan-China War and the Japan-Russo War.
15.日本の近代化の光と影
What is the modernization of Japan?

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語と英語（基本的に日本語）
Japanese and English, basically Japanese.

6．成績評価方法/Evaluation method：
授業時に課す小レポートおよび学期末に課す最終レポートによって成績を評価する

Grades are evaluated by a small report imposed at the time of class and a final report imposed at the end of the semester..

７．教科書および参考書/Textbook and references：
授業時に指示する

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
授業時に指示された参考書等の一読を推奨する。
It is recommended to read the reference books instructed in the class.

１０．その他/In addition：
講義内容に関する情報ないし資料は授業時に配付する。
Information and data will be distributed at the each class.

この授業は当面オンラインで実施するので、「講義情報」を確認して参加すること。
This class will be held online, so please check the lecture information before participating.

財務会計論特論/Financial Accounting

担当教員/Instructor：尾関　規正/NORIMASA OZEKI
曜日・講時/Day/Period：Fall Wed. ４
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC501J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
※ 本科目は会計大学院の科目との共通科目であり、片平キャンパス（エクステンション教育研究棟）で開講される。講義内容については下記の会計大学院のシラバスの「財務会計の理論と実証」のページを参照せよ。

※This is the common subject with the accounting school in Katahira Campus, for the details, please refer to the "財務会計の理論と実証" from the folloing syllabus of the accounting school.

(http://www.econ.tohoku.ac.jp/econ/kaikei/education_and_research/syllabus/)

２．学修の到達目標/Goal of study：

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

管理会計論特論/Management Accounting

担当教員/Instructor：松田　康弘/YASUHIRO MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：Fall Mon. 1
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC502J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
※ 本科目は会計大学院の科目との共通科目であり、片平キャンパス（エクステンション教育研究棟）で開講される。講義内容については下記の会計大学院のシラバスの「管理会計１」のページを参照せよ。

※This is the common subject with the accounting school in Katahira Campus, for the details, please refer to the "管理会計１" from the folloing syllabus of the accounting school.

(http://www.econ.tohoku.ac.jp/econ/kaikei/education_and_research/syllabus/)

２．学修の到達目標/Goal of study：

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

会計情報論特論/Accounting Information

担当教員/Instructor：木村　史彦/FUMIHIKO KIMURA
曜日・講時/Day/Period：Fall Mon. ２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC601J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
※ 本科目は会計大学院の科目との共通科目であり、片平キャンパス（エクステンション教育研究棟）で開講される。講義内容については下記の会計大学院のシラバスの「財務諸表分析」のページを参照せよ。

※This is the common subject with the accounting school in Katahira Campus, for the details, please refer to the "財務諸表分析" from the folloing syllabus of the accounting school.

(http://www.econ.tohoku.ac.jp/econ/kaikei/education_and_research/syllabus/)

２．学修の到達目標/Goal of study：

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

コストマネジメント特論/Cost Management

担当教員/Instructor：松田　康弘/YASUHIRO MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：Spring Fri. ４
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC602J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
※ 本科目は会計大学院の科目との共通科目であり、片平キャンパス（エクステンション教育研究棟）で開講される。講義内容については下記の会計大学院のシラバスの「管理会計２」のページを参照せよ。

※This is the common subject with the accounting school in Katahira Campus, for the details, please refer to the ″管理会計２″ from the folloing syllabus of the accounting school.

(http://www.econ.tohoku.ac.jp/econ/kaikei/education_and_research/syllabus/)

２．学修の到達目標/Goal of study：

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:″○″Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

監査論特論/Auditing

担当教員/Instructor：亀岡　恵理子/ERIKO KAMEOKA
曜日・講時/Day/Period：Spring Mon. ４
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC603J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
※ 本科目は会計大学院の科目との共通科目であり、片平キャンパス（エクステンション教育研究棟）で開講される。講義内容については下記の会計大学院のシラバスの「監査１」のページを参照せよ。

※This is the common subject with the accounting school in Katahira Campus, for the details, please refer to the ″監査１″ from the folloing syllabus of the accounting school.

(http://www.econ.tohoku.ac.jp/econ/kaikei/education_and_research/syllabus/)

２．学修の到達目標/Goal of study：

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:″○″Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

財務報告論特論/Financial Reporting

担当教員/Instructor：木村　史彦/FUMIHIKO KIMURA
曜日・講時/Day/Period：Fall Wed. 7
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC604J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
※ 本科目は会計大学院の科目との共通科目であり、片平キャンパス（エクステンション教育研究棟）で開講される。講義内容については下記の会計大学院のシラバスの「企業評価」のページを参照せよ。

※This is the common subject with the accounting school in Katahira Campus, for the details, please refer to the "企業評価" from the folloing syllabus of the accounting school.

(http://www.econ.tohoku.ac.jp/econ/kaikei/education_and_research/syllabus/)

２．学修の到達目標/Goal of study：

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Business Communication I/Business Communication Ⅰ

担当教員/Instructor：ＲＯＭＡＮ　ＲＡＹＭＯＮＤ　ＳＣ/ROMAN RAYMOND SCOTT
曜日・講時/Day/Period：Fall Wed. ２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM661E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
All information about this course is contained in the description of Business Presentation １（ビジネス・プレゼンテーション１）in the Tohoku University Accounting School syllabus, which can be found at this URL:
http://www.econ.tohoku.ac.jp/kaikei/education_and_research/syllabus/
Class taught at Katahira Campus. It may be wise to contact the instructor to confirm the room.

２．学修の到達目標/Goal of study：

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Business Communication II/Business Communication II

担当教員/Instructor：ＲＯＭＡＮ　ＲＡＹＭＯＮＤ　ＳＣ/ROMAN RAYMOND SCOTT
曜日・講時/Day/Period：Fall Wed. ６
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM662E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
All information about this course is contained in the description of Business Presentation ２（ビジネス・プレゼンテーション２）in the Tohoku University Accounting School syllabus, which can be found at this URL:
http://www.econ.tohoku.ac.jp/kaikei/education_and_research/syllabus/
Class taught at Katahira Campus. It may be wise to contact the instructor to confirm the room.

２．学修の到達目標/Goal of study：

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

JPN Communication I/Japanese Communication I

担当教員/Instructor：バックレイ　厚子/HUJA BACKLEY
曜日・講時/Day/Period：Fall Wed. １・２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM667E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

This course is intended for beginners and will allow students to acquire an elementary level of spoken Japanese in a one-semester period of study. The object of this course is to give students the confidence to use Japanese in everyday conversation and business-related situations, providing them with the language skills and cultural knowledge necessary to pursue their personal goals as well as to further their academic and professional careers. Students can access course materials (including the Meet/Zoom link) by registering to Google Classroom using the class code: z444hg7

２．学修の到達目標/Goal of study：

Upon successful completion of this course, students will have gained the ability to use basic Japanese in social and also business contexts. This course will help students work towards level A1 of CEFR/JFS (Common European Framework of Reference for Languages/Japan Foundation Standard for Japanese Language Education) or N5 of JLPT (Japanese Language Proficiency Test). See http://jfstandard.jp/, www.jlpt.jp (JLPT level N5)respectevely.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Students will practice essential language patterns for everyday conversation and business-related situations. They will develop an understanding of the nature of the Japanese language through their exposure to social, cultural and linguistic information, and of a range of communication strategies.

Course Schedule

1) Course Guidance :Japanese Sound/Writing System / Characteristics of Japanese Grammar / Useful expressions
2) Unit 1 Meeting People - Lesson 1 Greetings / Self-introduction / Asking/answering questions
3) Unit 1 Meeting People - Lesson 2 Introducing yourself and others / Identifying people and things /
4) Unit 2 Shopping - Lesson 3 Asking about business hours, price and size.
5) Unit 2 Shopping - Lesson 4/5 Asking about color and country of origin
6) Unit 3 Getting Around I - Lesson 6: Talk about where you will go, when, and with whom
7) Unit 3 Getting Around II -Lesson 7: Talk about dates,times,and means of transportation
8) Unit 4 Going out - Lesson 8: Talk about the whereabouts of things and people / tourist destinations
7) Unit 5 Dinning out - Action verbs: Making plans for the weekend
8) Unit 6 Visiting a Japanese Home I - Adjectives: Talk about the characteristics of things and people
9) Unit 6 Visiting a Japanese Home II Receiving hospitality / Giving and Receiving / Expressing Gratitude
10) Unit 7 Invitations - Making Suggestions
11) Unit 7 Offering to do something - Talk about events
12) Unit 8 Making Requests - Verb te-form
13) Unit 8 Making Negative Requests - Verb nai-form
14) Unit 8 Talk about plans / experience
15) Review and Reflection (presentation)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

Japanese/English: All grammar explanations are given in English, wheras in-class activities, homework assignments and oral presentations are all in Japanese, Students may ask questions either in Japanese or English. Regular tests and course assignments ha

６．成績評価方法/Evaluation method：

Grade evaluation is based on the following:
- Achievement of learning goals (50%): Regular assessments(unit tests), Mid-term and Final Examinations
- Participation (50%): Participation in class activities, Presentations

７．教科書および参考書/Textbook and references：

『Japanese for Busy People I, Revised 3rd Edition, Kana Version』	AJALT	Kodansha USA	2006	978-1-56836-400-1	Course textbook

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/MTI3Nzk4Nzg2NzI2?cjc=agqj7si
http://www.ajalt.org
http://nihongo-e-na.com

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The session time is limited and therefore self-directed learning is important. Students are expected to spend 30-60 minutes preparing for the next class, and at least 1 hour reviewing the materials covered in the previous class. Students are required to prepare a 3-minute oral presentation in Japanese using PowerPoint.

１０．その他/In addition：
Handouts and worksheets will be provided for grammar explanations and grammar/Kana practice.

JPN Communication II/Japanese Communication II

担当教員/Instructor：鈴木　寛子/HIROKO SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：Fall Wed. １・２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM668E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Intended for students who has A1 level in the CEFR / JF standard for Japanese-Language Education (N5 in the JLPT). Students will practice more advanced Japanese grammar and master situation-oriented skills in speaking and listening. In this course, students will also learn essential business-related vocabulary and expressions to be able to use in the appropriate context in Japanese. Classes are conducted in real time using ZOOM.

２．学修の到達目標/Goal of study：
After successful completion of this course, students will have gained practical communication skills to communicate with their colleagues in Japanese.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Day00 Placement Test and Guidance / Day01 Introduction / Day02 Asking for advice about a gift / Day03 Choosing a gift / Day04 Seaching for a lost item / Day05 Clocking in early / Day06 Inviting a colleague / Day07 Examination1 / Day08 Clocking out early / Day09 Greeting a new employee / Day10 Running into an old acquaintance / Day11 Joining a social activity / Day12 Asking for time off / Day13 Selecting a vacation plan / Day14 Review / Day15 Examination2

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Grade evaluation is based on an achievement of learning goals (50%) and regular class participation (50%). Class participation includes quizzes (20%), in-class activities (20%), and attendance (10%).

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Japanese for Busy People 2 Revised 3rd Edition, Kana version	AJALT	KODANSHA USA	2011	978-1-56836-386-8	textbook

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Classcode of Google Classroom :fgaopyd

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students will be required to prepare for quizzes of previous lesson.

１０．その他/In addition：
Fall semester format undecided. Students who fail to attend two-thirds of all classes receive "D"(Failure).

Career Development/Career Development

担当教員/Instructor：中村　好伸/YOSHINOBU NAKAMURA
曜日・講時/Day/Period：Fall Tue. 2
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM660E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

This course, basically, classes will be held face-to-face. Depending on the corona infection situation, it will be an online class live lecture via Zoom, please check Google Classroom oqcwqzw.

This course offers the opportunity to learn theories of basic career development.
Also, to acquire basic knowledge of Japanese society, typical Japanese companies as well as multinational companies, useful in developing know-how and skills to be later used in job-hunting activity. In addition, by introducing the concepts of career development and company lifestyle, through the curriculum and active classroom discussion this course will also give valuable insight toward selection of one's future career. Further, this course will offer practical guidance in matters of Japanese business etiquette, and essential tips for effective resume preparation, as well as an understanding of company meeting protocol and polishing one's presentation skills.

2．学修の到達目標/Goal of study：

1. Students, to learn the basic theories of career development that can be applied to the future of social life.
2. Opportunity for enrollee to consider work as existing both in the framework of business society as well as together with one's life overall.
3. Goal is to gain the necessary knowledge and improve skill at interpersonal relations to become a fulfilled member of society and enhance one's value as a perspective employee.
4. Master communication skills for information gathering regarding job-hunting activity about Japanese companies or other multinational companies.
5. Wright a short essay the title "My Future Career Plan starting at present up to the next ten to twenty years".
6. Show good presentation skill, by final presentation same title as the essay in the class.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

The course will be interactive and experience-based, so positive and pro-active participation of the self-motivated enrollee is both encouraged and expected.
The course will aim to give the enrollee the ability to shape and guide his/her career by building on one's own experience, led by an instructor with a wealth of long-term job experience in personnel matters at a major Japanese multinational corporation, who will work with enrollee to assist and give advice and tips throughout the duration of the course.
Depending on content, course assignments may be either individual or team based, allowing enrollees the opportunity to develop independently as well as hone effective teamwork skills. This course also plans to invite special guest lecturers such as experienced industry executives and human resource managers to give valuable practical advice and insight to the enrollee.

1) October 4th
Introduction
Lecturer's self-introduction and explanation of the coursework objectives and way of proceeding. Enrollees will also be asked to introduce themselves, so that all may be aware of each other's background and experience. In this first segment, the course will examine how to effectively gather information about a prospective company and how to evaluate company summaries.
Distribution & Assignment
D：Copy of Syllabus by LMS
Assignment ：Send Self-introduction to lecturer by e-mail.
To yoshinobu.nakamura.b3@tohoku.ac.jp and yoshinakamura100@bea.hi-ho.ne.jp

2) October 11th
Overview of Career Development Theories
The basic theory of career development
Career Development Theories of the past 100 years
Distribution
：The Career Interest Questionnaire

3) October 18th
Career planning
Know yourself first - where do I want to go and what have I done so far to get there?
Distribution: The Career Interest Questionnaire Result Sheet
My Life & Career Planning Work Sheet
A: "Lean In" Ch.2&4 :Sheryl Sandberg 1 page after reading report

4) October 25th
Self management
Self-understanding for future your life-
Make Personal history curve

(your life-line and motivation curve)

5) November 1st
Japanese corporations: The Basic Principle of Japanese Management.
Features and characteristics of a typical Japanese management system
Distribution & Reading assignment
D：Copy of Japanese Human Resource Management Ch. 1&15 :Hideo Ishida

6) November 8th
Japanese Human Resource Management practices
Japanese Human Resource Management :Hideo Ishida
Distribution & Reading assignment：1 page after reading report
D：21st-Century Japanese Management Ch.4&9： J C. Abegglen
D :Social & Cultural Background of Japanese Management

7) November 15th
A look at Japanese companies at present
A look at why Japanese companies hiring non-Japanese employees, and what these companies hope to gain from hiring exchange students to Japan

8) November 22nd
The Japanese employment practices in Japan
Regular annual hiring and in-house human resource development
Distribution： Career Option Work Sheet

9) November 29th
Learning more about Japanese companies
In what type of companies are you most interested? In what kind of work?
How to find out for what type of company and jobs you may be best suited

10) December 6th
Japanese business etiquette
Keys to success in working effectively in a Japanese company with local employees
Distribution & Assignments: Quiz Seating order
:Preparing for the Job Search
Please make Your Job Hunting Resumes to your interest company with letter.
Send by e-Mail by weekend and bring a print copy to the next class

11) December 13 th
Job Resumes
How to draft a polished and effective job-hunting resume.
Distribution & Assignments: Sample Resumes and Cover Letter
A: Interview Work Sheet & make answer ideas to next class

12) December 20th
Job Interviews
Types of questions you may be asked, and examples of effective responses.
Course will involve enrollees in simulated job-interviews to hone essential interview skills.
Distribution
: THE SHIFT The Future of Work Author: Lynda Gratton
: Interviews
13) December 27th
Final Presentation 1st group
"My Future Career Plan" five to ten years from now. Use PPT.

14) January 10th
Final Presentation 2nd group
"My Future Career Plan" five to ten years from now. Use PPT.

15) January 17th
Final Presentation (continued) 3rd group
"My Future Career Plan" five to ten years from now.
Wrap up Class.
Distribution: “Willing to Learn” by K.Matsushita.
THE 100 Year Life :Living and Working in an Age of Longevity portion
Author: Lynda Gratton & Andrew Scott

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
○Based on the instructor's practical work and overseas experience at a major electrical equipment manufacturer, he will also touch on how management activities are carried out in an actual company.

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

There will be no written tests.
Class Attendance　10%
Participation in class discussion, etc.　20%
Assignments and homework　20%
Final presentation　20%
A short essay of the title "My Future Career Plan" (10-20 pages in length).
To be submitted end of December.　30%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Japanese Human Resource Management Ch. 1&15:	Hideo Ishida,	Keio Univ. Sangyou Kenkyu-jo	1999
21st-Century Japanese Management Ch.4&9:	J C. Abegglen	Macmillan	2006
THE SHIFT The Future of Work portion	Lynda Gratton	Collins	2011
THE 100 Year Life :Living and Working in an Age of Longevity portion	Lynda Gratton & Andrew Scott	Bloomsbury	2016
Lean In: Women, Work, and the Will to Lead portion	Sheryl Sandberg	WH Allen	2013

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

Students should
・Be prepared for each class atleast 1hour.
・Complete all assignments submitte on time
・Participate effectively and with energy in class exercises

１０．その他/In addition：

Classes will be held face to face at Kawaauchicampas.It will be held online depending on the situation of Corona.
Details regarding the schedule may subject to change.

研究方法論/Research Methods in Economics and Management

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：Spring Thu. ３
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM501J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom code: ehuesn4

大学院生として研究を行い、修士論文をはじめとする論文を作成していく上で求められる基本的な学術的ルール、倫理、方法について学ぶ。特にここでは、実態調査、文献・資料収集に基づく研究方法や数式を含む論文の書き方について学ぶ。

２．学修の到達目標/Goal of study：
・論文を作成する基本的ルールや研究方法を身につける。
・実態調査や文献・資料収集の方法を身につける。
・論文の書き方を身につける。

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
第１回（担当：日置）　授業オリエンテーション、研究倫理について
第２回（担当：増田）　先行研究の読み方・扱い方：工学系との比較も含めて
第３回（担当：守）　数式を含む論文の書き方。研究不正と社会的責任。
第４回（担当：川端）　フィールドワークに基づく事例研究のルール
第５回（担当：佐々木）　私の研究遍歴―経験をふまえたアドバイスー
第６回（担当：黒瀬）　サーベイの重要性とその仕方-文献検索の方法-：私の経験
第７回（担当：日置）　実態調査、文献・資料収集の方法など：私の経験から

初回は４月２１日の予定です。感染症の流行状況に応じて、オンライン開講に変更される可能性があります。最新の情報はGoogle Classroom で確認してください

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
以下の２要件による。①出席要件：第 1 回の講義には必ず出席し、以後６回の講義のうち５回に出席すること。②eAPRIN を受講し、理解度確認テストをパスすること。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
講義中に指示する。

１０．その他/In addition：
・教科書および参考書については、必要があれば、講義中に指示する。
・履修の条件は特にありません。
・連絡先は shiro.hioki.d3@tohoku.ac.jp、office hour は火曜日 12:00 ～12:45（日置）です。

研究方法論/Research Methods in Economics and Management

担当教員/Instructor：金　熙珍/HEEJIN KIM
曜日・講時/Day/Period：Fall Thu. ３
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM501J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
大学院生として研究に従事し、修士論文をはじめとする研究論文を作成していく上での基本的な学術的ルール・倫理・方法について学ぶ。
We will provide you the basic knowledge of the academic rules, research ethics and methods so that you can accomplish the master thesis and the other research papers as an eligible graduate student.

２．学修の到達目標/Goal of study：
研究方法だけでなく論文作成の基本的ルールを学び、研究活動の本質や学術論文の特質を理解すること。
We expect you can understand the essence of research activities and the characteristics of academic paper in learning the basic rules of how to write research papers as well as the research methods.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
2022 年度後期（木曜日・3 限）の授業は、Google Meet を使用してリアルタイムで実施します。
Google Classroom のコード：hgco5pf
Google Meet のコード：https://meet.google.com/jam-nmwb-dcc

授業で使用するレジュメや資料、お知らせなどは Google Classroom に掲載しますので、事前にご確認ください。

１０月１３日　オリエンテーション・研究の進め方　　＜金先生＞
１０月２０日　資料収集と整理・先行研究　　＜増田先生＞
１０月２７日　研究倫理　　＜西出先生＞
１１月２４日　定性調査（インタビュー、参与観察）　＜酒井先生＞
１２月１日　定量調査（アンケート調査など）　＜高浦先生＞
１２月１５日　論文執筆の進め方（論文の構成、本文）　＜一小路先生＞
１月５日　論文執筆の進め方（参考文献、引用）　＜山崎先生＞
１月１９日　成果発表（学会報告、学術誌への投稿）　＜福嶋先生＞

13 October　Orientation/ Designing a research process
20 October　Literature Review: Reference Collection & Management
27 October　Research ethics
24 November　Qualitative research (interview, participant observation)
1 December　Quantitative research (questionnaire survey)
15 December　Writing up a thesis (structure of a thesis)
5 January Writing up a thesis (reference & citation)
19 January　Research presentation (conference presentation & journal submission)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
授業は日本語で行われる。

６．成績評価方法/Evaluation method：
単位取得の要件は、全８回のうち６回以上の出席が必須であり、毎回、授業内容に関する課題レポート等を課し、その提出物の内容によって評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
ＪＳＰＳ研究倫理テキスト　https://www.jsps.go.jp/j-kousei/data/rinri.pdf

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各回の授業において提示される課題レポートを作成し、指示された期日までに提出する。

１０．その他/In addition：
今年度は経営学系の教員によるオムニバス形式だが、世話役の担当教員は藤本。初回のガイダンスに出席できない場合は、世話役の担当教員に必ず事前にメール（kim@tohoku.ac.jp）等で連絡すること。

Topics in Economic Theory/Special Lec Topics in Economic Theory

担当教員/Instructor：図斎　大/DAI ZUSAI
曜日・講時/Day/Period：Fall Mon. 1
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM675E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

!!!<< This course will use an external online service Canvas as an online classroom platform (a Learning Management System), regardless of BCP level. Follow the instruction in the URL section of this syllabus. >>!!!

This course is to give an extensive training in understanding state-in-art economic theory (in any field) so deeply with a critical but constructive mind that students would become able to make non-trivial and innovative applications of the theory or to make contributions to the theory. Targeting students of this course should (i) have already mastered basics (at master level) on game theory and basic mathematical skills and (ii) aims to becoming academic scholars in economics or mathematical social sciences/engineering; see the prerequisites below. However, the students can be Ph.D. students of our graduate program or very confident, ambitious and (most of all) well-prepared undergraduate students who have already learned the contents of gradulate-level core courses and seriously consider to going to highly ranked Ph.D. programs.

Basically this course will be a reading course, either reading of a set of papers with presentations of summaries of those papers or reading of some certain book with discussion in quite a detail of the book. With the selection of the topic and the logistic of the course, it will be determined near the end of the summer on which way we will go in this year, depending on the class delivery method and the current interests of the instructor and the students who have made credible commitments to taking this course. Anyone wishing to take this course are encouraged to make a contact with the instructor and show eagerness of taking the course, her/his own research interests and academic achievement and goals, by sending an e-mail at zusai@tohoku.ac.jp during the summer (say July to early August, but not before July, as it is too early). The final plan will be published as a revised syllabus before the beginning of Fall semester and posted at the instructor's website https://sites.google.com/view/zusaiTohoku as well as Student Affairs Information System of the university.

Prerequisites: solid understanding of master-level game theory and confidence in mathematical literacy (rather than mere calculation power). Economics students who have interests in this course but are not confident in math or game theory should plan to take this course in the next year after successfully completing graduate-level courses (necessarily) on game theory (Micro I in Fall) and (ideally) on mathematics for economics (EB331/EM2524 Mathematics for Formal Economic Modeling and Analysis, to be taught in Spring). This course is NOT recommended for students who have not mastered basic concepts such as normal/extensive form representation of games, domination of strategies, Nash equilibria, backward induction and subgame perfect equilibria. While those basic terms should be covered at any undergraduate game theory course, GPEM students can learn them (and more) at Micro I; so, take it first before trying this course. On the other hand, a student (possibly, second-year master and doctoral students) may find this course as good training for reading of formal mathematical writing in economic theory as well as themed learning in game theory and its leading-edge applications.

2．学修の到達目標/Goal of study：

Through discussions and exercises, you will develop and improve literacy of research papers so to decipher underlying structures of decision making and social interaction from mathematical or algorithmic description of a model.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

The final plan and the details will be fixed around the end of the summer. The lecture plan below is a temporary plan:

Lec 1: Orientation and organizational meeting.
Lec 2: (if necessary) quick review of any needed mathematics, etc. (to give clearer, directed vision of those necessary basics for those who have learned those basics before, not for someone who (wrongly) take the course despite lack of prerequisite knowledge).
Lec 3-13: students' presentations and in-class discussions
Lec 14: wrap up
Lec 15: final examination

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

English. For students with strong math but weak English, this course would be a good introduction to academic communication in English.

6．成績評価方法/Evaluation method：

The grades will be determined from quality of a student's own presetations, a record of class attendance,

contributions to in-class discussions and results of the final examination and (if any) homework assignments, quizzes, etc. The grading formula will be announced on the course website at the beginning ot the semester.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

TBA

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

<<MUST READ; the followng registration steps will be needed whatever the class delivery method will be.>> We will use an external LMS (Canvas), which is not synced with Tohoku's course enrollment system. It needs invitation from the instructor and students' own registration. To get an invitation, you must respond to the request form at https://sites.google.com/view/zusaiTohoku during the first week of the lecture. Apart from this, you must also complete the regular course enrollment process, following the administrator's instruction. So, BOTH THE TWO STEPS are needed and must be completed at your own responsibility. In case a student fails to complete the request form and also forgets to notify the intention of withdrawal to the instructor, the student will automatically receive a failing grade, not withdrawal.

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

There may be additional reading materials for preparation prior to each class meeting and also for review after it. Besides, students are expected to engage in online discussions.

１０．その他/In addition：

Math for formal econ modeling/Special Lec Mathematics for formal economic modeling and analysis

担当教員/Instructor：図斎　大/DAI ZUSAI
曜日・講時/Day/Period：Spring Tue. 1
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM675E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

!!!<< This course will use an external online service Canvas as an online classroom platform (a Learning Management System), regardless of BCP level. Follow the instruction in the URL section of this syllabus. >>!!!

This course will give an organized training in literacy of abstract mathematics necessary for rigorous understanding of economic and game theory. Specifically about mathematical contents, we will build up calculation skills and fundamental concepts needed for constrained optimization. The first target of this course is graduate students in economics and mathematical social sciences who are planning (or currently doing) Ph.D.-level study (not necessarily in theoretical or mathematical study but possibly in statistical/empirical study with state-of-art methods) but are not confident in reading and writing formal mathematical papers beyond mechanical calculation. The second target is students who are confident in mathematical literacy but not in English communication. Prior knowledge of mathematical logic and basic calculus is required. More details and an updated information will be posted at https://sites.google.com/view/zusaiTohoku.

2．学修の到達目標/Goal of study：

In any field of modern economics, mathematics has been used not only for numerical computation but more essentially as the language to convey ideas with solid logic. Abstraction of mathematical models leads economists to extracting crucial essence of economic problems to highlight general insights. Rigor of mathematical logic allows economists to easily capture a crystal clear image of the linkage between assumptions, implications and limitations behind economic arguments. Abstraction and rigor are what economics stands out as the king of modern social sciences. Anyone who wants to understand truly academic, front-end research in economics needs literacy of abstract and formal mathematics, beyond quantitative calculation.

Through learning basic mathematical techniques with delicate attentions to every step in logic and every piece of formal writing, a student in this course will acquire literacy to read academic writings in economics as well as skills to apply these techniques to formal models in economic theory. For this purpose, we put emphasis on accuracy of logic and formality of writing rather than mechanical calculation.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Lecture delivery method: Given that most of GPEM students are still abroad, this course will be conducted wholly online. That is, lectures of this course will be delivered with recorded videos, animated slide shows, and online communication on an external classroom platform, Canvas.

Course contents:
1. Introduction and diagnostic test
   Part 1 Fundamental concepts
2. Logic and sets. 3. Utilizing definitions of function and optimum.
   Part 2: Properties of functions
4. Monotonicity and homogeneity. 5. Convexity.
   Part 3: Topology
6. Limits. 7. Topological properties of sets. 8. Continuity and topology.
   Part 4: Differentiation
9. Differentiation as linearization. 10. Differentiation techniques.
   Part 5: Optimization
11. Unconstrained optimization. 12. Constrained optimization.

13-14. Review and applications
15. Final examination (理解度確認セッション)

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

English. For students with strong math but weak English, this course would be a good introduction to academic communication in English.

6．成績評価方法/Evaluation method：

Quizzes 30%. An online quiz will be given for each part in order to confirm careful reading of the textbook.
HW assignments 50%. HW assignments---mostly proof problems---will be given as training of your mathematical writing skills.
Final examination 20%. The final exam will cover all the contents of this course. The examination method

will be determined later.
When necessary in grading of a HW or the final exam and advising, there may be an online follow-up interview, which may be used as a factor of grading.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Introduction to formal mathematics for economic modeling	Dai Zusai	Book manuscript	Required (provided on the course website)

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

<<MUST READ>> We will use an external LMS (Canvas), which is not synced with Tohoku's course enrollment system. It needs invitation from the instructor and students' own registration. To get an invitation, you must respond to the request form at https://sites.google.com/view/zusaiTohoku during the first week of the lecture. Apart from this, you must also complete the regular course enrollment process, following the administrator's instruction. So, BOTH THE TWO STEPS are needed and must be completed at your own responsibility. In case a student fails to complete the request form and also forgets to notify the intention of withdrawal to the instructor, the student will automatically receive a failing grade, not withdrawal.

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

Before each lecture, a student is expected to read the assigned part of the textbook; serious preparation is regularly monitored through online quizzes. There may be additional reading materials for preparation prior to each class meeting and/or for review after it.

To learn economic theory, careful reading is only just the very starting point and far from getting full mastery. For this, you must practice the theory by solving exercise problems. Homework will be kept at the minimum in order to efficiently evaluate your understanding and steady learning while giving you flexibility on your workload and schedule; yet, you are expected to try more exercises spontaneously than assigned as HW in order to master the contents of the course. I will make a suggestion of non-graded exercise problems; you are supposed to try those suggested exercises after each lecture. You should keep all your works for this course until receiving the final overall grade of this course , in case that I ask you to show how you study for this course (possibly to give an individual advice or to solve some issue on grading). Besides, the current pandemic deters us from easy face-to-face interaction. You are supposed to spontaneously utilize optional opportunities of interactions with the instructor and fellow classmates, e.g. office hours and online discussion board.

１０．その他/In addition：

The required textbook (a book manuscript by the instructor) will be distributed on Canvas, the course LMS.

Introduction to management/Special Lec Introduction to management

担当教員/Instructor：ＮＧＵＹＥＮ　ＫＩＭ　ＮＧＡＮ/NGUYEN KIM NGAN
曜日・講時/Day/Period：Spring Thu. ４
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM675E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Class code: huogm5a (All students have to register this Google classroom to update class notifications). Day & period: Thursday, 14:40 - 16:10 (Japan time)

Management is essential for business success in all types and sizes of organizations, organizational levels, and work areas. Once students graduate from universities and begin their careers, they will either manage or be managed. In any case, understanding management is significant.
This course introduces effective management theories and focuses on developing students' skills to work in a global workplace or become start-up leaders.

２．学修の到達目標/Goal of study：

At the end of this course, students are expected to
・Understand the basics of managing in today's workplace, including external environmental factors, organization's culture, global environment; managing diversity, social responsibility, change, and disruptive innovation
・Understand the four basic functions of management (planning, organizing, leading, controlling) and factors influencing the decision making
・Develop the five key skills that employers are looking for: critical thinking, communication, collaboration, knowledge application, and social responsibility

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Class code: huogm5a (All students have to register this Google classroom to update class notifications). Day & period: Thursday, 14:40 - 16:10 (Japan time)

In this course, while the lecturer explains the fundamental theories, students have to discuss problem-solving through cases to deepen their understanding and improve skills. The tentative schedule is as follows.

1. Introduction
2. Influence of the External Environment and the Organization's culture
3. Managing in Global Environment and Diversity
4. Managing Social Responsibility and Ethics
5. Managing Change and Disruptive Innovation
6. Planning: Foundations of Planning & Management strategy
7. Planning: Entrepreneurial Ventures
   & Mid-term wrap-up (group presentations)
8. Organizing: Designing Organizational Structure
9. Organizing: Managing Human Resources
10. Organizing: Managing Groups and Teams
11. Leading; Managing Communication
12. Leading: Understanding and Managing Individual Behavior
13. Leading: Motivating employees
14. Leading: Being an Effective Leader
15. Controlling: Monitoring and Controlling
    & Final-term wrap-up (group presentations)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

Attendance & Participation 50%; Group presentations 30%; Weekly individual assignment 20%. No written examinations

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Management	Stephen P.Robbins & Mary Coulter	Pearson	2021	9781292340883	Textbook

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
After classes, students have weekly individual assignments. Besides, they also need to prepare for group presentations.

１０．その他/In addition：
Class code: huogm5a (All students have to register this Google classroom to update class notifications). Day & period: Thursday, 14:40 - 16:10 (Japan time)

How to describe the class environment? friendly and interactive
What to pay attention to:
・

Social Research Methods/Special Lec Social Research Methods

担当教員/Instructor：ＮＧＵＹＥＮ　ＫＩＭ　ＮＧＡＮ/NGUYEN KIM NGAN
曜日・講時/Day/Period：Fall Thu. ４
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM675E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Class code: lkcb42w (All students have to register this Google classroom to update class notifications). Day & period: Thursday, 14:40 - 16:10 (Japan time)

This course aims to provide the understanding of social research methods. It focuses on developing students' skills to conduct their social research.

２．学修の到達目標/Goal of study：

At the end of this course, students are expected to
・Understand when and which specific research method should be used.
・Grasp the concepts and implementation guidelines in qualitative, quantitative and mixed methods
・Know how to draw a roadmap for conducting the social research from ideas to research design, planning and implementation

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Class code: lkcb42w (All students have to register this Google classroom to update class notifications). Day & period: Thursday, 14:40 - 16:10 (Japan time)

In this course, while the lecturer gives lessons, students have to discuss in groups and present their ideas to deepen their understanding and improve skills. The tentative schedule is as follows.

1. Social Research Process & Strategies
2. Research Design
3. Planning a Research Project
4. Reviewing the Literature
5. Quantitative Research 1: process & sampling
6. Quantitative Research 2: asking questions
7. Quantitative Research 3: Structure observation & Content analysis
8. Quantitative Research 4: Quantitative data analysis
9. Qualitative Research 1: process & sampling
10. Qualitative Research 2: interviewing
11. Qualitative Research 3: language and document analysis
12. Qualitative Research 4: Qualitative data analysis
13. The Quantitative/Qualitative Divide & mixed methods
14. Writing up social research
15. Final report submission

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

Attendance & Participation 50%; Weekly assignment 25%; Final report 25%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Social Research Methods	Bryman, A.	Oxford University Press	2012	9780199588053	Textbook

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

After classes, students have weekly individual assignments. Besides, they also need to prepare for final report.

１０．その他/In addition：

Class code: lkcb42w (All students have to register this Google classroom to update class notifications). Day & period: Thursday, 14:40 - 16:10 (Japan time)

How to describe the class environment? friendly and interactive
What to pay attention to:

Empirical Macroeconomics I/Empirical Macroeconomics Ⅰ

担当教員/Instructor：ＢＡＺＺＡＯＵＩ　ＬＡＭＩＡ/BAZZAOUI LAMIA
曜日・講時/Day/Period：Spring Thu. 1
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM675E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

The course will provide a presentation of econometric techniques that are frequently used in empirical macroeconomics. Practical methods to uncover relationships between macroeconomic variables will be studied and some techniques will be implemented using data. Applications will cover various topics such as the Solow growth model and the interaction of fiscal policy with output. Specific readings will be assigned throughout the semester, following the progress of the class.

２．学修の到達目標/Goal of study：

The goals of this course are:
- Gaining a better understanding of the practical usefulness of econometrics in macroeconomic analysis;
- Enhancing the knowledge of relevant techniques and concepts necessary to conduct empirical research;
- Improving the ability to read and analyze current empirical research on macroeconomics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

1. Introduction on the intersection between macroeconomic theory and empirical analysis
2. Properties of Macroeconomic data and basic data handling
3. The classical linear regression model (an application with the Solow growth model)
4. Time series analysis and stationarity (application: forecasting with an ARMA model)
5. Granger causality
6. Vector autoregressions (example on the estimation of unidentified systems)
7. The identification problem in macro-econometrics (application on fiscal policy and output)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

Grading will be based on homework assignments (60%) and a final exam (40%). The first homework will be a data exploration project and the second homework will be related to time series analysis.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Applied Macro-econometrics	Favero, Carlo A	Oxford University Press	2001	9780198775836	Textbook
Time series analysis	Hamilton, James D.	Princeton university press	1994	9780691042893	Textbook
A guide to modern Econometrics	Verbeek, Marno	Wiley	2012	9781119951674	Textbook

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

https://sites.google.com/view/empiricalmacroeconomics

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

The class materials and supplementary readings will be posted on the class website.

１０．その他/In addition：

Empirical Macroeconomics II/Empirical Macroeconomics II

担当教員/Instructor：ＢＡＺＺＡＯＵＩ　ＬＡＭＩＡ/BAZZAOUI LAMIA
曜日・講時/Day/Period：Fall Thu. ３
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM675E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

This course will focus on the presentation of tools from time-series analysis and panel data econometrics and their application to empirical macroeconomic problems. The topics covered will include vector autoregressions and methods for the estimation of multivariate linear rational expectations models. Specific readings will be assigned throughout the semester, following the progress of the class.

２．学修の到達目標/Goal of study：

The main objectives are as follows:

- Applying key methods for the treatment of macroeconomic data;
- Improving the ability to determine more suitable methods for specific macroeconomic problems;
- Gaining familiarity with research in modern empirical macroeconomics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

1. Introduction on Macro-econometric methodology
2. Trends, cycles and structural breaks in Macroeconomic data
3. Unit roots and stationary processes
4. Filtering approaches (output gap, underlying inflation)
5. Vector autoregressive models
6. Cointegration and error correction
7. The Lucas Critique and the limitations of VAR analysis
8. Solution and estimation of multivariate linear rational expectations models

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

Grading will be based on homework assignments (60%) and a final exam (40%). The first homework will be on the properties of macroeconomic data and the second homework on VAR models.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Handbook of Research Methods and Applications in Empirical Macroeconomics	Hashimzade, N, and M. A. Thornton	Edward Elgar Publishing	2015	9781782545071	Textbook
Handbook of Applied Econometrics, Vol I: Macroeconomics	Pesaran, M.H. and M. Wickens	Wiley-Blackwell	1995	9781557862082	Textbook
Time series analysis	Hamilton, James D.	Princeton university press	1994	9780691042893	Textbook
Applied intermediate macroeconomics	Hoover, Kevin D	Cambridge University Press	2012	9780521763882	Textbook
Methods for Applied Macroeconomic Research	Canova, Fabio	Princeton university press	2007	9780691115047	Textbook

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

https://sites.google.com/view/empiricalmacroeconomics

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

The class materials and supplementary readings will be posted on the class website.

１０．その他/In addition：

Spatial Economics/Spatial Economics

担当教員/Instructor：曽　道智/DAO-ZHI ZENG
曜日・講時/Day/Period：Fall Tue. 1
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM675E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
空間経済学は、伝統的な経済学に空間的要素を取り入れ、産業の集積や国際貿易などを解明する。この授業は近年著しい発展を見せた新経済地理学・新貿易理論に関する知見を重点的に紹介する。具体的には、国際経済学の新貿易理論、地域経済学の核・周辺地域モデルを紹介し、それらの応用例を講述する予定である。これらの内容を理解するには、ミクロ経済学の基礎知識が必要である。

英語で講義を行う。

Spatial economics clarifies regional industrial agglomeration and international trade by incorporating spatial factors into traditional economics. This lecture mainly focuses on New Economic Geography and New Trade Theory, which exhibit a remarkable development in recent years. Specifically, we introduce new trade theory of international economics and core-periphery models of regional economics, and then show their applications. To understand this course, you are expected to have some basic knowledge of microeconomics.

The lectures will be in English.

2．学修の到達目標/Goal of study：
基礎理論を学び、研究フロンティアの情報を把握する。
To learn the basic theory and understand the research frontier.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業にはGoogleClassroomを利用（情報科学研究科クラスコードxve5xkn, 工学研究科クラスコードtwkt47g, 経済学研究科クラスコード52nkarw, 経済学部クラスコードrlfkjyx）します。

1 序論
2 Dixit-Stiglitzの独占的競争モデル
3 一要素モデル: 自国市場効果
4 二要素モデル：労働と資本
5 新経済地理と均衡の安定性
6 核・周辺モデル
7 準線形モデル
8 労働費用がもたらす再分散
9 都市費用がもたらす再分散
10 多産業と企業関連モデル
11 異質性モデル
12 重力モデル
13 厚生測量
14 様々なNon-CES 研究
15 様々な応用

We use Google Classroom (Class Code xve5xkn in Graduate School of Information Sciences, Code twkt47g in Graduate School of Engineering, Code 52nkarw in Graduate School of Economics and Management, Code rlfkjyx in Faculty of Economics).

1 Introduction
2 The Dixit-Stiglitz monopolistic competition model
3 1-factor models: The home market effects
4 2-factor models: labor and capital
5 New Economic Geography & equilibrium stability
6 Core-Periphery model
7 Quasi-linear model
8 Re-dispersion by labor costs
9 Re-dispersion by urban costs
10 Multi-industry economy
11 Heterogeneity models
12 Gravity models
13 Welfare analysis
14 Non-CES studies
15 Various applications

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
英語 English

６．成績評価方法/Evaluation method：
授業への関与度(30%)、宿題(70%)に応じて評価する。
Students are evaluated based on the level of class participation (30%) and assignments (70%).

７．教科書および参考書/Textbook and references：

空間経済学	曽道智・高塚創	東洋経済新報社	2016	978-4492314852	教科書
The Spatial Economy	Fujita, M., Krugman P and Venables A.	MIT Press	1999	978-0262561471	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
http://www.se.is.tohoku.ac.jp/~zeng/index.html

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
1. 授業前に公開されるスライドに基づき予習を行う。
2. 授業後は宿題によって復習する。宿題の点数は最終成績の評価に使用される。

1. Slides are used to make a preparation of lectures.
2. Home works are used to review the lectures. They are also used to evaluate your final score.

１０．その他/In addition：
オフィスアワー
水曜日 16：30－18：00　他にメールあるいは電話等でアポイントメントをとれば、随時対応

Office hours
Wednesday 16:30-18:00 or by appointment.

特講）ファミリー・エコノミクス/Special Lec Family Economics

担当教員/Instructor：陳　鳳明/FENGMING CHEN
曜日・講時/Day/Period：Spring Mon. 3
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO675J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
世界中で出生率の低下が進行している中、子育て支援の関連政策はますます重視されている。本講義は世の中で実施されている複数の子育て支援政策に注目し、経済学見地からこれらの政策を評価する方法について学ぶ。

As birth rates continue to decline around the world, more and more emphasis is being placed on policies related to childcare support. In this lecture, we will focus on several child-rearing support policies implemented in the world and learn how to evaluate these policies from an economic perspective.

2．学修の到達目標/Goal of study：
以下の2点を目標とする。

(1) 実証研究の中で頻繁に使われている政策評価方法を修得する。
(2) レポート作成を通じて、学術論文の書き方を修得する。

(1) Master the policy evaluation methods frequently used in empirical research.
(2) Learn how to write academic papers through report writing.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
1. ガイダンス
2. 経済学の実証分析（因果推論の基礎）Ⅰ
3. 経済学の実証分析（因果推論の基礎）Ⅱ
4. 少子化の現状
5. 現金給付
6. 保育支援
7. ジェンダー
8. 育休政策
9. 幼児教育
10. 保育園通いの効果
11. 育休制度の就業支援効果
12. 育休の逆効果
13. 保育改革と母親の就業
14. 日本の保育制度
15. まとめ

1. Guidance
2. Empirical analysis of economics (fundamentals of causal inference) I
3. Empirical analysis of economics (basis of causal inference) II
4. Current status of declining birthrate
5. Cash transfers
6. Childcare support
7. Gender
8. Maternity leave policy
9. Early childhood education
10. Effects of attending preschool
11. Effects of maternity leave on employment support
12. Reverse effects of maternity leave
13. Childcare reform and maternal employment
14. Japan's childcare system
15. Summary

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語

6．成績評価方法/Evaluation method：
各回の出席状況（50%）と期末レポート（50%）
Class participation （50%）and submission of the final report（50%）.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

子育て支援の経済学	山口慎太郎	日本評論社	2021	978-4-535-55903-5	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
原則として対面授業の予定で、BCP レベルによってオンラインに変更する場合がある。授業に関する連絡や資料配布は Google Classroom を用いて行う。Classroom のクラスコードは【ovtxqod】である。

特講）日本経済と企業経営/Special Lec Japanese Economy and Corporate Management

担当教員/Instructor：谷川　みらい/MIRAI TANIKAWA
曜日・講時/Day/Period：Spring Thu. ２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM675J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

近代日本における官営事業とその払下げ（民営化）について概観します。世界の多くの国で一斉に民営化政策が取られたのは1980 年代以降ですが、この講義では特に明治期に注目し、そこから現代にも通じる論点を見出していきます。特に以下の諸点には注意を払います。
・公正性確保の努力と不正に対する批判
・国家・地域・企業の利害

This course provides a historical overview of public enterprises and their privatizations in modern Japan.
Keywords of this course:
・fairness/unfairness
・national, regional and corporate interests

２．学修の到達目標/Goal of study：

以下の２点を目標とします。
（1）近代日本における官営事業とその払下げ（民営化）の歴史の概要を理解する。
（2）歴史を振り返ることにより、現代における国家・地域・企業の関係を考えるための土台を養う。

The purpose of this course is to help students see public enterprises and their privatizations from a historical point of view.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

BCP レベル２までは完全対面、BCP レベル３以上では完全オンライン（リアルタイム）を想定しています。
連絡や資料の共有に Classroom を用いますので参加してください（学部講義「[EB332]日本経済と企業経営」と合同です)。
クラスコード：d4xr4fj

講義形式で行います。おおむね時間の流れに沿い、下記の通り進行する予定です。ただし、一部変更する可能性があります。

第１回　ガイダンス・国内外の議論
第２回　幕府・諸藩の事業経営と明治の殖産興業政策
第３回　幕末・明治の北海道開発
第４回　工場払下概則の成立
第５回　「開拓使官有物払下げ事件」
第６回　北海道における官民関係と財政問題
第７回　群馬県の生糸産業と払下げ問題
第８回　工場払下概則と工部省
第９回　小坂銀山の払下げと工場払下概則の廃止
第 10 回　議会開設前後の官営事業
第 11 回　戦前の鉄道と水道
第 12 回　官営八幡製鉄所
第 13 回　戦時統制経済前後
第 14 回　近年までの民営化動向・まとめ
第 15 回　理解度確認セッション

1. guidance
2. rulers' businesses in the Tokugawa era and the beginning of Meiji
3. Hokkaido development policy
4. enacting of "the rule of privatizing"
5. a scandal of privatizing in Hokkaido
6. public/private relationships and financial problems in Hokkaido
7. the silk industry in Gunma prefecture
8. Ministry of Public Works and "the rule of privatizing"
9. abolition of "the rule of privatizing" and privatization of the Kosaka silver mine
10. government enterprises around the time Imperial Diet founded
11. rail and water services
12. state-owned Yawata steelworks
13. before and after the wartime controlled economy
14. privatization trends until recent years, conclusions
15. examination

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
授業中に行う小テストの得点（50%）、理解度確認セッションの得点（50%）により評価します。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

日本の工業化と官業払下げ―政府と企業	小林正彬	東洋経済新報社	1977	303332525214	参考書
市場対国家　上・下	D.ヤーギン（著），J.スタニスロー（著），山岡洋一（訳）	日本経済新聞社	2001	4532190940/4532190959	参考書
財閥の時代	武田晴人	KADOKAWA	2020	9784044005627	参考書
日本経済史	武田晴人	有斐閣	2019	9784641165281	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
2021 年度の同名講義で単位を修得した方は再履修しないでください。

質問や相談がある方はメールをお送りください。
mirai.tanikawa.c7@tohoku.ac.jp

特講）経営管理/Special Lec Business Management

担当教員/Instructor：一小路　武安/TAKEYASU ICHIKOHJI
曜日・講時/Day/Period：Spring Wed. ２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM675J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
※ 本科目は会計大学院の科目との共通科目であり、片平キャンパス（エクステンション教育研究棟）で開講される。講義内容については下記の会計大学院のシラバスの「経営管理」のページを参照せよ。

※This is the common subject with the accounting school in Katahira Campus, for the details, please refer to the "経営管理" from the folloing syllabus of the accounting school.

(http://www.econ.tohoku.ac.jp/econ/kaikei/education_and_research/syllabus/)

２．学修の到達目標/Goal of study：

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

特講）グローバル経営（Global Management）/Special Lec Global Management

担当教員/Instructor：榊　正壽/MASATOSHI SAKAKI
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM675E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
※ 本科目は会計大学院の科目との共通科目であり、片平キャンパス（エクステンション教育研究棟）で開講される。講義内容については下記の会計大学院のシラバスの「グローバル経営」のページを参照せよ。

※This is the common subject with the accounting school in Katahira Campus, for the details, please refer to the "グローバル経営" from the folloing syllabus of the accounting school.

(http://www.econ.tohoku.ac.jp/econ/kaikei/education_and_research/syllabus/)

２．学修の到達目標/Goal of study：

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

特講）外国経済経営事情/Special Lec Foreign Business and Economy

担当教員/Instructor：/MELTEM INCE YENILMEZ
曜日・講時/Day/Period：Fall Thu. 4
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM675E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Maybe the best financial peculiarity of the twentieth century was the changing job of women across the whole globe. In the mid 1900s a women' contribution in the paid economy halted in her mid 20s. By then generally hitched, had numerous kids, and at no point in the future took paid work. After 100 years that example of conduct is practically unrecognizable in Europe, North America, Asia and for sure the greater part of both the created and creating world. What occurred and why?

Men procure on normal higher wages than women. People gather in various occupations, and ladies are under-addressed in the political circle and powerful occupations. Women accomplish on normal more elevated levels of tutoring than men, and they take on a higher portion of family tasks and childcare. Why these distinctions? Do they address an issue? Should families, schools, firms or legislatures take care of business? This course will give students an outline of a new writing in diversified aspects that records orientation holes in a scope of areas, attempts to reveal the variables that drive them, and assesses the adequacy of various strategies in alleviating them. A portion of the principle themes that we will cover include: gender gaps in wages and employment; gender and education; risk aversion, competitiveness, and other traits; family (contraception, fertility, abortion, marriage and divorce, household specialization); gender and public policy.

2．学修の到達目標/Goal of study：

Explain the contrast between the expressions "sex" and "orientation," and why this qualification is important
Provide instances of the idea of intersectionality
Define and ascertain estimations and marks of orientation (in)Equality
Apply both NeoClassical and Marxist theoriesto investigate women' status when given true situations
Differentiate between various women's activist ideal models and use them to examine social situations
Summarize significant patterns in family divisions of work, relationship status, orientation holes in compensation and word related isolation, all around the World.
The historical backdrop of orientation related regulation and public strategies.
Potential answers for working on women' financial status

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Week 1. Subject and methods of gender economics. Gender statistics. System of gender inequality factors
Week 2. Economic growth and gender equality. Globalisation of the world economy and gender status. Feminisation of poverty. Women's contribution to GDP
Week 3. Gender inequality in the labour market
Week 4. The gender factor in household economics. Distribution of resources and decision-making mechanisms within the household
Week 5. Demographic changes and gender status. The gender factor in demographic development. The gender shift and demographic development
Week 6. Gender policy: national, regional and global level. Gender inequality indicators
Week 7. Midterm exam
Week 8. Gender budgets. Gender review
Gender budgets and gender budgeting. Methodology of gender budget preparation. Approaches and principles of gender budgeting.
Week 9. Gender, economics, and covid-19
Week 10. The Invisible Heart: Care and the Global Economy
Week 11. Occupational Segregation Discrimination, Wage Gaps, and Wage Penalties
Week 112. Impact of recessions on labour market outcomes, human capital investments
Week 13. Climate and Energy
Week 14. Women, Diversity, and Corporate Leadership

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

English

6．成績評価方法/Evaluation method：

Course Grade Components
Various parts of your grade shall be weighted as follows:
Exam 1: 25%
Exam 2: 25%
Term Paper: 20%
Final Exam: 30%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Women and the Economy	Saul D. Hoffman & Susan L. Averett	Palgrave	2015	978-1137477033
Why Gender Matters in Economics	Mukesh Eswaran	Princeton University Press	2014	978-0691121734
The Economics of Gender	Joyce Jacobsen	Wiley-Blackwell	2007	978-1-405-16182-4

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

https://www.melteminceyenilmez.com/

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

Punctual and consistent attendance will be essential to your success in the course and will directly affect your grade. Most of our classes will be in the form of an open forum in order to foster a constructive exchange of ideas. Therefore, your thoughtful participation is also anticipated.

There will be two midterm exams, a term paper, and a non-cumulative final exam. Review sessions before exams will be held at students' request.

１０．その他/In addition：

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：守　健二/KENJI MORI
曜日・講時/Day/Period：Spring Wed. 1
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Based on your background knowledge on the following topics in Political Economy I, you will deepen and update your understanding by reading international state-of-the-art literature.
- Political Economy and Input-Output Analysis
- Political Economy and Monetary Circuit Theory
- Political Economy and Rational Choice Theory
- Political Economy and Capital Theory

政治経済学Ⅰ 特論の下記の内容に関する基礎知識を前提として、欧米文献の精読を通じて、その理解を深めるとともに当該分野の最新動向を研究する。
政治経済学Ⅰ 特論の内容：
政治経済学の欧米での研究動向から注目される論点として以下のものを取り上げる.
・政治経済学と産業連関分析
・政治経済学と貨幣流通学派
・政治経済学と合理的選択理論
・政治経済学と資本理論
これらの論点について古典派から現代に連なる理論の系譜を理解するとともに、その批判的含意を汲み取ること最終目標とする。

２．学修の到達目標/Goal of study：
You will acquire a firm foundation for a specialized research on Political Economy.

政治経済学の専門的研究のための基礎学力の強化を図る。

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Targeting those students who will specialize in Political Economy, we will conduct intensive reading of important literature to make a firm methodological foundation for a specialized research on Political Economy. The class will be structured by participants' report, open discussion and the instructor's comments.

政治経済学の専門的研究を目指すものを対象として，政治経済学Ⅰ 特論の内容に関して，研究の土台となる方法論を習得するために，基本文献の精読を行う．受講者による報告と討論，教員による解説を中心に授業を進める．

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
attendance and report
通常の出席と報告による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Sufficient preparation and review is needed.

テキストを読解，分析するための十分な予習と復習が必要である.

１０．その他/In addition：

教科書は、受講者の研究課題等を配慮しながら選定する.
議論は日本語，提出文書は日本語，独語，英語いずれでも可.
履修の条件：とくになし
連絡先：kenji.mori.b6@econ.tohoku.ac.jp
オフィスアワー：随時（メールで事前連絡のこと）
原則、対面で行うが、東北大学行動指針（BCP）に従い変更の可能性もある。
The class will be held basically on-site, which is subject to change according to th

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：守　健二/KENJI MORI
曜日・講時/Day/Period：Fall Wed. 1
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Based on your background knowledge on the following topics in Political Economy I, you will deepen and update your understanding by reading international state-of-the-art literature.
- Political Economy and Input-Output Analysis
- Political Economy and Monetary Circuit Theory
- Political Economy and Rational Choice Theory
- Political Economy and Capital Theory

政治経済学Ⅰ 特論の下記の内容に関する基礎知識を前提として、欧米文献の精読を通じて、その理解を深めるとともに当該分野の最新動向を研究する。
政治経済学Ⅰ 特論の内容：
政治経済学の欧米での研究動向から注目される論点として以下のものを取り上げる.
・政治経済学と産業連関分析
・政治経済学と貨幣流通学派
・政治経済学と合理的選択理論
・政治経済学と資本理論
これらの論点について古典派から現代に連なる理論の系譜を理解するとともに、その批判的含意を汲み取ること最終目標とする。

２．学修の到達目標/Goal of study：
You will acquire a firm foundation for a specialized research on Political Economy.

政治経済学の専門的研究のための基礎学力の強化を図る。

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Targeting those students who will specialize in Political Economy, we will conduct intensive reading of important literature to make a firm methodological foundation for a specialized research on Political Economy. The class will be structured by participants' report, open discussion and the instructor's comments.

政治経済学の専門的研究を目指すものを対象として，政治経済学Ⅰ 特論の内容に関して，研究の土台となる方法論を習得するために，基本文献の精読を行う．受講者による報告と討論，教員による解説を中心に授業を進める．

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
attendance and report
通常の出席と報告による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Sufficient preparation and review is needed.

テキストを読解，分析するための十分な予習と復習が必要である.

１０．その他/In addition：

教科書は、受講者の研究課題等を配慮しながら選定する.
議論は日本語，提出文書は日本語，独語，英語いずれでも可.
履修の条件：とくになし
連絡先：kenji.mori.b6@econ.tohoku.ac.jp
オフィスアワー：随時（メールで事前連絡のこと）
原則、対面で行うが、東北大学行動指針（BCP）に従い変更の可能性もある。
The class will be held basically on-site, which is subject to change according to th

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：守　健二/KENJI MORI
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Based on your study in my Seminar in Economics, you will enhance your survey of previous research and prepare a problem setting and solution for the project report.

政治経済学Ⅰ 演習Ⅰ での学習を前提として、当該分野の最新動向に関する文献研究を深めるとともに，独自の問題発見・解決を試み，研究成果をまとめる.

２．学修の到達目標/Goal of study：
You will complete your project report on Political Economy.

政治経済学の分野における文献研究を行い、プロジェクト報告を作成する。

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
For the purpose of writing a project report, an individual guidance will be provided about subject, references and concept in addition to participants' presentation and group discussion.

a：政治経済学の分野におけるプロジェクト報告の作成を前提として、研究題目の設定、関連する文献調査、論文構想に関して指導を行う。受講者による報告と討議、教員による解説を中心に授業を進めるが、あわせて個人指導を行う。

b：プロジェクト報告作成上の具体的問題点について討議し、指導を行う。受講者による報告と討議、教員による解説を中心に授業を進めるが、あわせて個人指導を行う。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
Attendance and report.

通常の出席と報告による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Sufficient preparation and review is needed.

研究報告のための十分な予習と復習が必要である.

１０．その他/In addition：
テキストは適宜指示する.
議論は日本語，提出文書は日本語，独語，英語いずれでも可.
履修の条件：とくになし
連絡先：kenji.mori.b6@tohoku.ac.jp
オフィスアワー：随時（メールで事前連絡のこと）
事前に指定するテキストを読解，分析するための十分な予習と復習が必要である.
原則、対面で行うが、東北大学行動指針（BCP）に従い変更の可能性もある。
The class will be held basically on-site, which is subject to ch

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：守　健二/KENJI MORI
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Based on your study in my Seminar in Economics, you will enhance your survey of previous research and prepare a problem setting and solution for the project report.

政治経済学Ⅰ 演習Ⅰ での学習を前提として、当該分野の最新動向に関する文献研究を深めるとともに，独自の問題発見・解決を試み，研究成果をまとめる.

２．学修の到達目標/Goal of study：
You will complete your project report on Political Economy.

政治経済学の分野における文献研究を行い、プロジェクト報告を作成する。

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
For the purpose of writing a project report, an individual guidance will be provided about subject, references and concept in addition to participants' presentation and group discussion.

a：政治経済学の分野におけるプロジェクト報告の作成を前提として、研究題目の設定、関連する文献調査、論文構想に関して指導を行う。受講者による報告と討議、教員による解説を中心に授業を進めるが、あわせて個人指導を行う。

b：プロジェクト報告作成上の具体的問題点について討議し、指導を行う。受講者による報告と討議、教員による解説を中心に授業を進めるが、あわせて個人指導を行う。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
Attendance and report.

通常の出席と報告による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Sufficient preparation and review is needed.

研究報告のための十分な予習と復習が必要である.

１０．その他/In addition：
テキストは適宜指示する.
議論は日本語，提出文書は日本語，独語，英語いずれでも可.
履修の条件：とくになし
連絡先：kenji.mori.b6@tohoku.ac.jp
オフィスアワー：随時（メールで事前連絡のこと）
事前に指定するテキストを読解，分析するための十分な予習と復習が必要である.
原則、対面で行うが、東北大学行動指針（BCP）に従い変更の可能性もある。
The class will be held basically on-site, which is subject to ch

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：守　健二/KENJI MORI
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Based on your study in my Seminar in Economics, you will enhance your survey of previous research and prepare a problem setting and solution for the project report.

政治経済学Ⅰ 演習Ⅰ での学習を前提として、当該分野の最新動向に関する文献研究を深めるとともに，独自の問題発見・解決を試み，研究成果をまとめる.

２．学修の到達目標/Goal of study：
You will complete your project report on Political Economy.

政治経済学の分野における文献研究を行い、プロジェクト報告を作成する。

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
For the purpose of writing a project report, an individual guidance will be provided about subject, references and concept in addition to participants' presentation and group discussion.

a：政治経済学の分野におけるプロジェクト報告の作成を前提として、研究題目の設定、関連する文献調査、論文構想に関して指導を行う。受講者による報告と討議、教員による解説を中心に授業を進めるが、あわせて個人指導を行う。

b：プロジェクト報告作成上の具体的問題点について討議し、指導を行う。受講者による報告と討議、教員による解説を中心に授業を進めるが、あわせて個人指導を行う。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
Attendance and report.

通常の出席と報告による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Sufficient preparation and review is needed.

研究報告のための十分な予習と復習が必要である.

１０．その他/In addition：
テキストは適宜指示する.
議論は日本語，提出文書は日本語，独語，英語いずれでも可.
履修の条件：とくになし
連絡先：kenji.mori.b6@tohoku.ac.jp
オフィスアワー：随時（メールで事前連絡のこと）
事前に指定するテキストを読解，分析するための十分な予習と復習が必要である.
原則、対面で行うが、東北大学行動指針（BCP）に従い変更の可能性もある。
The class will be held basically on-site, which is subject to ch

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：守　健二/KENJI MORI
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Based on your study in my Seminar in Economics, you will enhance your survey of previous research and prepare a problem setting and solution for the project report.

政治経済学Ⅰ 演習Ⅰ での学習を前提として、当該分野の最新動向に関する文献研究を深めるとともに，独自の問題発見・解決を試み，研究成果をまとめる.

２．学修の到達目標/Goal of study：
You will complete your project report on Political Economy.

政治経済学の分野における文献研究を行い、プロジェクト報告を作成する。

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
For the purpose of writing a project report, an individual guidance will be provided about subject, references and concept in addition to participants' presentation and group discussion.

a：政治経済学の分野におけるプロジェクト報告の作成を前提として、研究題目の設定、関連する文献調査、論文構想に関して指導を行う。受講者による報告と討議、教員による解説を中心に授業を進めるが、あわせて個人指導を行う。

b：プロジェクト報告作成上の具体的問題点について討議し、指導を行う。受講者による報告と討議、教員による解説を中心に授業を進めるが、あわせて個人指導を行う。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
Attendance and report.

通常の出席と報告による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Sufficient preparation and review is needed.

研究報告のための十分な予習と復習が必要である.

１０．その他/In addition：
テキストは適宜指示する.
議論は日本語，提出文書は日本語，独語，英語いずれでも可.
履修の条件：とくになし
連絡先：kenji.mori.b6@tohoku.ac.jp
オフィスアワー：随時（メールで事前連絡のこと）
事前に指定するテキストを読解，分析するための十分な予習と復習が必要である.
原則、対面で行うが、東北大学行動指針（BCP）に従い変更の可能性もある。
The class will be held basically on-site, which is subject to ch

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：三宅　充展/MITSUNOBU MIYAKE
曜日・講時/Day/Period：Spring Wed. ５
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
ミクロ経済学関連の学術論文や研究書を読むための読解力を修得することが目標です。
/ It is an aim that the students will acquire comprehension skills to read the scientific papers and monographs in microeconomics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
ミクロ経済学関連の学術論文を独力で読みこなす力をつけることと同時に、受講生が、具体的な研究課題を見つけることが到達目標です。 /It is an aim that the student will acquire a skill for reading the scientific papers by an own effort to find the specific research subject.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
ミクロ経済学関連の研究書または学術論文を輪読しながら、討論します。
今年度は下記テキストの第４部（トピック）についての該当箇所およびそこでの引用論文を読みます。
当該科目の履修希望者は
メールアドレス： mitsunobu.miyake.b4@tohoku.ac.jp
まで必ず事前にメールして下さい。

教材として、必要に応じて論文を配布します。

/ In this term, we read the part 4 of the textbook stated below:

（１）メカニズムデザイン（テキスト１７章）： Mechanism design
（２）マッチング（テキスト１８章）： Matching
（３）選好順序の集約（テキスト２０章）： Aggregating preferences

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
おもに日本語による授業をおこなう。これまでに使用したテキスト、論文はすべて英文です。

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告（presentation）と討論への参加状況による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Models in Microeconomic Theory	Martin J. Osborne and Ariel Rubinstein	OpenBook	2020	978-1-78374-920-1	テキスト

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表時にはレジメを作成しておくこと。授業終了後も、レジメの改訂作業を継続し考察を続けること。

１０．その他/In addition：
Seminar in Economics b の履修とは無関係に Seminar in Economics a だけの履修を認める。
中級ミクロ経済学と上級ミクロ経済学を履修または履修予定であることが望ましい。
経済学部以外（工学部や理学部など）を卒業している受講生は学部ミクロ経済分析と中級ミクロ経済学を履修済みであることが望ましい。
連絡先： 研究室：事務室前のエレベータで６階、出口正面
メールアドレス： mitsunobu.miyake.b4@tohoku.ac.jp
最終的な成績に

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：三宅　充展/MITSUNOBU MIYAKE
曜日・講時/Day/Period：Fall Wed. ５
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
ミクロ経済学関連の学術論文や研究書を読むための読解力を修得することが目標です。
/ It is an aim that the students will acquire comprehension skills to read the scientific papers and monographs in microeconomics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
ミクロ経済学関連の学術論文を独力で読みこなす力をつけることと同時に、受講生が、具体的な研究課題を見つけることが到達目標です。 /It is an aim that the student will acquire a skill for reading the scientific papers by an own effort to find the specific research subject.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
ミクロ経済学関連の研究書または学術論文を輪読しながら、討論します。
今年度は下記テキストの第４部（トピック）についての該当箇所およびそこでの引用論文を読みます。
当該科目の履修希望者は
メールアドレス： mitsunobu.miyake.b4@tohoku.ac.jp
まで必ず事前にメールして下さい。

教材として、必要に応じて論文を配布します。

/ In this term, we read the part 4 of the textbook stated below:

（１）メカニズムデザイン（テキスト１７章）： Mechanism design
（２）マッチング（テキスト１８章）： Matching
（３）選好順序の集約（テキスト２０章）： Aggregating preferences

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
おもに日本語による授業をおこなう。これまでに使用したテキスト、論文はすべて英文です。

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告（presentation）と討論への参加状況による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Models in Microeconomic Theory	Martin J. Osborne and Ariel Rubinstein	OpenBook	2020	978-1-78374-920-1	テキスト

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表時にはレジメを作成しておくこと。授業終了後も、レジメの改訂作業を継続し考察を続けること。

１０．その他/In addition：
Seminar in Economics a の履修とは無関係に Seminar in Economics b だけの履修を認める。
中級ミクロ経済学と上級ミクロ経済学を履修または履修予定であることが望ましい。
経済学部以外（工学部や理学部など）を卒業している受講生は学部ミクロ経済分析と中級ミクロ経済学を履修済みであることが望ましい。
連絡先： 研究室：事務室前のエレベータで６階、出口正面
メールアドレス： mitsunobu.miyake.b4@tohoku.ac.jp
最終的な成績に

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：三宅　充展/MITSUNOBU MIYAKE
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
ミクロ経済学関連の領域で、「プロジェクト構想発表会」及び「プロジェクト最終報告会」で発表可能なプロジェクト報告書およびプレゼンテーション資料を作成することが目的である。/ It is an aim that the students will make the slides which can be reported on the GPEM Project Planning Conference or GPEM Final Project Report Conference.

２．学修の到達目標/Goal of study：
「プロジェクト構想発表会」及び「プロジェクト最終報告会」で報告すること/ It is an aim that the students will make a good presentation on the GPEM Project Planning Conference or GPEM Final Project Report Conference.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
受講生の研究テーマに合わせた事項について討論します。プレゼンテーションのためのソフトウエア（PDF, Power-point 等）やプロジェクターの具体的な使い方についても習熟してもらいます。/We discuss the slides and the details of the presentation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
英語および日本語による授業をおこなう。

６．成績評価方法/Evaluation method：
毎回の報告（presentation）と討論への参加状況による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表時にはレジメを作成しておくこと。 授業終了後も、レジメの改訂作業を継続し考察を続けること。

１０．その他/In addition：
使用予定のテキスト、論文はすべて英文である。
Microeconomics I, II を履修または履修予定であることが望ましい。
連絡先：　研究室：事務室前のエレベータで６階、出口正面
　　メールアドレス： mitsunobu.miyake.b4@tohoku.ac.jp
最終的な成績についての苦情、問い合わせ等は電子メールでお願いします。

現在の予定では、授業は対面授業で、オンライン併用とする。Google classroom のコードは　ifnancq である。

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：三宅　充展/MITSUNOBU MIYAKE
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
ミクロ経済学関連の領域で、「プロジェクト構想発表会」及び「プロジェクト最終報告会」で発表可能なプロジェクト報告書およびプレゼンテーション資料を作成することが目的である。/ It is an aim that the students will make the slides which can be reported on the GPEM Project Planning Conference or GPEM Final Project Report Conference.

２．学修の到達目標/Goal of study：
「プロジェクト構想発表会」及び「プロジェクト最終報告会」で報告すること/ It is an aim that the students will make a good presentation on the GPEM Project Planning Conference or GPEM Final Project Report Conference.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
受講生の研究テーマに合わせた事項について討論します。プレゼンテーションのためのソフトウエア（PDF, Power-point 等）やプロジェクターの具体的な使い方についても習熟してもらいます。/We discuss the slides and the details of the presentation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
英語および日本語による授業をおこなう。

６．成績評価方法/Evaluation method：
毎回の報告（presentation）と討論への参加状況による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表時にはレジメを作成しておくこと。 授業終了後も、レジメの改訂作業を継続し考察を続けること。

１０．その他/In addition：
使用予定のテキスト、論文はすべて英文である。
Microeconomics I, II を履修または履修予定であることが望ましい。
連絡先：　研究室：事務室前のエレベータで６階、出口正面
　　メールアドレス： mitsunobu.miyake.b4@tohoku.ac.jp
最終的な成績についての苦情、問い合わせ等は電子メールでお願いします。

現在の予定では、授業は対面授業で、オンライン併用とする。Google classroom のコードは　s3kv5q2 である。

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：三宅　充展/MITSUNOBU MIYAKE
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
ミクロ経済学関連の領域で、「プロジェクト構想発表会」及び「プロジェクト最終報告会」で発表可能なプロジェクト報告書およびプレゼンテーション資料を作成することが目的である。/ It is an aim that the students will make the slides which can be reported on the GPEM Project Planning Conference or GPEM Final Project Report Conference.

２．学修の到達目標/Goal of study：
「プロジェクト構想発表会」及び「プロジェクト最終報告会」で報告すること/ It is an aim that the students will make a good presentation on the GPEM Project Planning Conference or GPEM Final Project Report Conference.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
受講生の研究テーマに合わせた事項について討論します。プレゼンテーションのためのソフトウエア（PDF, Power-point 等）やプロジェクターの具体的な使い方についても習熟してもらいます。/We discuss the slides and the details of the presentation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
英語および日本語による授業をおこなう。

６．成績評価方法/Evaluation method：
毎回の報告（presentation）と討論への参加状況による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表時にはレジメを作成しておくこと。 授業終了後も、レジメの改訂作業を継続し考察を続けること。

１０．その他/In addition：
使用予定のテキスト、論文はすべて英文である。
Microeconomics I, II を履修または履修予定であることが望ましい。
連絡先：　研究室：事務室前のエレベータで６階、出口正面
　　メールアドレス： mitsunobu.miyake.b4@tohoku.ac.jp
最終的な成績についての苦情、問い合わせ等は電子メールでお願いします。

現在の予定では、授業は対面授業で、オンライン併用とする。Google classroom のコードは　46ohj7k である。

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：三宅　充展/MITSUNOBU MIYAKE
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
ミクロ経済学関連の領域で、「プロジェクト構想発表会」及び「プロジェクト最終報告会」で発表可能なプロジェクト報告書およびプレゼンテーション資料を作成することが目的である。/ It is an aim that the students will make the slides which can be reported on the GPEM Project Planning Conference or GPEM Final Project Report Conference.

２．学修の到達目標/Goal of study：
「プロジェクト構想発表会」及び「プロジェクト最終報告会」で報告すること/ It is an aim that the students will make a good presentation on the GPEM Project Planning Conference or GPEM Final Project Report Conference.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
受講生の研究テーマに合わせた事項について討論します。プレゼンテーションのためのソフトウエア（PDF, Power-point 等）やプロジェクターの具体的な使い方についても習熟してもらいます。/We discuss the slides and the details of the presentation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
英語および日本語による授業をおこなう。

６．成績評価方法/Evaluation method：
毎回の報告（presentation）と討論への参加状況による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表時にはレジメを作成しておくこと。 授業終了後も、レジメの改訂作業を継続し考察を続けること。

１０．その他/In addition：
使用予定のテキスト、論文はすべて英文である。
Microeconomics I, II を履修または履修予定であることが望ましい。
連絡先：　研究室：事務室前のエレベータで６階、出口正面
　　メールアドレス： mitsunobu.miyake.b4@tohoku.ac.jp
最終的な成績についての苦情、問い合わせ等は電子メールでお願いします。

現在の予定では、授業は対面授業で、オンライン併用とする。Google classroom のコードは　23bxyuw である。

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：北川　章臣/AKIOMI KITAGAWA
曜日・講時/Day/Period：Spring Fri. ４
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The purpose of this workshop class is to keep up on the contemporary macroeconomics, through reading the recently published papers and books of this field.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The goal of this class is that participants finally possess such adequate knowledge of the contemporary macroeconomics that they can exploit it in writing their research papers.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
In the class of every week, participants are requested to report an assigned article in the references or to present their research paper.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Participants are evaluated based on their attendance and class performances.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Participants need to make ample preparations for their reports and presentations.

１０．その他/In addition：
Students taking this class should contact me in advance via e-mail (akiomi.kitagawa.a4@tohoku.ac.jp).
Also see Google Classroom (Classcode: r52m3vm).

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：北川　章臣/AKIOMI KITAGAWA
曜日・講時/Day/Period：Fall Fri. ４
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The purpose of this workshop class is to keep up on the contemporary macroeconomics, through reading the recently published papers and books of this field.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The goal of this class is that participants finally possess such adequate knowledge of the contemporary macroeconomics that they can exploit it in writing their research papers.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
In the class of every week, participants are requested to report an assigned article in the references or to present their research paper.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Participants are evaluated based on their attendance and class performances.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Participants need to make ample preparations for their reports and presentations.

１０．その他/In addition：
Students taking this class should contact me in advance via e-mail (akiomi.kitagawa.a4@tohoku.ac.jp).
Also see Google Classroom (Classcode: c3ipxdv).

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：北川　章臣/AKIOMI KITAGAWA
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The purpose of this class is to instruct students to write a project report in the field of macroeconomics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Participants are expected to complete a project report.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
In the class of every week, participants are requested to report the progress of their researches, discussing their contents with other participants.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Participants are evaluated based on the quality of their researches.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
instruct as appropriate.

１０．その他/In addition：
Students taking this class should contact me in advance via e-mail (akiomi.kitagawa.a4@tohoku.ac.jp).
Also see Google Classroom (Classcode: 57t3bk4).

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：北川　章臣/AKIOMI KITAGAWA
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The purpose of this class is to instruct students to write a project report in the field of macroeconomics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Participants are expected to complete a project report.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
In the class of every week, participants are requested to report the progress of their researches, discussing their contents with other participants.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Participants are evaluated based on the quality of their researches.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
instruct as appropriate.

１０．その他/In addition：
Students taking this class should contact me in advance via e-mail (akiomi.kitagawa.a4@tohoku.ac.jp).
Also see Google Classroom (Classcode: xl4ug2p)

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：北川　章臣/AKIOMI KITAGAWA
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The purpose of this class is to instruct students to write a project report in the field of macroeconomics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Participants are expected to complete a project report.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
In the class of every week, participants are requested to report the progress of their researches, discussing their contents with other participants.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Participants are evaluated based on the quality of their researches.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
instruct as appropriate.

１０．その他/In addition：
Students taking this class should contact me in advance via e-mail (akiomi.kitagawa.a4@tohoku.ac.jp).
Also see Google Classroom (Classcode: jvlh7n6)

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：北川　章臣/AKIOMI KITAGAWA
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The purpose of this class is to instruct students to write a project report in the field of macroeconomics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Participants are expected to complete a project report.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
In the class of every week, participants are requested to report the progress of their researches, discussing their contents with other participants.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Participants are evaluated based on the quality of their researches.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
instruct as appropriate.

１０．その他/In addition：
Students taking this class should contact me in advance via e-mail (akiomi.kitagawa.a4@tohoku.ac.jp).
Also see Google Classroom (Classcode: rpjul6f)

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：古谷　豊/YUTAKA FURUYA
曜日・講時/Day/Period：Spring Mon. ３
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
これから経済学・経営学の研究をしていく人たちに、経済学の歴史について理解を深めてもらい、広い視野で経済学をとらえられるようになってもらうことを目的とした演習です。
The purpose of this seminar is to deepen the understanding of the history of economics for those who are studying economics and management, and to enable them to view economics from a broader perspective.

２．学修の到達目標/Goal of study：
時代時代の社会の状況と、その時代の経済学との関係について理解する。
経済学がどうして今日のような姿になったのかについて、自らの見解をもつ。
By participating in this seminar you will be able to form a better understanding of the relationship between the social conditions of an era and the economics of that era thus deepen your view on how economics came to be what it is today.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
学部時代の卒業論文ないし各人が現在作成中の論文を仕上げつつ、関連する論文をピックアップして読み進めます。
通常の演習形式（履修生による報告と全体討論）で進めます。

The seminar will be conducted in the usual format, with one person each week giving a report and all students discussing it.
During this seminar we will be brushing up the paper each one of us are currently working on, while reading and discussing relevant papers.

【対面かオンラインか】
東北大学の行動指針（BCP）レベルが１～２の場合、対面を基本としつつも、履修生の数やメンバー次第ではオンラインとする可能性もある。レベル３の場合はオンラインで実施する。
ただし初回（4 月 11 日）はオンラインで実施する。Google Classroom で最新の情報を確認すること。

【Google Classroom コード】
m3ioyhz

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点（演習への参加状況、演習での報告、など）

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
報告担当の週は報告の準備。その他は教材の予習並びに各人の論文の改訂。

１０．その他/In addition：
履修の条件：経済学史演習 Ia は経済学史演習 Ib とセットで履修してください。Ia のみ独立に履修することはできません。
Google Classroom（クラスコード m3ioyhz）で最新の情報を確認してください。
初回は 4 月 11 日です。参加を希望する人は、初回の演習に必ず参加するようにしてください。やむを得ず初回に参加できない場合は、メールでその旨連絡してください。
連絡先　furuya@tohoku.ac.jp

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：古谷　豊/YUTAKA FURUYA
曜日・講時/Day/Period：Fall Mon. ３
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習は経済学史分野での修士論文作成に向けて、アカデミック・ライティングについて学びます。
The purpose of this seminar is to provide students who are planning to write their master's thesis on the history of economic thought with necessary guidance on academic writing.

２．学修の到達目標/Goal of study：
修士論文を書くための、論点を設定する力、論点について多様な角度から検証する力、結論を導き説得的に提示する力等をつける。
By taking this seminar students are able to develop the ability to set up an argument, to examine the argument from various angles, and to draw a conclusion and present it persuasively.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
下記のテキストをもとに、参加者それぞれの題材を例に取り上げて、実地にアカデミック・ライティングに取り組む。
K. L. Turabian. Manual for Writers of Research Papers, Theses, and Dissertations.
J. M. Williams and J. Bizup. Style: Lessons in Clarity and Grace.
W. Strunk Jr. , E. B. White, et al. The Elements of Style.

Students will learn about academic writing by referring to the texts listed above and applying them to papers they are currently working on.
Participants are asked to bring the written material each week.

【対面かオンラインか】
東北大学の行動指針（BCP）レベルが１～２の場合、対面を基本としつつも、履修生の数やメンバー次第ではオンラインとする可能性もある。レベル３の場合はオンラインで実施する。
ただし初回（10 月 10 日）はオンラインで実施する。Google Classroom で最新の情報を確認すること。

【Google Classroom コード】
htceuhp

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
履修生は次週までに指示された課題に取り組んでくる。

１０．その他/In addition：
履修の条件：経済学史演習 Ib は経済学史演習 Ia とセットで履修してください。Ib のみ独立に履修することはできません。（10 月入学の方は相談してください。）
Google Classroom（クラスコード htceuhp）で最新の情報を確認してください。
初回は 10 月 10 日です。参加を希望する人は、初回の演習に必ず参加するようにしてください。やむを得ず初回に参加できない場合は、メールでその旨連絡してください。
連絡先　furuya@tohoku.ac.jp

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：古谷　豊/YUTAKA FURUYA
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
修士論文の作成過程（修士二年目の前半）で、定期的に作業の進捗について確認し、議論・指導を通して質の高い論文にすることを目的とする。
The purpose of this course is to offer academic advice to graduate students who are in their first semester of the second year writing their master's thesis on topics of the history of economic thought.

２．学修の到達目標/Goal of study：
質の高い修士論文を、期限内に仕上げること。
The goal is to develop a good structure of their master's thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
履修生の報告に基づいて討論・指導する形式ですすめる。
修士論文の完成に向けて、先行研究調査、課題設定を通して問題意識を具体的な形にし、文献調査、議論の組み立てを経て、論文執筆指導を行う。
Students are required to bring the updated version of their draft to each week's class.

When Tohoku University Emergency Action Plan (BCP) is in either level 1 or 2, the class may be held in-person.
When Tohoku University Emergency Action Plan (BCP) is in level 3, the class will be held online.
Check the Google Classroom (class code du2jd2a) for the latest information.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語ないし英語。

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

A Manual for Writers	Turabian, Kate L.	The University of Chicago Press

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習・復習共に必要。履修生は毎回修士論文完成に向けての進捗状況を報告し、演習での指示内容をふまえて作業した内容を次回持ってくること。

１０．その他/In addition：
最新の情報についてはGoogle Classroom（クラスコードdu2jd2a）を確認のこと。

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：古谷　豊/YUTAKA FURUYA
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
修士論文の作成過程（修士二年目の前半）で、定期的に作業の進捗について確認し、議論・指導を通して質の高い論文にすることを目的とする。
The purpose of this course is to offer academic advice to graduate students who are in their first semester of the second year writing their master's thesis on topics of the history of economic thought.

２．学修の到達目標/Goal of study：
質の高い修士論文を、期限内に仕上げること。
The goal is to develop a good structure of their master's thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
履修生の報告に基づいて討論・指導する形式ですすめる。
修士論文の完成に向けて、先行研究調査、課題設定を通して問題意識を具体的な形にし、文献調査、議論の組み立てを経て、論文執筆指導を行う。
Students are required to bring the updated version of their draft to each week's class.

When Tohoku University Emergency Action Plan (BCP) is in either level 1 or 2, the class may be held in-person.
When Tohoku University Emergency Action Plan (BCP) is in level 3, the class will be held online.
Check the Google Classroom (class code mxzgdbg) for the latest information.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語ないし英語。

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

A Manual for Writers	Turabian, Kate L.	The University of Chicago Press

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習・復習共に必要。履修生は毎回修士論文完成に向けての進捗状況を報告し、演習での指示内容をふまえて作業した内容を次回持ってくること。

１０．その他/In addition：
最新の情報についてはGoogle Classroom（クラスコードmxzgdbg）を確認のこと。

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：古谷　豊/YUTAKA FURUYA
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
修士論文の作成過程（修士二年目の後半）で、定期的に作業の進捗について確認し、議論・指導を通して質の高い論文にすることを目的とする。
The purpose of this course is to offer academic advice to graduate students who are in their second semester of the second year writing their master's thesis on topics of the history of economic thought.

２．学修の到達目標/Goal of study：
質の高い修士論文を、期限内に仕上げること。
The goal of this guidance is to complete a well written master's thesis by the end of the semester.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
履修生の報告に基づいて討論・指導する形式ですすめる。
修士論文の完成に向けて、先行研究調査、課題設定を通して問題意識を具体的な形にし、文献調査、議論の組み立てを経て、論文執筆指導を行う。
Students are required to bring the updated version of their draft to each week's class.

【対面かオンラインか】
東北大学の行動指針（BCP）レベルが１～２の場合、対面を基本としつつも、履修生の数やメンバー次第ではオンラインとする可能性もある。レベル３の場合はオンラインで実施する。
ただし初回はオンラインで実施する。Google Classroom（クラスコード du2jd2a）で最新の情報を確認すること。

When Tohoku University Emergency Action Plan (BCP) is in either level 1 or 2, the class may be held in-person.
When Tohoku University Emergency Action Plan (BCP) is in level 3, the class will be held online.
Check the Google Classroom (class code du2jd2a) for the latest information.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語ないし英語。

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

A Manual for Writers	Turabian, Kate L.	The University of Chicago Press

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習・復習共に必要。履修生は毎回修士論文完成に向けての進捗状況を報告し、演習での指示内容をふまえて作業した内容を次回持ってくること。

１０．その他/In addition：
最新の情報についてはGoogle Classroom（クラスコード du2jd2a）を確認のこと。

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：古谷　豊/YUTAKA FURUYA
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
修士論文の作成過程（修士二年目の後半）で、定期的に作業の進捗について確認し、議論・指導を通して質の高い論文にすることを目的とする。
The purpose of this course is to offer academic advice to graduate students who are in their second semester of the second year writing their master's thesis on topics of the history of economic thought.

２．学修の到達目標/Goal of study：
質の高い修士論文を、期限内に仕上げること。
The goal of this guidance is to complete a well written master's thesis by the end of the semester.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
履修生の報告に基づいて討論・指導する形式ですすめる。
修士論文の完成に向けて、先行研究調査、課題設定を通して問題意識を具体的な形にし、文献調査、議論の組み立てを経て、論文執筆指導を行う。
Students are required to bring the updated version of their draft to each week's class.

【対面かオンラインか】
東北大学の行動指針（BCP）レベルが１～２の場合、対面を基本としつつも、履修生の数やメンバー次第ではオンラインとする可能性もある。レベル３の場合はオンラインで実施する。
ただし初回はオンラインで実施する。Google Classroom（クラスコード mxzgdbg）で最新の情報を確認すること。

When Tohoku University Emergency Action Plan (BCP) is in either level 1 or 2, the class may be held in-person.
When Tohoku University Emergency Action Plan (BCP) is in level 3, the class will be held online.
Check the Google Classroom (class code mxzgdbg) for the latest information.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語ないし英語。

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

A Manual for Writers	Turabian, Kate L.	The University of Chicago Press

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習・復習共に必要。履修生は毎回修士論文完成に向けての進捗状況を報告し、演習での指示内容をふまえて作業した内容を次回持ってくること。

１０．その他/In addition：
最新の情報についてはGoogle Classroom（クラスコード mxzgdbg）を確認のこと。

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：Spring Fri. 2
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

In this seminar, students are expected to evaluate the differing concepts and tools used in the study of Economic History, but more importantly, to recognize the power of the historical past and how it shaped the structure of our society. Our discussion will mainly focus on the modern European economy but students are encouraged to adopt a comparative approach in order to see the differences and similarities between Asia and European economies from a wider historical perspective.

Those who wish to participate in the seminar should contact the instructor by email in advance.

For more information: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

2．学修の到達目標/Goal of study：

・Students are expected to understand contrasting courses of economic development, which converged and diverged along the route to a modern industrialized society.
・Students are also expected to learn how economic problems are closely linked with political and social issues in a historical context.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Note that students are required to have access to the ISTU and Google's Meet online conferencing service. Therefore, those who wish to participate in the seminar should contact the instructor by email in advance. This class is designed to offer the opportunity of Distance Learning for students who choose to study outside the University campus.

The details of the course content and schedule will be explained at the first meeting.

In this seminar, students are required to prepare for the assigned part of the designated books and articles for each class. It is also important for students to write a long essay on their research interest.

Reading materials will be suggested in the opening session.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

English

6．成績評価方法/Evaluation method：

Presentation and participation: 50%/ Essay: 50%

7．教科書および参考書/Textbook and references：

The economic history of China: From antiquity to the nineteenth century	R. V. Glahn	2016
The European miracle : environments, economies, and geopolitics in the history of Europe and Asia	E. L. Jones	2003
A history of Japan, 1582-1941	L.M. Cullen	2003
The great divergence : China, Europe, and the making of the modern world economy	K. Pomeranz	2000

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

9．授業時間外学修/Preparation and Review：

The session time is limited and therefore self-directed learning is important. Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：

- No specific credit earning requirements for joining this seminar.
- Those who wish to participate in the seminar should contact the instructor by email in advance.

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：Fall Fri. 2
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

In this seminar, students are expected to evaluate the differing concepts and tools used in the study of Economic History, but more importantly, to recognize the power of the historical past and how it shaped the structure of our society. Our discussion will mainly focus on the modern European economy but students are encouraged to adopt a comparative approach in order to see the differences and similarities between Asia and European economies from a wider historical perspective.

Those who wish to participate in the seminar should contact the instructor in advance.

For more information: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

2．学修の到達目標/Goal of study：

・Students are expected to understand contrasting courses of economic development, which converged and diverged along the route to a modern industrialized society.
・Students are also expected to learn how economic problems are closely linked with political and social issues in a historical context.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Note that students are required to have access to the ISTU and Google's Meet online conferencing service. Therefore, those who wish to participate in the seminar should contact the instructor by email in advance. This class is designed to offer the opportunity of Distance Learning for students who choose to study outside the University campus.

The details of the course content and schedule will be explained at the first meeting in Week 1.

In this seminar, students are required to prepare for the assigned part of the designated books and articles for each class. It is also important for students to write a long essay on their research interest.

Reading materials will be suggested in the opening session.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

English

6．成績評価方法/Evaluation method：

Presentation and participation: 50%/ Essay: 50%

7．教科書および参考書/Textbook and references：

The economic history of China: From antiquity to the nineteenth century	R. V. Glahn	2016
A history of Japan, 1582-1941	L. M. Cullen	2003
The European miracle : environments, economies, and geopolitics in the history of Europe and Asia	E. L. Jones	2003
The great divergence : China, Europe, and the making of the modern world economy	K. Pomeranz	2000

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

9．授業時間外学修/Preparation and Review：

The session time is limited and therefore self-directed learning is important. Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：

- No specific credit earning requirements for joining this seminar.
- Those who wish to participate in the seminar should contact the instructor in advance.

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

In this seminar, students are expected to evaluate the differing concepts and tools used in the study of Economic History, but more importantly, to recognize the power of the historical past and how it shaped the structure of our society. Our discussion will mainly focus on the modern European economy but students are encouraged to adopt a comparative approach in order to see the differences and similarities between Asia and European economies from a wider historical perspective.

Those who wish to participate in the seminar should contact the instructor by email in advance.

For more information: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

2．学修の到達目標/Goal of study：

・Students are expected to understand contrasting courses of economic development, which converged and diverged along the route to a modern industrialized society.
・Students are also expected to learn how economic problems are closely linked with political and social issues in a historical context.
・This is a seminar style course intended to allow students to have in-depth discussion between themselves so that they can develop their research skills for writing up a dissertation.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Note that students are required to have access to the ISTU and Google's Meet online conferencing service. Therefore, those who wish to participate in the seminar should contact the instructor by email in advance. This class is designed to offer the opportunity of Distance Learning for students who choose to study outside the University campus.

The details of the course content and schedule will be explained at the first meeting.

In this seminar, students are required to prepare for the assigned part of the designated books and articles for each class. It is also important for students to write a long essay on their research interest.

Reading materials will be suggested in the opening session.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

English

6．成績評価方法/Evaluation method：

Presentation and participation: 50%/ Essay: 50%

7．教科書および参考書/Textbook and references：

Reading materials will be suggested in the opening session

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

URL: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

9．授業時間外学修/Preparation and Review：

The session time is limited and therefore self-directed learning is important. Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：

- No specific credit earning requirements for joining this seminar.
- Those who wish to participate in the seminar should contact the instructor by email in advance.

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

In this seminar, students are expected to evaluate the differing concepts and tools used in the study of Economic History, but more importantly, to recognize the power of the historical past and how it shaped the structure of our society. Our discussion will mainly focus on the modern European economy but students are encouraged to adopt a comparative approach in order to see the differences and similarities between Asia and European economies from a wider historical perspective.

Those who wish to participate in the seminar should contact the instructor by email in advance.

For more information: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

2．学修の到達目標/Goal of study：

・Students are expected to understand contrasting courses of economic development, which converged and diverged along the route to a modern industrialized society.
・Students are also expected to learn how economic problems are closely linked with political and social issues in a historical context.
・This is a seminar style course intended to allow students to have in-depth discussion between themselves so that they can develop their research skills for writing up a dissertation.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Note that students are required to have access to the ISTU and Google's Meet online conferencing service. Therefore, those who wish to participate in the seminar should contact the instructor by email in advance. This class is designed to offer the opportunity of Distance Learning for students who choose to study outside the University campus.

The details of the course content and schedule will be explained at the first meeting.

In this seminar, students are required to prepare for the assigned part of the designated books and articles for each class. It is also important for students to write a long essay on their research interest.

Reading materials will be suggested in the opening session.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

English

6．成績評価方法/Evaluation method：

Presentation and participation: 50%/ Essay: 50%

7．教科書および参考書/Textbook and references：

Reading materials will be suggested in the opening session

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

URL: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

9．授業時間外学修/Preparation and Review：

The session time is limited and therefore self-directed learning is important. Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：

- No specific credit earning requirements for joining this seminar.
- Those who wish to participate in the seminar should contact the instructor by email in advance.

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
In this seminar, students will continue to explore the differing concepts and tools used in the study of Economic History. Participants are also encouraged to adopt a comparative approach in order to see the differences and similarities between Asia and European economies from a wider historical perspective. It is essential for students to learn how to conduct a proper historical research and to prepare for writing a dissertation.

For more information: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

２．学修の到達目標/Goal of study：
This is a seminar style course intended to allow students to have in-depth discussion between themselves so that they can develop their research skills for writing up a dissertation.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Note that students are required to have access to the ISTU and Google's Meet online conferencing service. Therefore, those who wish to participate in the seminar should contact the instructor by email in advance. This class is designed to offer the opportunity of Distance Learning for students who choose to study outside the University campus.

The details of the course content and schedule will be explained at the first meeting in Week 1.

In this seminar, students are required to prepare for the assigned part of the designated books and articles for each class. It is also important for students to write a long essay on their research interest.

Reading materials will be suggested in the opening session.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation and participation: 50%/ Essay: 50%

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Reading materials will be suggested in the opening session

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
URL: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The session time is limited and therefore self-directed learning is important. Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：
Those who wish to participate in the seminar should contact the instructor by email in advance.

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
In this seminar, students will continue to explore the differing concepts and tools used in the study of Economic History. Participants are also encouraged to adopt a comparative approach in order to see the differences and similarities between Asia and European economies from a wider historical perspective. It is essential for students to learn how to conduct a proper historical research and to prepare for writing a dissertation.

For more information: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

２．学修の到達目標/Goal of study：
This is a seminar style course intended to allow students to have in-depth discussion between themselves so that they can develop their research skills for writing up a dissertation.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Note that students are required to have access to the ISTU and Google's Meet online conferencing service. Therefore, those who wish to participate in the seminar should contact the instructor by email in advance. This class is designed to offer the opportunity of Distance Learning for students who choose to study outside the University campus.

The details of the course content and schedule will be explained at the first meeting in Week 1.

In this seminar, students are required to prepare for the assigned part of the designated books and articles for each class. It is also important for students to write a long essay on their research interest.

Reading materials will be suggested in the opening session.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation and participation: 50%/ Essay: 50%

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Reading materials will be suggested in the opening session

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
URL: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The session time is limited and therefore self-directed learning is important. Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：
Those who wish to participate in the seminar should contact the instructor by email in advance.

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：小田中　直樹/NAOKI ODANAKA
曜日・講時/Day/Period：Spring Tue. 2
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて修士論文を作成することを予定している皆さんとともに、論文の執筆法の基礎を検討します。

This class is for the students who intend to write M.A. thesis in the field of socio-intellectual history. we will examine the basic manner of writing it.

2．学修の到達目標/Goal of study：
この演習は、博士前記課程の学生を受講生に想定しています。博士前記課程の学生の最大の課題は、いうまでもなく修士論文を執筆することです。したがって、ここでは、社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて修士論文を執筆するうえで必要になる様々なスキルの基本を説明するとともに、受講する皆さんの修士論文の準備状況を適宜チェックし、具体的なアドバイスを与えることを目的とします。

To get a basic knowledge over how to write the M.A. thesis in the field of socio-intellecrtual history.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下のような項目について、適宜検討する予定です。
(1)社会思想史学（および関連諸領域）の研究史
(2)社会思想史学のアプローチ
(3)テーマの選定
(4)修士論文に求められるコンテンツ

This class is based on the discussion over the M.A. thesis draft of each participant, especially on the following points: former researches to follow, approaches to take, themes to select, and contents necessary for the thesis.

BCP が 1 および 2 の場合は対面とオンラインの併用で、3 の場合はオンラインでおこないます。しわしくは授業中にまたはメールで指示します。

Under the condition of BCP levels 1 or 2, this class will be given face-to-face style and/or online, and in the case of BCP levels 3 or more, online. The detail will be given in the class or by mail.

1.オリエンテーション
2.社会思想史学及び関連諸領域の研究史　歴史学
3.社会思想史学及び関連諸領域の研究史　社会経済史学
4.社会思想史学及び関連諸領域の研究史　社会思想
5.社会思想史学及び関連諸領域の研究史　その他
6.)社会思想史学のアプローチ　歴史的アプローチ
7.)社会思想史学のアプローチ　思想的アプローチ
8.)社会思想史学のアプローチ　知識社会学的アプローチ
9.)社会思想史学のアプローチ　その他
10.テーマの選定　ケーススタディ(1)
11.テーマの選定　ケーススタディ(2)
12 テーマの選定　ケーススタディ(3)
13.修士論文に求められるコンテンツ　先行研究
14.修士論文に求められるコンテンツ　論理性
15.修士論文に求められるコンテンツ　オリジナリティ

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
Japanese

6．成績評価方法/Evaluation method：
通常の参加を評価します。

Participation, and preparation are evaluated.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
授業中の検討において必要と判断された修正箇所について、修士論文ドラフトを適宜修正することが予習と復習を兼ねることになります。

Modifying the draft of Thesis draft according to the discussion and advises.

１０．その他/In addition：
授業に参加を希望する学生は、授業の進め方を知るため、必ず事前に
odanaka@tohoku.ac.jp
にてコンタクトをとること。

Those who would like to take this course MUST send a mail, in order to know how it goes on, before the beginning to: odanaka@tohoku.ac.jp

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：小田中　直樹/NAOKI ODANAKA
曜日・講時/Day/Period：Fall Tue. 2
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて修士論文を作成することを予定している皆さんとともに、論文の執筆法の基礎を検討します。

This class is for the students who intend to write M.A. thesis in the field of socio-intellectual history. we will examine the basic manner of writing it.

2．学修の到達目標/Goal of study：
この演習は、博士前記課程の学生を受講生に想定しています。博士前記課程の学生の最大の課題は、いうまでもなく修士論文を執筆することです。したがって、ここでは、社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて修士論文を執筆するうえで必要になる様々なスキルの基本を説明するとともに、受講する皆さんの修士論文の準備状況を適宜チェックし、具体的なアドバイスを与えることを目的とします。

To get a basic knowledge over how to write the M.A. thesis in the field of socio-intellecrtual history.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下のような項目について、適宜検討する予定です。
(1)社会思想史学（および関連諸領域）の研究史
(2)社会思想史学のアプローチ
(3)テーマの選定
(4)修士論文に求められるコンテンツ

This class is based on the discussion over the M.A. thesis draft of each participant, especially on the following points: former researches to follow, approaches to take, themes to select, and contents necessary for the thesis.

BCP が 1 および 2 の場合は対面とオンラインの併用で、3 の場合はオンラインでおこないます。しわしくは授業中にまたはメールで指示します。

Under the condition of BCP levels 1 or 2, this class will be given face-to-face style and/or online, and in the case of BCP levels 3 or more, online. The detail will be given in the class or by mail.

1.オリエンテーション
2.社会思想史学及び関連諸領域の研究史　歴史学
3.社会思想史学及び関連諸領域の研究史　社会経済史学
4.社会思想史学及び関連諸領域の研究史　社会思想
5.社会思想史学及び関連諸領域の研究史　その他
6.)社会思想史学のアプローチ　歴史的アプローチ
7.)社会思想史学のアプローチ　思想的アプローチ
8.)社会思想史学のアプローチ　知識社会学的アプローチ
9.)社会思想史学のアプローチ　その他
10.テーマの選定　ケーススタディ(1)
11.テーマの選定　ケーススタディ(2)
12 テーマの選定　ケーススタディ(3)
13.修士論文に求められるコンテンツ　先行研究
14.修士論文に求められるコンテンツ　論理性
15.修士論文に求められるコンテンツ　オリジナリティ

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
Japanese

6．成績評価方法/Evaluation method：
通常の参加を評価します。

Participation, and preparation are evaluated.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
授業中の検討において必要と判断された修正箇所について、修士論文ドラフトを適宜修正することが予習と復習を兼ねることになります。

Modifying the draft of Thesis draft according to the discussion and advises.

１０．その他/In addition：
授業に参加を希望する学生は、授業の進め方を知るため、必ず事前に
odanaka@tohoku.ac.jp
にてコンタクトをとること。

Those who would like to take this course MUST send a mail, in order to know how it goes on, before the beginning to: odanaka@tohoku.ac.jp

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：小田中　直樹/NAOKI ODANAKA
曜日・講時/Day/Period：Spring Thu. 1
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて修士論文を作成することを予定している皆さんとともに、論文の執筆法の基礎を検討します。

This class is for the students who intend to write M.A. thesis in the field of socio-intellectual history. we will examine the basic manner of writing it.

2．学修の到達目標/Goal of study：
この演習は、博士前記課程の学生を受講生に想定しています。博士前記課程の学生の最大の課題は、いうまでもなく修士論文を執筆することです。したがって、ここでは、社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて修士論文を執筆するうえで必要になる様々なスキルの基本を説明するとともに、受講する皆さんの修士論文の準備状況を適宜チェックし、具体的なアドバイスを与えることを目的とします。

To get a basic knowledge over how to write the M.A. thesis in the field of socio-intellecrtual history.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下のような項目について、参加者各位の修士論文ドラフトを適宜検討する予定です。
(1)社会思想史学（および関連諸領域）の研究史
(2)社会思想史学のアプローチ
(3)テーマの選定
(4)修士論文に求められるコンテンツ

This class is based on the discussion over the M.A. thesis draft of each participant, especially on the following points: former researches to follow, approaches to take, themes to select, and contents necessary for the thesis.

BCP が１および２の場合は対面とオンラインの併用で、3 の場合はオンラインでおこないます。しわしくは授業中にまたはメールで指示します。

Under the condition of BCP levels 1 or 2, this class will be given face-to-face style and/or online, and in the case of BCP levels 3 or more, online. The detail will be given in the class or by mail.

1. イントロダクション
2. 修士論文ドラフトのチェック(1)
3. 修士論文ドラフトのチェック(2)
4. 修士論文ドラフトのチェック(3)
5. 修士論文ドラフトのチェック(4)
6. 修士論文ドラフトのチェック(5)
7. 修士論文ドラフトのチェック(6)
8. 修士論文ドラフトのチェック(7)
9. 修士論文ドラフトのチェック(8)
10. 修士論文ドラフトのチェック(9)
11. 修士論文ドラフトのチェック(10)
12. 修士論文ドラフトのチェック(11)
13. 修士論文ドラフトのチェック(12)
14. 修士論文ドラフトのチェック(13)
15. 修士論文ドラフトのチェック(14)

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
Japanese

6．成績評価方法/Evaluation method：
通常の参加を評価します。

Participation, and preparation are evaluated.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
授業中の検討において必要と判断された修正箇所について、修士論文ドラフトを適宜修正することが予習と復習を兼ねることになります。

Modifying the draft of Thesis draft according to the discussion and advises.

１０．その他/In addition：
授業に参加を希望する学生は、授業の進め方を知るため、必ず事前に
odanaka@tohoku.ac.jp
にてコンタクトをとること。

Those who would like to take this course MUST send a mail, in order to know how it goes on, before the beginning to: odanaka@tohoku.ac.jp

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：小田中　直樹/NAOKI ODANAKA
曜日・講時/Day/Period：Fall Thu. 1
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて修士論文を作成することを予定している皆さんとともに、論文の執筆法の基礎を検討します。

This class is for the students who intend to write M.A. thesis in the field of socio-intellectual history. we will examine the basic manner of writing it.

2．学修の到達目標/Goal of study：
この演習は、博士前記課程の学生を受講生に想定しています。博士前記課程の学生の最大の課題は、いうまでもなく修士論文を執筆することです。したがって、ここでは、社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて修士論文を執筆するうえで必要になる様々なスキルの基本を説明するとともに、受講する皆さんの修士論文の準備状況を適宜チェックし、具体的なアドバイスを与えることを目的とします。

To get a basic knowledge over how to write the M.A. thesis in the field of socio-intellecrtual history.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下のような項目について、参加者各位の修士論文ドラフトを適宜検討する予定です。
(1)社会思想史学（および関連諸領域）の研究史
(2)社会思想史学のアプローチ
(3)テーマの選定
(4)修士論文に求められるコンテンツ

This class is based on the discussion over the M.A. thesis draft of each participant, especially on the following points: former researches to follow, approaches to take, themes to select, and contents necessary for the thesis.

BCP が１および２の場合は対面とオンラインの併用で、3 の場合はオンラインでおこないます。しわしくは授業中にまたはメールで指示します。

Under the condition of BCP levels 1 or 2, this class will be given face-to-face style and/or online, and in the case of BCP levels 3 or more, online. The detail will be given in the class or by mail.

1. イントロダクション
2. 修士論文ドラフトのチェック(1)
3. 修士論文ドラフトのチェック(2)
4. 修士論文ドラフトのチェック(3)
5. 修士論文ドラフトのチェック(4)
6. 修士論文ドラフトのチェック(5)
7. 修士論文ドラフトのチェック(6)
8. 修士論文ドラフトのチェック(7)
9. 修士論文ドラフトのチェック(8)
10. 修士論文ドラフトのチェック(9)
11. 修士論文ドラフトのチェック(10)
12. 修士論文ドラフトのチェック(11)
13. 修士論文ドラフトのチェック(12)
14. 修士論文ドラフトのチェック(13)
15. 修士論文ドラフトのチェック(14)

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
Japanese

6．成績評価方法/Evaluation method：
通常の参加を評価します。

Participation, and preparation are evaluated.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
授業中の検討において必要と判断された修正箇所について、修士論文ドラフトを適宜修正することが予習と復習を兼ねることになります。

Modifying the draft of Thesis draft according to the discussion and advises.

１０．その他/In addition：
授業に参加を希望する学生は、授業の進め方を知るため、必ず事前に
odanaka@tohoku.ac.jp
にてコンタクトをとること。

Those who would like to take this course MUST send a mail, in order to know how it goes on, before the beginning to: odanaka@tohoku.ac.jp

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：小田中　直樹/NAOKI ODANAKA
曜日・講時/Day/Period：Spring Thu. 1
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて修士論文を作成することを予定している皆さんとともに、論文の執筆法の基礎を検討します。

This class is for the students who intend to write M.A. thesis in the field of socio-intellectual history. we will examine the basic manner of writing it.

2．学修の到達目標/Goal of study：
この演習は、博士前記課程の学生を受講生に想定しています。博士前記課程の学生の最大の課題は、いうまでもなく修士論文を執筆することです。したがって、ここでは、社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて修士論文を執筆するうえで必要になる様々なスキルの基本を説明するとともに、受講する皆さんの修士論文の準備状況を適宜チェックし、具体的なアドバイスを与えることを目的とします。

To get a basic knowledge over how to write the M.A. thesis in the field of socio-intellecrtual history.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下のような項目について、参加者各位の修士論論文ドラフトを適宜検討する予定です。
(1)社会思想史学（および関連諸領域）の研究史
(2)社会思想史学のアプローチ
(3)テーマの選定
(4)修士論文に求められるコンテンツ

This class is based on the discussion over the M.A. thesis draft of each participant, especially on the following points: former researches to follow, approaches to take, themes to select, and contents necessary for the thesis.

BCP が１および２の場合は対面とオンラインの併用で、3 の場合はオンラインでおこないます。しわしくは授業中にまたはメールで指示します。

Under the condition of BCP levels 1 or 2, this class will be given face-to-face style and/or online, and in the case of BCP levels 3 or more, online. The detail will be given in the class or by mail.

1. イントロダクション
2. 修士論文ドラフトのチェック(1)
3. 修士論文ドラフトのチェック(2)
4. 修士論文ドラフトのチェック(3)
5. 修士論文ドラフトのチェック(4)
6. 修士論文ドラフトのチェック(5)
7. 修士論文ドラフトのチェック(6)
8. 修士論文ドラフトのチェック(7)
9. 修士論文ドラフトのチェック(8)
10. 修士論文ドラフトのチェック(9)
11. 修士論文ドラフトのチェック(10)
12. 修士論文ドラフトのチェック(11)
13. 修士論文ドラフトのチェック(12)
14. 修士論文ドラフトのチェック(13)
15. 修士論文ドラフトのチェック(14)

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
Japanese

6．成績評価方法/Evaluation method：
通常の参加を評価します。

Participation, and preparation are evaluated.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
授業中の検討において必要と判断された修正箇所について、修士論文ドラフトを適宜修正することが予習と復習を兼ねることになります。

Modifying the draft of Thesis draft according to the discussion and advises.

１０．その他/In addition：
授業に参加を希望する学生は、授業の進め方を知るため、必ず事前に
odanaka@tohoku.ac.jp
にてコンタクトをとること。

Those who would like to take this course MUST send a mail, in order to know how it goes on, before the beginning to: odanaka@tohoku.ac.jp

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：小田中　直樹/NAOKI ODANAKA
曜日・講時/Day/Period：Fall Thu. 1
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて修士論文を作成することを予定している皆さんとともに、論文の執筆法の基礎を検討します。

This class is for the students who intend to write M.A. thesis in the field of socio-intellectual history. we will examine the basic manner of writing it.

2．学修の到達目標/Goal of study：
この演習は、博士前記課程の学生を受講生に想定しています。博士前記課程の学生の最大の課題は、いうまでもなく修士論文を執筆することです。したがって、ここでは、社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて修士論文を執筆するうえで必要になる様々なスキルの基本を説明するとともに、受講する皆さんの修士論文の準備状況を適宜チェックし、具体的なアドバイスを与えることを目的とします。

To get a basic knowledge over how to write the M.A. thesis in the field of socio-intellecrtual history.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下のような項目について、参加者各位の修士論論文ドラフトを適宜検討する予定です。
(1)社会思想史学（および関連諸領域）の研究史
(2)社会思想史学のアプローチ
(3)テーマの選定
(4)修士論文に求められるコンテンツ

This class is based on the discussion over the M.A. thesis draft of each participant, especially on the following points: former researches to follow, approaches to take, themes to select, and contents necessary for the thesis.

BCP が 1 および 2 の場合は対面とオンラインの併用で、3 の場合はオンラインでおこないます。しわしくは授業中にまたはメールで指示します。

Under the condition of BCP levels 1 or 2, this class will be given face-to-face style and/or online, and in the case of BCP levels 3 or more, online. The detail will be given in the class or by mail.

1. イントロダクション
2. 修士論文ドラフトのチェック(1)
3. 修士論文ドラフトのチェック(2)
4. 修士論文ドラフトのチェック(3)
5. 修士論文ドラフトのチェック(4)
6. 修士論文ドラフトのチェック(5)
7. 修士論文ドラフトのチェック(6)
8. 修士論文ドラフトのチェック(7)
9. 修士論文ドラフトのチェック(8)
10. 修士論文ドラフトのチェック(9)
11. 修士論文ドラフトのチェック(10)
12. 修士論文ドラフトのチェック(11)
13. 修士論文ドラフトのチェック(12)
14. 修士論文ドラフトのチェック(13)
15. 修士論文ドラフトのチェック(14)

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
Japanese

6．成績評価方法/Evaluation method：
通常の参加を評価します。

Participation, and preparation are evaluated.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
授業中の検討において必要と判断された修正箇所について、修士論文ドラフトを適宜修正することが予習と復習を兼ねることになります。

Modifying the draft of Thesis draft according to the discussion and advises.

１０．その他/In addition：
授業に参加を希望する学生は、授業の進め方を知るため、必ず事前に
odanaka@tohoku.ac.jp
にてコンタクトをとること。

Those who would like to take this course MUST send a mail, in order to know how it goes on, before the beginning to: odanaka@tohoku.ac.jp

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：大瀬戸　真次/SHINJI OHSETO
曜日・講時/Day/Period：Spring Wed. 4
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design.]

２．学修の到達目標/Goal of study：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を読む能力を身につける。

[In this course, students develop skills reading articles on mechanism design.]

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
メカニズム・デザインに関する論文を受講者が交代で報告をして、その後論文の発展性などについて討論を行う。とりあえず、開講時までに以下のサーベイ論文を入手して、論文を報告できるように準備しておくこと。

Barbera, S. (2001) “An Introduction to Strategy-Proof Social Choice Functions,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 619-653.

その後は、英文ジャーナル（Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences）等からメカニズム・デザインに関する最近の面白い論文をいくつか選んで講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design. First, they read

Barbera, S. (2001) “An Introduction to Strategy-Proof Social Choice Functions,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 619-653.

Then, they read recent articles on mechanism design published in Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences.]

履修希望者は４月１５日までに電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）を送ること。

If you wish to take this course, send an e-mail to ohseto@tohoku.ac.jp until April, 15.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点（論文の報告、宿題等）によって評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
すべての参加者が論文を報告できるように予習をしておくことが必要である。また演習後に、各自論文の拡張性、発展性を検

討して、新しい研究テーマを見つけることが望まれる。

１０．その他/In addition：

Barbera, S. (2001)のサーベイ論文を読んで報告できるように準備しておくこと。第 2 回目の授業の前日までに、私宛（ohseto@tohoku.ac.jp）に「氏名、所属、学年、学籍番号、履修したい科目名、自己紹介（200 字程度)、サーベイ論文を読んだ感想（500 字程度)」を電子メールで送ること。

履修に関する質問等は、随時電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）で受け付ける。

経済計画論演習（Ｉ） a と経済計画論演習（Ｉ）b は独立に受講できる。
同様に、Seminar

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：大瀬戸　真次/SHINJI OHSETO
曜日・講時/Day/Period：Fall Wed. ４
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design.]

２．学修の到達目標/Goal of study：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を読む能力を身につける。

[In this course, students develop skills reading articles on mechanism design.]

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
メカニズム・デザインに関する論文を受講者が交代で報告をして、その後論文の発展性などについて討論を行う。とりあえず、開講時までに以下のサーベイ論文を入手して、論文を報告できるように準備しておくこと。

Jackson, M.O. (2001) “A Crash Course in Implementation Theory,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 655-708.

その後は、英文ジャーナル（Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences）等からメカニズム・デザインに関する最近の面白い論文をいくつか選んで講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design. First, they read

Jackson, M.O. (2001) “A Crash Course in Implementation Theory,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 655-708.

Then, they read recent articles on mechanism design published in Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences.]

履修希望者は１０月１５日までに電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）を送ること。

If you wish to take this course, send an e-mail to ohseto@tohoku.ac.jp until October, 15.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点（論文の報告、宿題等）によって評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
すべての参加者が論文を報告できるように予習をしておくことが必要である。また演習後に、各自論文の拡張性、発展性を検

討して、新しい研究テーマを見つけることが望まれる。

１０．その他/In addition：

Jackson, M.O. (2001)のサーベイ論文を読んで報告できるように準備しておくこと。第 2 回目の授業の前日までに、私宛（ohseto@tohoku.ac.jp）に「氏名、所属、学年、学籍番号、履修したい科目名、自己紹介（200 字程度)、サーベイ論文を読んだ感想（500 字程度)」を電子メールで送ること。

履修に関する質問等は、随時電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）で受け付ける。

経済計画論演習（Ｉ） a と経済計画論演習（Ｉ）b は独立に受講できる。
同様に、Semina

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：大瀬戸　真次/SHINJI OHSETO
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を講読する。
メカニズム・デザインに関するプロジェクト報告の指導をする。

[In this course, students discuss articles on mechanism design.]

２．学修の到達目標/Goal of study：
メカニズム・デザインに関するプロジェクト報告を行う。

[In this course, students write GPEM project report on mechanism design.]

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
メカニズム･デザインに関する論文を受講者が交代で報告をして、その後論文の発展性などについて討論を行う。とりあえず、開講時までに以下のサーベイ論文を入手して、論文を報告できるように準備しておくこと。

[1] Barbera, S. (2001) “An Introduction to Strategy-Proof Social Choice Functions,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 619-653.
[2] Jackson, M.O. (2001) “A Crash Course in Implementation Theory,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 655-708.

その後は、英文ジャーナル（Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences）等からメカニズム・デザインに関する最近の面白い論文をいくつか選んで講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design. First, they read

[1] Barbera, S. (2001) “An Introduction to Strategy-Proof Social Choice Functions,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 619-653.
[2] Jackson, M.O. (2001) “A Crash Course in Implementation Theory,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 655-708.

Then, they read recent articles on mechanism design published in Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences.]

履修希望者は４月１５日までに電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）を送ること。

If you wish to take this course, send an e-mail to ohseto@tohoku.ac.jp until April, 15.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点（論文の報告、宿題等）とプロジェクト報告によって評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各自論文の拡張性、発展性を検討して、新しい研究成果をあげることが必要である。

１０．その他/In addition：
Barbera, S. (2001)と Jackson, M.O. (2001)のサーベイ論文を読んで報告できるように準備しておくこと。第２回目の授業の前日までに、私宛（ohseto@tohoku.ac.jp）に「氏名、所属、学年、学籍番号、履修したい科目名、自己紹介（200 字程度)、サーベイ論文を読んだ感想（500 字程度)」を電子メールで送ること。

履修に関する質問等は、随時電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）で受け付ける。

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：大瀬戸　真次/SHINJI OHSETO
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を講読する。
メカニズム・デザインに関するプロジェクト報告の指導をする。

[In this course, students discuss articles on mechanism design.]

2．学修の到達目標/Goal of study：
メカニズム・デザインに関するプロジェクト報告を行う。

[In this course, students write GPEM project report on mechanism design.]

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
メカニズム・デザインに関する論文を受講者が交代で報告をして、その後論文の発展性などについて討論を行う。とりあえず、開講時までに以下のサーベイ論文を入手して、論文を報告できるように準備しておくこと。

[1] Barbera, S. (2001) “An Introduction to Strategy-Proof Social Choice Functions,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 619-653.
[2] Jackson, M.O. (2001) “A Crash Course in Implementation Theory,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 655-708.

その後は、英文ジャーナル（Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences）等からメカニズム・デザインに関する最近の面白い論文をいくつか選んで講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design. First, they read

[1] Barbera, S. (2001) “An Introduction to Strategy-Proof Social Choice Functions,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 619-653.
[2] Jackson, M.O. (2001) “A Crash Course in Implementation Theory,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 655-708.

Then, they read recent articles on mechanism design published in Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences.]

履修希望者は１０月１５日までに電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）を送ること。

If you wish to take this course, send an e-mail to ohseto@tohoku.ac.jp until October, 15.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語

6．成績評価方法/Evaluation method：
平常点（論文の報告、宿題等）とプロジェクト報告によって評価する。

7．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各自論文の拡張性、発展性を検討して、新しい研究成果をあげることが必要である。

１０．その他/In addition：
Barbera, S. (2001)と Jackson, M.O. (2001)のサーベイ論文を読んで報告できるように準備しておくこと。第２回目の授業の前日までに、私宛（ohseto@tohoku.ac.jp）に「氏名、所属、学年、学籍番号、履修したい科目名、自己紹介（200 字程度)、サーベイ論文を読んだ感想（500 字程度)」を電子メールで送ること。

履修に関する質問等は、随時電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）で受け付ける。

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：大瀬戸　真次/SHINJI OHSETO
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を講読する。
メカニズム・デザインに関するプロジェクト報告の指導をする。

[In this course, students discuss articles on mechanism design.]

２．学修の到達目標/Goal of study：
メカニズム・デザインに関するプロジェクト報告を行う。

[In this course, students write GPEM project report on mechanism design.]

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
メカニズム･デザインに関する論文を受講者が交代で報告をして、その後論文の発展性などについて討論を行う。とりあえず、開講時までに以下のサーベイ論文を入手して、論文を報告できるように準備しておくこと。

[1] Barbera, S. (2001) “An Introduction to Strategy-Proof Social Choice Functions,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 619-653.
[2] Jackson, M.O. (2001) “A Crash Course in Implementation Theory,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 655-708.

その後は、英文ジャーナル（Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences）等からメカニズム・デザインに関する最近の面白い論文をいくつか選んで講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design. First, they read

[1] Barbera, S. (2001) “An Introduction to Strategy-Proof Social Choice Functions,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 619-653.
[2] Jackson, M.O. (2001) “A Crash Course in Implementation Theory,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 655-708.

Then, they read recent articles on mechanism design published in Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences.]

履修希望者は４月１５日までに電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）を送ること。

If you wish to take this course, send an e-mail to ohseto@tohoku.ac.jp until April, 15.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点（論文の報告、宿題等）とプロジェクト報告によって評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各自論文の拡張性、発展性を検討して、新しい研究成果をあげることが必要である。

１０．その他/In addition：
Barbera, S. (2001)と Jackson, M.O. (2001)のサーベイ論文を読んで報告できるように準備しておくこと。第２回目の授業の前日までに、私宛（ohseto@tohoku.ac.jp）に「氏名、所属、学年、学籍番号、履修したい科目名、自己紹介（200 字程度)、サーベイ論文を読んだ感想（500 字程度)」を電子メールで送ること。

履修に関する質問等は、随時電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）で受け付ける。

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：大瀬戸　真次/SHINJI OHSETO
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を講読する。
メカニズム・デザインに関するプロジェクト報告の指導をする。

[In this course, students discuss articles on mechanism design.]

2．学修の到達目標/Goal of study：
メカニズム・デザインに関するプロジェクト報告を行う。

[In this course, students write GPEM project report on mechanism design.]

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
メカニズム･デザインに関する論文を受講者が交代で報告をして、その後論文の発展性などについて討論を行う。とりあえず、開講時までに以下のサーベイ論文を入手して、論文を報告できるように準備しておくこと。

[1] Barbera, S. (2001) “An Introduction to Strategy-Proof Social Choice Functions,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 619-653.
[2] Jackson, M.O. (2001) “A Crash Course in Implementation Theory,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 655-708.

その後は、英文ジャーナル（Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences）等からメカニズム・デザインに関する最近の面白い論文をいくつか選んで講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design. First, they read

[1] Barbera, S. (2001) “An Introduction to Strategy-Proof Social Choice Functions,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 619-653.
[2] Jackson, M.O. (2001) “A Crash Course in Implementation Theory,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 655-708.

Then, they read recent articles on mechanism design published in Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences.]

履修希望者は１０月１５日までに電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）を送ること。

If you wish to take this course, send an e-mail to ohseto@tohoku.ac.jp until October, 15.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語

6．成績評価方法/Evaluation method：
平常点（論文の報告、宿題等）とプロジェクト報告によって評価する。

7．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各自論文の拡張性、発展性を検討して、新しい研究成果をあげることが必要である。

１０．その他/In addition：
Barbera, S. (2001)と Jackson, M.O. (2001)のサーベイ論文を読んで報告できるように準備しておくこと。第２回目の授業の前日までに、私宛（ohseto@tohoku.ac.jp）に「氏名、所属、学年、学籍番号、履修したい科目名、自己紹介（200 字程度)、サーベイ論文を読んだ感想（500 字程度)」を電子メールで送ること。

履修に関する質問等は、随時電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）で受け付ける。

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：鈴木　通雄/MICHIO SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：Spring Mon. ２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
We will read research papers in Macroeconomics. This year, we will focus on the papers about the measurement (estimation) of productivity growth at the aggregate, industy, and firm level and its determinants.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The purpose of this course is to prepare students to write a master thesis by reviewing the frontier of macroeconomics research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The instructor will distribute a reading list of papers on the measurement of productivity growth and its determinants.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
In-class preentations and class attendance.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
See the course page in Google classroom.(Class code:ab4ptpq)

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students need to prepare for presentations.

１０．その他/In addition：
The first class will be online (Google Meet, real time); please check Google classroom for the Google Meet link.

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：鈴木　通雄/MICHIO SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：Fall Mon. ２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
We will read research papers in Macroeconomics. This year, we will focus on the papers about the measurement (estimation) of productivity growth at the aggregate, industy, and firm level and its determinants.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The purpose of this course is to prepare students to write a master thesis by reviewing the frontier of macroeconomics research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The instructor will distribute a reading list of papers on the measurement of productivity growth and its determinants.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
In-class preentations and class attendance.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
See the course page in Google classroom.(Class code:hvkmui6)

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students need to prepare for presentations.

１０．その他/In addition：
The first class will be online (Google Meet, real time); please check Google classroom for the Google Meet link.

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：鈴木　通雄/MICHIO SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
For students who wish to write their master's thesis in Macroeconomics, the instructor gives advise on their research in this course.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students are expected to write project reports.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
This course mainly consists of students' progresss report on their master thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
The evaluation is based on class attendance and project reports.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：鈴木　通雄/MICHIO SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
For students who wish to write their master's thesis in Macroeconomics, the instructor gives advise on their research in this course.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students are expected to write project reports.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
This course mainly consists of students' progresss report on their master thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
The evaluation is based on class attendance and project reports.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：鈴木　通雄/MICHIO SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
For students who are interested in quantitative or empirical analysis in macroeconomics, the instructor gives advice on their project reports in this course.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students are expected to write project reports.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
This course mainly consists of students' progresss report on their master thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
The evaluation is based on class attendance and project reports.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：鈴木　通雄/MICHIO SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
For students who are interested in quantitative or empirical analysis in macroeconomics, the instructor gives advice on their project reports in this course.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students are expected to write project reports.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
This course mainly consists of students' progresss report on their master thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
The evaluation is based on class attendance and project reports.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Seminar in Management a/Seminar in Management a

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：Spring Thu. 2
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営学における理論構築について学ぶ。社会科学としての経営学の研究を進めるにあたって、研究方法論を理解しておくことは必須の前提条件であろう。本演習では、まず社会科学における理論構築の方法について基礎的な理解を行い、次いで、社会学研究における数理演繹的アプローチ、実証主義的アプローチ、ならびに解釈学的アプローチついて抽出し、両者の比較および検討を行う。

This seminar will instruct you to learn how to model a management theory and research method to proceed management study as a subject of social science. At first we hope you can fundamentally understand a variety of theoretical methods in the field of social science while comparing and analyzing mathematical deductive approach with positivism approach as well as hermeneutic approach.

2．学修の到達目標/Goal of study：
経営学の理論構築における方法論的立場について理解を深める。またこの学習を通じて、自らの研究が依拠する方法論的前提について自覚的になれるような研究センスを養う。

This seminar aims to enhance your understanding of various methodological approaches for theory-modeling in management study and inspire your research sense so that you can acknowledge your own methodological premise on which you rely on unconsciously.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
テキストを各章ごとに読み進める。
(1) 社会科学における理論構築―概念、仮説、検証
(2) さまざまな研究法―実験、サーベイ・リサーチ、参与観察
(3) 社会学研究法の諸類型
(4) モノグラフ、ドキュメント解析、エスノメソドロジー
(5) 計量分析、多変量解析、数理モデルの構築と解析

※基本的に教室開講（対面授業）となりますが、オンライン（zoom）も併用します。
Google Classroomを活用して授業の連絡（zoomのURL等の通知）を行います。
（GPEM学生も上記Classroomと合同となりますので、履修登録後、通知されるコード入力で登録してください）

This seminar deals with the following topics: theory development in social science, various models of sociology, qualitative and quantitative methods.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

6．成績評価方法/Evaluation method：
毎回のディスカッションにおける貢献度や期末レポート等に基づいて評価する。

7．教科書および参考書/Textbook and references：

創造の方法学	高根正昭	講談社	1979	教科書
社会学研究法―リアリティの捉え方	今田高俊編	有斐閣	2000	教科書

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：
自主的にテキストの各章を読み、討論すべき論点を提示する必要がある。講義後にノートを見直すことで復習に当ててもらいたい。

１０．その他/In addition：

Seminar in Management b とセットでの受講を薦める。オフィスアワーは金曜 3 限（その他、随時）である。
連絡先は担当教員の HP である次のサイトを参照のこと。
http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~takaura/

Seminar in Management b/Seminar in Management b

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：Fall Thu. ２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
演習Ｉａに引き続き、経営学における理論構築の方法を学ぶ。本演習では、仮説の構築・検証のプロセスを通じた理論構築法の基礎を学び、定量的調査法ならびに定性的調査法の一つである事例研究の方法論を主として概観しながら、経営現象への適用ケースを具体的に検討する。

This seminar will instruct you to learn how to model a management theory and understand the foundation of theory-building through the process of constructing hypothesis and verifying it while mainly overviewing both the quantitative and qualitative research methods such as case study applied for business phenomenon.

２．学修の到達目標/Goal of study：
定量的ならびに定性的調査の概念と技法について理解し、経営学分野の実証研究を遂行するにあたっての基礎能力の獲得をめざす。

This seminar enables you to understand the basic concepts and approaches of quantitative and qualitative research methods so that you can promote the empirical research in the field of management.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
テキストを各章ごとに読み進める。優れた研究事例から学ぶべき点について討議する。
(1) 経営学研究法の諸類型
(2) 定量的調査の研究事例
(3) ケーススタディの研究事例

※基本的に教室開講（対面授業）となりますが、オンライン（zoom）も併用します。
Google Classroom を活用して授業の連絡（zoom の URL 等の通知）を行います。
（GPEM 学生も上記 Classroom と合同となりますので、履修登録後、通知されるコード入力で登録してください）

We would discuss about the following points in the class: various types of the research method in management, quantitative research cases and case studies.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
毎回のディスカッションにおける貢献度や期末レポート等に基づいて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

リサーチ・マインド- 経営学研究法	藤本隆宏他編	有斐閣	2005	教科書
ブラックスワンの経営学	井上達彦	日経 BP	2014	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自主的にテキストの各章を読み、討論すべき論点を提示する必要がある。講義後にノートを見直すことで復習に当ててもらいたい。

１０．その他/In addition：
Seminar in Management a を先に受講していなくても構わない。
オフィスアワーは木曜３限（その他、随時）である。
連絡先は担当教員の HP である次のサイトを参照のこと。http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~takaura/

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営学（とくに企業倫理、CSR、企業とNPOの関係論など）の理論構築および方法論に関連して、各自のプロジェクト報告に対して指導および助言を行う。受講者全体での討議も行う。

This seminar will instruct and suggest you to write a proper master thesis in regard with building management theories specifically in business ethics, CSR and the relationship between business and non-profits.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経営学（とくに上記領域）のプロジェクト報告の制作にあたって、その理論構築および方法論の側面について、より分析ないし記述が精緻化されることをめざす。

This seminar aims to enable you to refine your description and analysis of theory building and methodology in preparing your master thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
基本的に研究室開講（対面授業）となりますが、オンライン（zoom）も併用します。詳細は担当教員まで確認してください。

隔週で各自が発表することを基本とする。担当者は、研究内容の一部（構想のスケッチや既存文献のレビュー、調査報告、映像視聴など）について報告を行う。
教科書等はとくに指定しない。

This class requires you to present a piece of your research such as sketching ideas, reviewing the previous research and reporting your research.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
各回の報告内容とディスカッションにおける貢献度に応じて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表者は事前の準備、事後の論文へのフィードバックを行うことが期待される。

１０．その他/In addition：
【使用言語】日本語（発表等については英語可）
オフィスアワーは金曜３限（その他、随時）である。
連絡先は担当教員のHPである次のサイトを参照のこと。
http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~takaura/

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営学（とくに企業倫理、CSR、企業とNPOの関係論など）の理論構築および方法論に関連して、各自のプロジェクト報告に対して指導および助言を行う。受講者全体での討議も行う。

This seminar will instruct and suggest you to write a proper master thesis in regard with building management theories specifically in business ethics, CSR and the relationship between business and non-profits.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経営学（とくに上記領域）のプロジェクト報告の制作にあたって、その理論構築および方法論の側面について、より分析ないし記述が精緻化されることをめざす。

This seminar aims to enable you to refine your description and analysis of theory building and methodology in preparing your master thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
基本的に研究室開講（対面授業）となりますが、オンライン（zoom）も併用します。詳細は担当教員まで確認してください。

隔週で各自が発表することを基本とする。担当者は、研究内容の一部（構想のスケッチや既存文献のレビュー、調査報告、映像視聴など）について報告を行う。
教科書等はとくに指定しない。

This class requires you to present a piece of your research such as sketching ideas, reviewing the previous research and reporting your research.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
各回の報告内容とディスカッションにおける貢献度に応じて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表者は事前の準備、事後の論文へのフィードバックを行うことが期待される。

１０．その他/In addition：
【使用言語】日本語（発表等については英語可）
オフィスアワーは金曜３限（その他、随時）である。
連絡先は担当教員のHPである次のサイトを参照のこと。
http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~takaura/

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営学（とくに企業倫理、CSR、企業とNPOの関係論など）の理論構築および方法論に関連して、各自の修士論文に対して指導および助言を行う。受講者全体での討議も行う。

This seminar will instruct and suggest you to write a proper master thesis in regard with building management theories specifically in business ethics, CSR and the relationship between business and non-profits.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経営学（とくに上記領域）の修士論文の制作にあたって、その理論構築および方法論の側面について、より分析ないし記述が精緻化されることをめざす。

This seminar aims to enable you to refine your description and analysis of theory building and methodology in preparing your master thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
基本的に研究室開講（対面授業）となりますが、オンライン（zoom）も併用します。詳細は担当教員まで確認してください。

隔週で各自が発表することを基本とする。担当者は、論文の一部（構想のスケッチや既存文献のレビュー、調査報告、映像視聴など）について報告を行う。
教科書等はとくに指定しない。

This class requires you to present a piece of your research such as sketching ideas, reviewing the previous research and reporting your research.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
各回の報告内容とディスカッションにおける貢献度に応じて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表者は事前の準備、事後の論文へのフィードバックを行うことが期待される。

１０．その他/In addition：
【使用言語】日本語（発表等については英語可）
オフィスアワーは金曜３限（その他、随時）である。
連絡先は担当教員のHPである次のサイトを参照のこと。
http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~takaura/

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営学（とくに企業倫理、CSR、企業とNPOの関係論など）の理論構築および方法論に関連して、各自の修士論文に対して指導および助言を行う。受講者全体での討議も行う。

This seminar will instruct and suggest you to write a proper master thesis in regard with building management theories specifically in business ethics, CSR and the relationship between business and non-profits.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経営学（とくに上記領域）の修士論文の制作にあたって、その理論構築および方法論の側面について、より分析ないし記述が精緻化されることをめざす。

This seminar aims to enable you to refine your description and analysis of theory building and methodology in preparing your master thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
基本的に研究室開講（対面授業）となりますが、オンライン（zoom）も併用します。詳細は担当教員まで確認してください。

隔週で各自が発表することを基本とする。担当者は、論文の一部（構想のスケッチや既存文献のレビュー、調査報告、映像視聴など）について報告を行う。
教科書等はとくに指定しない。

This class requires you to present a piece of your research such as sketching ideas, reviewing the previous research and reporting your research.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
各回の報告内容とディスカッションにおける貢献度に応じて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表者は事前の準備、事後の論文へのフィードバックを行うことが期待される。

１０．その他/In addition：
【使用言語】日本語（発表等については英語可）
オフィスアワーは金曜３限（その他、随時）である。
連絡先は担当教員のHPである次のサイトを参照のこと。
http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~takaura/

Seminar in Management a/Seminar in Management a

担当教員/Instructor：一小路　武安/TAKEYASU ICHIKOHJI
曜日・講時/Day/Period：Spring Wed. 6
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営学に関連する学術論文・研究書を読みこなす力を鍛える。
This course aims to help students become able to read and digest academic papers on business administration.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経営学に関連する学術論文を自分のテーマに沿って発見し、読みこなせるようになる。
Students will develop skills to find academic papers on management administration which match their themes of interest and become able to read and digest them.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
経営学に関連する学術論文を輪読し、ディスカッションを行う。
Reading the academic thesis related to the management, and discussion.

実施方式は、学生との相談のうえ、決定する。
The method will be determined in consultation with the students.

必要な連絡はGoogle Classroomを通じて行う。クラスコードはavmmm6bである。
Any necessary communication will be done through Google Classroom. The class code is avmmm6b.

履修にあたっては、事前にクラスルーム上に書き込みをして連絡すること。
If you want to take this course, please contact me in advance by writing on the class room.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表者は発表用資料を作成し、参加者は該当論文のレジュメを作成する。

１０．その他/In addition：
対象とする論文は基本的に英語である。

Seminar in Management b/Seminar in Management b

担当教員/Instructor：一小路　武安/TAKEYASU ICHIKOHJI
曜日・講時/Day/Period：Fall Wed. ６
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営学に関連する学術論文・研究書を読みこなす力を鍛える。
This course aims to help students become able to read and digest academic papers on business administration.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経営学に関連する学術論文を自分のテーマに沿って発見し、読みこなせるようになる。
Students will develop skills to find academic papers on management administration which match their themes of interest and become able to read and digest them.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
経営学に関連する学術論文を輪読し、ディスカッションを行う。
Reading the academic thesis related to the management, and discussion.

実施方式は、学生との相談のうえ、決定する。
The method will be determined in consultation with the students.

必要な連絡はGoogle Classroomを通じて行う。クラスコードはzaet476である。
Any necessary communication will be done through Google Classroom. The class code is zaet476.

履修にあたっては、事前にクラスルーム上に書き込みをして連絡すること。
If you want to take this course, please contact me in advance by writing on the class room.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表者は発表用資料を作成し、参加者は該当論文のレジュメを作成する。

１０．その他/In addition：
対象とする論文は基本的に英語である。

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：一小路　武安/TAKEYASU ICHIKOHJI
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営学に関するプロジェクト研究を行う院生に対して指導を行う。
Guidance is provided to graduate students working on research projects on management administration.

２．学修の到達目標/Goal of study：
プロジェクト研究を完成する。
Students will accomplish their research projects.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者が報告した自らの研究やその進捗状況に関して、指導を行う。
Guidance is provided to the participants regarding the research proceeding situation reported by them.

履修にあたっては、事前に担当教員にメール(takeyasu.ichikohji.c7@tohoku.ac.jp)で連絡すること。
Please contact the instructor in charge by e-mail (takeyasu.ichikohji.c7@tohoku.ac.jp) in advance.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究内容による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
研究自体は時間外に行うこととする。

１０．その他/In addition：

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：一小路　武安/TAKEYASU ICHIKOHJI
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営学に関するプロジェクト研究を行う院生に対して指導を行う。
Guidance is provided to graduate students working on research projects on management administration.

２．学修の到達目標/Goal of study：
プロジェクト研究を完成する。
Students will accomplish their research projects.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者が報告した自らの研究やその進捗状況に関して、指導を行う。
Guidance is provided to the participants regarding the research proceeding situation reported by them.

履修にあたっては、事前に担当教員にメール(takeyasu.ichikohji.c7@tohoku.ac.jp)で連絡すること。
Please contact the instructor in charge by e-mail (takeyasu.ichikohji.c7@tohoku.ac.jp) in advance.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究内容による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
研究自体は時間外に行うこととする。

１０．その他/In addition：

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：一小路　武安/TAKEYASU ICHIKOHJI
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営学に関するプロジェクト研究を行う院生に対して指導を行う。
Guidance is provided to graduate students working on research projects on management administration.

２．学修の到達目標/Goal of study：
プロジェクト研究を完成する。
Students will accomplish their research projects.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者が報告した自らの研究やその進捗状況に関して、指導を行う。
Guidance is provided to the participants regarding the research proceeding situation reported by them.

履修にあたっては、事前に担当教員にメール(takeyasu.ichikohji.c7@tohoku.ac.jp)で連絡すること。
Please contact the instructor in charge by e-mail (takeyasu.ichikohji.c7@tohoku.ac.jp) in advance.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究内容による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
研究自体は時間外に行うこととする。

１０．その他/In addition：

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：一小路　武安/TAKEYASU ICHIKOHJI
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営学に関するプロジェクト研究を行う院生に対して指導を行う。
Guidance is provided to graduate students working on research projects on management administration.

２．学修の到達目標/Goal of study：
プロジェクト研究を完成する。
Students will accomplish their research projects.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者が報告した自らの研究やその進捗状況に関して、指導を行う。
Guidance is provided to the participants regarding the research proceeding situation reported by them.

履修にあたっては、事前に担当教員にメール(takeyasu.ichikohji.c7@tohoku.ac.jp)で連絡すること。
Please contact the instructor in charge by e-mail (takeyasu.ichikohji.c7@tohoku.ac.jp) in advance.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究内容による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：浅野　康司/KOJI ASANO
曜日・講時/Day/Period：Spring Wed. 3
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This seminar focuses on financial decision-making and asset pricing.

2．学修の到達目標/Goal of study：
At the end of the seminar, students should be able to gain a deeper understanding of asset pricing.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
This is a reading group based on students' presentations.

Information on the seminar will be provided via Google Classroom: the class code is u7rgqpa.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
The seminar is operated in either English or Japanese depending on the audience.

6．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation

7．教科書および参考書/Textbook and references：

Financial Decisions and Markets: A Course in Asset Pricing	John Y. Campbell	Princeton University Press	2017
Market Liquidity: Theory, Evidence, and Policy	Thierry Foucault, Marco Pagano, Ailsa Roell	Oxford University Press	2013

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
Students must have knowledge of the intermediate level of microeconomics and macroeconomics.

Students do not need to register for Seminar in Economics b.

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：浅野　康司/KOJI ASANO
曜日・講時/Day/Period：Fall Wed. ３
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This seminar focuses on international macroeconomics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
At the end of the seminar, students should be able to gain a deeper understanding of international macroeconomics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
This is a reading group based on students' presentations.

Information on the seminar will be provided via Google Classroom: the class code is fibk4z3.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
The seminar is operated in either English or Japanese depending on the audience.

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Open Economy Macroeconomics	Martín Uribe, Stephanie Schmitt-Grohé	Princeton University Press	2017
International Macroeconomics	Stephanie Schmitt-Grohe, Martin Uribe, Michael Woodford	Princeton University Press	2022
Foundations of International Macroeconomics	Maurice Obstfeld, Kenneth Rogoff	The MIT Press	1996

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
Students must have knowledge of the intermediate level of microeconomics and macroeconomics.

Students do not need to register for Seminar in Economics a.

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：秋田　次郎/JIRO AKITA
曜日・講時/Day/Period：Spring Fri. 2
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

国際金融論は開放体系マクロ経済学としての側面と，金融ミクロ経済学の国際的展開ないし国際金融ミクロ経済学としての側面を併せ持つ。演習Ⅰaでは，後者の国際金融ミクロ経済学としての国際金融論に用いられる非対称情報の経済学の基礎部分を学ぶ。

International finance encompasses open economy macroeconomics and microeconomics of financial transactions and contracts. Seminar-a focuses on the latter with particular emphasis on the basic contract theory of asymmetric information.

授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材もGoogle Classroomを通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom.

2．学修の到達目標/Goal of study：

・不確実性下の経済主体の最適化行動についての基礎理論を理解する。
・対称情報下における保険契約，危険分散化行動の意義について理解する。
・非対称情報の経済理論の主要パラダイムの基礎について理解する。

＊ To understand basic theory of optimal economic behavior under uncertainty.
＊ To understand insurance and risk diversification behavior under symmetric information.
＊ To understand canonical paradigms of asymmetric information.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom　(クラスコード【63jupwa】(EM2069)、【jx3m5fa】(EM4151)) を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材もGoogle Classroomを通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom (class code 【63jupwa】(EM2069)、【jx3m5fa】(EM4151)).

・条件付財，期待効用理論，経済主体の危険態度
・対称情報と最適保険契約
・非対称情報とアドバース・セレクション
・非対称情報とモラル・ハザード
・非対称情報とシグナリング

＊ Contingent Goods, Expected Utility Theory, Risk Attitudes
＊ Symmetric Information and Optimal Insurance Contract
＊ Asymmetric Information: Adverse Selection
＊ Asymmetric Information: Moral Hazard
＊ Asymmetric Information: Signaling

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

日本語　and/or　English

6．成績評価方法/Evaluation method：

通常の成績ないし理解度確認セッションにより評価する。

Evaluation will be based on regular attendance and performance in the class.
Final examination may be conducted when it suits.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

An Introduction to the Economics of Information, 2nd Ed.	Ines Macho-Stadler & J. David Perez-Castrillo	Oxford University Press	2001
Financial Economics	Jurgen Eichberger & Ian R. Harper	Oxford University Press	1997

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予め指定する参考文献を事前に十分に予習する事、および授業後に授業内容を十分に復習する事
を強く勧める。

The course consists of workshop discussions as opposed to formal lectures.
Thorough preparation before and review after each workshop session is expected on the part of attendants.

１０．その他/In addition：
※履修の条件について：
特に定めないが、授業内容は学部程度の経済数学およびミクロ経済学の知識，英語読解力を
最低限の前提とする。

Previous exposure to undergraduate level microeconomics is prerequisite.
Familiarity with mathematics for economists is preferable.

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：秋田　次郎/JIRO AKITA
曜日・講時/Day/Period：Fall Fri. 3
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

国際金融論は開放体系マクロ経済学としての側面と，金融ミクロ経済学の国際的展開ないし国際金融ミクロ経済学としての側面を併せ持つ。演習Ｉｂでは，演習Ｉａにおける学習の延長線上に後者の国際金融ミクロ経済学としての国際金融論に用いられる非対称情報の経済学の応用部分を学ぶ。

International finance encompasses open economy macroeconomics and microeconomics of financial transactions and contracts. Seminar-b focuses on the latter with particular emphasis on the application of asymmetric information theory to financial contracts.

授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材も Google Classroom を通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom.

2．学修の到達目標/Goal of study：

・不確実性と非対称情報の経済学の金融市場への応用について理解する。
・金融市場で観察される信用割当や標準債務契約の経済学的背景を理解する。
・銀行の破綻が如何なる場合に効率的ないし非効率的であるかを理解する。

* To understand how the theory of uncertainty and asymmetric information is applicable to financial markets.
* To understand how microeconomics explains credit rationing and standard debt contract..
* To understand when and why bank default can be efficient.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom　(クラスコード【acyjtth】(EM2070)、【ijpjfie】(EM4152)) を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材も Google Classroom を通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom (class code 【acyjtth】(EM2070)、【ijpjfie】(EM4152)).

・対称情報および非対称情報と金融市場
・非対称情報と信用割り当て
・観察費用と標準債務契約
・銀行破綻の効率性・非効率生
・銀行経営の慎重さ

* Symmetric Information, Asymmetric Information, Financial Market
* Asymmetric Information and Credit Rationing
* Verification Cost and Standard Debt Contract
* Efficiency and Inefficiency associated with Bank Default
* Prudence in Bank Management

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語　and/or　English

6．成績評価方法/Evaluation method：

通常の成績ないし理解度確認セッションにより評価する。

Evaluation will be based on regular attendance and performance in the class.
Final examination may be conducted when it suits.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

Financial Economics	Jurgen Eichberger & Ian R. Harper	Oxford University Press	1997
An Introduction to the Economics of Information, 2nd	Ines Macho-Stadler & J. David Perez-	Oxford University Press	2001

Ed. Castrillo

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予め指定する参考文献を事前に十分に予習する事、および授業後に授業内容を十分に復習する事を強く勧める。

The course consists of workshop discussions as opposed to formal lectures.
Thorough preparation before and review after each workshop session is expected on the part of attendants.

１０．その他/In addition：
※履修の条件について：
特に定めないが、授業内容は学部程度の経済数学およびミクロ経済学の知識，英語読解力を最低限の前提とする。

Previous exposure to undergraduate level microeconomics is prerequisite.
Familiarity with mathematics for economists is preferable.

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：秋田　次郎/JIRO AKITA
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
主に国際金融論関連の修士論文の作成指導
Research guidance to produce a master's thesis primarily in the field of International Finance

授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材もGoogle Classroomを通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom.

2．学修の到達目標/Goal of study：
修士論文の完成
Successful completing of a master's thesis primarily in the field of International Finance.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom （クラスコード【ntwhnka】(EM2071)、【l6owgkn】(EM4153)、【ajztbrm】(EM4154)）を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材もGoogle Classroomを通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom (class code 【ntwhnka】(EM2071)、【l6owgkn】(EM4153)、【ajztbrm】(EM4154)).

指導は主に報告と討論を通じて、研究の完成に向けてのPlan-Do-Check-Actサイクルを回して進める。すなわち、以下のサイクルを必要な限り繰り返す。
1）Plan　自身の当初問題意識と先行研究調査を踏まえて研究の当初計画を立案する。
2）DO　当初計画に沿って研究を実施する
3）Check　研究の実施状況を当初目的に照らして評価する。
4）Act　評価に応じて当初計画あるいは実施方法を改善する。

Guidance is conducted by way of reporting and discussions, repeating "PDCA" cycle toward the completion of research.
Namely,
1）Plan　Produce your initial research plan in the light of your own idea and the state of relevanct literature.
2）DO　Carry our your research along with the plan.
3）Check　Evaluate/Study your actual progress in view of the plan.
4）Act　Act on the evaluation to improve the research plan or methodology.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語　and/or　English

6．成績評価方法/Evaluation method：
修士論文の準備状況によって評価する。
Evaluation based on the progress of master's thesis preparation.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
ミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学、経済経営数学の基礎が必須の前提条件である。
Basic knowledge of Microeconomics, Macroeconomic, Econometrics, and Mathematics for Economists is prerequisite

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：秋田　次郎/JIRO AKITA
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
主に国際金融論関連の修士論文の作成指導
Research guidance to produce a master's thesis primarily in the field of International Finance

授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材もGoogle Classroomを通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom.

2．学修の到達目標/Goal of study：
修士論文の完成
Successful completing of a master's thesis primarily in the field of International Finance.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom （クラスコード【ntwhnka】(EM2071)、【l6owgkn】(EM4153)、【ajztbrm】(EM4154)）を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材もGoogle Classroomを通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom (class code 【ntwhnka】(EM2071)、【l6owgkn】(EM4153)、【ajztbrm】(EM4154)).

指導は主に報告と討論を通じて、研究の完成に向けてのPlan-Do-Check-Actサイクルを回して進める。すなわち、以下のサイクルを必要な限り繰り返す。
1）Plan　自身の当初問題意識と先行研究調査を踏まえて研究の当初計画を立案する。
2）DO　当初計画に沿って研究を実施する
3）Check　研究の実施状況を当初目的に照らして評価する。
4）Act　評価に応じて当初計画あるいは実施方法を改善する。

Guidance is conducted by way of reporting and discussions, repeating "PDCA" cycle toward the completion of research.
Namely,
1）Plan　Produce your initial research plan in the light of your own idea and the state of relevanct literature.
2）DO　Carry our your research along with the plan.
3）Check　Evaluate/Study your actual progress in view of the plan.
4）Act　Act on the evaluation to improve the research plan or methodology.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語　and/or　English

6．成績評価方法/Evaluation method：
修士論文の準備状況によって評価する。
Evaluation based on the progress of master's thesis preparation.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
ミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学、経済経営数学の基礎が必須の前提条件である。
Basic knowledge of Microeconomics, Macroeconomic, Econometrics, and Mathematics for Economists is prerequisite

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：秋田　次郎/JIRO AKITA
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
主に国際金融論関連の修士論文の作成指導
Research guidance to produce a master's thesis primarily in the field of International Finance

授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材もGoogle Classroomを通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom.

2．学修の到達目標/Goal of study：
修士論文の完成
Successful completing of a master's thesis primarily in the field of International Finance.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom （クラスコード【x6jeeol】(EM2072)、【kdxbsbv】(EM4155)、【76ucoxf】(EM4156)）を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材もGoogle Classroomを通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom (class code 【x6jeeol】(EM2072)、【kdxbsbv】(EM4155)、【76ucoxf】(EM4156)).

指導は主に報告と討論を通じて、研究の完成に向けてのPlan-Do-Check-Actサイクルを回して進める。すなわち、以下のサイクルを必要な限り繰り返す。
1）Plan　自身の当初問題意識と先行研究調査を踏まえて研究の当初計画を立案する。
2）DO　当初計画に沿って研究を実施する
3）Check　研究の実施状況を当初目的に照らして評価する。
4）Act　評価に応じて当初計画あるいは実施方法を改善する。

Guidance is conducted by way of reporting and discussions, repeating "PDCA" cycle toward the completion of research.
Namely,
1）Plan　Produce your initial research plan in the light of your own idea and the state of relevanct literature.
2）DO　Carry our your research along with the plan.
3）Check　Evaluate/Study your actual progress in view of the plan.
4）Act　Act on the evaluation to improve the research plan or methodology.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語　and/or　English

6．成績評価方法/Evaluation method：
修士論文の準備状況によって評価する。
Evaluation based on the progress of master's thesis preparation.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
ミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学、経済経営数学の基礎が必須の前提条件である。
Basic knowledge of Microeconomics, Macroeconomic, Econometrics, and Mathematics for Economists is prerequisite

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：秋田　次郎/JIRO AKITA
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
主に国際金融論関連の修士論文の作成指導
Research guidance to produce a master's thesis primarily in the field of International Finance

授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材もGoogle Classroomを通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom.

2．学修の到達目標/Goal of study：
修士論文の完成
Successful completing of a master's thesis primarily in the field of International Finance.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom （クラスコード【x6jeeol】(EM2072)、【kdxbsbv】(EM4155)、【76ucoxf】(EM4156)）を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材もGoogle Classroomを通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom (class code 【x6jeeol】(EM2072)、【kdxbsbv】(EM4155)、【76ucoxf】(EM4156)).

指導は主に報告と討論を通じて、研究の完成に向けてのPlan-Do-Check-Actサイクルを回して進める。すなわち、以下のサイクルを必要な限り繰り返す。
1）Plan　自身の当初問題意識と先行研究調査を踏まえて研究の当初計画を立案する。
2）DO　当初計画に沿って研究を実施する
3）Check　研究の実施状況を当初目的に照らして評価する。
4）Act　評価に応じて当初計画あるいは実施方法を改善する。

Guidance is conducted by way of reporting and discussions, repeating "PDCA" cycle toward the completion of research.
Namely,
1）Plan　Produce your initial research plan in the light of your own idea and the state of relevanct literature.
2）DO　Carry our your research along with the plan.
3）Check　Evaluate/Study your actual progress in view of the plan.
4）Act　Act on the evaluation to improve the research plan or methodology.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語　and/or　English

6．成績評価方法/Evaluation method：
修士論文の準備状況によって評価する。
Evaluation based on the progress of master's thesis preparation.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
ミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学、経済経営数学の基礎が必須の前提条件である。
Basic knowledge of Microeconomics, Macroeconomic, Econometrics, and Mathematics for Economists is prerequisite

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：日引　聡/AKIRA HIBIKI
曜日・講時/Day/Period：Spring Wed. ４
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
We read articles in the area of environmental economics to obtain the basic knowledge.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students understand the basic theory in the field of environmental economics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
(Class 1) Guidance
(Class 2 - 15) Article Reading

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Students will be assessed based on performance (presentation, discussion etc.) in the class

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Reading list will be provided based on the student's interest.

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The students are expected to read the articles or reading materials distributed in the class beforehand.

１０．その他/In addition：
The students should understand Calculus and complete microeconomics courses before taking this class.
Office hour：by appointment (email：hibiki@tohoku.ac.jp)

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：日引　聡/AKIRA HIBIKI
曜日・講時/Day/Period：Fall Wed. ５
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
We read articles in the area of environmental economics to obtain the basic knowledge.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students understand the basic theory in the field of environmental economics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
(Class 1) Guidance
(Class 2 - 15) Article Reading

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Students will be assessed based on performance (presentation, discussion etc.) in the class

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Reading list will be provided based on the student's interest.

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The students are expected to read the articles or reading materials distributed in the class beforehand.
Office hour: by appointment

１０．その他/In addition：
(1) The students should understand Calculus and complete microeconomics courses before taking this class.
Office hour：by appointment (email：hibiki@tohoku.ac.jp)
(2) The cou

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：日引　聡/AKIRA HIBIKI
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
We read articles in the area of environmental economics to obtain the basic knowledge.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students find a topic for their projects and construct their project plan.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
(Class 1) Guidance
(Class 2 -10)Article Reading
(Class 11 -15) Presentation and Discussion on the project plan

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Students will be assessed based on performance (presentation, discusiion, etc) in the class

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Reading list will be provided based on the student's interest.

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The students are expected to read the articles or reading materials distributed in the class beforehand.

１０．その他/In addition：
(1) Office hour : by appointment (email : hibiki@tohoku.ac.jp)
(2)This course will be conducted face-to-face, when BCP level is 0 or 1. Otherwise it will be conducted online.

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：日引　聡/AKIRA HIBIKI
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
We read articles in the area of environmental economics to obtain the basic knowledge.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students find a topic for their projects and construct their project plan.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
(Class 1) Guidance
(Class 2 -10)Article Reading
(Class 11 -15) Presentation and Discussion on the project plan

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Students will be assessed based on performance (presentation, discusiion, etc) in the class

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Reading list will be provided based on the student's interest.

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The students are expected to read the articles or reading materials distributed in the class beforehand.

１０．その他/In addition：
(1) Office hour : by appointment (email : hibiki@tohoku.ac.jp)
(2)This course will be conducted face-to-face, when BCP level is 0 or 1. Otherwise it will be conducted online.

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：日引　聡/AKIRA HIBIKI
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
We read articles in the area of environmental economics to obtain the basic knowledge.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students find a topic for their projects and construct their project plan.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
(Class 1) Guidance
(Class 2 -10)Article Reading
(Class 11 -15) Presentation and Discussion on the project plan

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Students will be assessed based on performance (presentation, discusiion, etc) in the class

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Reading list will be provided based on the student's interest.

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The students are expected to read the articles or reading materials distributed in the class beforehand.

１０．その他/In addition：
(1) Office hour : by appointment (email : hibiki@tohoku.ac.jp)
(2)This course will be conducted face-to-face, when BCP level is 0 or 1. Otherwise it will be conducted online.

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：日引　聡/AKIRA HIBIKI
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
We read articles in the area of environmental economics to obtain the basic knowledge.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students find a topic for their projects and construct their project plan.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
(Class 1) Guidance
(Class 2 -10)Article Reading
(Class 11 -15) Presentation and Discussion on the project plan

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Students will be assessed based on performance (presentation, discusiion, etc) in the class

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Reading list will be provided based on the student's interest.

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The students are expected to read the articles or reading materials distributed in the class beforehand.

１０．その他/In addition：
(1) Office hour : by appointment (email : hibiki@tohoku.ac.jp)
(2)This course will be conducted face-to-face, when BCP level is 0 or 1. Otherwise it will be conducted online.

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：泉田　成美/SHIGEMI IZUMIDA
曜日・講時/Day/Period：Spring Fri. ２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業組織論はミクロ経済学と計量経済学の知識を利用して企業行動や産業組織を分析する学問分野です。今期の演習では、産業組織論を政府の政策に応用した競争政策論のテキストを用いて学習します。

In this course, students learn about the basic concept of Competition Policy. Positive participation in classes is expected.

２．学修の到達目標/Goal of study：
競争政策の必要性を理解できるようになる。
競争政策上の問題（カルテル、企業結合、垂直的取引制限など）について理解できるようになる。

Students will understand the necessity of competition policy.
Students will understand the problem of competition policy such as Cartel, M&A (Mergers and Acquisitions), Vertical Restrictions of Trade, and so on.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業開講形態：
BCP レベルが１または２の場合には対面授業を行います。
BCP レベルが３以上になった場合には Google Meet または Zoom によるオンライン授業を行います。
Style of this Class: Online class using Google Meet and/or normal meeting face-to-face class

Google Classroom のクラスコード「354h2as」。
Google Classroom's class code: 354h2as

授業の内容・進度予定；次の内容を学習することを予定しています。
第１回　イントロダクション
第２回　競争はなぜ重要か
第３回　競争政策の生い立ちと仕組み
第４回　共謀と協調
第５回　コンテスタブル市場理論と参入阻止戦略
第６回　一般集中と独占的状態
第７回　合併・買収
第８回　垂直的取引制限
第９回　競争手段としての廉売
第10回　公益事業における競争
第11回　下請取引と優越的地位
第12回　イノベーションと知的財産権
第13回　ネット取引とプラットフォーム
第14回　グローバル化する競争政策
第15回　まとめ
参加者の知識・学力によって予定より早く進むこともありえますし、遅く進むこともありえます。参加者の関心によってはまったく異なる内容となることもありえます。
授業の方法；参加者の発表による。

The contents and schedule are as shown below:
#1 Introduction
#2 Why Competition is important?
#3 History of Competition Policy
#4 Collusion and Cooperation
#5 Contestable Market and Strategy for Entry Deterrence
#6 Market Concentration and Monopolistic Situation
#7 M&A (Mergers and Acquisitions)
#8 Vertical Restrictions of Trade
#9 Unfair Price Cutting
#10 Subcontracting and Dominant Position
#11 Competition on Public Utilities
#12 Innovation and Intellectual Property Right
#13 Internet Trade and Platform
#14 Globalization and Competition Policy
#15 Conclusion

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
出席と発表内容による。
発表者が欠席した場合、不合格とする。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

競争政策の経済学:人口減少・デジタル化・産業政策	大橋　弘	日本経済新聞出版	2021年	978-4-532-13513-3	教科書
競争政策論：独占禁止法事例から学ぶ産業組織論（第２版）	小田切宏之	日本評論社	2017年	978-4-535-55882-3	参考書
プラクティカル産業組織論	泉田成美・柳川隆	有斐閣	2008年	978-4-641-12372-4	参考書
イノベーション時代の競争政策:研究・特許・プラットフォームの法と経済	小田切宏之	有斐閣	2016年	978-4-641-16496-3	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
十分な予習と復習が必要です。
Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：
履修を希望する人は４月 13 日（水）までに担当教員にＥメールにて申し出ること。
産業組織論演習Ｉａ、Ｉｂはそれぞれ独立に受講可能である。
授業中の私語は厳禁とする。
学部の「ミクロ経済分析」程度の知識を持っていることを前提とする。
E-mail address:；shigemi.izumida.d1@tohoku.ac.jp
オフィス・アワー；金曜日 12:15～13:00

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：泉田　成美/SHIGEMI IZUMIDA
曜日・講時/Day/Period：Fall Fri. ２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業組織論はミクロ経済学と計量経済学の知識を利用して企業行動や産業組織を分析する学問分野です。今期の演習では、産業組織論の標準的なテキストを用いて基礎的な内容を学習します。

In this course, students learn about the basic concept of Industrial Organization. Positive participation in classes is expected.

２．学修の到達目標/Goal of study：
独占市場・寡占市場の理論を理解できるようになる。
企業の競争戦略について理解できるようになる。
競争政策上の問題（カルテル、企業結合、垂直的取引制限など）について理解できるようになる。

Students will understand the theory of monopoly and oligopoly market.
Students will understand the strategy for competition of firm
Students will understand the problem of competition policy such as Cartel, M&A (Mergers and Acquisitions), Vertical Restrictions of Trade, and so on.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業開講形態：
BCP レベルが１または２の場合には対面授業を行います。
BCP レベルが３以上になった場合には Google Meet または Zoom によるオンライン授業を行います。
Style of this Class: Online class using Google Meet and/or normal meeting face-to-face class

Google Classroom のクラスコード「unlnewi」。
Google Classroom's class code: unlnewi

授業の内容・進度予定；次の内容を学習することを予定しています。
第１回　イントロダクション：産業組織論で学ぶこと
第２回　消費者と生産者
第３回　完全競争と独占
第４回　寡占
第５回　参入とコンテスタブル市場
第６回　価格戦略の多様性
第７回　製品差別化と参入の戦略
第８回　品質と価格戦略・広告戦略
第９回　競争優位の戦略
第10回　技術戦略
第11回　市場画定と市場構造
第12回　カルテル
第13回　垂直的取引制限
第14回　マルチサイド市場とプラットフォーム
第15回　まとめ
参加者の知識・学力によって予定より早く進むこともありえますし、遅く進むこともありえます。参加者の関心によってはまったく異なる内容となることもありえます。
授業の方法；参加者の発表による。

The contents and schedule are as shown below:
#1 Introduction: What is Industrial Organization?
#2 Consumers behavior and Producers behavior
#3 Perfect Competition and Monopoly
#4 Oligopoly
#5 Entry and Contestable Market
#6 Variety of Price Strategy
#7 Strategy for Product Differentiation and Entry
#8 Quality, Price and Advertising
#9 Strategy for Competitive advantage
#10 Strategy of Technology
#11 Market Definition and Market Structure
#12 Cartel
#13 M&A (Mergers and Acquisitions)
#14 Vertical Restrictions of Trade

#15 Multi-Side Market and Platform

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
出席と発表内容による。
発表者が欠席した場合、不合格とする。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

産業組織論：理論・戦略・政策を学ぶ	小田切宏之	有斐閣	2019年	978-4-641-16553-3	教科書
プラクティカル産業組織論	泉田成美・柳川隆	有斐閣	2008年	978-4-641-12372-4	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
十分な予習と復習が必要です。

Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：
参加希望者は第１回目の授業までに担当教員にＥメールで連絡すること。
２回目以降からの参加は認めない。
産業組織論演習Ｉａ、Ｉｂはそれぞれ独立に受講可能である。
授業中の私語は厳禁とする。
学部の「ミクロ経済分析」程度の経済学の知識を持っていることを前提とする。
E-mail address:；shigemi.izumida.d1@tohoku.ac.jp
オフィス・アワー；金曜日 12:15～13:00

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：泉田　成美/SHIGEMI IZUMIDA
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
修士論文作成のための研究指導を行います。

I will provide research guidance to students in order to write the paper for Master thesis in Industrial Organization.

２．学修の到達目標/Goal of study：
修士論文作成のための研究計画を作成する。
研究テーマに関する先行研究と研究方法を整理する。

Students will make his/her research plan for Master thesis.
Students will study the research method and previous research which is related to his/her research plan.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業開講形態：
BCP レベルが１または２の場合には対面授業を行います。
BCP レベルが３以上になった場合には Google Meet または Zoom によるオンライン授業を行います。
Style of this Class: Online class using Google Meet and/or normal meeting face-to-face class

Google Classroom のクラスコード「wgbltjp」。
Google Classroom's class code: wgbltjp

授業の内容：
産業組織論で修士論文を提出する予定の学生を対象に、以下の指導を行います。
（１）　研究テーマを絞り込み、研究目的、すなわち、研究を通じて何を明らかにしたいのかを明確にする。
（２）　研究目的を実現するためにどのような研究方法を用いるのかを明らかにする。
（３）　研究テーマに関する先行研究を整理する。
（４）　研究方法に関する必要文献を学習する。

進度は学生の研究進捗状況によって変化します。

I will provide research guidance to students in order to write the paper for Master thesis in Industrial Organization.
(1) Students will make his/her research plan and make clear what needs to be done.
(2) Students will decide which research method is used.
(3) Students will organize the previous research which is related to his/her research plan.
(4) Students will study books and papers which is related to his/her research plan.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
出席と報告内容によって評価します。

７．教科書および参考書/Textbook and references：
参加する学生の研究テーマに応
じて、話し合って決めます。

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
十分な予習と復習が必要です。
Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：
産業組織論で修士論文を提出予定の学生は、前もって連絡すること。
オフィス・アワー；金曜日 12:15～13:00
E-mail address: shigemi.izumida.d1@tohoku.ac.jp

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：泉田　成美/SHIGEMI IZUMIDA
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
修士論文作成のための研究指導を行います。

I will provide research guidance to students in order to write the paper for Master thesis in Industrial Organization.

２．学修の到達目標/Goal of study：
修士論文作成のための研究計画を作成する。
研究テーマに関する先行研究と研究方法を整理する。

Students will make his/her research plan for Master thesis.
Students will study the research method and previous research which is related to his/her research plan.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業開講形態：
BCP レベルが１または２の場合には対面授業を行います。
BCP レベルが３以上になった場合には Google Meet または Zoom によるオンライン授業を行います。
Style of this Class: Online class using Google Meet and/or normal meeting face-to-face class

Google Classroom のクラスコード「j7z74ht」。
Google Classroom's class code: j7z74ht

授業の内容：
産業組織論で修士論文を提出する予定の学生を対象に、以下の指導を行います。
（１）　研究テーマを絞り込み、研究目的、すなわち、研究を通じて何を明らかにしたいのかを明確にする。
（２）　研究目的を実現するためにどのような研究方法を用いるのかを明らかにする。
（３）　研究テーマに関する先行研究を整理する。
（４）　研究方法に関する必要文献を学習する。

進度は学生の研究進捗状況によって変化します。

I will provide research guidance to students in order to write the paper for Master thesis in Industrial Organization.
(1) Students will make his/her research plan and make clear what needs to be done.
(2) Students will decide which research method is used.
(3) Students will organize the previous research which is related to his/her research plan.
(4) Students will study books and papers which is related to his/her research plan.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
出席と報告内容によって評価します。

７．教科書および参考書/Textbook and references：
参加する学生の研究テーマに応
じて、話し合って決めます。

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
十分な予習と復習が必要です。
Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：
産業組織論で修士論文を提出予定の学生は、前もって連絡すること。
オフィス・アワー；金曜日 12:15～13:00
E-mail address: shigemi.izumida.d1@tohoku.ac.jp

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：泉田　成美/SHIGEMI IZUMIDA
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
修士論文作成のための研究指導を行います。

I will provide research guidance to students in order to write the paper for Master thesis in Industrial Organization.

２．学修の到達目標/Goal of study：
一定の学問上の貢献の存在する修士論文を作成する。

Students will write the paper for Master thesis which has some academic contribution.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業開講形態：
BCP レベルが１または２の場合には対面授業を行います。
BCP レベルが３以上になった場合には Google Meet または Zoom によるオンライン授業を行います。
Style of this Class: Online class using Google Meet and/or normal meeting face-to-face class

Google Classroom のクラスコード「jmepl7m」。
Google Classroom's class code: jmepl7m

授業の内容：
修士論文作成のための個別指導を行います。

指導内容および進度は学生の論文テーマ・研究進捗状況によって変化します。

I will provide individual research guidance to students in order to write the paper for Master thesis in Industrial Organization.

The content will be different depending on the student.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
提出された修士論文の内容によって評価します。

７．教科書および参考書/Textbook and references：
参加する学生の研究テーマに応
じて、話し合って決めます。

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
十分な予習と復習が必要です。
Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：
産業組織論で修士論文を提出予定の学生は、前もって連絡すること。

オフィス・アワー；金曜日 12:15～13:00
E-mail address: shigemi.izumida.d1@tohoku.ac.jp

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：泉田　成美/SHIGEMI IZUMIDA
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
修士論文作成のための研究指導を行います。

I will provide research guidance to students in order to write the paper for Master thesis in Industrial Organization.

２．学修の到達目標/Goal of study：
一定の学問上の貢献の存在する修士論文を作成する。

Students will write the paper for Master thesis which has some academic contribution.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業開講形態：
BCP レベルが１または２の場合には対面授業を行います。
BCP レベルが３以上になった場合には Google Meet または Zoom によるオンライン授業を行います。
Style of this Class: Online class using Google Meet and/or normal meeting face-to-face class

Google Classroom のクラスコード「aojas4z」。
Google Classroom's class code: aojas4z

授業の内容：
修士論文作成のための個別指導を行います。

指導内容および進度は学生の論文テーマ・研究進捗状況によって変化します。

I will provide individual research guidance to students in order to write the paper for Master thesis in Industrial Organization.

The content will be different depending on the student.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
提出された修士論文の内容によって評価します。

７．教科書および参考書/Textbook and references：
参加する学生の研究テーマに応
じて、話し合って決めます。

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
十分な予習と復習が必要です。
Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：
産業組織論で修士論文を提出予定の学生は、前もって連絡すること。

オフィス・アワー；金曜日 12:15～13:00
E-mail address: shigemi.izumida.d1@tohoku.ac.jp

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：黒瀬　一弘/KAZUHIRO KUROSE
曜日・講時/Day/Period：Spring Tue. 3
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
受講生が専門領域を決定する際に参考となる文献を輪読し，適切な研究テーマの選択を可能にする。

To read the literature which helps students choose their own field.

２．学修の到達目標/Goal of study：
各分野において何が未解決の問題として残されているかを理解する。理論モデルの文献の輪読を通じて，理論モデルの基本構造を把握できるようになる。

Students are expected to understand what is open question in the field. Also, students understand the basic structure of economic mathematical models.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
輪読する文献は受講生の問題関心にしたがって決定する。受講生にはその文献の報告を義務付ける。履修を希望する者は必ず事前にメールで連絡すること。

対面開講を予定しているが，Covid-19の感染状況によってはオンライン開講になる可能性がある。

The literature mentioned in this course will be determined, depending on the interest that students have. Students are required to present the designated papers.

This course is planned to be held in-person, but it may be offered online, depending on the infection status of Covid-19 and the number of registered students.

Please make sure to contact me via email in advance if you wish to take this course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
出席（30%）＋クラスパフォーマンス（70%）

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
参加者全員に輪読する文献を事前に精読することが求められる。

１０．その他/In addition：
- 使用言語は日本語とする。
- 学部生レベルの標準的なミクロ・マクロ経済学の知識が履修の必須条件である。
- 履修する者は事前にメールで担当者に必ず連絡すること。アドレスは学生便覧に記入済み。
- Office hours は授業中に指示する。

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：黒瀬　一弘/KAZUHIRO KUROSE
曜日・講時/Day/Period：Fall Tue. 3
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
受講生が専門領域を決定する際に参考となる文献を輪読し，適切な研究テーマの選択を可能にする。

Students read the literature which helps them choose their own field.

２．学修の到達目標/Goal of study：
各分野において何が未解決の問題として残されているかを理解する。理論モデルの文献の輪読を通じて，理論モデルの基本構造を把握できるようになる。

Students are expected to understand what is open question in the field. Also, they are required to understand the basic structure of economic mathematical models.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
輪読する文献は受講生の問題関心にしたがって決定する。受講生にはその文献の報告を義務付ける。履修を希望する者は，必ず事前に連絡すること。対面開講を予定しているが，Covid-19 の感染状況および履修生の人数によってはオンライン開講になる可能性がある。

The literature mentioned in this course will be determined, depending on the interest that students have. Students are required to present the designated papers.

This course is planned to be held in-person, but it may be offered online, depending on the infection status of Covid-19 and the number of registered students.

Please make sure to contact me via email in advance if you wish to take this course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
出席（30%）＋クラスパフォーマンス（70%）

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
参加者全員に輪読する文献を事前に精読することが求められる。

１０．その他/In addition：
- 使用言語は日本語とする。
- 学部生レベルの標準的なミクロ・マクロ経済学の知識が履修の必須条件である。
- 履修する者は事前にメールで担当者に必ず連絡すること。アドレスは学生便覧に記入済み。
- Office hours は授業中に指示する。

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：黒瀬　一弘/KAZUHIRO KUROSE
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The purpose of this class is to brush up their own project proposals and prepare for project reports.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The goal is to improve the quality of the project report.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The participants are required to survey the existing studies (papers published in the top journal of each field) and to present them in every class.

This course is planned to be held in-person, but it may be offered online, depending on the infection status of Covid-19 and the number of registered students.

Please make sure to contact me via email in advance if you wish to take this course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Class performance (30%) and quality of presentation (70%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The participants are required to prepare for presentation.

１０．その他/In addition：
Office hours: by appointment

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：黒瀬　一弘/KAZUHIRO KUROSE
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
受講生が専門領域を決定する際に参考となる文献を輪読し，適切な研究テーマの選択を可能にする。

To read the literature which helps students choose their own field.

２．学修の到達目標/Goal of study：
各分野において何が未解決の問題として残されているかを理解する。理論モデルの文献の輪読を通じて，理論モデルの基本構造を把握できるようになる。

Students are expected to understand what is an open question in the field. Also, students understand the basic structure of economic mathematical models.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
輪読する文献は受講生の問題関心にしたがって決定する。受講生にはその文献の報告を義務付ける。履修を希望する者は必ず事前に連絡すること。対面開講を予定しているが，Covid-19 の感染状況および履修生の人数によってはオンライン開講になる可能性がある。

The literature reading in this course will be determined, depending on the interest that students have. Students are required to present the designated papers.

Don't fail to contact me via email if students wish to take this course.

This course is planned to be held in-person, but it may be offered online, depending on the infection status of Covid-19 and the number of registered students.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
出席（30%）＋クラスパフォーマンス（70%）

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
参加者全員に輪読する文献を事前に精読することが求められる。

１０．その他/In addition：
- 使用言語は日本語とする。
- 学部生レベルの標準的なミクロ・マクロ経済学の知識が履修の必須条件である。
- 履修する者は事前にメールで担当者に必ず連絡すること。アドレスは学生便覧に記入済み。
- Office hours は授業中に指示する。

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：黒瀬　一弘/KAZUHIRO KUROSE
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The purpose of this class is to brush up their own project proposals and prepare for project reports.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The goal is to improve the quality of the project report.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The participants are required to survey the existing studies (papers published in the top journal of each field) and to present them in every class.

This course is planned to be held in-person, but it may be offered online, depending on the infection status of Covid-19 and the number of registered students.

Please make sure to contact me via email in advance if you wish to take this course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Class performance (30%) and quality of presentation (70%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The participants are required to prepare for presentation.

１０．その他/In addition：
Office hours: by appointment

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：黒瀬　一弘/KAZUHIRO KUROSE
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The purpose of this class is to brush up their own project proposals and prepare for project reports.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The goal is to improve the quality of the project report.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The participants are required to survey the existing studies (papers published in the top journal of each field) and to present them in every class.

This course is planned to be held in-person, but it may be offered online, depending on the infection status of Covid-19 and the number of registered students.

Please make sure to contact me via email in advance if you wish to take this course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Class performance (30%) and quality of presentation (70%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The participants are required to prepare for presentation.

１０．その他/In addition：
Office hours: by appointment

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：Spring Thu. ２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Google classroom code: 42mg6na

This is the subject spcially designed for students who aim to work on data science in economics. This course instructs computational techniques by python and fundamental theories of probability and mathematical statistics which establish minimum requirements to work on data science.

２．学修の到達目標/Goal of study：

Participants are expected to acquire knowledge on standard probability theory and mathematical statistics in addition to python programming.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

The contents are as shown below.

1. Basic Probability Theory
2. Random Variables
3. Parametric Distributions
4. Multivariate Distributions
5. Normal and Related Distributions
6. Sampling
7. Law of Large Numbers
8. Central Limit Theory
9. Advanced Asymptotic Theory

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：

Grades will be based on the attendance, assignments, and examination.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Introduction to Econometrics	Bruce Hansen	on-line text	2020	on-line text

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

The text is downloadable at:
https://www.ssc.wisc.edu/~bhansen/probability/

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

Every participant is required to conduct homework that requires close review after the class.

１０．その他/In addition：

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：Fall Fri. ４
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This is the subject spcially designed for students who aim to work on data science in economics. This course instructs computational techniques by python and fundamental theories of probability and mathematical statistics which establish minimum requirements to work on data science.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Participants are expected to acquire knowledge on standard probability theory and mathematical statistics in addition to python programming.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The contents are as shown below. Analitical and computational exercises by python will be assigned every week.

1. Maximum likelihood esimation
1a) Normal distributions
1b) Linear regression models
1c) Poisson regression models
2. Bayesian Analysis
2a) Bayes formula
2b) MCMC methods

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Grades will be based on the attendance, assignments, and examination.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Introduction to Econometrics	Bruce Hansen	on-line text	2020	on-line text

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
The text is downloadable at:
https://www.ssc.wisc.edu/~bhansen/probability/

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Every participant is required to conduct homework that requires close review after the class.

１０．その他/In addition：

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Classroom code is 5iegy7m

This is the subject spcially designed for students who aim to complete master thesis on data science in economics.
For interested students, contact me by email:
yasumasa.matsuda.a4@tohoku.ac.jp

２．学修の到達目標/Goal of study：
Completing master thesis in data scinece in Economics

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Basically, students presents to report progress.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Grades will be based on the attendance, assignments, and examination.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
E

１０．その他/In addition：

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
classroom code is flcxsfq

This is the subject spcially designed for students who aim to complete master thesis on data science in economics.
For interested students, contact me by email:
yasumasa.matsuda.a4@tohoku.ac.jp

２．学修の到達目標/Goal of study：
Completing master thesis in data scinece in Economics

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Basically, students presents to report progress.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Grades will be based on the attendance, assignments, and examination.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This is the subject spcially designed for students who aim to complete master thesis on data science in economics.
For interested students, contact me by email:
yasumasa.matsuda.a4@tohoku.ac.jp

２．学修の到達目標/Goal of study：
Completing master thesis in data scinece in Economics

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Basically, students presents to report progress.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Grades will be based on the attendance, assignments, and examination.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This is the subject spcially designed for students who aim to complete master thesis on data science in economics.
For interested students, contact me by email:
yasumasa.matsuda.a4@tohoku.ac.jp

２．学修の到達目標/Goal of study：
Completing master thesis in data scinece in Economics

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Basically, students presents to report progress.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Grades will be based on the attendance, assignments, and examination.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：千木良　弘朗/HIROAKI CHIGIRA
曜日・講時/Day/Period：Spring Fri. ３
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
教科書の輪読を行い、計量経済学の理論を身につける。主な目的は理論の理解だが、実証研究についても教科書に載っている例を中心に扱う。

In this course, students will understand ideas of econometrics and learn about methodologies of econometrics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
計量経済学の目的には経済理論の検証や経済変数の予測など様々なものがある。この演習の目標は、計量経済学の理論や手法をただ覚えるのではなく、それらがどのように上記の目的にアプローチするのかを理解することである。また、実際に計量手法を使うときに、手法の選択や結果の解釈を実証分析のテーマや経済データの特性に応じて自ら適切に行える力を身につけることも目標となる。

Students will develop ideas and methodologies of econometrics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
東北大学の BCP レベルが 3 以下なら対面で行い、4 以上ならオンライン（リアルタイム）で行う予定である。

下記の教科書を輪読し、標準的な計量経済学の理論を学ぶ。担当者はあらかじめ教科書を読んでレジュメを作り、発表する。また、教科書には練習問題や簡単な実証分析の例とデータも載っているので、適宜それらを行ってもらう。発表の担当者以外の参加者も教科書を予習し、解らなかった箇所を発表者に質問するなどして議論に参加してもらいたい。扱うトピックは、教科書の 1 章～12 章に当たる基礎的なもの（古典的線形回帰モデル、最小 2 乗推定、操作変数推定、推定量の小標本特性と大標本特性、パラメーターの構造変化の検定、予測、非線形回帰モデル、誤差項の不均一分散と系列相関）及び 13 章以降のいくつかの発展的なものを予定している。

This is a seminar style course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の内容、議論への参加の度合いに基づいて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Econometric Analysis, 5th ed.	Greene, W.H.	Prentice-Hall	2002	9780131108493	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
復習を行うこと。また、発表者以外の参加者も議論に参加するためにできるだけ予習をすること。

１０．その他/In addition：
原則として、経済学部の計量分析か大学院（経済経営学専攻）の中級計量経済学特論Ⅰ・II の単位を修得済みでない者には、履修は認めない。これらの単位を修得していない者は、この演習を履修する時に同時に計量分析か中級計量経済学特論Ⅰ・II を履修し単位を修得しなければならない。また、この演習で使う教科書では行列演算が多用されるので線形代数学の知識は必須である。上級計量経済学特論Ⅰ・II の単位を修得済みであることや、計量分析のソフトに慣れていることが望ましい。履修希望者には事前に面接を行うので、メール（ｈｉｒｏａｋｉ．

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：千木良　弘朗/HIROAKI CHIGIRA
曜日・講時/Day/Period：Fall Fri. ３
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
教科書の輪読を行い、計量経済学の理論を身につける。主な目的は理論の理解だが、実証研究についても教科書に載っている例を中心に扱う。

In this course, students will understand ideas of econometrics and learn about methodologies of econometrics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
計量経済学の目的には経済理論の検証や経済変数の予測など様々なものがある。この演習の目標は、計量経済学の理論や手法をただ覚えるのではなく、それらがどのように上記の目的にアプローチするのかを理解することである。また、実際に計量手法を使うときに、手法の選択や結果の解釈を実証分析のテーマや経済データの特性に応じて自ら適切に行える力を身につけることも目標となる。

Students will develop ideas and methodologies of econometrics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
東北大学の BCP レベルが 3 以下なら対面で行い、4 以上ならオンライン（リアルタイム）で行う予定である。

下記の教科書を輪読し、標準的な計量経済学の理論を学ぶ。担当者はあらかじめ教科書を読んでレジュメを作り、発表する。また、教科書には練習問題や簡単な実証分析の例とデータも載っているので、適宜それらを行ってもらう。発表の担当者以外の参加者も教科書を予習し、解らなかった箇所を発表者に質問するなどして議論に参加してもらいたい。扱うトピックは、教科書の 1 章～12 章に当たる基礎的なもの（古典的線形回帰モデル、最小 2 乗推定、操作変数推定、推定量の小標本特性と大標本特性、パラメーターの構造変化の検定、予測、非線形回帰モデル、誤差項の不均一分散と系列相関）及び 13 章以降のいくつかの発展的なものを予定している。

This is a seminar style course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の内容、議論への参加の度合いに基づいて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Econometric Analysis, 5th ed.	Greene, W.H.	Prentice-Hall	2002	9780131108493	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
復習を行うこと。また、発表者以外の参加者も議論に参加するためにできるだけ予習をすること。

１０．その他/In addition：
原則として、経済学部の計量分析か大学院（経済経営学専攻）の中級計量経済学特論Ⅰ・II の単位を修得済みでない者には、履修は認めない。これらの単位を修得していない者は、この演習を履修する時に同時に計量分析か中級計量経済学特論Ⅰ・II を履修し単位を修得しなければならない。また、この演習で使う教科書では行列演算が多用されるので線形代数学の知識は必須である。上級計量経済学特論Ⅰ・II の単位を修得済みであることや、計量分析のソフトに慣れていることが望ましい。履修希望者には事前に面接を行うので、メール（ｈｉｒｏａｋｉ．

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：千木良　弘朗/HIROAKI CHIGIRA
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
計量経済学の方法論や、計量手法を使った実証分析に興味があり、基礎的な知識を十分持っている学生を対象にして、各自の興味のあるトピックについてより深く学ぶ。

In this course, students will understand ideas of econometrics and learn about avdanced methodologies of econometrics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・より進んだ計量手法の考え方を理解し、実際に使えるようになる。
・修士論文の完成。

Students complete a master's thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
東北大学のBCPレベルが3以下なら対面で行い、4以上ならオンライン（リアルタイム）で行う予定である。

・受講者が関心のあるトピックについての文献を要約し発表する。
・それらの文献に基づき、修士論文のテーマを決めて各自で研究を行う。

This is a seminar style course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の内容に基づいて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Econometric Analysis, 5th ed.	Greene, W.H.	Prentice-Hall	2002	9780131108493	参考書
Time Series Analysis	Hamilton, J.	Princeton University Press	1994	9780691042893	参考書
Bayesian Econometrics	Koop, G.	Wiley	2003	9780470845677	参考書
Econometric Analysis of Cross Section and Panel Data	Wooldridge, J.	MIT Press	2001	9780262232197	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表の担当者以外の受講者もできるだけ文献をあらかじめ読んでもらいたい。

１０．その他/In addition：
大学院（経済経営学専攻）の中級計量経済学特論Ⅰ・IIと上級計量経済学特論Ⅰ・IIの単位を修得済みでない者には、この演習の履修は認めない。また、より進んだ計量分析では行列演算を多用するため、行列代数の知識は必須である。計量分析のソフトに十分慣れており、興味のあるトピックをある程度まで絞れていることが望ましい。計量経済学の方法論ではなく実証分析で修士論文を書く予定の者は、どのようなデータを使うのかある程度の目途を立てておく必要がある。履修希望者には事前に面接を行うので、メール（ｈｉｒｏａｋｉ．ｃｈｉｇｉｒａ．

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：千木良　弘朗/HIROAKI CHIGIRA
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
計量経済学の方法論や、計量手法を使った実証分析に興味があり、基礎的な知識を十分持っている学生を対象にして、各自の興味のあるトピックについてより深く学ぶ。

In this course, students will understand ideas of econometrics and learn about avdanced methodologies of econometrics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・より進んだ計量手法の考え方を理解し、実際に使えるようになる。
・修士論文の完成。

Students complete a master's thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
東北大学のBCPレベルが3以下なら対面で行い、4以上ならオンライン（リアルタイム）で行う予定である。

・受講者が関心のあるトピックについての文献を要約し発表する。
・それらの文献に基づき、修士論文のテーマを決めて各自で研究を行う。

This is a seminar style course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の内容に基づいて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Econometric Analysis, 5th ed.	Greene, W.H.	Prentice-Hall	2002	9780131108493	参考書
Time Series Analysis	Hamilton, J.	Princeton University Press	1994	9780691042893	参考書
Bayesian Econometrics	Koop, G.	Wiley	2003	9780470845677	参考書
Econometric Analysis of Cross Section and Panel Data	Wooldridge, J.	MIT Press	2001	9780262232197	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表の担当者以外の受講者もできるだけ文献をあらかじめ読んでもらいたい。

１０．その他/In addition：
大学院（経済経営学専攻）の中級計量経済学特論Ⅰ・IIと上級計量経済学特論Ⅰ・IIの単位を修得済みでない者には、この演習の履修は認めない。また、より進んだ計量分析では行列演算を多用するため、行列代数の知識は必須である。計量分析のソフトに十分慣れており、興味のあるトピックをある程度まで絞れていることが望ましい。計量経済学の方法論ではなく実証分析で修士論文を書く予定の者は、どのようなデータを使うのかある程度の目途を立てておく必要がある。履修希望者には事前に面接を行うので、メール（ｈｉｒｏａｋｉ．ｃｈｉｇｉｒａ．

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：千木良　弘朗/HIROAKI CHIGIRA
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
計量経済学の方法論や、計量手法を使った実証分析に興味があり、基礎的な知識を十分持っている学生を対象にして、各自の興味のあるトピックについてより深く学ぶ。

In this course, students will understand ideas of econometrics and learn about avdanced methodologies of econometrics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・より進んだ計量手法の考え方を理解し、実際に使えるようになる。
・修士論文の完成。

Students complete a master's thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
東北大学のBCPレベルが3以下なら対面で行い、4以上ならオンライン（リアルタイム）で行う予定である。

・受講者が関心のあるトピックについての文献を要約し発表する。
・それらの文献に基づき、修士論文のテーマを決めて各自で研究を行う。

This is a seminar style course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の内容に基づいて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Econometric Analysis, 5th ed.	Greene, W.H.	Prentice-Hall	2002	9780131108493	参考書
Time Series Analysis	Hamilton, J.	Princeton University Press	1994	9780691042893	参考書
Bayesian Econometrics	Koop, G.	Wiley	2003	9780470845677	参考書
Econometric Analysis of Cross Section and Panel Data	Wooldridge, J.	MIT Press	2001	9780262232197	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表の担当者以外の受講者もできるだけ文献をあらかじめ読んでもらいたい。

１０．その他/In addition：
大学院（経済経営学専攻）の中級計量経済学特論Ⅰ・IIと上級計量経済学特論Ⅰ・IIの単位を修得済みでない者には、この演習の履修は認めない。また、より進んだ計量分析では行列演算を多用するため、行列代数の知識は必須である。計量分析のソフトに十分慣れており、興味のあるトピックをある程度まで絞れていることが望ましい。計量経済学の方法論ではなく実証分析で修士論文を書く予定の者は、どのようなデータを使うのかある程度の目途を立てておく必要がある。履修希望者には事前に面接を行うので、メール（ｈｉｒｏａｋｉ．ｃｈｉｇｉｒａ．

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：千木良　弘朗/HIROAKI CHIGIRA
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
計量経済学の方法論や、計量手法を使った実証分析に興味があり、基礎的な知識を十分持っている学生を対象にして、各自の興味のあるトピックについてより深く学ぶ。

In this course, students will understand ideas of econometrics and learn about avdanced methodologies of econometrics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・より進んだ計量手法の考え方を理解し、実際に使えるようになる。
・修士論文の完成。

Students complete a master's thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
東北大学のBCPレベルが3以下なら対面で行い、4以上ならオンライン（リアルタイム）で行う予定である。

・受講者が関心のあるトピックについての文献を要約し発表する。
・それらの文献に基づき、修士論文のテーマを決めて各自で研究を行う。

This is a seminar style course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の内容に基づいて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Econometric Analysis, 5th ed.	Greene, W.H.	Prentice-Hall	2002	9780131108493	参考書
Time Series Analysis	Hamilton, J.	Princeton University Press	1994	9780691042893	参考書
Bayesian Econometrics	Koop, G.	Wiley	2003	9780470845677	参考書
Econometric Analysis of Cross Section and Panel Data	Wooldridge, J.	MIT Press	2001	9780262232197	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表の担当者以外の受講者もできるだけ文献をあらかじめ読んでもらいたい。

１０．その他/In addition：
大学院（経済経営学専攻）の中級計量経済学特論Ⅰ・IIと上級計量経済学特論Ⅰ・IIの単位を修得済みでない者には、この演習の履修は認めない。また、より進んだ計量分析では行列演算を多用するため、行列代数の知識は必須である。計量分析のソフトに十分慣れており、興味のあるトピックをある程度まで絞れていることが望ましい。計量経済学の方法論ではなく実証分析で修士論文を書く予定の者は、どのようなデータを使うのかある程度の目途を立てておく必要がある。履修希望者には事前に面接を行うので、メール（ｈｉｒｏａｋｉ．ｃｈｉｇｉｒａ．

Seminar in Management a/Seminar in Management a

担当教員/Instructor：石垣　司/TSUKASA ISHIGAKI
曜日・講時/Day/Period：Spring Tue. 3
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The seminar aims at acquiring skills and knowledge with respect to business data analysis using statistical modeling, machine learning and/or data mining methods.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students acquire following abilities and skills; 1. reading of academic paper, 2. understanding of perspective of advanced statistical science including statistical modeling, machine learning and/or data mining techniques, 3. To demonstrate various data analysis techniques by themselves.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Google Classroom Code
「iur4opt」

1-15 Presentations by students with respect to their researches. Reading of textbooks or academic papers related to student's research.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
Attendance and quality of presentation

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students who will talk somethings about their research proposals or reading of textbooks have to prepare their presentations.

１０．その他/In addition：
Requirements: Basic Statistics, mathematics and programming skill for R or python.
Office hour: Any time. Students need to make an appointment in advance to see the instructor by e-mail.
e-mail: ｉｓｇｋ＠ｔｏｈｏｋｕ．ａｃ．ｊｐ

Seminar in Management b/Seminar in Management b

担当教員/Instructor：石垣　司/TSUKASA ISHIGAKI
曜日・講時/Day/Period：Fall Tue. ３
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The seminar aims at acquiring skills and knowledge with respect to business data analysis using statistical modeling, machine learning and/or data mining methods.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students acquire following abilities and skills; 1. reading of academic paper, 2. understanding of perspective of advanced statistical science including statistical modeling, machine learning and/or data mining techniques, 3. To demonstrate various data analysis techniques by themselves.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Google Classroom Code
「iur4opt」

1-15 Presentations by students with respect to their researches. Reading of textbooks or academic papers related to student's research.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
Attendance and quality of presentation

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students who will talk somethings about their research proposals or reading of textbooks have to prepare their presentations.

１０．その他/In addition：
Requirements: Basic Statistics, mathematics and programming skill for R or python.
Office hour: Any time. Students need to make an appointment in advance to see the instructor by e-mail.
e-mail: ｉｓｇｋ＠ｔｏｈｏｋｕ．ａｃ．ｊｐ

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：石垣　司/TSUKASA ISHIGAKI
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The course aims at acquiring advanced skills and knowledge with respect to business data analysis using statistical modeling, machine learning and/or data mining methods. The goal of this course is to write out their theses or project reports.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students can write out their theses or project reports.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Google Classroom Code
「iur4opt」

1-15 Presentations by students with respect to their researches. Reading of textbooks or academic papers related to student's researches

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
Quality of thesis or project report

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students who will talk their researches have to prepare their presentations.

１０．その他/In addition：
Requirements: Students who have not obtained credits of the Seminar in Management a and b may not register for this seminar.
Office hour: Any time. Students need to make an appointment in advance to see the instructor by e-mail.
e-mail: ｉｓｇｋ＠ｔｏｈｏｋｕ．ａｃ．

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：石垣　司/TSUKASA ISHIGAKI
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The course aims at acquiring advanced skills and knowledge with respect to business data analysis using statistical modeling, machine learning and/or data mining methods. The goal of this course is to write out their theses or project reports.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students can write out their theses or project reports.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Google Classroom Code
「iur4opt」

1-15 Presentations by students with respect to their researches. Reading of textbooks or academic papers related to student's researches

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
Quality of thesis or project report

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students who will talk their researches have to prepare their presentations.

１０．その他/In addition：
Requirements: Students who have not obtained credits of the Seminar in Management a and b may not register for this seminar.
Office hour: Any time. Students need to make an appointment in advance to see the instructor by e-mail.
e-mail: ｉｓｇｋ＠ｔｏｈｏｋｕ．ａｃ．

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：石垣　司/TSUKASA ISHIGAKI
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The course aims at acquiring advanced skills and knowledge with respect to business data analysis using statistical modeling, machine learning and/or data mining methods. The goal of this course is to write out their theses or project reports.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students can write out their theses or project reports.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Google Classroom Code
「iur4opt」

1-15 Presentations by students with respect to their researches. Reading of textbooks or academic papers related to student's researches

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
Quality of thesis or project report

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students who will talk their researches have to prepare their presentations.

１０．その他/In addition：
Requirements: Students who have not obtained credits of the Seminar in Management a and b may not register for this seminar.
Office hour: Any time. Students need to make an appointment in advance to see the instructor by e-mail.
e-mail: ｉｓｇｋ＠ｔｏｈｏｋｕ．ａｃ．

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：石垣　司/TSUKASA ISHIGAKI
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The course aims at acquiring advanced skills and knowledge with respect to business data analysis using statistical modeling, machine learning and/or data mining methods. The goal of this course is to write out their theses or project reports.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students can write out their theses or project reports.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Google Classroom Code
「iur4opt」

1-15 Presentations by students with respect to their researches. Reading of textbooks or academic papers related to student's researches

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
Quality of thesis or project report

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students who will talk their researches have to prepare their presentations.

１０．その他/In addition：
Requirements: Students who have not obtained credits of the Seminar in Management a and b may not register for this seminar.
Office hour: Any time. Students need to make an appointment in advance to see the instructor by e-mail.
e-mail: ｉｓｇｋ＠ｔｏｈｏｋｕ．ａｃ．

Seminar in Management a/Seminar in Management a

担当教員/Instructor：鈴木　賢一/KENICHI SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：Spring Tue. 3
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

In the field of social science, interactions among peoples or objects in the given system are often analyzed. In such an analysis, the patterns of connectivity in the system has a significant meaning and one of the most effective way to describe
the connectivity is to use a network. Network is a collection of nodes and arcs. It is rather simple tool to depict the system, though the network theory enables us to recognize the essential feature of the system.
In this course, we will learn a major application of the network theory in different area, such as social networks, information networks and biological networks. Some of the mathematical and computational technique are also important topics.

2．学修の到達目標/Goal of study：

Students are expected to understand
the basic mathematical tool for networks,
the computational technique to calculate the metrics of networks,
Several application of networks theory

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

The class is delivered online as long as BCP level is greater than three. Otherwise, it is held face-to-face.
The detailed information of the course will be provided by Google classroom (code: ttjimka)

At each session, one or two students make a presentation about the given topics of the text. Presenters summarize the assigned part of the text and also answer
the problem listed at the end of the each chapter.

In the 1st semester, we will cover the part I and Part II of the text:

Part I: The empirical study of network
Chap 2 Technological networks
Chap 3 Social networks
Chap 4 Networks of information
Chap 5 Biological networks
Part II: Fundamental of network theory
Chap 6 Mathematics of network
Chap 7 Measure and metrics
Chap 8 The large-scale structure of networks

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

We will primarily use English unless participants are all Japanese.

6．成績評価方法/Evaluation method：

Attendance (10%),
Presentation (30%),
Assignments (60%)

7．教科書および参考書/Textbook and references：

Networks: An introduction	M. E. J. Newman	Oxford University Press	2010	978-0199206650	text

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Seminar in Management b/Seminar in Management b

担当教員/Instructor：鈴木　賢一/KENICHI SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：Fall Tue. 3
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

In the field of social science, interactions among peoples or objects in the given system are often analyzed. In such an analysis, the patterns of connectivity in the system has a significant meaning and one of the most effective way to describe
the connectivity is to use a network. Network is a collection of nodes and arcs. It is rather simple tool to depict the system, though the network theory enables us to recognize the essential feature of the system.
In this course, we will learn a major application of the network theory in different area, such as social networks, information networks and biological networks. Some of the mathematical and computational technique are also important topics.

2．学修の到達目標/Goal of study：

Students are expected to understand
the basic mathematical tool for networks,
the computational technique to calculate the metrics of networks,
Several application of networks theory

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

he course will be held face-to-face as long as Tohoku University's BCP level is at 1 and 2.
If the BCP level is greater than 2, the course will be switched to fully online classes. For the details of online classes, see the Google class room (code: xftee2v).

At each session, one or two students make a presentation about the given topics of the text. Presenters summarize the assigned part of the text and also answer
the problem listed at the end of the each chapter.

IIn the 2nd semester, we will cover the part III, part IV, and Part V of the text:

Part III: Computer algorithm
Chap 9 Basic Concepts of algorithms
Chap 10 Fundamental network algorithms
Chap 11 Matrix algorithms and graph partitioning

Part IV: Network Models
Chap 12 Random Graphs
Chap 13 Random Graphs with general degree distributions
Chap 14 Models of network formation
Chap 15 Other network models

Part V: Processes on networks
Chap 16 Percolation and network resilience
Chap 17 Epidemics on networks
Chap 18 Dynamics systems on networks
Chap 19 Network search

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

We will primarily use English unless participants are all Japanese.

6．成績評価方法/Evaluation method：

Attendance (10%),
Presentation (30%),
Assignments (60%)

7．教科書および参考書/Textbook and references：

Networks: An introduction	M. E. J. Newman	Oxford University Press	2010	978-0199206650	text

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：鈴木　賢一/KENICHI SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Student will plan and conduct his/her own project with methods of operations research. Conceptual or theoretical models are accepted although applications to the real world are strongly encouraged. Emphasis is on development of management skills of the research project from setting the theme to surveying texts, and to summarizing results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students are expected:
to develop management skills of the research project,
to learn advanced techniques and realistic applications of operations research

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The class is delivered online.
The detailed information of the course will be provided by Google classroom (code: xesrhfp)

At the beginning of the course, students will design the plan of the project along with the project's object. In each session the student give a presentation about his/her research activity and have a discussion with the supervisor to review the results and findings. At the end of the course, students organize the summary of the project.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation 60%, participation 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：鈴木　賢一/KENICHI SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Student will plan and conduct his/her own project with methods of operations research. Conceptual or theoretical models are accepted although applications to the real world are strongly encouraged. Emphasis is on development of management skills of the research project from setting the theme to surveying texts, and to summarizing results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students are expected:
to develop management skills of the research project,
to learn advanced techniques and realistic applications of operations research

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The class is delivered online.
The detailed information of the course will be provided by Google classroom (code: xesrhfp)

At the beginning of the course, students will design the plan of the project along with the project's object. In each session the student give a presentation about his/her research activity and have a discussion with the supervisor to review the results and findings. At the end of the course, students organize the summary of the project.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation 60%, participation 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：鈴木　賢一/KENICHI SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The course of this seminar is designed for students who will submit the master thesis to learn the methodologies of operations research for decision making.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To acquire the ability to accomplish a high level research project

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Under the guidance of the supervisor, the students pursue their own research interest to develop their master theses.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：鈴木　賢一/KENICHI SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The course of this seminar is designed for students who will submit the master thesis to learn the methodologies of operations research for decision making.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To acquire the ability to accomplish a high level research project

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Under the guidance of the supervisor, the students pursue their own research interest to develop their master theses.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：石原　卓弥/TAKUYA ISHIHARA
曜日・講時/Day/Period：Spring Tue. 3
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This course provides students with fundamental theory of econometrics and mathematical statistics. Each of their research projects are individually supervised on a separate occasion.

Class code: zqqlpcg

2．学修の到達目標/Goal of study：
Students are expected to acquire knowledge on standard econometrics and mathematical statistics and to build a foundation for writing a master thesis.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The contents are as shown below.

1. Finite-Sample Properties of OLS
2. Large-Sample Theory
3. Single-Equation GMM
4. Multiple-Equation GMM
5. Panel Data
6. Serial Correlation
7. Extremum Estimators
8. Examples of Maximum Likelihood
9. Unit-Root Econometrics
10. Cointegration

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
English and Japanese

6．成績評価方法/Evaluation method：
Grades will be based on the attendance and assignments.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

Econometrics	Fumio Hayashi	Princeton University Press	2000	0691010188	Textbook

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
Basic knowledge on mathematical calculus and linear algebra is required to follow the class.

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：石原　卓弥/TAKUYA ISHIHARA
曜日・講時/Day/Period：Fall Tue. ３
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This course provides students with fundamental theory of econometrics and mathematical statistics. Each of their research projects are individually supervised on a separate occasion.

Class code: m3p2khr

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students are expected to acquire knowledge on standard econometrics and mathematical statistics and to build a foundation for writing a master thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The contents are as shown below.

1. Finite-Sample Properties of OLS
2. Large-Sample Theory
3. Single-Equation GMM
4. Multiple-Equation GMM
5. Panel Data
6. Serial Correlation
7. Extremum Estimators
8. Examples of Maximum Likelihood
9. Unit-Root Econometrics
10. Cointegration

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Grades will be based on the attendance and assignments.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Econometrics	Fumio Hayashi	Princeton University Press	2000	0691010188	Textbook

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
Basic knowledge on mathematical calculus and linear algebra is required to follow the class.

Seminar in Management a/Seminar in Management a

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：Spring Mon. ２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

日本企業の様々な事例研究を通して、経営戦略や経営組織の論理に基づく実際の企業行動を考察する。抽象的な理論や概念だけで理解するだけでなく、授業のケースで取り上げる事例企業の経営行動のメカニズムや因果関係を考察することによって、現実の企業行動の実際を深く理解し、経営者の意思決定の視点から合理的な考察力を鍛える。

This course offers students an opportunity to experience business case method and to think about the essence of business management.

２．学修の到達目標/Goal of study：

実際の企業経営者の目線で、現実的な経営組織のマネジメントを深く考察ができるようになること。

The purpose of this course is to consider the real management of organizations from the view point of top managements.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

授業の形態は、経済学研究科の演習室にて対面でのディスカッションである。
毎回の授業で配付するドキュメントは、全てGoogle Classroomを利用するので、授業で使用するケースやレジュメを事前にダウンロードして準備しておくこと。
Google ClassroomのコードとURLは下記の通りである。

「経営組織論演習（Ｉ） a/b　共通（通年)」クラスコード：jke4iiw
https://classroom.google.com/c/NDcwODcxNjgOMTc3?cjc=jke4iiw

１回の授業につき１つのケースを考察するが、ケース担当者がレジュメ（パワーポイントのスライド）を作成して発表し、提示されたクエスチョン・テーマに沿って参加者全員で討議するケースメソッド方式の演習となる。

第１回 オリエンテーション（各回の発表担当者を決めます）
第２回 アトラエ　ホラクシー経営におけるインターナルブランディングの役割
第３回 KDDI　au design projectがめざしたデザインケータイによるブランド刷新
第４回 クラレ　日本発のエンプラ「ジェネスタ」とそのイノベーションのプロセス
第５回 メガネスーパー　V字回復を成し遂げた組織変革
第６回 Spiber　構造たんぱく質素材で世界を変える
第７回 アクセルスペース　衛星データプラットフォーム事業への挑戦
第８回 大丸松坂屋百貨店　経営統合における人事制度改革と人事部の役割
第９回 キリンビール　クラフトビールのプラットフォーム「タップ・マルシェ」
第10回 JCOM　ミドル・アップ・ダウンによるRPAの導入プロセス
第11回 スーパーホテル　持たざる経営を支える「自律型感動人間」
第12回 NEC　新事業開発を起点とした企業変革へのチャレンジ
第13回 アイリスオーヤマ　「ユーザーイン」による需要創造の経営
第14回 カイハラ　Ｍａｋｕａｋｅプロジェクトを通じたＢ２Ｃへの挑戦
第15回スークカンパニー　百貨店のなかに市場を創り劇場化する

In this course, I take business case method with active discussion.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

日本語(Japanese)

６．成績評価方法/Evaluation method：

授業への出席とコミットメント（70%）およびレジュメの発表内容（30%)。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NDcwODcxNjgOMTc3?cjc=jke4iiw

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
事前にケースを精読して質問やコメントを準備した上で、自分なりの意見を整理して授業に参加すること。

１０．その他/In addition：
初回授業（4 月 11 日（月）10:30～12:00）のオリエンテーションにて 2 回目以降の実際の授業で各ケースの発表者を決定するので、初回授業に出席できない場合は、事前に担当教員（藤本：masahiko.fujimoto.c7@tohoku.ac.jp）に必ず連絡すること。

Seminar in Management b/Seminar in Management b

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：Fall Mon. ２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
授業形態は、経済学研究棟の演習室での対面によるディスカッションであるが、BCP レベルが３の場合はオンラインとなる。

授業内容は、経営組織と人材のマネジメントに関する学術論文を取り上げるが、受講者の研究テーマに沿った先行研究をレビューする。具体的には学術雑誌などに掲載された研究者の研究業績を取り上げてレビューし、批判的な考察をを行う。

I use Google classroom, and this course is supposed to be held by face to face or online in case of BCP 3.
In this course, we will review and discuss each previous research regarding organization and human resource management in which students are interested.

２．学修の到達目標/Goal of study：
先行研究のレビューを通して、自らのリサーチ・クエスチョンと研究方法を見つけること。

The purpose of this course is to find out your own research questions and research method.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
毎回、様々な学術雑誌などに掲載された経営組織や人材マネジメントに関する学術論文を取り上げて、担当者が論文のレビュー結果をレジュメにまとめて発表し、その内容について参加者全員で討議して先行研究に対する理解と批判を深める。
授業で取り上げるレビュー対象の論文については、初回授業のオリエンテーションの際に受講者の研究テーマに関する先行研究を探索するように指示するが、毎回、発表者が前週までに取り上げる研究論文を準備して配布すること。

Google Classroom「経営組織論演習（Ｉ） a /b　共通（通年)」クラスコード：jke4iiw
https://classroom.google.com/c/NDcwODcxNjgOMTc3?cjc=jke4iiw

In each lecture, a student is supposed to present his/her resume regarding a previous research article, and then discuss it.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語（Japanese)

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究論文のレビュー内容の発表（50%）と全体討議へのコミットメント（50%）を評価。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NDcwODcxNjgOMTc3?cjc=jke4iiw

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
毎回、事前に配布された論文を精読して内容を理解した上で授業に出席すること。

１０．その他/In addition：
初回授業のオリエンテーションで発表する学生のスケジュールを決めるので、初回授業に出席できない学生は、事前に担当教員（藤本：masahiko.fujimoto.c7@tohoku.ac.jp）に必ず連絡すること。

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
研究論文を作成するための指導を行う。

In this course, I will advice and lead students in order to complete their research papers.

２．学修の到達目標/Goal of study：
研究論文を書き上げるためのリサーチクエスチョンや研究方法を発見すること。

The aim of this course is to help students develop the research questions and methods to complete their research papers.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
大学院レベルの基本的論文の書き方を学習し、本人の興味関心を踏まえて研究論文の研究テーマとリサーチ・クエスチョンの設定から研究方法と考察について個別指導する。

In this course, I will advise and lead each student along the each interest and ability of writing research papers.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究論文への取り組みの進捗状況や取組姿勢（50%）と内容（50%）を評価。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
研究論文を作成するための指導を行う。

In this course, I will advice and lead students in order to complete their research papers.

２．学修の到達目標/Goal of study：
研究論文を書き上げるためのリサーチクエスチョンや研究方法を発見すること。

The aim of this course is to help students develop the research questions and methods to complete their research papers.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
大学院レベルの基本的論文の書き方を学習し、本人の興味関心を踏まえて研究論文の研究テーマとリサーチ・クエスチョンの設定から研究方法と考察について個別指導する。

In this course, I will advise and lead each student along the each interest and ability of writing research papers.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究論文への取り組みの進捗状況や取組姿勢（50%）と内容（50%）を評価。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
研究論文を作成するための指導を行う。

In this course, I will advice and lead students in order to complete their research papers.

２．学修の到達目標/Goal of study：
研究論文を書き上げるためのリサーチクエスチョンや研究方法を発見すること。

The aim of this course is to help students develop the research questions and methods to complete their research papers.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
大学院レベルの基本的論文の書き方を学習し、本人の興味関心を踏まえて研究論文の研究テーマとリサーチ・クエスチョンの設定から研究方法と考察について個別指導する。

In this course, I will advise and lead each student along the each interest and ability of writing research papers.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究論文への取り組みの進捗状況や取組姿勢（50%）と内容（50%）を評価。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
研究論文を作成するための指導を行う。

In this course, I will advice and lead students in order to complete their research papers.

２．学修の到達目標/Goal of study：
研究論文を書き上げるためのリサーチクエスチョンや研究方法を発見すること。

The aim of this course is to help students develop the research questions and methods to complete their research papers.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
大学院レベルの基本的論文の書き方を学習し、本人の興味関心を踏まえて研究論文の研究テーマとリサーチ・クエスチョンの設定から研究方法と考察について個別指導する。

In this course, I will advise and lead each student along the each interest and ability of writing research papers.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究論文への取り組みの進捗状況や取組姿勢（50%）と内容（50%）を評価。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Seminar in Management a/Seminar in Management a

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：Spring Wed. ２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営史および関連領域における特定のテーマについて修士論文を作成することを予定している履修生とともに、論文の執筆法の基礎を検討する。

This class is for the students who intend to write M.A. thesis in the field of business history. we will examine the basic manner of writing it.

２．学修の到達目標/Goal of study：
この演習は、博士前期課程の学生を想定している。博士前期課程の学生にとって最大の課題は、いうまでもなく修士論文を執筆することである。したがって、ここでは、修士論文を執筆するうえで必要になるさまざまなスキルの基本を修得するとともに、履修生の修士論文の準備状況を適宜チェックし、具体的なアドバイスを与えることを目的とする。

To get a basic knowledge over how to write the M.A. thesis in the field of business history.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下のような項目について、適宜検討する予定である。
(1)経営史（および関連諸領域）の研究史
(2)経営史学のアプローチ
(3)テーマの選定
(4)修士論文に求められるコンテンツ

This class is based on the discussion over the M.A. thesis draft of each participant.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点 60%、レポート 40%

Participation 60%, Term papers 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
研究は日々の積み重ねと試行錯誤の繰り返しによるので、予習と復習は必須である。

１０．その他/In addition：
教員 HP：https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/home
オフィスアワーなどに関しては、初回の授業で連絡する。
BCP レベル１の場合は、「対面」を原則とする。
BCP レベル２以上の場合は、「オンライン」を原則とする。
参加者は Google クラスルームに必ず参加登録すること。
クラスコードは「faahoqy」

Faculty HP: https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/home

Seminar in Management b/Seminar in Management b

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：Fall Wed. ２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営史および関連領域における特定のテーマについて修士論文を作成することを予定している履修生とともに、論文の執筆法の基礎を検討する。

This class is for the students who intend to write M.A. thesis in the field of business history. we will examine the basic manner of writing it.

２．学修の到達目標/Goal of study：
この演習は、博士前期課程の学生を想定している。博士前期課程の学生にとって最大の課題は、いうまでもなく修士論文を執筆することである。したがって、ここでは、修士論文を執筆するうえで必要になるさまざまなスキルの基本を修得するとともに、履修生の修士論文の準備状況を適宜チェックし、具体的なアドバイスを与えることを目的とする。

To get a basic knowledge over how to write the M.A. thesis in the field of business history.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下のような項目について、適宜検討する予定である。
(1)経営史（および関連諸領域）の研究史
(2)経営史学のアプローチ
(3)テーマの選定
(4)修士論文に求められるコンテンツ

This class is based on the discussion over the M.A. thesis draft of each participant.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点60%、レポート40%

Participation 60%, Term papers 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
研究は日々の積み重ねと試行錯誤の繰り返しによるので、予習と復習は必須である。

１０．その他/In addition：
教員HP：https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/home
オフィスアワーなどに関しては、初回の授業で連絡する。
BCPレベル１の場合は、「対面」を原則とする。
BCPレベル２以上の場合は、「オンライン」を原則とする。
参加者はGoogleクラスルームを必ず参加登録すること。
クラスコードは「faahoqy」

Faculty HP: https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/home

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営史の視点から課題を発見し、その解決を図るとともに、プロジェクト最終報告を行うのに相応しい考察を行う。

Based on business history, students explore some problems toward their research projects.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経営史学におけるプロジェクト報告書を作成し、プロジェクト最終報告を行う。

The purpose of this course is that students finish their research projects.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
履修者自身が取り組むべき課題（解決したい問題）を決定し、経営史演習 Seminar a, b で獲得した知識をもとに課題解決を行う。

Students study through the interactive discussion with their supervisor according to their themes and plans.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点：60%、レポート 40%

Participation 60%, Term papers 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各々の課題解決を目標とした演習なので、報告の準備等のために相当量の作業（予習・復習）が必要となる。

１０．その他/In addition：
・日本語によるコミュニケーションを基本とする。
・Seminar a, b を履修済みであること。
・連絡先等は初回演習時に伝える。
・クラスコード：faahoqy

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営史の視点から課題を発見し、その解決を図るとともに、プロジェクト最終報告を行うのに相応しい考察を行う。

Based on business history, students explore some problems toward their research projects.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経営史学におけるプロジェクト報告書を作成し、プロジェクト最終報告を行う。

The purpose of this course is that students finish their research projects.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
履修者自身が取り組むべき課題（解決したい問題）を決定し、経営史演習 Seminar a, b で獲得した知識をもとに課題解決を行う。

Students study through the interactive discussion with their supervisor according to their themes and plans.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点：60%、レポート 40%

Participation 60%, Term papers 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各々の課題解決を目標とした演習なので、報告の準備等のために相当量の作業（予習・復習）が必要となる。

１０．その他/In addition：
・日本語によるコミュニケーションを基本とする。
・Seminar a, b を履修済みであること。
・連絡先等は初回演習時に伝える。
・クラスコード：faahoqy

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営史の視点から課題を発見し、その解決を図るとともに、プロジェクト最終報告を行うのに相応しい考察を行う。

Based on business history, students explore some problems toward their research projects.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経営史学におけるプロジェクト報告書を作成し、プロジェクト最終報告を行う。

The purpose of this course is that students finish their research projects.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
履修者自身が取り組むべき課題（解決したい問題）を決定し、経営史演習 Seminar a, b で獲得した知識をもとに課題解決を行う。

Students study through the interactive discussion with their supervisor according to their themes and plans.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点：60%、レポート 40%

Participation 60%, Term papers 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各々の課題解決を目標とした演習なので、報告の準備等のために相当量の作業（予習・復習）が必要となる。

１０．その他/In addition：
・日本語によるコミュニケーションを基本とする。
・Seminar a, b を履修済みであること。
・連絡先等は初回演習時に伝える。
・クラスコードは faahoqy

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営史の視点から課題を発見し、その解決を図るとともに、プロジェクト最終報告を行うのに相応しい考察を行う。

Based on business history, students explore some problems toward their research projects.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経営史学におけるプロジェクト報告書を作成し、プロジェクト最終報告を行う。

The purpose of this course is that students finish their research projects.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
履修者自身が取り組むべき課題（解決したい問題）を決定し、経営史演習 Seminar a, b で獲得した知識をもとに課題解決を行う。

Students study through the interactive discussion with their supervisor according to their themes and plans.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点：60%、レポート 40%

Participation 60%, Term papers 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各々の課題解決を目標とした演習なので、報告の準備等のために相当量の作業（予習・復習）が必要となる。

１０．その他/In addition：
・日本語によるコミュニケーションを基本とする。
・Seminar a, b を履修済みであること。
・連絡先等は初回演習時に伝える。
・クラスコードは faahoqy

Seminar in Management a/Seminar in Management a

担当教員/Instructor：室井　芳史/YOSHIFUMI MUROI
曜日・講時/Day/Period：Spring Fri. ４
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
数理ファイナンスに必要な数学の基礎知識を学ぶ。特に、測度論的確率論に基づいた確率解析について学生による輪読を行う。測度論的確率論の知識のない学生の参加は決して認めない。
The purpose of this class is studying stochastic calculus based on the rigid knowledge of the measure theoretic probability. Students have to give a presentation in Japanese language. Students also have to have enough knowledge of the measure theoretic probability in order to take this lecture. If this condition is not satisfied, I will "never" permit to participate in this class.

２．学修の到達目標/Goal of study：
数理的に厳密に確率解析の基礎理論を理解することにより数理ファイナンスの研究論文を読むことができるようになること。
Goal of this lecture is to get enough knowledge of stochastic calculus rigorously in "mathematical sense".

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者に参加者にあらかじめ配布した資料に基づき、指定した教科書を読んで来て発表してもらう。
資料を取りに来ること。教科書は
Introduction to Stochastic Integration Hui-Hsiung Kuo, Springer 2006
https://www.amazon.co.jp/Introduction-Stochastic-Integration-Universitext-Hui-Hsiung/dp/0387287205
を指定する。

We are going to read
Introduction to Stochastic Integration Hui-Hsiung Kuo, Springer 2006
https://www.amazon.co.jp/Introduction-Stochastic-Integration-Universitext-Hui-Hsiung/dp/0387287205
Students must make presentation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の状況を見て決定する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Introduction to Stochastic Integration	Hui-Hsiung Kuo	Springer	2006	978-0387287201	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://www.amazon.co.jp/Introduction-Stochastic-Integration-Universitext-Hui-Hsiung/dp/0387287205

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に備えてしっかりと教科書を読んでくること。

１０．その他/In addition：

Seminar in Management b/Seminar in Management b

担当教員/Instructor：室井　芳史/YOSHIFUMI MUROI
曜日・講時/Day/Period：Fall Fri. 4
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
夏学期に引き続き、数理ファイナンスに必要な数学の基礎知識を学ぶ。特に、測度論的確率論に基づいた確率解析について学生による輪読を行う。測度論的確率論の知識のない学生の参加は「決して」認めない。
講義は対面方式で実施する。

This class begins in the spring semester. The purpose of this class is to study stochastic calculus based on the rigid knowledge of the measure-theoretic probability. Students have to give a presentation in the Japanese language. Students also have to have enough knowledge of the measure-theoretic probability in order to take this lecture. If this condition is not satisfied, I will "never" permit to participate in this class.

2．学修の到達目標/Goal of study：
数理的に厳密に確率解析の基礎理論を理解することにより数理ファイナンスの研究論文を読むことができるようになること。
The goal of this lecture is to get enough knowledge of stochastic calculus rigorously in "mathematical sense".

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
指定した教科書を読んで来て発表してもらう。
資料を取りに来ること。教科書は
Introduction to Stochastic Integration Hui-Hsiung Kuo, Springer 2006
https://www.amazon.co.jp/Introduction-Stochastic-Integration-Universitext-Hui-Hsiung/dp/0387287205
を指定する。

We are going to read
Introduction to Stochastic Integration Hui-Hsiung Kuo, Springer 2006
https://www.amazon.co.jp/Introduction-Stochastic-Integration-Universitext-Hui-Hsiung/dp/0387287205
Students must make a presentation.

対面方式で実施するが、BCP レベルが 2 以上に上がった場合には Google Meet など別の方法で実施する。詳細は講義においてを指示する。

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

6．成績評価方法/Evaluation method：
発表の状況を見て決定する。

7．教科書および参考書/Textbook and references：

Introduction to Stochastic Integration	Hui-Hsiung Kuo	Springer	2006	978-0387287201	教科書

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://www.amazon.co.jp/Introduction-Stochastic-Integration-Universitext-Hui-Hsiung/dp/0387287205

9．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に備えてしっかりと教科書を読んでくること。

１０．その他/In addition：

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：室井　芳史/YOSHIFUMI MUROI
曜日・講時/Day/Period：Spring Fri. ５
対象学年/Eligible Participants：２年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
数理ファイナンスに必要な数学の基礎知識を学ぶ。特に、測度論的確率論に基づいた確率解析について学生による輪読を行う。測度論的確率論の知識のない学生の参加は決して認めない。
The purpose of this class is studying stochastic calculus based on the rigid knowledge of the measure theoretic probability. Students have to give a presentation in Japanese language. Students also have to have enough knowledge of the measure theoretic probability in order to take this lecture. If this condition is not satisfied, I will "never" permit to participate in this class.

２．学修の到達目標/Goal of study：
数理的に厳密に確率解析の基礎理論を理解することにより数理ファイナンスの研究論文を読むことができるようになること。
Goal of this lecture is to get enough knowledge of stochastic calculus rigorously in "mathematical sense".

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者に参加者にあらかじめ配布した資料に基づき、指定した教科書を読んで来て発表してもらう。
資料を取りに来ること。教科書は
Introduction to Stochastic Integration Hui-Hsiung Kuo, Springer 2006
https://www.amazon.co.jp/Introduction-Stochastic-Integration-Universitext-Hui-Hsiung/dp/0387287205
を指定する。

We are going to read
Introduction to Stochastic Integration Hui-Hsiung Kuo, Springer 2006
https://www.amazon.co.jp/Introduction-Stochastic-Integration-Universitext-Hui-Hsiung/dp/0387287205
Students must make presentation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の状況を見て決定する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Introduction to Stochastic Integration	Hui-Hsiung Kuo	Springer	2006	978-0387287201	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://www.amazon.co.jp/Introduction-Stochastic-Integration-Universitext-Hui-Hsiung/dp/0387287205

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に備えてしっかりと教科書を読んでくること。

１０．その他/In addition：

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：室井　芳史/YOSHIFUMI MUROI
曜日・講時/Day/Period：Fall Fri. 5
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
確率ボラティリティモデルの取り扱について学ぶ。また、修士論文の作成を目標に数理ファイナンスに関係する論文を読む。
We are going to study stochastic volatility models. We also read several research papers to make the master thesis.
Students must have a basic knowledge of partial differential eqautions. Presentation must be given in the Japanese language.

２．学修の到達目標/Goal of study：
確率ボラティリティ・モデルについて学ぶ。修士論文の作成を目的とした近年出版された論文を輪読する。また、実際にプログラミング言語を用いてジャンプ拡散モデルを題材に実際にコードを書いてその成果を発表してもらう。
We are going to study stochastic volatility models. Students must write programming code for stochastic volatility model.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
学生が近年の論文を読んできて発表してもらう。また、数理ファイナンスに関係するプログラムを実際にコーディングしてもらい動作を確認してもらう。
Students must make a presentation after reading some books on jump diffusion model. They also must make a presentation on the recent thesis on financial mathematics.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の状況を見て決める。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Derivatives in Financial Markets with Stochastic Volatilty	Fouque, J. -P., Papanicolaou, G., and Sircar, R.	Cambridge	2000	978-0521791632	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
論文を的確に理解し発表してもらう必要がある。時間外に実際にコードを書いてもらう必要がある。

１０．その他/In addition：

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：室井　芳史/YOSHIFUMI MUROI
曜日・講時/Day/Period：Spring Fri. 5
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
夏学期に引き続き、数理ファイナンスに必要な数学の基礎知識を学ぶ。特に、測度論的確率論に基づいた確率解析について学生による輪読を行う。測度論的確率論の知識のない学生の参加は「決して」認めない。
講義は対面方式で実施する。

This class begins in the spring semester. The purpose of this class is to study stochastic calculus based on the rigid knowledge of the measure-theoretic probability. Students have to give a presentation in the Japanese language. Students also have to have enough knowledge of the measure-theoretic probability in order to take this lecture. If this condition is not satisfied, I will "never" permit to participate in this class.

２．学修の到達目標/Goal of study：
数理的に厳密に確率解析の基礎理論を理解することにより数理ファイナンスの研究論文を読むことができるようになること。
The goal of this lecture is to get enough knowledge of stochastic calculus rigorously in "mathematical sense".

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
指定した教科書を読んで来て発表してもらう。
資料を取りに来ること。教科書は
Introduction to Stochastic Integration Hui-Hsiung Kuo, Springer 2006
https://www.amazon.co.jp/Introduction-Stochastic-Integration-Universitext-Hui-Hsiung/dp/0387287205
を指定する。

We are going to read
Introduction to Stochastic Integration Hui-Hsiung Kuo, Springer 2006
https://www.amazon.co.jp/Introduction-Stochastic-Integration-Universitext-Hui-Hsiung/dp/0387287205
Students must make a presentation.

対面方式で実施するが、BCP レベルが 2 以上に上がった場合には Google Meet など別の方法で実施する。詳細は講義においてを指示する。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の状況を見て決定する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Introduction to Stochastic Integration	Hui-Hsiung Kuo	Springer	2006	978-0387287201	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://www.amazon.co.jp/Introduction-Stochastic-Integration-Universitext-Hui-Hsiung/dp/0387287205

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に備えてしっかりと教科書を読んでくること。

１０．その他/In addition：

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：室井　芳史/YOSHIFUMI MUROI
曜日・講時/Day/Period：Fall Fri. 5
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
確率ボラティリティモデルの取り扱について学ぶ。また、修士論文の作成を目標に数理ファイナンスに関係する論文を読む。
We are going to study stochastic volatility models. We also read several research papers to make the master thesis.
Students must have a basic knowledge of partial differential eqautions. Presentation must be given in the Japanese language.

２．学修の到達目標/Goal of study：
確率ボラティリティ・モデルについて学ぶ。修士論文の作成を目的とした近年出版された論文を輪読する。また、実際にプログラミング言語を用いてジャンプ拡散モデルを題材に実際にコードを書いてその成果を発表してもらう。
We are going to study stochastic volatility models. Students must write programming code for stochastic volatility model.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
学生が近年の論文を読んできて発表してもらう。また、数理ファイナンスに関係するプログラムを実際にコーディングしてもらい動作を確認してもらう。
Students must make a presentation after reading some books on jump diffusion model. They also must make a presentation on the recent thesis on financial mathematics.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の状況を見て決める。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Derivatives in Financial Markets with Stochastic Volatilty	Fouque, J. -P., Papanicolaou, G., and Sircar, R.	Cambridge	2000	978-0521791632	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
論文を的確に理解し発表してもらう必要がある。時間外に実際にコードを書いてもらう必要がある。

１０．その他/In addition：

Seminar in Management a/Seminar in Management a

担当教員/Instructor：山﨑　喜代宏/KIYOHIRO YAMAZAKI
曜日・講時/Day/Period：Spring Mon. 3
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習では、経営戦略論とその隣接領域について、文献サーベイとレビューを行い、これまでの先行研究の理論的検討を行う。
また、受講者自らのリサーチクエスチョンの洗練を行い、修士論文執筆に向けた準備を行う。
加えて、修士論文の執筆に必要なスキルの習得機会を提供する。
This seminar provides students for opportunity to review previous literature on the area of strategic management and related academic areas.
It also gives students to refine their own research questions and prepare for the master's thesis.
In addition, it provides the opportunity to acquire the skills for writing a master's thesis.

2．学修の到達目標/Goal of study：
本演習では、経営戦略論に関連する最新の研究成果について検討し、そこから得られる知見と、自らの能動的な研究活動を通じて修士論文作成に向けた研究活動を行う。
学生は、本演習を通じて、先行研究を理解した上で、自らの修士論文の理論的位置づけや実践的意義を見出すことを目標とする。
In this seminar, students examine the latest research results related to strategic management theory and prepare for a master's thesis through their research activities.
Students will be expected to understand the previous researches and find the theoretical and practical contribution of their master's thesis.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
内容及び進度予定は以下のとおりであるが、状況によって若干内容を変更する場合もある。
The contents and schedule are as shown below, but subject to change depending on circumstances.

Google Classroom のクラスコード［tcq3whx］

講義は対面で行う。なお状況により、オンライン講義になる可能性がある。

参加者は、自らの研究テーマに即して、論文や著書等を選択し、その内容についての発表を行う。
また、教員が指定した論文や著書について、その内容の発表を行う。
必要に応じて、研究方法等の書籍・論文についても発表を行う。
参加者は自らの研究計画の遂行をするため、研究活動を行い、その中間報告を複数回行う。

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語(Japanese)

6．成績評価方法/Evaluation method：
演習への参加（欠席する場合にはあらかじめ連絡し、必ず代替して報告は行う）
報告内容、及び演習内での発言・質問・態度による評価

7．教科書および参考書/Textbook and references：

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：
自らの研究を推進するために事前の学習・研究と、研究指導に基づいた事後学習・研究が必要になる。

１０．その他/In addition：
積極性と自主性が求められる。自らの頭と手を動かし続けること。

Seminar in Management b/Seminar in Management b

担当教員/Instructor：山﨑　喜代宏/KIYOHIRO YAMAZAKI
曜日・講時/Day/Period：Fall Mon. ３
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習では、経営戦略論とその隣接領域について、文献サーベイとレビューを行い、これまでの先行研究の理論的検討を行う。
また、受講者自らのリサーチクエスチョンの洗練を行い、修士論文執筆に向けた準備を行う。
加えて、修士論文の執筆に必要なスキルの習得機会を提供する。
This seminar provides students for opportunity to review previous literature on the area of strategic management and related academic areas.
It also gives students to refine their own research questions and prepare for the master's thesis.
In addition, it provides the opportunity to acquire the skills for writing a master's thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
本演習では、経営戦略論に関連する最新の研究成果について検討し、そこから得られる知見と、自らの能動的な研究活動を通じて修士論文作成に向けた研究活動を行う。
学生は、本演習を通じて、先行研究を理解した上で、自らの修士論文の理論的位置づけや実践的意義を見出すことを目標とする。
In this seminar, students examine the latest research results related to strategic management theory and prepare for a master's thesis through their research activities.
Students will be expected to understand the previous researches and find the theoretical and practical contribution of their master's thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
内容及び進度予定は以下のとおりであるが、状況によって若干内容を変更する場合もある。
The contents and schedule are as shown below, but subject to change depending on circumstances.

Google Classroom のクラスコード［tcq3whx］

講義は対面で行う。なお状況により、オンライン講義になる可能性がある。

参加者は、自らの研究テーマに即して、論文や著書等を選択し、その内容についての発表を行う。
また、教員が指定した論文や著書について、その内容の発表を行う。
必要に応じて、研究方法等の書籍・論文についても発表を行う。
参加者は自らの研究計画の遂行をするため、研究活動を行い、その中間報告を複数回行う。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語(Japanese)

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習への参加（欠席する場合にはあらかじめ連絡し、必ず代替して報告は行う）
報告内容、及び演習内での発言・質問・態度による評価

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自らの研究を推進するために事前の学習・研究と、研究指導に基づいた事後学習・研究が必要になる。

１０．その他/In addition：
積極性と自主性が求められる。自らの頭と手を動かし続けること。

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：山﨑　喜代宏/KIYOHIRO YAMAZAKI
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習では、経営戦略論を中心とした研究領域におけるプロジェクト報告のための研究報告と討論を行う。
This project guidance provide the opportunity to produce a "project report" or master's thesis primarily in the field of strategic management.

２．学修の到達目標/Goal of study：
主に経営戦略論の分野におけるプロジェクト報告ないし修士論文の完成を目指す
The aim of this project guidance is a completion of a "project report" or master's thesis in the field of strategic management.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
内容及び進度予定は以下のとおりであるが、状況によって内容を変更する場合もある。
The contents and schedule are as shown below, but subject to change depending on circumstances.

Google Classroom のクラスコード [mbruo7s]

講義は対面で行う。なお状況により、オンライン講義になる可能性がある。

参加者は、自らの研究テーマに即して、論文等を選択し、その内容についての発表を行う。
また、教員が指定した論文や著書について、その内容の発表を行う。
必要に応じて、研究方法等の書籍・論文についても、内容紹介の発表を行う。
参加者は自らの研究計画の遂行をするため、研究活動を行い、その中間報告を複数回行う。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語（Japanese）

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習への参加（欠席する場合にはあらかじめ連絡し、必ず代替して報告は行う）
報告内容、及び演習内での発言・質問・態度による評価

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自らの研究を推進するために事前の学習・研究と、研究指導に基づいた事後学習・研究が必要になる。

１０．その他/In addition：
積極性と自主性が求められる。自らの頭と手を動かし続けること。

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：山﨑　喜代宏/KIYOHIRO YAMAZAKI
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習では、経営戦略論を中心とした研究領域におけるプロジェクト報告のための研究報告と討論を行う。
This project guidance provide the opportunity to produce a "project report" or master's thesis primarily in the field of strategic management.

２．学修の到達目標/Goal of study：
主に経営戦略論の分野におけるプロジェクト報告ないし修士論文の完成を目指す
The aim of this project guidance is a completion of a "project report" or master's thesis in the field of strategic management.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
内容及び進度予定は以下のとおりであるが、状況によって内容を変更する場合もある。
The contents and schedule are as shown below, but subject to change depending on circumstances.

Google Classroom のクラスコード [mbruo7s]

講義は対面で行う。なお状況により、オンライン講義になる可能性がある。

参加者は、自らの研究テーマに即して、論文等を選択し、その内容についての発表を行う。
また、教員が指定した論文や著書について、その内容の発表を行う。
必要に応じて、研究方法等の書籍・論文についても、内容紹介の発表を行う。
参加者は自らの研究計画の遂行をするため、研究活動を行い、その中間報告を複数回行う。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語（Japanese）

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習への参加（欠席する場合にはあらかじめ連絡し、必ず代替して報告は行う）
報告内容、及び演習内での発言・質問・態度による評価

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自らの研究を推進するために事前の学習・研究と、研究指導に基づいた事後学習・研究が必要になる。

１０．その他/In addition：
積極性と自主性が求められる。自らの頭と手を動かし続けること。

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：山﨑　喜代宏/KIYOHIRO YAMAZAKI
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習では、経営戦略論を中心とした研究領域におけるプロジェクト報告のための研究報告と討論を行う。
This project guidance provide the opportunity to produce a "project report" or master's thesis primarily in the field of strategic management.

２．学修の到達目標/Goal of study：
主に経営戦略論の分野におけるプロジェクト報告ないし修士論文の完成を目指す
The aim of this project guidance is a completion of a "project report" or master's thesis in the field of strategic management.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
内容及び進度予定は以下のとおりであるが、状況によって内容を変更する場合もある。
The contents and schedule are as shown below, but subject to change depending on circumstances.

Google Classroom のクラスコード [2k2midk]

講義は対面で行う。なお状況により、オンライン講義になる可能性がある。

参加者は、自らの研究テーマに即して、論文等を選択し、その内容についての発表を行う。
また、教員が指定した論文や著書について、その内容の発表を行う。
必要に応じて、研究方法等の書籍・論文についても、内容紹介の発表を行う。
参加者は自らの研究計画の遂行をするため、研究活動を行い、その中間報告を複数回行う。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語（Japanese）

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習への参加（欠席する場合にはあらかじめ連絡し、必ず代替して報告は行う）
報告内容、及び演習内での発言・質問・態度による評価

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自らの研究を推進するために事前の学習・研究と、研究指導に基づいた事後学習・研究が必要になる。

１０．その他/In addition：
積極性と自主性が求められる。自らの頭と手を動かし続けること。

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：山﨑　喜代宏/KIYOHIRO YAMAZAKI
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習では、経営戦略論を中心とした研究領域におけるプロジェクト報告のための研究報告と討論を行う。
This project guidance provide the opportunity to produce a "project report" or master's thesis primarily in the field of strategic management.

２．学修の到達目標/Goal of study：
主に経営戦略論の分野におけるプロジェクト報告ないし修士論文の完成を目指す
The aim of this project guidance is a completion of a "project report" or master's thesis in the field of strategic management.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
内容及び進度予定は以下のとおりであるが、状況によって内容を変更する場合もある。
The contents and schedule are as shown below, but subject to change depending on circumstances.

Google Classroom のクラスコード [2k2midk]

講義は対面で行う。なお状況により、オンライン講義になる可能性がある。

参加者は、自らの研究テーマに即して、論文等を選択し、その内容についての発表を行う。
また、教員が指定した論文や著書について、その内容の発表を行う。
必要に応じて、研究方法等の書籍・論文についても、内容紹介の発表を行う。
参加者は自らの研究計画の遂行をするため、研究活動を行い、その中間報告を複数回行う。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語（Japanese）

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習への参加（欠席する場合にはあらかじめ連絡し、必ず代替して報告は行う）
報告内容、及び演習内での発言・質問・態度による評価

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自らの研究を推進するために事前の学習・研究と、研究指導に基づいた事後学習・研究が必要になる。

１０．その他/In addition：
積極性と自主性が求められる。自らの頭と手を動かし続けること。

Seminar in Management a/Seminar in Management a

担当教員/Instructor：西出　優子/YUKO NISHIDE
曜日・講時/Day/Period：Spring Thu. ２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
To students who will submit the GPEM project report, the supervisor offers this class and gives necessary guidance for the preparation of the project relating to nonprofit organization (or relevant topics such as NGO, social enterprise, social capital).
The class consists of student presentations, class discussions, guidance and advice from the supervisor on the master's thesis progress and manuscripts of each student

２．学修の到達目標/Goal of study：
To understand basic theories and practice of nonprofit organization (and its relevant fields).
To understand how to conduct literature review on nonprofit organization.
To identify outcomes and challenges of relevant literature on nonprofit organization.
To plan, implement and one's project and start writing the project report relating to nonprofit organization.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Presentations and discussions, guidance and advice on the research plan, literature review, and project/thesis manuscripts of each student relating to nonprofit organization (and its relevant fields).

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation on research plan and/or literature review (50%), participation in class discussions and minute papers (50%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Journal articles such as in Nonprofit and Voluntary Sector Quarterly, Nonprofit Management and Leadership, Voluntas, and Nonprofit Review

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
A thorough preparation is expected for effective presentation and discussions.
Students are expected to prepare, share and read the presentation materials one week before the presentation of each student.
Students are expected to make comments and feedback on the presentation of each student at the class.

１０．その他/In addition：
Please contact the instructor beforehand by an email if you wish to register this class but the instructor is not your supervisor.

How to hold this class may depend on the BCP level. This class is to be held at the classroom with the combination of r

Seminar in Management b/Seminar in Management b

担当教員/Instructor：西出　優子/YUKO NISHIDE
曜日・講時/Day/Period：Fall Thu. ２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
To students who will submit the GPEM project report, the supervisor offers this class and gives necessary guidance for the preparation of the project relating to nonprofit organization (or relevant NGO, social enterprise, social capital).
The class consists of student presentations, class discussions, guidance and advice from the supervisor on the project progress and manuscripts of each student.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To understand basic theories and practice of nonprofit organization (and its relevant fields).
To understand how to conduct literature review on nonprofit organization.
To identify outcomes and challenges of relevant literature on nonprofit organization.
To plan, implement and one’s project and start writing the project report relating to nonprofit organization.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Presentations and discussions, guidance and advice on the research plan, literature review, and project/thesis manuscripts of each student relating to nonprofit organization (and its relevant fields).

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation on research plan and/or literature review (50%), participation in class discussions (50%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Journal articles such as in Nonprofit and Voluntary Sector Quarterly, Nonprofit Management and Leadership, Voluntas, and Nonprofit Review

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
A thorough preparation is expected for effective presentation and discussions.
Students are expected to prepare, share and read the presentation materials one week before the presentation of each student.
Students are expected to make comments and feedback on the presentation of each student at the class.

１０．その他/In addition：
Please contact the instructor beforehand by an email if you wish to register this class but the instructor is not your supervisor.

How to hold this class may depend on the BCP level. This class is to be held at the classroom with the combination of r

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：西出　優子/YUKO NISHIDE
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
To students who will submit the GPEM project report, the supervisor offers this class and gives necessary guidance for the preparation of the project relating to nonprofit organization (or relevant NGO, social enterprise, social capital).
The class consists of student presentations, class discussions, guidance and advice from the supervisor on the project of each student

２．学修の到達目標/Goal of study：
To understand the theory and practice of nonprofit organization.
To plan, implement and one’s project and write the project report relating to nonprofit organization (or its relavant field).

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Presentations and discussions on one’s project relating to nonprofit organization
Presentations and discussions, advice and guidance on the progress of project planning, implementation, report writing and presentation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentations on project plan and/or literature review (50%), and participation in discussions and minute papers (50%).

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Journal articles such as in Nonprofit and Voluntary Sector Quarterly, Nonprofit Management and Leadership, Voluntas, and Nonprofit Review.

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
A thorough preparation is expected for effective presentation and discussions, and completion of a project.
Students are expected to prepare, share and read the presentation materials one week before the presentation of each student.
Students are expected to make comments and feedback on the presentation of each student at the class.

１０．その他/In addition：
Please contact the instructor beforehand by an email if you wish to register this class but the instructor is not your supervisor.

How to hold this class may depend on the BCP level. This class is to be held at the classroom with the combination of r

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：西出　優子/YUKO NISHIDE
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
To students who will submit the GPEM project report, the supervisor offers this class and gives necessary guidance for the preparation of the project relating to nonprofit organization (or relevant NGO, social enterprise, social capital).
The class consists of student presentations, class discussions, guidance and advice from the supervisor on the project of each student.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To understand the theory and practice of nonprofit organization.
To plan, implement and one’s project and write the project report relating to nonprofit organization (or its relavant field).

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Presentations and discussions on one’s project relating to nonprofit organization
Presentations and discussions, advice and guidance on the progress of project planning, implementation, report writing and presentation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentations on project plan and/or literature review (50%), and participation in discussions (50%).

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Journal articles such as in Nonprofit and Voluntary Sector Quarterly, Nonprofit Management and Leadership, Voluntas, and Nonprofit Review.

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
A thorough preparation is expected for effective presentation and discussions, and completion of a project.
Students are expected to prepare, share and read the presentation materials one week before the presentation of each student.
Students are expected to make comments and feedback on the presentation of each student at the class.

１０．その他/In addition：
Please contact the instructor beforehand by an email if you wish to register this class but the instructor is not your supervisor.

How to hold this class may depend on the BCP level. This class is to be held at the classroom with the combination of r

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：西出　優子/YUKO NISHIDE
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
To students who will submit the GPEM project report, the supervisor offers this class and gives necessary guidance for the completion of the project report relating to nonprofit organization (or relevant NGO, social enterprise, social capital).
The class consists of student presentations, class discussions, guidance and advice from the supervisor on the project of each student

２．学修の到達目標/Goal of study：
To understand the theory and practice of nonprofit organization (and its relevant fields).
To plan and implement one’s project and write the project report relating to nonprofit organization.
To complete a full project report and make a final presentation relating to nonprofit organization

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Presentations and discussions on one’s project relating to nonprofit organization
Presentations and discussions, guidance and advice on the progress of project planning, implementation, report writing and presentation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentations and manuscripts on the project report (70%), and participation in class discussions and minute papers (30%).

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Journal articles such as in Nonprofit and Voluntary Sector Quarterly, Nonprofit Management and Leadership, Voluntas, and Nonprofit Review.

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
A thorough preparation is expected for effective presentations and discussions, and completion of the project report.
Students are expected to prepare, share and read the presentation materials and the project report manuscripts one week before the presentation of each student.
Students are expected to make comments and feedback on the presentation of each student at the class.

１０．その他/In addition：
Please contact the instructor beforehand by an email if you wish to register this class but the instructor is not your supervisor.

How to hold this class may depend on the BCP level. This class is to be held at the classroom with the combination of r

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：西出　優子/YUKO NISHIDE
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
To students who will submit the GPEM project report, the supervisor offers this class and gives necessary guidance for the completion of the project report relating to nonprofit organization (or relevant NGO, social enterprise, social capital).
The class consists of student presentations, class discussions, guidance and advice from the supervisor on the project of each student

２．学修の到達目標/Goal of study：
To understand the theory and practice of nonprofit organization (and its relevant fields).
To plan and implement one’s project and write the project report relating to nonprofit organization.
To complete a full project report and make a final presentation relating to nonprofit organization

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Presentations and discussions on one’s project relating to nonprofit organization
Presentations and discussions, guidance and advice on the progress of project planning, implementation, report writing and presentation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentations and manuscripts on the project report (70%), and participation in class discussions (30%).

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Journal articles such as in Nonprofit and Voluntary Sector Quarterly, Nonprofit Management and Leadership, Voluntas, and Nonprofit Review.

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
A thorough preparation is expected for effective presentations and discussions, and completion of the project report.
Students are expected to prepare, share and read the presentation materials and the project report manuscripts one week before the presentation of each student.
Students are expected to make comments and feedback on the presentation of each student at the class.

１０．その他/In addition：
Please contact the instructor beforehand by an email if you wish to register this class but the instructor is not your supervisor.

How to hold this class may depend on the BCP level. This class is to be held at the classroom with the combination of r

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：Spring Wed. ３
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
この授業ではマイクロデータを用いた実証分析に関心のある学生対象のゼミである。
担当者は家族の経済学、労働経済学、社会保障、労働経済学に関心がある

My interest is empirical economics and the topic I am interested in is household economics, family economics, labor economics, and health economics, etc.

２．学修の到達目標/Goal of study：
マイクロデータを用いて論文を書くことが出来る

Complete master/doctor thesis by using micro data.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
学生によるプレゼンテーションが中心である。学期末にはレポートの提出を義務づける
The presentation in the class is needed. Also please submit the report at the end of the term。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に対しててはパワーポイントと印刷したスライドを用意すること
Please prepare slides for your own presentation.

１０．その他/In addition：
このゼミに出席予定の学生は、１回目の開催が変更になる可能性があるので、必ず事前にメール(midwak@tohoku.ac.jp) にて出席の意志を連絡すること

Please contact directly by email (midwak@tohoku.ac.jp) before attending this class. The first time of the class might be changed.

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：Fall Wed. ３
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
この授業ではマイクロデータを用いた実証分析に関心のある学生対象のゼミである。
担当者は家族の経済学、労働経済学、社会保障、労働経済学に関心がある

My interest is empirical economics and the topic I am interested in is household economics, family economics, labor economics, and health economics, etc.

２．学修の到達目標/Goal of study：
マイクロデータを用いて論文を書くことが出来る

Complete master/doctor thesis by using micro data.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
学生によるプレゼンテーションが中心である。学期末にはレポートの提出を義務づける
The presentation in the class is needed. Also please submit the report at the end of the term。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に対しててはパワーポイントと印刷したスライドを用意すること
Please prepare slides for your own presentation.

１０．その他/In addition：
このゼミに出席予定の学生は、１回目の開催が変更になる可能性があるので、必ず事前にメール(midwak@tohoku.ac.jp) にて出席の意志を連絡すること

Please contact directly by email (midwak@tohoku.ac.jp) before attending this class. The first time of the class might be changed.

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
この授業ではマイクロデータを用いた実証分析に関心のある学生対象のゼミである。
担当者は家族の経済学、労働経済学、社会保障、労働経済学に関心がある

My interest is empirical economics and the topic I am interested in is household economics, family economics, labor economics, and health economics, etc.

２．学修の到達目標/Goal of study：
マイクロデータを用いて論文を書くことが出来る

Complete master/doctor thesis by using micro data.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
学生によるプレゼンテーションが中心である。学期末にはレポートの提出を義務づける
The presentation in the class is needed. Also please submit the report at the end of the term。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に対しててはパワーポイントと印刷したスライドを用意すること
Please prepare slides for your own presentation.

１０．その他/In addition：
このゼミに出席予定の学生は、1回目の開催が変更になる可能性があるので、必ず事前にメール(midwak@tohoku.ac.jp) にて出席の意志を連絡すること

Please contact directly by email (midwak@tohoku.ac.jp) before attending this class. The first time of the class might be changed.

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
この授業ではマイクロデータを用いた実証分析に関心のある学生対象のゼミである。
担当者は家族の経済学、労働経済学、社会保障、労働経済学に関心がある

My interest is empirical economics and the topic I am interested in is household economics, family economics, labor economics, and health economics, etc.

２．学修の到達目標/Goal of study：
マイクロデータを用いて論文を書くことが出来る

Complete master/doctor thesis by using micro data.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
学生によるプレゼンテーションが中心である。学期末にはレポートの提出を義務づける
The presentation in the class is needed. Also please submit the report at the end of the term。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に対しててはパワーポイントと印刷したスライドを用意すること
Please prepare slides for your own presentation.

１０．その他/In addition：
このゼミに出席予定の学生は、1回目の開催が変更になる可能性があるので、必ず事前にメール(midwak@tohoku.ac.jp) にて出席の意志を連絡すること

Please contact directly by email (midwak@tohoku.ac.jp) before attending this class. The first time of the class might be changed.

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
この授業ではマイクロデータを用いた実証分析に関心のある学生対象のゼミである。
担当者は家族の経済学、労働経済学、社会保障、労働経済学に関心がある

My interest is empirical economics and the topic I am interested in is household economics, family economics, labor economics, and health economics, etc.

２．学修の到達目標/Goal of study：
マイクロデータを用いて論文を書くことが出来る

Complete master/doctor thesis by using micro data.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
学生によるプレゼンテーションが中心である。学期末にはレポートの提出を義務づける
The presentation in the class is needed. Also please submit the report at the end of the term。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に対しててはパワーポイントと印刷したスライドを用意すること
Please prepare slides for your own presentation.

１０．その他/In addition：
このゼミに出席予定の学生は、1回目の開催が変更になる可能性があるので、必ず事前にメール(midwak@tohoku.ac.jp) にて出席の意志を連絡すること

Please contact directly by email (midwak@tohoku.ac.jp) before attending this class. The first time of the class might be changed.

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
この授業ではマイクロデータを用いた実証分析に関心のある学生対象のゼミである。
担当者は家族の経済学、労働経済学、社会保障、労働経済学に関心がある

My interest is empirical economics and the topic I am interested in is household economics, family economics, labor economics, and health economics, etc.

２．学修の到達目標/Goal of study：
マイクロデータを用いて論文を書くことが出来る

Complete master/doctor thesis by using micro data.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
学生によるプレゼンテーションが中心である。学期末にはレポートの提出を義務づける
The presentation in the class is needed. Also please submit the report at the end of the term。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に対しててはパワーポイントと印刷したスライドを用意すること
Please prepare slides for your own presentation.

１０．その他/In addition：
このゼミに出席予定の学生は、1回目の開催が変更になる可能性があるので、必ず事前にメール(midwak@tohoku.ac.jp) にて出席の意志を連絡すること

Please contact directly by email (midwak@tohoku.ac.jp) before attending this class. The first time of the class might be changed.

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：Spring Fri. ２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This class treats the knowledge on the economics of population aging in Japan.

２．学修の到達目標/Goal of study：
You will have the ability for analyzing the issues of aging using modern economic theory.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
(1) Economics of population aging, demand for children, economics of gender;
(2) Generational equity using the Generational Accounts;
(3) Economics of Household, time allocation, life time optimization;
(4) Economic effect of public pension.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English partly Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Times of your attendance and reports.

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Will be introduced in the lecture

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NjkONzYwNTE2MTVa?cjc=e5ouhkg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：Fall Fri. ２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This class treats the knowledge on the economics of population aging in Japan.

２．学修の到達目標/Goal of study：
You will have the ability for analyzing the issues of aging using modern economic theory.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
(1) Economics of population aging, demand for children, economics of gender;
(2) Generational equity using the Generational Accounts;
(3) Economics of Household, time allocation, life time optimization;
(4) Economic effect of public pension.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English partly Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Times of your attendance and reports.

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Will be introduced in the lecture

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NjkONzYwNTE2MTVa?cjc=e5ouhkg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This class treats the knowledge on the economics of population aging in Japan.

２．学修の到達目標/Goal of study：
You will have the ability for analyzing the issues of aging using modern economic theory.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Course Content and Schedule
(1) Economics of population aging, demand for children, economics of gender;
(2) Generational equity using the Generational Accounts;
(3) Economics of Household, time allocation, life time optimization;
(4) Economic effect of public pension.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English part l yJapanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Times of your attendance and reports.

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Will be introduced in the course.

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NjkONzYwNTE2MTVa?cjc=e5ouhkg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
Note (Requirements, E-mail, Office Hour)
(1) You should have the basic knowledge of macro economics, microeconomics, econometrics.
(2) Office hour; 13:00-14:30 every Tuesday. (You have to reserve in advance.)
(3) The lecture will be provided partly in

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This class treats the knowledge on the economics of population aging in Japan.

２．学修の到達目標/Goal of study：
You will have the ability for analyzing the issues of aging using modern economic theory.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Course Content and Schedule
(1) Economics of population aging, demand for children, economics of gender;
(2) Generational equity using the Generational Accounts;
(3) Economics of Household, time allocation, life time optimization;
(4) Economic effect of public pension.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English part l yJapanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Times of your attendance and reports.

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Will be introduced in the course.

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NjkONzYwNTE2MTVa?cjc=e5ouhkg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
Note (Requirements, E-mail, Office Hour)
(1) You should have the basic knowledge of macro economics, microeconomics, econometrics.
(2) Office hour; 13:00-14:30 every Tuesday. (You have to reserve in advance.)
(3) The lecture will be provided partly in

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This class treats the knowledge on the economics of population aging in Japan.

２．学修の到達目標/Goal of study：
You will have the ability for analyzing the issues of aging using modern economic theory.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Course Content and Schedule
(1) Economics of population aging, demand for children, economics of gender;
(2) Generational equity using the Generational Accounts;
(3) Economics of Household, time allocation, life time optimization;
(4) Economic effect of public pension.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English part l yJapanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Times of your attendance and reports.

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Will be introduced in the course.

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NjkONzYwNTE2MTVa?cjc=e5ouhkg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
Note (Requirements, E-mail, Office Hour)
(1) You should have the basic knowledge of macro economics, microeconomics, econometrics.
(2) Office hour; 13:00-14:30 every Tuesday. (You have to reserve in advance.)
(3) The lecture will be provided partly in

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This class treats the knowledge on the economics of population aging in Japan.

２．学修の到達目標/Goal of study：
You will have the ability for analyzing the issues of aging using modern economic theory.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Course Content and Schedule
(1) Economics of population aging, demand for children, economics of gender;
(2) Generational equity using the Generational Accounts;
(3) Economics of Household, time allocation, life time optimization;
(4) Economic effect of public pension.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English part l yJapanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Times of your attendance and reports.

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Will be introduced in the course.

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NjkONzYwNTE2MTVa?cjc=e5ouhkg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
Note (Requirements, E-mail, Office Hour)
(1) You should have the basic knowledge of macro economics, microeconomics, econometrics.
(2) Office hour; 13:00-14:30 every Tuesday. (You have to reserve in advance.)
(3) The lecture will be provided partly in

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：Spring Thu. ２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
In this seminar, the instructor provides a student who is interensted in public economics, health economics, and other related fields with advices to complete own empirical MA or Ph.d. dissertation at the graduate school of economics and management in Tohoku univeristy.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The goal of this semester is that the student completes an empirical dissertation on health economics, public economics, or other related issues.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Depending on the progress, I instruct the two students at most per week to help them complete own empirical thesis.
Face-to-face seminars will be held for BCP level 2 and below, and online seminars (real time) will be held for BCP level 3 and above.
We use our Google Classroom (code: "ybbekkg") to communicate lecture information to each other.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and/or Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Comprehensive evaluation based on participation and presentation.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The student always are required to consider how own empirical study is published on the refereed journal.

１０．その他/In addition：
The students of this seminar must participate in the Workshops a/b organized by associate prof.Yoshida and prof. Wakabayashi as well as modern economics seminars.

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：Fall Thu. ２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
In this seminar, the instructor provides a student who is interensted in public economics, health economics, and other related fields with advices to complete own empirical MA or Ph.d. dissertation at the graduate school of economics and management in Tohoku univeristy.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The goal of this semester is that the student completes an empirical dissertation on health economics, public economics, or other related issues.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Depending on the progress, I instruct the two students at most per week to help them complete own empirical thesis.
Face-to-face seminars will be held for BCP level 2 and below, and online seminars (real time) will be held for BCP level 3 and above.
We use our Google Classroom (code: "ybbekkg") to communicate lecture information to each other.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and/or Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Comprehensive evaluation based on participation and presentation.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The student always are required to consider how own empirical study is published on the refereed journal.

１０．その他/In addition：
The students of this seminar must participate in the Workshops a/b organized by associate prof.Yoshida and prof. Wakabayashi as well as modern economics seminars.

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
In this seminar, the instructor provides a student who is interensted in public economics, health economics, and other related fields with advices to complete own empirical MA or Ph.d. dissertation at the graduate school of economics and management in Tohoku univeristy.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The goal of this semester is that the student completes an empirical dissertation on health economics, public economics, or other related issues.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Depending on the progress, I instruct the two students at most per week to help them complete own empirical thesis.
Face-to-face seminars will be held for BCP level 2 and below, and online seminars (real time) will be held for BCP level 3 and above.
We use our Google Classroom (code: "ybbekkg") to communicate lecture information to each other.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and/or Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Comprehensive evaluation based on participation and presentation.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The student always are required to consider how own empirical study is published on the refereed journal.

１０．その他/In addition：
The students of this seminar must participate in the Workshops a/b organized by associate prof.Yoshida and prof. Wakabayashi as well as modern economics seminars.

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
In this seminar, the instructor provides a student who is interensted in public economics, health economics, and other related fields with advices to complete own empirical MA or Ph.d. dissertation at the graduate school of economics and management in Tohoku univeristy.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The goal of this semester is that the student completes an empirical dissertation on health economics, public economics, or other related issues.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Depending on the progress, I instruct the two students at most per week to help them complete own empirical thesis.
Face-to-face seminars will be held for BCP level 2 and below, and online seminars (real time) will be held for BCP level 3 and above.
We use our Google Classroom (code: "ybbekkg") to communicate lecture information to each other.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and/or Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Comprehensive evaluation based on participation and presentation.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The student always are required to consider how own empirical study is published on the refereed journal.

１０．その他/In addition：
The students of this seminar must participate in the Workshops a/b organized by associate prof.Yoshida and prof. Wakabayashi as well as modern economics seminars.

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
In this seminar, the instructor provides a student who is interensted in public economics, health economics, and other related fields with advices to complete own empirical MA or Ph.d. dissertation at the graduate school of economics and management in Tohoku univeristy.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The goal of this semester is that the student completes an empirical dissertation on health economics, public economics, or other related issues.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Depending on the progress, I instruct the two students at most per week to help them complete own empirical thesis.
Face-to-face seminars will be held for BCP level 2 and below, and online seminars (real time) will be held for BCP level 3 and above.
We use our Google Classroom (code: "ybbekkg") to communicate lecture information to each other.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and/or Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Comprehensive evaluation based on participation and presentation.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The student always are required to consider how own empirical study is published on the refereed journal.

１０．その他/In addition：
The students of this seminar must participate in the Workshops a/b organized by associate prof.Yoshida and prof. Wakabayashi as well as modern economics seminars.

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
In this seminar, the instructor provides a student who is interensted in public economics, health economics, and other related fields with advices to complete own empirical MA or Ph.d. dissertation at the graduate school of economics and management in Tohoku univeristy.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The goal of this semester is that the student completes an empirical dissertation on health economics, public economics, or other related issues.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Depending on the progress, I instruct the two students at most per week to help them complete own empirical thesis.
Face-to-face seminars will be held for BCP level 2 and below, and online seminars (real time) will be held for BCP level 3 and above.
We use our Google Classroom (code: "ybbekkg") to communicate lecture information to each other.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and/or Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Comprehensive evaluation based on participation and presentation.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The student always are required to consider how own empirical study is published on the refereed journal.

１０．その他/In addition：
The students of this seminar must participate in the Workshops a/b organized by associate prof.Yoshida and prof. Wakabayashi as well as modern economics seminars.

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：佐々木　伯朗/NORIO SASAKI
曜日・講時/Day/Period：Spring Wed. ２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
課税と財政支出による再分配について、制度派経済学に基づいた書籍や論文を読み、現代の政治経済学の先端的な理論および実証分析について学ぶ。
In this seminar, we read several important books and articles dealing with the redistribution by tax or public expenditure, based on Institutional Economics, in order to learn advanced theory and real analyses of modern political economy.

２．学修の到達目標/Goal of study：
各国における再分配をめぐる政治の実態や、制度派経済学における国家と財政の理論のフロンティアを理解する。
To Understand the reality of the politics about redistribution, and the frontiers of the theory of states and public finance.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
課税や再分配を扱った重要な書籍や論文をいくつか選び、読んでいく。
We will read several important books and articles dealing with tax and redistribution.

授業は、原則対面で行い、状況に応じてオンラインリアルタイム方式(Google Meet 使用)でも行う。諸連絡は、Google Classroom で行う。
Google Classroom のコード：netesao
学内 BCP レベルで、「原則オンライン」になった場合は、オンライン授業とする。 If the BCP level of Tohoku University is "online in principle", the class is online.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語または英語
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績で評価する。
Evaluation will be based on ordinary developments in class.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

金持ち課税	シーヴ、スタサヴェージ	みすず書房	2018年	978-4-622-08701-4	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
受講に際しては、学部で学ぶ財政学・公共経済学の一通りの知識と、経済英語を読む能力が必要である。
To take this course, you need undergraduate level of public finance or public economics, and English skill used for economics and management.

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：佐々木　伯朗/NORIO SASAKI
曜日・講時/Day/Period：Fall Wed. ２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
課税と財政支出による再分配について、制度派経済学に基づいた書籍や論文を読み、現代の政治経済学の先端的な理論および実証分析について学ぶ。
In this seminar, we read several important books and articles dealing with the redistribution by tax or public expenditure, based on Institutional Economics, in order to learn advanced theory and real analyses of modern political economy.

２．学修の到達目標/Goal of study：
各国における再分配をめぐる政治の実態や、制度派経済学における国家と財政の理論のフロンティアを理解する。
To Understand the reality of the politics about redistribution, and the frontiers of the theory of states and public finance.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
課税や再分配を扱った重要な書籍や論文をいくつか選び、読んでいく。
We will read several important books and articles dealing with tax and redistribution.

授業は、原則対面で行い、状況に応じてオンラインリアルタイム方式(Google Meet 使用)でも行う。諸連絡は、Google Classroom で行う。
Google Classroom のコード：hrtaiug
学内 BCP レベルで、「原則オンライン」になった場合は、オンライン授業とする。
If the BCP level of Tohoku University is "online in principle", the class is online.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語または英語
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績で評価する。
Evaluation will be based on ordinary developments in class.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

金持ち課税	シーヴ、スタサヴェージ	みすず書房	2018年	978-4-622-08701-4	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
受講に際しては、学部で学ぶ財政学・公共経済学の一通りの知識と、経済英語を読む能力が必要である。
To take this course, you need undergraduate level of public finance or public economics, and English skill used for economics and management.

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：佐々木　伯朗/NORIO SASAKI
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Giving instruction for M.A. thesis of public finance field

２．学修の到達目標/Goal of study：
Although the concrete purposes depend on each research theme, the project reports must fulfill following conditions.
1. Clear academic contribution
2. Reasonable statements from research questions to conclusion
3. Correct statistical treatment of date and considerations

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The participants need to do it every time.
1. Report of the research
2. Responding to the comments or questions
3. Considering how to improve the research

This course will be held by face-to-face in principle and online real-time method via Google Meet according to circumstances. If the BCP level of Tohoku University is "online in principle", the class is online.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
It depends on the content of the project reports.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：佐々木　伯朗/NORIO SASAKI
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Giving instruction for M.A. thesis of public finance field

２．学修の到達目標/Goal of study：
Although the concrete purposes depend on each research theme, the project reports must fulfill following conditions.
1. Clear academic contribution
2. Reasonable statements from research questions to conclusion
3. Correct statistical treatment of date and considerations

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The participants need to do it every time.
1. Report of the research
2. Responding to the comments or questions
3. Considering how to improve the research

This course will be held by face-to-face in principle and online real-time method via Google Meet according to circumstances. If the BCP level of Tohoku University is "online in principle", the class is online.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
It depends on the content of the project reports.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：佐々木　伯朗/NORIO SASAKI
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Giving instruction for M.A. thesis of public finance field

２．学修の到達目標/Goal of study：
Although the concrete purposes depend on each research theme, the project reports must fulfill following conditions.
1. Clear academic contribution
2. Reasonable statements from research questions to conclusion
3. Correct statistical treatment of date and considerations

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The participants need to do it every time.
1. Report of the research
2. Responding to the comments or questions
3. Considering how to improve the research

This course will be held by face-to-face in principle and online real-time method via Google Meet according to circumstances. If the BCP level of Tohoku University is "online in principle", the class is online.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
It depends on the content of the project reports.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：佐々木　伯朗/NORIO SASAKI
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Giving instruction for M.A. thesis of public finance field

２．学修の到達目標/Goal of study：
Although the concrete purposes depend on each research theme, the project reports must fulfill following conditions.
1. Clear academic contribution
2. Reasonable statements from research questions to conclusion
3. Correct statistical treatment of date and considerations

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The participants need to do it every time.
1. Report of the research
2. Responding to the comments or questions
3. Considering how to improve the research

This course will be held by face-to-face in principle and online real-time method via Google Meet according to circumstances. If the BCP level of Tohoku University is "online in principle", the class is online.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
It depends on the content of the project reports.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Seminar in Management a/Seminar in Management a

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：Spring Wed. 2
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
・本授業では、論文を輪読することを通じて、論文とは何かを理解する。
・最終的には一人で論文を読み、評価し、自分でも書くことができるようになることを目的とする。

・ In this class, the students will understand what academic papers are through reading and discussion.
・ The students will be able to read, evaluate, and write academic papers by themselves.

2．学修の到達目標/Goal of study：
・論文とは何かについて理解する。
・論文を読みこなし、評価する力をつける。
・サーベイ論文を書く.

To understand "what is research and what is writing papers?"
To nurture the ability to read academic papers and evaluate them
To write a survey paper

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・講義の形態はリアルタイムのオンライン。状況が許せば対面講義に切り替える（水、2限目)。
・初回は必ずオンラインで開催するので必ず参加してほしい。
・初回の講義までに担当教員にメールを送ること。それを受けて担当教員はGoogleMeetのURLを送る。

・ The form of the lecture is real-time online. If circumstances permit, switch to face-to-face lectures (Wednesday, 2nd period).
・ Because the first time will be held online, please be sure to participate.
・ Send an email to the instructor by the first class. In response, the instructor sends the URL of Google Meet.

・受講者は講義内で読むべき論文を探し、皆で共有する。
・講義内で担当者が自分が選んだ論文をまとめたものを発表し、それについてディスカッションを行う。
・論文に対する評価を行う。

・ The students will search for a paper that they want to read in the lecture and share it with everyone.
・ In the lecture, the person in charge will present a summary of the papers of his choice and discuss it.
・ Evaluate the paper.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語(Japanese)

6．成績評価方法/Evaluation method：
・出席は7割が必須条件。(無断欠席は許可しない)。
・レポーター時の発表
・授業内での発言・態度
・課題(文献レビュー)

上記を鑑み評価する（黙って座っているだけでは評価されないことに注意)。

All students have to attend the class (70% of all class attendances should be required.)
Absent without notice is not allowed.
The students are evaluated based on (1) class attendance, (2) quality of reporting, and (3) active involvement in the discussion、(4)report(literature review).

Silent students are not welcome.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
・授業前に指定された部分を読み、質問を考えてくる。

All students have to read the designated part and have questions in advance of the class.

１０．その他/In addition：
・Classroom は使用しない。
・受講予定の学生は、初回講義までに担当教員にメールで受講希望を必ず提出すること。そのメールに対して、GoogleMeet の URL を伝える。
・受講生は、Google Meet が使える環境を整えておいてほしい。

・使用言語は日本語または英語。
・授業に関する相談は随時受け付ける。メールで事前連絡をすること。
・連絡先は、michi@tohoku.ac.jp　まで。

・We don't use the Classroom.
・ Send an

Seminar in Management b/Seminar in Management b

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：Fall Wed. 2
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
・本授業では、論文を輪読することを通じて、論文とは何かを理解する。
・最終的には一人で論文を読み、評価し、自分でも書くことができるようになることを目的とする。

・ In this class, the students will understand what academic papers are through reading and discussion.
・ The students will be able to read, evaluate, and write academic papers by themselves.

2．学修の到達目標/Goal of study：
・論文とは何かについて理解する。
・論文を読みこなし、評価する力をつける。
・サーベイ論文を書く.

To understand "what is research and what is writing papers?"
To nurture the ability to read academic papers and evaluate them
To write a survey paper

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・講義の形態はリアルタイムのオンライン。状況が許せば対面講義に切り替える（水、2限目)。
・初回は必ずオンラインで開催するので必ず参加してほしい。
・初回の講義までに担当教員にメールを送ること。それを受けて担当教員はGoogleMeetのURLを送る。

・ The form of the lecture is real-time online. If circumstances permit, switch to face-to-face lectures (Wednesday, 2nd period).
・ Because the first time will be held online, please be sure to participate.
・ Send an email to the instructor by the first class. In response, the instructor sends the URL of Google Meet.

・受講者は講義内で読むべき論文を探し、皆で共有する。
・講義内で担当者が自分が選んだ論文をまとめたものを発表し、それについてディスカッションを行う。
・論文に対する評価を行う。

・ The students will search for a paper that they want to read in the lecture and share it with everyone.
・ In the lecture, the person in charge will present a summary of the papers of his choice and discuss it.
・ Evaluate the paper.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語(Japanese)

6．成績評価方法/Evaluation method：
・出席は7割が必須条件。(無断欠席は許可しない)。
・レポーター時の発表
・授業内での発言・態度
・課題(文献レビュー)

上記を鑑み評価する（黙って座っているだけでは評価されないことに注意)。

All students have to attend the class (70% of all class attendances should be required.)
Absent without notice is not allowed.
The students are evaluated based on (1) class attendance, (2) quality of reporting, and (3) active involvement in the discussion、(4)report(literature review).

Silent students are not welcome.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
・授業前に指定された部分を読み、質問を考えてくる。

All students have to read the designated part and have questions in advance of the class.

１０．その他/In addition：
・Classroom は使用しない。
・受講予定の学生は、初回講義までに担当教員にメールで受講希望を必ず提出すること。そのメールに対して、GoogleMeet の URL を伝える。
・受講生は、Google Meet が使える環境を整えておいてほしい。

・使用言語は日本語または英語。
・授業に関する相談は随時受け付ける。メールで事前連絡をすること。
・連絡先は、michi@tohoku.ac.jp　まで。

・We don't use the Classroom.
・ Send an

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This course aims to development of research ideas through literature review and discussion.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To formulate appropriate research questions
To have detailed knowledge of the research area through reviewing the literature

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
In every class, designated students report their research progress. Based on the reports, discussions are conducted.

Students have to prepare for their presentation.

This seminar is an online lecture. Students have to create an environment for using GoogleMeet.
The URL of GoogleMeet will be informed by the instructor each time.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese or English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Class attendance
Positive class participation
Quality of presentation

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Social research methods 4th edition	Alan Bryman	Oxford University Press	2012	978-0-19-958805-3

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Reading good research papers is recommended, even if they are not related to your research directly.

１０．その他/In addition：
The students who want to take this class have to email to the instructor by April 16.
Absent without notice is never allowed.
Students may contact me at any time by email (michi@tohoku.ac.jp).
If students need to see me, please email me in advance an

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This course aims to development of research ideas through literature review and discussion.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To formulate appropriate research questions
To have detailed knowledge of the research area through reviewing the literature

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
In every class, designated students report their research progress. Based on the reports, discussions are conducted.

Students have to prepare for their presentation.

This seminar is an online lecture. Students have to create an environment for using GoogleMeet.
The URL of GoogleMeet will be informed by the instructor each time.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese or English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Class attendance
Positive class participation
Quality of presentation

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Social research methods 4th edition	Alan Bryman	Oxford University Press	2012	978-0-19-958805-3

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Reading good research papers is recommended, even if they are not related to your research directly.

１０．その他/In addition：
The students who want to take this class have to email to the instructor by April 16.
Absent without notice is never allowed.
Students may contact me at any time by email (michi@tohoku.ac.jp).
If students need to see me, please email me in advance an

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This course aims to development of research ideas through literature review and discussion.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To formulate appropriate research questions
To have detailed knowledge of the research area through reviewing the literature

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
In every class, designated students report their research progress. Based on the reports, discussions are conducted.

Students have to prepare for their presentation.

This seminar is an online lecture. Students have to create an environment for using GoogleMeet.
The URL of GoogleMeet will be informed by the instructor each time.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese or English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Class attendance
Positive class participation
Quality of presentation

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Social research methods 4th edition	Alan Bryman	Oxford University Press	2012	978-0-19-958805-3

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Reading good research papers is recommended, even if they are not related to your research directly.

１０．その他/In addition：
The students who want to take this class have to email to the instructor by April 16.
Absent without notice is never allowed.
Students may contact me at any time by email (michi@tohoku.ac.jp).
If students need to see me, please email me in advance an

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This class is provided via GoogleMeet.
This course aims to development of research ideas through literature review and discussion.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To formulate appropriate research questions
To have detailed knowledge of the research area through reviewing the literature and research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
In each class, the instructor invites students to GoogleMeet.

In every class, designated students report their research progress. Based on the reports, discussions are conducted.
Students have to prepare for their presentation as well.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese or English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Class attendance
Positive class participation
Quality of presentation

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Social research methods 4th edition	Alan Bryman	Oxford University Press	2012	978-0-19-958805-3

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Reading good research papers is recommended, even if they are not related to your research directly.

１０．その他/In addition：
Absent without notice is never allowed.
Students may contact me at any time by email (michi@tohoku.ac.jp).
If they need to see me, please email me in advance and make an appointment.

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：増田　聡/SATORU MASUDA
曜日・講時/Day/Period：Spring Wed. 6
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Class code (Google Classroom)：EM4411

本演習では、広義の地域計画に関わるテーマを選び、受講者各自が文献サーベイとレビューを行い、これまでの研究成果及び論点を確認･整理することを目指す。さらに、修士論文執筆に必要となる基礎理論の理解と分析ツールの利用法の習得機会を提供する。
In this seminar, the participants will select themes related to the regional planning in a broad sense, and each student will conduct a literature survey and review to confirm and organize the research results and issues to date. In addition, it provides an opportunity to understand basic theories necessary for writing a master's thesis and to learn how to use analytical tools.

2．学修の到達目標/Goal of study：
・参加者は毎月の報告を行うことを通じて、プレゼンテーション及び討論の能力を高める
・各研究分野における主要論文とこれまでの研究成果を理解する
・文献レビューの成果報告をとりまとめ、修士論文の基礎資料を準備する
・論文執筆の基礎となる分析力を身につける

・Enhance your presentation and discussion skills through monthly reporting
・Read the major articles in each field and comprehend the results of preceding studies
・Compile the results of literature review and prepare basic materials for master's thesis
・Acquire analytical skills that will be the basis for your thesis writing

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者には毎月１回、各自の研究計画・テーマに従って選択した論文等の内容紹介に関する発表を行ってもらう。また必要に応じて、方法論や参加者の間で共有しうるテーマに関する論文・書籍を輪講する。
※コロナ感染症による BCP レベルが１の場合、オンライン（Google Meet）と対面を併用するが、レベルが２以上に上がった場合は、オンラインで行う。

○開講時２回：各自の関心あるテーマ（研究計画）の発表と次週以降の報告スケジュールの確定
（研究課題、先行研究、研究対象･地域、分析データ、解析手法など）
○第３回～第８回：選択した論文等の概要発表･討論、共通文献の輪講
・学協会誌掲載等のレビュー論文の検索･紹介（先行研究及び主要論点の把握）
　和文雑誌（都市計画学会誌「都市計画研究の現状と展望」等）
　英文雑誌（Planning Practice & Research、Planning Theory、Progress in Human Geography 等）
・各自の関心ある分野についての論文･書籍
・国立情報学研究所学協会情報発信サービス（学協会情報）： http://wwwsoc.nii.ac.jp/
・日経グローカル、経済レポート専門ニュース：http://www3.keizaireport.com/など
○第９回～第 12 回：新たな研究計画の報告
○閉講時２回：演習成果として、レビュー論文の執筆･報告（修士論文への発展を目指して）

Participants will be invited to give a presentation once a month about the contents of the preceding studies selected in accordance with your research plan and theme. If necessary, readings and lectures on methodologies and topics that can be shared among participants will be held.
※ If the BCP level due to coronary infections is 1, online (Google Meet) and face-to-face will be used together, but if the level rises to 2 or higher, online will be used.

○ Two times at the start of the course: Presentation of the theme (research plan) of your interest and determination of the reporting schedule for the next week and beyond
(Research issues, prior research, research target / region, analytical data and methods, etc.)
○ The 3rd to 8th: Outline presentation / discussion of selected papers
・ Search / introduction of review papers published in academic journals
・ Articles / books on the fields of interest
○ The 9th to 12th: Report of your revised research plan
○ Two times at the closing: Reporting your review essay as a final result of the seminar

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語

6．成績評価方法/Evaluation method：

演習への貢献（報告及び討論）と学期末の最終レポート（レビュー論文）から評価する。
Evaluation will be based on the contribution to the exercise (report and discussion) and the final report (review paper) at the end of the semester.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

まちの見方･調べ方	西村幸夫･野澤康編	朝倉書店	2010	978-4254266375	参考
住まいと街をつくるための調査のデザイン：インタビュー/アンケート/心理実験の手引き	日本建築学会編	オーム社	2011	978-4274209956	参考
建築･都市計画のための調査･分析方法（改訂版）	日本建築学会編	井上書院	2012	978-4753017546	参考
地域調査ことはじめ：あるく･みる･かく	梶田真･加藤政洋･仁平尊明編	ナカニシヤ出版	2007	978-4779501326	参考
RESAS の教科書 リーサス･ガイドブック	日経ビッグデータ編	日経 BP 社	2016	978-4822236601	参考
地図化すると世の中が見えてくる	伊藤智章	ベレ出版	2016	978-4860644888	参考
The Routledge Handbook of Planning Research Methods	E Silva, P Healey, N Harris and P Broeck (eds)	Routledge	2014	978-0415727952	参考

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Planning Practice & Research: https://www.tandfonline.com/toc/cppr20/current
Planning Theory: http://journals.sagepub.com/home/plt
Progress in Human Geography: http://journals.sagepub.com/home/phg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
前週に配られるレジメ及び参考資料を読了の上、翌週の演習に参加すること。
Graduate students should read the regimen and reference materials distributed the previous week in advance before participating in the exercise.

１０．その他/In addition：
・欠席する場合にはあらかじめ連絡し、毎月の報告義務を果たすこと。
・自らの報告担当の回には、前週の演習の際にレジメを人数分印刷し配布すること。
　印刷が間に合わない場合は、メールやグループウェアを利用して事前配津すること。
・履修の条件は特にないが、日本語によるコミュニケーションを中心とする。
　必要な連絡は、メール（s.masuda@tohoku.ac.jp）により行うこと。

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：増田　聡/SATORU MASUDA
曜日・講時/Day/Period：Fall Wed. 6
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Class code (Google Classroom)：EM4412

本演習では、広義の地域計画に関わるテーマを選び、受講者各自が文献サーベイとレビューを行い、これまでの研究成果及び論点を確認･整理することを目指す。さらに、修士論文執筆に必要となる基礎理論の理解と分析ツールの利用法の習得機会を提供する。
In this seminar, the participants will select themes related to the regional planning in a broad sense, and each student will conduct a literature survey and review to confirm and organize the research results and issues to date. In addition, it provides an opportunity to understand basic theories necessary for writing a master's thesis and to learn how to use analytical tools.

2．学修の到達目標/Goal of study：
・参加者は毎月の報告を行うことを通じて、プレゼンテーション及び討論の能力を高める
・各研究分野における主要論文とこれまでの研究成果を理解する
・文献レビューの成果報告をとりまとめ、修士論文の基礎資料を準備する
・論文執筆の基礎となる分析力を身につける

・Enhance your presentation and discussion skills through monthly reporting
・Read the major articles in each field and comprehend the results of preceding studies
・Compile the results of literature review and prepare basic materials for master's thesis
・Acquire analytical skills that will be the basis for your thesis writing

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者には毎月１回、各自の研究計画・テーマに従って選択した論文等の内容紹介に関する発表を行ってもらう。また必要に応じて、方法論や参加者の間で共有しうるテーマに関する論文・書籍を輪講する。
※コロナ感染症による BCP レベルが１の場合、オンライン（Google Meet）と対面を併用するが、レベルが２以上に上がった場合は、オンラインで行う。

○開講時２回：各自の関心あるテーマ（研究計画）の発表と次週以降の報告スケジュールの確定
（研究課題、先行研究、研究対象･地域、分析データ、解析手法など）
○第３回～第８回：選択した論文等の概要発表･討論、共通文献の輪講
・学協会誌掲載等のレビュー論文の検索･紹介（先行研究及び主要論点の把握）
　和文雑誌（都市計画学会誌「都市計画研究の現状と展望」等）
　英文雑誌（Planning Practice & Research、Planning Theory、Progress in Human Geography 等）
・各自の関心ある分野についての論文･書籍
・国立情報学研究所学協会情報発信サービス（学協会情報）： http://wwwsoc.nii.ac.jp/
・日経グローカル、経済レポート専門ニュース：http://www3.keizaireport.com/など
○第９回～第 12 回：新たな研究計画の報告
○閉講時２回：演習成果として、レビュー論文の執筆･報告（修士論文への発展を目指して）

Participants will be invited to give a presentation once a month about the contents of the preceding studies selected in accordance with your research plan and theme. If necessary, readings and lectures on methodologies and topics that can be shared among participants will be held.
※ If the BCP level due to coronary infections is 1, online (Google Meet) and face-to-face will be used together, but if the level rises to 2 or higher, online will be used.

○ Two times at the start of the course: Presentation of the theme (research plan) of your interest and determination of the reporting schedule for the next week and beyond
(Research issues, prior research, research target / region, analytical data and methods, etc.)
○ The 3rd to 8th: Outline presentation / discussion of selected papers
・ Search / introduction of review papers published in academic journals
・ Articles / books on the fields of interest
○ The 9th to 12th: Report of your revised research plan
○ Two times at the closing: Reporting your review essay as a final result of the seminar

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語

6．成績評価方法/Evaluation method：

演習への貢献（報告及び討論）と学期末の最終レポート（レビュー論文）から評価する。
Evaluation will be based on the contribution to the exercise (report and discussion) and the final report (review paper) at the end of the semester.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

まちの見方･調べ方	西村幸夫･野澤康編	朝倉書店	2010	978-4254266375	参考
住まいと街をつくるための調査のデザイン：インタビュー/アンケート/心理実験の手引き	日本建築学会編	オーム社	2011	978-4274209956	参考
建築･都市計画のための調査･分析方法（改訂版）	日本建築学会編	井上書院	2012	978-4753017546	参考
地域調査ことはじめ：あるく･みる･かく	梶田真･加藤政洋･仁平尊明編	ナカニシヤ出版	2007	978-4779501326	参考
RESAS の教科書 リーサス･ガイドブック	日経ビッグデータ編	日経 BP 社	2016	978-4822236601	参考
地図化すると世の中が見えてくる	伊藤智章	ベレ出版	2016	978-4860644888	参考
The Routledge Handbook of Planning Research Methods	E Silva, P Healey, N Harris and P Broeck (eds)	Routledge	2014	978-0415727952	参考

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Planning Practice & Research: https://www.tandfonline.com/toc/cppr20/current
Planning Theory: http://journals.sagepub.com/home/plt
Progress in Human Geography: http://journals.sagepub.com/home/phg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
前週に配られるレジメ及び参考資料を読了の上、翌週の演習に参加すること。
Graduate students should read the regimen and reference materials distributed the previous week in advance before participating in the exercise.

１０．その他/In addition：
・欠席する場合にはあらかじめ連絡し、毎月の報告義務を果たすこと。
・自らの報告担当の回には、前週の演習の際にレジメを人数分印刷し配布すること。
　印刷が間に合わない場合は、メールやグループウェアを利用して事前配津すること。
・履修の条件は特にないが、日本語によるコミュニケーションを中心とする。
　必要な連絡は、メール（s.masuda@tohoku.ac.jp）により行うこと。

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：増田　聡/SATORU MASUDA
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Class code (Google Classroom)：EM4413

広義の都市・地域計画に関する論文作成のための助言・指導を行うとともに、演習参加者に報告と討論の場を提供することを目的とする。「都市や地域を対象に(空間的)計画や政策を策定し、実行・評価すること」との関係性において、各人の研究課題がどのように位置づけられるのかを考えておいて欲しい。

The purpose of this course is to provide advice and guidance for the preparation of your dissertation on urban and regional planning in a broad sense, and to provide participants with opportunities of reporting and discussions. Please consider how your research agenda can be positioned in relation to "developing, implementing and evaluating (spatial) plans and policies for cities and regions."

2．学修の到達目標/Goal of study：
・1年間の研究計画を、1学期当初にまず完成させる
・修士論文の執筆に求められる計画理論等を明確にするとともに、その理解を進める
・先行研究のレビューを通じて、論文テーマに関する研究成果と検討すべき研究課題を明確にする
・論文執筆に必要なデータ処理・解析手法を理解し、研究方法の応用力を高める
・修士論文Ａを完成させる

・ Complete your one-year research plan at the beginning of the semester
・ Clarify the planning theory required for writing your master's thesis and promote your understanding on the theory
・ Clarify the research agenda through the review of previous studies
・ Understand the data processing and analysis methods required for writing papers, and enhance your research skills
・ Complete Master's thesis A

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習では、まず研究課題及び研究計画に関する報告を行い、各人の研究テーマに即した文献紹介、研究成果の発表を順次行う形式で進める。必要に応じて、基礎的かつ共通的な関連文献の輪講も行う。
※コロナ感染症による BCP レベルが 1 の場合、オンライン（Google Meet）と対面を併用するが、レベルが 2 以上に上がった場合は、オンラインで行う。

○2 年次第１学期（前半）
・調査・研究課題の設定と研究計画の作成（開講後１ヶ月中に、ドラフト案を提出のこと）
・文献収集、先行調査・研究の批判的紹介、データ所在の確認･収集、解析方法の検討
・論文構成案の作成と研究中間報告（開講後２ヶ月をめどに必ず報告のこと）
・修士論文・序章他のドラフト作成
○2 年次第２学期（後半）
・研究計画の改訂修正、論文構成案の確定
・研究進捗報告、特別演習又は学会報告等による中間報告
・研究成果の最終報告
○関連学会の年次大会等での報告
・学会活動の年間助ｒジュールを確認し、年度当初に、報告機会を設定する
・春期大会
・秋期大会
・その他研究会等

In this exercise, you will first report on your research theme and plan, and then introduce the results of literature survey and your research outputs. If necessary, lectures will be given on the basic ideas of planning theory.
※ If the BCP level due to coronary infections is 1, online (Google Meet) and face-to-face will be used together, but if the level rises to 2 or higher, online will be used.

○ 1st semester
・ Survey / research assignment and research plan making (draft plan must be submitted within one month after the course starts)
・ Literature collection, critical review of previous studies, confirmation and collection of data, and examination of analysis methods
・ Identification of your thesis structure, presentation of your interim report
・ Draft of the introduction chapter in your master thesis
○ 2nd semester

・ Revision of your research plan and finalization your thesis structure
・ Interim report on research progress
・ Final report of research results
○ Reports at related conferences
・ Confirm annual schedule of conferences and select reporting opportunities

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習への貢献（報告及び討論）によるが、特別演習や学会報告等の成果も評価する。
The evaluation will be based on the contribution to the exercises (reports and discussions), but the results of special exercises and conference reports will also be evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

まちの見方･調べ方	西村幸夫･野澤康編	朝倉書店	2010	978-4254266375	参考
住まいと街をつくるための調査のデザイン：インタビュー/アンケート/心理実験の手引き	日本建築学会編	オーム社	2011	978-4274209956	参考
建築･都市計画のための調査･分析方法（改訂版）	日本建築学会編	井上書院	2012	978-4753017546	参考
地域調査ことはじめ：あるく･みる･かく	梶田真･加藤政洋･仁平尊明編	ナカニシヤ出版	2007	978-4779501326	参考
RESAS の教科書 リーサス･ガイドブック	日経ビッグデータ編	日経 BP 社	2016	978-4822236601	参考
地図化すると世の中が見えてくる	伊藤智章	ベレ出版	2016	978-4860644888	参考
The Routledge Handbook of Planning Research Methods	E Silva, P Healey, N Harris and P Broeck (eds)	Routledge	2014	978-0415727952	参考

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Planning Practice & Research: https://www.tandfonline.com/toc/cppr20/current
Planning Theory: http://journals.sagepub.com/home/plt
Progress in Human Geography: http://journals.sagepub.com/home/phg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
・前週に配られるレジメ及び参考資料を読了の上、演習に参加すること。
・発表担当の回には、十分な準備を行い、分かりやすいプレゼンテーション資料を用意すること。

・Graduate students are expected to participate in the exercises after having read the regimen and reference materials distributed the previous week.
・Students are expected to prepare well for their presentations and prepare easy-to-understand presentation materials.

１０．その他/In addition：
・欠席する場合にはあらかじめ連絡し、毎月の報告義務を果たすこと。
・自らの報告担当の回には、前週の演習の際にレジメを人数分印刷し配布すること。
印刷が間に合わない場合は、メールやグループウェアを利用して事前配布すること。
・履修の条件は特にないが、日本語によるコミュニケーションを中心とする。
必要な連絡は、メール（s.masuda@tohoku.ac.jp）により行うこと。

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：増田　聡/SATORU MASUDA
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Class code (Google Classroom)：EM4413

広義の都市・地域計画に関する論文作成のための助言・指導を行うとともに、演習参加者に報告と討論の場を提供することを目的とする。「都市や地域を対象に(空間的)計画や政策を策定し、実行・評価すること」との関係性において、各人の研究課題がどのように位置づけられるのかを考えておいて欲しい。

The purpose of this course is to provide advice and guidance for the preparation of your dissertation on urban and regional planning in a broad sense, and to provide participants with opportunities of reporting and discussions. Please consider how your research agenda can be positioned in relation to "developing, implementing and evaluating (spatial) plans and policies for cities and regions."

2．学修の到達目標/Goal of study：
・１年間の研究計画を、１学期当初にまず完成させる
・修士論文の執筆に求められる計画理論等を明確にするとともに、その理解を進める
・先行研究のレビューを通じて、論文テーマに関する研究成果と検討すべき研究課題を明確にする
・論文執筆に必要なデータ処理・解析手法を理解し、研究方法の応用力を高める
・修士論文Ａを完成させる

・ Complete your one-year research plan at the beginning of the semester
・ Clarify the planning theory required for writing your master's thesis and promote your understanding on the theory
・ Clarify the research agenda through the review of previous studies
・ Understand the data processing and analysis methods required for writing papers, and enhance your research skills
・ Complete Master's thesis A

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習では、まず研究課題及び研究計画に関する報告を行い、各人の研究テーマに即した文献紹介、研究成果の発表を順次行う形式で進める。必要に応じて、基礎的かつ共通的な関連文献の輪講も行う。
※コロナ感染症による BCP レベルが１の場合、オンライン（Google Meet）と対面を併用するが、レベルが２以上に上がった場合は、オンラインで行う。

○2 年次第１学期（前半）
・調査・研究課題の設定と研究計画の作成（開講後１ヶ月中に、ドラフト案を提出のこと）
・文献収集、先行調査・研究の批判的紹介、データ所在の確認･収集、解析方法の検討
・論文構成案の作成と研究中間報告（開講後２ヶ月をめどに必ず報告のこと）
・修士論文・序章他のドラフト作成
○2 年次第２学期（後半）
・研究計画の改訂修正、論文構成案の確定
・研究進捗報告、特別演習又は学会報告等による中間報告
・研究成果の最終報告
○関連学会の年次大会等での報告
・学会活動の年間助ｒジュールを確認し、年度当初に、報告機会を設定する
・春期大会
・秋期大会
・その他研究会等

In this exercise, you will first report on your research theme and plan, and then introduce the results of literature survey and your research outputs. If necessary, lectures will be given on the basic ideas of planning theory.
※ If the BCP level due to coronary infections is 1, online (Google Meet) and face-to-face will be used together, but if the level rises to 2 or higher, online will be used.

○ 1st semester
・ Survey / research assignment and research plan making (draft plan must be submitted within one month after the course starts)
・ Literature collection, critical review of previous studies, confirmation and collection of data, and examination of analysis methods
・ Identification of your thesis structure, presentation of your interim report
・ Draft of the introduction chapter in your master thesis
○ 2nd semester

・ Revision of your research plan and finalization your thesis structure
・ Interim report on research progress
・ Final report of research results
○ Reports at related conferences
・ Confirm annual schedule of conferences and select reporting opportunities

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習への貢献（報告及び討論）によるが、特別演習や学会報告等の成果も評価する。
The evaluation will be based on the contribution to the exercises (reports and discussions), but the results of special exercises and conference reports will also be evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

まちの見方･調べ方	西村幸夫･野澤康編	朝倉書店	2010	978-4254266375	参考
住まいと街をつくるための調査のデザイン：インタビュー/アンケート/心理実験の手引き	日本建築学会編	オーム社	2011	978-4274209956	参考
建築･都市計画のための調査･分析方法（改訂版）	日本建築学会編	井上書院	2012	978-4753017546	参考
地域調査ことはじめ：あるく･みる･かく	梶田真･加藤政洋･仁平尊明編	ナカニシヤ出版	2007	978-4779501326	参考
RESAS の教科書 リーサス･ガイドブック	日経ビッグデータ編	日経 BP 社	2016	978-4822236601	参考
地図化すると世の中が見えてくる	伊藤智章	ベレ出版	2016	978-4860644888	参考
The Routledge Handbook of Planning Research Methods	E Silva, P Healey, N Harris and P Broeck (eds)	Routledge	2014	978-0415727952	参考

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Planning Practice & Research: https://www.tandfonline.com/toc/cppr20/current
Planning Theory: http://journals.sagepub.com/home/plt
Progress in Human Geography: http://journals.sagepub.com/home/phg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
・前週に配られるレジメ及び参考資料を読了の上、演習に参加すること。
・発表担当の回には、十分な準備を行い、分かりやすいプレゼンテーション資料を用意すること。

・Graduate students are expected to participate in the exercises after having read the regimen and reference materials distributed the previous week.
・Students are expected to prepare well for their presentations and prepare easy-to-understand presentation materials.

１０．その他/In addition：
・欠席する場合にはあらかじめ連絡し、毎月の報告義務を果たすこと。
・自らの報告担当の回には、前週の演習の際にレジメを人数分印刷し配布すること。
印刷が間に合わない場合は、メールやグループウェアを利用して事前配布すること。
・履修の条件は特にないが、日本語によるコミュニケーションを中心とする。
必要な連絡は、メール（s.masuda@tohoku.ac.jp）により行うこと。

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：増田　聡/SATORU MASUDA
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Class code (Google Classroom)：EM4413

広義の都市・地域計画に関する論文作成のための助言・指導を行うとともに、演習参加者に報告と討論の場を提供することを目的とする。「都市や地域を対象に(空間的)計画や政策を策定し、実行・評価すること」との関係性において、各人の研究課題がどのように位置づけられるのかを考えておいて欲しい。

The purpose of this course is to provide advice and guidance for the preparation of your dissertation on urban and regional planning in a broad sense, and to provide participants with opportunities of reporting and discussions. Please consider how your research agenda can be positioned in relation to "developing, implementing and evaluating (spatial) plans and policies for cities and regions."

2．学修の到達目標/Goal of study：
・１年間の研究計画を、１学期当初にまず完成させる
・修士論文の執筆に求められる計画理論等を明確にするとともに、その理解を進める
・先行研究のレビューを通じて、論文テーマに関する研究成果と検討すべき研究課題を明確にする
・論文執筆に必要なデータ処理・解析手法を理解し、研究方法の応用力を高める
・修士論文Ａを完成させる

・ Complete your one-year research plan at the beginning of the semester
・ Clarify the planning theory required for writing your master's thesis and promote your understanding on the theory
・ Clarify the research agenda through the review of previous studies
・ Understand the data processing and analysis methods required for writing papers, and enhance your research skills
・ Complete Master's thesis A

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習では、まず研究課題及び研究計画に関する報告を行い、各人の研究テーマに即した文献紹介、研究成果の発表を順次行う形式で進める。必要に応じて、基礎的かつ共通的な関連文献の輪講も行う。
※コロナ感染症による BCP レベルが１の場合、オンライン（Google Meet）と対面を併用するが、レベルが２以上に上がった場合は、オンラインで行う。

○2 年次第１学期（前半）
・調査・研究課題の設定と研究計画の作成（開講後１ヶ月中に、ドラフト案を提出のこと）
・文献収集、先行調査・研究の批判的紹介、データ所在の確認･収集、解析方法の検討
・論文構成案の作成と研究中間報告（開講後２ヶ月をめどに必ず報告のこと）
・修士論文・序章他のドラフト作成
○2 年次第２学期（後半）
・研究計画の改訂修正、論文構成案の確定
・研究進捗報告、特別演習又は学会報告等による中間報告
・研究成果の最終報告
○関連学会の年次大会等での報告
・学会活動の年間助ｒジュールを確認し、年度当初に、報告機会を設定する
・春期大会
・秋期大会
・その他研究会等

In this exercise, you will first report on your research theme and plan, and then introduce the results of literature survey and your research outputs. If necessary, lectures will be given on the basic ideas of planning theory.
※ If the BCP level due to coronary infections is 1, online (Google Meet) and face-to-face will be used together, but if the level rises to 2 or higher, online will be used.

○ 1st semester
・ Survey / research assignment and research plan making (draft plan must be submitted within one month after the course starts)
・ Literature collection, critical review of previous studies, confirmation and collection of data, and examination of analysis methods
・ Identification of your thesis structure, presentation of your interim report
・ Draft of the introduction chapter in your master thesis
○ 2nd semester

・ Revision of your research plan and finalization your thesis structure
・ Interim report on research progress
・ Final report of research results
○ Reports at related conferences
・ Confirm annual schedule of conferences and select reporting opportunities

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習への貢献（報告及び討論）によるが、特別演習や学会報告等の成果も評価する。
The evaluation will be based on the contribution to the exercises (reports and discussions), but the results of special exercises and conference reports will also be evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

まちの見方･調べ方	西村幸夫･野澤康編	朝倉書店	2010	978-4254266375	参考
住まいと街をつくるための調査のデザイン：インタビュー/アンケート/心理実験の手引き	日本建築学会編	オーム社	2011	978-4274209956	参考
建築･都市計画のための調査･分析方法（改訂版）	日本建築学会編	井上書院	2012	978-4753017546	参考
地域調査ことはじめ：あるく･みる･かく	梶田真･加藤政洋･仁平尊明編	ナカニシヤ出版	2007	978-4779501326	参考
RESAS の教科書 リーサス･ガイドブック	日経ビッグデータ編	日経 BP 社	2016	978-4822236601	参考
地図化すると世の中が見えてくる	伊藤智章	ベレ出版	2016	978-4860644888	参考
The Routledge Handbook of Planning Research Methods	E Silva, P Healey, N Harris and P Broeck (eds)	Routledge	2014	978-0415727952	参考

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Planning Practice & Research: https://www.tandfonline.com/toc/cppr20/current
Planning Theory: http://journals.sagepub.com/home/plt
Progress in Human Geography: http://journals.sagepub.com/home/phg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
・前週に配られるレジメ及び参考資料を読了の上、演習に参加すること。
・発表担当の回には、十分な準備を行い、分かりやすいプレゼンテーション資料を用意すること。

・Graduate students are expected to participate in the exercises after having read the regimen and reference materials distributed the previous week.
・Students are expected to prepare well for their presentations and prepare easy-to-understand presentation materials.

１０．その他/In addition：
・欠席する場合にはあらかじめ連絡し、毎月の報告義務を果たすこと。
・自らの報告担当の回には、前週の演習の際にレジメを人数分印刷し配布すること。
印刷が間に合わない場合は、メールやグループウェアを利用して事前配布すること。
・履修の条件は特にないが、日本語によるコミュニケーションを中心とする。
必要な連絡は、メール（s.masuda@tohoku.ac.jp）により行うこと。

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：増田　聡/SATORU MASUDA
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Class code (Google Classroom)：EM4413

広義の都市・地域計画に関する論文作成のための助言・指導を行うとともに、演習参加者に報告と討論の場を提供することを目的とする。「都市や地域を対象に(空間的)計画や政策を策定し、実行・評価すること」との関係性において、各人の研究課題がどのように位置づけられるのかを考えておいて欲しい。

The purpose of this course is to provide advice and guidance for the preparation of your dissertation on urban and regional planning in a broad sense, and to provide participants with opportunities of reporting and discussions. Please consider how your research agenda can be positioned in relation to "developing, implementing and evaluating (spatial) plans and policies for cities and regions."

2．学修の到達目標/Goal of study：
・１年間の研究計画を、１学期当初にまず完成させる
・修士論文の執筆に求められる計画理論等を明確にするとともに、その理解を進める
・先行研究のレビューを通じて、論文テーマに関する研究成果と検討すべき研究課題を明確にする
・論文執筆に必要なデータ処理・解析手法を理解し、研究方法の応用力を高める
・修士論文Ａを完成させる

・ Complete your one-year research plan at the beginning of the semester
・ Clarify the planning theory required for writing your master's thesis and promote your understanding on the theory
・ Clarify the research agenda through the review of previous studies
・ Understand the data processing and analysis methods required for writing papers, and enhance your research skills
・ Complete Master's thesis A

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習では、まず研究課題及び研究計画に関する報告を行い、各人の研究テーマに即した文献紹介、研究成果の発表を順次行う形式で進める。必要に応じて、基礎的かつ共通的な関連文献の輪講も行う。
※コロナ感染症による BCP レベルが１の場合、オンライン（Google Meet）と対面を併用するが、レベルが２以上に上がった場合は、オンラインで行う。

○2 年次第１学期（前半）
・調査・研究課題の設定と研究計画の作成（開講後１ヶ月中に、ドラフト案を提出のこと）
・文献収集、先行調査・研究の批判的紹介、データ所在の確認･収集、解析方法の検討
・論文構成案の作成と研究中間報告（開講後２ヶ月をめどに必ず報告のこと）
・修士論文・序章他のドラフト作成
○2 年次第２学期（後半）
・研究計画の改訂修正、論文構成案の確定
・研究進捗報告、特別演習又は学会報告等による中間報告
・研究成果の最終報告
○関連学会の年次大会等での報告
・学会活動の年間助ｒジュールを確認し、年度当初に、報告機会を設定する
・春期大会
・秋期大会
・その他研究会等

In this exercise, you will first report on your research theme and plan, and then introduce the results of literature survey and your research outputs. If necessary, lectures will be given on the basic ideas of planning theory.
※ If the BCP level due to coronary infections is 1, online (Google Meet) and face-to-face will be used together, but if the level rises to 2 or higher, online will be used.

○ 1st semester
・ Survey / research assignment and research plan making (draft plan must be submitted within one month after the course starts)
・ Literature collection, critical review of previous studies, confirmation and collection of data, and examination of analysis methods
・ Identification of your thesis structure, presentation of your interim report
・ Draft of the introduction chapter in your master thesis
○ 2nd semester

・ Revision of your research plan and finalization your thesis structure
・ Interim report on research progress
・ Final report of research results
○ Reports at related conferences
・ Confirm annual schedule of conferences and select reporting opportunities

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習への貢献（報告及び討論）によるが、特別演習や学会報告等の成果も評価する。
The evaluation will be based on the contribution to the exercises (reports and discussions), but the results of special exercises and conference reports will also be evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

まちの見方･調べ方	西村幸夫･野澤康編	朝倉書店	2010	978-4254266375	参考
住まいと街をつくるための調査のデザイン：インタビュー/アンケート/心理実験の手引き	日本建築学会編	オーム社	2011	978-4274209956	参考
建築･都市計画のための調査･分析方法（改訂版）	日本建築学会編	井上書院	2012	978-4753017546	参考
地域調査ことはじめ：あるく･みる･かく	梶田真･加藤政洋･仁平尊明編	ナカニシヤ出版	2007	978-4779501326	参考
RESAS の教科書 リーサス･ガイドブック	日経ビッグデータ編	日経 BP 社	2016	978-4822236601	参考
地図化すると世の中が見えてくる	伊藤智章	ベレ出版	2016	978-4860644888	参考
The Routledge Handbook of Planning Research Methods	E Silva, P Healey, N Harris and P Broeck (eds)	Routledge	2014	978-0415727952	参考

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Planning Practice & Research: https://www.tandfonline.com/toc/cppr20/current
Planning Theory: http://journals.sagepub.com/home/plt
Progress in Human Geography: http://journals.sagepub.com/home/phg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
・前週に配られるレジメ及び参考資料を読了の上、演習に参加すること。
・発表担当の回には、十分な準備を行い、分かりやすいプレゼンテーション資料を用意すること。

・Graduate students are expected to participate in the exercises after having read the regimen and reference materials distributed the previous week.
・Students are expected to prepare well for their presentations and prepare easy-to-understand presentation materials.

１０．その他/In addition：
・欠席する場合にはあらかじめ連絡し、毎月の報告義務を果たすこと。
・自らの報告担当の回には、前週の演習の際にレジメを人数分印刷し配布すること。
印刷が間に合わない場合は、メールやグループウェアを利用して事前配布すること。
・履修の条件は特にないが、日本語によるコミュニケーションを中心とする。
必要な連絡は、メール（s.masuda@tohoku.ac.jp）により行うこと。

Seminar in Management a/Seminar in Management a

担当教員/Instructor：酒井　健/KEN SAKAI
曜日・講時/Day/Period：Spring Wed. ２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
この授業では，サービス経営体を含む多様な組織を研究する上で有用な理論的視点を身に着ける．受講生はほぼ毎週，文献の指定箇所を読み込み，発表資料を作成する．授業を通じて積極的に議論することが求められる．　本演習はGoogle Meetを用いたリアルタイム・オンライン形式で行う予定．LMSにはGoogle Classroomを用いる．クラス コードはi4yxtnzを用いる．Google MeetのリンクはGoogle Classroomで確認のこと．対面式に変更する場合はGoogle Classroomあるいは講義で告知する．

In this course, students learn some theoretical perspectives useful for studying various organizations which include modern service providers. Almost every week, students have to read the designated parts of the literature and create the material. Besides, students need to discuss proactively through this course. We will hold this course on Google Meet (live streaming) and use Google Classroom as the learning management system. The class code isi4yxtnz. The students can see the link to Google Meet on Google Classroom. When changing to face-to-face, announcements will be made in the google classroom or through lectures.

２．学修の到達目標/Goal of study：
組織を研究する上で有用な諸理論を理解し，それを通じて研究に役立つアイデアを発見できるようになる．

The purpose of this course is to help students understand important theoretical perspectives for analyzing organizational dynamics and thus find some seeds of ideas that can be useful for their research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
毎回の授業で，受講生は各自作成した資料に基づき，指定文献（論文）に関する討議を行う．
In every class, students discuss the contents of the designated literature, based on the material that they created.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の報告・討論の量と質で評価する．無断欠席は減点の対象となる．

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
報告準備をしっかりと行う．

１０．その他/In addition：

Seminar in Management b/Seminar in Management b

担当教員/Instructor：酒井　健/KEN SAKAI
曜日・講時/Day/Period：Fall Wed. ２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
この授業では，サービス経営体を含む多様な組織を研究する上で有用な理論的視点を身に着ける．受講生はほぼ毎週，文献の指定箇所を読み込み，発表資料を作成する．授業を通じて積極的に議論することが求められる．　本演習はGoogle Meetを用いたリアルタイム・オンライン形式で行う．LMSにはGoogle Classroomを用いる．クラス コードはi4yxtnzである．Google MeetのリンクはGoogle Classroomで確認のこと．対面式に変更する場合はGoogle Classroomあるいは講義で告知する．

In this course, students learn some theoretical perspectives useful for studying various organizations which include modern service providers. Almost every week, students have to read the designated parts of the literature and create the material. Besides, students need to discuss proactively through this course. We will hold this course on Google Meet (live streaming) and use Google Classroom as the learning management system. The class code is i4yxtnz. The students can see the link to Google Meet on Google Classroom. When changing to face-to-face, announcements will be made in the google classroom or through lectures.

２．学修の到達目標/Goal of study：
組織を研究する上で有用な諸理論を理解し，それを通じて研究に役立つアイデアを発見できるようになる．

The purpose of this course is to help students understand important theoretical perspectives for analyzing organizational dynamics and thus find some seeds of ideas that can be useful for their research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
毎回の授業で，受講生は各自作成した資料に基づき，指定文献（論文）に関する討議を行う．
In every class, students discuss the contents of the designated literature, based on the material that they created.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の報告・討論の量と質で評価する．無断欠席は減点の対象となる．

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
報告準備をしっかりと行う．

１０．その他/In addition：

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：酒井　健/KEN SAKAI
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This course aims to the development of research ideas through literature review and discussion.
We will hold this course on Google Meet (live streaming) and use Google Classroom as the learning management system. The class code is i4yxtnz. The students can see the link to Google Meet on Google Classroom. When changing to face-to-face, announcements will be made in the google classroom or through lectures.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students will comprehend the image of the research process in social science, particularly the business and management area, and then find the "seeds" of their research questions and hypothesis through the extensive literature review.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
All Students have to prepare seriously to participate in this class. Every week, designated students present the summary of the assigned literature and show their ideas to drive their study. All participants discuss the presentation constructively and proactively, aiming to develop the colleague's study.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese or English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Evaluation is performed comprehensively based on class attendance, the degree of class participation, and the quality of presentation.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
If you are interested in this course, please email me directly (ken.sakai.e6@tohoku.ac.jp)

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：酒井　健/KEN SAKAI
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This course aims to the development of research ideas through literature review and discussion.
We will hold this course on Google Meet (live streaming) and use Google Classroom as the learning management system. The class code is i4yxtnz. The students can see the link to Google Meet on Google Classroom. When changing to face-to-face, announcements will be made in the google classroom or through lectures.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students will comprehend the image of the research process in social science, particularly the business and management area, and then find the "seeds" of their research questions and hypothesis through the extensive literature review.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
All Students have to prepare seriously to participate in this class. Every week, designated students present the summary of the assigned literature and show their ideas to drive their study. All participants discuss the presentation constructively and proactively, aiming to develop the colleague's study.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese or English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Evaluation is performed comprehensively based on class attendance, the degree of class participation, and the quality of presentation.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
If you are interested in this course, please email me directly (ken.sakai.e6@tohoku.ac.jp)

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：酒井　健/KEN SAKAI
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This course aims to the development of research ideas through literature review and discussion.
We will hold this course on Google Meet (live streaming) and use Google Classroom as the learning management system. The class code is i4yxtnz. The students can see the link to Google Meet on Google Classroom. When changing to face-to-face, announcements will be made in the google classroom or through lectures.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students will comprehend the image of the research process in social science, particularly the business and management area, and then find the "seeds" of their research questions and hypothesis through the extensive literature review.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
All Students have to prepare seriously to participate in this class. Every week, designated students present the summary of the assigned literature and show their ideas to drive their study. All participants discuss the presentation constructively and proactively, aiming to develop the colleague's study.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese or English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Evaluation is performed comprehensively based on class attendance, the degree of class participation, and the quality of presentation.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
If you are interested in this course, please email me directly (ken.sakai.e6@tohoku.ac.jp)

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：酒井　健/KEN SAKAI
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This course aims to the development of research ideas through literature review and discussion.
We will hold this course on Google Meet (live streaming) and use Google Classroom as the learning management system. The class code is i4yxtnz. The students can see the link to Google Meet on Google Classroom. When changing to face-to-face, announcements will be made in the google classroom or through lectures.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students will comprehend the image of the research process in social science, particularly the business and management area, and then find the "seeds" of their research questions and hypothesis through the extensive literature review.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
All Students have to prepare seriously to participate in this class. Every week, designated students present the summary of the assigned literature and show their ideas to drive their study. All participants discuss the presentation constructively and proactively, aiming to develop the colleague's study.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese or English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Evaluation is performed comprehensively based on class attendance, the degree of class participation, and the quality of presentation.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
If you are interested in this course, please email me directly (ken.sakai.e6@tohoku.ac.jp)

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：Spring Tue. 5
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom: 6bydwyv

The object of this seminar is to help students make his or her research on Asian economies. In easch session, a student or a guest speakers makes a presentation on his or her researche. Listners provide feed-backs.

2．学修の到達目標/Goal of study：
This seminar aims at improving students' master thesis researche on Asian economies.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Contents: A speaker is supposed to make a presentation on his or her own research in each session. Sometimes, study sessions may be held instead, in order to learn empirical analysis methods.

Schedule:
1st session : orientation
2nd to 15th session: A speaker makes presentation on his or her own research on Asian economies in each session.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
English (or other languages if necessary)

6．成績評価方法/Evaluation method：
Evaluated based on the quality of your research (including presentations and term papers). Good feed-backs to other students' presentations are also evaluated.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：
Prepare your own research and improve it based on feed-backs from listeners.

１０．その他/In addition：
In principle, only students who belong to Asian economy lab are allowed to join in this seminar. If you belong to other lab ,but want to take this seminar, then please contact me by e-mail and tell me 1) what your research topic is and 2) let me read a p

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：Fall Tue. 5
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom: 6bydwyv

The object of this seminar is to help students make his or her research on Asian economies. In easch session, a student or a guest speakers makes a presentation on his or her researche. Listners provide feed-backs.

2．学修の到達目標/Goal of study：
This seminar aims at improving students' master thesis researche on Asian economies.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Contents: A speaker is supposed to make a presentation on his or her own research in each session. Sometimes, study sessions may be held instead, in order to learn empirical analysis methods.

Schedule:
1st session : orientation
2nd to 15th session: A speaker makes presentation on his or her own research on Asian economies in each session.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
English (or other languages if necessary)

6．成績評価方法/Evaluation method：
Evaluated based on the quality of your research (including presentations and term papers). Good feed-backs to other students' presentations are also evaluated.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：
Prepare your own research and improve it based on feed-backs from listeners.

１０．その他/In addition：
In principle, only students who belong to Asian economy lab are allowed to join in this seminar. If you belong to other lab ,but want to take this seminar, then please contact me by e-mail and tell me 1) what your research topic is and 2) let me read a p

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom: 6bydwyv

The object of this seminar is to help students make his or her research on Asian economies. In easch session, a student or a guest speakers makes a presentation on his or her researche. Listners provide feed-backs.

２．学修の到達目標/Goal of study：
This seminar aims at improving students' master thesis researche on Asian economies.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Contents: A speaker is supposed to make a presentation on his or her own research in each session. Sometimes, study sessions may be held instead, in order to learn empirical analysis methods.

Schedule:
1st session : orientation
2nd to 15th session: A speaker makes presentation on his or her own research on Asian economies in each session.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English (or other languages if necessary)

６．成績評価方法/Evaluation method：
Evaluated based on the quality of your research (including presentations and term papers). Good feed-backs to other students' presentations are also evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Prepare your own research and improve it based on feed-backs from listeners.

１０．その他/In addition：
In principle, only students who belong to Asian economy lab are allowed to join in this seminar. If you belong to other lab ,but want to take this seminar, then please contact me by e-mail and tell me 1) what your research topic is and 2) let me read a p

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom: 6bydwyv

The object of this seminar is to help students make his or her research on Asian economies. In easch session, a student or a guest speakers makes a presentation on his or her researche. Listners provide feed-backs.

２．学修の到達目標/Goal of study：
This seminar aims at improving students' master thesis researche on Asian economies.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Contents: A speaker is supposed to make a presentation on his or her own research in each session. Sometimes, study sessions may be held instead, in order to learn empirical analysis methods.

Schedule:
1st session : orientation
2nd to 15th session: A speaker makes presentation on his or her own research on Asian economies in each session.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English (or other languages if necessary)

６．成績評価方法/Evaluation method：
Evaluated based on the quality of your research (including presentations and term papers). Good feed-backs to other students' presentations are also evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Prepare your own research and improve it based on feed-backs from listeners.

１０．その他/In addition：
In principle, only students who belong to Asian economy lab are allowed to join in this seminar. If you belong to other lab ,but want to take this seminar, then please contact me by e-mail and tell me 1) what your research topic is and 2) let me read a p

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom: 6bydwyv

The object of this seminar is to help students make his or her research on Asian economies. In easch session, a student or a guest speakers makes a presentation on his or her researche. Listners provide feed-backs.

２．学修の到達目標/Goal of study：
This seminar aims at improving students' master thesis researche on Asian economies.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Contents: A speaker is supposed to make a presentation on his or her own research in each session. Sometimes, study sessions may be held instead, in order to learn empirical analysis methods.

Schedule:
1st session : orientation
2nd to 15th session: A speaker makes presentation on his or her own research on Asian economies in each session.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English (or other languages if necessary)

６．成績評価方法/Evaluation method：
Evaluated based on the quality of your research (including presentations and term papers). Good feed-backs to other students' presentations are also evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Prepare your own research and improve it based on feed-backs from listeners.

１０．その他/In addition：
In principle, only students who belong to Asian economy lab are allowed to join in this seminar. If you belong to other lab ,but want to take this seminar, then please contact me by e-mail and tell me 1) what your research topic is and 2) let me read a p

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom: 6bydwyv

The object of this seminar is to help students make his or her research on Asian economies. In easch session, a student or a guest speakers makes a presentation on his or her researche. Listners provide feed-backs.

２．学修の到達目標/Goal of study：
This seminar aims at improving students' master thesis researche on Asian economies.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Contents: A speaker is supposed to make a presentation on his or her own research in each session. Sometimes, study sessions may be held instead, in order to learn empirical analysis methods.

Schedule:
1st session : orientation
2nd to 15th session: A speaker makes presentation on his or her own research on Asian economies in each session.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English (or other languages if necessary)

６．成績評価方法/Evaluation method：
Evaluated based on the quality of your research (including presentations and term papers). Good feed-backs to other students' presentations are also evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Prepare your own research and improve it based on feed-backs from listeners.

１０．その他/In addition：
In principle, only students who belong to Asian economy lab are allowed to join in this seminar. If you belong to other lab ,but want to take this seminar, then please contact me by e-mail and tell me 1) what your research topic is and 2) let me read a p

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：Spring Mon. 4
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業経済研究について，大学院生による報告と討論を行う。

Report and discussion on the research of industrial development.

２．学修の到達目標/Goal of study：
産業経済に関する専門論文を作成する上で，理論的・実証的に様々な解決すべき問題が生じる。これについて，ゼミナール形式で発見し，掘り下げ，解決の手がかりをつかむことが目標である。

Capacity building of students on the research of industrial development through seminar style

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
＊Google クラスルームは使用しない。受講手順は「その他」の欄を参照。
＊入学直後の学期にこの演習を履修する者
１巡目：参加者が論文作成に向けた自分の研究計画を発表し，議論する。どれだけ具体的な研究方法，研究ステップ，スケジュールを立てられるかがポイントである。
２巡目：参加者が先行研究，基本資料などについての分析・考察を発表し，議論する。
＊それ以外の者
参加者が自己の論文に向けて中間報告的な研究報告を行い，議論する。

教科書・参考書は事前には指定できない。報告者が文献サーベイを行う際に，他の受講者もその文献を購入する必要があるかもしれない。１ヶ月に 1-2 冊程度の文献購入が必要になるかもしれないので，注意すること。

Student should report on the following issues.
+Research plan
+Progress report
+Final report

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語。

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の討論への参加，報告によって評価する。無断欠席は減点対象となる。ただしやむを得ない事情があるものは個別に考慮する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

社会科学の考え方	野村康	名古屋大学出版会	2017	9784815808761	参考書
新装版 ケース・スタディの方法(第２版)	ロバート・K. イン	千倉書房	2011	9784805109779	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自分が発表する回のレジュメは３日前，フルペーパーは５日前まで参加者に送らなければならない。自分以外の受講者が発表するときは，それらを読んでこなければならない。その他，マニュアルを配布するので記載しているルールに従うこと。
ある１回のゼミの内容が，その後の研究生活すべてに役立つこともある。１回１回を大切に。

１０．その他/In addition：
院生によるレジュメ，スライド，報告は日本語か英語。討論と教員の解説は日本語で行う。
Seminar in Economics A と B は独立に履修できる。
参加者は，(1)産業経済に関連する研究テーマを持っていること，(2)担当者を指導教員，あるいは研究過程でのディスカッ

ション相手として希望すること，の二つの条件を満たすことが必要である。
　出席希望者は必ず１回目に出席するか，同日までにメール等で連絡すること。アドレスは以下の通り。
nozomu.kawabata.b1*tohoku.ac.

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：Fall Mon. ４
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業経済研究について，大学院生による報告と討論を行う。

Report and discussion on the research of industrial development.

２．学修の到達目標/Goal of study：
産業経済に関する専門論文を作成する上で，理論的・実証的に様々な解決すべき問題が生じる。これについて，ゼミナール形式で発見し，掘り下げ，解決の手がかりをつかむことが目標である。

Capacity building of students on the research of industrial development through seminar style

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
＊Google クラスルームは使用しない。受講手順は「その他」の欄を参照。
＊入学直後の学期にこの演習を履修する者
１巡目：参加者が論文作成に向けた自分の研究計画を発表し，議論する。どれだけ具体的な研究方法，研究ステップ，スケジュールを立てられるかがポイントである。
２巡目：参加者が先行研究，基本資料などについての分析・考察を発表し，議論する。
＊それ以外の者
参加者が自己の論文に向けて中間報告的な研究報告を行い，議論する。

教科書・参考書は事前には指定できない。報告者が文献サーベイを行う際に，他の受講者もその文献を購入する必要があるかもしれない。１ヶ月に 1-2 冊程度の文献購入が必要になるかもしれないので，注意すること。

Student should report on the following issues.
+Research plan
+Progress report
+Final report

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語。

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の討論への参加，報告によって評価する。無断欠席は減点対象となる。ただしやむを得ない事情があるものは個別に考慮する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

社会科学の考え方	野村康	名古屋大学出版会	2017	9784815808761	参考書
新装版 ケース・スタディの方法(第２版)	ロバート・K. イン	千倉書房	2011	9784805109779	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自分が発表する回のレジュメは３日前，フルペーパーは５日前まで参加者に送らなければならない。自分以外の受講者が発表するときは，それらを読んでこなければならない。その他，マニュアルを配布するので記載しているルールに従うこと。
ある１回のゼミの内容が，その後の研究生活すべてに役立つこともある。１回１回を大切に。

１０．その他/In addition：
院生によるレジュメ，スライド，報告は日本語か英語のどちらか。討論と教員の解説は日本語。
Seminar in Economics A と B は独立に履修できる。
参加者は，(1)産業経済に関連する研究テーマを持っていること，(2)担当者を指導教員，あるいは研究過程でのディスカッ

ション相手として希望すること，の二つの条件を満たすことが必要である。
　出席希望者は必ず１回目に出席するか，あるいは同日までにメール等で連絡すること。いずれもおこなわない者は，履修を認めない。アドレスは以下の通り。
no

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：Spring Mon. ３
対象学年/Eligible Participants：２年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業経済に関わる研究報告と討論

Report and discussion on the research of industrial development.

２．学修の到達目標/Goal of study：
産業経済に関わる以下の力を養う。
・論文作成のルールを守り，活用する能力
・論文の構成能力
・論理的な証明能力
・実証的な説明能力

Capacity building of students on the research of industrial development through seminar style.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
プロジェクト報告を経て修士（経済学）となるにふさわしい産業経済の研究能力を身に着けるための研究報告と討論を行う。高度に専門的な文献・資料の読解，個別分野での論点解明などに踏み込んだ討論を行う。

・研究計画の作成
・進捗報告
・最終報告

Student should report on the following issues.
+Research plan
+Progress report
+Final report

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語。

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の報告・討論による。無断欠席は減点の対象となる。ただしやむを得ない事情があるものは個別に考慮する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自分が発表する回のレジュメは３日前，フルペーパーは５日前まで参加者に送らなければならない。自分以外の受講者が発表するときは，それらを読んでこなければならない。
ある１回のゼミの内容が，その後の研究生活すべてに役立つこともある。１回１回を大切に。
徹底した準備なしに報告と討論はできない。報告と討論の内容を修士論文に活かすこと。

１０．その他/In addition：
院生によるレジュメと報告は日本語か英語のどちらかでよいが，討論と教員の解説は日本語で行う。
担当教員を指導教員としている院生が履修者となる。
新型コロナウイルスの感染状況に応じて，オンラインリアルタイム方式とせざるを得ない場合がある。

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：Fall Mon. ３
対象学年/Eligible Participants：２年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業経済に関わる研究報告と討論

Report and discussion on the research of industrial development.

２．学修の到達目標/Goal of study：
産業経済に関わる以下の力を養う。
・論文作成のルールを守り，活用する能力
・論文の構成能力
・論理的な証明能力
・実証的な説明能力

Capacity building of students on the research of industrial development through seminar style.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
プロジェクト報告を経て修士（経済学）となるにふさわしい産業経済の研究能力を身に着けるための研究報告と討論を行う。高度に専門的な文献・資料の読解，個別分野での論点解明などに踏み込んだ討論を行う。

・研究計画の作成
・進捗報告
・最終報告

Student should report on the following issues.
+Research plan
+Progress report
+Final report

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語。

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の報告・討論による。無断欠席は減点の対象となる。ただしやむを得ない事情があるものは個別に考慮する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自分が発表する回のレジュメは３日前，フルペーパーは５日前まで参加者に送らなければならない。自分以外の受講者が発表するときは，それらを読んでこなければならない。
ある１回のゼミの内容が，その後の研究生活すべてに役立つこともある。１回１回を大切に。
徹底した準備なしに報告と討論はできない。報告と討論の内容を修士論文に活かすこと。

１０．その他/In addition：
院生によるレジュメと報告は日本語か英語のどちらかでよいが，討論と教員の解説は日本語で行う。
担当教員を指導教員としている院生が履修者となる。
新型コロナウイルスの感染状況に応じて，オンラインリアルタイム方式とせざるを得ない場合がある。

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：Spring Mon. ３
対象学年/Eligible Participants：２年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業経済に関わる研究報告と討論

Report and discussion on the research of industrial development.

２．学修の到達目標/Goal of study：
産業経済に関わる以下の力を養う。
・論文作成のルールを守り，活用する能力
・論文の構成能力
・論理的な証明能力
・実証的な説明能力

Capacity building of students on the research of industrial development through seminar style.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
プロジェクト報告を経て修士（経済学）となるにふさわしい産業経済の研究能力を身に着けるための研究報告と討論を行う。高度に専門的な文献・資料の読解，個別分野での論点解明などに踏み込んだ討論を行う。

・研究計画の作成
・進捗報告
・最終報告

Student should report on the following issues.
+Research plan
+Progress report
+Final report

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語。

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の報告・討論による。無断欠席は減点の対象となる。ただしやむを得ない事情があるものは個別に考慮する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自分が発表する回のレジュメは３日前，フルペーパーは５日前まで参加者に送らなければならない。自分以外の受講者が発表するときは，それらを読んでこなければならない。
ある１回のゼミの内容が，その後の研究生活すべてに役立つこともある。１回１回を大切に。
徹底した準備なしに報告と討論はできない。報告と討論の内容を修士論文に活かすこと。

１０．その他/In addition：
院生によるレジュメと報告は日本語か英語のどちらかでよいが，討論と教員の解説は日本語で行う。
担当教員を指導教員としている院生が履修者となる。
新型コロナウイルスの感染状況に応じて，オンラインリアルタイム方式とせざるを得ない場合がある。

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：Fall Mon. ３
対象学年/Eligible Participants：２年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業経済に関わる研究報告と討論

Report and discussion on the research of industrial development.

２．学修の到達目標/Goal of study：
産業経済に関わる以下の力を養う。
・論文作成のルールを守り，活用する能力
・論文の構成能力
・論理的な証明能力
・実証的な説明能力

Capacity building of students on the research of industrial development through seminar style.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
プロジェクト報告を経て修士（経済学）となるにふさわしい産業経済の研究能力を身に着けるための研究報告と討論を行う。高度に専門的な文献・資料の読解，個別分野での論点解明などに踏み込んだ討論を行う。

・研究計画の作成
・進捗報告
・最終報告

Student should report on the following issues.
+Research plan
+Progress report
+Final report

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語。

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の報告・討論による。無断欠席は減点の対象となる。ただしやむを得ない事情があるものは個別に考慮する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自分が発表する回のレジュメは３日前，フルペーパーは５日前まで参加者に送らなければならない。自分以外の受講者が発表するときは，それらを読んでこなければならない。
ある１回のゼミの内容が，その後の研究生活すべてに役立つこともある。１回１回を大切に。
徹底した準備なしに報告と討論はできない。報告と討論の内容を修士論文に活かすこと。

１０．その他/In addition：
院生によるレジュメと報告は日本語か英語のどちらかでよいが，討論と教員の解説は日本語で行う。
担当教員を指導教員としている院生が履修者となる。
新型コロナウイルスの感染状況に応じて，オンラインリアルタイム方式とせざるを得ない場合がある。

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：永易　淳/JUN NAGAYASU
曜日・講時/Day/Period：Spring Wed. 4
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The objectives of this class are 1) to become familiar with previous research in the area of international economics, 2) to learn relevant statistical theories and improve computer programming skills, 3) to acquire hands-on experience writing lengthy reports, and 4) to gain presentation skills.

2．学修の到達目標/Goal of study：
By the end of this class, students should be able to decide on a research topic for theses/projects.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The teaching method depends on the pandemic situation. In any case, please join the live-online class on the first day; I shall inform you of class details during the introduction.

Google Meet: https://meet.google.com/oaf-fycr-iwz
Google Classroom code: di4uzso
Please use the university email address to join Google Classroom.

Students are expected to show progress in their research regularly and submit a term paper (about 20 pages). At the same time, they learn statistical methods and a programming language to apply statistical theories to economic and financial data.

1. Introduction
2. Writing a thesis
3. Research proposal by students
4. Statistical data
5. Graphs
6. Literature survey I
7. Literature survey II
8. Research proposal by students I
9. Research proposal by students II
10. Research proposal by students III
11. Summary

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
English

6．成績評価方法/Evaluation method：
Term paper(100%).
No credit will be given if there is evidence of plagiarism.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://sites.google.com/site/nagayasuj/home

9．授業時間外学修/Preparation and Review：
Homework will be given every week.

１０．その他/In addition：
Prerequisites: Economic theory, Statistics, Math, English proficiency.

Other information: see the abovementioned homepage.
Take this class during the first year if you wish to write a thesis or carry out a project under my supervision.
Students are enc

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：永易　淳/JUN NAGAYASU
曜日・講時/Day/Period：Fall Wed. 4
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The objectives of this class are 1) to become familiar with previous research in the area of international economics, 2) to learn relevant statistical theories and improve computer programming skills, 3) to acquire hands-on experience writing lengthy reports, and 4) to gain presentation skills.

2．学修の到達目標/Goal of study：
By the end of this class, students should be able to decide on a research topic for theses/projects.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The teaching method depends on the pandemic situation. In any case, please join the live-online class on the first day; I shall inform you of class details during the introduction.

Google Meet: https://meet.google.com/oaf-fycr-iwz
Google Classroom code: di4uzso
Please use the university email address to join Google Classroom.

Students are expected to show progress in their research regularly and submit a term paper (about 20 pages). At the same time, they learn statistical methods and a programming language to apply statistical theories to economic and financial data.

1. Introduction
2. Writing a thesis
3. Research proposal by students
4. Statistical data
5. Graphs
6. Literature survey I
7. Literature survey II
8. Research proposal by students I
9. Research proposal by students II
10. Research proposal by students III
11. Summary

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
English

6．成績評価方法/Evaluation method：
Term paper(100%).
No credit will be given if there is evidence of plagiarism.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://sites.google.com/site/nagayasuj/home

9．授業時間外学修/Preparation and Review：
Homework will be given every week.

１０．その他/In addition：
Prerequisites: Economic theory, Statistics, Math, English proficiency.

Other information: see the abovementioned homepage.
Take this class during the first year if you wish to write a thesis or carry out a project under my supervision.
Students are enc

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：永易　淳/JUN NAGAYASU
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The objectives of this class are 1) to become familiar with previous research in the area of international economics, 2) to learn relevant statistical theories and improve computer programming skills, 3) to acquire hands-on experience writing lengthy reports, and 4) to gain presentation skills.

２．学修の到達目標/Goal of study：
By the end of this class, students should progress with their theses/projects.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The teaching method depends on the pandemic situation. In any case, please join the live-online class on the first day; I shall inform you of class details during the introduction.

Google Meet: https://meet.google.com/oaf-fycr-iwz
Google Classroom code: di4uzso
Please use the university email address to join Google Classroom.

Students are expected to show progress in their research regularly and submit a term paper (about 20 pages). At the same time, they learn statistical methods and a programming language to apply statistical theories to economic and financial data.

1. Introduction
2. Writing a thesis
3. Research proposal by students
4. Statistical data
5. Graphs
6. Literature survey I
7. Literature survey II
8. Research proposal by students I
9. Research proposal by students II
10. Research proposal by students III
11. Summary

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Term paper(100%).
No credit will be given if there is evidence of plagiarism.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://sites.google.com/site/nagayasuj/home

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Homework will be given every week.

１０．その他/In addition：
Prerequisites: Economic theory, Statistics, Math, English proficiency.

Other information: see the abovementioned homepage.
Take this class if you wish to write a thesis or carry out a project under my supervision during the second year.
Students are en

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：永易　淳/JUN NAGAYASU
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The objectives of this class are 1) to become familiar with previous research in the area of international economics, 2) to learn relevant statistical theories and improve computer programming skills, 3) to acquire hands-on experience writing lengthy reports, and 4) to gain presentation skills.

２．学修の到達目標/Goal of study：
By the end of this class, students should progress with their theses/projects.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The teaching method depends on the pandemic situation. In any case, please join the live-online class on the first day; I shall inform you of class details during the introduction.

Google Meet: https://meet.google.com/oaf-fycr-iwz
Google Classroom code: di4uzso
Please use the university email address to join Google Classroom.

Students are expected to show progress in their research regularly and submit a term paper (about 20 pages). At the same time, they learn statistical methods and a programming language to apply statistical theories to economic and financial data.

1. Introduction
2. Writing a thesis
3. Research proposal by students
4. Statistical data
5. Graphs
6. Literature survey I
7. Literature survey II
8. Research proposal by students I
9. Research proposal by students II
10. Research proposal by students III
11. Summary

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Term paper(100%).
No credit will be given if there is evidence of plagiarism.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://sites.google.com/site/nagayasuj/home

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Homework will be given every week.

１０．その他/In addition：
Prerequisites: Economic theory, Statistics, Math, English proficiency.

Other information: see the abovementioned homepage.
Take this class during the second year if you wish to write a thesis or carry out a project under my supervision.
Students are en

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：永易　淳/JUN NAGAYASU
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The objectives of this class are 1) to become familiar with previous research in the area of international economics, 2) to learn relevant statistical theories and improve computer programming skills, 3) to acquire hands-on experience writing lengthy reports, and 4) to gain presentation skills.

２．学修の到達目標/Goal of study：
By the end of this class, students should be able to decide on a research topic for theses/projects.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The teaching method depends on the pandemic situation. In any case, please join the live-online class on the first day; I shall inform you of class details during the introduction.

Google Meet: https://meet.google.com/oaf-fycr-iwz
Classroom code: di4uzso
Please use the university email address to join Google Classroom.

Students are expected to show progress in their research regularly and submit a term paper (about 20 pages). At the same time, they learn statistical methods and a programming language to apply statistical theories to economic and financial data.

1. Introduction
2. Writing a thesis
3. Research proposal by students
4. Statistical data
5. Graphs
6. Literature survey I
7. Literature survey II
8. Research proposal by students I
9. Research proposal by students II
10. Research proposal by students III
11. Summary

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Term paper(100%).
No credit will be given if there is evidence of plagiarism.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://sites.google.com/site/nagayasuj/home

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Homework will be given every week.

１０．その他/In addition：
Prerequisites: Economic theory, Statistics, Math, English proficiency.

Other information: see the abovementioned homepage.
Take this class during the second year if you wish to write a thesis or carry out a project under my supervision.
Students are en

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：永易　淳/JUN NAGAYASU
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The objectives of this class are 1) to become familiar with previous research in the area of international economics, 2) to learn relevant statistical theories and improve computer programming skills, 3) to acquire hands-on experience writing lengthy reports, and 4) to gain presentation skills.

２．学修の到達目標/Goal of study：
By the end of this class, students should be able to decide on a research topic for theses/projects.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The teaching method depends on the pandemic situation. In any case, please join the live-online class on the first day; I shall inform you of class details during the introduction.

Google Meet: https://meet.google.com/oaf-fycr-iwz
Classroom code: di4uzso
Please use the university email address to join Google Classroom.

Students are expected to show progress in their research on a regular basis and to submit a term paper (about 20 pages). At the same time, they are expected to learn statistical methods and a programming language to apply statistical theories to economic and financial data.

1. Introduction
2. Writing a thesis
3. Research proposal by students
4. Statistical data
5. Graphs
6. Literature survey I
7. Literature survey II
8. Research proposal by students I
9. Research proposal by students II
10. Research proposal by students III
11. Summary

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Term paper(100%).
No credit will be given if there is evidence of plagiarism.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://sites.google.com/site/nagayasuj/home

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Homework will be given every week.

１０．その他/In addition：
Prerequisites: Economic theory, Statistics, Math, English proficiency.

Other information: see the abovementioned homepage.
Take this class during the second year if you wish to write a thesis or carry out a project under my supervision.
Students are en

Seminar in Management a/Seminar in Management a

担当教員/Instructor：菅原　歩/AYUMU SUGAWARA
曜日・講時/Day/Period：Spring Wed. ５
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
修士論文作成のための研究報告
Writing reports on your research topic for master thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
先行研究のサーベイと修士論文における研究課題の発見を目標とする
Reviewing literature on and finding own topic of your research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
この授業は、対面、オンライン、のいずれであってもグーグル・クラスルームを使用します。
クラスコードは、　5r2nb5k　　です。(これは、グローバル経営史演習 Ia のクラスルームと同じになります。)

基本的に、BCP レベル１は対面、ＢＣＰ２も少人数であれば対面、BCP３以上であれば、オンライン（リアルタイム）のみで実施します。

（全体として、その時のＢＣＰのガイドライン自体の変更や、教室の収容状況などによって上記からさらに変更があり得ます。そういった際は、教務掲示板と上記のグーグル・クラスルームですみやかに通知します。)

グーグル・クラスルームへの登録と学務情報システムへの「履修登録」は連動していませんので、必ずそれぞれを行うこと。

内容：参加者による研究報告と討論
Presenting reports and discussing about them.
方法：報告者が自分の研究分野の先行研究についてのレビュー報告を行う
Your reports review the literature on your research field.

１）ガイダンス
２）研究報告と討論
３）研究報告と討論
４）研究報告と討論
５）研究報告と討論
６）研究報告と討論
７）研究報告と討論
８）研究報告と討論
９）研究報告と討論
１０）研究報告と討論
１１）研究報告と討論
１２）研究報告と討論
１３）研究報告と討論
１４）研究報告と討論
１５）研究報告と討論

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
評価方法：報告内容と討論への貢献度

グーグル・クラスルームへの登録と学務情報システムへの「履修登録」は連動していませんので、必ずそれぞれを行うこと。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習：研究報告の作成に努めること。
復習：演習中に研究テーマに関して与えられた課題に応じること。

１０．その他/In addition：
履修の条件（１）：第１回の演習までにこのシラバスを読んでいること。
履修の条件（２）：研究テーマが、担当者の専門である歴史的研究と妥当な関連性を持っていること。
その他：担当教員の許可を得れば演習 Ia と演習 Ib は独立に履修できる。
教科書と参考書について：受講者の研究内容に応じて演習中に指示する。

この授業は、対面、オンライン、のいずれであってもグーグル・クラスルームを使用します。
クラスコードは、　5r2nb5k　　です。（これは、グローバル経営史演習 Ia のクラスルームと
同じになります

Seminar in Management b/Seminar in Management b

担当教員/Instructor：菅原　歩/AYUMU SUGAWARA
曜日・講時/Day/Period：Fall Wed. ５
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
修士論文作成のための研究報告
Writing reports on your research topic for master thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
先行研究のサーベイと修士論文における研究課題の発見を目標とする
Reviewing literature on and finding own topic of your research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
この授業は、対面、オンライン、のいずれであってもグーグル・クラスルームを使用します。
クラスコードは、　37dmfec　です。(これは、グローバル経営史演習Ｉｂのクラスルームと同じになります。)

基本的に、BCP レベル１は対面、ＢＣＰ２も少人数であれば対面、BCP３以上であれば、オンライン（リアルタイム）のみで実施します。

（全体として、その時のＢＣＰのガイドライン自体の変更や、教室の収容状況などによって上記からさらに変更があり得ます。そういった際は、教務掲示板と上記のグーグル・クラスルームですみやかに通知します。)

グーグル・クラスルームへの登録と学務情報システムへの「履修登録」は連動していませんので、必ずそれぞれを行うこと。

内容：参加者による研究報告と討論
Presenting reports and discussing about them.
方法：報告者が自分の研究分野の先行研究についてのレビュー報告を行う
Your reports review the literature on your research field.

１）ガイダンス
２）研究報告と討論
３）研究報告と討論
４）研究報告と討論
５）研究報告と討論
６）研究報告と討論
７）研究報告と討論
８）研究報告と討論
９）研究報告と討論
１０）研究報告と討論
１１）研究報告と討論
１２）研究報告と討論
１３）研究報告と討論
１４）研究報告と討論
１５）研究報告と討論

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
評価方法：報告内容と討論への貢献度

グーグル・クラスルームへの登録と学務情報システムへの「履修登録」は連動していませんので、必ずそれぞれを行うこと。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習：研究報告の作成に努めること。
復習：演習中に研究テーマに関して与えられた課題に応じること。

１０．その他/In addition：
履修の条件（１）：第１回の演習までにこのシラバスを読んでいること。
履修の条件（２）：研究テーマが、担当者の専門である歴史的研究と妥当な関連性を持っていること。
その他：担当教員の許可を得れば演習 Ia と演習 Ib は独立に履修できる。
教科書と参考書について：受講者の研究内容に応じて演習中に指示する。

この授業は、対面、オンライン、のいずれであってもグーグル・クラスルームを使用します。
クラスコードは、　37dmfec　です。（これは、グローバル経営史演習Ｉｂのクラスルームと同じになります。）

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：菅原　歩/AYUMU SUGAWARA
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
修士論文作成のための研究報告
Writing reports on your research topic for master thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
受講者の修士論文の内容の向上
Finishing writing your master thesis with better quality.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
この授業は、対面、オンライン、のいずれであってもグーグル・クラスルームを使用します。
クラスコードは、　o7tgl4v　です。(これは、グローバル経営史演習 IIa のクラスルームと同じになります。)

基本的に、BCP レベル１は対面、ＢＣＰ２も少人数であれば対面、BCP３以上であれば、オンライン（リアルタイム）のみで実施します。

（全体として、その時のＢＣＰのガイドライン自体の変更や、教室の収容状況などによって上記からさらに変更があり得ます。そういった際は、教務掲示板と上記のグーグル・クラスルームですみやかに通知します。)

グーグル・クラスルームへの登録と学務情報システムへの「履修登録」は連動していませんので、必ずそれぞれを行うこと。

内容：参加者による研究報告と討論
Presenting reports and discussing about them.
方法：報告者は修士論文作成の進展度合いを示す報告を行う
Your reports show progress of your own research.

１）ガイダンス
２）研究報告と討論
３）研究報告と討論
４）研究報告と討論
５）研究報告と討論
６）研究報告と討論
７）研究報告と討論
８）研究報告と討論
９）研究報告と討論
１０）研究報告と討論
１１）研究報告と討論
１２）研究報告と討論
１３）研究報告と討論
１４）研究報告と討論
１５）研究報告と討論

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
評価方法：報告内容と討論への貢献度

グーグル・クラスルームへの登録と学務情報システムへの「履修登録」は連動していませんので、必ずそれぞれを行うこと。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習：研究報告の作成に努めること。
復習：演習中に研究テーマに関して与えられた課題に応じること。

１０．その他/In addition：
履修の条件（１）：第１回の演習までにこのシラバスを読んでいること。
履修の条件（２）：研究テーマが、担当者の専門である歴史的研究と妥当な関連性を持っていること。

この授業は、対面、オンライン、のいずれであってもグーグル・クラスルームを使用します。
クラスコードは、　o7tgl4v　です。（これは、グローバル経営史演習 IIa のクラスルームと同じになります。）

基本的に、BCP レベル１は対面、ＢＣＰ２も少人数であれば対面、BCP３以上であれば、オンライン（リアルタイム）のみで実施します。

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：菅原　歩/AYUMU SUGAWARA
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
修士論文作成のための研究報告
Writing reports on your research topic for master thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
受講者の修士論文の内容の向上
Finishing writing your master thesis with better quality.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
この授業は、対面、オンライン、のいずれであってもグーグル・クラスルームを使用します。
クラスコードは、　o7tgl4v　です。(これは、グローバル経営史演習 IIa のクラスルームと同じになります。)

基本的に、BCP レベル１は対面、ＢＣＰ２も少人数であれば対面、BCP３以上であれば、オンライン（リアルタイム）のみで実施します。

（全体として、その時のＢＣＰのガイドライン自体の変更や、教室の収容状況などによって上記からさらに変更があり得ます。そういった際は、教務掲示板と上記のグーグル・クラスルームですみやかに通知します。)

グーグル・クラスルームへの登録と学務情報システムへの「履修登録」は連動していませんので、必ずそれぞれを行うこと。

内容：参加者による研究報告と討論
Presenting reports and discussing about them.
方法：報告者は修士論文作成の進展度合いを示す報告を行う
Your reports show progress of your own research.

１）ガイダンス
２）研究報告と討論
３）研究報告と討論
４）研究報告と討論
５）研究報告と討論
６）研究報告と討論
７）研究報告と討論
８）研究報告と討論
９）研究報告と討論
１０）研究報告と討論
１１）研究報告と討論
１２）研究報告と討論
１３）研究報告と討論
１４）研究報告と討論
１５）研究報告と討論

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
評価方法：報告内容と討論への貢献度

グーグル・クラスルームへの登録と学務情報システムへの「履修登録」は連動していませんので、必ずそれぞれを行うこと。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習：研究報告の作成に努めること。
復習：演習中に研究テーマに関して与えられた課題に応じること。

１０．その他/In addition：
履修の条件（１）：第１回の演習までにこのシラバスを読んでいること。
履修の条件（２）：研究テーマが、担当者の専門である歴史的研究と妥当な関連性を持っていること。

この授業は、対面、オンライン、のいずれであってもグーグル・クラスルームを使用します。
クラスコードは、　o7tgl4v　です。（これは、グローバル経営史演習 IIa のクラスルームと同じになります。）

基本的に、BCP レベル１は対面、ＢＣＰ２も少人数であれば対面、BCP３以上であれば、オンライン（リアルタイム）のみで実施します。

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：菅原　歩/AYUMU SUGAWARA
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
修士論文作成のための研究報告
Writing reports on your research topic for master thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
受講者の修士論文の内容の向上
Finishing writing your master thesis with better quality.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
この授業は、対面、オンライン、のいずれであってもグーグル・クラスルームを使用します。
クラスコードは、　3u2z3ee　です。(これは、グローバル経営史演習 IIb のクラスルームと同じになります。)

基本的に、BCP レベル１は対面、ＢＣＰ２も少人数であれば対面、BCP３以上であれば、オンライン（リアルタイム）のみで実施します。

（全体として、その時のＢＣＰのガイドライン自体の変更や、教室の収容状況などによって上記からさらに変更があり得ます。そういった際は、教務掲示板と上記のグーグル・クラスルームですみやかに通知します。)

グーグル・クラスルームへの登録と学務情報システムへの「履修登録」は連動していませんので、必ずそれぞれを行うこと。

内容：参加者による研究報告と討論
Presenting reports and discussing about them.
方法：報告者は修士論文作成の進展度合いを示す報告を行う
Your reports show progress of your own research.

１）ガイダンス
２）研究報告と討論
３）研究報告と討論
４）研究報告と討論
５）研究報告と討論
６）研究報告と討論
７）研究報告と討論
８）研究報告と討論
９）研究報告と討論
１０）研究報告と討論
１１）研究報告と討論
１２）研究報告と討論
１３）研究報告と討論
１４）研究報告と討論
１５）研究報告と討論

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告内容と討論への貢献度

グーグル・クラスルームへの登録と学務情報システムへの「履修登録」は連動していませんので、必ずそれぞれを行うこと。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習：研究報告の作成に努めること。
復習：演習中に研究テーマに関して与えられた課題に応じること。

１０．その他/In addition：
履修の条件（１）：第１回の演習までにこのシラバスを読んでいること。
履修の条件（２）：研究テーマが、担当者の専門である歴史的研究と妥当な関連性を持っていること。

この授業は、対面、オンライン、のいずれであってもグーグル・クラスルームを使用します。
クラスコードは、　3u2z3ee　です。（これは、グローバル経営史演習 IIb のクラスルームと同じになります。）

基本的に、BCP レベル１は対面、ＢＣＰ２も少人数であれば対面、BCP３以上であれば、オンライン（リアルタイム）のみで実施します。

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：菅原　歩/AYUMU SUGAWARA
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
修士論文作成のための研究報告
Writing reports on your research topic for master thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
受講者の修士論文の内容の向上
Finishing writing your master thesis with better quality.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
この授業は、対面、オンライン、のいずれであってもグーグル・クラスルームを使用します。
クラスコードは、　3u2z3ee　です。(これは、グローバル経営史演習 IIb のクラスルームと同じになります。)

基本的に、BCP レベル１は対面、ＢＣＰ２も少人数であれば対面、BCP３以上であれば、オンライン（リアルタイム）のみで実施します。

（全体として、その時のＢＣＰのガイドライン自体の変更や、教室の収容状況などによって上記からさらに変更があり得ます。そういった際は、教務掲示板と上記のグーグル・クラスルームですみやかに通知します。)

グーグル・クラスルームへの登録と学務情報システムへの「履修登録」は連動していませんので、必ずそれぞれを行うこと。

内容：参加者による研究報告と討論
Presenting reports and discussing about them.
方法：報告者は修士論文作成の進展度合いを示す報告を行う
Your reports show progress of your own research.

１）ガイダンス
２）研究報告と討論
３）研究報告と討論
４）研究報告と討論
５）研究報告と討論
６）研究報告と討論
７）研究報告と討論
８）研究報告と討論
９）研究報告と討論
１０）研究報告と討論
１１）研究報告と討論
１２）研究報告と討論
１３）研究報告と討論
１４）研究報告と討論
１５）研究報告と討論

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告内容と討論への貢献度

グーグル・クラスルームへの登録と学務情報システムへの「履修登録」は連動していませんので、必ずそれぞれを行うこと。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習：研究報告の作成に努めること。
復習：演習中に研究テーマに関して与えられた課題に応じること。

１０．その他/In addition：
履修の条件（１）：第１回の演習までにこのシラバスを読んでいること。
履修の条件（２）：研究テーマが、担当者の専門である歴史的研究と妥当な関連性を持っていること。

この授業は、対面、オンライン、のいずれであってもグーグル・クラスルームを使用します。
クラスコードは、　3u2z3ee　です。（これは、グローバル経営史演習 IIb のクラスルームと同じになります。）

基本的に、BCP レベル１は対面、ＢＣＰ２も少人数であれば対面、BCP３以上であれば、オンライン（リアルタイム）のみで実施します。

Seminar in Management a/Seminar in Management a

担当教員/Instructor：金　熙珍/HEEJIN KIM
曜日・講時/Day/Period：Spring Mon. ２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The purpose of this course is to understand the major topics and issues of international business research by reading some representative papers and discussing about them.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students are expected to understand
・the streams and trends of international business research
・what would possibly be their own field of research topics

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Students are required to prepare a short report about academic papers that would be previously handed out (or e-mailed). This weekly short report should contain summary of the paper and discussion points (criticisms or questions). In the class, background, research questions, methodologies, way of analysis, conclusions, and implications of each paper would be presented and discussed by participants. The reading list will be distributed at the class guidance, which would include such as:
①Johanson, J. and Vahlne, J. (1977). The internationalization process of the firm: a model of knowledge development and increasing foreign market commitments, Journal of International Business Studies, Vol.8, No.1, pp.23-32.
②Ghoshal, S. (1987). Global strategy: an organizing framework, Strategic Management Journal, Vol.8, pp.425-440.
③Hofstede, G. (1983). The cultural relativity of organizational practices and theories, Journal of International Business Studies, Fall, 75-89.

初回の講義は４月 11 日（月）となります。
下記の Google Meet リンクよりご参加ください。
meet.google.com/jgn-izvs-euj

Please join the first class on 11th April through the Google Meet link below
meet.google.com/jgn-izvs-euj

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Weekly short report50%, Participation to class discussions 50%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Seminar in Management b/Seminar in Management b

担当教員/Instructor：金　熙珍/HEEJIN KIM
曜日・講時/Day/Period：Fall Mon. ２
対象学年/Eligible Participants：１年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The purpose of this course is to understand the major topics and issues of international business research by reading some representative papers and discussing about them.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students are expected to understand
・the streams and trends of international business research
・what would possibly be their own field of research topics

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Students are required to prepare a short report about academic papers that would be previously handed out (or e-mailed). This weekly short report should contain summary of the paper and discussion points (criticisms or questions). In the class, background, research questions, methodologies, way of analysis, conclusions, and implications of each paper would be presented and discussed by participants. The reading list will be distributed at the class guidance, which would include such as:
①Johanson, J. and Vahlne, J. (1977). The internationalization process of the firm: a model of knowledge development and increasing foreign market commitments, Journal of International Business Studies, Vol.8, No.1, pp.23-32.
②Ghoshal, S. (1987). Global strategy: an organizing framework, Strategic Management Journal, Vol.8, pp.425-440.
③Hofstede, G. (1983). The cultural relativity of organizational practices and theories, Journal of International Business Studies, Fall, 75-89.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Weekly short report50%, Participation to class discussions 50%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：金　熙珍/HEEJIN KIM
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The goal of this course is to guide individual research for a master’s thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To complete a master’s thesis

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・Project Guidance (a) of Spring semester
-Selection of a specific research theme
-Literature review
-Collection of empirical data
・Project Guidance (b) of Fall semester
-Writing the thesis up
The process above will be guided individually. Students are required to make frequent presentations about the progress.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese /English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Quality and contents of master’s thesis

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：金　熙珍/HEEJIN KIM
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The goal of this course is to guide individual research for a master’s thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To complete a master’s thesis

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・Project Guidance (a) of Spring semester
-Selection of a specific research theme
-Literature review
-Collection of empirical data
・Project Guidance (b) of Fall semester
-Writing the thesis up
The process above will be guided individually. Students are required to make frequent presentations about the progress.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese /English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Quality and contents of master’s thesis

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：金　熙珍/HEEJIN KIM
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The goal of this course is to guide individual research for a master’s thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To complete a master’s thesis

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・Project Guidance (a) of Spring semester
-Selection of a specific research theme
-Literature review
-Collection of empirical data
・Project Guidance (b) of Fall semester
-Writing the thesis up
The process above will be guided individually. Students are required to make frequent presentations about the progress.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Quality and contents of master’s thesis

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：金　熙珍/HEEJIN KIM
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：2年/2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The goal of this course is to guide individual research for a master’s thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To complete a master’s thesis

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・Project Guidance (a) of Spring semester
-Selection of a specific research theme
-Literature review
-Collection of empirical data
・Project Guidance (b) of Fall semester
-Writing the thesis up
The process above will be guided individually. Students are required to make frequent presentations about the progress.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Quality and contents of master’s thesis

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

Workshop a/Workshop a

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO670E, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
この授業ではマイクロデータを用いた実証分析に関心のある学生対象のゼミである。
担当者は家族の経済学、労働経済学、社会保障、労働経済学に関心がある

My interest is empirical economics and the topic I am interested in is household economics, family economics, labor economics, and health economics, etc.

２．学修の到達目標/Goal of study：
マイクロデータを用いて論文を書くことが出来る

Complete master/doctor thesis by using micro data.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
学生によるプレゼンテーションが中心である。学期末にはレポートの提出を義務づける
The presentation in the class is needed. Also please submit the report at the end of the term。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に対しててはパワーポイントと印刷したスライドを用意すること
Please prepare slides for your own presentation.

１０．その他/In addition：
このゼミに出席予定の学生は、1回目の開催が変更になる可能性があるので、必ず事前にメール(midwak@tohoku.ac.jp) にて出席の意志を連絡すること

Please contact directly by email (midwak@tohoku.ac.jp) before attending this class. The first time of the class might be changed.

Workshop a/Workshop a

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM672E, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom : 6auxnds

現代経済の理論・学説，経済政策，産業・企業をはじめとする諸制度に関わるテーマを，広く社会的観点から議論します。大学院生が専門的研究を深めるとともに，専門分野とアプローチの枠を超えて交流することで，より広い観点から自らの研究の位置に関する認識を深められるようにします。研究計画立案から調査・分析，考察，論文の作成に至るまでを共同で指導することにより，研究成果の向上を図ります。

In this special seminar we will discuss various topics in theories of modern economy, history of economic thought, economic policy, and industrial and corporate systems. We expect that participants of this seminar will be able to broaden their perspective by communicating with researchers of diverse fields and methods.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・論文等の報告を通して、プレゼンテーションの技法を向上させる。
・議論を聞き、また議論に参加することによって、質疑討論の能力を高める。
・論文に関して批評を受け、論文をより良いものに仕上げる。

Participants of this special seminar will be able to:
- develop their presentation skill.
- hone their skill in the art of discussion.
- improve the paper they are currently working on.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
主として，各参加者が作成中または発表した論文について順次報告し、全員で討論します。修士または博士論文の提出予定者は、論文の事前報告をします。自分が報告しない場合であっても、報告を聴き討論に参加することを通じて、論文の作成方法を学ぶことができます。また、各自の取り組むべき課題の発見や問題意識の深化に寄与することになるでしょう。また，適宜外部スピーカーを招いて報告してもらう予定です。
開講頻度・日時については，学期期間中ほぼ一か月に一回の頻度で，木曜日の４講時・５講時に開講します。
初回は４月〇日の予定です。感染症の流行状況に応じて、オンライン開講に変更される可能性があります。最新の情報はGoogle Classroomで確認してください

Students are required to present the paper they are currently working on. They are also required to participate in the discussion in each class. We may occasionally invite guest speakers.
The first meeting will be held April **. It is possible that this seminar is held on line depending on the situation of the infectious disease. Please check the Google Classroom for the latest news.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語（報告は英語でしていただいても構いません。）

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の参加態度によります（出席状況、報告内容、討論への参加など)。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
それぞれの研究を進めること。
報告者が事前に配布するフルペーパーを読んだ上で参加すること。

１０．その他/In addition：

履修を希望する者は履修登録手続きをするとともにGoogle Classroomにも登録して初回の演習に必ず参加するようにしてください。

本年度は日置が幹事です。shiro.hioki.d3@tohoku.ac.jp

Workshop a/Workshop a

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：1 年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN670E, 単位数/Credit(s)：1

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習は
(1) 現代の企業およびその他組織における経営問題の理論的解明と実践的洞察を得ること、
(2) 地域政策の諸問題も含め、多様な視点を融合しながら現実の事象を分析・考察する能力を涵養すること、
を目的とする。そのために、受講生による研究報告会を定期的に開催し、成果報告と全体討論を行う。
・参加教員：藤本・増田・福嶋・西出・高浦・金・山﨑・一小路・酒井

This seminar is offered for the following purposes.
(1) obtain theoretical and practical insights into management issues in modern companies and other organizations
(2) foster the ability to analyze and consider actual phenomena including regional policy issues
To this end, research presentations will be held regularly, and students will report and discuss their research plans and results.
・Participating faculty members: Fujimoto, Masuda, Fukushima, Nishide, Takaura, Kim, Yamazaki, Ichikoji, Sakai

2．学修の到達目標/Goal of study：
現代経営・地域政策に関する理論的背景と実践的動向を理解し、自分なりの研究計画を構想でき、まとまった研究成果を報告できる段階に到達することを目標とする。

The goal is to understand the theoretical background and practical trends in modern management and regional policy, and to come up with a stage where you can design your own research plan and report a set of research results.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
研究報告会の形式による。
・受講生による研究報告、報告に対する全体での討論、個別コメント。

Holding a research report sessions.
・Research reports by the students, general discussions and comments on the reports.

2022 年度前期の講義は 4 月 21 日からオンラインで実施するので、受講希望者は 4 月 21 日（木）の 5 限（16:20～17:50）に下記の Google Classroom の Meet から参加すること。

本講義に関するお知らせは、下記の Google Classroom に掲載する。

「経営学特別演習Ａ　a /b, B a/b 共通（通年)」クラスコード：ipyetkd
https://classroom.google.com/c/NDcwODczNTM3NzI5?cjc=ipyetkd

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：
日本語（発表等については英語可）
Japanese (English is also acceptable for presentations)

6．成績評価方法/Evaluation method：
報告内容、討論への参加の程度等を基準に評価する。他の報告者へのコメントについては、開講時に指示するコメント・フォームにアクセスして記入すること（欠席時は配布資料を受領してから記入)。
教科書は特に用いない。報告資料やリーディング資料は随時、用意・指示する。

Evaluation will be based on the content of the report and the degree of participation in the discussion. For comments to other reporters, access and fill out the comment form instructed at the start of the course.
Handouts and reading materials will be instructed and distributed if necessary.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NDcwODczNTM3NzI5?cjc=ipyetkd

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
配布資料があれば可能な限り事前に目を通しておくこと。クラス討論の後に、自分なりのコメントをまとめ、批判的読解力を得ることが大切である。
Review any handouts in advance if possible. After class discussions, it is also important to compile your own comments and gain critical reading skills.

１０．その他/In addition：
【履修条件】
・本特別演習 Aa・Ab を継続して履修するのが望ましいが、単独受講も可能である。
・隔週の木曜日 5 講時 16:20-17:50（両学期）に開講予定。（オンライン開催）
発表当番を決めるので各学期初回のガイダンス（4 月 21 日/10 月 13 日）に参加すること。
その際に、コメント・フォーム等に関する情報を伝える。
・上記日程以外に、週末等に実施される学内講演会への出席を求める場合がある。
・詳しい日程等については、随時、上記エントリー後にメールにて通知する。

【連絡先】本年度幹事

Workshop a/Workshop a

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM670E, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習は、近世・近現代の日本、アジア、欧米諸地域の歴史に関心を持つ研究者の交流を通じて経済史・経営史に関する幅広い知識と歴史研究に要する分析能力を身に付ける機会を提供し、各履修者の研究テーマに関する報告・討論を通じてプレゼンテーションおよび史料批判の方法について学習することを目的とする。ここでは特に論文作成に向けて直接の指導教員だけでなく他のアカデミック・スタッフからアドバイスを受けることに主眼を置くとともに、研究内容について様々な視点から吟味できるようセミナーの雰囲気づくりにも配慮したい。

To get knowledge about economic and business history by presentation of each participants' own researches and Q and A. To get advise from many faculties over the completion of M.A. and Ph.D. Thesis.

本講義の関する詳細は、Google Classroomを参照されたい。

The detail of this class is shown in the Google Classroom.

２．学修の到達目標/Goal of study：
修士・博士論文の完成に向けて論理の組み立て、史料分析、文献引用を中心に、これらを厳密に行う能力を養う。

To get academic capacity necessary for completing M.A. and Ph.D. thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
履修希望者はコーディネータとなる教員へｅメールを送信すること。

履修者は、詳しいレジュメをもとに各自の研究課題、リサーチの意義、独創性などに触れながら、５０～６０分程度の報告を担当する。その後、上記担当教員の指導を含め、参加者全員でディスカッションを行う。特にマスター２年目の院生は、修士論文提出期限までの期間を考慮し、完成度の高い研究報告を行うことが望まれる。
前期・後期初回のオリエンテーションの際に報告の順番を決定するので、履修希望者は必ず各学期最初の授業に出席し、本演習の進め方について説明を受けること。最初の授業の日時・教室等は掲示にて通知する。

Presertation of his/her own research followed by Q and A.

本演習は、経済史・経営史関係の教員と、経済史・経営史関係を専門に勉強・研究する大学院生が一堂に会して報告と質疑応答をおこなうジョイント・セミナーです。経済史・経営史関係の教員として参加を予定している教員は以下のとおりです。

小田中直樹（社会思想史）
川名洋（西欧経済史）
菅原歩（グローバル経営史）
結城武延（経営史、今年度コーディネータ）

This is a kind of joint seminar gathering faculties and student specializing Economic or Business history.Faculties to participate in will be as follows:
*ODANAKA,Naoki (Socio-intellectual History)
*KAWANA, Yoh (The Economic Hisotory of Western Europe)
*Sugawara, Ayumu (Global Business History)
*YUKI, Takenobu (Business History, The coordinator)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究報告による。

Presentation will be evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各教員の指示に従う。

１０．その他/In addition：
履修の条件：経済史・経営史に関心があること。
その他：関連学会の東北地区部会などについてのアナウンスも行いますので、研究の向上のためにそれらにも参加されることを希望します。
クラスコード：2qffelx

Workshop a/Workshop a

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM671E, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
classroom code is ysjxotd

経済・経営分野のデータ科学に関する演習を行う。

This is a compusory subject for Data Science Program or Fraduate Program in Data Science. Any students with interests in Data Science are welcome to attend. We organize a session to learn basic technique for data science in Economics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経済・経営分野における諸問題について自ら考え、データ科学の方法によって解決できること。

To learn a way to solve several issues in Economics by data science.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
ゲストスピーカーによる lecture を受講する

We hold a workshop eevry week by invited guest speaker or a faculty member working on data science.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
ゲストスピーカー講演をまとめたレポートを毎回提出してもらう。内容と出席で評価する。

by a small report summarizing seminars, which we assign to submit within one week after seminars.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
使用言語：英語および日本語

Workshop a/Workshop a

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：Spring
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-EC0673E, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The purpose of this workshop is to help gradual students improve own research on economics of aging, public finance, public economics, welfare economy, health economics, and other important issues in aging society, such as, employment, income distribution, social security system, and public policies.

２．学修の到達目標/Goal of study：
By the end of the semester, students will be able to confirm own originality of the ongoing study, to get the additional knowledge and hints to improve own study, and to improve own skills for presentation and discussion.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
We plan to hold a seminar, and the speaker is the graduate student and the academic researcher in Tohoku University and/or outside who is interested in public economics, public finance, economics of aging, welfare economy, health economics, and other important issues in aging society.

Each student presents the interim report of own dissertation, own research for the upcoming conference, or an abstract and progress of own ongoing research.

Speakers must upload own presentation files on the Google Classroom (the code is "aktqjvb") by the day before the workshop and prepare for printed documents for participants on the day when we have a face-to-face seminar.

Students who do not make a presentation in each class have to hand in a "comment-sheet" with own impressions, questions, and comments on the presentation.

Note that we hold hybrid seminar (real and online) when the BCP level defined April 1, 2022 is 3. In this type, presenters and instructors conduct the discuss in a real classroom, while others participate in the seminar online. In addition, we hold online seminars (real-time) when the BCP level is more than 4.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and/or Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Students must make one or more presentation and submit a comment-sheet to obtain the credit. In addition, the grade depends on preparation, attendance, discussion, comment-report, and something else in the class.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NzAyNzY4MDI3MjFa?cjc=aktqjvb

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students requires to carefully prepare for own presentation and to improve own research as soon after receiving comments at the workshop.

１０．その他/In addition：
The graduate students who are affiliated with the seminars of aging economy, public finance, welfare economy, and health economics must participate in this workshop.
In addition, the students must also register other Workshop a/b organized by Prof. Wakab

Workshop b/Workshop b

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO670E, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
この授業ではマイクロデータを用いた実証分析に関心のある学生対象のゼミである。
担当者は家族の経済学、労働経済学、社会保障、労働経済学に関心がある

My interest is empirical economics and the topic I am interested in is household economics, family economics, labor economics, and health economics, etc.

２．学修の到達目標/Goal of study：
マイクロデータを用いて論文を書くことが出来る

Complete master/doctor thesis by using micro data.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
学生によるプレゼンテーションが中心である。学期末にはレポートの提出を義務づける
The presentation in the class is needed. Also please submit the report at the end of the term。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に対しててはパワーポイントと印刷したスライドを用意すること
Please prepare slides for your own presentation.

１０．その他/In addition：
このゼミに出席予定の学生は、1回目の開催が変更になる可能性があるので、必ず事前にメール(midwak@tohoku.ac.jp) にて出席の意志を連絡すること

Please contact directly by email (midwak@tohoku.ac.jp) before attending this class. The first time of the class might be changed.

Workshop b/Workshop b

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM672E, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom : 6auxnds

現代経済の理論・学説，経済政策，産業・企業をはじめとする諸制度に関わるテーマを，広く社会的観点から議論します。大学院生が専門的研究を深めるとともに，専門分野とアプローチの枠を超えて交流することで，より広い観点から自らの研究の位置に関する認識を深められるようにします。研究計画立案から調査・分析，考察，論文の作成に至るまでを共同で指導することにより，研究成果の向上を図ります。

In this special seminar we will discuss various topics in theories of modern economy, history of economic thought, economic policy, and industrial and corporate systems. We expect that participants of this seminar will be able to broaden their perspective by communicating with researchers of diverse fields and methods.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・論文等の報告を通して、プレゼンテーションの技法を向上させる。
・議論を聞き、また議論に参加することによって、質疑討論の能力を高める。
・論文に関して批評を受け、論文をより良いものに仕上げる。

Participants of this special seminar will be able to:
- develop their presentation skill.
- hone their skill in the art of discussion.
- improve the paper they are currently working on.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
主として，各参加者が作成中または発表した論文について順次報告し、全員で討論します。修士または博士論文の提出予定者は、論文の事前報告をします。自分が報告しない場合であっても、報告を聴き討論に参加することを通じて、論文の作成方法を学ぶことができます。また、各自の取り組むべき課題の発見や問題意識の深化に寄与することになるでしょう。また，適宜外部スピーカーを招いて報告してもらう予定です。
開講頻度・日時については，学期期間中ほぼ一か月に一回の頻度で，木曜日の4講時・5講時に開講します。
初回は 10 月〇日の予定です。感染症の流行状況に応じて、オンライン開講に変更される可能性があります。最新の情報は Google Classroom で確認してください

Students are required to present the paper they are currently working on. They are also required to participate in the discussion in each class. We may occasionally invite guest speakers.
The first meeting will be held on October **. It is possible that this seminar is held on line depending on the situation of the infectious disease. Please check the Google Classroom for the latest news.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語（報告は英語でしていただいても構いません。）

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の参加態度によります（出席状況、報告内容、討論への参加など)。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
それぞれの研究を進めること。
報告者が事前に配布するフルペーパーを読んだ上で参加すること。

１０．その他/In addition：

履修を希望する者は履修登録手続きをするとともにGoogle Classroomにも登録して初回の演習に必ず参加するようにしてください。

本年度は日置が幹事です。shiro.hioki.d3@tohoku.ac.jp

Workshop b/Workshop b

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN670E, 単位数/Credit(s)：1

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

本演習は
(1) 現代の企業およびその他組織における経営問題の理論的解明と実践的洞察を得ること、
(2) 地域政策の諸問題も含め、多様な視点を融合しながら現実の事象を分析・考察する能力を涵養すること、
を目的とする。そのために、受講生による研究報告会を定期的に開催し、成果報告と全体討論を行う。
・参加教員：藤本・増田・福嶋・西出・高浦・金・山﨑・一小路・酒井

This seminar is offered for the following purposes.
(1) obtain theoretical and practical insights into management issues in modern companies and other organizations
(2) foster the ability to analyze and consider actual phenomena including regional policy issues
To this end, research presentations will be held regularly, and students will report and discuss their research plans and results.
・Participating faculty members: Fujimoto, Masuda, Fukushima, Nishide, Takaura, Kim, Yamazaki, Ichikoji, Sakai

2．学修の到達目標/Goal of study：

現代経営・地域政策に関する理論的背景と実践的動向を理解し、自分なりの研究計画を構想でき、まとまった研究成果を報告できる段階に到達することを目標とする。

The goal is to understand the theoretical background and practical trends in modern management and regional policy, and to come up with a stage where you can design your own research plan and report a set of research results.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

研究報告会の形式による。
・受講生による研究報告、報告に対する全体での討論、個別コメント。

Holding a research report sessions.
・Research reports by the students, general discussions and comments on the reports.

2022年度前期の講義は4月21日からオンラインで実施するので、受講希望者は4月21日（木）の5限（16:20～17:50）に下記のGoogle ClassroomのMeetから参加すること。

本講義に関するお知らせは、下記のGoogle Classroomに掲載する。

「経営学特別演習Ａ　a/b, B a/b共通（通年)」クラスコード：ipyetkd
https://classroom.google.com/c/NDcwODczNTM3NzI5?cjc=ipyetkd

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

日本語（発表等については英語可）
Japanese (English is also acceptable for presentations)

6．成績評価方法/Evaluation method：

報告内容、討論への参加の程度等を基準に評価する。他の報告者へのコメントについては、開講時に指示するコメント・フォームにアクセスして記入すること（欠席時は配布資料を受領してから記入)。
教科書は特に用いない。報告資料やリーディング資料は随時、用意・指示する。

Evaluation will be based on the content of the report and the degree of participation in the discussion. For comments to other reporters, access and fill out the comment form instructed at the start of the course.
Handouts and reading materials will be instructed and distributed if necessary.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NDcwODczNTM3NzI5?cjc=ipyetkd

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
配布資料があれば可能な限り事前に目を通しておくこと。クラス討論の後に、自分なりのコメントをまとめ、批判的読解力を得ることが大切である。
Review any handouts in advance if possible. After class discussions, it is also important to compile your own comments and gain critical reading skills.

１０．その他/In addition：
【履修条件】
・本特別演習 Aa・Ab を継続して履修するのが望ましいが、単独受講も可能である。
・隔週の木曜日 5 講時 16:20-17:50（両学期）に開講予定。（オンライン開催）
発表当番を決めるので各学期初回のガイダンス（4 月 21 日/10 月 13 日）に参加すること。
その際に、コメント・フォーム等に関する情報を伝える。
・上記日程以外に、週末等に実施される学内講演会への出席を求める場合がある。
・詳しい日程等については、随時、上記エントリー後にメールにて通知する。

【連絡先】本年度幹事

Workshop b/Workshop b

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM670E, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習は、近世・近現代の日本、アジア、欧米諸地域の歴史に関心を持つ研究者の交流を通じて経済史・経営史に関する幅広い知識と歴史研究に要する分析能力を身に付ける機会を提供し、各履修者の研究テーマに関する報告・討論を通じてプレゼンテーションおよび史料批判の方法について学習することを目的とする。ここでは特に論文作成に向けて直接の指導教員だけでなく他のアカデミック・スタッフからアドバイスを受けることに主眼を置くとともに、研究内容について様々な視点から吟味できるようセミナーの雰囲気づくりにも配慮したい。

To get knowledge about economic and business history by presentation of each participants' own researches and Q and A. To get advise from many faculties over the completion of M.A. and Ph.D. Thesis.

本講義の関する詳細は、Google Classroom を参照されたい。

The detail of this class is shown in the Google Classroom.

２．学修の到達目標/Goal of study：
修士・博士論文の完成に向けて論理の組み立て、史料分析、文献引用を中心に、これらを厳密に行う能力を養う。

To get academic capacity necessary for completing M.A. and Ph.D. thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
履修希望者はコーディネータとなる教員へｅメールを送信すること。

履修者は、詳しいレジュメをもとに各自の研究課題、リサーチの意義、独創性などに触れながら、５０～６０分程度の報告を担当する。その後、上記担当教員の指導を含め、参加者全員でディスカッションを行う。特にマスター２年目の院生は、修士論文提出期限までの期間を考慮し、完成度の高い研究報告を行うことが望まれる。
前期・後期初回のオリエンテーションの際に報告の順番を決定するので、履修希望者は必ず各学期最初の授業に出席し、本演習の進め方について説明を受けること。最初の授業の日時・教室等は掲示にて通知する。

Presertation of his/her own research followed by Q and A.

本演習は、経済史・経営史関係の教員と、経済史・経営史関係を専門に勉強・研究する大学院生が一堂に会して報告と質疑応答をおこなうジョイント・セミナーです。経済史・経営史関係の教員として参加を予定している教員は以下のとおりです。

小田中直樹（社会思想史）
川名洋（西欧経済史）
菅原歩（グローバル経営史）
結城武延（経営史、今年度コーディネータ）

This is a kind of joint seminar gathering faculties and student specializing Economic or Business history.Faculties to participate in will be as follows:
*ODANAKA,Naoki (Socio-intellectual History)
*KAWANA, Yoh (The Economic Hisotory of Western Europe)
*Sugawara, Ayumu (Global Business History)
*YUKI, Takenobu (Business History, The coordinator)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究報告による。

Presentation will be evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各教員の指示に従う。

１０．その他/In addition：
履修の条件：経済史・経営史に関心があること。
その他：関連学会の東北地区部会などについてのアナウンスも行いますので、研究の向上のためにそれらにも参加されることを希望します。
クラスコード：2qffelx

Workshop b/Workshop b

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM671E, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経済・経営分野のデータ科学に関する演習を行う。

This is a compusory subject for Data Science Program or Fraduate Program in Data Science. Any students with interests in Data Science are welcome to attend. We organize a session to learn basic technique for data science in Economics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経済・経営分野における諸問題について自ら考え、データ科学の方法によって解決できること。

To learn a way to solve several issues in Economics by data science.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
ゲストスピーカーによる lecture を受講する

We hold a workshop eevry week by invited guest speaker or a faculty member working on data science.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
ゲストスピーカー講演をまとめたレポートを毎回提出してもらう。内容と出席で評価する。

by a small report summarizing seminars, which we assign to submit within one week after seminars.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
使用言語：英語および日本語

Workshop b/Workshop b

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：Fall
対象学年/Eligible Participants：1年/1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-EC0673E, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The purpose of this workshop is to help gradual students improve own research on economics of aging, public finance, public economics, welfare economy, health economics, and other important issues in aging society, such as, employment, income distribution, social security system, and public policies.

２．学修の到達目標/Goal of study：
By the end of the semester, students will be able to confirm own originality of the ongoing study, to get the additional knowledge and hints to improve own study, and to improve own skills for presentation and discussion.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
We plan to hold a seminar, and the speaker is the graduate student and the academic researcher in Tohoku University and/or outside who is interested in public economics, public finance, economics of aging, welfare economy, health economics, and other important issues in aging society.

Each student presents the interim report of own dissertation, own research for the upcoming conference, or an abstract and progress of own ongoing research.

Speakers must upload own presentation files on the Google Classroom (the code is "aktqjvb") by the day before the workshop and prepare for printed documents for participants on the day when we have a face-to-face seminar.

Students who do not make a presentation in each class have to hand in a "comment-sheet" with own impressions, questions, and comments on the presentation.

Note that we hold hybrid seminar (real and online) when the BCP level defined October 1, 2022 is 3. In this type, presenters and instructors conduct the discuss in a real classroom, while others participate in the seminar online. In addition, we hold online seminars (real-time) when the BCP level is more than 4.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and/or Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Students must make one or more presentation and submit a comment-sheet to obtain the credit. In addition, the grade depends on preparation, attendance, discussion, comment-report, and something else in the class.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NzAyNzY4MDI3MjFa?cjc=aktqjvb

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students requires to carefully prepare for own presentation and to improve own research as soon after receiving comments at the workshop.

１０．その他/In addition：
The graduate students who are affiliated with the seminars of aging economy, public finance, welfare economy, and health economics must participate in this workshop.
In addition, the students must also register other Workshop a/b and participate in Moder

現代経済学特別演習Ｂａ/Special Seminar on Contemporary Economics Ba

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：前期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO783J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習の目的は、大学院生が現代経済学（近代経済学）の最先端の研究に触れることにある。

The objective of this course is to study the current topics of contemporary economics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経済学の最先端の研究に触れることを通じて、参加者自身が問題意識を形成し、経済学の発展に寄与するような独自の研究ができるようになるとともに、研究成果を公的な場でアピールするためのスキルを修得する。

The goal of this course is to find a research theme and acquire the skill of clear presentation.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
今学期の演習ではオンラインで 9 月修了予定者の修士論文中間報告と教員の研究報告を行う予定である。今学期の演習参加者は、論文発表の有無も含めて若林(midwak@tohoku.ac.jp)まで各自の DC メールアドレスを連絡すること。

The details of the seminars will be announced by the e-mails based on the mailing list of the attendants of this workshop. Attendants must send an e-mail to the chief instructor of this course (Midori Wakabayashi):
midwak@tohoku.ac.jp
indicating their DC mail addresses.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習にどれだけ積極的に参加しているかを評価する。単位を取得しようとする者は、すべての研究報告に出席するように努めること（出席状況は毎回チェックする)。この演習で修士論文の中間報告を行う者については、そのことも考慮する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
http://www.econ.tohoku.ac.jp/~econ_seminar/

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

現代社会・経済・企業特別演習Ｂａ/Special Seminar on Modern Society, Economy, and Enterprise Ba

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：前期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM782J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom : 6auxnds

現代経済の理論・学説，経済政策，産業・企業をはじめとする諸制度に関わるテーマを，広く社会的観点から議論します。大学院生が専門的研究を深めるとともに，専門分野とアプローチの枠を超えて交流することで，より広い観点から自らの研究の位置に関する認識を深められるようにします。研究計画立案から調査・分析，考察，論文の作成に至るまでを共同で指導することにより，研究成果の向上を図ります。

In this special seminar we will discuss various topics in theories of modern economy, history of economic thought, economic policy, and industrial and corporate systems. We expect that participants of this seminar will be able to broaden their perspective by communicating with researchers of diverse fields and methods.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・論文等の報告を通して、プレゼンテーションの技法を向上させる。
・議論を聞き、また議論に参加することによって、質疑討論の能力を高める。
・論文に関して批評を受け、論文をより良いものに仕上げる。

Participants of this special seminar will be able to:
- develop their presentation skill.
- hone their skill in the art of discussion.
- improve the paper they are currently working on.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
主として，各参加者が作成中または発表した論文について順次報告し、全員で討論します。修士または博士論文の提出予定者は、論文の事前報告をします。自分が報告しない場合であっても、報告を聴き討論に参加することを通じて、論文の作成方法を学ぶことができます。また、各自の取り組むべき課題の発見や問題意識の深化に寄与することになるでしょう。また，適宜外部スピーカーを招いて報告してもらう予定です。
開講頻度・日時については，学期期間中ほぼ一か月に一回の頻度で，木曜日の４講時・５講時に開講します。
初回は４月２１日の予定です。感染症の流行状況に応じて、オンライン開講に変更される可能性があります。最新の情報はGoogle Classroomで確認してください

Students are required to present the paper they are currently working on. They are also required to participate in the discussion in each class. We may occasionally invite guest speakers.
The first meeting will be held on April **. It is possible that this seminar is held on line depending on the situation of the infectious disease. Please check the Google Classroom for the latest news.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語（報告は英語でしていただいても構いません。）

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の参加態度によります（出席状況、報告内容、討論への参加など)。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
それぞれの研究を進めること。
報告者が事前に配布するフルペーパーを読んだ上で参加すること。

１０．その他/In addition：

履修を希望する者は履修登録手続きをするとともにGoogle Classroomにも登録して初回の演習に必ず参加するようにしてください。

本年度は日置が幹事です。shiro.hioki.d3@tohoku.ac.jp

経営学特別演習Ｂａ/Special Seminar on Business Management Ba

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：前期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN780J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習は
（1）現代の企業およびその他組織における経営問題の理論的解明と実践的洞察を得ること、
（2）地域政策の諸問題も含め、多様な視点を融合しながら現実の事象を分析・考察する能力を涵養すること、
を目的とする。そのために、受講生による研究報告会を定期的に開催し、成果報告と全体討論を行う。
・参加教員：藤本・増田・福嶋・西出・高浦・金・山﨑・一小路・酒井

This seminar is offered for the following purposes.
(1) obtain theoretical and practical insights into management issues in modern companies and other organizations
(2) foster the ability to analyze and consider actual phenomena including regional policy issues
To this end, research presentations will be held regularly, and students will report and discuss their research plans and results.
・Participating faculty members: Fujimoto, Masuda, Fukushima, Nishide, Takaura, Kim, Yamazaki, Ichikoji, Sakai

２．学修の到達目標/Goal of study：
現代経営・地域政策に関する理論的背景と実践的動向を理解し、自分なりの研究計画を構想でき、まとまった研究成果を報告できる段階に到達することを目標とする。

The goal is to understand the theoretical background and practical trends in modern management and regional policy, and to come up with a stage where you can design your own research plan and report a set of research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
研究報告会の形式による。
・受講生による研究報告、報告に対する全体での討論、個別コメント。

Holding a research report sessions.
・Research reports by the students, general discussions and comments on the reports.

2022 年度前期の講義は 4 月 21 日からオンラインで実施するので、受講希望者は 4 月 21 日（木）の 5 限（16:20～17:50）に下記の Google Classroom の Meet から参加すること。

本講義に関するお知らせは、下記の Google Classroom に掲載する。

「経営学特別演習Ａ　a /b, Ｂ a/b 共通（通年)」クラスコード：ipyetkd
https://classroom.google.com/c/NDcwODczNTM3NzI5?cjc=ipyetkd

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語（発表等については英語可）
Japanese (English is also acceptable for presentations)

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告内容、討論への参加の程度等を基準に評価する。他の報告者へのコメントについては、開講時に指示するコメント・フォームにアクセスして記入すること（欠席時は配布資料を受領してから記入)。
教科書は特に用いない。報告資料やリーディング資料は随時、用意・指示する。

Evaluation will be based on the content of the report and the degree of participation in the discussion. For comments to other reporters, access and fill out the comment form instructed at the start of the course.
Handouts and reading materials will be instructed and distributed if necessary.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NDcwODczNTM3NzI5?cjc=ipyetkd

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
配布資料があれば可能な限り事前に目を通しておくこと。クラス討論の後に、自分なりのコメントをまとめ、批判的読解力を得ることが大切である。
Review any handouts in advance if possible. After class discussions, it is also important to compile your own comments and gain critical reading skills.

１０．その他/In addition：
【履修条件】
・本特別演習 Aa・Ab を継続して履修するのが望ましいが、単独受講も可能である。
・隔週の木曜日 5 講時 16:20-17:50（両学期）に開講予定。（オンライン開催）
発表当番を決めるので各学期初回のガイダンス（4 月 21 日/10 月 13 日）に参加すること。
その際に、コメント・フォーム等に関する情報を伝える。
・上記日程以外に、週末等に実施される学内講演会への出席を求める場合がある。
・詳しい日程等については、随時、上記エントリー後にメールにて通知する。

【連絡先】本年度幹事・藤本（経済学研究科棟 6 階 609） masahiko.fujimoto.c7@tohoku.ac.jp

経済史・経営史特別演習Ｂａ/Special Seminar on Economic History and Business History Ba

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：前期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM780J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習は、近世・近現代の日本、アジア、欧米諸地域の歴史に関心を持つ研究者の交流を通じて経済史・経営史に関する幅広い知識と歴史研究に要する分析能力を身に付ける機会を提供し、各履修者の研究テーマに関する報告・討論を通じてプレゼンテーションおよび史料批判の方法について学習することを目的とする。ここでは特に論文作成に向けて直接の指導教員だけでなく他のアカデミック・スタッフからアドバイスを受けることに主眼を置くとともに、研究内容について様々な視点から吟味できるようセミナーの雰囲気づくりにも配慮したい。

To get knowledge about economic and business history by presentation of each participants' own researches and Q and A. To get advise from many faculties over the completion of M.A. and Ph.D. Thesis.

本講義の関する詳細は、Google Classroom を参照されたい。

The detail of this class is shown in the Google Classroom.

２．学修の到達目標/Goal of study：
修士・博士論文の完成に向けて論理の組み立て、史料分析、文献引用を中心に、これらを厳密に行う能力を養う。

To get academic capacity necessary for completing M.A. and Ph.D. thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
履修希望者はコーディネータとなる教員へｅメールを送信すること。

履修者は、詳しいレジュメをもとに各自の研究課題、リサーチの意義、独創性などに触れながら、５０～６０分程度の報告を担当する。その後、上記担当教員の指導を含め、参加者全員でディスカッションを行う。特にマスター２年目の院生は、修士論文提出期限までの期間を考慮し、完成度の高い研究報告を行うことが望まれる。
前期・後期初回のオリエンテーションの際に報告の順番を決定するので、履修希望者は必ず各学期最初の授業に出席し、本演習の進め方について説明を受けること。最初の授業の日時・教室等は掲示にて通知する。

Presertation of his/her own research followed by Q and A.

本演習は、経済史・経営史関係の教員と、経済史・経営史関係を専門に勉強・研究する大学院生が一堂に会して報告と質疑応答をおこなうジョイント・セミナーです。経済史・経営史関係の教員として参加を予定している教員は以下のとおりです。

小田中直樹（社会思想史）
川名洋（西欧経済史）
菅原歩（グローバル経営史）
結城武延（経営史、今年度コーディネータ）

This is a kind of joint seminar gathering faculties and student specializing Economic or Business history.Faculties to participate in will be as follows:
*ODANAKA,Naoki (Socio-intellectual History)
*KAWANA, Yoh (The Economic Hisotory of Western Europe)
*Sugawara, Ayumu (Global Business History)
*YUKI, Takenobu (Business History, The coordinator)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究報告による。

Presentation will be evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各教員の指示に従う。

１０．その他/In addition：
履修の条件：経済史・経営史に関心があること。
その他：関連学会の東北地区部会などについてのアナウンスも行いますので、研究の向上のためにそれらにも参加されることを希望します。
クラスコード：2qffelx

数理・データ科学特別演習Ｂａ/Special Seminar on Mathematical and Data Sciences Ba

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：前期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM781J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
classroom code: b65e6zg

経済・経営分野のデータ科学に関する演習を行う。

This is a compusory subject for Data Science Program or Fraduate Program in Data Science. Any students with interests in Data Science are welcome to attend. We organize a session to learn basic technique for data science in Economics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経済・経営分野における諸問題について自ら考え、データ科学の方法によって解決できること。

To learn a way to solve several issues in Economics by data science.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
データ科学教員、ゲストスピーカーによる lecture を受講する

We hold a workshop every week by invited guest speaker or a faculty member working on data science.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
ゲストスピーカー講演をまとめたレポートを毎回提出してもらう。内容と出席で評価する。

by a small report summarizing seminars, which we assign to submit within one week after seminars.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
使用言語：英語および日本語

医療福祉政策特別演習Ｂａ/Special Seminar on Health and Welfare Policy Ba

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：前期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO783J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本特別演習は，公共経済学や財政学，高齢社会における公共政策・財政政策・社会保障・所得分配・雇用に関する分析，福祉政策や家計の意思決定に関する経済学的分析，および健康保健分野におけるサービスの需給や効果に関する経済分析等を研究テーマとする大学院生が，自身の博士論文や修士論文などに関する研究報告を通して，より良質な学位論文を作成するために開講されるものである。

The purpose of this workshop is to help gradual students improve own research on economics of aging, public finance, public economics, welfare economy, health economics, and other important issues in aging society, such as, employment, income distribution, social security system, and public policies.

２．学修の到達目標/Goal of study：
自分の研究に関する学問的位置付けを把握し問題点を発見すること。また，関連分野に関する方法論および知識の修得することに加えて，プレゼンテーションや質疑応答に関する技術を向上させること。

By the end of the semester, students will be able to confirm own originality of the ongoing study, to get the additional knowledge and hints to improve own study, and to improve own skills for presentation and discussion.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本特別演習は，定期的に開催される研究会形式で行う。本特別演習での主な発表者は，担当教員の大学院ゼミ（加齢経済・財政・福祉経済・医療経済）に所属する大学院生および研究生，または演習担当者を含む本学教員および学内外の研究者・大学院生である。大学院生が発表する場合，学位論文の中間報告または学会発表の予行演習であることを原則とする。それ以外の場合は，自分の研究の概要と進捗状況について発表する。

発表者は，本特別演習の前日までに報告で使用する電子ファイルを Google Classroom（クラスコードは"aktqjvb"）にアップロードすることと，対面開催の場合は，当日に報告資料のコピーを参加者全員に配布することを必須とする。また，発表者以外の参加者には，毎回発表に対する感想・疑問・意見等を記したコメントシートを提出することを必須とする。ただし，BCP レベル（2022/4/1 基準）が３の場合には報告者は対面，非報告者はオンライン参加のハイブリッド方式，同 4 以上の場合にはオンライン（リアルタイム）方式で行う。

We plan to hold a seminar, and the speaker is the graduate student and the academic researcher in Tohoku University and/or outside who is interested in public economics, public finance, economics of aging, welfare economy, health economics, and other important issues in aging society.

Each student presents the interim report of own dissertation, own research for the upcoming conference, or an abstract and progress of own ongoing research.

Speakers must upload own presentation files on the Google Classroom (the code is "aktqjvb") by the day before the workshop and prepare for printed documents for participants on the day when we have a face-to-face seminar.

Students who do not make a presentation in each class have to hand in a "comment-sheet" with own impressions, questions, and comments on the presentation.

Note that we hold hybrid seminar (real and online) when the BCP level defined April 1, 2021 is 3. In this type, presenters and instructors conduct the discuss in a real classroom, while others participate in the seminar online. In addition, we hold online seminars (real-time) when the BCP level is more than 4.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語または英語

English and/or Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
１回以上の発表と発表時以外のコメントシートの提出を単位取得の条件とする。準備状況や出席状況，発言およびコメントシートの内容等も考慮する。

Students must make one or more presentation and submit a comment-sheet to obtain the credit. In addition, the grade depends on preparation, attendance, discussion, comment-report, and something else in the class.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/u/0/c/NzAyNzY4MDI3MjFa

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
報告に向けて入念に準備することと，発表時に指摘された点については，できるだけ早期に改善を図ることが重要である。

Students requires to carefully prepare for own presentation and to improve own research as soon after receiving comments at the workshop.

１０．その他/In addition：
担当教員の大学院ゼミ（加齢経済・財政・福祉経済・医療経済）に所属する大学院生および研究生は必ず履修すること。また，現代経済特別演習（幹事教員は若林准教授）にも必ず履修登録し，現代経済学研究会にも参加すること。

The graduate students who are affiliated with the seminars of aging economy, public finance, welfare economy, and health economics must participate in this workshop.
In addition, the students must also register other Workshop a/b organized by Prof. Wakabayashi and participate in Modern Economics Seminars.

現代経済学特別演習Ｂｂ/Special Seminar on Comtenporary Economics Bb

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO783J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習の目的は、大学院生が現代経済学（近代経済学）の最先端の研究に触れることにある。

The objective of this course is to study the current topics of contemporary economics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経済学の最先端の研究に触れることを通じて、参加者自身が問題意識を形成し、経済学の発展に寄与するような独自の研究ができるようになるとともに、研究成果を公的な場でアピールするためのスキルを修得する。

The goal of this course is to find a research theme and acquire the skill of clear presentation.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
教員、院生などの演習参加者、および国内外の研究者（ゲストスピーカー）により報告がなされる。外部の研究者をスピーカーとする研究会は、月２回程度の頻度で実施する予定である。また、今年度の修士論文提出予定者は、この演習でその中間報告をおこなう。日時は電子メールにより通知されるので注意すること。今年度の新規演習参加者は、受講が決定次第直ちに、
若林　(E-mail: midwak@tohoku.ac.jp)
まで、氏名、学年、学籍番号（決定していれば）指導教員、研究テーマ、連絡先（メールアドレス、ただし携帯のメールアドレスは不可。）を記した電子メールを送ること。これを怠ると単位を出さないことがある。なお、これ以外にすべての受講生は履修登録を忘れないこと。履修登録は学期毎に行うこと。

Instructors and guest speakers report their seminar papers. The guest speakers' seminars will be given approximately twice a month during each semester. The details of the seminars will be announced by the e-mails based on the mailing list of the attendants of this workshop. Each new attendant must send an e-mail to the chief instructor of this course (Midori Wakabayashi):
midwak@tohoku.ac.jp
indicating the name, student number, and the research field, when the attendant registers on this workshop.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/英語

Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習にどれだけ積極的に参加しているかを評価する。単位を取得しようとする者は、すべての研究報告に出席するように努めること（出席状況は毎回チェックする）。この演習で修士論文の中間報告を行う者については、そのことも考慮する。

Students will be evaluated based on their attendance status.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
http://www.econ.tohoku.ac.jp/~econ_seminar/

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

現代社会・経済・企業特別演習Ｂｂ/Special Seminar on Modern Society, Economy, and Enterprise Bb

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM782J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Google classroom : 6auxnds

現代経済の理論・学説，経済政策，産業・企業をはじめとする諸制度に関わるテーマを，広く社会的観点から議論します。大学院生が専門的研究を深めるとともに，専門分野とアプローチの枠を超えて交流することで，より広い観点から自らの研究の位置に関する認識を深められるようにします。研究計画立案から調査・分析，考察，論文の作成に至るまでを共同で指導することにより，研究成果の向上を図ります。

In this special seminar we will discuss various topics in theories of modern economy, history of economic thought, economic policy, and industrial and corporate systems. We expect that participants of this seminar will be able to broaden their perspective by communicating with researchers of diverse fields and methods.

２．学修の到達目標/Goal of study：

・論文等の報告を通して、プレゼンテーションの技法を向上させる。
・議論を聞き、また議論に参加することによって、質疑討論の能力を高める。
・論文に関して批評を受け、論文をより良いものに仕上げる。

Participants of this special seminar will be able to:
- develop their presentation skill.
- hone their skill in the art of discussion.
- improve the paper they are currently working on.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

主として，各参加者が作成中または発表した論文について順次報告し、全員で討論します。修士または博士論文の提出予定者は、論文の事前報告をします。自分が報告しない場合であっても、報告を聴き討論に参加することを通じて、論文の作成方法を学ぶことができます。また、各自の取り組むべき課題の発見や問題意識の深化に寄与することになるでしょう。また，適宜外部スピーカーを招いて報告してもらう予定です。
開講頻度・日時については，学期期間中ほぼ一か月に一回の頻度で，木曜日の４講時・５講時に開講します。
初回は 10 月〇日の予定です。感染症の流行状況に応じて、オンライン開講に変更される可能性があります。最新の情報は Google Classroom で確認してください

Students are required to present the paper they are currently working on. They are also required to participate in the discussion in each class. We may occasionally invite guest speakers.
The first meeting will be held on October **. It is possible that this seminar is held on line depending on the situation of the infectious disease. Please check the Google Classroom for the latest news.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

日本語（報告は英語でしていただいても構いません。）

６．成績評価方法/Evaluation method：

平常の参加態度によります（出席状況、報告内容、討論への参加など）。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

それぞれの研究を進めること。
報告者が事前に配布するフルペーパーを読んだ上で参加すること。

１０．その他/In addition：

履修を希望する者は履修登録手続きをするとともにGoogle Classroomにも登録して初回の演習に必ず参加するようにしてください。

本年度は日置が幹事です。shiro.hioki.d3@tohoku.ac.jp

経営学特別演習Ｂｂ/Special Seminar on Business Management Bb

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN780J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習は
（1）現代の企業およびその他組織における経営問題の理論的解明と実践的洞察を得ること、
（2）地域政策の諸問題も含め、多様な視点を融合しながら現実の事象を分析・考察する能力を涵養すること、
を目的とする。そのために、受講生による研究報告会を定期的に開催し、成果報告と全体討論を行う。
・参加教員：藤本・増田・福嶋・西出・高浦・金・山﨑・一小路・酒井

This seminar is offered for the following purposes.
(1) obtain theoretical and practical insights into management issues in modern companies and other organizations
(2) foster the ability to analyze and consider actual phenomena including regional policy issues
To this end, research presentations will be held regularly, and students will report and discuss their research plans and results.
・Participating faculty members: Fujimoto, Masuda, Fukushima, Nishide, Takaura, Kim, Yamazaki, Ichikoji, Sakai

２．学修の到達目標/Goal of study：
現代経営・地域政策に関する理論的背景と実践的動向を理解し、自分なりの研究計画を構想でき、まとまった研究成果を報告できる段階に到達することを目標とする。

The goal is to understand the theoretical background and practical trends in modern management and regional policy, and to come up with a stage where you can design your own research plan and report a set of research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
研究報告会の形式による。
・受講生による研究報告、報告に対する全体での討論、個別コメント。

Holding a research report sessions.
・Research reports by the students, general discussions and comments on the reports.

2022 年度前期の講義は 4 月 21 日からオンラインで実施するので、受講希望者は 4 月 21 日（木）の 5 限（16:20～17:50）に下記の Google Classroom の Meet から参加すること。

本講義に関するお知らせは、下記の Google Classroom に掲載する。

「経営学特別演習Ａ　a /b, B a/b 共通（通年)」クラスコード：ipyetkd
https://classroom.google.com/c/NDcwODczNTM3NzI5?cjc=ipyetkd

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語（発表等については英語可）
Japanese (English is also acceptable for presentations)

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告内容、討論への参加の程度等を基準に評価する。他の報告者へのコメントについては、開講時に指示するコメント・フォームにアクセスして記入すること（欠席時は配布資料を受領してから記入)。
教科書は特に用いない。報告資料やリーディング資料は随時、用意・指示する。

Evaluation will be based on the content of the report and the degree of participation in the discussion. For comments to other reporters, access and fill out the comment form instructed at the start of the course.
Handouts and reading materials will be instructed and distributed if necessary.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NDcwODczNTM3NzI5?cjc=ipyetkd

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
配布資料があれば可能な限り事前に目を通しておくこと。クラス討論の後に、自分なりのコメントをまとめ、批判的読解力を得ることが大切である。
Review any handouts in advance if possible. After class discussions, it is also important to compile your own comments and gain critical reading skills.

１０．その他/In addition：
【履修条件】
・本特別演習 Aa・Ab を継続して履修するのが望ましいが、単独受講も可能である。
・隔週の木曜日 5 講時 16:20-17:50（両学期）に開講予定。（オンライン開催）
発表当番を決めるので各学期初回のガイダンス（4 月 21 日/10 月 13 日）に参加すること。
その際に、コメント・フォーム等に関する情報を伝える。
・上記日程以外に、週末等に実施される学内講演会への出席を求める場合がある。
・詳しい日程等については、随時、上記エントリー後にメールにて通知する。

【連絡先】本年度幹事・藤本（経済学研究科棟 6 階 609） masahiko.fujimoto.c7@tohoku.ac.jp

経済史・経営史特別演習Ｂｂ/Special Seminar on Economic History and Business History Bb

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM780J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習は、近世・近現代の日本、アジア、欧米諸地域の歴史に関心を持つ研究者の交流を通じて経済史・経営史に関する幅広い知識と歴史研究に要する分析能力を身に付ける機会を提供し、各履修者の研究テーマに関する報告・討論を通じてプレゼンテーションおよび史料批判の方法について学習することを目的とする。ここでは特に論文作成に向けて直接の指導教員だけでなく他のアカデミック・スタッフからアドバイスを受けることに主眼を置くとともに、研究内容について様々な視点から吟味できるようセミナーの雰囲気づくりにも配慮したい。

To get knowledge about economic and business history by presentation of each participants' own researches and Q and A. To get advise from many faculties over the completion of M.A. and Ph.D. Thesis.

本講義の関する詳細は、Google Classroom を参照されたい。

The detail of this class is shown in the Google Classroom.

２．学修の到達目標/Goal of study：
修士・博士論文の完成に向けて論理の組み立て、史料分析、文献引用を中心に、これらを厳密に行う能力を養う。

To get academic capacity necessary for completing M.A. and Ph.D. thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
履修希望者はコーディネータとなる教員へｅメールを送信すること。

履修者は、詳しいレジュメをもとに各自の研究課題、リサーチの意義、独創性などに触れながら、５０～６０分程度の報告を担当する。その後、上記担当教員の指導を含め、参加者全員でディスカッションを行う。特にマスター２年目の院生は、修士論文提出期限までの期間を考慮し、完成度の高い研究報告を行うことが望まれる。
前期・後期初回のオリエンテーションの際に報告の順番を決定するので、履修希望者は必ず各学期最初の授業に出席し、本演習の進め方について説明を受けること。最初の授業の日時・教室等は掲示にて通知する。

Presertation of his/her own research followed by Q and A.

本演習は、経済史・経営史関係の教員と、経済史・経営史関係を専門に勉強・研究する大学院生が一堂に会して報告と質疑応答をおこなうジョイント・セミナーです。経済史・経営史関係の教員として参加を予定している教員は以下のとおりです。

小田中直樹（社会思想史）
川名洋（西欧経済史）
菅原歩（グローバル経営史）
結城武延（経営史、今年度コーディネータ）

This is a kind of joint seminar gathering faculties and student specializing Economic or Business history.Faculties to participate in will be as follows:
*ODANAKA,Naoki (Socio-intellectual History)
*KAWANA, Yoh (The Economic Hisotory of Western Europe)
*Sugawara, Ayumu (Global Business History)
*YUKI, Takenobu (Business History, The coordinator)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究報告による。

Presentation will be evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各教員の指示に従う。

１０．その他/In addition：
履修の条件：経済史・経営史に関心があること。
その他：関連学会の東北地区部会などについてのアナウンスも行いますので、研究の向上のためにそれらにも参加されることを希望します。
クラスコード：2qffelx

数理・データ科学特別演習Ｂｂ/Special Seminar on Mathematical and Data Sciences Bb

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM781J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経済・経営分野のデータ科学に関する演習を行う。

This is a compusory subject for Data Science Program or Fraduate Program in Data Science. Any students with interests in Data Science are welcome to attend. We organize a session to learn basic technique for data science in Economics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経済・経営分野における諸問題について自ら考え、データ科学の方法によって解決できること。

To learn a way to solve several issues in Economics by data science.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
ゲストスピーカーによる lecture を受講する

We hold a workshop eevry week by invited guest speaker or a faculty member working on data science.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
ゲストスピーカー講演をまとめたレポートを毎回提出してもらう。内容と出席で評価する。

by a small report summarizing seminars, which we assign to submit within one week after seminars.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
使用言語：英語および日本語

医療福祉政策特別演習Ｂｂ/Special Seminar on Health and Welfare Policy Bb

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO783J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本特別演習は，公共経済学や財政学，高齢社会における公共政策・財政政策・社会保障・所得分配・雇用に関する分析，福祉政策や家計の意思決定に関する経済学的分析，および健康保健分野におけるサービスの需給や効果に関する経済分析等を研究テーマとする大学院生が，自身の博士論文や修士論文などに関する研究報告を通して，より良質な学位論文を作成するために開講されるものである。

The purpose of this workshop is to help gradual students improve own research on economics of aging, public finance, public economics, welfare economy, health economics, and other important issues in aging society, such as, employment, income distribution, social security system, and public policies.

２．学修の到達目標/Goal of study：
自分の研究に関する学問的位置付けを把握し問題点を発見すること。また，関連分野に関する方法論および知識の修得することに加えて，プレゼンテーションや質疑応答に関する技術を向上させること。

By the end of the semester, students will be able to confirm own originality of the ongoing study, to get the additional knowledge and hints to improve own study, and to improve own skills for presentation and discussion.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本特別演習は，定期的に開催される研究会形式で行う。本特別演習での主な発表者は，担当教員の大学院ゼミ（加齢経済・財政・福祉経済・医療経済）に所属する大学院生および研究生，または演習担当者を含む本学教員および学内外の研究者・大学院生である。大学院生が発表する場合，学位論文の中間報告または学会発表の予行演習であることを原則とする。それ以外の場合は，自分の研究の概要と進捗状況について発表する。

発表者は，本特別演習の前日までに報告で使用する電子ファイルをGoogle Classroom（クラスコードは"aktqjvb"）にアップロードすることと，対面開催の場合は，当日に報告資料のコピーを参加者全員に配布することを必須とする。また，発表者以外の参加者には，毎回発表に対する感想・疑問・意見等を記したコメントシートを提出することを必須とする。ただし，BCPレベル（2022/10/1基準）が３の場合には報告者は対面，非報告者はオンライン参加のハイブリッド方式，同４以上の場合にはオンライン（リアルタイム）方式で行う。

We plan to hold a seminar, and the speaker is the graduate student and the academic researcher in Tohoku University and/or outside who is interested in public economics, public finance, economics of aging, welfare economy, health economics, and other important issues in aging society.

Each student presents the interim report of own dissertation, own research for the upcoming conference, or an abstract and progress of own ongoing research.

Speakers must upload own presentation files on the Google Classroom (the code is "aktqjvb") by the day before the workshop and prepare for printed documents for participants on the day when we have a face-to-face seminar.

Students who do not make a presentation in each class have to hand in a "comment-sheet" with own impressions, questions, and comments on the presentation.

Note that we hold hybrid seminar (real and online) when the BCP level defined April 1, 2021 is 3. In this type, presenters and instructors conduct the discuss in a real classroom, while others participate in the seminar online. In addition, we hold online seminars (real-time) when the BCP level is more than 4.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語または英語

English and/or Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
１回以上の発表と発表時以外のコメントシートの提出を単位取得の条件とする。準備状況や出席状況，発言およびコメントシートの内容等も考慮する。

Students must make one or more presentation and submit a comment-sheet to obtain the credit. In addition, the grade depends on preparation, attendance, discussion, comment-report, and something else in the class.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/u/0/c/NzAyNzY4MDI3MjFa

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
報告に向けて入念に準備することと，発表時に指摘された点については，できるだけ早期に改善を図ることが重要である。

Students requires to carefully prepare for own presentation and to improve own research as soon after receiving comments at the workshop.

１０．その他/In addition：
担当教員の大学院ゼミ（加齢経済・財政・福祉経済・医療経済）に所属する大学院生および研究生は必ず履修すること。また，現代経済特別演習（幹事教員は若林准教授）にも必ず履修登録し，現代経済学研究会にも参加すること。

The graduate students who are affiliated with the seminars of aging economy, public finance, welfare economy, and health economics must participate in this workshop.
In addition, the students must also register other Workshop a/b organized by Prof. Wakabayashi and participate in Modern Economics Seminars.

経済実習Ⅱ/Internship II

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM981J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
在学中に大学での授業を通じて修得した理論や知識を、企業やNPO、公的機関等の実社会で実践し体験する機会を提供する。それによって、経済・経営現象についての理解・関心を深め、ものの見方や考え方を養うと同時に、人格形成や将来のキャリア形成に役立てることを目的とする。

This class will provide you with the chance to apply the theory and the knowledge which you have obtained at our school for the real community of the business, the non-profit, and the government sector. Through the practical internship experience you can understand the economic and management world profoundly and exercise your own personality and career development.

２．学修の到達目標/Goal of study：
大学で修得した専門的知識を実社会の問題に結び付けて活用する能力を高められるようになる。また広い視野と考え方を身につけ、将来的なキャリアについて考えるヒントを得る。

This class aims to enhance your practical abilities to utilize the academic knowledge for real situations and then give you wider perspectives and some hints for you to consider your future career.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
インターンシップ科目の履修方法は他の科目と大きく異なるので、注意すること。
※Google Classroom を活用します（大学院の受講生については学部のクラスと合同ですので、下記の招待リンクから生徒登録しておいてください）。
https://classroom.google.com/c/NDY2NjAyNDE3OTM5?cjc=2vyo6wn

各種の関係書式もこちらを通じて配布します。

（１）第１学期または第２学期の履修登録期間中に学生用 Web で、連続講義と同様に履修登録する。本科目の登録時の単位数は２単位のみとなっているが、原則次学期末の成績確定時に、実際に取得した単位数（２～４単位）の科目へ登録振替を行う。

（２）履修登録・変更期間終了後に、事前研修（第１学期登録の場合は６月頃、第２学期登録の場合は１１月頃、学内で実施される）のクラス割り当て結果を Classroom に掲出するので、日程を確認し、該当クラスに参加する。
※事前研修のクラスは教室開催の予定ですが、本学 BCP レベルにも拠りますので、Classroom からのお知らせ配信をチェックするようにしてください。

（３）各学期当初からインターンシップ公募情報をもとに受入機関を自ら探し、採用試験等を受ける。受入先が決まったら、すみやかに受入機関による協力承諾を取り付けた後、「インターンシップ実施届」を、必要証明書類を添付の上、教務係窓口に提出する。
※教務係インターンシップ専用メールアドレスにご送付ください。証明書類等の写しは携帯端末撮影のもので構いません。
eco-intern●grp.tohoku.ac.jp （：●は@に要置換え）

○インターンシップの公募情報については、キャンパス・コミュニティ、教務掲示版（とくに官公庁等による募集の場合）、本学キャリア支援センター（HP 及び窓口）、各社 HP，民間就職支援サイトほかで検索・入手が可能である。
参考：本学キャリア支援センター「インターンシップ希望者向け情報」
http://www.career.ihe.tohoku.ac.jp/ug_ma/info/intern

（４）就業体験期間中は、毎週「インターンシップ週間活動報告書」（週報）を作成する。
※受入機関ご担当者によるサインや押印は省略できます。その場合、ご担当者の所属機関アドレスから、上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスまで、各週分をまとめてメール送付いただくようにご依頼ください。

（５）就業体験終了後、受入機関に「インターンシップ受入機関所見」の送信を依頼する。
※受入機関ご担当者によるサインや押印は省略できます。ご担当者の所属機関アドレスから、上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスまで、メール送付いただくようにご依頼ください。

（６）週報、成果物及び「インターンシップ終了報告書」等の必要書類を教務係窓口に提出する。
※週報は（４）で述べたようにご担当者からメール送付いただくことが可能です。報告書については上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスに自らご送付ください。成果物等の写しは携帯端末撮影のもので構いません。

以上の関係書式は上記の Google Classroom の当該科目教材リストを通じて入手可能です。
その他、詳細は新年度版の学生便覧（抜粋）の「インターンシップ履修要領」を参照してください。

We will confirm you to have to attend the pre-internship training seminar held in our school and submit the designated series of documents to the Instruction Section before and after you take part in each internship program.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
○

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
担当教員は、出席簿等により事前研修に既参加であるかどうか、並びに「実施届」が提出済みであるか否か等の認定要件を確認した上で、提出資料ほかに基づいて履修単位数*及び成績を決定する。担当教員は記載内容の確認を要する場合など必要に応じて受講生と面談を行うことがある。なお成績評価の確定は基本的に次学期末となり、通常よりも成績表への反映が遅れるので留意すること。

*総時間数（受入機関での実習時間 × 1.5）：60 時間につき 2 単位（以降 30 時間ごとに 1 単位追加、4 単位まで）

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
以下の要件をすべて満たすプログラムに限って当該年度の単位修得を認める。

（１）受入機関が「公募」によって参加者募集を行っていること*
（２）受入機関での実習時間数が「４０時間以上」であること**
（３）当該年度の所定期間内に実施されるプログラムであること***
（４）本人が「学生教育研究災害傷害保険」等の保険・共済に加入していること
（５）受入機関が単位認定のための諸手続に協力することを承諾していること

＊　実体としてアルバイトや労務の提供ではなく、研修的要素を備えたインターンシップ

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
実習先で課題が与えられるような場合はその指示に従うこと

１０．その他/In addition：
問い合わせ先：東北大学経済学部・経済学研究科教務係　インターンシップ専用メール
eco-intern●grp.tohoku.ac.jp　（：●は@に要置換え）

経済実習Ⅱ/Internship II

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM981J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
在学中に大学での授業を通じて修得した理論や知識を、企業やNPO、公的機関等の実社会で実践し体験する機会を提供する。それによって、経済・経営現象についての理解・関心を深め、ものの見方や考え方を養うと同時に、人格形成や将来のキャリア形成に役立てることを目的とする。

This class will provide you with the chance to apply the theory and the knowledge which you have obtained at our school for the real community of the business, the non-profit, and the government sector. Through the practical internship experience you can understand the economic and management world profoundly and exercise your own personality and career development.

２．学修の到達目標/Goal of study：
大学で修得した専門的知識を実社会の問題に結び付けて活用する能力を高められるようになる。また広い視野と考え方を身につけ、将来的なキャリアについて考えるヒントを得る。

This class aims to enhance your practical abilities to utilize the academic knowledge for real situations and then give you wider perspectives and some hints for you to consider your future career.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
インターンシップ科目の履修方法は他の科目と大きく異なるので、注意すること。
※Google Classroom を活用します（大学院の受講生については学部のクラスと合同ですので、下記の招待リンクから生徒登録しておいてください）。
https://classroom.google.com/c/NDY2NTg3ODc0MTIy?cjc=2ouxj6l

各種の関係書式もこちらを通じて配布します。

（１）第１学期または第２学期の履修登録期間中に学生用 Web で、連続講義と同様に履修登録する。本科目の登録時の単位数は２単位のみとなっているが、原則次学期末の成績確定時に、実際に取得した単位数（２～４単位）の科目へ登録振替を行う。

（２）履修登録・変更期間終了後に、事前研修（第１学期登録の場合は６月頃、第２学期登録の場合は１１月頃、学内で実施される）のクラス割り当て結果を Classroom に掲出するので、日程を確認し、該当クラスに参加する。
※事前研修のクラスは教室開催の予定ですが、本学 BCP レベルにも拠りますので、Classroom からのお知らせ配信をチェックするようにしてください。

（３）各学期当初からインターンシップ公募情報をもとに受入機関を自ら探し、採用試験等を受ける。受入先が決まったら、すみやかに受入機関による協力承諾を取り付けた後、「インターンシップ実施届」を、必要証明書類を添付の上、教務係窓口に提出する。
※教務係インターンシップ専用メールアドレスにご送付ください。証明書類等の写しは携帯端末撮影のもので構いません。
eco-intern●grp.tohoku.ac.jp （：●は@に要置換え）

○インターンシップの公募情報については、キャンパス・コミュニティ、教務掲示版（とくに官公庁等による募集の場合）、本学キャリア支援センター（HP 及び窓口）、各社 HP，民間就職支援サイトほかで検索・入手が可能である。
参考：本学キャリア支援センター「インターンシップ希望者向け情報」
http://www.career.ihe.tohoku.ac.jp/ug_ma/info/intern

（４）就業体験期間中は、毎週「インターンシップ週間活動報告書」（週報）を作成する。
※受入機関ご担当者によるサインや押印は省略できます。その場合、ご担当者の所属機関アドレスから、上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスまで、各週分をまとめてメール送付いただくようにご依頼ください。

（５）就業体験終了後、受入機関に「インターンシップ受入機関所見」の送信を依頼する。
※受入機関ご担当者によるサインや押印は省略できます。ご担当者の所属機関アドレスから、上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスまで、メール送付いただくようにご依頼ください。

（６）週報、成果物及び「インターンシップ終了報告書」等の必要書類を教務係窓口に提出する。
※週報は（４）で述べたようにご担当者からメール送付いただくことが可能です。報告書については上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスに自らご送付ください。成果物等の写しは携帯端末撮影のもので構いません。

以上の関係書式は上記の Google Classroom の当該科目教材リストを通じて入手可能です。
その他、詳細は新年度版の学生便覧（抜粋）の「インターンシップ履修要領」を参照してください。

We will confirm you to have to attend the pre-internship training seminar held in our school and submit the designated series of documents to the Instruction Section before and after you take part in each internship program.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
○

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
担当教員は、出席簿等により事前研修に既参加であるかどうか、並びに「実施届」が提出済みであるか否か等の認定要件を確認した上で、提出資料ほかに基づいて履修単位数*及び成績を決定する。担当教員は記載内容の確認を要する場合など必要に応じて受講生と面談を行うことがある。なお成績評価の確定は基本的に次学期末となり、通常よりも成績表への反映が遅れるので留意すること。

*総時間数（受入機関での実習時間 × 1.5）：60 時間につき 2 単位（以降 30 時間ごとに 1 単位追加、4 単位まで）

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
以下の要件をすべて満たすプログラムに限って当該年度の単位修得を認める。

（１）受入機関が「公募」によって参加者募集を行っていること*
（２）受入機関での実習時間数が「４０時間以上」であること**
（３）当該年度の所定期間内に実施されるプログラムであること***
（４）本人が「学生教育研究災害傷害保険」等の保険・共済に加入していること
（５）受入機関が単位認定のための諸手続に協力することを承諾していること

＊　実体としてアルバイトや労務の提供ではなく、研修的要素を備えたインターンシップ

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
実習先で課題が与えられるような場合はその指示に従うこと

１０．その他/In addition：
問い合わせ先：東北大学経済学部・経済学研究科教務係　インターンシップ専用メール
eco-intern●grp.tohoku.ac.jp　（：●は@に要置換え）

政治経済学Ⅰ演習 (Ⅲ) a /Political Economy Ⅰ (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：守　健二/KENJI MORI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO721J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

政治経済学Ⅰ演習 (Ⅲ) b/Political Economy Ⅰ (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：守　健二/KENJI MORI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO721J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

理論経済学Ⅰ演習（Ⅲ） a /Theoretical Economics Ⅰ (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：三宅　充展/MITSUNOBU MIYAKE
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO725J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

理論経済学Ⅰ演習 (Ⅲ) b/Theoretical Economics Ⅰ (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：三宅　充展/MITSUNOBU MIYAKE
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO725J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

理論経済学Ⅱ演習（Ⅲ） a /Theoretical Economics II (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：北川　章臣/AKIOMI KITAGAWA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO727J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

理論経済学Ⅱ演習（Ⅲ） b/Theoretical Economics II (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：北川　章臣/AKIOMI KITAGAWA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO727J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

経済学史演習（Ⅲ） a /History of Economic Thought (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：古谷　豊/YUTAKA FURUYA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO729J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

経済学史演習 (Ⅲ) b/History of Economic Thought (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：古谷　豊/YUTAKA FURUYA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO729J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

西欧経済史演習（Ⅲ） a /Economic History of Western Europe (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO733J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

西欧経済史演習 (Ⅲ) b /Economic History of Western Europe (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO733J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

社会思想史演習 (Ⅲ) a /History of Social Thoughts (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：小田中　直樹/NAOKI ODANAKA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO735J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

社会思想史演習 (Ⅲ) b/History of Social Thoughts (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：小田中　直樹/NAOKI ODANAKA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO735J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

経済計画論演習 (Ⅲ) a /Economic Planning (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：大瀬戸　真次/SHINJI OHSETO
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO737J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

経済計画論演習 (Ⅲ) b/Economic Planning (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：大瀬戸　真次/SHINJI OHSETO
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO737J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

応用マクロ経済学演習 (Ⅲ) a /Applied Macroeconomics (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：鈴木　通雄/MICHIO SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO741J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

応用マクロ経済学演習 (Ⅲ) b/Applied Macroeconomics (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：鈴木　通雄/MICHIO SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO741J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

経営学原理演習 (Ⅲ) a /Management (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN721J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

経営学原理演習 (Ⅲ) b /Management (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN721J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

マーケティング管理論演習（Ⅲ） a /Research Seminar in Marketing Management (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：一小路　武安/TAKEYASU ICHIKOHJI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN723J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

マーケティング管理論演習（Ⅲ） b /Research Seminar in Marketing Management (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：一小路　武安/TAKEYASU ICHIKOHJI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN723J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

財務会計論演習 (Ⅲ) a /Financial Accounting (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：吉永　裕登/YUTO YOSHINAGA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC721J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

財務会計論演習 (Ⅲ) b/Financial Accounting (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：吉永　裕登/YUTO YOSHINAGA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC721J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

管理会計論演習 (Ⅲ) a /Management Accounting (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：松田　康弘/YASUHIRO MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC723J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

管理会計論演習 (Ⅲ) b /Management Accounting (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：松田　康弘/YASUHIRO MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC723J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

国際金融論演習 (Ⅲ) a /International Finance (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：秋田　次郎/JIRO AKITA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO745J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

国際金融論演習 (Ⅲ) b/International Finance (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：秋田　次郎/JIRO AKITA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO745J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

環境経済学演習 (Ⅲ) a /Environmental Economics (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：日引　聡/AKIRA HIBIKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO747J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

環境経済学演習 (Ⅲ) b/Environmental Economics (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：日引　聡/AKIRA HIBIKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO747J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

産業組織論演習 (Ⅲ) a /Industrial Organaization (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：泉田　成美/SHIGEMI IZUMIDA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO749J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

産業組織論演習 (Ⅲ) b/Industrial Organization (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：泉田　成美/SHIGEMI IZUMIDA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO749J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

経済政策演習 (Ⅲ) a /Economic Policy (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：黒瀬　一弘/KAZUHIRO KUROSE
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO755J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

経済政策演習 (Ⅲ) b /Economic Policy (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：黒瀬　一弘/KAZUHIRO KUROSE
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO755J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

経済統計学演習 (Ⅲ) a /Economic Statistics (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO757J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

経済統計学演習 (Ⅲ) b/Economic Statistics (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO757J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

計量経済学演習 (Ⅲ) a /Econometrics (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：千木良　弘朗/HIROAKI CHIGIRA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO759J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

計量経済学演習 (Ⅲ) b /Econometrics (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：千木良　弘朗/HIROAKI CHIGIRA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO759J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

経営統計学演習 (Ⅲ) a /Business Statistics (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：石垣　司/TSUKASA ISHIGAKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN733J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

経営統計学演習 (Ⅲ) b/Business Statistics (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：石垣　司/TSUKASA ISHIGAKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN733J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

意思決定論演習 (Ⅲ) a /Decision Making (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：鈴木　賢一/KENICHI SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN735J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

意思決定論演習 (Ⅲ) b /Decision Making (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：鈴木　賢一/KENICHI SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN735J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

経営組織論演習（Ⅲ） a /Organization and Management (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN739J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

経営組織論演習 (Ⅲ) b /Organization and Management (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN739J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

経営史演習（Ⅲ） a /Business History (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN741J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

経営史演習 (Ⅲ) b/Business History (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN741J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

会計情報論演習 (Ⅲ) a /Accounting Information (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：木村　史彦/FUMIHIKO KIMURA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC725J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

会計情報論演習 (Ⅲ) b/Accounting Information (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：木村　史彦/FUMIHIKO KIMURA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC725J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

監査論演習 (Ⅲ) a /Auditing (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：亀岡　恵理子/ERIKO KAMEOKA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC729J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

監査論演習 (Ⅲ) b/Auditing (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：亀岡　恵理子/ERIKO KAMEOKA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC729J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

証券投資論演習 (Ⅲ) a /Investment and Security Analysis(Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：室井　芳史/YOSHIFUMI MUROI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN743J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

証券投資論演習 (Ⅲ) b/Investment and Security Analysis(Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：室井　芳史/YOSHIFUMI MUROI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN743J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

財務管理論演習 (Ⅲ) a /Financial Management (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：嘉本　慎介/SHINSUKE KAMOTO
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN745J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

財務管理論演習 (Ⅲ) b/Financial Management (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：嘉本　慎介/SHINSUKE KAMOTO
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN745J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

経営戦略演習 (Ⅲ) a /Management Strategy(Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：山﨑　喜代宏/KIYOHIRO YAMAZAKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN747J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

経営戦略演習 (Ⅲ) b /Management Strategy(Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：山﨑　喜代宏/KIYOHIRO YAMAZAKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN747J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

財務報告論演習 (Ⅲ) a /Financial Reporting (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：尾関　規正/NORIMASA OZEKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC731J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

財務報告論演習 (Ⅲ) b/Financial Reporting (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：尾関　規正/NORIMASA OZEKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC731J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

非営利組織論演習（Ⅲ） a /Non-profit Organization (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：西出　優子/YUKO NISHIDE
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN749J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

非営利組織論演習 (Ⅲ) b /Non-profit Organization (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：西出　優子/YUKO NISHIDE
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN749J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

福祉経済演習（Ⅲ） a /Welfare Economy (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO761J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

福祉経済演習 (Ⅲ) b/Welfare Economy (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO761J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

加齢経済演習（Ⅲ） a /Aging Economy (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO763J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

加齢経済演習 (Ⅲ) b /Aging Economy (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO763J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

医療経済演習 (Ⅲ) a /Health Economics (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO765J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

医療経済演習 (Ⅲ) b/Health Economics (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO765J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

財政演習（Ⅲ） a /Public Finance (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：佐々木　伯朗/NORIO SASAKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO767J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

財政演習 (Ⅲ) b/Public Finance (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：佐々木　伯朗/NORIO SASAKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO767J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

地域企業論演習 (Ⅲ) a /Regional Enterprises (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN759J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

地域企業論演習 (Ⅲ) b/Regional Enterprises (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN759J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

地域計画演習 (Ⅲ) a /Regional Plannning (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：増田　聡/SATORU MASUDA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO771J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

地域計画演習 (Ⅲ) b/Regional Plannning (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：増田　聡/SATORU MASUDA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO771J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

サービス経営論演習（Ⅲ） a /Service Management (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：酒井　健/KEN SAKAI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN751J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

サービス経営論演習（Ⅲ） b /Service Management (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：酒井　健/KEN SAKAI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN751J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

アジア経済論演習（Ⅲ） a /Asian Economics (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO773J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

アジア経済論演習 (Ⅲ) b /Asian Economics (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO773J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

産業発展論演習 (Ⅲ) a /Industrial Development (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO775J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

産業発展論演習 (Ⅲ) b/Industrial Development (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO775J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

国際経済演習（Ⅲ） a /International Economics (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：永易　淳/JUN NAGAYASU
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO777J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

国際経済演習 (Ⅲ) b/International Economics (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：永易　淳/JUN NAGAYASU
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO777J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

グローバル経営史演習（Ⅲ） a /Global Business History (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：菅原　歩/AYUMU SUGAWARA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN755J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

グローバル経営史演習（Ⅲ） b /Global Business History (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：菅原　歩/AYUMU SUGAWARA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN755J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

国際経営演習（Ⅲ） a /International Business (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：金　熙珍/HEEJIN KIM
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN757J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

国際経営演習（Ⅲ） b /International Business (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：金　熙珍/HEEJIN KIM
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN757J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員が演習を開講し、論文作成に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成の進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

政治経済学Ⅰ演習（Ⅳ） a /Political Economy Ⅰ (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：守　健二/KENJI MORI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO722J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

政治経済学Ⅰ演習（Ⅳ） b /Political Economy Ⅰ (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：守　健二/KENJI MORI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO722J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

理論経済学Ⅰ演習（Ⅳ） a /Theoretical Economics Ⅰ (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：三宅　充展/MITSUNOBU MIYAKE
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO726J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

理論経済学Ⅰ演習（Ⅳ） b/Theoretical Economics Ⅰ (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：三宅　充展/MITSUNOBU MIYAKE
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO726J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

理論経済学Ⅱ演習（Ⅳ） a /Theoretical Economics II (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：北川　章臣/AKIOMI KITAGAWA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO728J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

理論経済学Ⅱ演習（Ⅳ） b /Theoretical Economics II (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：北川　章臣/AKIOMI KITAGAWA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO728J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

経済学史演習 (Ⅳ) a /History of Economic Thought (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：古谷　豊/YUTAKA FURUYA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO730J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

経済学史演習 (Ⅳ) b/History of Economic Thought (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：古谷　豊/YUTAKA FURUYA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO730J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

西欧経済史演習（Ⅳ） a /Economic History of Western Europe (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO734J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

西欧経済史演習 (Ⅳ) b /Economic History of Western Europe (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO734J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

社会思想史演習 (Ⅳ) a /History of Social Thoughts (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：小田中　直樹/NAOKI ODANAKA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO736J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

社会思想史演習 (Ⅳ) b /History of Social Thoughts (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：小田中　直樹/NAOKI ODANAKA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO736J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

経済計画論演習 (Ⅳ) a /Economic Planning (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：大瀬戸　真次/SHINJI OHSETO
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO738J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

経済計画論演習 (Ⅳ) b /Economic Planning (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：大瀬戸　真次/SHINJI OHSETO
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO738J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

応用マクロ経済学演習 (Ⅳ) a /Applied Macroeconomics (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：鈴木　通雄/MICHIO SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO742J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

応用マクロ経済学演習 (Ⅳ) b/Applied Macroeconomics (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：鈴木　通雄/MICHIO SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO742J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

経営学原理演習（Ⅳ） a /Management (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN722J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

経営学原理演習 (Ⅳ) b /Management (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN722J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

マーケティング管理論演習（Ⅳ） a /Research Seminar in Marketing Management (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：一小路　武安/TAKEYASU ICHIKOHJI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN724J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

マーケティング管理論演習 (Ⅳ) b /Research Seminar in Marketing Management (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：一小路　武安/TAKEYASU ICHIKOHJI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN724J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

財務会計論演習（Ⅳ） a /Financial Accounting (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：吉永　裕登/YUTO YOSHINAGA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC722J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

財務会計論演習（Ⅳ） b /Financial Accounting (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：吉永　裕登/YUTO YOSHINAGA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC722J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

管理会計論演習（Ⅳ） a /Management Accounting (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：松田　康弘/YASUHIRO MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC724J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

管理会計論演習（Ⅳ） b /Management Accounting (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：松田　康弘/YASUHIRO MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC724J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

金融論演習（Ⅳ） a /Money and Banking (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：浅野　康司/KOJI ASANO
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO743J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

金融論演習 (Ⅳ) b /Money and Banking (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：浅野　康司/KOJI ASANO
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO743J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

国際金融論演習（Ⅳ） a /International Finance (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：秋田　次郎/JIRO AKITA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO746J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

国際金融論演習（Ⅳ） b /International Finance (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：秋田　次郎/JIRO AKITA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO746J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

環境経済学演習（Ⅳ） a /Environmental Economics (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：日引　聡/AKIRA HIBIKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-EC0748J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

環境経済学演習（Ⅳ） b /Environmental Economics (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：日引　聡/AKIRA HIBIKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-EC0748J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

産業組織論演習（Ⅳ） a /Industrial Organaization (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：泉田　成美/SHIGEMI IZUMIDA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO750J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

産業組織論演習（Ⅳ） b /Industrial Organaization (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：泉田　成美/SHIGEMI IZUMIDA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO750J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

経済政策演習（Ⅳ） a /Economic Policy (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：黒瀬　一弘/KAZUHIRO KUROSE
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO756J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

経済政策演習（Ⅳ） b /Economic Policy (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：黒瀬　一弘/KAZUHIRO KUROSE
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO756J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

経済統計学演習（Ⅳ） a /Economic Statistics (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO758J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

経済統計学演習（Ⅳ） b /Economic Statistics (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO758J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

計量経済学演習 (Ⅳ) a /Econometrics (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：千木良　弘朗/HIROAKI CHIGIRA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO760J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

計量経済学演習 (Ⅳ) b /Econometrics (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：千木良　弘朗/HIROAKI CHIGIRA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO760J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

経営統計学演習（Ⅳ） a /Business Statistics (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：石垣　司/TSUKASA ISHIGAKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN734J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

経営統計学演習（Ⅳ） b /Business Statistics (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：石垣　司/TSUKASA ISHIGAKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN734J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

意思決定論演習 (Ⅳ) a /Decision Making (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：鈴木　賢一/KENICHI SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN736J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

意思決定論演習 (Ⅳ) b /Decision Making (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：鈴木　賢一/KENICHI SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN736J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

経済データ科学演習（Ⅳ） a /Data Science in Economics (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：石原　卓弥/TAKUYA ISHIHARA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO791J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

経済データ科学演習（Ⅳ） b /Data Science in Economics (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：石原　卓弥/TAKUYA ISHIHARA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO791J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

経営組織論演習（Ⅳ） a /Organization and Management (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN740J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

経営組織論演習 (Ⅳ) b /Organization and Management (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN740J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

経営史演習（Ⅳ） a /Business History (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN742J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

経営史演習 (Ⅳ) b /Business History (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN742J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

会計情報論演習 (Ⅳ) a /Accounting Information (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：木村　史彦/FUMIHIKO KIMURA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC726J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

会計情報論演習（Ⅳ） b /Accounting Information (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：木村　史彦/FUMIHIKO KIMURA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC726J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

監査論演習 (Ⅳ) a /Auditing (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：亀岡　恵理子/ERIKO KAMEOKA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC730J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

監査論演習 (Ⅳ) b /Auditing (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：亀岡　恵理子/ERIKO KAMEOKA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC730J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

証券投資論演習 (Ⅳ) a /Investment and Security Analysis(Seminar IVa)

担当教員/Instructor：室井　芳史/YOSHIFUMI MUROI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN744J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

証券投資論演習 (Ⅳ) b/Investment and Security Analysis(Seminar IVb)

担当教員/Instructor：室井　芳史/YOSHIFUMI MUROI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN744J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

財務管理論演習（Ⅳ） a /Financial Management (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：嘉本　慎介/SHINSUKE KAMOTO
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN746J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

財務管理論演習 (Ⅳ) b/Financial Management (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：嘉本　慎介/SHINSUKE KAMOTO
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN746J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

経営戦略演習 (Ⅳ) a /Management Strategy (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：山﨑　喜代宏/KIYOHIRO YAMAZAKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN748J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

経営戦略演習 (Ⅳ) b /Management Strategy (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：山﨑　喜代宏/KIYOHIRO YAMAZAKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN748J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

財務報告論演習（Ⅳ） a /Financial Reporting (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：尾関　規正/NORIMASA OZEKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC732J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

財務報告論演習（Ⅳ） b /Financial Reporting (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：尾関　規正/NORIMASA OZEKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC732J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

非営利組織論演習 (Ⅳ) a /Non-profit Organization (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：西出　優子/YUKO NISHIDE
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN750J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

非営利組織論演習 (Ⅳ) b /Non-profit Organization (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：西出　優子/YUKO NISHIDE
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN750J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

福祉経済演習（Ⅳ） a /Welfare Economy (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO762J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

福祉経済演習（Ⅳ） b /Welfare Economy (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO762J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

加齢経済演習（Ⅳ） a /Aging Economy (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO764J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

加齢経済演習（Ⅳ） b /Aging Economy (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO764J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

医療経済演習（Ⅳ） a /Health Economics (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO766J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

医療経済演習（Ⅳ） b /Health Economics (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO766J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

財政演習（Ⅳ） a /Public Finance (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：佐々木　伯朗/NORIO SASAKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO768J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

財政演習（Ⅳ） b /Public Finance (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：佐々木　伯朗/NORIO SASAKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO768J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

地域企業論演習 (Ⅳ) a /Regional Enterprises (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN760J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

地域企業論演習（Ⅳ） b /Regional Enterprises (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN760J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

地域計画演習 (Ⅳ) a /Regional Plannning (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：増田　聡/SATORU MASUDA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO772J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

地域計画演習 (Ⅳ) b/Regional Plannning (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：増田　聡/SATORU MASUDA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO772J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

サービス経営論演習（Ⅳ） a /Service Management (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：酒井　健/KEN SAKAI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN752J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

サービス経営論演習 (Ⅳ) b/Service Management (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：酒井　健/KEN SAKAI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN752J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

アジア経済論演習（Ⅳ） a /Asian Economics (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO774J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

アジア経済論演習（Ⅳ） b /Asian Economics (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO774J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

産業発展論演習 (Ⅳ) a /Industrial Development (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO776J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

産業発展論演習 (Ⅳ) b/Industrial Development (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO776J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

国際経済演習（Ⅳ） a /International Economics (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：永易　淳/JUN NAGAYASU
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO778J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

国際経済演習 (Ⅳ) b/International Economics (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：永易　淳/JUN NAGAYASU
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO778J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

グローバル経営史演習（Ⅳ） a /Global Business History (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：菅原　歩/AYUMU SUGAWARA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN756J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

グローバル経営史演習 (Ⅳ) b/Global Business History (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：菅原　歩/AYUMU SUGAWARA
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN756J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

国際経営演習 (Ⅳ) a /International Business (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：金　熙珍/HEEJIN KIM
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN758J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.

国際経営演習 (Ⅳ) b/International Business (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：金　熙珍/HEEJIN KIM
曜日・講時/Day/Period：前期／後期
対象学年/Eligible Participants：全／All,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN758J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
博士学位請求論文を提出する学生に対して、指導教員または指名教員が演習を開講し、論文作成及び研究成果の公表に必要な指導を行う。
To students who will submit the doctoral thesis, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives necessary guidance for the preparation of the thesis and publication of research results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習は、指導教員（およびその指名する教員）の博士論文作成指導及び研究成果公表支援を兼ねたものである。
This seminar is also to serve as a guidance by the supervisor (and a teacher who the supervisor nominates) to prepare the doctoral thesis and support the publication of research results.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、博士学位請求論文作成及び研究成果の公表に関する進捗状況等を考慮して評価する。
For the evaluation, usual learning outcomes and progress in the preparation of the doctoral thesis will be considered.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
指導教員が担当する演習（Ⅳ）a、b を履修するためには、演習（Ⅲ）a、b の単位を修得していなければならない。
なお、履修の際には指導教員、指名教員と論文提出・研究成果公表を含め学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (Ⅳ) a or b given by the supervisor, you must have acquired the credits of Seminar (Ⅲ) a and b.
In addition, it is recommended that you take this seminar after adequately consulting with your supervisor and deputy supervisor about your study plan including the thesis submission and publication of research results.